

令和4年度

普天間飛行場代替施設建設事業に係る

環境監視調査報告書

令和5年9月

沖縄防衛局

目次

第 1 章 環境監視調査の項目及び調査の手法	1-1
1.1 調査項目及び調査時期	1-1
1.2 調査手法	1-3
1.2.1 大気質	1-3
1.2.2 騒音	1-8
1.2.3 振動	1-16
1.2.4 低周波音	1-22
1.2.5 底生動物等（移動後の状況監視）	1-27
1.2.6 サンゴ類（全域の状況監視）	1-35
1.2.7 海藻草類（全域の状況監視）	1-37
第 2 章 環境監視調査の結果	2-1
2.1 大気質	2-1
2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	2-1
2.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	2-14
2.2 騒音	2-27
2.2.1 道路交通騒音	2-27
2.2.2 交通量	2-41
2.2.3 建設作業騒音	2-44
2.3 振動	2-52
2.3.1 道路交通振動	2-52
2.3.2 建設作業振動	2-66
2.4 低周波音	2-71
2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	2-71
2.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	2-79
2.5 底生動物等（移動後の状況監視）	2-91
2.5.1 追跡調査	2-91
2.5.2 生物相調査	2-103
2.6 サンゴ類（全域の状況監視）	2-133
2.6.1 サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	2-133
2.7 海藻草類（全域の状況監視）	2-138
2.7.1 海藻草類の生育被度、生育状況	2-138
2.7.2 クビレミドロ生育状況等	2-144

第 3 章 環境監視調査結果のまとめ	3-1
3.1 大気質	3-1
3.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	3-1
3.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	3-2
3.2 騒音	3-3
3.2.1 道路交通騒音	3-3
3.2.2 建設作業騒音	3-3
3.3 振動	3-4
3.3.1 道路交通振動	3-4
3.3.2 建設作業振動	3-4
3.4 低周波音	3-5
3.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	3-5
3.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	3-6
3.5 底生動物等（移動後の状況監視）	3-7
3.5.1 追跡調査	3-7
3.5.2 生物相調査	3-9

本書に掲載した地図は、国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図及び 2 万 5 千分の 1 地形図を基に作成したものです。

第 1 章 環境監視調査の項目及び調査の手法

1.1 調査項目及び調査時期

令和 4 年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査時期を表-1.1.1 に、調査工程を表-1.1.2 に示します。

表-1.1.1 令和 4 年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査時期

調査項目		調査時期
大気質	建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、各季とも連続 1 週間の測定
	資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、各季とも連続 1 週間の測定
騒音	道路交通騒音	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
	建設作業騒音	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
振動	道路交通振動	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
	建設作業振動	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
低周波音	建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
	資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	・ 工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
底生動物等 (移動後の 状況監視)	移動個体の生息・生育状況(追跡調査)、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況、浮遊生物の分布状況(生物相調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追跡調査は、移動後 1 年目は移動直後、約 1 ヶ月後、3 ヶ月後及び 6 ヶ月後の頻度、2 年目以降は年 4 回(四季)の頻度 ・ ウミボックス^{注)}の追跡調査については、ウミボックスの繁茂期を含む 2 月から 5 月まで毎月 1 回調査を実施 ・ 生物相調査は、年 4 回(四季)の頻度
サンゴ類 (全域の 状況監視)	サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	・ 夏季～秋季及び冬季～春季の年 2 回
海藻草類 (全域の 状況監視)	海藻草類(クビレミドロを含む)の生育被度、生育状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繁茂期と衰退期にあたる夏季及び冬季の年 2 回 ・ クビレミドロは繁茂期である春季に 2 回

注) ウミボックスは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、ここでは「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

表-1.1.2 令和4年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査工程

調査項目		令和4年										令和5年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
大気質	建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	■			■			■				■		
	資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	■			■			■				■		
騒音	道路交通騒音	■			■			■				■		
	建設作業騒音	■			■			■				■		
振動	道路交通振動	■			■			■				■		
	建設作業振動	■			■			■				■		
低周波音	建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	■			■			■				■		
	資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	■			■			■				■		
底生動物等 (移動後の状況監視)	移動個体の生息・生育状況(追跡調査)、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況、浮遊生物の分布状況(生物相調査)	■	■		■	■	■		■	■		■	■	
サンゴ類 (全域の状況監視)	サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等							■				■		
海藻草類 (全域の状況監視)	海藻草類(クビレミドロを含む)の生育被度、生育状況等	■						■				■		

(参考 工事工程)

工事の区分		令和4年										令和5年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
代替施設本体の護岸工事	傾斜堤護岸K-8	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
代替施設本体の埋立工事	埋立区域②-1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
	埋立区域②	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
美謝川水路整備		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			

1.2 調査手法

1.2.1 大気質

工事の実施に伴う影響を把握するために、建設機械の稼働に伴う大気汚染物質及び資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査を実施しました。

(1) 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

1) 調査項目及び調査地点

建設機械の稼働に伴う大気汚染物質について、調査項目及び調査地点は表-1.2.1.1に示すとおりです。

表-1.2.1.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 二酸化窒素 (NO ₂) ・ 二酸化硫黄 (SO ₂) ・ 浮遊粒子状物質 (SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	カヌチャリゾート (AT-1)、大浦集落 (AT-2)、二見集落 (AT-3)、辺野古集落 (AT-8) の計 4 地点

2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.1.2に示すとおりです。

表-1.2.1.2 調査実施日

調査項目	調査実施日
・ 二酸化窒素 (NO ₂) ・ 二酸化硫黄 (SO ₂) ・ 浮遊粒子状物質 (SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	令和 4 年度春季：令和 4 年 4 月 7～13 日 令和 4 年度夏季：令和 4 年 7 月 14～20 日 令和 4 年度秋季：令和 4 年 10 月 13～19 日 令和 4 年度冬季：令和 5 年 1 月 24～30 日 ※調査は各季 7 日間の連続測定

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.1.1に示すとおりです。

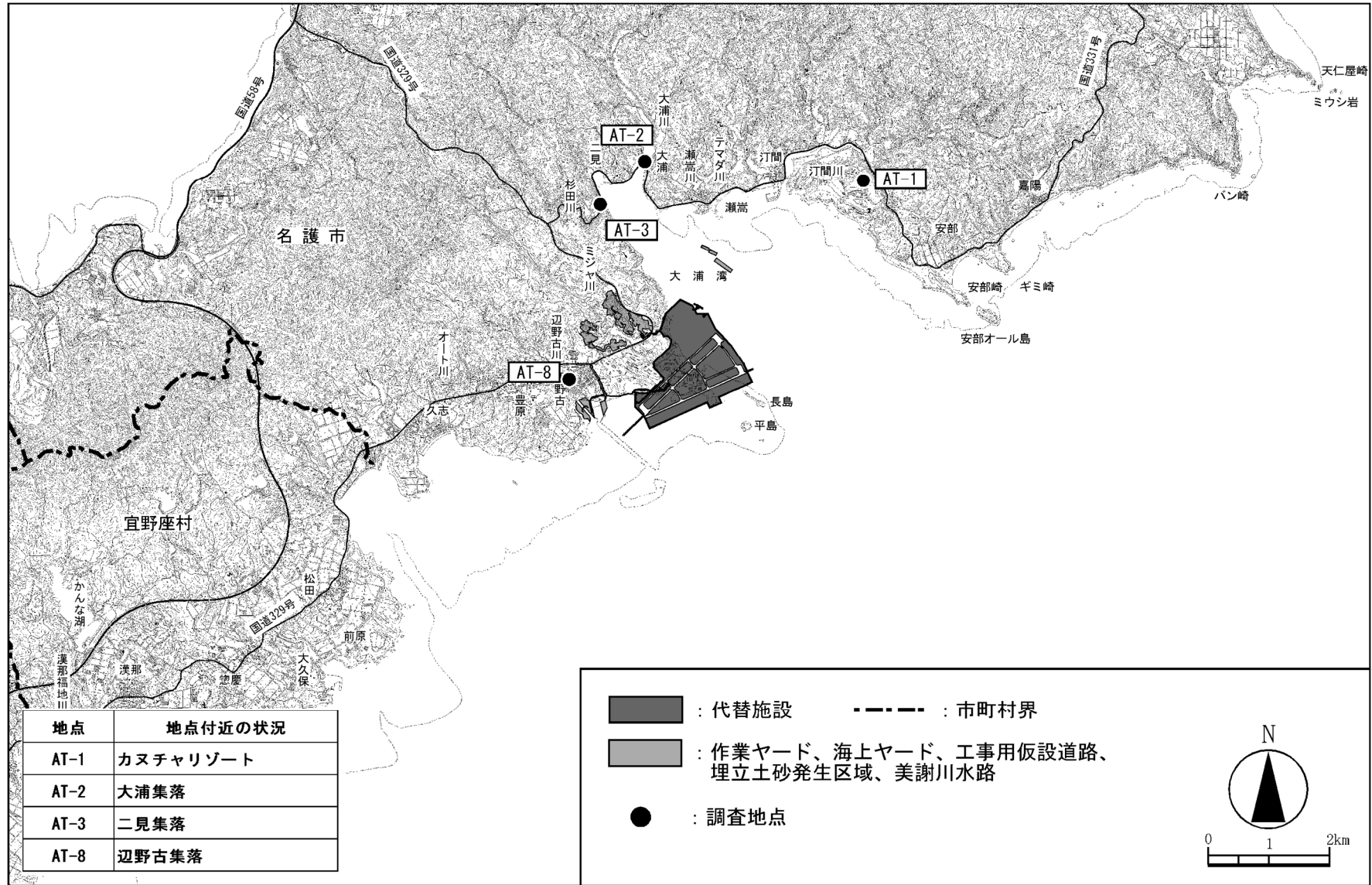


図-1.2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の調査地点

4) 調査方法

各調査地点において測定機器を設置し、表-1.2.1.3 に示す方法により、7日間の連続測定を実施しました。

表-1.2.1.3 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の調査方法

調査項目	調査方法等
・二酸化窒素(NO ₂)	JIS B 7953 に基づくオゾンを用いる化学発光法
・二酸化硫黄(SO ₂)	JIS B 7952 に基づく紫外線蛍光法
・浮遊粒子状物質(SPM)	JIS B 7954 に基づくベータ線吸収法



大気環境測定装置



風向風速計



大気環境測定装置
(サンプリングホース)



温湿度センサー

(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

1) 調査項目及び調査地点

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質について、調査項目及び調査地点は表-1.2.1.4に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.1.4 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 二酸化窒素(NO ₂) ・ 二酸化硫黄(SO ₂) ・ 浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.1.5に示すとおりです。

表-1.2.1.5 調査実施日

調査項目	調査実施日
・ 二酸化窒素(NO ₂) ・ 二酸化硫黄(SO ₂) ・ 浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	令和4年度春季：令和4年4月15～21日 令和4年度夏季：令和4年7月22～28日 令和4年度秋季：令和4年10月21～27日 令和4年度冬季：令和5年2月1～7日 ※調査は各季7日間の連続測定

3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.1.2に示すとおりです。

4) 調査方法

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査方法については、先述の「建設機械の稼働に伴う大気汚染物質」と同様の方法としました。

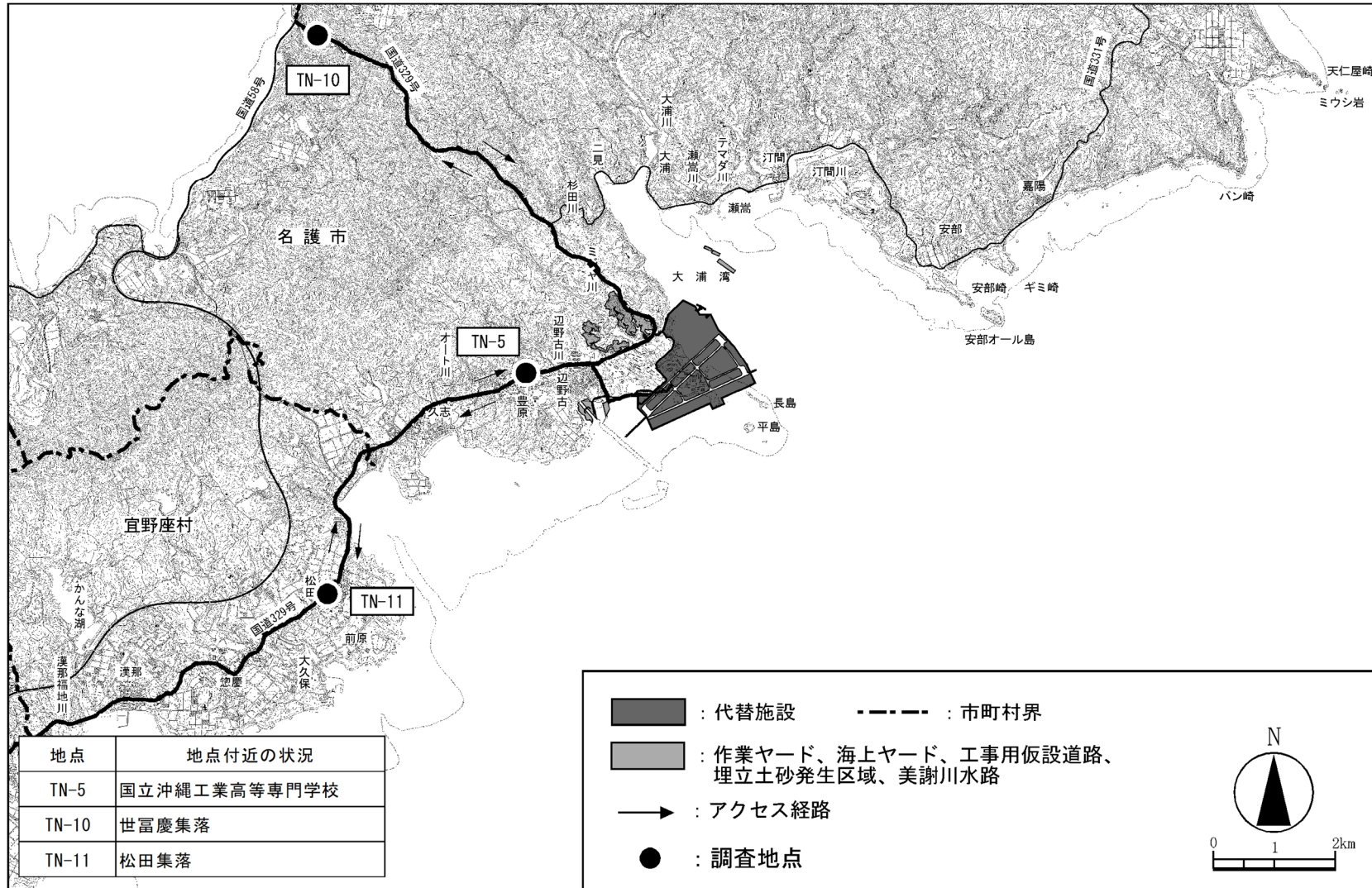


図-1.2.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査地点

1.2.2 騒音

工事の実施に伴う影響を把握するために、資機材運搬車両等の運行に伴う道路交通騒音、建設機械の稼働に伴う建設作業騒音の調査を実施しました。

(1) 道路交通騒音

1) 調査項目及び調査地点

道路交通騒音の調査項目及び調査地点は表-1.2.2.1 に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.2.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 道路交通騒音 ・ 交通量	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.2.2 に示すとおりです。

表-1.2.2.2 調査実施日

調査項目	調査実施日
・ 道路交通騒音 ・ 交通量	令和4年度春季：令和4年4月19日 令和4年度夏季：令和4年7月26日 令和4年度秋季：令和4年10月25日 令和4年度冬季：令和5年2月1日 ※調査は各調査日の24時間測定

3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.2.1 に示すとおりです。

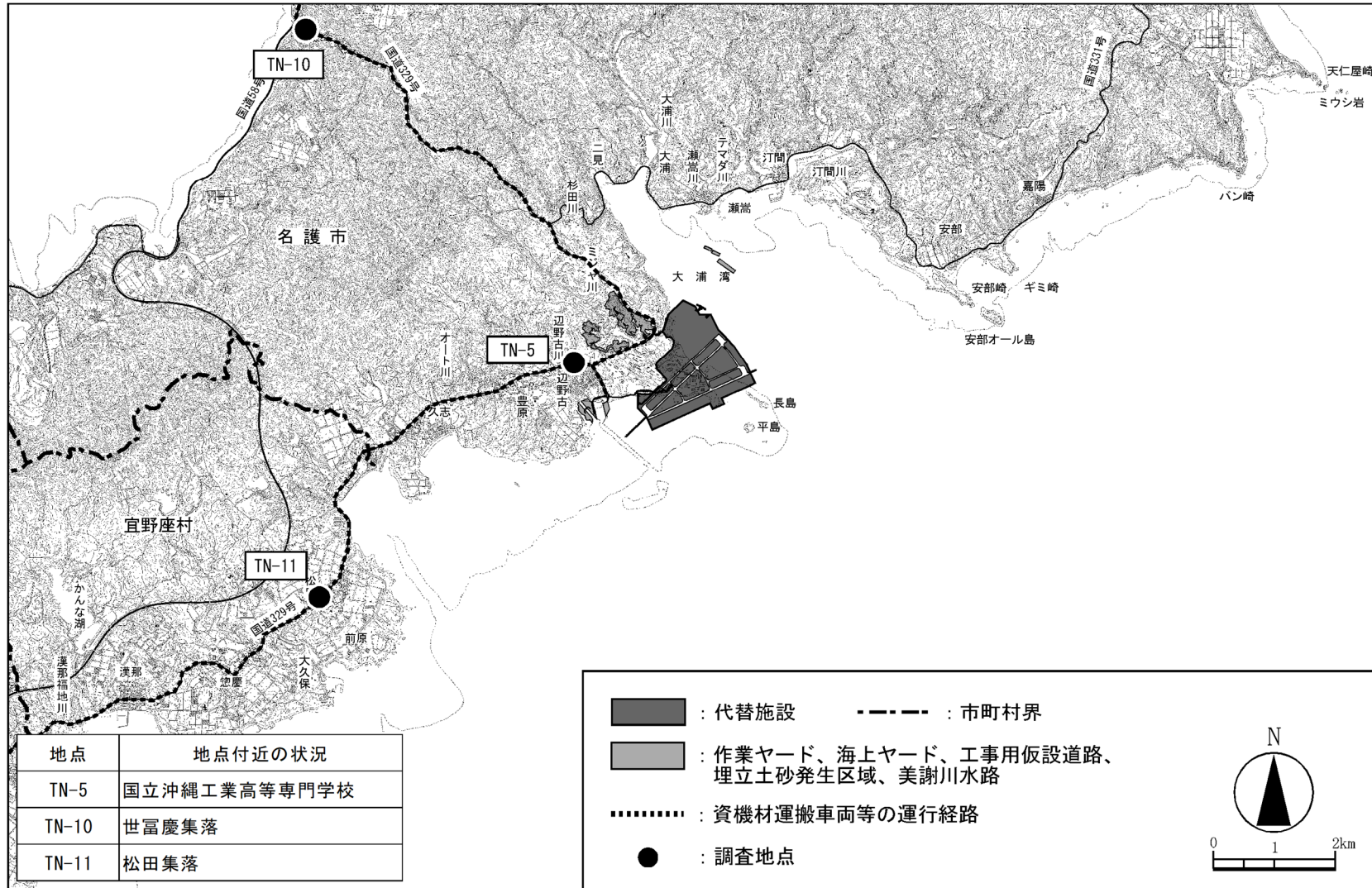


図-1.2.2.1 道路交通騒音の調査地点

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の沿道における道路交通騒音の調査地点の詳細は図-1.2.2.2 に、道路断面図は図-1.2.2.3 に示すとおりであり、3地点とも国道329号の沿線上にあります。

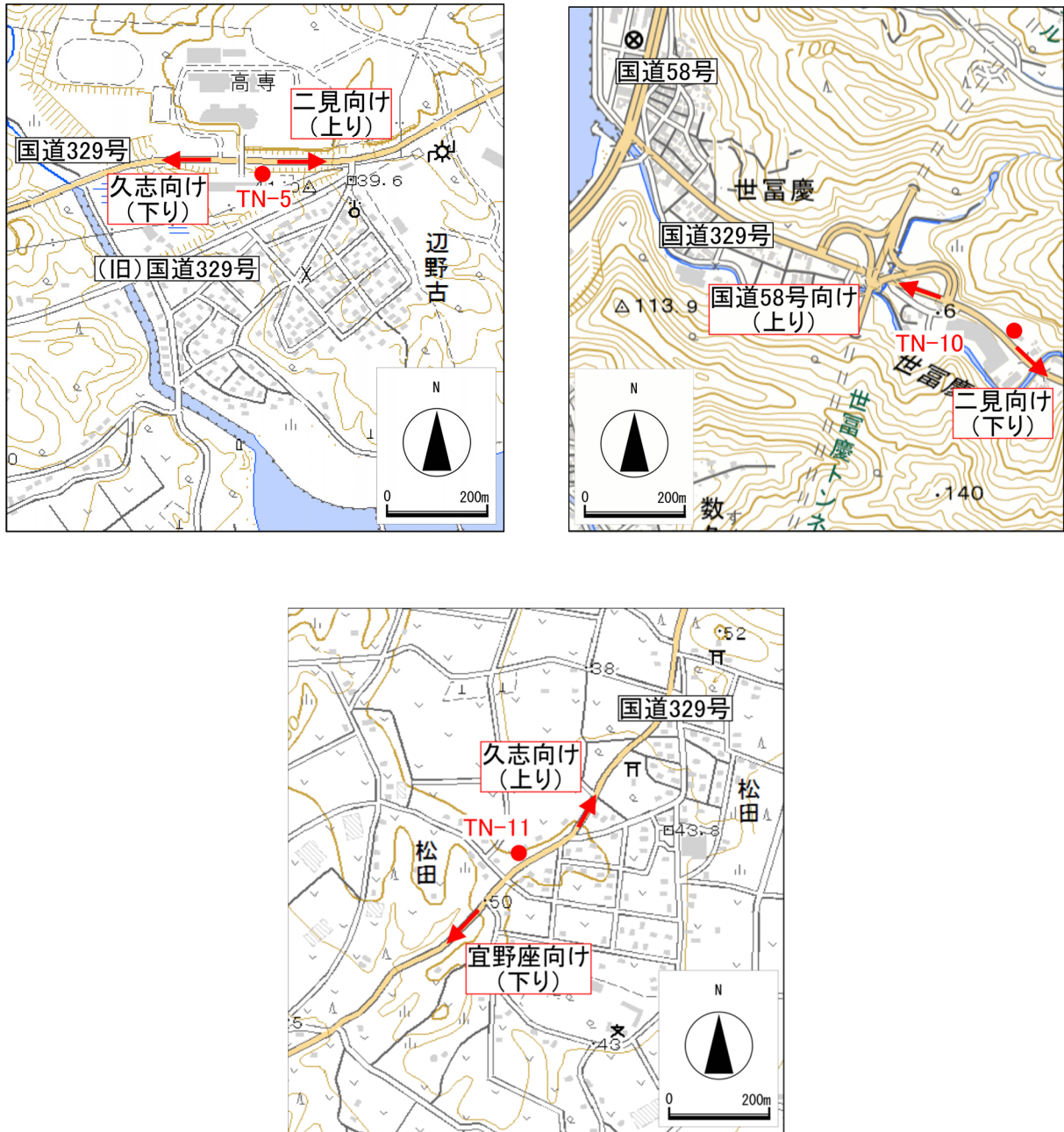
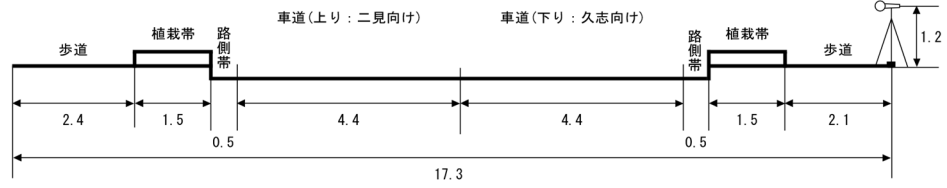
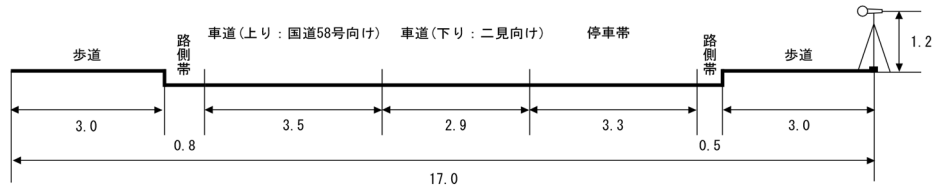


図-1.2.2.2 調査地点の詳細図

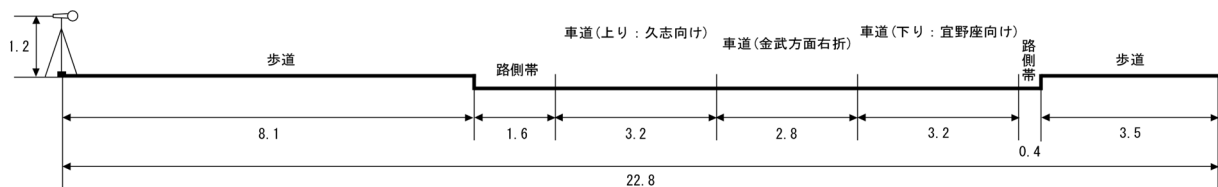
単位：(m)



国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)



世富慶集落 (TN-10)



松田集落 (TN-11)

図-1.2.2.3 調査地点の道路断面図

4) 調査方法

道路交通騒音、交通量の調査は、調査地点の道路端において、測定機器を設置し 24 時間の測定を実施しました。各調査項目の方法は表-1.2.2.3 に示すとおりです。騒音計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.2.3 道路交通騒音、交通量の調査方法

調査項目	調査方法等
・ 道路交通騒音	「JIS Z 8731 : 2019 “環境騒音の表示・測定方法”」に基づき、調査地点の道路端 1.2m の高さに騒音計を設置して測定を行いました。
・ 交通量	同地点で大型車、小型車、二輪車の車種別、上下方向別にカウンターを用いて交通量を記録しました。



騒音計



測定状況

(2) 建設作業騒音

1) 調査項目及び調査地点

建設作業騒音の調査項目及び調査地点は表-1.2.2.4 に示すとおりです。

表-1.2.2.4 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設作業騒音	国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)、辺野古集落(EN-13)の2地点

2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.2.5 に示すとおりです。

表-1.2.2.5 調査実施日

調査項目	調査実施日
・建設作業騒音	令和4年度春季：令和4年4月8日 令和4年度夏季：令和4年7月22日 令和4年度秋季：令和4年10月14日 令和4年度冬季：令和5年1月27日 ※調査は各調査日の16時間測定

3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.2.4 に示すとおりです。

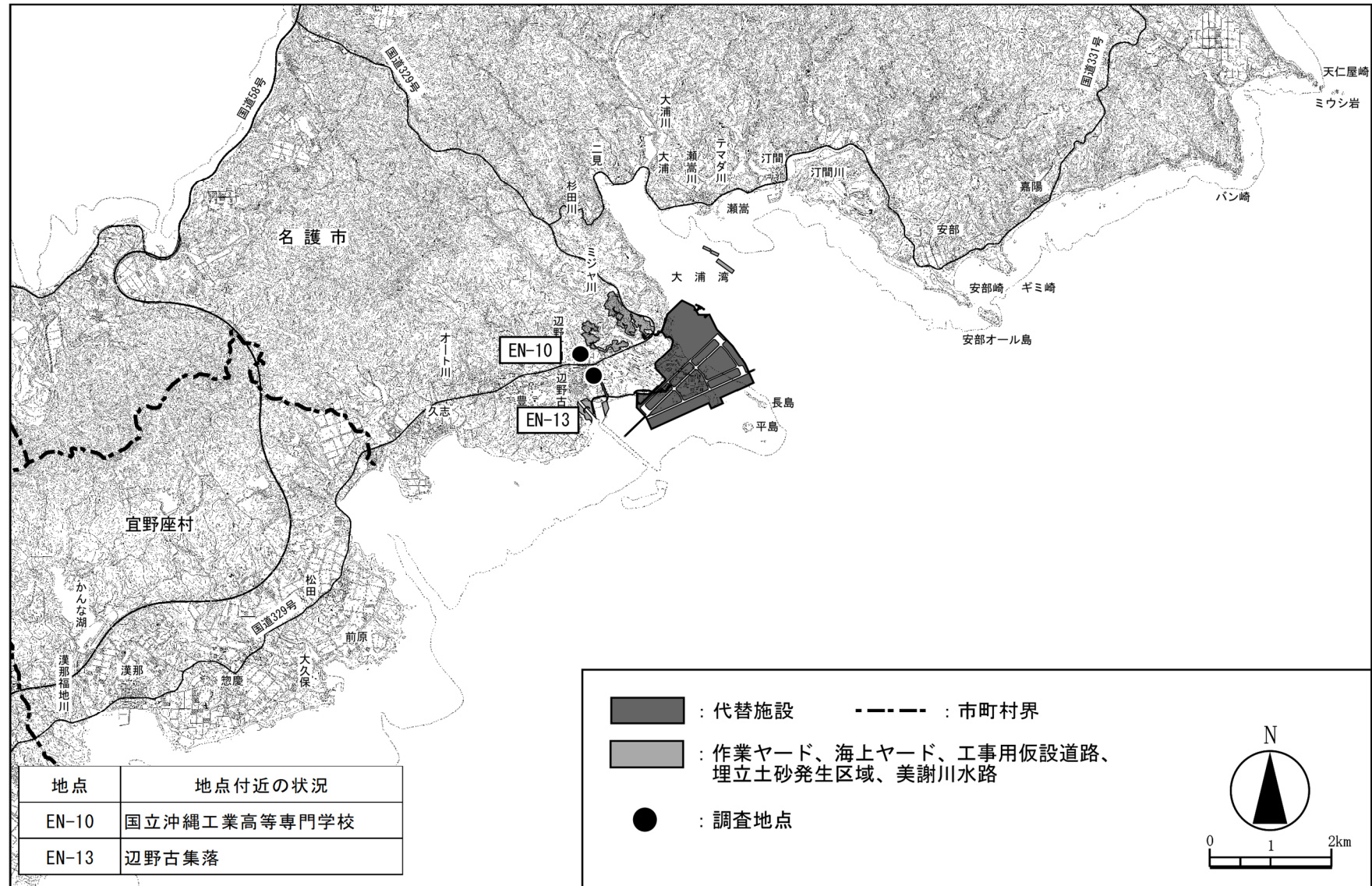


図-1.2.2.4 建設作業騒音の調査地点

4) 調査方法

工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点において測定機器を設置し、工事中の時間帯に測定を行いました。建設作業騒音の調査方法は表-1.2.2.6 に示すとおりです。騒音計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.2.6 建設作業騒音の調査方法

調査項目	調査方法等
・建設作業騒音	「JIS Z 8731 : 2019 “環境騒音の表示・測定方法”」に基づき、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点で、1.2m の高さに騒音計を設置して測定を行いました。



騒音計



測定状況

1.2.3 振動

工事の実施に伴う影響を把握するために、資機材運搬車両等の運行に伴う道路交通振動及び建設機械の稼働に伴う建設作業振動の調査を実施しました。

(1) 道路交通振動

1) 調査項目及び調査地点

道路交通振動の調査項目及び調査地点は表-1.2.3.1 に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.3.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 道路交通振動	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)、世富慶集落(TV-10)、松田集落(TV-11)の計3地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「道路交通騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.3.1 に示すとおりです。

なお、先述の「道路交通騒音」と同様の地点としました。

4) 調査方法

調査地点の道路端において測定機器を設置し、24時間の測定を実施しました。

道路交通振動の方法は表-1.2.3.2 に示すとおりです。振動レベル計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.3.2 道路交通振動の調査方法

調査項目	調査方法等
・ 道路交通振動	「JIS Z 8735 : 1981 “振動レベル測定方法”」に基づき、調査地点の道路端の平坦な地面に振動レベル計を設置して測定を行いました。



振動レベル計



測定状況

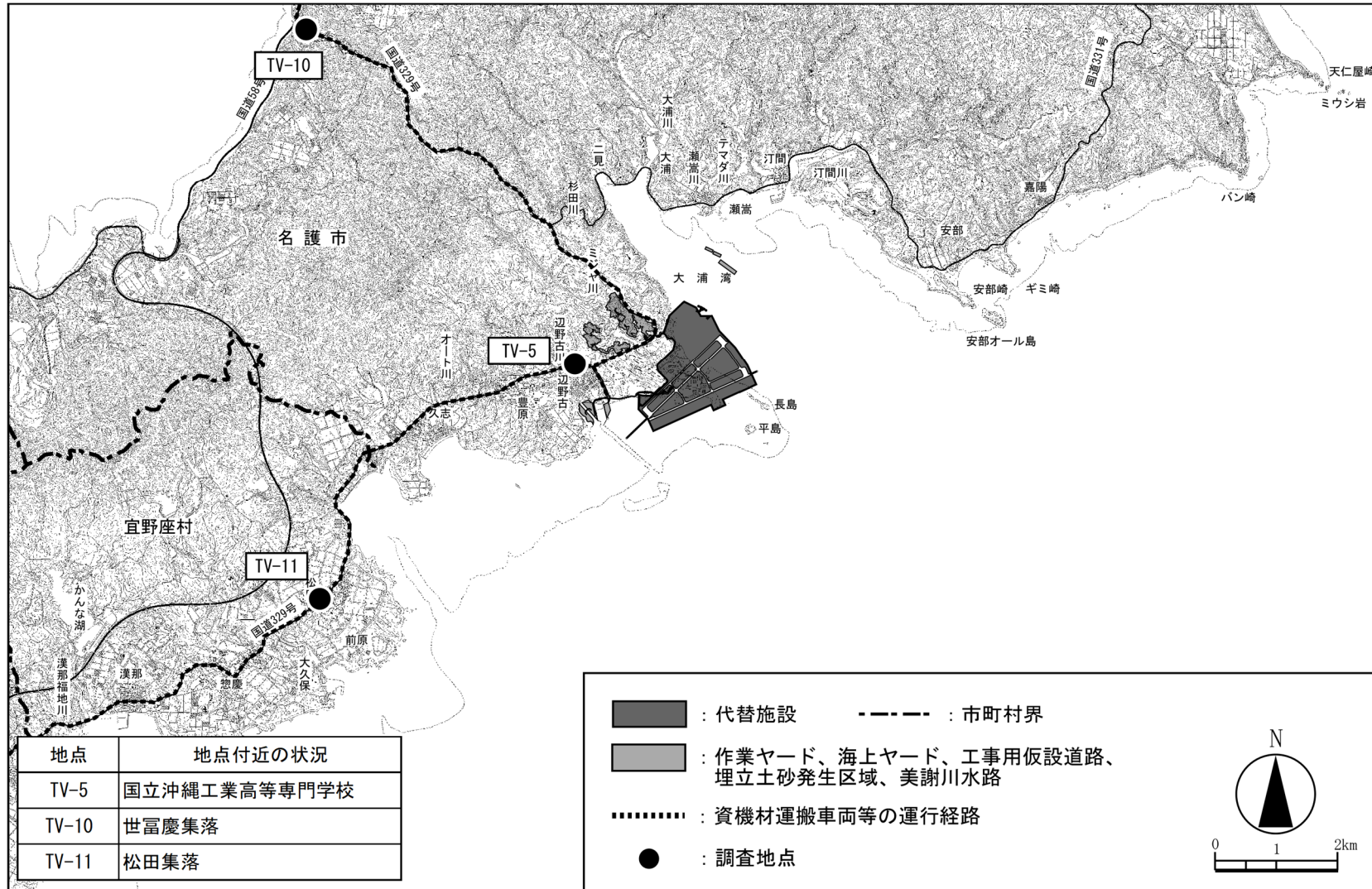


図-1.2.3.1 道路交通振動の調査地点

(2) 建設作業振動

1) 調査項目及び調査地点

建設作業振動の調査項目及び調査地点は表-1.2.3.3 に示すとおりです。

表-1.2.3.3 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設作業振動	国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)の2地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「建設作業騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.3.2 に示すとおりです。

なお、先述の「建設作業騒音」と同様の地点としました。

4) 調査方法

建設作業振動の調査は、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点において、測定機器を設置し工事中の時間帯に測定を行いました。建設作業振動の測定方法は表-1.2.3.4 に示すとおりです。振動レベル計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.3.4 建設作業振動の調査方法

調査項目	調査方法等
・建設作業振動	「JIS Z 8735 : 1981 “振動レベル測定方法”」に基づき、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点に振動レベル計を設置して測定を行いました。



振動レベル計



測定状況

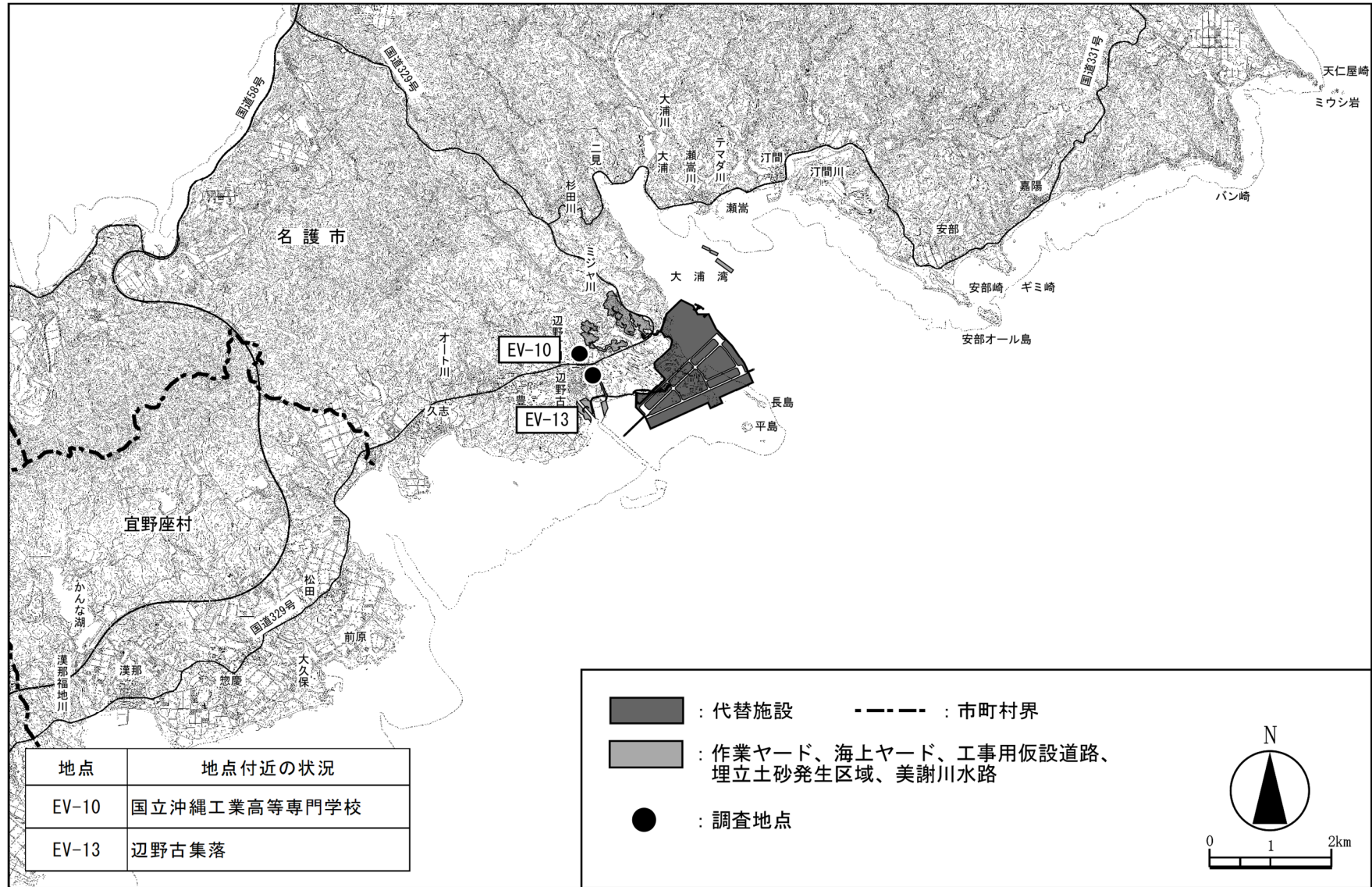


図-1.2.3.2 建設作業振動の調査地点

1.2.4 低周波音

工事の実施に伴う影響を把握するために、建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音及び資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査を実施しました。

(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

1) 調査項目及び調査地点

建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査項目及び調査地点は表-1.2.4.1に示すとおりです。

表-1.2.4.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音 ・風向・風速	国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、 辺野古集落(LF-13)の2地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「建設作業騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は図-1.2.4.1に示すとおりです。

なお、先述の「建設作業騒音」と同様の地点としました。

4) 調査方法

工事区域の敷地境界線に、測定機器を設置し、工事時間中の測定を実施しました。低周波音及び風向・風速の調査方法は表-1.2.4.2に示すとおりです。低周波音計、超音波型風向風速計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.4.2 低周波音及び風向・風速の調査方法

調査項目	調査方法等
・低周波音	低周波音測定マニュアル(環境省)に基づき、実時間周波数分析器を用いて1/3オクターブバンド中心周波数1~80Hzの1/3オクターブ音圧レベルを測定しました。
・風向・風速	超音波型風向風速計を用いて観測しました。



低周波音計



測定状況



超音波型風向風速計

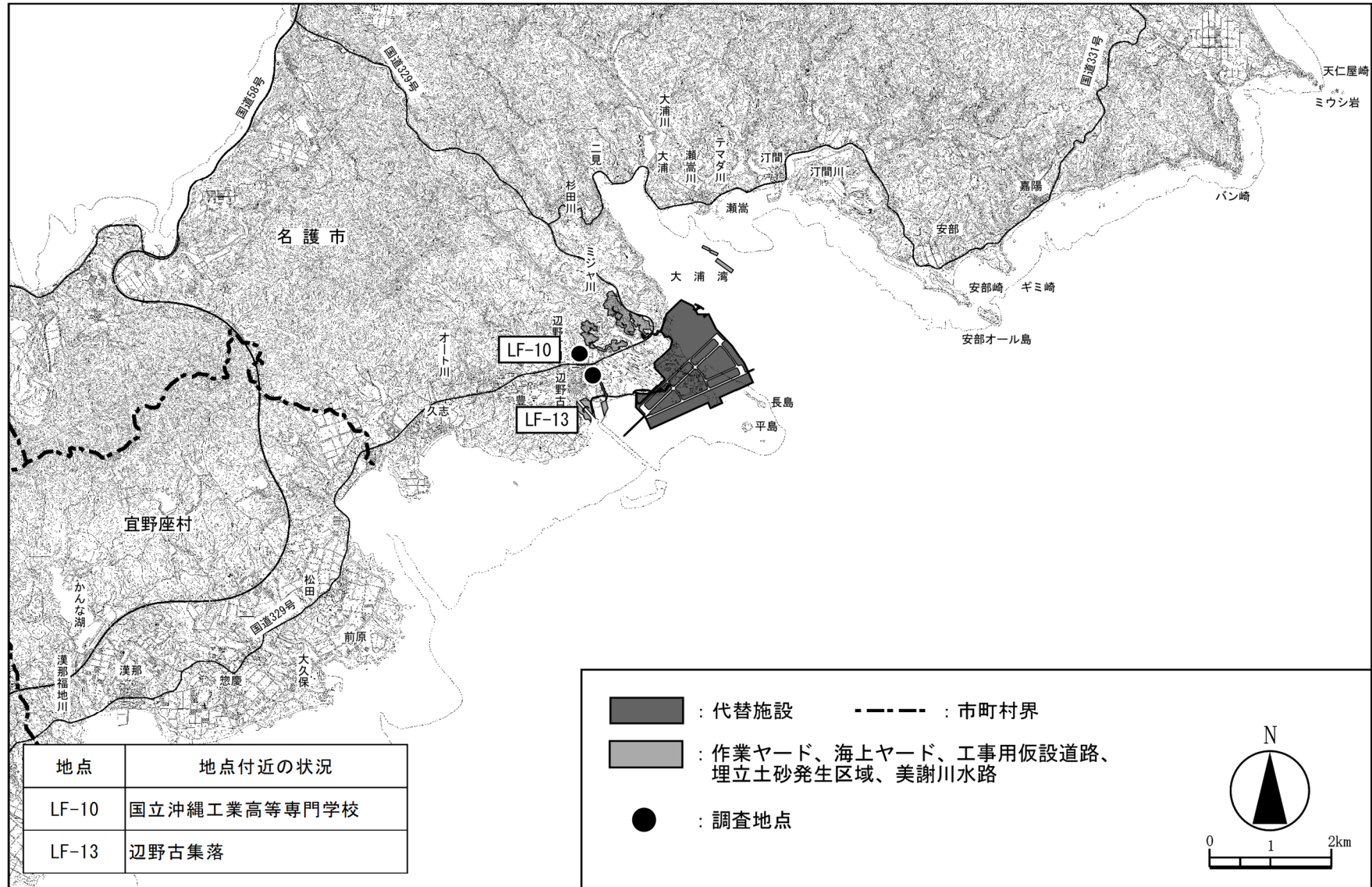


図-1.2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査地点

(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

1) 調査項目及び調査地点

資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査項目及び調査地点は表-1.2.4.3に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.4.3 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音 ・ 風向・風速	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

2) 調査実施日

調査実施日は先述の「道路交通騒音」と同様の実施日としました。

3) 調査地点

調査地点は先述の「道路交通騒音」と同様の地点としました。

4) 調査方法

資機材運搬車両の運行に伴う低周波音については、調査地点の道路端に、測定機器を地面に設置し、24時間の測定を実施しました。

なお、低周波音及び風向・風速の調査方法は先述の「建設機械の稼働に伴う低周波音」と同様としました。

低周波音計、超音波型風向風速計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。



低周波音計



測定状況



超音波型風向風速計

1.2.5 底生動物等（移動後の状況監視）

(1) 調査項目

調査項目は移動個体の生息・生育状況（追跡調査）、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況及び浮遊生物の分布状況（生物相調査）としました。

(2) 調査実施日等

調査実施日等は表-1.2.5.1 に示すとおりです。調査時期及び調査地点数は、環境保全措置として実施した底生動物等の移動実績を勘案して設定しました。

表-1.2.5.1(1) 調査項目及び調査地点

調査項目	調査実施日及び調査地点数	備考
追跡調査	<p>【平成 29 年度移植分（移植後 5 年目）】 令和 4 年繁茂期③（令和 4 年 4 月 13 日） 令和 4 年繁茂期④（令和 4 年 5 月 18 日） 令和 5 年繁茂期①（令和 5 年 2 月 15 日） 令和 5 年繁茂期②（令和 5 年 3 月 17 日）</p> <p>【令和元～2 年度移植分（移植後 3 年目）】 令和 4 年繁茂期③（令和 4 年 4 月 12 日） 令和 4 年繁茂期④（令和 4 年 5 月 16 日） 令和 5 年繁茂期①（令和 5 年 2 月 16 日） 令和 5 年繁茂期②（令和 5 年 3 月 16 日）</p> <p>【令和 2～3 年度移植分（移植後 2 年目）】 令和 4 年繁茂期③（令和 4 年 4 月 12 日） 令和 4 年繁茂期④（令和 4 年 5 月 16 日） 令和 5 年繁茂期①（令和 5 年 2 月 16 日） 令和 5 年繁茂期②（令和 5 年 3 月 16 日）</p> <p>【令和 3～4 年度移植分（移植後 1 年目）】 移植直後（令和 4 年 4 月 12 日） 移植 1 ヶ月後（令和 4 年 5 月 17 日） 移植 3 ヶ月後（令和 4 年 7 月 21 日） 移植 6 ヶ月後（令和 4 年 11 月 23 日） 令和 5 年繁茂期①（令和 5 年 2 月 16 日） 令和 5 年繁茂期②（令和 5 年 3 月 16 日）</p>	ウミボッスを対象

注) ウミボッスは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、ここでは「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

表-1.2.5.1(2) 調査項目及び調査地点

調査項目		調査実施日及び調査地点数	備考
生物相調査			
定性的調査	インベントリー調査（海岸部）	春季（令和4年4月16～20日）：17地点 夏季（令和4年6月27～30日、7月2日）：17地点 台風後（令和4年9月7～11日）：17地点 秋季（令和4年11月4～8日）：17地点 冬季（令和5年2月21～25日）：17地点	
	インベントリー調査（海上部）	春季（令和4年5月10～12日）：8地点 夏季（令和4年7月6～8日）：8地点 台風後（令和4年9月19～21日）：8地点 秋季（令和4年10月26～28日）：8地点 冬季（令和5年1月24～26日）：8地点	
定量的調査	底生動物調査	春季（令和4年5月10、12日）：4地点 夏季（令和4年7月6、7日）：4地点 台風後（令和4年9月20、21日）：4地点 秋季（令和4年10月26、27日）：4地点 冬季（令和5年1月25、26日）：4地点	現地調査はインベントリー調査（海上部）実施時に兼ねて実施
	潮間帯生物調査	春季（令和4年5月16日）：1地点 夏季（令和4年7月12日）：1地点 台風後（令和4年9月9日）：1地点 秋季（令和4年11月8日）：1地点 冬季（令和5年2月9日）：1地点	
	干潟生物分布調査	実施なし	対象種の移動を実施していないため
	浮遊生物調査（動物プランクトン、植物プランクトン）	春季（令和4年5月10、12日）：4地点 夏季（令和4年7月6、7日）：4地点 台風後（令和4年9月20、21日）：4地点 秋季（令和4年10月26、27日）：4地点 冬季（令和5年1月25、26日）：4地点	現地調査はインベントリー調査（海上部）実施時に兼ねて実施

注) 1. 生物相調査は年4回（四季）の頻度で実施していますが、令和4年度は8月下旬の台風第11号通過後にも追加で調査を実施しています。

2. 干潟生物分布調査は、干潟域の底生動物を移動していないため実施していません。

(3) 調査方法及び調査地点・範囲

1) 追跡調査

(a) ウミボッサ

追跡調査の調査地点は図-1.2.5.1に示すとおりです。

ウミボッサの移植先及びその周辺において、ウミボッサの生育状況を確認しました。併せて、その他の海藻類の出現種の概略についても把握しました。

なお、ウミボッサは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書」第7章及び「普天間飛行場代替施設建設事業に係る事後調査報告書」第4章・第8章に記載のとおり、改変区域内に生息する底生動物に関する環境保全措置の一環としてウミボッサの移動も行っているため、「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

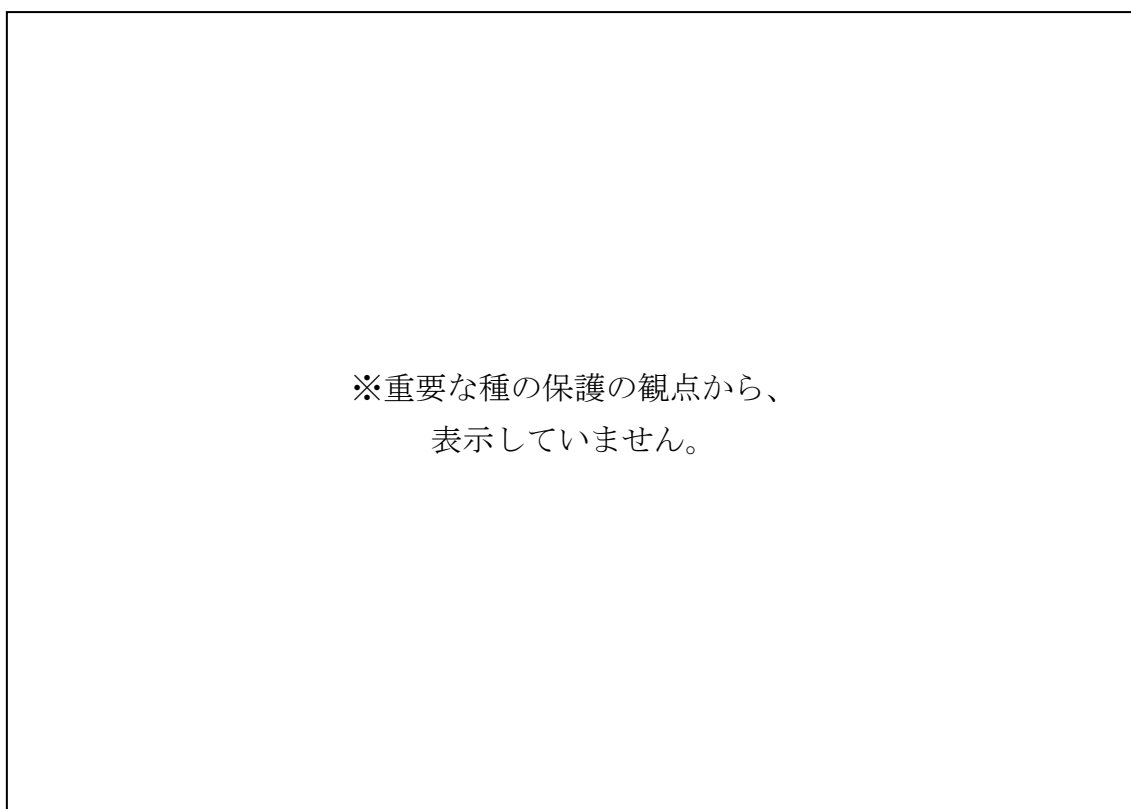


図-1.2.5.1 底生動物等の移動先の状況監視 追跡調査 調査地点（ウミボッサ）

2) 生物相調査

(a) インベントリー調査（定性的調査）

インベントリー調査の調査地点は図-1.2.5.2に示すとおりです。

移動・放流場所と近傍の「普天間飛行場代替施設建設に係る環境影響評価書」に示された調査地点（以下、「既往調査地点」とします。）が同様の環境である場合には、大型底生動物（貝類、甲殻類、棘皮類等）及び海藻草類を対象として生物種の目録作成を行いました。

各地点に存在する種々の環境に着目し、対象とする項目に応じて複数の調査員により目視観察及び生物採取を一定時間行った後、各調査員の目視観察記録及び採取生物を持ち寄り、確認種の記録、写真撮影等を行った後、各地点において放流しました。なお、採取生物のうち詳細検討が必要な個体は、沖縄県漁業調整規則を遵守する範囲で最小限の試料を持ち帰り、室内にて種の同定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.2 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点
(インベントリー調査)

(b) 底生動物調査（定量的調査）

底生動物調査の調査地点は図-1.2.5.3 に示すとおりです。

移動・放流場所が潮下帯等の海底の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、マクロベントスを対象として行いました。船上よりスミス・マッキンタイヤー型採泥器（採泥面積 0.05m²）を用いて表層堆積物を 2 回採取し、ふるい（目合い 1mm）に残った試料を固定した後、同定、個体数の計数及び湿重量の測定を行いました。

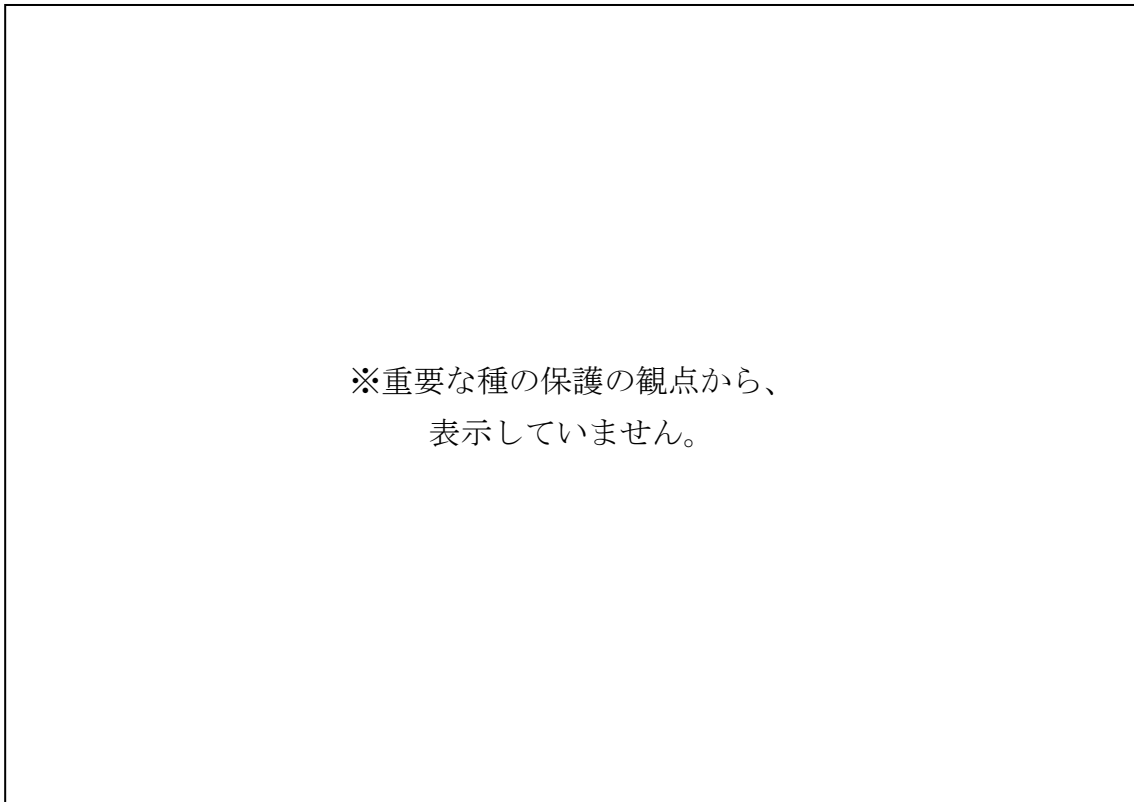


図-1.2.5.3 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点
(底生動物調査)

(c) 潮間帯生物調査（定量的調査）

潮間帯生物調査の調査地点は図-1.2.5.4に示すとおりです。

移動・放流場所が潮間帯の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、表在性の大型底生動物及び海藻草類を対象として行いました。

潮上帯から潮下帯にかけてベルトトランセクト法による目視観察（測線に沿って30cm×30cmの方形枠を連続して移動させながら、枠内に生息する動物及び植物を記録）により、地形・底質の状況、出現種、大型底生動物の個体数の概数、植物の被度（枠内の面積比）を記録しました。

目視観察後、各測線の代表地点2箇所（上層：潮上帯と平均水面の間、下層：平均水面と潮下帯の間）に30cm×30cmの方形枠を設置し、岩盤の場合は付着生物の刈り取り、砂礫・転石地の場合は表層堆積物の採取（深さ約5cm）を行い、目合い1mmのふるいに残った試料を固定した後、同定、個体数の計数及び湿重量の測定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.4 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点
(潮間帯生物調査)

(d) 浮遊生物調査（定量的調査）

浮遊生物調査の調査地点は図-1.2.5.5 に示すとおりです。

移動・放流場所が潮下帯等の海底の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、海水中の浮遊生物（植物プランクトン、動物プランクトン）を対象として行いました。

植物プランクトンについては、満潮時前後にバンドーン採水器を用いて海面下 0.5m 層で 5L 程度採水し、試料を固定した後、沈澱濃縮もしくは分離濃縮し、同定及び細胞数の計数を行いました。

動物プランクトンについては、満潮時前後に北原定量ネット（NXX13、網目幅 0.1mm）で鉛直曳き（リーフ内：底上～表層、リーフ外：底上～海面下 10m 及び海面下 10m ～表層の 2 層、水深が 10m 未満の場合は底上～表層までの 1 層）を行い、試料を固定した後、同定及び個体数の計数を行いました。なお、移動先の水深が 10m 未満であり、近傍の既往調査地点の水深が 10m 以上の場合には、移動先の生息環境として対象とする層は 10m 以浅の部分であることから、2 層での採取ではなく「海面下 10m ～表層」の 1 層を採取しました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-1.2.5.5 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点
(浮遊生物調査)

1.2.6 サンゴ類（全域の状況監視）

(1) 調査項目

調査項目はサンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等としました。

(2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.6.1 に示すとおりです。調査は年2回（夏季及び冬季）実施しました。

表-1.2.6.1 調査実施日

調査項目	調査実施日
サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	夏季：令和4年9月23～29日 冬季：令和5年2月6～13日

(3) 調査地点・範囲

事後調査として実施するライン調査及びスポット調査を補完するため、図-1.2.6.1 に示す範囲で調査を実施しました。

(4) 調査方法

マンタ法により調査船に曳航された潜水調査員が海底を目視観察し、サンゴ類の生息被度、食害生物の出現状況、白化の状況、土砂の堆積状況等を記録しました。

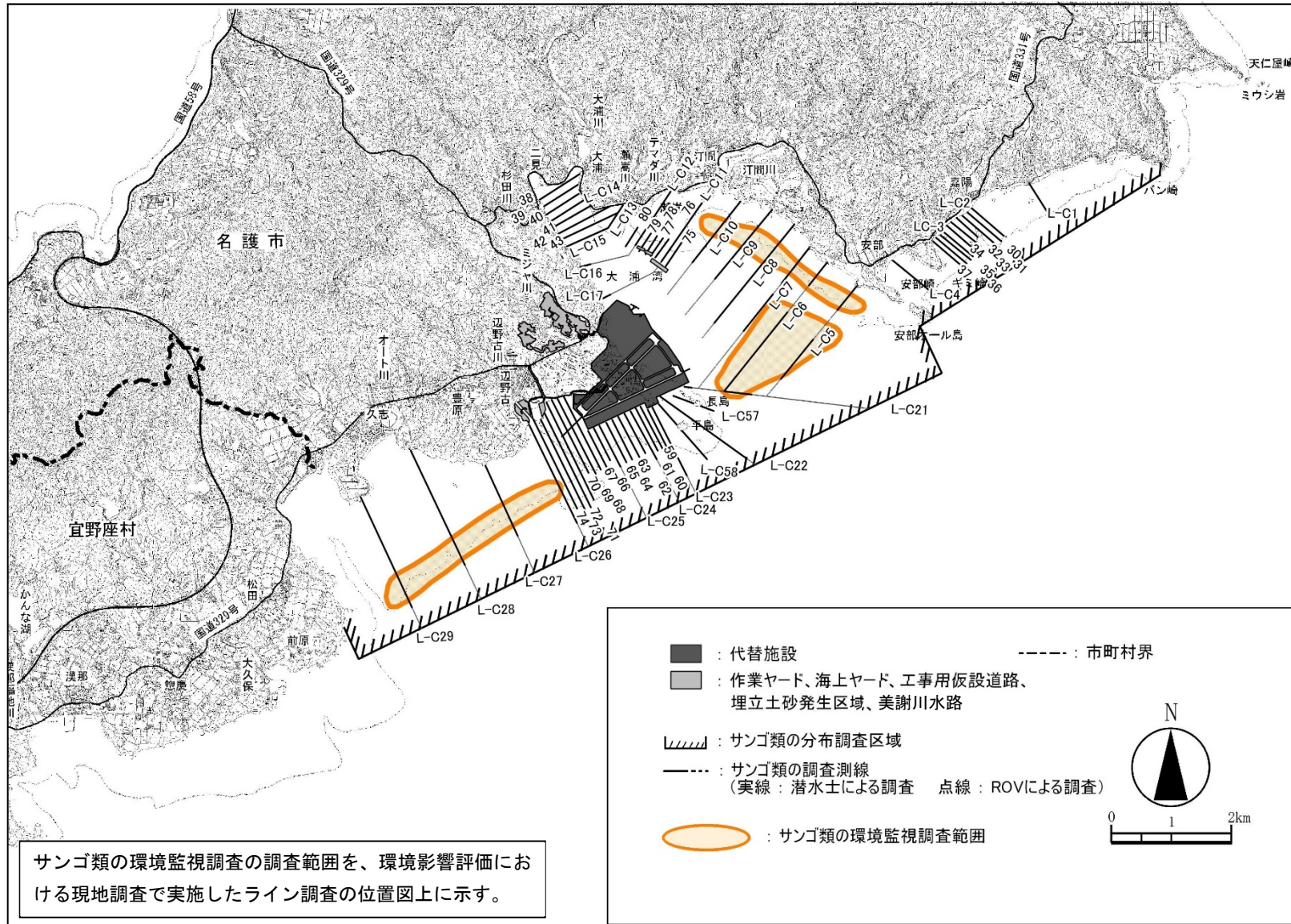


図-1.2.6.1 サンゴ類の環境監視調査範囲

1.2.7 海藻草類（全域の状況監視）

(1) 調査項目

調査項目は海藻草類の生育被度、生育状況等及びクビレミドロの生育状況等としました。

(2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.7.1 に示すとおりです。海藻草類は図-1.2.7.1 に示す範囲において、繁茂期及び衰退期の年2回実施しました。クビレミドロは繁茂期である春季とし、干潟上の生育状況の把握に適した大潮期に2回実施しました。

表-1.2.7.1 調査実施日

調査項目	調査実施日
海藻草類の生育被度、 生育状況等	夏季：令和4年9月23～29日 冬季：令和5年2月6～13日
クビレミドロ生育状況等	春季：令和4年4月4、5、18日

(3) 調査地点・範囲

事後調査として実施するライン調査及びスポット調査を補完するため、図-1.2.7.1 に示す範囲で調査を実施しました。

(4) 調査方法

1) 海藻草類の生育被度、生育状況等

マンタ法により調査船に曳航された潜水調査員が海底を目視観察し、海藻草類の生育被度、生育状況等を記録しました。

2) クビレミドロ生育状況等

既往調査においてクビレミドロが生育しているとされている範囲を踏査により目視観察し、クビレミドロの生育範囲、生育被度を記録しました。

第 2 章 環境監視調査の結果

2.1 大気質

2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

(1) 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度の状況

カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和4年度春季から冬季の二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度は、表-2.1.1.1～表-2.1.1.4に示すとおりです。

二酸化窒素の日平均値は0.000～0.005ppm、二酸化硫黄の日平均値は0.000～0.001ppm、1時間値は0.000～0.002ppm、浮遊粒子状物質の日平均値は0.003～0.026mg/m³、1時間値は0.005～0.049mg/m³の範囲で推移していました。

また、二酸化窒素及び二酸化硫黄の濃度は、環境監視基準と比較して低濃度であり、地点別ともに大きな変動はみられませんでした。

浮遊粒子状物質の濃度は、環境監視基準（日平均値は0.10mg/m³以下、1時間値は0.20mg/m³以下）の約1/4の濃度でした。

表-2. 1. 1. 1 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和4年度春季）

物質	地点名	区分	令和4年度春季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04~0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	AT-1	日平均値	0.019	0.021	0.025	0.009	0.014	0.012	0.010		0.016
1時間値			0.026	0.031	0.038	0.020	0.029	0.016	0.017	0.025		
適否			○	○	○	○	○	○	○	○		
AT-2		日平均値	0.017	0.021	0.023	0.008	0.014	0.010	0.009	0.015	100	
		1時間値	0.024	0.030	0.031	0.017	0.018	0.014	0.014	0.021		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
AT-3		日平均値	0.016	0.021	0.024	0.012	0.020	0.013	0.013	0.017	100	
		1時間値	0.032	0.040	0.036	0.029	0.038	0.033	0.021	0.033		
AT-8		日平均値	0.014	0.020	0.020	0.010	0.013	0.011	0.011	0.014	100	
		1時間値	0.026	0.039	0.036	0.028	0.027	0.023	0.020	0.028		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2. 1. 1. 2 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和4年度夏季）

物質	地点名	区分	令和4年度夏季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月20日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.003	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.002	0.005	0.004	0.003	0.003	0.003	0.004	0.003		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		1時間値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		1時間値	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000		
	AT-8	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		1時間値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	AT-1	日平均値	0.010	0.015	0.015	0.026	0.026	0.019	0.015		
1時間値			0.032	0.038	0.032	0.041	0.039	0.037	0.031	0.036		
適否			○	○	○	○	○	○	○	○		
AT-2		日平均値	0.008	0.013	0.013	0.016	0.016	0.012	0.009	0.012		
		1時間値	0.014	0.021	0.021	0.021	0.025	0.016	0.013	0.019		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
AT-3		日平均値	0.010	0.011	0.011	0.013	0.015	0.011	0.009	0.011		
		1時間値	0.031	0.033	0.027	0.044	0.039	0.028	0.020	0.032		
AT-8		日平均値	0.009	0.013	0.014	0.016	0.018	0.014	0.009	0.013		
		1時間値	0.016	0.020	0.025	0.025	0.027	0.022	0.014	0.021		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2. 1. 1. 3 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和4年度秋季）

物質	地点名	区分	令和4年度秋季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.003	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	1日平均値が0.04~0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	AT-1	日平均値	0.026	0.019	0.025	0.022	0.015	0.014	0.021		0.020
1時間値			0.049	0.031	0.044	0.042	0.035	0.044	0.039	0.041		
適否			○	○	○	○	○	○	○	○	—	
AT-2		日平均値	0.023	0.020	0.021	0.023	0.015	0.016	0.022	0.020	100	
		1時間値	0.034	0.039	0.040	0.035	0.043	0.046	0.044	0.040		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
AT-3		日平均値	0.020	0.014	0.019	0.017	0.011	0.013	0.021	0.016	100	
		1時間値	0.026	0.019	0.025	0.022	0.018	0.020	0.030	0.023		
AT-8		日平均値	0.019	0.015	0.019	0.016	0.010	0.010	0.018	0.015	100	
		1時間値	0.029	0.022	0.024	0.019	0.015	0.016	0.027	0.021		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2. 1. 1. 4 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和4年度冬季）

物質	地点名	区分	令和4年度冬季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日	1月29日	1月30日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下であること	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
	AT-8	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	AT-1	日平均値	0.009	0.003	0.005	0.010	0.005	0.005	0.012		0.007
1時間値			0.017	0.005	0.013	0.023	0.010	0.009	0.024	0.015		
適否			○	○	○	○	○	○	○	○		
AT-2		日平均値	0.012	0.008	0.010	0.012	0.011	0.010	0.010	0.010	100	
		1時間値	0.034	0.024	0.028	0.033	0.024	0.029	0.037	0.030		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
AT-3		日平均値	0.010	0.004	0.005	0.011	0.006	0.006	0.012	0.008	100	
		1時間値	0.023	0.008	0.012	0.027	0.012	0.011	0.016	0.016		
AT-8		日平均値	0.012	0.007	0.011	0.017	0.008	0.007	0.011	0.010	100	
		1時間値	0.027	0.023	0.024	0.044	0.024	0.021	0.029	0.027		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

(2) 気象の状況

1) 風向・風速

大気質調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和4年度春季から冬季の風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.1.1.5及び図-2.1.1.1～図-2.1.1.4に示すとおりです。

令和4年度春季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)で東南東寄り、大浦集落(AT-2)で北西寄り、二見集落(AT-3)で北寄り、辺野古集落(AT-8)で南南東寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、静穏率(Calm)の割合が他の地点と比較して高くなっていました。風速については、カヌチャリゾート(AT-1)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和4年度夏季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、辺野古集落(AT-8)で南寄り、二見集落(AT-3)で南東寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)が最も高くなっていました。風速については、カヌチャリゾート(AT-1)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和4年度秋季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)で東寄り、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)で北寄りの風が卓越していました。風速については、大浦集落(AT-2)が他の地点と比較して速くなっていました。

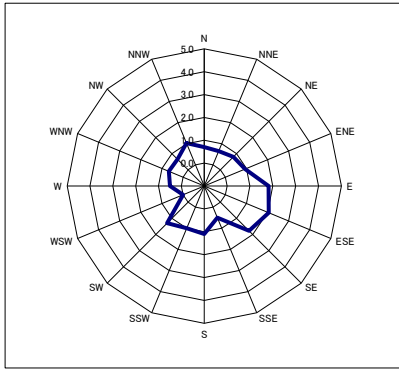
令和4年度冬季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)、辺野古集落(AT-8)で北北西寄り、大浦集落(AT-2)で北寄り、二見集落(AT-3)で東寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)が最も高くなっていました。風速については、大浦集落(AT-2)が他の地点と比較して速くなっていました。

表-2.1.1.5 風向・風速の調査結果一覧

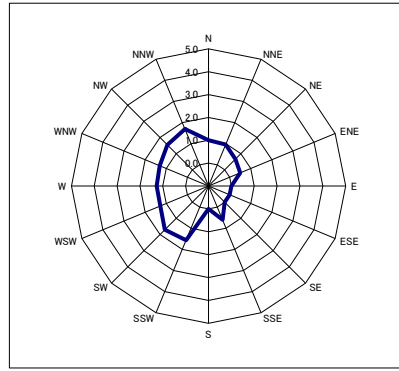
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	AT-1	AT-2	AT-3	AT-8
R4年度春季	最多風向	ESE	NW	N	SSE
	平均風速	1.7	1.4	1.5	1.3
R4年度夏季	最多風向	S	S	SE	S
	平均風速	2.1	1.5	0.9	1.2
R4年度秋季	最多風向	E	N	N	N
	平均風速	2.0	2.6	2.3	1.5
R4年度冬季	最多風向	NNW	N	E	NNW
	平均風速	1.9	2.1	1.3	1.6

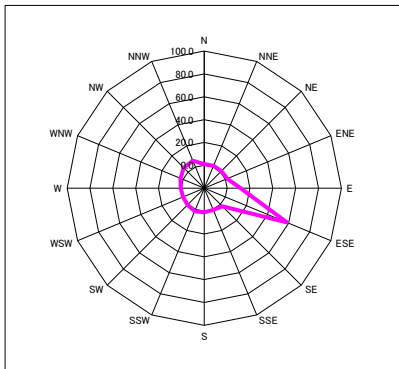
注) 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。



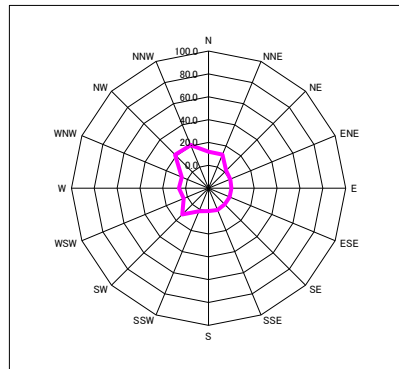
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.7
NE	0.8
ENE	0.9
E	1.8
ESE	2.1
SE	1.8
SSE	0.5
S	1.1
SSW	1.0
SW	1.3
WSW	0.0
W	0.5
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	1.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.0
NE	0.7
ENE	0.5
E	0.0
ESE	0.0
SE	0.0
SSE	0.6
S	0.0
SSW	1.6
SW	1.7
WSW	1.3
W	1.3
WNW	1.3
NW	1.5
NNW	1.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.2
NNE	1.2
NE	1.2
ENE	1.8
E	11.9
ESE	58.3
SE	2.4
SSE	0.6
S	1.2
SSW	1.8
SW	0.6
WSW	0.0
W	0.6
WNW	2.4
NW	5.4
NNW	6.0
calm	3.6



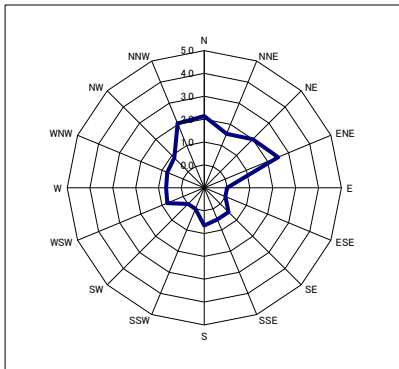
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	11.9
NNE	11.9
NE	1.8
ENE	0.6
E	0.0
ESE	0.0
SE	0.0
SSE	0.6
S	0.0
SSW	1.8
SW	12.5
WSW	3.6
W	6.0
WNW	5.4
NW	21.4
NNW	20.8
calm	1.8

観測期間: 令和4年4月7日~4月13日

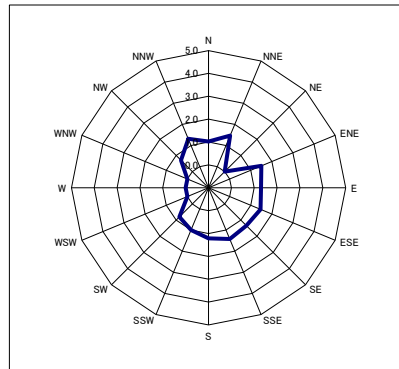
カヌチャリゾート(AT-1)

観測期間: 令和4年4月7日~4月13日

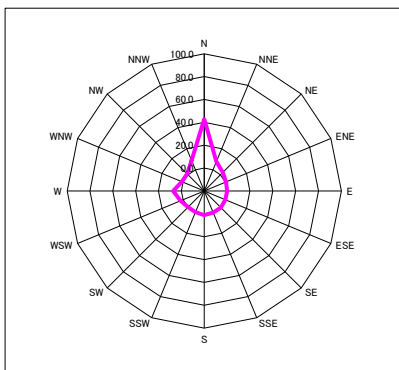
大浦集落(AT-2)



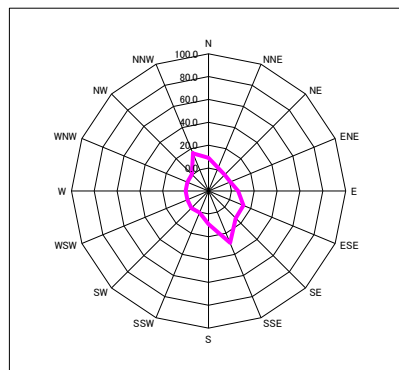
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	2.1
NNE	1.6
NE	2.0
ENE	2.5
E	0.0
ESE	0.0
SE	0.5
SSE	0.5
S	0.7
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.8
W	0.7
WNW	0.8
NW	0.9
NNW	2.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.5
NE	0.0
ENE	1.5
E	1.3
ESE	1.5
SE	1.3
SSE	1.4
S	1.2
SSW	1.0
SW	0.8
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.7
NNW	1.3



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	42.9
NNE	7.7
NE	3.0
ENE	0.6
E	0.0
ESE	0.0
SE	0.6
SSE	0.6
S	1.2
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	2.4
W	7.1
WNW	1.2
NW	1.2
NNW	8.9
calm	22.6



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	8.9
NNE	1.8
NE	0.0
ENE	0.6
E	6.0
ESE	13.1
SE	13.7
SSE	29.2
S	8.9
SSW	0.6
SW	1.2
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.6
NNW	15.5
calm	0.0

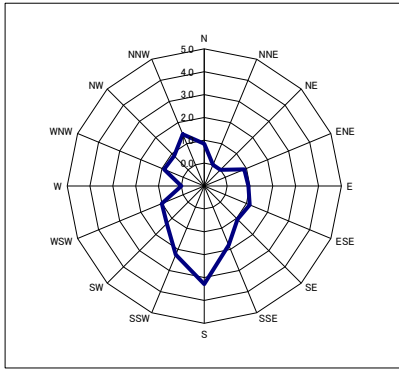
観測期間: 令和4年4月7日~4月13日

二見集落(AT-3)

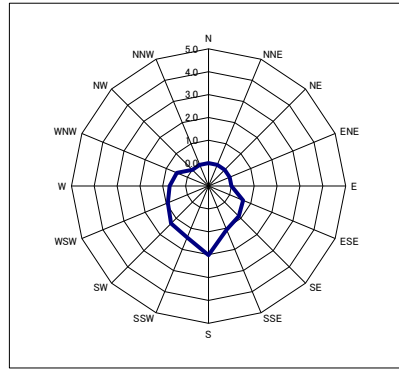
観測期間: 令和4年4月7日~4月13日

辺野古集落(AT-8)

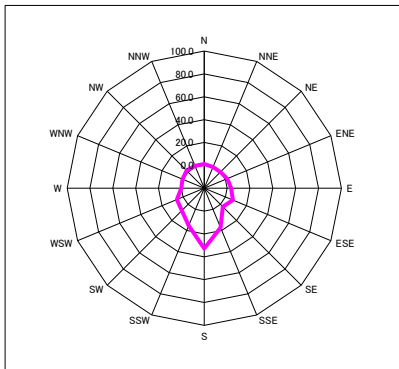
図-2.1.1.1 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度春季)



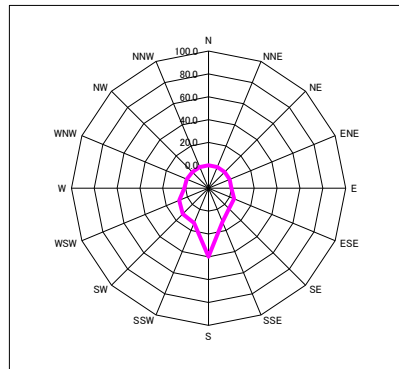
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	0.9
E	0.9
ESE	1.2
SE	1.1
SSE	1.8
S	3.3
SSW	2.3
SW	1.3
WSW	1.0
W	0.0
WNW	0.9
NW	0.9
NNW	1.5



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.0
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	0.0
E	0.0
ESE	0.6
SE	0.9
SSE	1.1
S	2.0
SSW	1.4
SW	1.3
WSW	0.9
W	0.7
WNW	0.5
NW	0.0
NNW	0.0



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.2
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	1.8
E	3.6
ESE	7.1
SE	3.0
SSE	17.3
S	32.7
SSW	15.5
SW	7.7
WSW	6.0
W	0.0
WNW	0.6
NW	1.8
NNW	1.2
calm	0.6



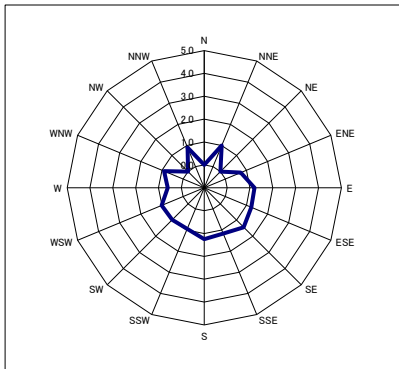
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.0
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	0.0
E	0.0
ESE	4.2
SE	5.4
SSE	11.9
S	39.9
SSW	13.1
SW	11.9
WSW	7.7
W	1.2
WNW	0.6
NW	0.0
NNW	0.0
calm	4.2

観測期間: 令和4年7月14日~4月20日

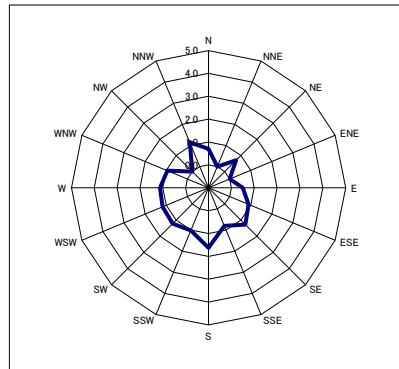
カヌチャリゾート(AT-1)

観測期間: 令和4年7月14日~7月20日

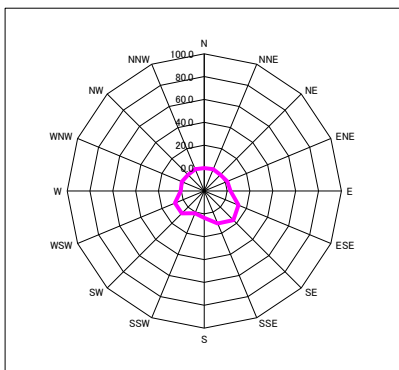
大浦集落(AT-2)



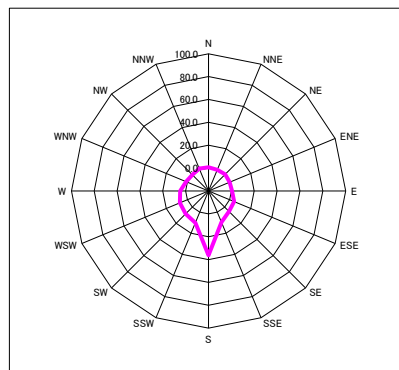
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.0
NNE	1.0
NE	0.0
ENE	0.7
E	1.2
ESE	1.2
SE	1.4
SSE	1.2
S	1.3
SSW	1.0
SW	1.0
WSW	1.0
W	0.6
WNW	0.9
NW	0.0
NNW	0.9



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.0
NE	0.7
ENE	0.0
E	0.5
ESE	0.9
SE	1.3
SSE	0.8
S	1.6
SSW	1.0
SW	1.2
WSW	1.2
W	1.1
WNW	1.0
NW	0.0
NNW	1.2



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.0
NNE	0.6
NE	0.0
ENE	1.8
E	3.0
ESE	12.5
SE	16.1
SSE	10.7
S	3.6
SSW	1.2
SW	7.7
WSW	7.7
W	0.6
WNW	1.2
NW	0.0
NNW	0.6
calm	32.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.6
NNE	0.0
NE	0.6
ENE	0.0
E	0.6
ESE	4.2
SE	5.4
SSE	9.5
S	36.3
SSW	10.1
SW	8.3
WSW	7.1
W	4.8
WNW	1.2
NW	0.0
NNW	1.2
calm	10.1

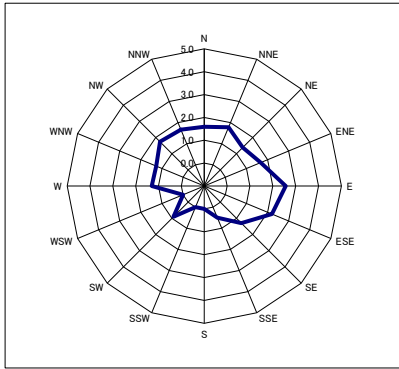
観測期間: 令和4年7月14日~7月20日

二見集落(AT-3)

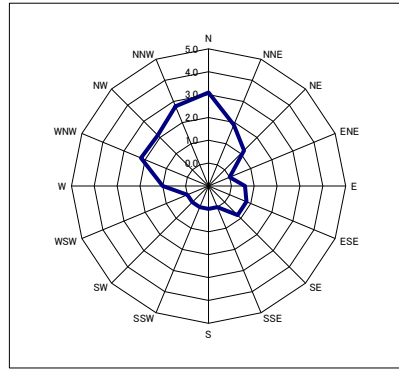
観測期間: 令和4年7月14日~7月20日

辺野古集落(AT-8)

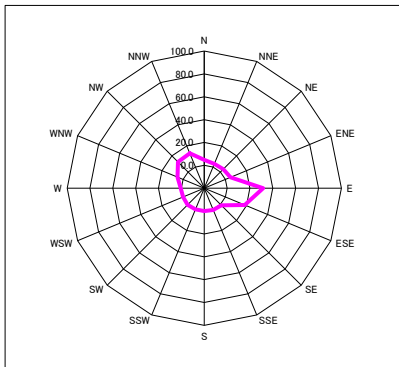
図-2. 1. 1. 2 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度夏季)



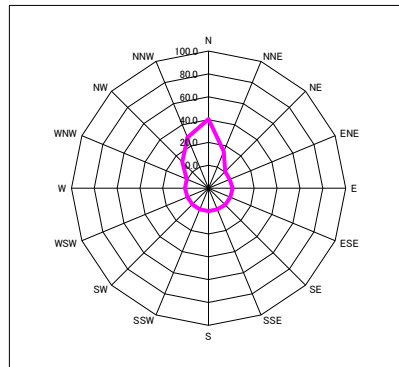
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.6
NNE	1.8
NE	1.4
ENE	1.7
E	2.6
ESE	2.2
SE	1.3
SSE	0.5
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.9
WSW	0.0
W	1.3
WNW	1.3
NW	1.7
NNW	1.7



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	3.1
NNE	1.8
NE	1.2
ENE	0.0
E	0.6
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	1.0
WNW	2.2
NW	2.1
NNW	2.8



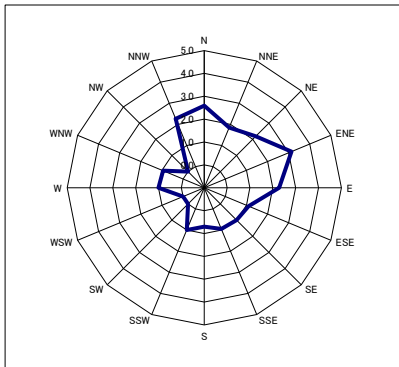
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.8
NNE	3.0
NE	3.6
ENE	4.8
E	31.5
ESE	18.5
SE	1.2
SSE	0.6
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.6
WSW	0.0
W	0.6
WNW	5.4
NW	12.5
NNW	13.1
calm	0.0



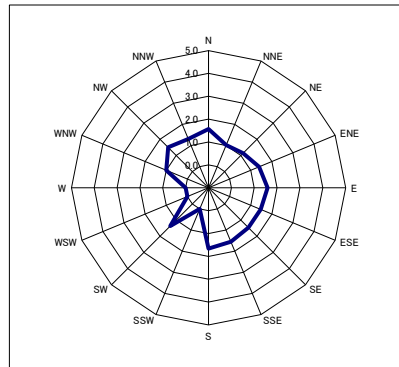
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	40.5
NNE	14.9
NE	0.6
ENE	0.0
E	1.2
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.6
WNW	0.6
NW	12.5
NNW	28.0
calm	0.0

観測期間: 令和4年10月13日~10月19日
カヌチャリゾート(AT-1)

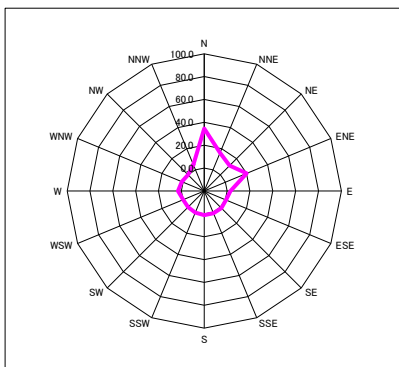
観測期間: 令和4年10月13日~10月19日
大浦集落(AT-2)



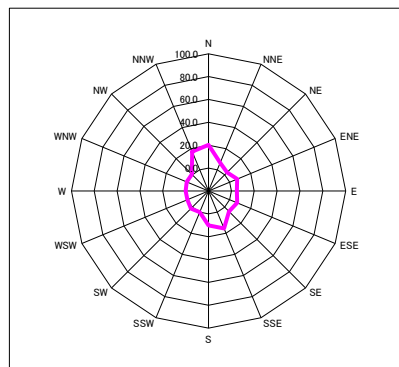
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	2.6
NNE	1.8
NE	2.2
ENE	3.1
E	2.3
ESE	1.1
SE	1.0
SSE	1.0
S	0.7
SSW	1.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	1.0
WNW	1.0
NW	0.0
NNW	2.3



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.6
NNE	1.0
NE	1.1
ENE	1.4
E	1.6
ESE	1.5
SE	1.5
SSE	1.6
S	1.7
SSW	0.0
SW	1.4
WSW	0.0
W	0.0
WNW	1.0
NW	1.5
NNW	1.3



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	34.5
NNE	16.1
NE	11.3
ENE	20.2
E	3.0
ESE	0.6
SE	1.2
SSE	1.2
S	1.2
SSW	0.6
SW	0.0
WSW	0.0
W	3.0
WNW	1.2
NW	0.0
NNW	4.8
calm	1.2

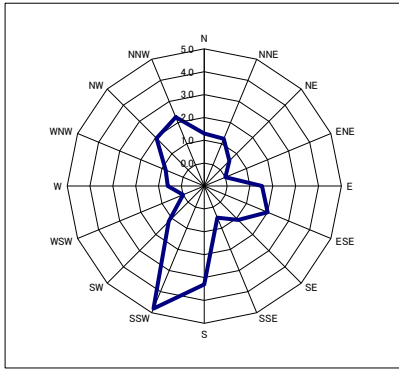


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	20.2
NNE	6.5
NE	3.0
ENE	7.1
E	4.8
ESE	7.1
SE	5.4
SSE	15.5
S	10.1
SSW	0.0
SW	1.8
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	17.3
calm	0.0

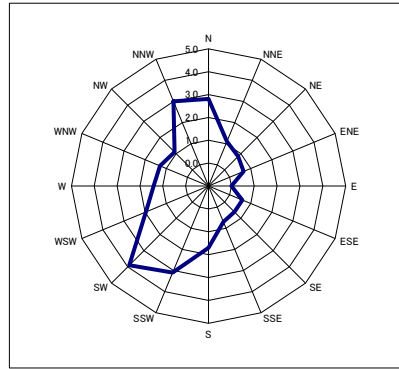
観測期間: 令和4年10月13日~10月19日
二見集落(AT-3)

観測期間: 令和4年10月13日~10月19日
辺野古集落(AT-8)

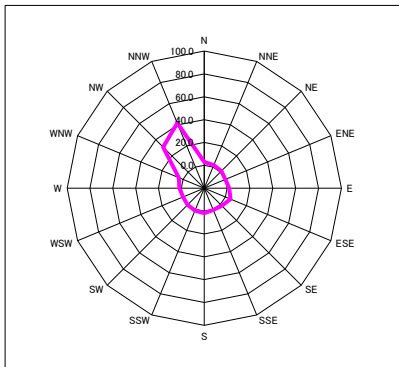
図-2. 1. 1. 3 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度秋季)



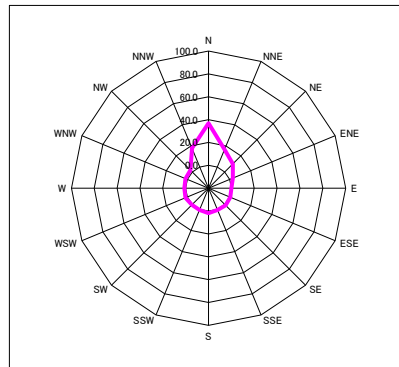
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.3
NNE	1.2
NE	0.6
ENE	0.0
E	1.5
ESE	2.0
SE	1.1
SSE	0.5
S	3.3
SSW	4.8
SW	1.2
WSW	0.0
W	0.6
WNW	0.8
NW	2.0
NNW	2.3



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	2.8
NNE	1.1
NE	0.8
ENE	0.7
E	0.0
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.7
S	1.7
SSW	3.1
SW	3.9
WSW	2.0
W	1.4
WNW	1.3
NW	1.1
NNW	3.0



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.0
NNE	1.8
NE	1.2
ENE	0.0
E	1.8
ESE	4.8
SE	1.8
SSE	0.6
S	1.8
SSW	1.2
SW	0.6
WSW	0.0
W	1.8
WNW	4.2
NW	31.0
NNW	41.7
calm	3.0



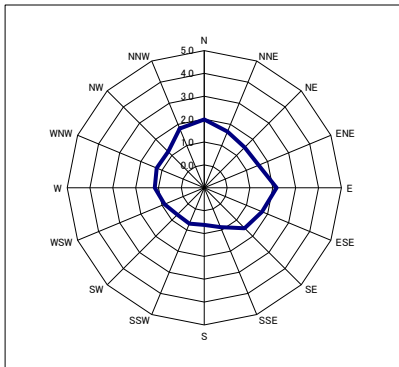
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	36.9
NNE	16.7
NE	10.1
ENE	3.0
E	0.0
ESE	0.6
SE	1.2
SSE	0.6
S	1.8
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	1.8
W	1.2
WNW	1.8
NW	2.4
NNW	17.9
calm	3.0

観測期間: 令和5年1月24日~1月30日

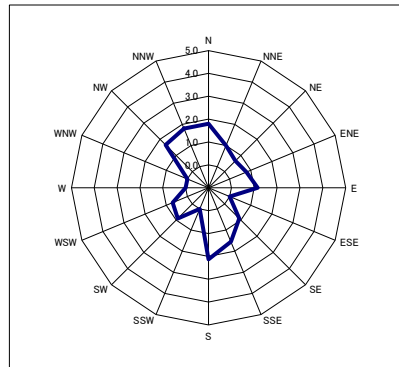
カヌチャリゾート(AT-1)

観測期間: 令和5年1月24日~1月30日

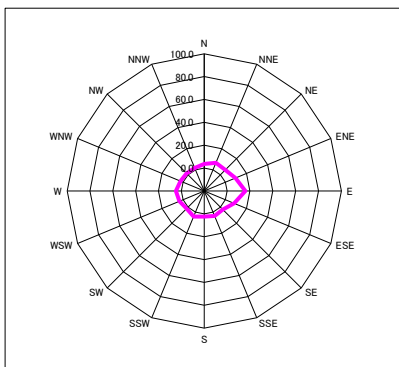
大浦集落(AT-2)



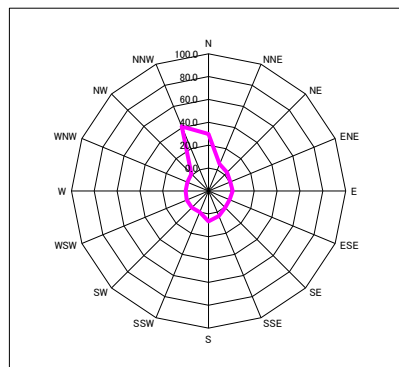
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	2.0
NNE	1.7
NE	1.5
ENE	1.6
E	2.2
ESE	1.7
SE	1.5
SSE	0.9
S	0.6
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.9
W	1.2
WNW	1.3
NW	1.2
NNW	1.8



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.8
NNE	1.0
NE	0.7
ENE	0.8
E	1.2
ESE	0.0
SE	0.9
SSE	1.6
S	2.1
SSW	0.0
SW	0.9
WSW	0.7
W	0.0
WNW	0.0
NW	1.7
NNW	1.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.6
NNE	6.5
NE	6.0
ENE	9.5
E	16.1
ESE	8.3
SE	3.0
SSE	3.6
S	2.4
SSW	4.2
SW	1.8
WSW	3.6
W	4.8
WNW	2.4
NW	1.8
NNW	1.8
calm	20.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	29.8
NNE	5.4
NE	3.0
ENE	0.6
E	1.2
ESE	0.0
SE	0.6
SSE	3.6
S	6.5
SSW	0.0
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.0
WNW	0.0
NW	1.2
NNW	41.1
calm	6.0

観測期間: 令和5年1月24日~1月30日

二見集落(AT-3)

観測期間: 令和5年1月24日~1月30日

辺野古集落(AT-8)

図-2.1.1.4 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度冬季)

2) 気温・湿度

大気質調査と並行して、気温・湿度の観測を行っており、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和4年度春季から冬季の気温調査結果一覧は表-2.1.1.6に、湿度調査結果一覧は表-2.1.1.7に示すとおりです。

令和4年度春季の平均気温は17.7～24.7℃、夏季は28.3～31.0℃、秋季は20.7～29.1℃、冬季は10.2～16.3℃の範囲となっており、夏季と冬季との平均気温差は約17℃でした。

令和4年度春季の平均湿度は63～92%、夏季は75～94%、秋季は69～91%、冬季は58～81%の範囲となっており、夏季に湿度が高くなる傾向がみられました。

表-2.1.1.6 気温の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和4年度春季						期間	
			4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日		4月13日
気温 (°C)	AT-1	日平均値	19.1	20.0	21.1	22.8	23.4	23.7	23.5	21.9
		日最高値	24.0	24.6	24.7	25.5	27.2	28.2	27.2	28.2
		日最低値	15.6	15.8	17.6	21.2	21.9	21.6	21.5	15.6
	AT-2	日平均値	17.8	18.9	19.9	22.8	23.6	23.7	23.1	21.4
		日最高値	22.9	23.9	24.5	25.8	26.1	26.5	26.0	26.5
		日最低値	14.0	14.1	15.5	19.9	22.3	21.1	20.7	14.0
	AT-3	日平均値	17.7	18.6	19.8	23.0	23.3	23.7	23.3	21.3
		日最高値	23.9	24.4	24.8	25.8	25.5	27.3	26.9	27.3
		日最低値	13.1	13.4	14.5	21.0	21.9	21.2	21.2	13.1
	AT-8	日平均値	18.5	19.7	21.2	24.1	24.5	24.7	24.6	22.5
		日最高値	24.6	25.8	25.9	27.5	27.9	27.8	28.1	28.1
		日最低値	13.5	13.8	15.0	21.7	22.5	21.5	21.8	13.5

項目	地点名	区分	令和4年度夏季						期間	
			7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日		7月20日
気温 (°C)	AT-1	日平均値	29.9	30.0	28.9	28.6	28.5	29.2	29.9	29.3
		日最高値	32.7	33.5	31.6	31.2	30.9	31.6	32.9	33.5
		日最低値	27.7	27.7	27.5	26.6	26.6	27.7	27.8	26.6
	AT-2	日平均値	29.3	29.3	29.2	28.7	29.2	29.8	30.0	29.4
		日最高値	33.2	32.3	30.7	31.9	31.5	32.5	33.1	33.2
		日最低値	25.9	26.7	27.8	25.8	26.9	28.0	27.2	25.8
	AT-3	日平均値	29.1	29.6	28.8	28.3	28.7	29.5	29.8	29.1
		日最高値	32.7	32.9	30.9	31.8	31.6	32.3	33.0	33.0
		日最低値	25.7	27.1	27.3	25.3	26.6	27.3	27.2	25.3
	AT-8	日平均値	30.1	30.6	29.9	29.4	29.9	30.7	31.0	30.2
		日最高値	34.6	34.8	32.4	32.9	32.7	33.6	34.8	34.8
		日最低値	25.9	26.8	27.9	25.4	27.2	28.5	27.5	25.4

項目	地点名	区分	令和4年度秋季						期間	
			10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日		10月19日
気温 (°C)	AT-1	日平均値	26.7	27.3	27.8	28.0	26.3	20.8	22.7	25.7
		日最高値	30.3	30.8	30.4	30.4	29.2	22.8	24.5	30.8
		日最低値	24.0	24.6	26.4	27.0	22.7	18.9	20.7	18.9
	AT-2	日平均値	26.6	27.4	27.8	28.0	26.2	21.2	23.3	25.8
		日最高値	29.2	30.8	30.3	30.4	28.1	23.3	24.7	30.8
		日最低値	23.9	25.2	26.5	26.9	23.3	19.4	22.2	19.4
	AT-3	日平均値	26.6	27.3	27.5	27.9	26.1	20.7	22.8	25.6
		日最高値	29.3	29.7	29.6	30.2	28.1	22.8	23.8	30.2
		日最低値	24.3	25.1	26.4	26.9	23.0	19.1	21.3	19.1
	AT-8	日平均値	27.2	28.1	28.7	29.1	26.8	21.3	23.3	26.4
		日最高値	31.0	31.5	31.6	32.5	29.8	23.2	24.5	32.5
		日最低値	24.1	25.2	26.8	27.3	23.1	19.5	21.8	19.5

項目	地点名	区分	令和4年度冬季						期間	
			1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日	1月29日		1月30日
気温 (°C)	AT-1	日平均値	12.8	10.8	16.3	14.0	11.7	12.8	13.0	13.0
		日最高値	18.5	15.1	19.9	18.4	15.3	16.9	17.6	19.9
		日最低値	7.3	6.8	11.7	10.6	9.4	9.0	10.2	6.8
	AT-2	日平均値	13.4	10.7	14.7	14.4	11.8	11.7	12.1	12.7
		日最高値	18.9	13.9	19.9	17.9	14.5	16.0	16.8	19.9
		日最低値	8.0	7.8	9.6	11.4	9.6	8.7	8.8	7.8
	AT-3	日平均値	12.9	10.2	14.3	13.7	11.5	12.1	12.2	12.4
		日最高値	18.6	13.2	19.6	15.7	15.0	15.9	16.2	19.6
		日最低値	7.8	7.2	8.9	10.6	9.0	9.2	8.8	7.2
	AT-8	日平均値	13.1	10.8	15.9	14.3	11.5	11.7	12.1	12.8
		日最高値	18.9	14.5	21.2	18.0	15.0	16.6	17.8	21.2
		日最低値	7.6	7.1	9.3	10.3	9.0	8.1	8.1	7.1

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

表-2.1.1.7 湿度の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和4年度春季						期間	
			4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日		4月13日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	63	67	70	87	91	83	84	78
		日最高値	76	82	84	97	99	95	92	99
		日最低値	45	53	53	77	76	64	70	45
	AT-2	日平均値	73	75	78	88	91	85	87	82
		日最高値	91	95	94	95	99	95	96	99
		日最低値	50	52	51	77	78	71	77	50
	AT-3	日平均値	74	76	78	88	92	84	85	82
		日最高値	94	95	96	95	99	95	94	99
		日最低値	48	52	60	78	81	71	73	48
	AT-8	日平均値	67	70	70	80	84	78	77	75
		日最高値	89	93	93	88	95	93	89	95
		日最低値	40	46	48	69	69	64	63	40

項目	地点名	区分	令和4年度夏季						期間	
			7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日		7月20日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	82	81	90	92	91	89	84	87
		日最高値	92	94	97	98	99	97	95	99
		日最低値	66	65	75	82	81	76	71	65
	AT-2	日平均値	84	85	88	91	87	86	83	86
		日最高値	97	96	94	99	99	95	95	99
		日最低値	63	70	80	79	74	71	65	63
	AT-3	日平均値	82	84	90	94	92	88	84	88
		日最高値	94	95	98	99	99	98	98	99
		日最低値	66	66	81	79	76	73	67	66
	AT-8	日平均値	77	75	82	86	82	79	76	80
		日最高値	93	94	93	93	97	89	90	97
		日最低値	56	54	71	71	67	63	55	54

項目	地点名	区分	令和4年度秋季						期間	
			10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日		10月19日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	76	86	86	81	87	91	76	83
		日最高値	87	99	97	87	99	99	84	99
		日最低値	60	70	74	73	75	79	70	60
	AT-2	日平均値	75	82	84	80	86	87	71	81
		日最高値	81	91	93	85	98	95	83	98
		日最低値	61	70	72	71	77	76	65	61
	AT-3	日平均値	75	83	86	82	87	91	74	83
		日最高値	81	93	96	86	99	99	82	99
		日最低値	61	73	74	74	79	81	70	61
	AT-8	日平均値	71	79	80	75	81	85	69	77
		日最高値	78	91	91	84	95	94	77	95
		日最低値	53	62	66	62	70	72	64	53

項目	地点名	区分	令和4年度冬季						期間	
			1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日	1月29日		1月30日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	81	75	64	73	64	62	58	68
		日最高値	97	94	78	97	89	85	69	97
		日最低値	65	58	52	53	54	45	43	43
	AT-2	日平均値	79	79	78	71	66	74	72	74
		日最高値	94	93	96	94	89	93	90	96
		日最低値	61	60	56	53	51	46	44	44
	AT-3	日平均値	79	81	81	75	67	68	69	74
		日最高値	93	96	97	98	90	86	87	98
		日最低値	62	64	56	58	55	47	43	43
	AT-8	日平均値	77	74	66	69	65	69	67	70
		日最高値	91	90	89	92	88	90	88	92
		日最低値	60	56	49	53	51	41	37	37

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

2.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

(1) 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度の状況

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和4年度春季から冬季の二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度は、表-2.1.2.1～表-2.1.2.4に示すとおりです。

二酸化窒素の日平均値は0.001～0.007ppm、二酸化硫黄の日平均値は0.000～0.001ppm、1時間値は0.000～0.005ppm、浮遊粒子状物質の日平均値は0.007～0.027mg/m³、1時間値は0.012～0.051mg/m³の範囲で推移していました。

また、二酸化窒素及び二酸化硫黄の濃度は、環境監視基準と比較して低濃度であり、季節別と地点別ともに大きな変動はみられませんでした。

浮遊粒子状物質の濃度は、環境監視基準(1日平均値は0.10mg/m³以下、1時間値は0.20mg/m³以下)の約1/4の濃度でした。

表-2.1.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和4年度春季)

物質	地点名	区分	令和4年度春季							平均	環境監視基準	達成率(%)
			4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.002	0.003	0.002	0.004	0.001	0.002	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.003	0.004	0.002	0.004	0.005	0.005	0.002	0.004		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	TN-11	日平均値	0.002	0.002	0.002	0.006	0.005	0.003	0.003	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	TN-11	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	TN-5	日平均値	0.013	0.015	0.012	0.015	0.014	0.012	0.011	0.013	1日平均値が0.10mg/m ³ 以下、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下	100
		1時間値	0.033	0.030	0.031	0.033	0.031	0.026	0.037	0.031		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.016	0.016	0.012	0.018	0.011	0.018	0.015	0.015		100
		1時間値	0.038	0.027	0.028	0.040	0.024	0.036	0.036	0.033		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	TN-11	日平均値	0.010	0.017	0.014	0.016	0.012	0.014	0.015	0.014		100
		1時間値	0.023	0.021	0.018	0.021	0.017	0.017	0.025	0.021		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としてあります。

表-2.1.2.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和4年度夏季)

物質	地点名	区分	令和4年度夏季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.001	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.002	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	TN-5	日平均値	0.013	0.015	0.012	0.015	0.022	0.027	0.018	0.017	1日平均値が0.10mg/m ³ 以下、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下	100
		1時間値	0.033	0.030	0.031	0.019	0.032	0.051	0.039	0.034		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.015	0.020	0.017	0.018	0.021	0.022	0.018	0.019		100
		1時間値	0.030	0.042	0.038	0.043	0.049	0.043	0.042	0.041		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.013	0.020	0.021	0.019	0.021	0.019	0.015	0.018		100
		1時間値	0.038	0.031	0.032	0.034	0.041	0.039	0.041	0.036		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.2.3 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和4年度秋季)

物質	地点名	区分	令和4年度秋季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.004	0.002	0.002	0.005	0.006	0.005	0.004	0.004		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	TN-5	日平均値	0.016	0.012	0.009	0.018	0.010	0.007	0.010	0.012	1日平均値が0.10mg/m ³ 以下、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下	100
		1時間値	0.025	0.044	0.026	0.030	0.014	0.012	0.013	0.023		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.017	0.009	0.011	0.021	0.013	0.009	0.011	0.013		100
		1時間値	0.024	0.024	0.029	0.037	0.020	0.016	0.017	0.024		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.023	0.013	0.011	0.019	0.015	0.011	0.012	0.015		100
		1時間値	0.035	0.037	0.027	0.036	0.037	0.028	0.027	0.032		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.2.4 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧
(令和4年度冬季)

物質	地点名	区分	令和4年度冬季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日			
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.004	0.004	0.004	0.002	0.002	0.002	0.005	0.003	1日平均値が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.004	0.007	0.005	0.004	0.002	0.003	0.005	0.004		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.005	0.004	0.004	0.004	0.001	0.001	0.003	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下	100
		1時間値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.005	0.001	0.001	0.001	0.002	0.000	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	TN-5	日平均値	0.010	0.014	0.015	0.012	0.016	0.017	0.013	0.014	1日平均値が0.10mg/m ³ 以下、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下	100
		1時間値	0.028	0.028	0.047	0.026	0.040	0.049	0.034	0.036		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-10	日平均値	0.010	0.016	0.014	0.014	0.018	0.013	0.008	0.013		100
		1時間値	0.022	0.044	0.047	0.030	0.047	0.036	0.023	0.036		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	TN-11	日平均値	0.017	0.016	0.015	0.015	0.022	0.017	0.008	0.016		100
		1時間値	0.045	0.026	0.020	0.018	0.030	0.034	0.017	0.027		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

(2) 気象の状況

1) 風向・風速

大気質調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和4年度春季から冬季の風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.1.2.5及び図-2.1.2.1～図-2.1.2.4に示すとおりです。

令和4年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で北北東寄り、世富慶集落(TN-10)で南東寄り、松田集落(TN-11)で東北東寄りの風が卓越し、世富慶集落(TN-10)では静穏率(Calm)の割合が他の地点よりも高くなっていました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で他の地点と比較して速くなっていました。

令和4年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で西寄り、世富慶集落(TN-10)で南東寄り、松田集落(TN-11)で西北西寄りの風が卓越し、世富慶集落(TN-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)が最も高くなっていました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、松田集落(TN-11)が世富慶集落(TN-10)と比較して速くなっていました。

令和4年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、松田集落(TN-11)で東寄り、世富慶集落(TN-10)で南南西寄りの風が卓越し、世富慶集落(TN-10)では静穏率(Calm)の割合が他の地点よりも高くなっていました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、松田集落(TN-11)が世富慶集落(TN-10)と比較して速くなっていました。

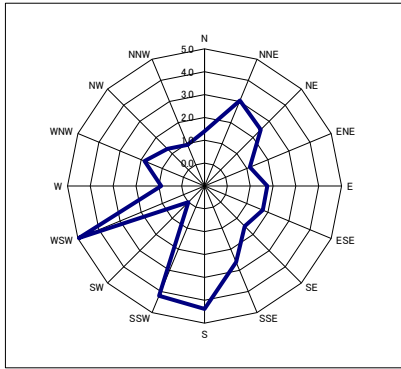
令和4年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で北東寄り、世富慶集落(TN-10)で南南東寄り、松田集落(TN-11)で東北東寄りの風が卓越し、世富慶集落(TN-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)が最も高くなっていました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

表-2.1.2.5 風向・風速の調査結果一覧

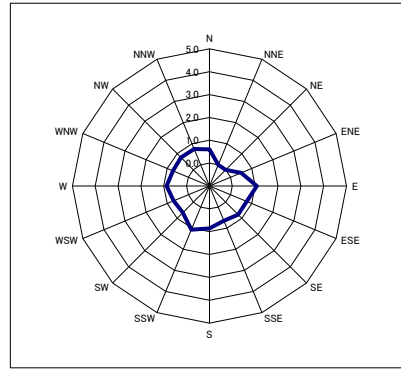
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	TN-5	TN-10	TN-11
R4年度春季	最多風向	NNE	SE	ENE
	平均風速	2.3	0.7	1.5
R4年度夏季	最多風向	W	SE	WNW
	平均風速	1.9	0.7	1.7
R4年度秋季	最多風向	E	SSW	E
	平均風速	3.3	0.8	3.0
R4年度冬季	最多風向	NE	SSE	ENE
	平均風速	2.3	0.7	1.6

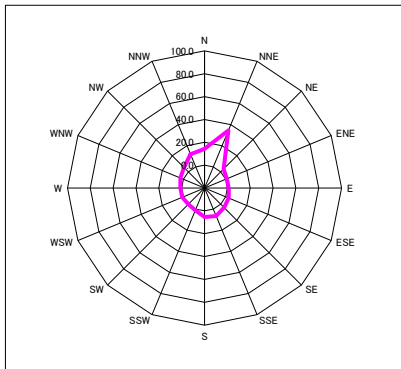
注) 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。



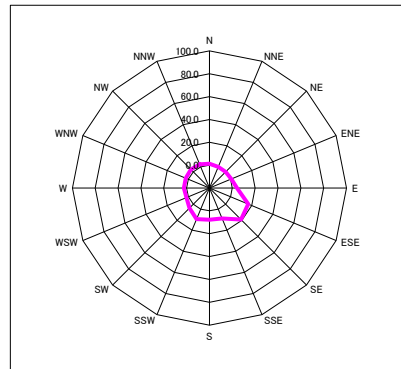
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.4
NNE	3.0
NE	2.5
ENE	1.2
E	1.8
ESE	1.8
SE	1.5
SSE	2.6
S	4.4
SSW	4.2
SW	0.0
WSW	5.0
W	0.9
WNW	1.8
NW	1.3
NNW	0.9



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	0.5
E	1.1
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.6
S	0.9
SSW	1.1
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.9
WNW	0.7
NW	0.8
NNW	0.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	14.3
NNE	34.5
NE	3.6
ENE	1.2
E	1.2
ESE	3.0
SE	4.2
SSE	6.5
S	5.4
SSW	1.2
SW	0.0
WSW	1.2
W	1.2
WNW	3.0
NW	5.4
NNW	11.9
calm	2.4



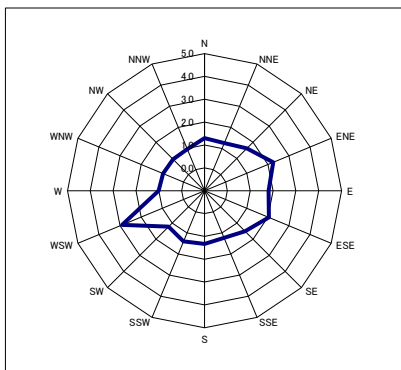
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.2
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	0.6
E	4.2
ESE	16.7
SE	19.0
SSE	8.9
S	7.7
SSW	9.5
SW	4.8
WSW	1.8
W	2.4
WNW	2.4
NW	3.0
NNW	2.4
calm	15.5

観測期間: 令和4年4月15日~4月21日

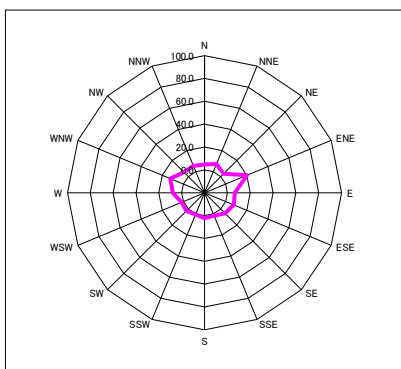
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間: 令和4年4月15日~4月21日

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.3
NNE	1.3
NE	1.6
ENE	2.3
E	1.8
ESE	2.0
SE	1.5
SSE	1.2
S	1.3
SSW	1.4
SW	1.2
WSW	2.9
W	1.0
WNW	1.0
NW	0.9
NNW	1.0

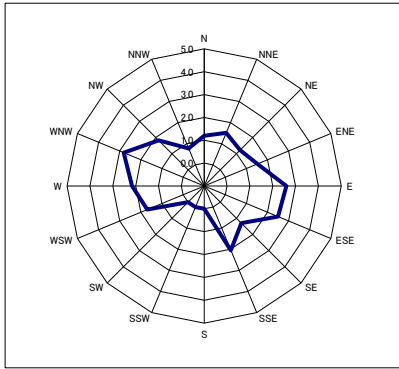


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.8
NNE	7.1
NE	3.6
ENE	20.2
E	6.5
ESE	7.7
SE	5.4
SSE	1.8
S	2.4
SSW	0.6
SW	2.4
WSW	1.8
W	7.7
WNW	12.5
NW	5.4
NNW	5.4
calm	4.8

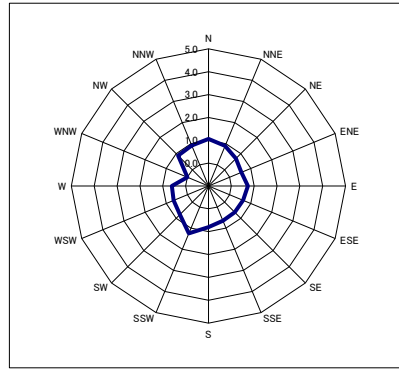
観測期間: 令和4年4月15日~4月21日

松田集落 (TN-11)

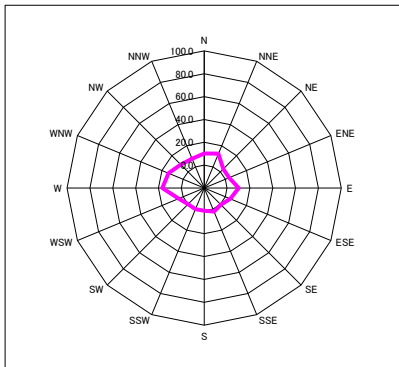
図-2.1.2.1 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度春季)



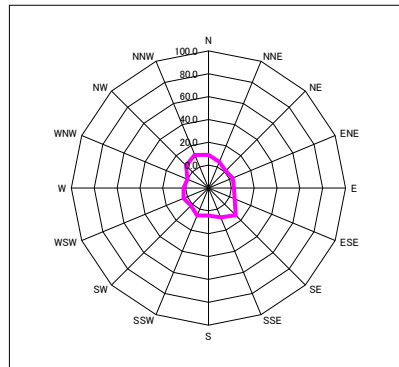
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.2
NNE	1.5
NE	1.2
ENE	1.5
E	2.6
ESE	2.5
SE	1.3
SSE	2.1
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	1.7
W	2.2
WNW	2.8
NW	1.8
NNW	0.8



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.1
NNE	0.9
NE	0.7
ENE	0.6
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.8
SSW	1.3
SW	0.8
WSW	0.7
W	0.6
WNW	0.0
NW	0.9
NNW	0.9



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	10.1
NNE	12.5
NE	3.6
ENE	3.6
E	10.1
ESE	4.8
SE	0.6
SSE	2.4
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	4.2
W	16.7
WNW	13.7
NW	8.9
NNW	7.7
calm	1.2



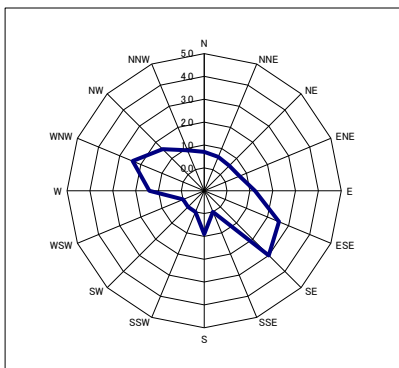
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	8.9
NNE	4.8
NE	1.2
ENE	3.0
E	2.4
ESE	4.8
SE	13.7
SSE	7.7
S	4.2
SSW	6.0
SW	1.8
WSW	3.6
W	1.8
WNW	0.0
NW	7.7
NNW	11.3
calm	17.3

観測期間: 令和4年7月22日~7月28日

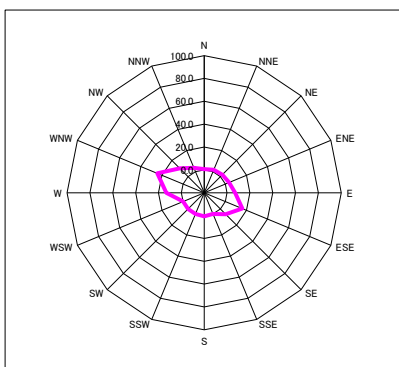
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間: 令和4年7月22日~7月28日

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.7
E	1.2
ESE	2.5
SE	3.0
SSE	0.0
S	0.9
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	1.4
WNW	2.4
NW	1.6
NNW	0.9

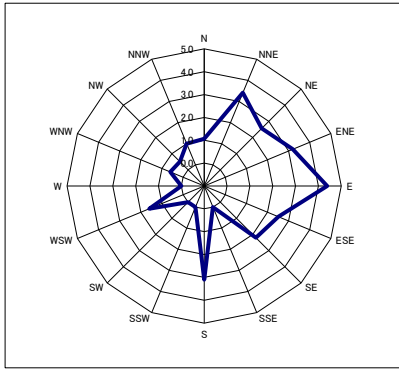


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.6
NNE	1.8
NE	2.4
ENE	3.6
E	7.1
ESE	16.1
SE	6.5
SSE	0.0
S	0.6
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	13.1
WNW	24.4
NW	10.1
NNW	3.6
calm	10.1

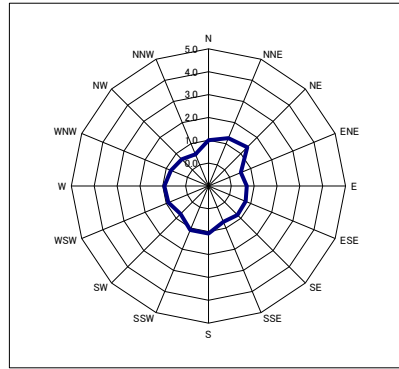
観測期間: 令和4年7月22日~7月28日

松田集落 (TN-11)

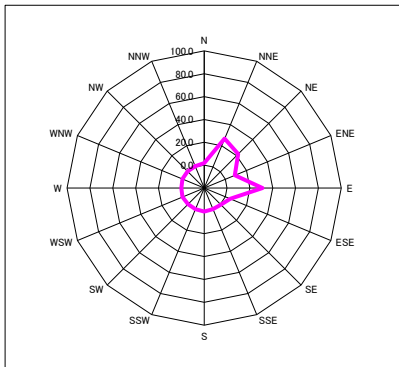
図-2.1.2.2 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度夏季)



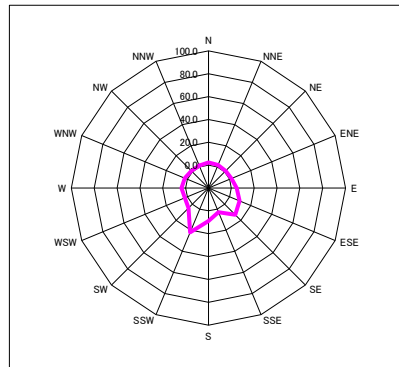
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.1
NNE	3.4
NE	2.6
ENE	3.2
E	4.4
ESE	2.5
SE	2.2
SSE	0.0
S	3.1
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	1.6
W	0.0
WNW	0.6
NW	0.5
NNW	1.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.3
NE	1.4
ENE	0.5
E	0.7
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.7
S	1.1
SSW	1.1
SW	0.7
WSW	0.9
W	0.9
WNW	0.8
NW	0.7
NNW	0.5



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.8
NNE	26.8
NE	22.0
ENE	8.9
E	31.0
ESE	4.8
SE	0.6
SSE	0.0
S	0.6
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.6
W	0.0
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6
calm	1.2



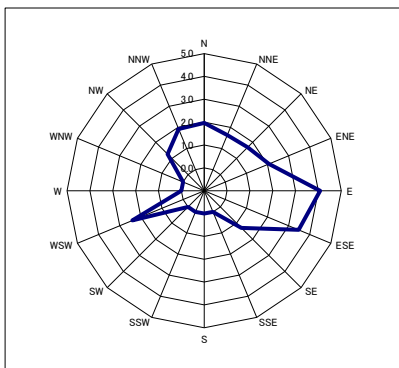
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	2.4
NNE	1.8
NE	1.2
ENE	1.8
E	4.8
ESE	9.5
SE	13.1
SSE	3.0
S	8.9
SSW	22.0
SW	4.8
WSW	2.4
W	3.6
WNW	2.4
NW	1.2
NNW	1.2
calm	16.1

観測期間: 令和4年10月21日~10月27日

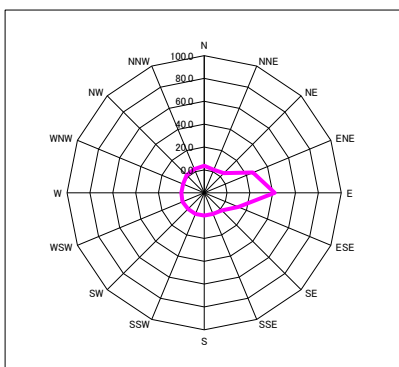
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間: 令和4年10月21日~10月27日

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	2.0
NNE	1.6
NE	1.7
ENE	2.1
E	4.1
ESE	3.5
SE	1.3
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	2.4
W	0.0
WNW	0.0
NW	1.3
NNW	1.9

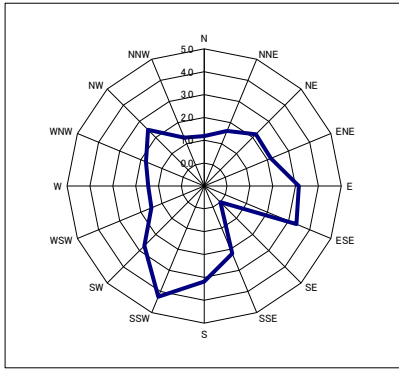


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.6
NNE	1.8
NE	4.2
ENE	26.2
E	41.7
ESE	12.5
SE	1.8
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.6
W	0.0
WNW	0.0
NW	1.8
NNW	2.4
calm	3.6

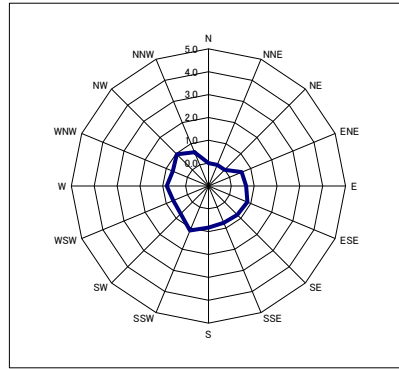
観測期間: 令和4年10月21日~10月27日

松田集落 (TN-11)

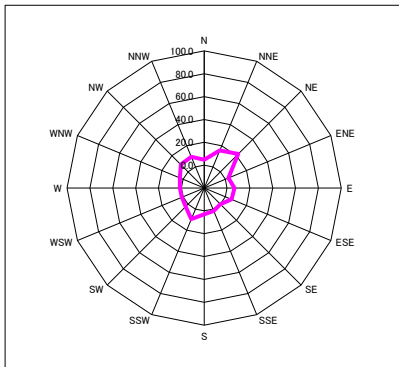
図-2.1.2.3 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度秋季)



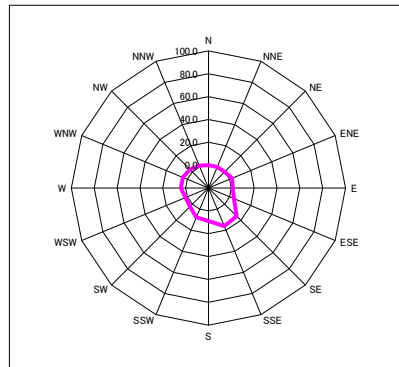
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.2
NNE	1.6
NE	2.2
ENE	2.2
E	3.1
ESE	3.4
SE	0.0
SSE	2.2
S	3.2
SSW	4.3
SW	2.7
WSW	1.5
W	1.5
WNW	1.8
NW	2.5
NNW	1.3



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.0
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	0.6
E	0.7
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.7
S	0.8
SSW	1.1
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.8
WNW	0.7
NW	1.0
NNW	0.6



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.8
NNE	15.5
NE	22.0
ENE	3.0
E	6.5
ESE	6.0
SE	0.0
SSE	1.8
S	3.0
SSW	9.5
SW	3.0
WSW	1.2
W	1.2
WNW	3.0
NW	8.9
NNW	9.5
calm	1.2



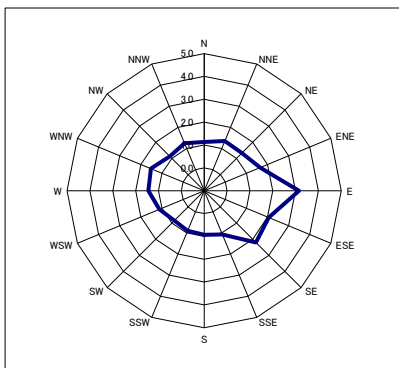
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.0
NNE	0.0
NE	0.0
ENE	2.4
E	1.2
ESE	4.2
SE	14.9
SSE	16.1
S	8.9
SSW	7.7
SW	3.0
WSW	1.8
W	4.2
WNW	4.2
NW	3.0
NNW	1.2
calm	27.4

観測期間: 令和5年2月1日~2月7日

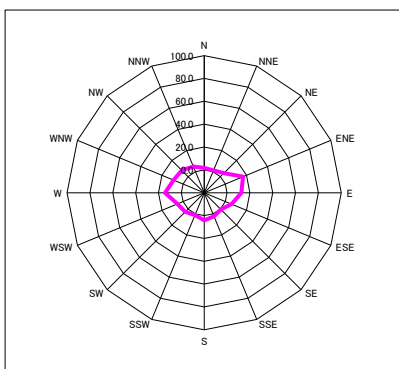
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間: 令和5年2月1日~2月7日

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.1
NNE	1.4
NE	1.3
ENE	1.7
E	3.1
ESE	2.1
SE	2.2
SSE	1.1
S	0.9
SSW	0.9
SW	0.9
WSW	1.1
W	1.4
WNW	1.5
NW	1.1
NNW	1.3



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.8
NNE	1.2
NE	4.2
ENE	16.7
E	12.5
ESE	6.0
SE	0.6
SSE	2.4
S	4.2
SSW	1.2
SW	3.6
WSW	5.4
W	14.3
WNW	8.9
NW	7.7
NNW	4.8
calm	4.8

観測期間: 令和5年2月1日~2月7日

松田集落 (TN-11)

図-2.1.2.4 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度冬季)

2) 気温・湿度

大気質調査と並行して、気温・湿度の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和4年度春季から冬季の気温調査結果一覧は表-2.1.2.6 に、湿度調査結果一覧は表-2.1.2.7 に示すとおりです。

令和4年度春季の平均気温は18.0～24.0℃、夏季は27.5～30.5℃、秋季は20.8～25.9℃、冬季は15.2～19.3℃の範囲となっており、夏季と冬季との平均気温差は約12℃でした。

令和4年度春季の平均湿度は60～91%、夏季は78～90%、秋季は54～99%、冬季は67～97%の範囲となっており、夏季に湿度が高くなる傾向がみられました。

表-2.1.2.6 気温の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和4年度春季						期間	
			4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日		4月21日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	23.0	20.2	18.8	20.8	20.0	21.5	24.0	21.2
		日最高値	27.6	22.8	21.6	24.9	21.1	24.7	27.8	27.8
		日最低値	20.7	17.2	16.3	16.8	18.7	17.9	20.9	16.3
	TN-10	日平均値	22.3	19.9	18.0	19.0	19.1	20.6	23.3	20.3
		日最高値	28.4	23.7	22.2	23.3	20.9	24.8	28.7	28.7
		日最低値	19.6	16.2	14.3	13.9	17.8	16.2	20.1	13.9
	TN-11	日平均値	23.2	20.3	19.3	20.9	20.2	21.5	23.8	21.3
		日最高値	26.7	22.0	21.7	24.0	20.8	24.0	27.5	27.5
		日最低値	20.9	18.1	17.3	18.1	19.3	18.5	21.6	17.3

項目	地点名	区分	令和4年度夏季						期間	
			7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日		7月28日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	30.4	29.9	30.5	29.6	27.5	28.4	28.5	29.2
		日最高値	33.7	32.7	34.0	32.5	31.6	31.6	31.5	34.0
		日最低値	27.7	28.3	27.6	27.3	25.2	24.7	26.2	24.7
	TN-10	日平均値	29.9	29.7	29.5	28.4	27.5	28.0	27.8	28.7
		日最高値	31.7	31.8	32.3	32.2	31.8	32.6	31.2	32.6
		日最低値	28.4	27.3	26.6	25.5	24.8	24.3	25.3	24.3
	TN-11	日平均値	30.2	30.0	30.3	29.6	27.8	28.3	28.6	29.2
		日最高値	32.8	32.0	33.0	31.8	31.8	31.3	31.4	33.0
		日最低値	27.9	28.3	27.8	28.1	25.7	25.3	26.8	25.3

項目	地点名	区分	令和4年度秋季						期間	
			10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日		10月27日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	25.9	25.6	24.7	22.6	21.2	23.0	24.3	23.9
		日最高値	28.1	28.2	28.9	24.9	23.3	25.7	26.9	28.9
		日最低値	25.0	24.4	22.1	20.9	18.7	19.8	22.0	18.7
	TN-10	日平均値	25.1	25.5	24.5	21.9	20.8	21.0	22.3	23.0
		日最高値	27.5	28.3	27.8	25.2	24.9	26.4	27.1	28.3
		日最低値	22.9	24.0	21.6	19.3	16.7	16.3	18.3	16.3
	TN-11	日平均値	25.9	25.5	24.6	22.6	21.3	23.3	24.8	24.0
		日最高値	27.4	27.1	27.4	24.1	23.1	25.3	26.6	27.4
		日最低値	24.9	24.7	22.6	20.9	19.5	20.2	23.0	19.5

項目	地点名	区分	令和4年度冬季						期間	
			2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日		2月7日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	18.0	17.7	15.6	16.3	17.8	19.0	19.3	17.7
		日最高値	22.0	20.6	19.5	18.6	19.9	20.6	21.6	22.0
		日最低値	12.9	14.3	12.4	14.8	15.1	17.5	17.1	12.4
	TN-10	日平均値	17.0	17.4	15.2	15.8	17.1	18.8	18.4	17.1
		日最高値	24.2	21.7	19.8	19.1	21.1	20.8	21.7	24.2
		日最低値	10.5	13.4	10.9	14.0	14.5	17.3	16.1	10.5
	TN-11	日平均値	18.2	17.7	15.9	16.4	17.7	18.8	19.3	17.7
		日最高値	21.3	19.4	18.6	18.2	19.5	20.1	21.5	21.5
		日最低値	14.2	15.0	14.1	15.1	15.2	17.4	17.5	14.1

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

表-2.1.2.7 湿度の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和4年度春季							期間
			4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	
湿度 (%)	TN-5	日平均値	79	60	61	66	79	72	82	71
		日最高値	93	74	70	82	88	86	94	94
		日最低値	59	51	50	56	67	59	68	50
	TN-10	日平均値	87	69	74	82	91	83	87	82
		日最高値	99	86	93	99	98	99	98	99
		日最低値	66	55	53	65	80	62	61	53
	TN-11	日平均値	80	62	60	68	81	74	86	73
		日最高値	92	76	68	78	93	87	96	96
		日最低値	65	54	51	61	70	63	72	51

項目	地点名	区分	令和4年度夏季							期間
			7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	
湿度 (%)	TN-5	日平均値	78	83	78	78	89	80	83	81
		日最高値	90	97	94	90	98	95	92	98
		日最低値	59	68	58	67	70	64	70	58
	TN-10	日平均値	83	85	86	87	89	84	87	86
		日最高値	91	94	95	98	98	99	97	99
		日最低値	73	73	72	71	74	65	72	65
	TN-11	日平均値	80	83	81	81	90	84	85	83
		日最高値	93	91	94	93	99	95	93	99
		日最低値	58	72	64	71	72	71	73	58

項目	地点名	区分	令和4年度秋季							期間
			10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	
湿度 (%)	TN-5	日平均値	79	98	92	61	56	54	64	72
		日最高値	98	99	99	80	65	62	76	99
		日最低値	64	90	77	51	45	45	56	45
	TN-10	日平均値	85	97	96	73	67	73	78	81
		日最高値	99	99	99	97	82	89	91	99
		日最低値	70	88	79	51	48	48	59	48
	TN-11	日平均値	81	99	93	63	56	54	63	73
		日最高値	99	99	99	78	64	62	75	99
		日最低値	65	92	83	53	49	44	56	44

項目	地点名	区分	令和4年度冬季							期間
			2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	
湿度 (%)	TN-5	日平均値	68	81	70	70	78	95	87	79
		日最高値	82	97	87	79	89	99	99	99
		日最低値	51	72	56	60	66	88	73	51
	TN-10	日平均値	77	87	78	81	87	97	91	85
		日最高値	97	98	98	90	98	99	99	99
		日最低値	43	75	55	62	64	88	76	43
	TN-11	日平均値	67	83	70	71	80	97	88	79
		日最高値	77	98	82	78	93	99	98	99
		日最低値	55	74	60	63	72	92	77	55

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

2.2 騒音

2.2.1 道路交通騒音

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和4年度春季から冬季の道路交通騒音の調査結果一覧は表-2.2.1.1及び図-2.2.1.1に、測定時間帯毎の調査結果は表-2.2.1.2～表-2.2.1.5に示すとおりです。

昼間の時間帯における騒音レベルは64～66dBの範囲で推移し、各調査地点の騒音レベルは同程度であり、いずれも環境監視基準(70dB以下)を満足する結果となりました。

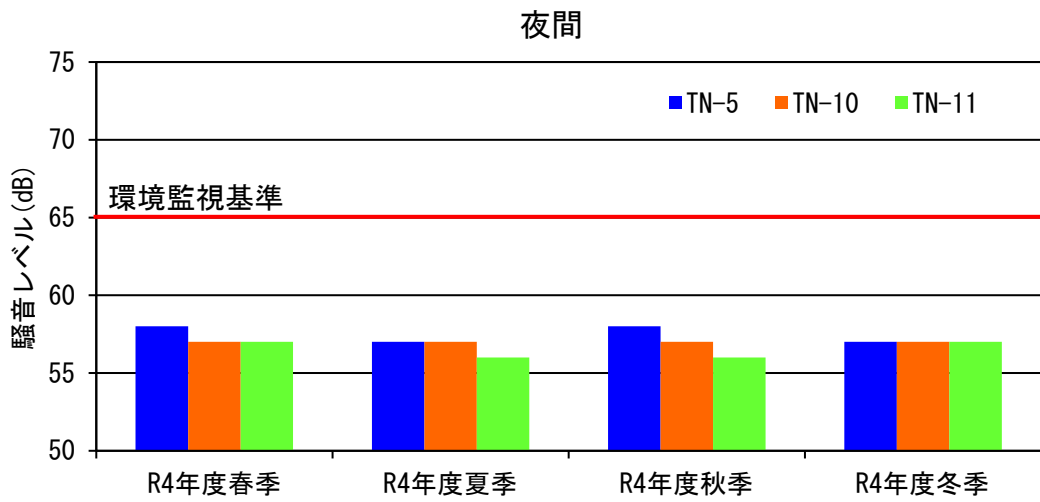
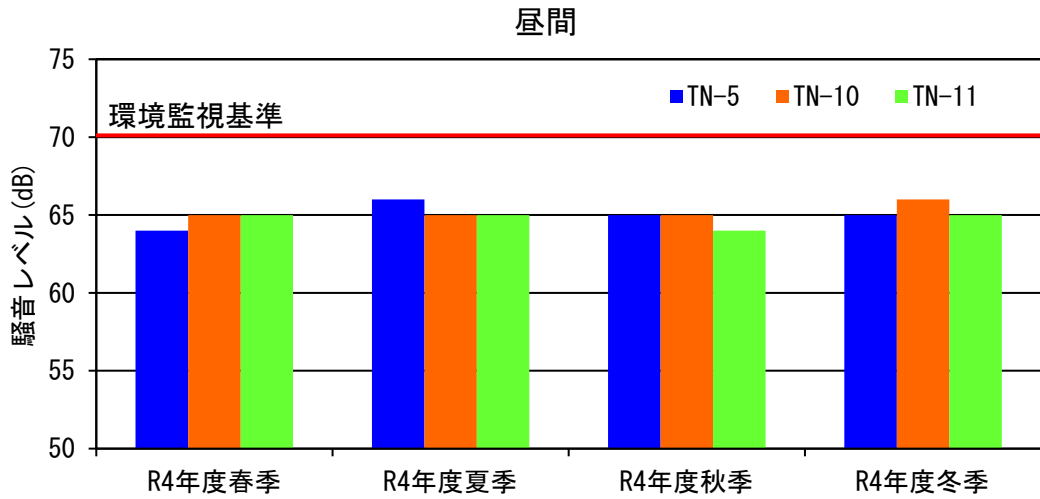
夜間の時間帯における騒音レベルは56～58dBの範囲で推移し、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)の騒音レベルは世富慶集落(TN-10)及び松田集落(TN-11)と比較すると高い傾向にありますが、環境監視基準(65dB以下)を満足する結果となりました。

表-2.2.1.1 道路交通騒音の調査結果一覧

単位：dB

時間区分	季節	TN-5	TN-10	TN-11	環境監視基準
昼間	R4年度春季	64	65	65	70dB以下
	R4年度夏季	66	65	65	
	R4年度秋季	65	65	64	
	R4年度冬季	65	66	65	
夜間	R4年度春季	58	57	57	65dB以下
	R4年度夏季	57	57	56	
	R4年度秋季	58	57	56	
	R4年度冬季	57	57	57	

- 注) 1. 時間区分の昼間は6時～22時、夜間は22時～6時です。
2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の沿道を示します。
3. 環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。



注) 環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。

図-2.2.1.1 道路交通騒音の調査結果

表-2.2.1.2(1) 道路交通騒音の調査結果（令和4年度春季）

調査期日：令和4年4月19日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	70	68	56	42	39	63.1	76	32	L _{Aeq} = 64
	7:00	71	70	61	47	43	65.7	85	34	
	8:00	71	69	62	49	46	65.5	83	37	
	9:00	70	68	55	44	42	63.6	84	37	
	10:00	71	68	55	43	41	64.5	86	34	
	11:00	70	68	55	43	41	63.5	84	35	
	12:00	70	68	55	43	41	64.0	84	36	
	13:00	70	68	56	42	39	63.4	82	33	
	14:00	70	68	54	43	40	63.5	80	34	
	15:00	72	70	57	43	41	66.0	85	34	
	16:00	71	69	59	45	43	64.8	82	37	
	17:00	71	70	62	49	45	65.7	84	36	
	18:00	71	69	58	45	42	64.3	84	34	
	19:00	69	67	53	40	38	62.3	87	32	
20:00	67	64	47	37	35	61.1	87	32		
21:00	68	64	46	34	32	59.6	79	29		
平均/最大/最小		70	68	56	43	41	64	87	29	
夜間	22:00	66	61	41	32	31	59.4	87	29	L _{Aeq} = 58
	23:00	59	52	34	31	30	54.7	80	29	
	0:00	60	52	32	29	29	56.9	85	28	
	1:00	53	45	29	28	28	52.1	78	27	
	2:00	43	36	29	28	28	49.2	80	26	
	3:00	59	51	30	28	28	56.8	82	27	
	4:00	67	62	38	28	28	61.7	86	27	
5:00	69	65	49	34	32	61.3	83	27		
平均/最大/最小		59	53	35	30	29	58	87	26	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.2(2) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度春季)

調査期日：令和4年4月19日

単位：dB

調査地点		世富慶集落 (TN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	71	69	54	46	45	64.2	81	42	L _{Aeq} = 65
	7:00	71	70	60	46	45	65.4	79	42	
	8:00	73	71	65	52	50	68.2	95	46	
	9:00	72	70	59	53	52	65.7	88	51	
	10:00	71	69	60	52	51	64.9	80	48	
	11:00	73	71	58	52	52	66.3	81	50	
	12:00	71	69	58	51	50	64.7	79	49	
	13:00	70	69	58	51	51	64.1	80	49	
	14:00	71	69	57	49	48	66.0	91	45	
	15:00	70	69	58	49	48	64.3	79	44	
	16:00	70	68	57	47	46	63.8	82	43	
	17:00	70	68	60	48	46	64.0	79	41	
	18:00	70	68	60	47	45	64.1	85	41	
	19:00	70	68	54	43	43	63.1	82	40	
20:00	69	67	50	43	43	62.2	84	41		
21:00	67	64	46	42	42	60.2	87	40		
平均/最大/最小		71	69	57	48	47	65	95	40	
夜間	22:00	65	61	46	42	42	57.5	76	41	L _{Aeq} = 57
	23:00	65	59	48	42	42	57.2	79	40	
	0:00	60	53	42	40	40	58.2	90	39	
	1:00	54	51	42	40	40	50.9	73	39	
	2:00	50	47	42	41	41	51.3	73	40	
	3:00	54	47	41	40	40	53.1	75	39	
	4:00	59	49	41	40	40	54.9	78	39	
	5:00	69	66	46	41	41	60.8	78	40	
平均/最大/最小		60	54	43	41	41	57	90	39	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分 (測定時間帯の6時から22時までの16時間) 及び夜間の時間区分 (測定時間帯の22時から6時までの8時間) における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.2(3) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度春季)

調査期日：令和4年4月19日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	70	68	61	47	44	64.4	82	33	L _{Aeq} = 65
	7:00	70	68	64	52	49	65.4	83	37	
	8:00	70	69	64	53	50	65.6	80	42	
	9:00	70	68	61	49	46	64.5	82	36	
	10:00	70	68	61	50	47	64.3	82	35	
	11:00	69	67	60	47	44	63.7	82	36	
	12:00	69	67	60	46	43	63.6	87	35	
	13:00	68	67	60	45	42	62.9	82	34	
	14:00	69	67	60	49	47	64.3	84	39	
	15:00	70	68	61	48	45	64.3	81	37	
	16:00	69	67	62	51	48	64.3	84	39	
	17:00	69	68	63	53	50	64.4	81	39	
	18:00	68	67	62	51	47	63.1	78	38	
	19:00	68	66	57	44	40	68.0	91	35	
20:00	67	65	55	41	39	67.3	91	33		
21:00	66	64	51	36	34	60.0	79	28		
平均/最大/最小		69	67	60	48	45	65	91	28	
夜間	22:00	64	62	46	35	33	57.0	78	28	L _{Aeq} = 57
	23:00	62	56	35	29	29	55.3	80	26	
	0:00	59	53	32	27	26	55.8	83	24	
	1:00	56	48	31	29	28	50.6	74	24	
	2:00	52	44	29	27	26	48.3	71	24	
	3:00	60	54	30	27	27	55.8	81	25	
	4:00	65	60	35	28	27	60.0	82	25	
5:00	67	65	49	33	31	59.8	77	28		
平均/最大/最小		61	55	36	29	28	57	83	24	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時から22時までの16時間)及び夜間の時間区分(測定時間帯の22時から6時までの8時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(1) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月26日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	70	68	53	40	38	62.8	79	34	L _{Aeq} = 66
	7:00	71	70	61	49	47	65.7	87	42	
	8:00	71	69	61	48	46	65.6	92	41	
	9:00	70	68	55	46	45	64.1	86	39	
	10:00	72	70	58	47	44	65.9	84	38	
	11:00	74	72	63	55	53	68.0	80	51	
	12:00	71	69	56	44	42	65.0	82	37	
	13:00	73	71	59	47	43	66.4	80	35	
	14:00	72	70	58	44	42	65.6	80	40	
	15:00	75	73	62	53	50	68.4	82	48	
	16:00	73	71	60	49	47	66.6	87	41	
	17:00	71	70	59	47	44	65.2	83	38	
	18:00	71	70	59	47	45	66.8	92	40	
	19:00	70	67	52	43	41	63.2	88	38	
20:00	69	66	50	42	41	61.5	79	36		
21:00	68	65	49	42	40	60.4	79	37		
平均/最大/最小		71	69	57	46	44	66	92	34	
夜間	22:00	66	60	44	39	38	58.7	83	36	L _{Aeq} = 57
	23:00	63	56	43	39	38	56.3	78	36	
	0:00	58	52	37	35	35	54.8	83	33	
	1:00	53	46	36	34	34	51.8	75	32	
	2:00	41	38	34	33	33	46.0	73	32	
	3:00	53	46	34	33	33	51.8	77	32	
	4:00	64	57	36	33	33	56.9	78	31	
5:00	69	65	48	38	36	61.9	86	32		
平均/最大/最小		58	53	39	35	35	57	86	31	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分 (測定時間帯の6時から22時までの16時間) 及び夜間の時間区分 (測定時間帯の22時から6時までの8時間) における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(2) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月26日

単位：dB

調査地点		世富慶集落 (TN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	71	69	54	46	46	64.0	81	43	L _{Aeq} = 65
	7:00	71	70	61	47	46	65.6	82	43	
	8:00	72	70	64	52	50	66.7	84	46	
	9:00	71	68	59	53	52	64.7	82	50	
	10:00	71	69	58	51	50	64.8	88	46	
	11:00	70	68	57	52	51	64.0	78	50	
	12:00	71	69	58	49	49	64.2	80	46	
	13:00	70	68	55	49	48	63.4	80	44	
	14:00	72	70	60	49	48	66.8	96	46	
	15:00	71	69	60	49	48	65.0	85	45	
	16:00	70	68	58	48	47	64.9	92	44	
	17:00	70	69	59	48	46	64.6	95	43	
	18:00	71	68	59	46	45	66.4	94	41	
	19:00	69	67	53	44	43	62.9	89	41	
20:00	68	66	48	45	44	60.7	76	41		
21:00	66	63	47	45	45	57.9	74	43		
平均/最大/最小		70	68	57	48	47	65	96	41	
夜間	22:00	67	63	47	46	45	61.3	92	44	L _{Aeq} = 57
	23:00	61	54	46	45	45	54.5	74	44	
	0:00	58	51	45	44	43	53.0	74	42	
	1:00	53	47	44	42	42	52.2	79	41	
	2:00	51	48	44	43	43	50.5	74	42	
	3:00	53	48	44	43	43	51.6	76	42	
	4:00	59	52	43	42	42	55.0	78	41	
5:00	68	64	48	43	43	60.8	83	41		
平均/最大/最小		59	53	45	44	43	57	92	41	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分 (測定時間帯の6時から22時までの16時間) 及び夜間の時間区分 (測定時間帯の22時から6時までの8時間) における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(3) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月26日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	69	67	59	45	42	64.1	89	35	L _{Aeq} = 65
	7:00	69	68	63	50	47	64.8	83	39	
	8:00	69	67	62	51	48	64.1	79	40	
	9:00	70	68	61	50	47	64.6	86	41	
	10:00	70	68	61	49	46	64.7	83	38	
	11:00	73	72	64	51	47	67.7	82	39	
	12:00	70	68	61	48	45	64.6	83	37	
	13:00	71	70	62	49	46	65.2	79	40	
	14:00	72	70	64	52	49	66.8	80	44	
	15:00	72	70	65	54	52	66.8	77	46	
	16:00	69	68	63	52	49	64.3	76	43	
	17:00	69	68	63	53	50	64.6	82	35	
	18:00	68	67	62	50	47	63.4	83	40	
	19:00	67	65	58	45	42	61.6	80	37	
20:00	66	64	54	42	40	60.5	83	37		
21:00	65	63	50	40	39	58.6	76	36		
平均/最大/最小		69	68	61	49	46	65	89	35	
夜間	22:00	65	62	46	37	37	57.8	81	35	L _{Aeq} = 56
	23:00	63	60	52	46	45	56.3	77	36	
	0:00	59	54	39	38	38	54.7	79	37	
	1:00	55	48	39	37	37	49.5	72	36	
	2:00	53	46	38	37	37	48.4	72	36	
	3:00	59	51	39	37	37	52.7	76	36	
	4:00	64	59	39	37	37	55.5	76	36	
5:00	66	64	49	38	37	59.9	80	36		
平均/最大/最小		60	55	42	38	38	56	81	35	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(1) 道路交通騒音の調査結果（令和4年度秋季）

調査期日：令和4年10月25日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	70	69	56	43	41	64.2	84	37	L _{Aeq} = 65
	7:00	72	70	62	51	48	66.6	89	41	
	8:00	72	70	63	56	54	66.6	84	48	
	9:00	71	69	60	55	53	65.4	82	47	
	10:00	71	69	62	57	55	65.8	83	48	
	11:00	70	69	63	59	57	65.5	87	52	
	12:00	70	69	61	54	53	64.6	81	46	
	13:00	70	69	62	56	54	65.2	86	48	
	14:00	71	69	61	57	55	65.1	83	46	
	15:00	71	69	61	55	54	66.0	86	49	
	16:00	71	70	60	46	45	65.9	87	39	
	17:00	71	70	60	46	45	66.5	86	39	
	18:00	70	68	58	46	43	64.6	91	38	
	19:00	69	67	53	42	41	62.9	86	37	
20:00	68	65	47	40	39	59.9	76	36		
21:00	67	63	45	38	38	59.5	83	33		
平均/最大/最小		70	68	58	50	48	65	91	33	
夜間	22:00	66	61	44	37	36	58.8	83	33	L _{Aeq} = 58
	23:00	63	56	40	36	35	56.0	76	32	
	0:00	59	52	40	36	36	54.7	78	33	
	1:00	51	46	39	36	35	51.1	76	31	
	2:00	48	43	36	34	33	50.2	77	30	
	3:00	53	47	37	34	34	52.8	79	32	
	4:00	66	59	38	34	33	60.9	83	31	
5:00	69	66	47	36	35	62.2	84	32		
平均/最大/最小		59	54	40	35	35	58	84	30	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(2) 道路交通騒音の調査結果（令和4年度秋季）

調査期日：令和4年10月25日

単位：dB

調査地点		世富慶集落（TN-10）								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	71	70	57	46	46	65.0	80	43	L _{Aeq} = 65
	7:00	72	71	63	49	48	66.4	80	45	
	8:00	72	71	65	52	51	66.9	80	46	
	9:00	72	70	60	53	52	65.8	81	50	
	10:00	71	69	58	52	51	64.9	82	49	
	11:00	72	70	59	53	52	65.9	89	50	
	12:00	71	69	57	52	52	64.6	81	49	
	13:00	71	69	59	54	53	64.6	80	50	
	14:00	71	69	58	52	52	64.4	79	50	
	15:00	71	69	59	51	50	64.5	81	48	
	16:00	71	69	60	53	52	65.1	81	49	
	17:00	71	69	60	52	50	65.1	86	45	
	18:00	70	68	59	47	45	64.4	84	42	
	19:00	69	68	53	44	43	62.8	81	41	
20:00	68	66	47	43	43	60.9	77	42		
21:00	67	64	45	43	42	61.7	91	41		
平均/最大/最小		71	69	57	50	49	65	91	41	
夜間	22:00	67	63	44	42	42	58.9	78	41	L _{Aeq} = 57
	23:00	64	58	43	42	42	56.3	74	41	
	0:00	63	57	43	43	42	56.3	77	41	
	1:00	60	50	43	42	42	55.0	76	41	
	2:00	46	44	43	42	42	49.5	73	41	
	3:00	52	46	43	42	42	52.0	75	41	
	4:00	58	50	44	43	43	56.3	83	42	
	5:00	68	63	45	43	43	60.1	79	42	
平均/最大/最小		60	54	44	42	42	57	83	41	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(3) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度秋季)

調査期日：令和4年10月25日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	70	68	61	46	43	64.7	85	34	L _{Aeq} = 64
	7:00	70	69	64	53	49	65.5	78	41	
	8:00	70	68	63	53	50	64.9	81	36	
	9:00	70	68	61	50	47	63.9	80	35	
	10:00	70	68	61	51	49	64.2	82	44	
	11:00	69	67	60	49	47	63.3	80	41	
	12:00	67	66	58	47	45	62.0	78	41	
	13:00	69	67	60	49	47	63.3	80	41	
	14:00	70	67	61	49	47	63.7	80	40	
	15:00	70	67	60	48	46	64.1	87	40	
	16:00	69	68	62	50	47	64.4	85	40	
	17:00	69	68	63	53	50	65.1	88	40	
	18:00	68	67	61	50	47	64.1	87	38	
	19:00	67	65	57	45	43	62.2	85	38	
20:00	66	64	54	39	37	60.4	85	34		
21:00	64	62	48	37	35	57.5	77	32		
平均/最大/最小		68	67	60	48	46	64	88	32	
夜間	22:00	64	62	48	42	39	57.3	80	33	L _{Aeq} = 56
	23:00	63	59	44	37	35	54.9	77	32	
	0:00	59	53	36	33	33	52.0	71	30	
	1:00	58	50	38	32	31	50.8	73	27	
	2:00	54	46	38	36	36	50.0	74	28	
	3:00	56	49	40	35	34	51.4	77	31	
	4:00	64	61	38	33	32	59.0	81	28	
5:00	67	65	47	33	31	60.4	81	27		
平均/最大/最小		61	55	41	35	34	56	81	27	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時から22時までの16時間)及び夜間の時間区分(測定時間帯の22時から6時までの8時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(1) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年2月1日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	71	69	57	42	39	64.6	83	29	L _{Aeq} = 65
	7:00	72	71	62	50	47	66.2	84	41	
	8:00	72	71	63	50	47	66.9	86	36	
	9:00	72	70	59	45	43	65.8	86	37	
	10:00	71	69	56	44	41	65.0	86	31	
	11:00	71	69	57	44	41	64.8	84	35	
	12:00	71	69	57	44	41	65.0	82	35	
	13:00	71	69	57	43	41	65.6	90	36	
	14:00	72	70	57	43	41	65.4	90	35	
	15:00	71	70	58	42	40	65.5	88	36	
	16:00	72	70	61	46	43	66.2	86	38	
	17:00	72	70	61	48	46	66.0	82	39	
	18:00	71	69	59	46	43	64.7	83	36	
	19:00	69	67	53	40	37	62.3	82	33	
20:00	69	67	51	37	35	62.9	90	31		
21:00	68	64	45	34	33	59.8	77	31		
平均/最大/最小		71	69	57	44	41	65	90	29	
夜間	22:00	67	62	43	33	32	59.4	81	31	L _{Aeq} = 57
	23:00	61	54	35	31	31	56.2	81	30	
	0:00	58	51	33	30	30	54.5	78	28	
	1:00	55	49	31	29	29	53.7	79	28	
	2:00	54	48	31	29	29	53.6	77	28	
	3:00	53	47	31	29	29	52.2	77	28	
	4:00	63	56	32	28	28	58.2	81	27	
5:00	69	65	46	30	29	62.1	87	27		
平均/最大/最小		60	54	35	30	30	57	87	27	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時から22時までの16時間)及び夜間の時間区分(測定時間帯の22時から6時までの8時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(2) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年2月1日

単位：dB

調査地点		世富慶集落 (TN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	72	71	58	47	46	65.8	79	42	L _{Aeq} = 66
	7:00	73	72	62	48	47	67.0	83	43	
	8:00	73	72	66	52	50	68.3	86	46	
	9:00	73	71	59	49	47	66.1	83	43	
	10:00	72	70	58	46	45	66.3	94	42	
	11:00	72	70	59	49	49	65.7	85	47	
	12:00	71	69	58	48	48	64.7	84	46	
	13:00	71	69	57	46	44	64.5	82	42	
	14:00	73	71	59	48	47	66.5	84	44	
	15:00	71	69	58	48	47	64.6	82	44	
	16:00	72	70	60	49	48	66.0	83	44	
	17:00	71	69	59	52	50	65.3	89	43	
	18:00	71	69	60	47	46	64.5	80	43	
	19:00	69	67	54	44	43	62.6	76	42	
20:00	70	67	52	44	44	64.5	93	42		
21:00	68	66	47	43	42	61.2	84	41		
平均/最大/最小		71	69	58	47	46	66	94	41	
夜間	22:00	68	64	46	43	42	60.3	84	41	L _{Aeq} = 57
	23:00	64	59	43	42	42	57.2	77	41	
	0:00	60	52	42	41	41	55.9	78	40	
	1:00	57	47	42	41	41	54.0	78	40	
	2:00	54	46	42	41	41	53.8	77	40	
	3:00	52	45	42	41	41	52.7	78	40	
	4:00	59	49	43	41	41	54.8	77	40	
	5:00	68	63	44	41	41	60.4	87	40	
平均/最大/最小		60	53	43	41	41	57	87	40	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分 (測定時間帯の6時から22時までの16時間) 及び夜間の時間区分 (測定時間帯の22時から6時までの8時間) における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(3) 道路交通騒音の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年2月1日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	70	69	62	47	42	64.9	81	35	L _{Aeq} = 65
	7:00	70	69	64	54	50	65.4	79	43	
	8:00	71	70	65	55	52	66.4	81	42	
	9:00	70	69	62	50	48	65.0	83	38	
	10:00	70	68	61	49	46	64.4	83	37	
	11:00	70	68	62	49	46	64.7	81	38	
	12:00	69	67	60	48	45	63.4	79	37	
	13:00	70	68	61	50	48	64.4	86	40	
	14:00	69	68	61	51	48	64.3	87	42	
	15:00	69	67	61	50	48	63.9	82	41	
	16:00	69	68	62	51	48	64.5	85	39	
	17:00	69	68	63	54	52	64.9	88	41	
	18:00	67	66	61	51	48	62.6	79	41	
	19:00	67	66	58	46	43	65.3	94	37	
20:00	66	64	54	41	39	62.0	92	35		
21:00	65	63	50	37	36	67.2	96	34		
平均/最大/最小		69	67	60	49	46	65	96	34	
夜間	22:00	65	63	48	36	35	58.0	76	33	L _{Aeq} = 57
	23:00	63	60	40	35	34	56.4	80	33	
	0:00	61	55	37	34	33	53.4	73	30	
	1:00	62	56	36	33	32	55.5	81	30	
	2:00	59	52	35	33	32	51.9	74	30	
	3:00	58	51	35	33	32	58.5	89	30	
	4:00	62	55	37	33	32	54.6	76	30	
5:00	68	66	50	38	35	60.5	76	31		
平均/最大/最小		62	57	40	34	33	57	89	30	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時から22時までの16時間)及び夜間の時間区分(測定時間帯の22時から6時までの8時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

2.2.2 交通量

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和4年度春季から冬季の交通量の調査結果一覧は、表-2.2.2.1、表-2.2.2.2に示すとおりです。

昼間の時間帯における交通量は6,705～12,622台、夜間の時間帯における交通量は389～770台の範囲で推移し、松田集落(TN-11)の交通量が最も多く、次いで世富慶集落(TN-10)、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)の順となりました。

日合計交通量を調査地点別にみると、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は7,303～7,883台/日、世富慶集落(TN-10)は7,139～8,096台/日、松田集落(TN-11)は12,262～13,392台/日となりました。

日合計交通量を車種別にみると、小型車は6,265～12,125台/日、大型車は349～1,050台/日、二輪車は63～217台/日の範囲で推移し、小型車の割合が最も多く、約90%を占めています。

表-2.2.2.1 交通量の調査結果一覧

単位：台

地点名	時間区分	季節	上り車線			下り車線			合計
			小型車	大型車	二輪車	小型車	大型車	二輪車	
TN-5	昼間	R4年度春季	3,101	139	40	3,316	170	12	6,778
		R4年度夏季	3,210	228	32	3,109	269	21	6,869
		R4年度秋季	3,382	234	70	3,424	246	50	7,406
		R4年度冬季	3,394	211	61	3,359	201	69	7,295
	夜間	R4年度春季	252	29	10	220	11	3	525
		R4年度夏季	282	12	6	130	8	4	442
		R4年度秋季	277	17	3	169	4	7	477
		R4年度冬季	243	8	0	159	10	1	421
TN-10	昼間	R4年度春季	3,036	375	42	2,818	397	37	6,705
		R4年度夏季	3,300	417	35	3,158	416	28	7,354
		R4年度秋季	3,318	418	72	3,143	466	69	7,486
		R4年度冬季	3,460	463	45	3,249	438	52	7,707
	夜間	R4年度春季	149	9	1	262	12	1	434
		R4年度夏季	179	9	1	190	12	5	396
		R4年度秋季	179	8	4	235	9	3	438
		R4年度冬季	170	10	1	194	12	2	389
TN-11	昼間	R4年度春季	5,261	405	41	5,415	409	48	11,579
		R4年度夏季	5,355	445	45	5,532	443	35	11,855
		R4年度秋季	5,598	503	99	5,805	516	101	12,622
		R4年度冬季	5,624	433	107	5,780	464	90	12,498
	夜間	R4年度春季	390	27	6	244	12	4	683
		R4年度夏季	382	16	5	274	15	4	696
		R4年度秋季	426	22	9	296	9	8	770
		R4年度冬季	377	17	2	298	10	3	707

注) 1. 調査期日は、R4年度春季が令和4年4月19日、R4年度夏季が令和4年7月26日、R4年度秋季が令和4年10月25日、R4年度冬季が令和5年2月1日です。

2. 時間区分の昼間は6時～22時、夜間は22時～6時です。

3. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の沿道を示します。

表-2.2.2.2 交通量の調査結果一覧

単位：台

地点名	季節	上り車線				下り車線				合計
		小型車	大型車	二輪車	合計	小型車	大型車	二輪車	合計	
TN-5	R4年度春季	3,353	168	50	3,571	3,536	181	15	3,732	7,303
	R4年度夏季	3,492	240	38	3,770	3,239	277	25	3,541	7,311
	R4年度秋季	3,659	251	73	3,983	3,593	250	57	3,900	7,883
	R4年度冬季	3,637	219	61	3,917	3,518	211	70	3,799	7,716
TN-10	R4年度春季	3,185	384	43	3,612	3,080	409	38	3,527	7,139
	R4年度夏季	3,479	426	36	3,941	3,348	428	33	3,809	7,750
	R4年度秋季	3,497	426	76	3,999	3,378	475	72	3,925	7,924
	R4年度冬季	3,630	473	46	4,149	3,443	450	54	3,947	8,096
TN-11	R4年度春季	5,651	432	47	6,130	5,659	421	52	6,132	12,262
	R4年度夏季	5,737	461	50	6,248	5,806	458	39	6,303	12,551
	R4年度秋季	6,024	525	108	6,657	6,101	525	109	6,735	13,392
	R4年度冬季	6,001	450	109	6,560	6,078	474	93	6,645	13,205

単位：台

地点名	季節	上下線			
		小型車	大型車	二輪車	合計
TN-5	R4年度春季	6,889	349	65	7,303
	R4年度夏季	6,731	517	63	7,311
	R4年度秋季	7,252	501	130	7,883
	R4年度冬季	7,155	430	131	7,716
TN-10	R4年度春季	6,265	793	81	7,139
	R4年度夏季	6,827	854	69	7,750
	R4年度秋季	6,875	901	148	7,924
	R4年度冬季	7,073	923	100	8,096
TN-11	R4年度春季	11,310	853	99	12,262
	R4年度夏季	11,543	919	89	12,551
	R4年度秋季	12,125	1,050	217	13,392
	R4年度冬季	12,079	924	202	13,205

注) 1. 調査期日は、R4年度春季が令和4年4月19日、R4年度夏季が令和4年7月26日、R4年度秋季が令和4年10月25日、R4年度冬季が令和5年2月1日です。

2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の沿道を示します。

2.2.3 建設作業騒音

国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)、辺野古集落(EN-13)における令和4年度春季から冬季の建設作業騒音の調査結果は表-2.2.3.1～表-2.2.3.4に示すとおりです。

昼間の時間帯における騒音レベルの90%レンジ上端値(L₅)は42～68dBの範囲で推移しています。

なお、参考までに等価騒音レベル(L_{Aeq})は45～60dBとなっています。

当該地域は「騒音規制法に基づく規制地域」に該当していませんが、環境監視基準(85dB以下)を満足する結果となりました。

表-2.2.3.1(1) 建設作業騒音の調査結果(令和4年度春季)

調査期日：令和4年4月8日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	46	44	40	38	38	41.7	59	36	L _{Aeq} = 45
	7:00	47	46	41	40	39	43.0	59	38	
	8:00	49	48	45	42	41	45.7	63	39	
	9:00	50	48	45	43	42	46.0	64	40	
	10:00	49	48	45	43	43	46.2	59	41	
	11:00	50	49	45	42	42	46.2	58	39	
	12:00	49	48	44	42	41	45.7	62	40	
	13:00	49	48	45	43	42	46.0	61	40	
	14:00	49	48	46	43	43	46.2	58	40	
	15:00	50	49	46	43	43	46.4	59	41	
	16:00	48	47	44	42	42	45.3	58	40	
	17:00	47	46	43	41	41	44.4	59	39	
	18:00	45	44	40	37	37	41.0	56	35	
	19:00	43	42	38	37	37	39.5	57	35	
20:00	42	41	39	38	37	39.6	55	36		
21:00	42	41	39	38	38	39.9	52	36		
平均/最大/最小		47	46	43	41	40	45	64	35	

注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。

3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.1(2) 建設作業騒音の調査結果 (令和4年度春季)

調査期日：令和4年4月8日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	52	51	47	45	44	48.5	63	42	L _{Aeq} = 53
	7:00	52	51	49	47	46	49.5	70	44	
	8:00	59	56	52	49	48	54.2	69	46	
	9:00	60	57	53	51	50	55.2	69	48	
	10:00	59	57	54	52	51	55.4	70	48	
	11:00	55	54	50	48	47	51.4	67	45	
	12:00	60	58	52	48	47	54.7	76	45	
	13:00	61	60	56	51	50	57.0	70	47	
	14:00	62	60	56	52	51	57.2	69	48	
	15:00	58	57	53	51	51	54.5	67	49	
	16:00	54	53	50	48	47	51.6	70	46	
	17:00	53	52	49	46	46	49.6	64	42	
	18:00	50	49	46	44	43	46.8	57	41	
	19:00	51	49	45	43	42	46.6	60	41	
	20:00	53	53	50	44	44	50.4	65	42	
21:00	48	47	45	43	43	45.4	57	41		
平均/最大/最小		55	54	50	47	47	53	76	41	

注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。

3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.2(1) 建設作業騒音の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月22日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	48	47	45	43	42	45.2	54	38	L _{Aeq} = 49
	7:00	49	49	47	45	45	47.1	60	41	
	8:00	54	52	49	46	46	50.4	72	41	
	9:00	54	53	50	47	47	51.2	74	44	
	10:00	52	51	48	44	43	48.2	55	40	
	11:00	52	50	47	43	42	47.7	56	40	
	12:00	55	54	47	42	42	49.6	60	40	
	13:00	57	55	49	43	43	52.4	77	41	
	14:00	56	55	50	44	43	51.5	66	40	
	15:00	52	51	47	42	41	48.5	58	39	
	16:00	54	53	50	42	42	49.8	63	39	
	17:00	53	51	46	41	40	48.5	64	38	
	18:00	46	45	41	39	39	42.8	64	38	
	19:00	51	51	43	40	39	46.5	54	37	
	20:00	43	42	40	39	39	41.0	52	36	
21:00	43	41	39	37	36	39.4	53	34		
平均/最大/最小		51	50	46	42	42	49	77	34	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.2(2) 建設作業騒音の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月22日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	55	53	45	42	42	48.5	58	40	L _{Aeq} = 53
	7:00	55	54	47	44	44	50.0	64	42	
	8:00	59	58	55	48	48	55.5	62	46	
	9:00	60	58	54	51	50	55.3	65	45	
	10:00	58	57	55	52	51	55.3	65	49	
	11:00	57	57	53	47	46	53.9	68	43	
	12:00	57	56	54	49	48	54.0	72	44	
	13:00	57	56	54	49	48	53.9	62	45	
	14:00	59	58	55	49	48	55.6	63	46	
	15:00	57	57	54	48	46	54.3	63	43	
	16:00	59	58	54	48	46	55.1	76	43	
	17:00	56	55	49	45	45	51.2	68	42	
	18:00	53	51	44	41	41	47.3	61	38	
	19:00	56	54	42	41	40	48.1	58	39	
	20:00	47	45	42	40	40	43.5	62	39	
21:00	45	44	42	41	40	42.5	57	39		
平均/最大/最小		56	54	50	46	45	53	76	38	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.3(1) 建設作業騒音の調査結果 (令和4年度秋季)

調査期日：令和4年10月14日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	53	51	45	38	38	47.2	58	36	L _{Aeq} = 57
	7:00	57	55	51	46	45	52.8	65	43	
	8:00	66	65	62	60	56	62.6	69	49	
	9:00	66	65	62	51	49	62.3	70	47	
	10:00	66	65	62	60	59	62.9	70	54	
	11:00	65	63	56	51	50	60.1	69	48	
	12:00	59	58	56	52	52	56.1	62	49	
	13:00	57	56	55	53	53	55.0	61	49	
	14:00	55	55	52	49	49	52.4	58	46	
	15:00	55	54	51	49	48	51.5	58	46	
	16:00	54	53	49	46	45	50.1	58	43	
	17:00	52	51	47	44	44	48.3	58	42	
	18:00	52	50	45	42	42	47.1	58	40	
	19:00	48	47	43	41	40	44.4	53	38	
	20:00	49	47	43	40	39	44.4	55	37	
21:00	48	47	42	40	39	44.0	57	37		
平均/最大/最小		56	55	51	48	47	57	70	36	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.3(2) 建設作業騒音の調査結果 (令和4年度秋季)

調査期日：令和4年10月14日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	52	51	48	44	43	48.5	57	42	L _{Aeq} = 60
	7:00	67	66	51	48	48	60.9	72	46	
	8:00	68	67	65	64	63	65.7	72	61	
	9:00	67	66	64	61	60	64.3	71	59	
	10:00	67	66	64	61	60	64.0	69	58	
	11:00	65	65	63	61	60	63.2	68	58	
	12:00	62	61	58	57	56	59.0	67	54	
	13:00	63	63	60	57	57	60.3	70	54	
	14:00	61	61	58	56	55	58.7	70	54	
	15:00	62	61	58	53	52	58.4	66	49	
	16:00	55	54	51	49	48	51.9	58	47	
	17:00	53	52	49	48	47	50.1	58	45	
	18:00	52	51	48	46	45	49.1	62	43	
	19:00	51	51	47	45	44	48.1	58	42	
	20:00	52	51	48	45	44	48.6	56	42	
21:00	52	51	47	44	44	47.9	59	42		
平均/最大/最小		59	58	55	52	52	60	72	42	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.4(1) 建設作業騒音の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年1月27日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	42	41	37	35	35	38.5	52	34	L _{Aeq} = 48
	7:00	48	47	40	36	36	43.2	60	34	
	8:00	54	53	49	44	42	49.6	60	39	
	9:00	47	46	41	39	38	42.9	58	37	
	10:00	48	47	42	38	38	43.4	55	36	
	11:00	49	47	43	39	39	44.5	58	37	
	12:00	54	52	47	44	43	49.0	59	40	
	13:00	53	52	47	43	42	48.6	61	39	
	14:00	52	50	45	42	41	47.2	63	38	
	15:00	53	51	46	42	41	47.8	60	39	
	16:00	54	52	48	44	43	49.0	65	41	
	17:00	54	53	48	44	43	49.7	60	40	
	18:00	54	53	48	44	43	49.2	59	40	
	19:00	56	54	47	40	38	50.4	63	36	
	20:00	54	53	46	39	38	48.8	65	35	
	21:00	52	50	42	36	35	45.7	57	33	
平均/最大/最小		51	50	45	41	40	48	65	33	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.4(2) 建設作業騒音の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年1月27日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L _{Aeq}	L _{max}	L _{min}	時間区分の平均値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅				
昼間	6:00	49	48	46	43	42	46.2	63	39	L _{Aeq} = 53
	7:00	53	52	48	46	45	49.3	64	43	
	8:00	58	57	53	50	49	53.8	66	46	
	9:00	60	59	52	48	48	55.4	73	45	
	10:00	56	55	50	47	47	51.9	69	44	
	11:00	55	54	50	47	46	51.9	69	43	
	12:00	57	56	52	49	48	53.0	67	45	
	13:00	61	58	54	49	48	55.6	70	45	
	14:00	57	55	52	48	47	53.5	66	44	
	15:00	59	57	54	51	50	55.1	71	47	
	16:00	60	59	56	53	52	56.5	73	46	
	17:00	58	57	54	52	51	55.1	67	49	
	18:00	56	55	51	47	46	52.2	66	43	
	19:00	55	54	49	45	44	50.5	65	40	
	20:00	54	52	48	43	41	49.1	64	38	
	21:00	51	50	45	41	40	46.5	61	36	
平均/最大/最小		56	55	51	47	46	53	73	36	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値、L_{min}の最小値です。
 3. L_{Aeq}は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

2.3 振動

2.3.1 道路交通振動

国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)、世富慶集落(TV-10)、松田集落(TV-11)における令和4年度春季から冬季の道路交通振動の調査結果一覧は表-2.3.1.1及び図-2.3.1.1に、調査結果は表-2.3.1.2～表-2.3.1.5に示すとおりです。

昼間の時間帯における振動レベル(L₁₀)は、30未満～40dBの範囲で推移し、松田集落(TV-11)が最も高く、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)が最も低い結果となりました。また、夜間の時間帯における振動レベル(L₁₀)は、30未満～38dBの範囲で推移し、松田集落(TV-11)が最も高く、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)が最も低い結果となりました。

環境監視基準と比較すると、全ての地点、時間区分において、環境監視基準(昼間：60、65dB以下、夜間：55、60dB以下)を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

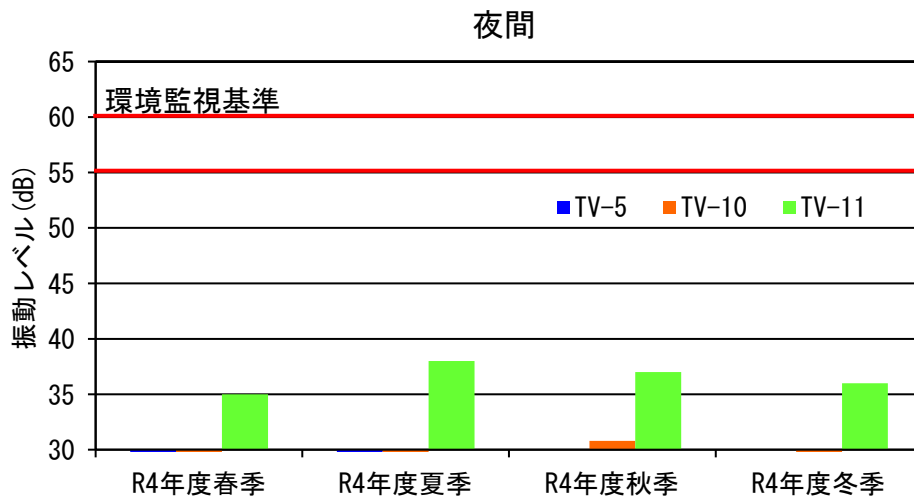
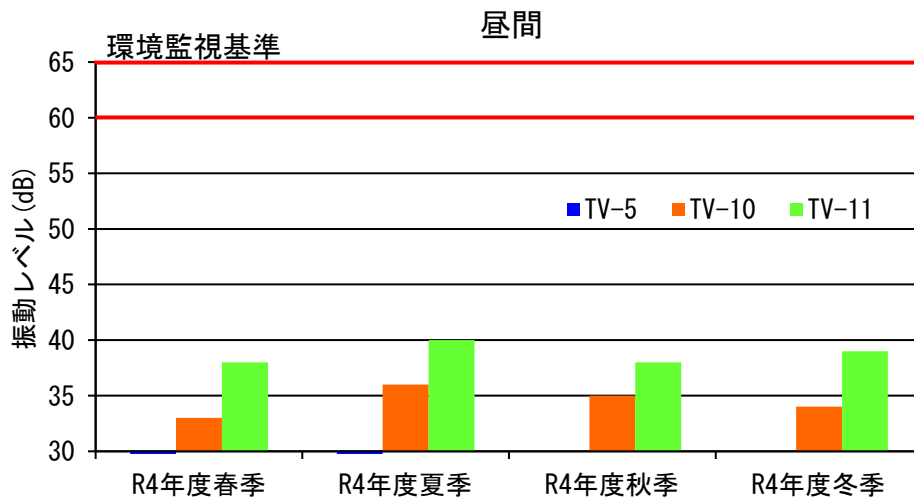
なお、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)については、環境保全の配慮が必要な教育施設に隣接していることから、振動規制法に基づき「道路交通振動の要請限度」(第1種区域)から5dB減じた値を採用しました。

表-2.3.1.1 道路交通振動の調査結果一覧

単位：dB

時間区分	季節	TV-5	TV-10	TV-11
昼間	R4年度春季	30未満	33	38
	R4年度夏季	30未満	36	40
	R4年度秋季	30未満	35	38
	R4年度冬季	30未満	34	39
夜間	R4年度春季	30未満	30未満	35
	R4年度夏季	30未満	30	38
	R4年度秋季	30未満	31	37
	R4年度冬季	30未満	30未満	36
環境監視基準	昼間	60dB以下	65dB以下	65dB以下
	夜間	55dB以下	60dB以下	60dB以下

- 注) 1. 時間区分の昼間は8時～19時、夜間は19時～8時です。
2. 地点名のTV-5は国立沖縄工業高等専門学校、TV-10は世富慶集落、TV-11は松田集落の沿道を示します。
3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区域相当値としています。



注) 1. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区域相当値としています。
 2. 30dB未満の結果はグラフに表示していません。

図-2.3.1.1 道路交通振動の調査結果

表-2.3.1.2(1) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度春季)

調査期日：令和4年4月19日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	15:00	31	<30	<30	<30	<30	47	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	47	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	L ₁₀ < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	51	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	7:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	51	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.2(2) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度春季)

調査期日：令和4年4月19日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	37	31	<30	<30	<30	49	L ₁₀ = 33
	9:00	39	33	<30	<30	<30	52	
	10:00	37	32	<30	<30	<30	50	
	11:00	38	32	<30	<30	<30	50	
	12:00	38	32	<30	<30	<30	51	
	13:00	35	30	<30	<30	<30	49	
	14:00	37	30	<30	<30	<30	49	
	15:00	37	31	<30	<30	<30	50	
	16:00	31	<30	<30	<30	<30	46	
	17:00	30	<30	<30	<30	<30	50	
18:00	30	<30	<30	<30	<30	48		
平均/最大		35	30	<30	<30	<30	52	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	L ₁₀ < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	6:00	31	<30	<30	<30	<30	52	
	7:00	31	<30	<30	<30	<30	49	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	52	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.2(3) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度春季)

調査期日：令和4年4月19日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	41	37	<30	<30	<30	54	L ₁₀ = 38
	9:00	41	37	<30	<30	<30	54	
	10:00	41	38	<30	<30	<30	54	
	11:00	41	36	<30	<30	<30	51	
	12:00	40	36	<30	<30	<30	53	
	13:00	39	36	<30	<30	<30	52	
	14:00	41	38	<30	<30	<30	53	
	15:00	41	37	<30	<30	<30	50	
	16:00	40	35	<30	<30	<30	53	
	17:00	35	33	<30	<30	<30	49	
18:00	34	32	<30	<30	<30	50		
平均/最大		39	36	<30	<30	<30	54	
夜間	19:00	31	<30	<30	<30	<30	51	L ₁₀ = 35
	20:00	31	<30	<30	<30	<30	50	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	5:00	31	<30	<30	<30	<30	53	
	6:00	37	32	<30	<30	<30	51	
	7:00	39	35	<30	<30	<30	51	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	53	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.3(1) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月26日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	38		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	42	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	L ₁₀ < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	7:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	42	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.3(2) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月26日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	37	33	<30	<30	<30	57	L ₁₀ = 36
	9:00	38	34	30	<30	<30	51	
	10:00	41	36	<30	<30	<30	49	
	11:00	40	34	<30	<30	<30	52	
	12:00	38	33	<30	<30	<30	53	
	13:00	34	30	<30	<30	<30	50	
	14:00	40	34	<30	<30	<30	52	
	15:00	37	31	<30	<30	<30	61	
	16:00	34	30	<30	<30	<30	51	
	17:00	32	<30	<30	<30	<30	49	
18:00	30	<30	<30	<30	<30	48		
平均/最大		36	32	<30	<30	<30	61	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	L ₁₀ = 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	6:00	32	<30	<30	<30	<30	51	
	7:00	31	30	<30	<30	<30	48	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	51	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.3(3) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度夏季)

調査期日：令和4年7月26日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	41	38	<30	<30	<30	54	L ₁₀ = 40
	9:00	42	40	<30	<30	<30	51	
	10:00	42	39	<30	<30	<30	50	
	11:00	41	37	<30	<30	<30	52	
	12:00	40	36	<30	<30	<30	54	
	13:00	41	37	<30	<30	<30	51	
	14:00	40	36	<30	<30	<30	50	
	15:00	39	36	<30	<30	<30	53	
	16:00	37	33	<30	<30	<30	51	
	17:00	36	33	<30	<30	<30	57	
18:00	33	31	<30	<30	<30	52		
平均/最大		39	36	<30	<30	<30	57	
夜間	19:00	31	<30	<30	<30	<30	50	L ₁₀ = 38
	20:00	31	<30	<30	<30	<30	52	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	5:00	31	<30	<30	<30	<30	56	
	6:00	36	32	<30	<30	<30	49	
	7:00	40	38	<30	<30	<30	51	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	56	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.4(1) 道路交通振動の調査結果（令和4年度秋季）

調査期日：令和4年10月25日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	15:00	30	<30	<30	<30	<30	44	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	46	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	L ₁₀ < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	7:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	43	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.4(2) 道路交通振動の調査結果（令和4年度秋季）

調査期日：令和4年10月25日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	39	34	<30	<30	<30	51	L ₁₀ = 35
	9:00	40	35	30	<30	<30	52	
	10:00	39	33	<30	<30	<30	53	
	11:00	41	34	30	<30	<30	53	
	12:00	37	32	<30	<30	<30	48	
	13:00	38	33	<30	<30	<30	56	
	14:00	42	35	<30	<30	<30	53	
	15:00	38	32	<30	<30	<30	51	
	16:00	35	31	<30	<30	<30	50	
	17:00	33	30	<30	<30	<30	52	
18:00	30	<30	<30	<30	<30	51		
平均/最大		37	32	<30	<30	<30	56	
夜間	19:00	30	<30	<30	<30	<30	49	L ₁₀ = 31
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	6:00	31	<30	<30	<30	<30	48	
	7:00	33	31	<30	<30	<30	50	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.4(3) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度秋季)

調査期日：令和4年10月25日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	42	38	<30	<30	<30	50	L ₁₀ = 38
	9:00	41	38	<30	<30	<30	49	
	10:00	42	38	<30	<30	<30	52	
	11:00	41	38	<30	<30	<30	53	
	12:00	38	33	<30	<30	<30	50	
	13:00	42	38	<30	<30	<30	50	
	14:00	41	38	<30	<30	<30	51	
	15:00	41	38	<30	<30	<30	51	
	16:00	41	37	<30	<30	<30	48	
	17:00	38	35	<30	<30	<30	51	
18:00	33	31	<30	<30	<30	48		
平均/最大		40	36	<30	<30	<30	53	
夜間	19:00	32	30	<30	<30	<30	54	L ₁₀ = 37
	20:00	31	<30	<30	<30	<30	51	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	5:00	30	<30	<30	<30	<30	51	
	6:00	37	32	<30	<30	<30	51	
	7:00	40	37	<30	<30	<30	55	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	55	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.5(1) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年2月1日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	40		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	44	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	L ₁₀ < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	7:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	45	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.5(2) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年2月1日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	39	32	<30	<30	<30	51	L ₁₀ = 34
	9:00	38	31	<30	<30	<30	53	
	10:00	37	31	<30	<30	<30	53	
	11:00	39	31	<30	<30	<30	60	
	12:00	34	<30	<30	<30	<30	52	
	13:00	35	30	<30	<30	<30	51	
	14:00	40	34	<30	<30	<30	50	
	15:00	36	30	<30	<30	<30	54	
	16:00	35	30	<30	<30	<30	50	
	17:00	31	<30	<30	<30	<30	51	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	48		
平均/最大		36	30	<30	<30	<30	60	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	L ₁₀ < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	6:00	31	<30	<30	<30	<30	48	
	7:00	31	<30	<30	<30	<30	48	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	49	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.1.5(3) 道路交通振動の調査結果 (令和4年度冬季)

調査期日：令和5年2月1日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	42	39	<30	<30	<30	51	L ₁₀ = 39
	9:00	42	38	<30	<30	<30	52	
	10:00	42	39	<30	<30	<30	54	
	11:00	42	39	<30	<30	<30	49	
	12:00	39	34	<30	<30	<30	58	
	13:00	42	38	<30	<30	<30	51	
	14:00	41	38	<30	<30	<30	51	
	15:00	40	36	<30	<30	<30	51	
	16:00	40	36	<30	<30	<30	53	
	17:00	37	33	<30	<30	<30	51	
18:00	33	31	<30	<30	<30	49		
平均/最大		40	37	<30	<30	<30	58	
夜間	19:00	31	30	<30	<30	<30	52	L ₁₀ = 36
	20:00	30	<30	<30	<30	<30	48	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	30	<30	<30	<30	<30	49	
	6:00	37	33	<30	<30	<30	49	
	7:00	39	36	<30	<30	<30	50	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	52	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL_{max}の最大値です。

2.3.2 建設作業振動

国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)における令和4年度春季から冬季の建設作業振動の調査結果は表-2.3.2.1～表-2.3.2.4に示すとおりです。

国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)の80%レンジ上端値(L_{10})は全ての季節で30dB未満でした。

環境監視基準(75dB以下)と比較すると、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-2.3.2.1(1) 建設作業振動の調査結果（令和4年度春季）

調査期日：令和4年4月8日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	30	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.2.1(2) 建設作業振動の調査結果（令和4年度春季）

調査期日：令和4年4月8日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EV-13)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	32	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.2.2(1) 建設作業振動の調査結果（令和4年度夏季）

調査期日：令和4年7月22日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EV-10）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	32	<30	<30	<30	<30	40	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	13:00	31	<30	<30	<30	<30	40	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	42	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.2.2(2) 建設作業振動の調査結果（令和4年度夏季）

調査期日：令和4年7月22日

単位：dB

調査地点		辺野古集落（EV-13）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	40	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.2.3(1) 建設作業振動の調査結果（令和4年度秋季）

調査期日：令和4年10月14日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EV-10）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	34	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.2.3(2) 建設作業振動の調査結果（令和4年度秋季）

調査期日：令和4年10月14日

単位：dB

調査地点		辺野古集落（EV-13）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	34		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	42	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.2.4(1) 建設作業振動の調査結果（令和4年度冬季）

調査期日：令和5年1月27日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EV-10）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	36	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

表-2.3.2.4(2) 建設作業振動の調査結果（令和4年度冬季）

調査期日：令和5年1月27日

単位：dB

調査地点		辺野古集落（EV-13）						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L _{max}	時間区分の最大値
		L ₅	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₉₅		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	L ₁₀ < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	40		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL_{max}の最大値です。

2.4 低周波音

2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

(1) 低周波音の状況

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)における令和4年度春季から冬季の建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果は表-2.4.1.1及び図-2.4.1.1～図-2.4.1.4に示すとおりです。

1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは 38.2～69.8dB の範囲で推移しており、辺野古集落(LF-13)の低周波数域、及び31.5Hz付近の音圧レベルが高くなる傾向がみられました。

環境監視基準と比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-2.4.1.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果一覧

調査期日 R4年度春季：令和4年4月8日 R4年度夏季：令和4年7月22日
R4年度秋季：令和4年10月14日 R4年度冬季：令和5年1月27日

単位：dB

地点名	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル																			
		1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
LF-10	R4年度春季	48.0	46.9	46.2	46.3	44.9	47.5	46.3	44.7	47.4	45.5	44.4	45.6	46.7	49.2	50.5	53.3	52.3	52.5	52.9	51.3
	R4年度夏季	44.5	43.0	41.2	40.0	38.2	38.6	38.8	39.0	40.0	40.5	42.8	43.6	44.6	46.3	49.2	50.7	52.6	59.4	54.6	49.6
	R4年度秋季	50.6	47.9	45.7	44.5	43.8	43.7	43.8	43.8	43.3	43.4	43.6	44.4	45.3	47.7	49.6	53.5	54.2	52.3	53.1	51.6
	R4年度冬季	56.6	53.1	51.4	50.8	50.0	49.4	49.0	48.1	47.6	47.1	47.1	47.2	47.7	49.9	49.8	50.2	50.7	50.7	50.8	51.3
LF-13	R4年度春季	58.0	56.2	54.8	54.1	51.1	52.3	51.4	49.9	49.4	47.8	46.5	47.3	48.8	52.4	54.1	64.4	58.1	56.9	59.9	57.2
	R4年度夏季	67.9	64.7	61.3	59.1	56.1	54.7	51.3	48.0	45.9	44.4	46.3	47.3	47.9	49.7	52.4	65.8	60.0	57.3	59.2	56.2
	R4年度秋季	58.6	57.2	55.7	54.0	52.4	50.3	48.2	46.2	44.9	44.8	43.4	45.4	46.3	48.6	51.6	64.0	56.3	58.5	59.7	57.4
	R4年度冬季	69.8	66.3	62.9	60.0	57.5	54.8	52.8	51.3	49.9	48.4	47.4	47.9	49.2	50.5	52.6	63.6	57.8	58.3	58.0	55.6
環境監視基準	心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
	物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-

注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間毎の測定値のエネルギー平均値です。

2. 地点名のLF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。

3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、生理的、物的影響に係る閾値としています。

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和4年度春季

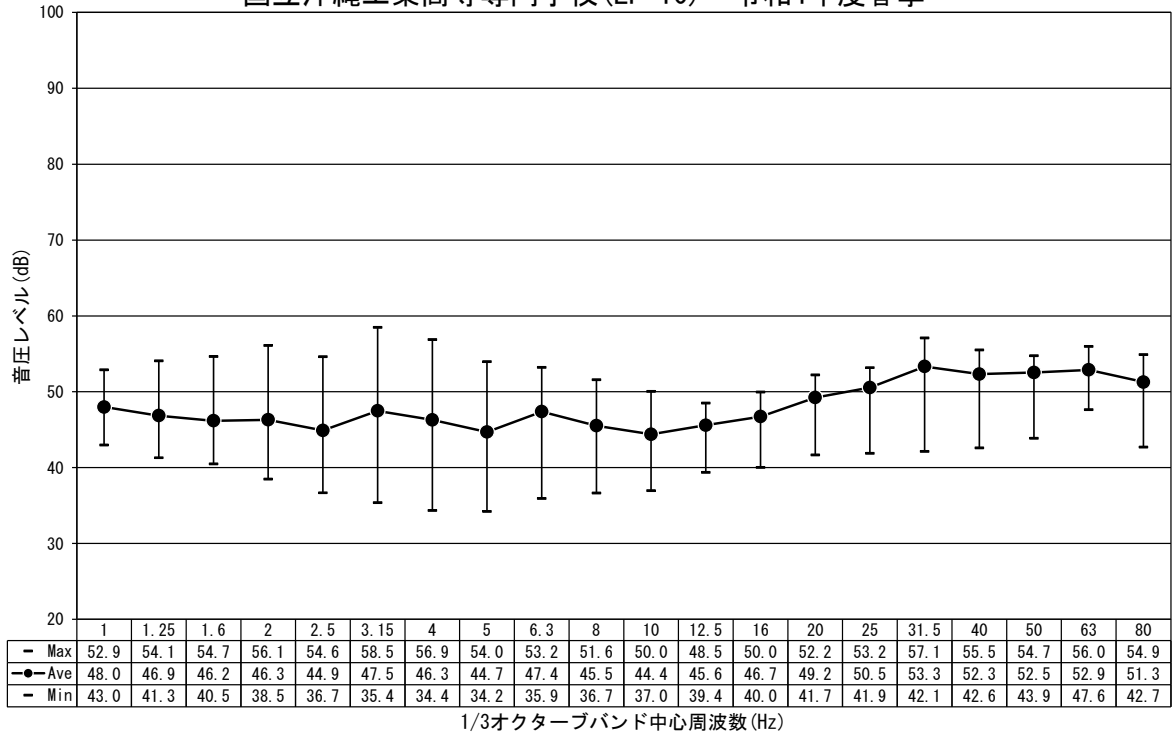


図-2.4.1.1(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度春季)

辺野古集落(LF-13) 令和4年度春季

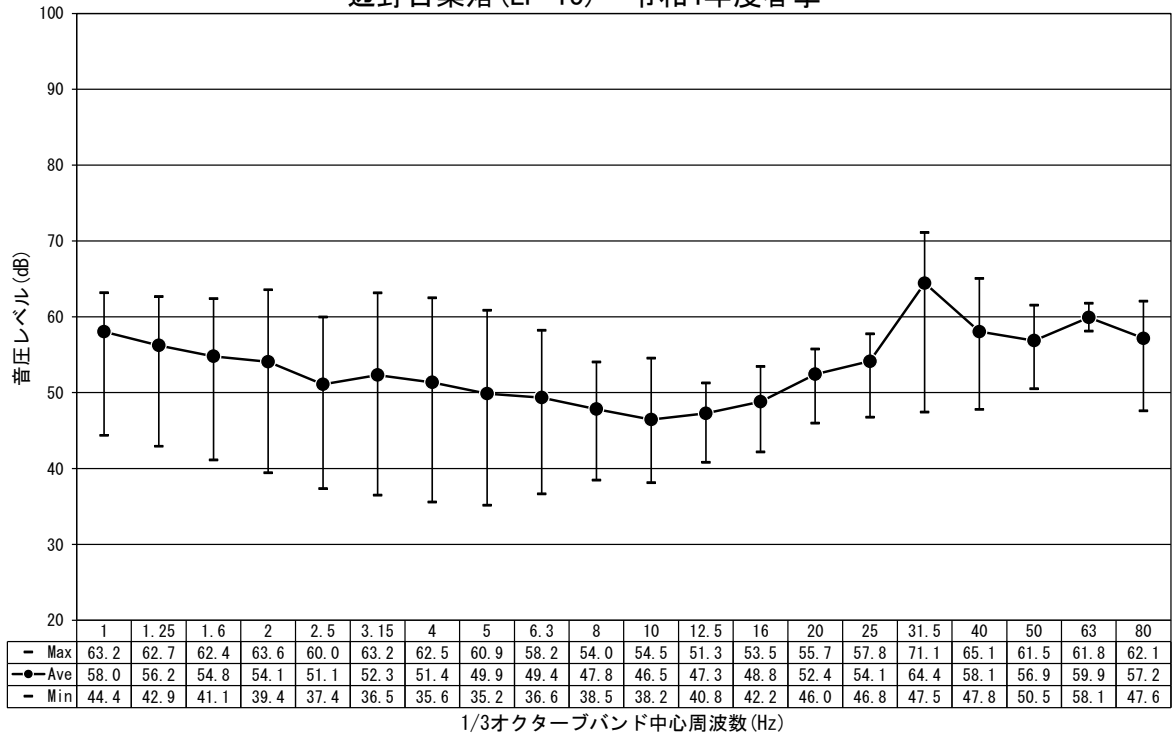


図-2.4.1.1(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度春季)

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和4年度夏季

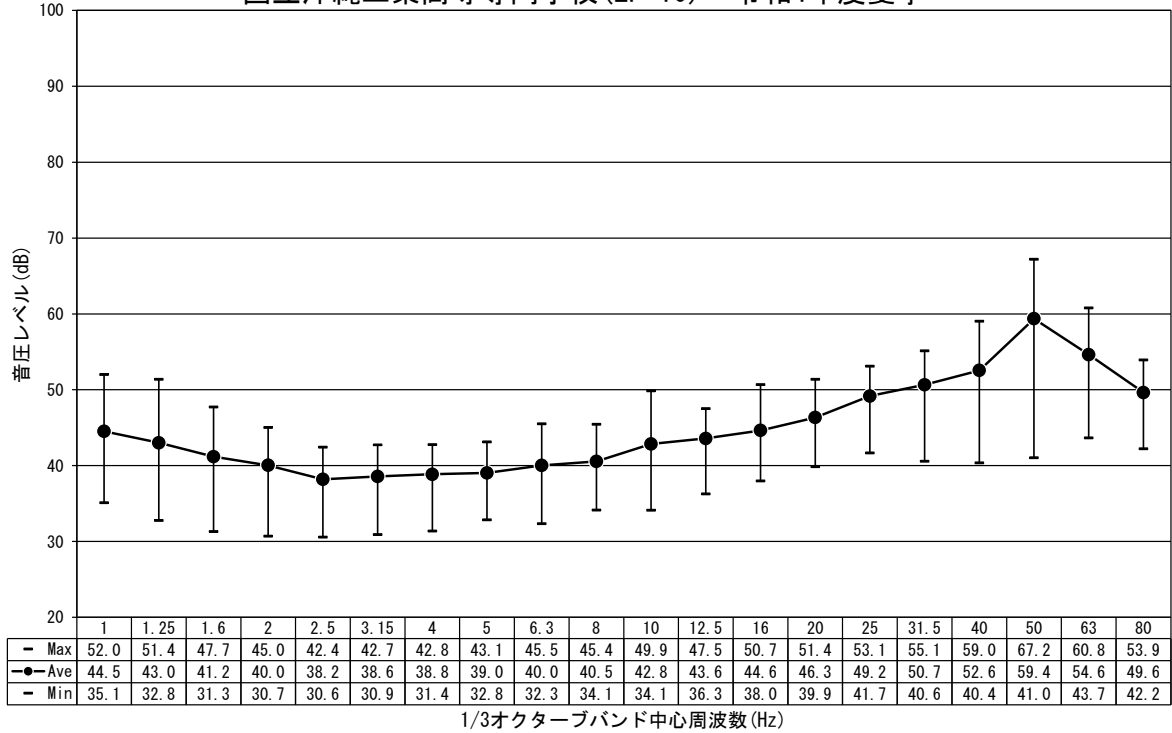


図-2.4.1.2(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度夏季)

辺野古集落(LF-13) 令和4年度夏季

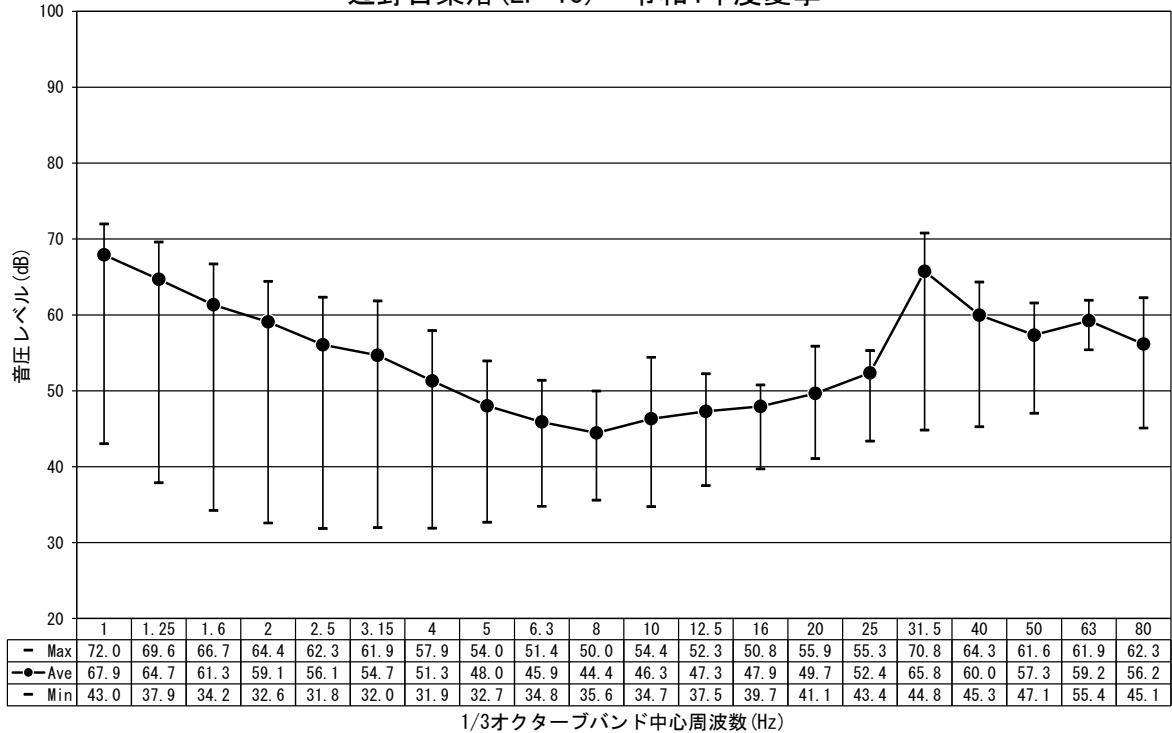


図-2.4.1.2(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度夏季)

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和4年度秋季

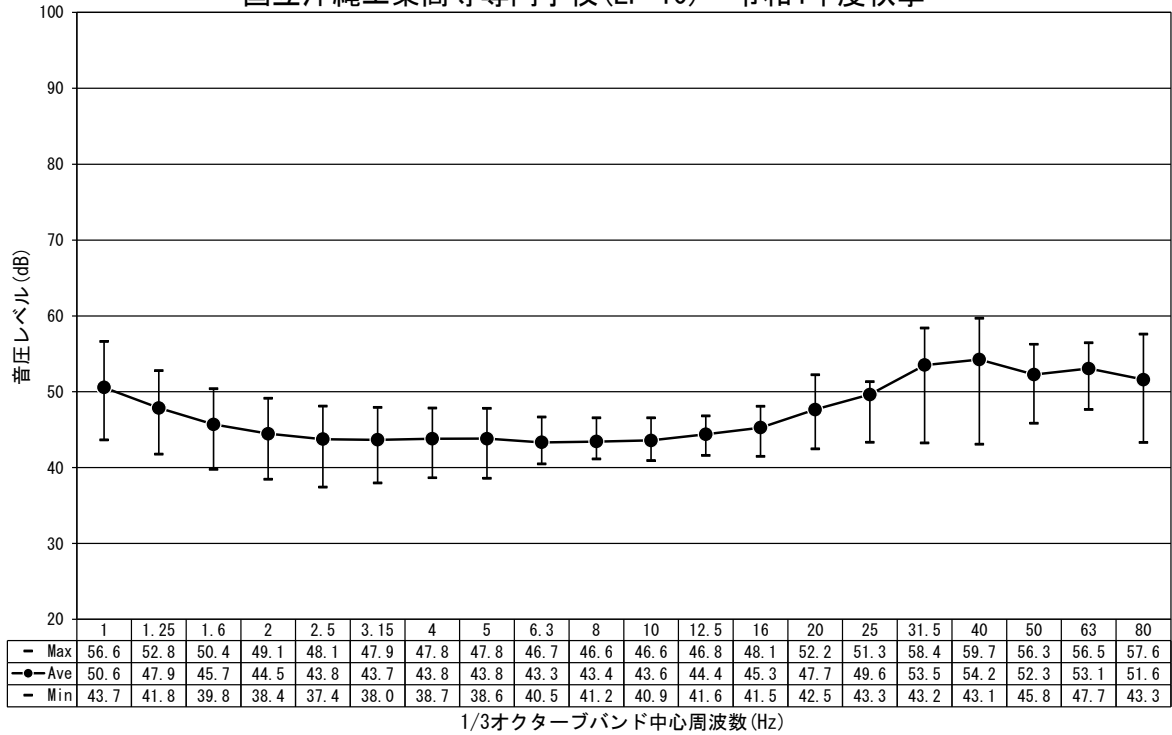


図-2.4.1.3(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度秋季)

辺野古集落(LF-13) 令和4年度秋季

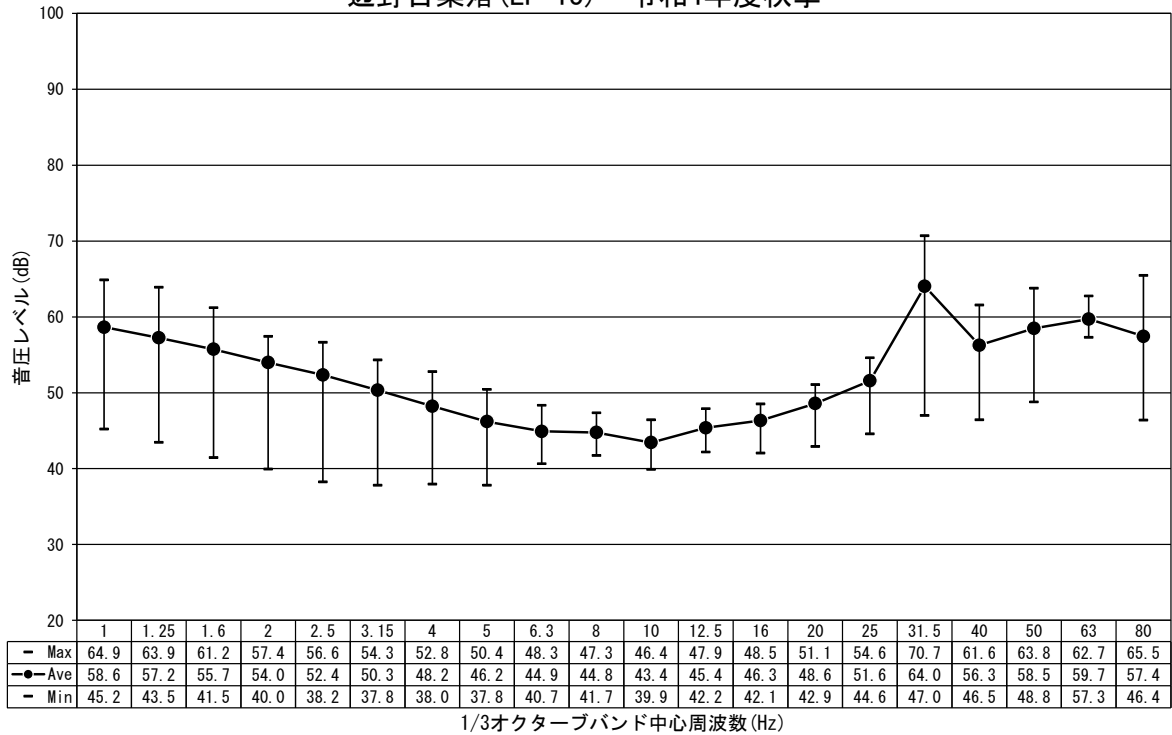


図-2.4.1.3(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度秋季)

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和4年度冬季

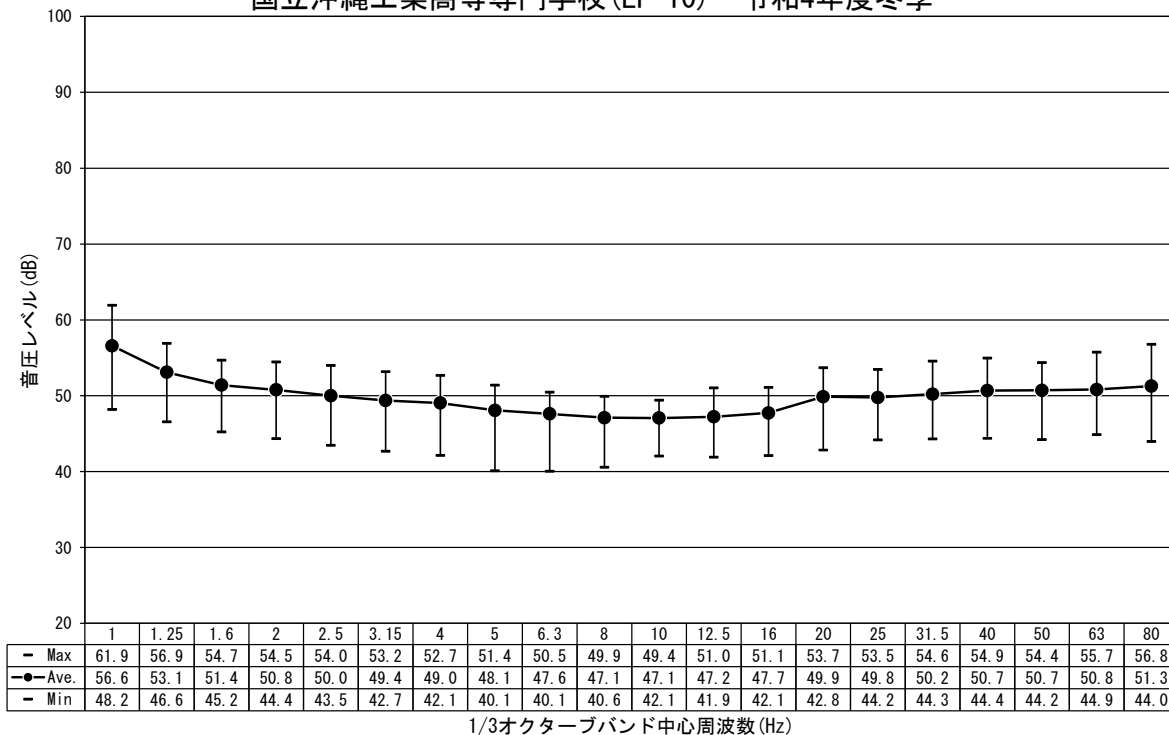


図-2.4.1.4(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度冬季)

辺野古集落(LF-13) 令和4年度冬季

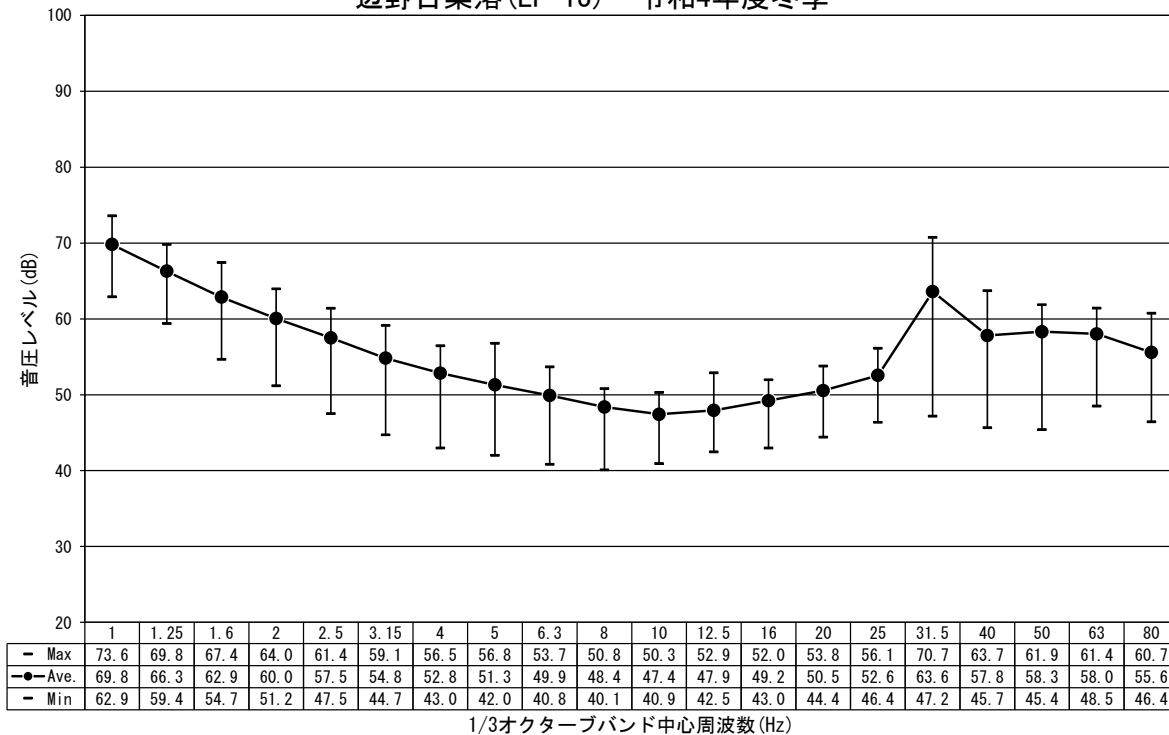


図-2.4.1.4(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度冬季)

(2) 風向・風速の状況

低周波音調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)における令和4年度春季から冬季の風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.4.1.2及び図-2.4.1.5～図-2.4.1.8に示すとおりです。

令和4年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で東寄り、辺野古集落(LF-13)で東北東寄りの風が卓越していました。平均風速は0.3～0.9m/sとなっており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)では静穏率(Calm)が高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

令和4年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で東南東寄り、辺野古集落(LF-13)で西寄りの風が卓越していました。平均風速は0.4～1.2m/sとなっており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)では静穏率(Calm)が高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

令和4年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で北東寄り、辺野古集落(LF-13)で東北東寄りの風が卓越していました。平均風速は0.5～1.1m/sとなっており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)では静穏率(Calm)が高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

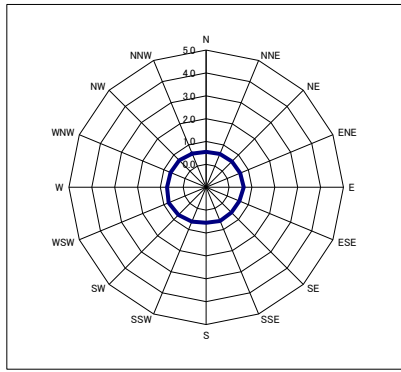
令和4年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で北東寄り、辺野古集落(LF-13)で北西寄りの風が卓越していました。平均風速は0.5～1.4m/sとなっており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)では静穏率(Calm)が高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

表-2.4.1.2 風向・風速の調査結果一覧

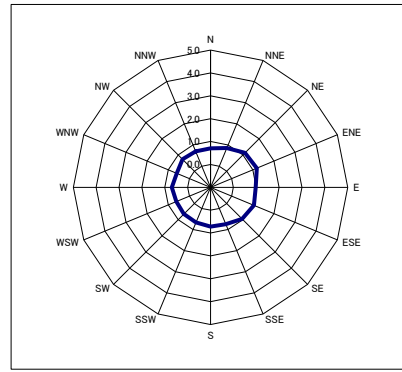
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	LF-10	LF-13
R4年度春季	最多風向	E	ENE
	平均風速	0.3	0.9
R4年度夏季	最多風向	ESE	W
	平均風速	0.4	1.2
R4年度秋季	最多風向	NE	ENE
	平均風速	0.5	1.1
R4年度冬季	最多風向	NE	NW
	平均風速	0.5	1.4

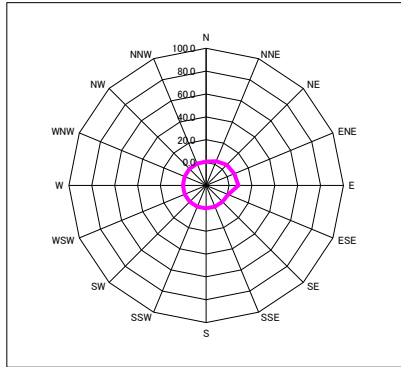
注) 地点名のLF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。



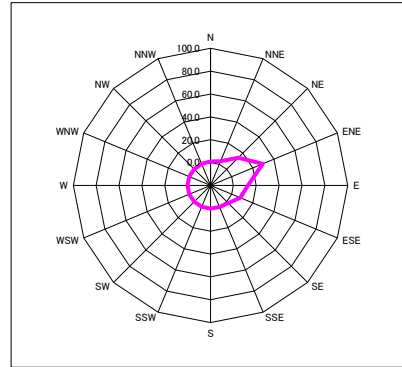
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.5
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.7
WSW	0.8
W	0.7
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.9
NE	1.1
ENE	1.2
E	1.0
ESE	1.1
SE	1.0
SSE	0.7
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.7
WNW	0.6
NW	0.7
NNW	0.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.8
NNE	2.9
NE	5.5
ENE	6.7
E	8.3
ESE	0.9
SE	0.1
SSE	0.1
S	0.1
SSW	0.1
SW	0.3
WSW	0.4
W	0.4
WNW	0.4
NW	0.6
NNW	0.7
calm	71.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.0
NNE	2.8
NE	14.3
ENE	29.5
E	12.9
ESE	8.1
SE	1.9
SSE	0.4
S	0.3
SSW	0.2
SW	0.2
WSW	0.1
W	0.1
WNW	0.1
NW	0.2
NNW	0.4
calm	27.6

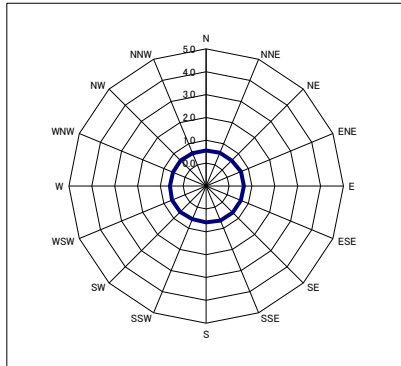
観測期間：令和4年4月8日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校 (LF-10)

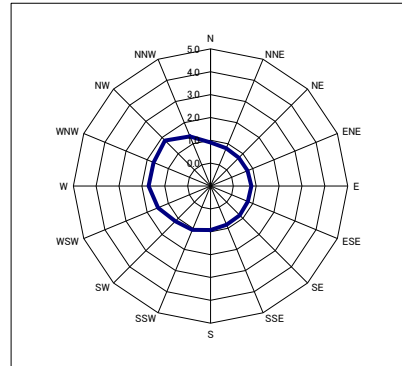
観測期間：令和4年4月8日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

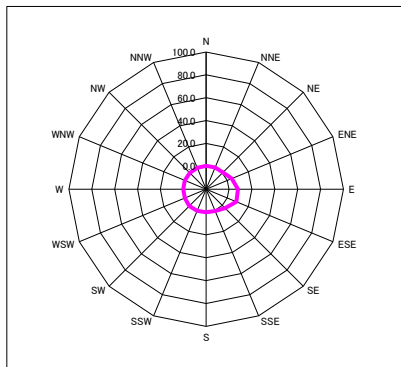
図-2.4.1.5 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度春季)



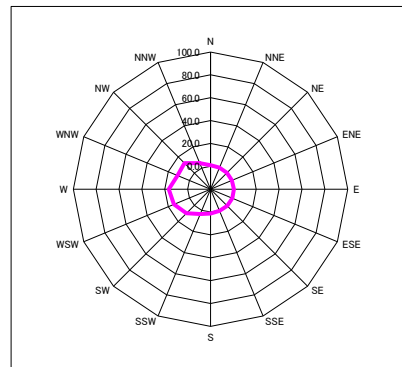
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	0.8
NE	0.7
ENE	0.8
E	0.8
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.8
S	0.9
SSW	1.1
SW	1.2
WSW	1.5
W	1.7
WNW	1.7
NW	1.8
NNW	1.3



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.4
NNE	0.6
NE	0.8
ENE	4.3
E	7.9
ESE	8.6
SE	3.5
SSE	0.8
S	0.2
SSW	0.5
SW	0.9
WSW	0.2
W	0.1
WNW	0.1
NW	0.1
NNW	0.2
calm	71.0



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.9
NNE	0.3
NE	0.2
ENE	0.2
E	0.5
ESE	0.6
SE	0.7
SSE	0.6
S	1.4
SSW	3.6
SW	9.8
WSW	14.7
W	16.6
WNW	11.2
NW	12.2
NNW	4.7
calm	21.9

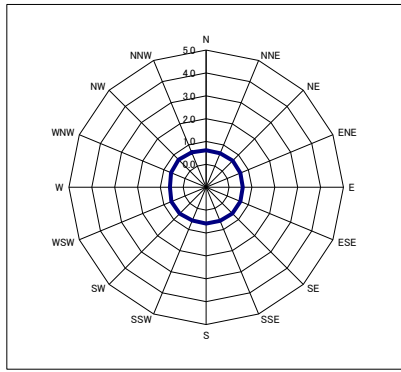
観測期間：令和4年7月22日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校 (LF-10)

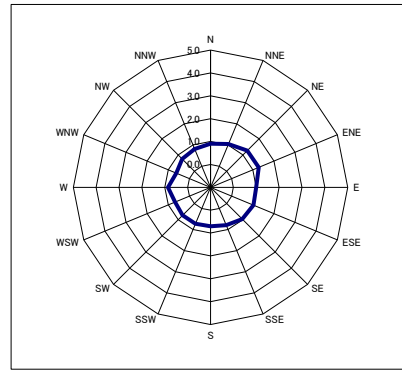
観測期間：令和4年7月22日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

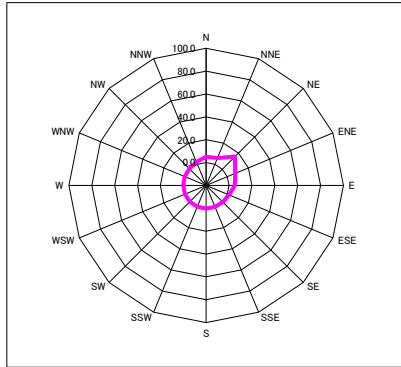
図-2.4.1.6 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度夏季)



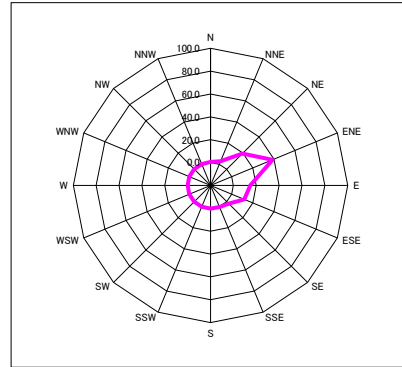
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	0.7



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	1.0
NE	1.3
ENE	1.3
E	1.0
ESE	1.0
SE	1.0
SSE	0.8
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.9
WNW	0.6
NW	0.7
NNW	0.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	5.1
NNE	5.9
NE	15.6
ENE	7.5
E	5.0
ESE	1.7
SE	0.6
SSE	0.2
S	0.1
SSW	0.1
SW	0.1
WSW	0.1
W	0.1
WNW	0.3
NW	0.9
NNW	2.3
calm	54.4



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.5
NNE	2.9
NE	19.5
ENE	38.7
E	14.8
ESE	12.0
SE	2.5
SSE	0.5
S	0.2
SSW	0.1
SW	0.1
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.1
NW	0.2
NNW	0.2
calm	7.6

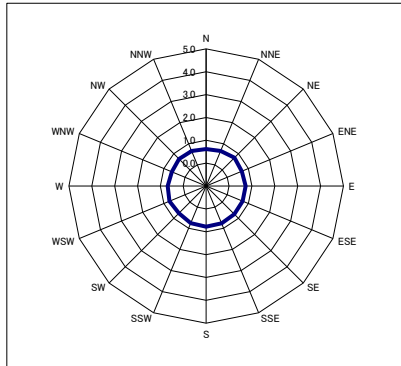
観測期間：令和4年10月14日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校 (LF-10)

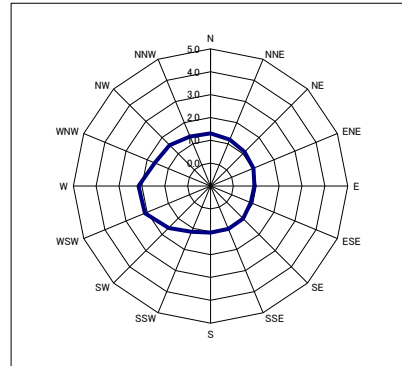
観測期間：令和4年10月14日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

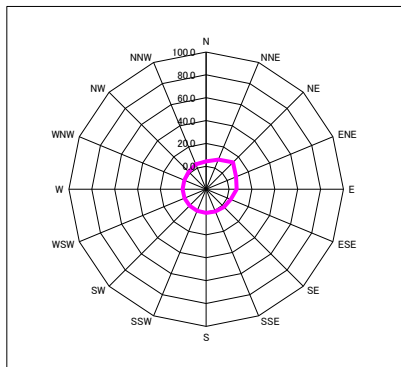
図-2.4.1.7 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度秋季)



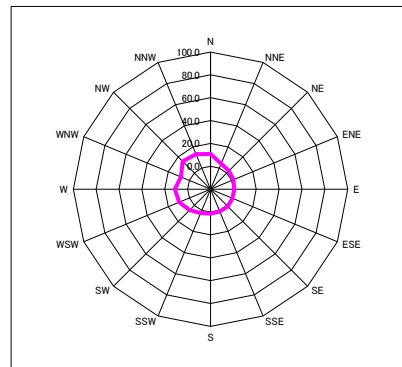
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.7
NE	0.8
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.8
S	0.8
SSW	0.8
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.7
WNW	0.6
NW	0.7
NNW	0.7



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.3
NNE	1.2
NE	1.1
ENE	1.0
E	0.9
ESE	0.9
SE	1.0
SSE	1.0
S	1.0
SSW	1.2
SW	1.6
WSW	2.1
W	2.1
WNW	1.6
NW	1.5
NNW	1.3



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.3
NNE	8.0
NE	13.2
ENE	8.3
E	6.7
ESE	3.3
SE	2.1
SSE	1.2
S	0.8
SSW	0.5
SW	0.5
WSW	0.5
W	0.6
WNW	0.6
NW	1.6
NNW	3.6
calm	44.3



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	10.7
NNE	4.2
NE	2.6
ENE	1.7
E	0.8
ESE	0.9
SE	1.5
SSE	1.2
S	1.5
SSW	2.6
SW	5.9
WSW	9.7
W	11.2
WNW	8.0
NW	14.4
NNW	13.1
calm	9.9

観測期間：令和5年1月27日 6:00-22:00

国立沖縄工業高等専門学校 (LF-10)

観測期間：令和5年1月27日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

図-2.4.1.8 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度冬季)

2.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

(1) 低周波音の状況

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和4年度春季から冬季の資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果一覧は表-2.4.2.1に、調査結果は図-2.4.2.1～図-2.4.2.4に示すとおりです。

1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは 41.7～69.7dB の範囲で推移し、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)の低周波数域の音圧レベルが高くなる傾向がみられました。

環境監視基準と比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-2.4.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果一覧

調査期日 R4年度春季：令和4年4月19日 R4年度夏季：令和4年7月26日
R4年度秋季：令和4年10月25日 R4年度冬季：令和5年2月1日

単位：dB

地点名	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル																			
		1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
TN-5	R4年度春季	69.0	65.1	60.0	53.6	47.2	43.0	41.8	41.7	44.7	43.8	46.0	49.3	51.6	54.4	55.6	57.2	59.7	61.8	62.7	59.5
	R4年度夏季	67.4	63.8	58.7	52.5	46.1	42.4	41.7	43.3	46.0	46.1	46.8	50.9	52.5	53.8	55.1	57.6	59.6	61.6	60.7	59.2
	R4年度秋季	68.2	64.7	59.9	53.7	48.0	44.7	43.4	42.8	43.0	44.3	46.7	50.4	52.9	54.7	56.7	59.0	60.5	62.8	63.1	60.2
	R4年度冬季	69.7	66.2	61.2	55.4	51.3	50.7	53.9	54.1	49.1	47.4	48.6	50.4	51.6	54.8	55.7	58.3	60.3	61.4	60.3	58.5
TN-10	R4年度春季	60.3	55.6	50.4	47.5	44.8	44.0	44.9	44.2	47.8	49.6	50.7	54.6	56.4	57.5	61.6	59.6	59.8	61.9	61.5	60.4
	R4年度夏季	64.6	60.3	55.3	50.9	47.8	45.9	45.9	44.8	47.1	49.8	50.8	55.6	56.0	56.6	58.8	59.7	61.8	63.1	61.6	62.9
	R4年度秋季	63.4	59.0	54.3	50.8	48.3	46.7	46.6	46.1	48.6	49.7	51.4	56.1	56.6	58.3	59.6	59.2	60.0	61.9	64.8	62.1
	R4年度冬季	67.2	63.5	58.9	55.7	54.9	52.1	53.5	53.7	59.9	50.9	51.8	54.2	55.0	57.1	60.3	60.7	61.9	62.7	61.3	61.0
TN-11	R4年度春季	58.2	53.5	49.7	47.3	45.5	44.2	42.8	42.3	43.0	44.1	45.8	50.5	52.3	57.4	60.8	59.4	62.6	64.9	65.2	64.3
	R4年度夏季	57.0	51.8	47.5	44.8	43.5	42.3	41.8	42.0	43.9	44.1	44.8	49.2	51.9	55.4	56.1	58.3	61.6	64.4	66.2	64.1
	R4年度秋季	65.0	62.1	59.6	58.3	55.5	54.4	52.4	50.0	47.2	45.8	45.9	50.3	54.3	56.5	59.1	60.9	62.1	65.1	67.1	64.0
	R4年度冬季	63.4	60.0	56.8	54.6	52.9	51.3	49.4	48.1	46.1	45.1	45.8	50.8	52.7	58.2	58.6	59.7	63.6	65.4	64.8	64.3
環境監視基準	心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
	物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-

注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間毎の測定値のエネルギー平均値です。

2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。

3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、生理的、物的影響に係る閾値としています。

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5) 令和4年度春季

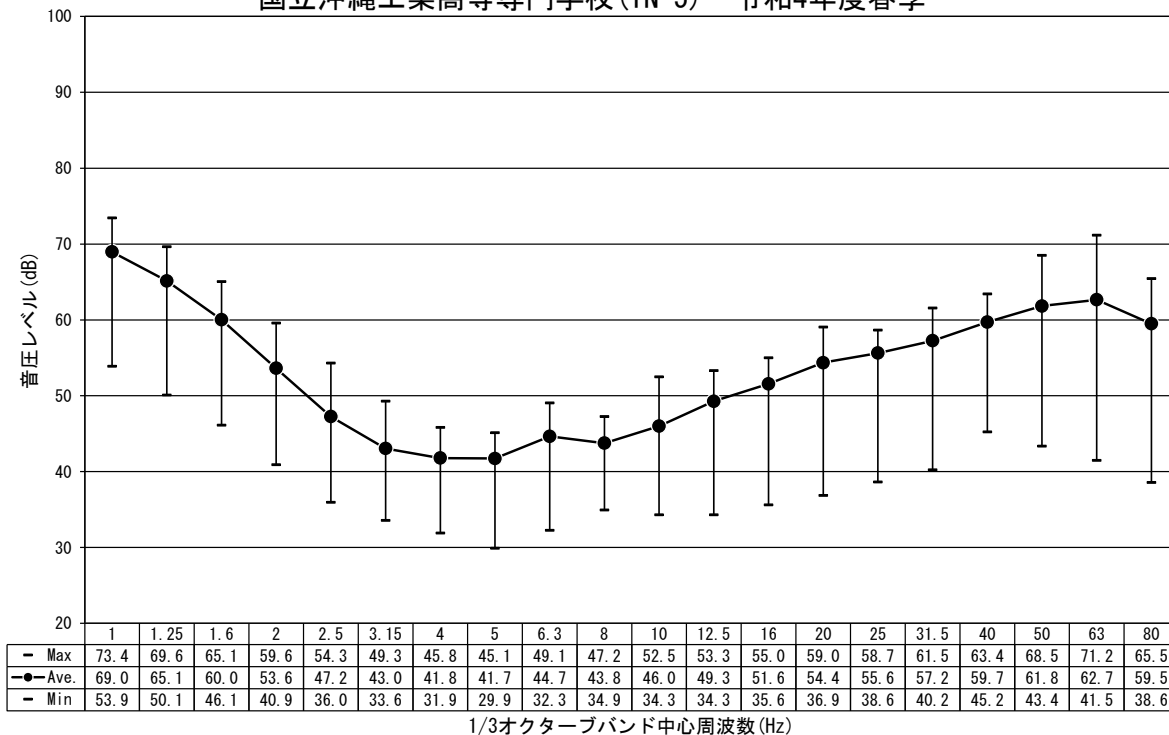


図-2.4.2.1(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度春季)

世富慶集落(TN-10) 令和4年度春季

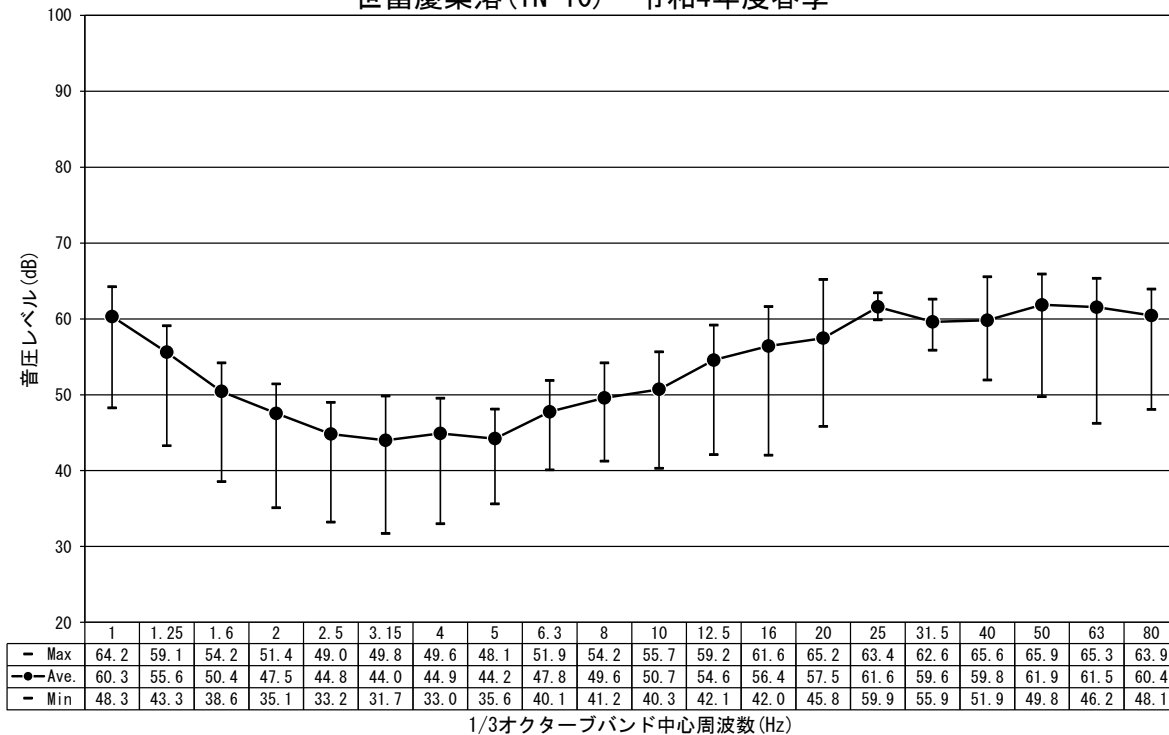


図-2.4.2.1(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度春季)

松田集落 (TN-11) 令和4年度春季

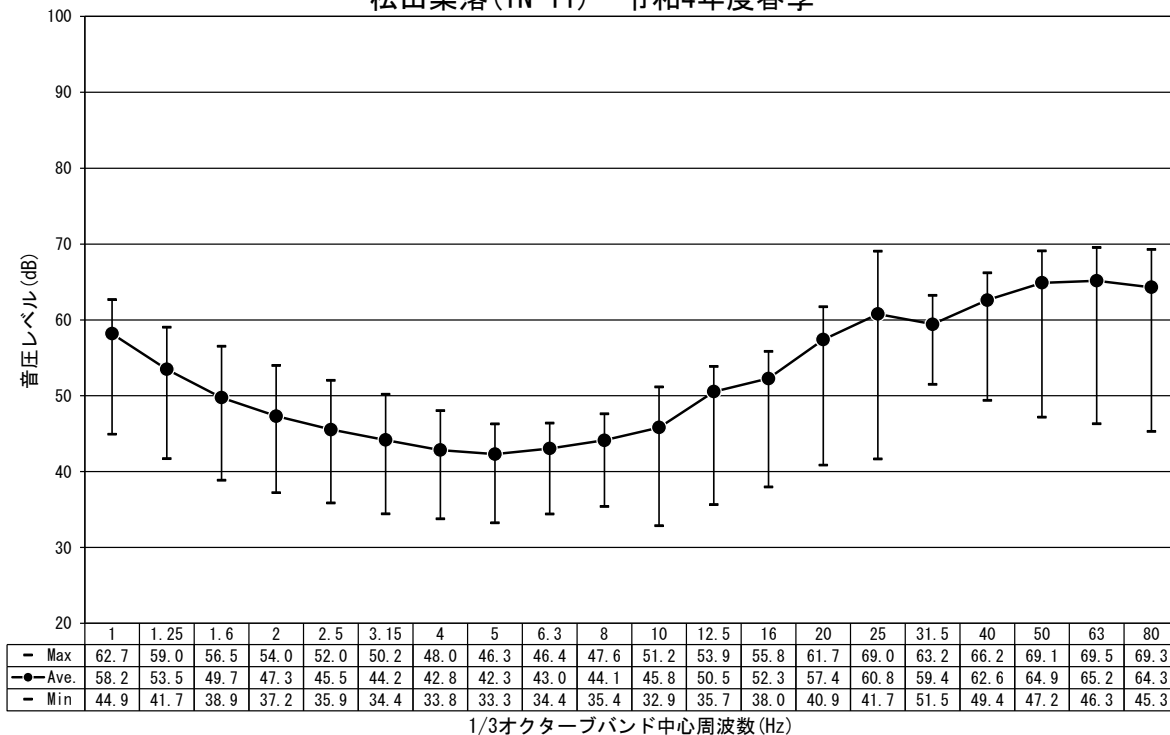


図-2.4.2.1(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度春季)

国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5) 令和4年度夏季

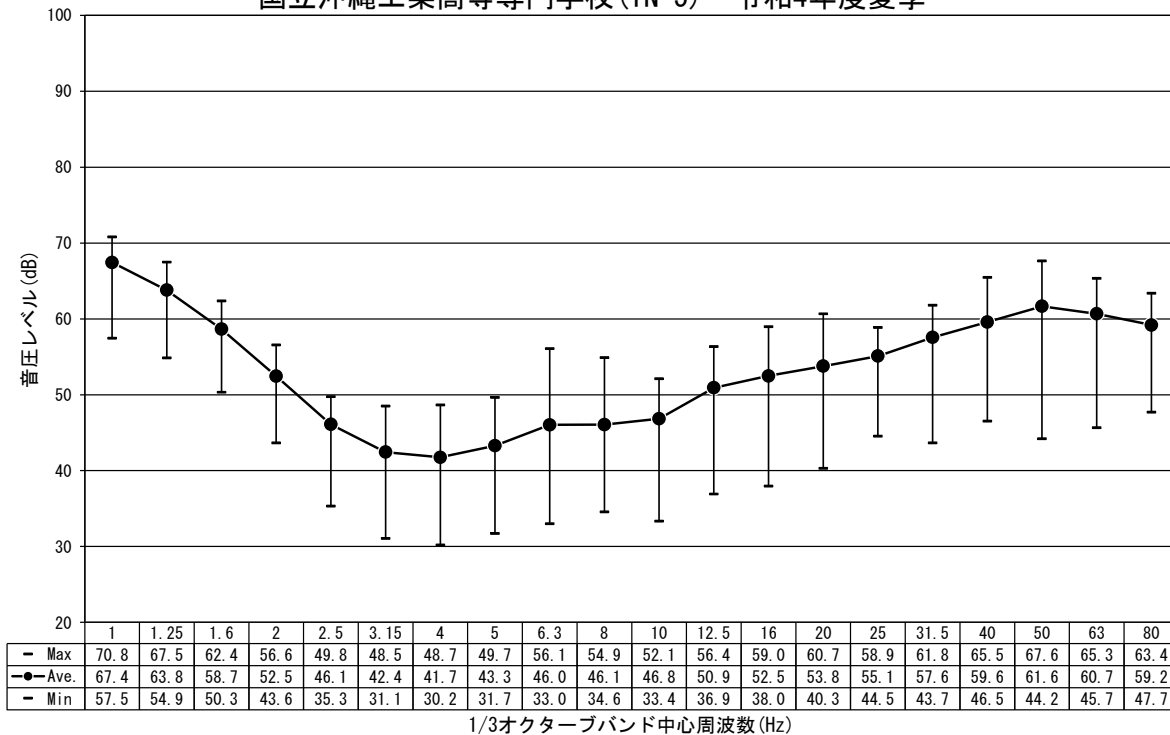


図-2.4.2.2(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度夏季)

世富慶集落 (TN-10) 令和4年度夏季

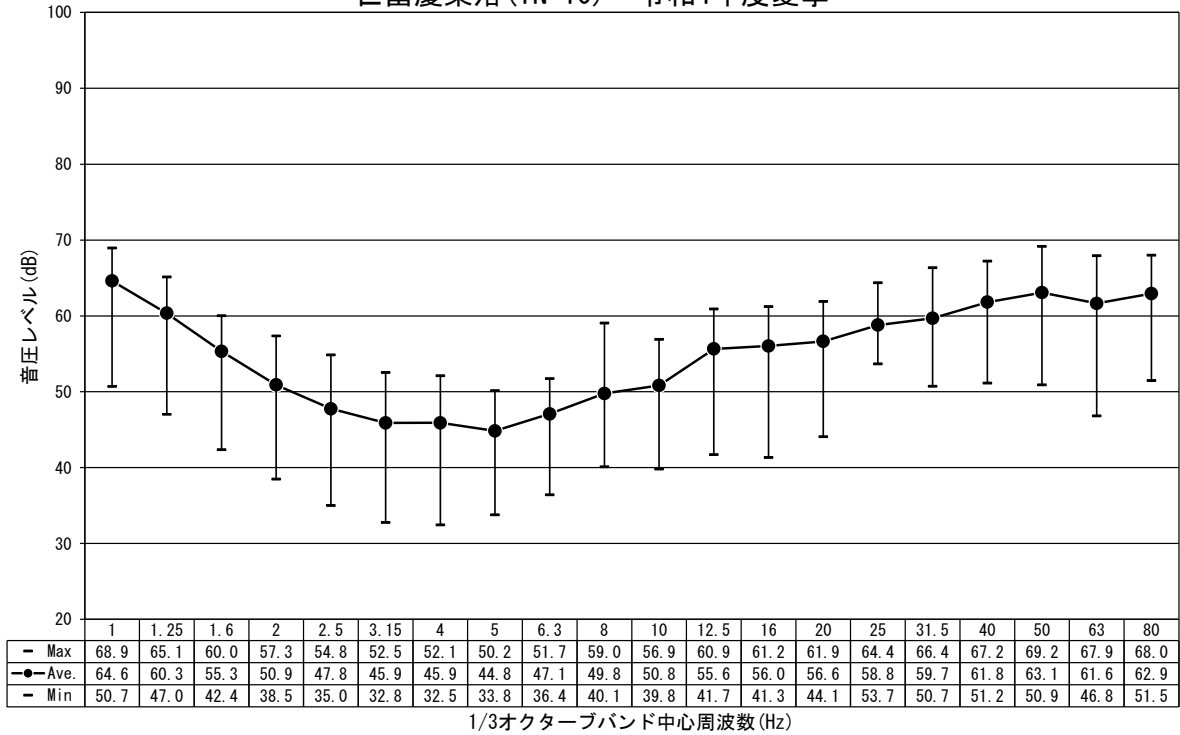


図-2.4.2.2(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度夏季)

松田集落 (TN-11) 令和4年度夏季

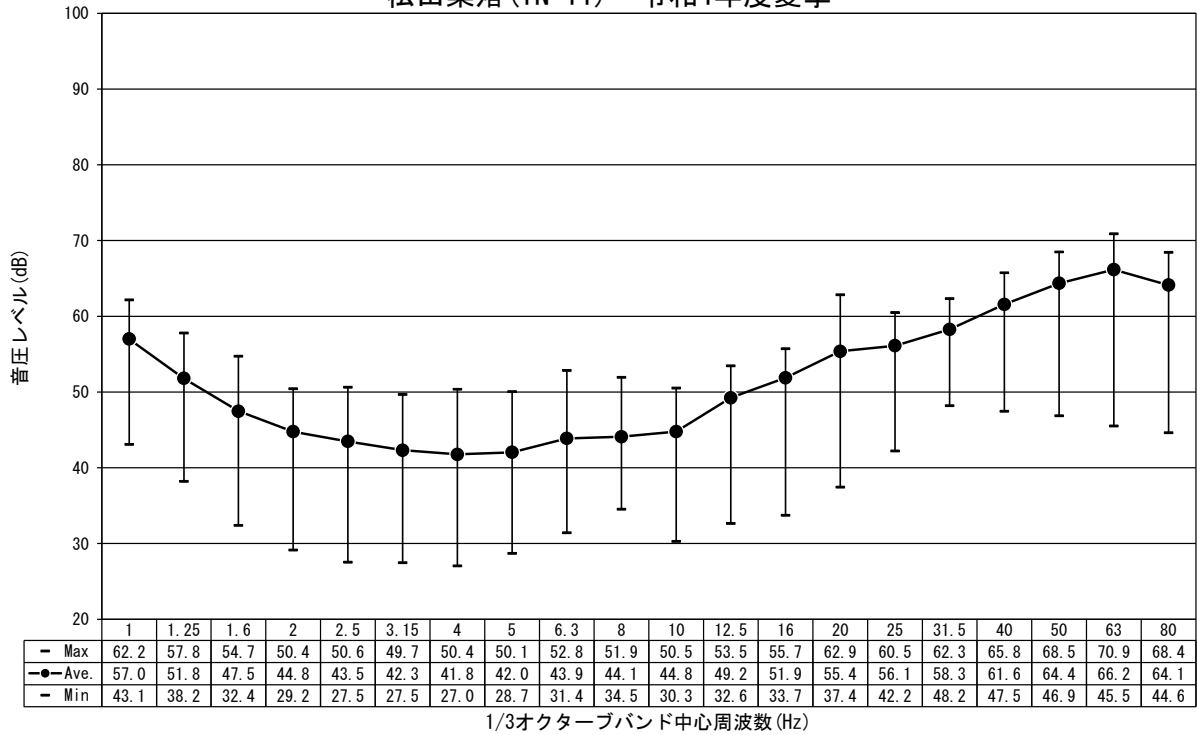


図-2.4.2.2(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度夏季)

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5) 令和4年度秋季

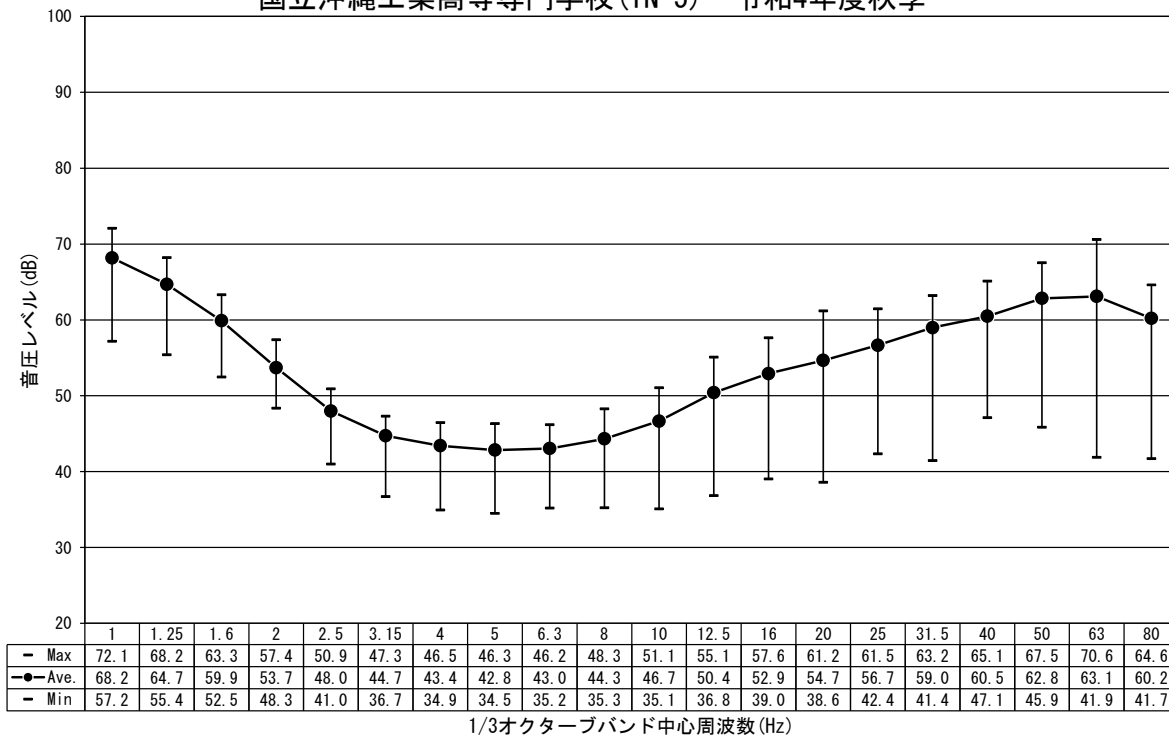


図-2.4.2.3(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度秋季)

世富慶集落(TN-10) 令和4年度秋季

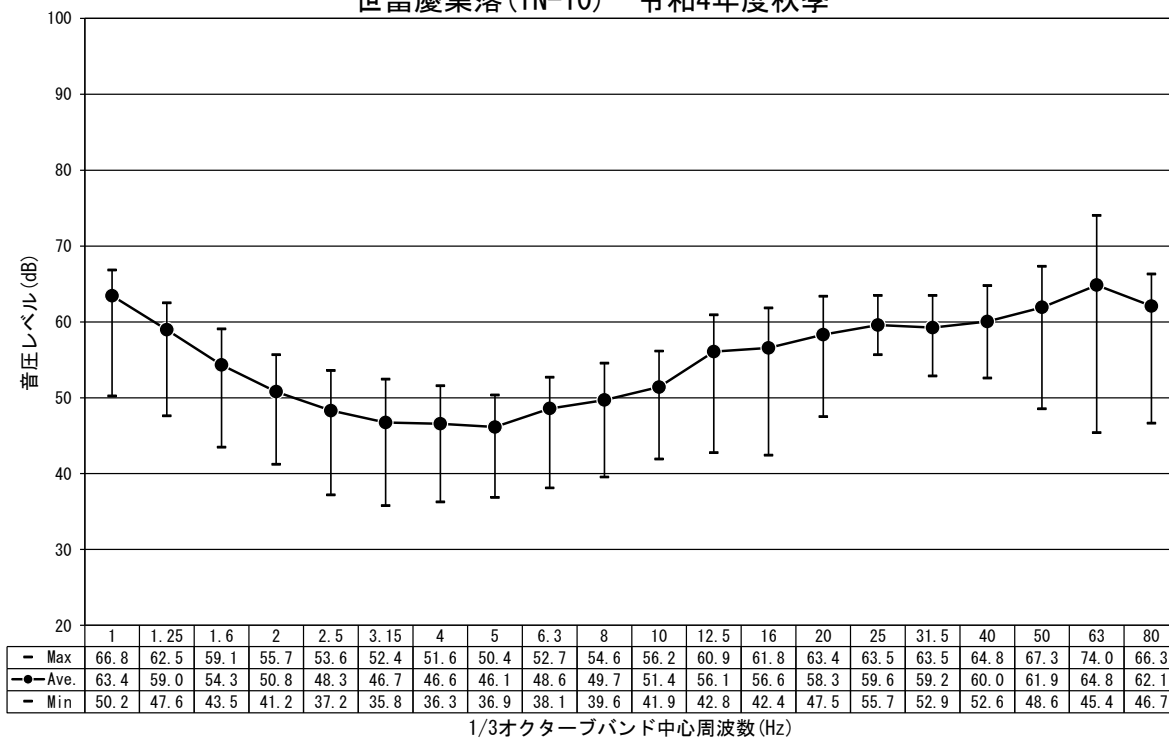


図-2.4.2.3(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度秋季)

松田集落 (TN-11) 令和4年度秋季

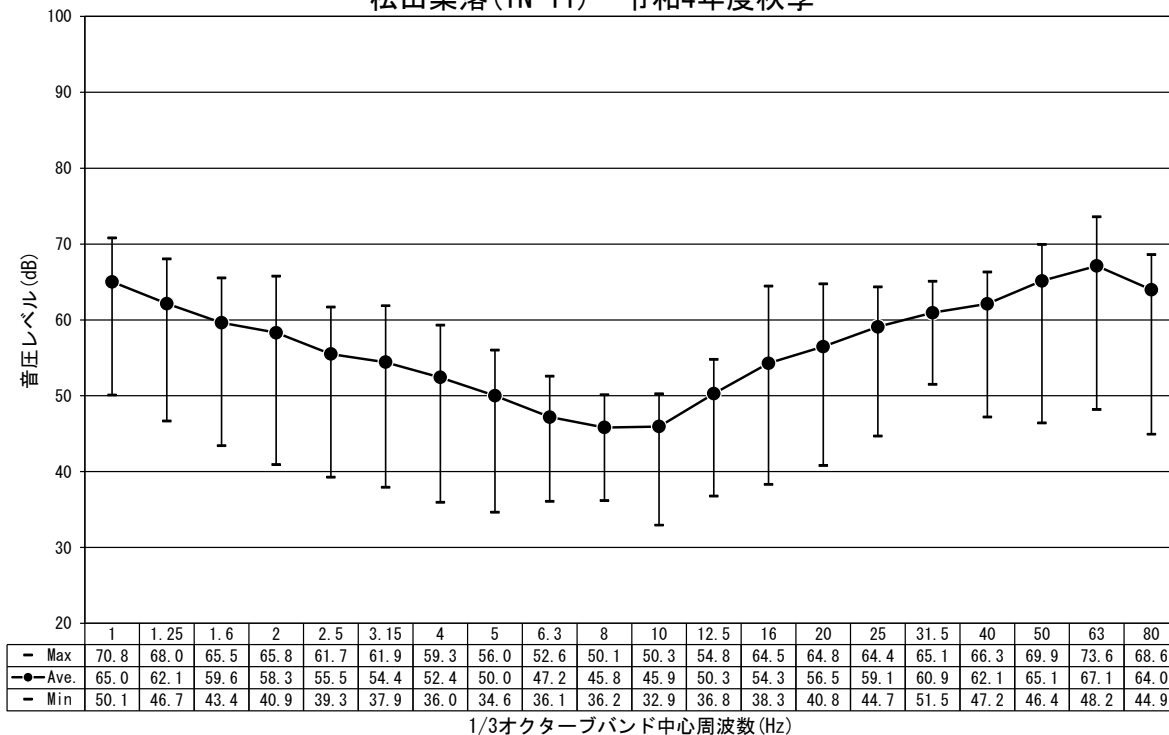


図-2.4.2.3(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度秋季)

国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5) 令和4年度冬季

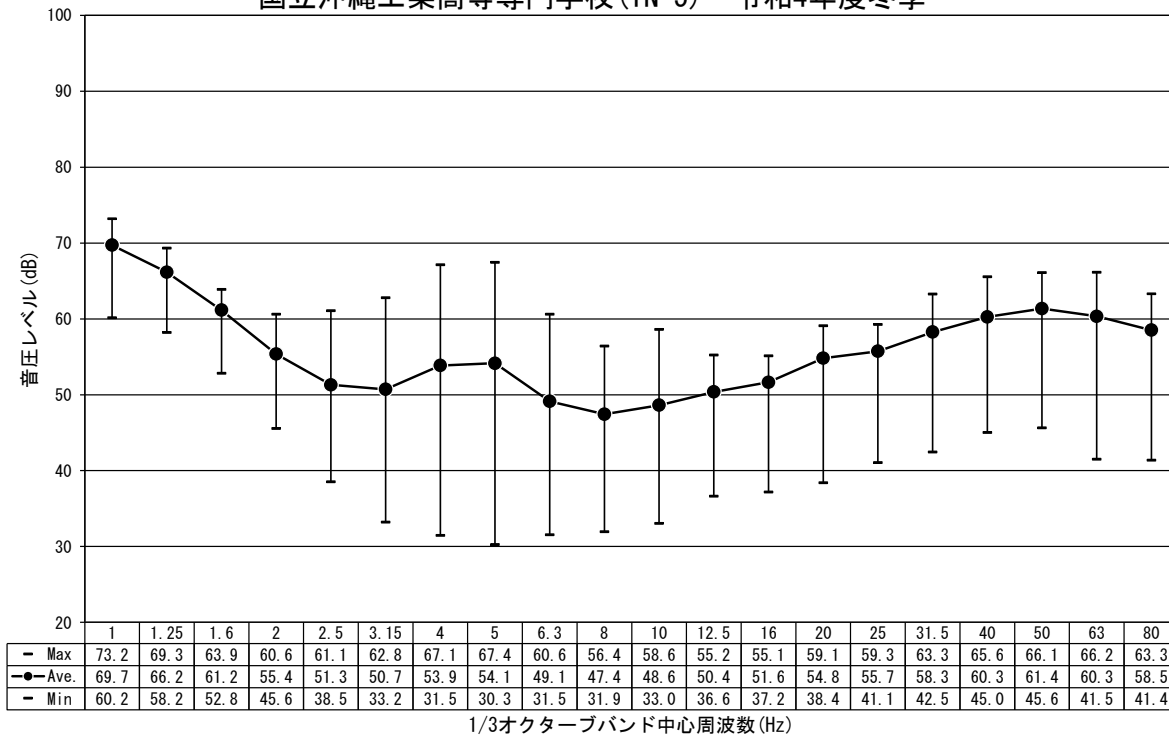


図-2.4.2.4(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度冬季)

世富慶集落 (TN-10) 令和4年度冬季

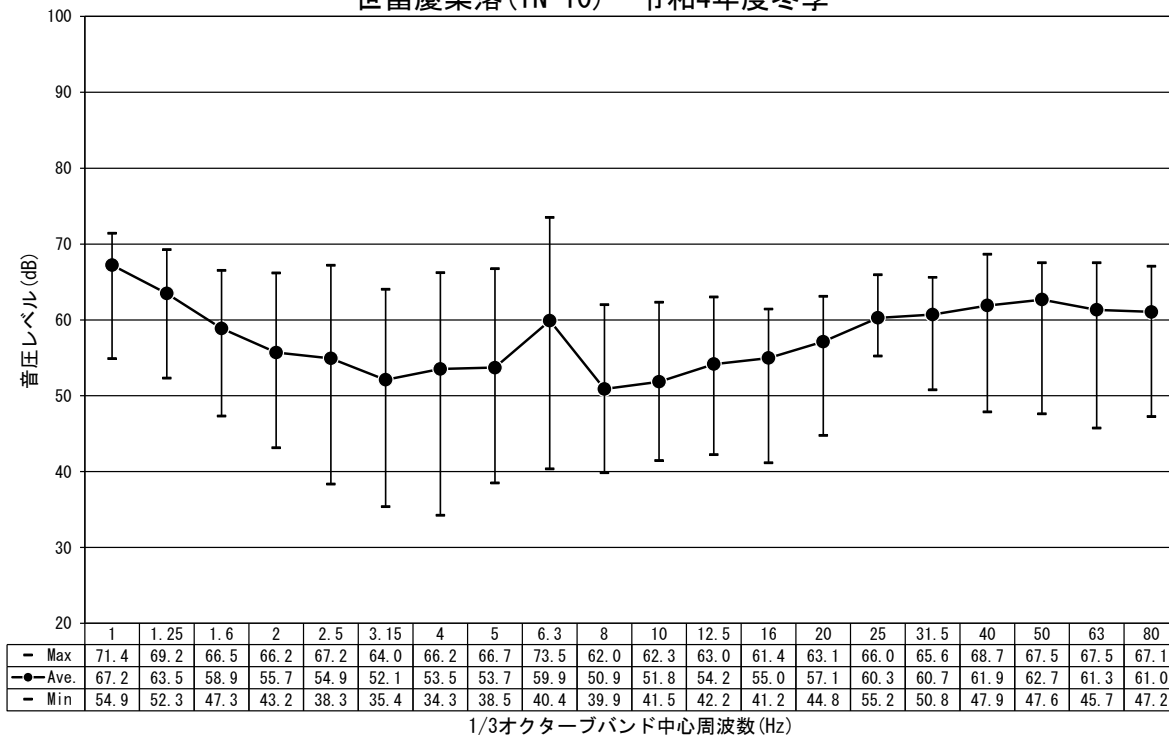


図-2.4.2.4(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度冬季)

松田集落 (TN-11) 令和4年度冬季

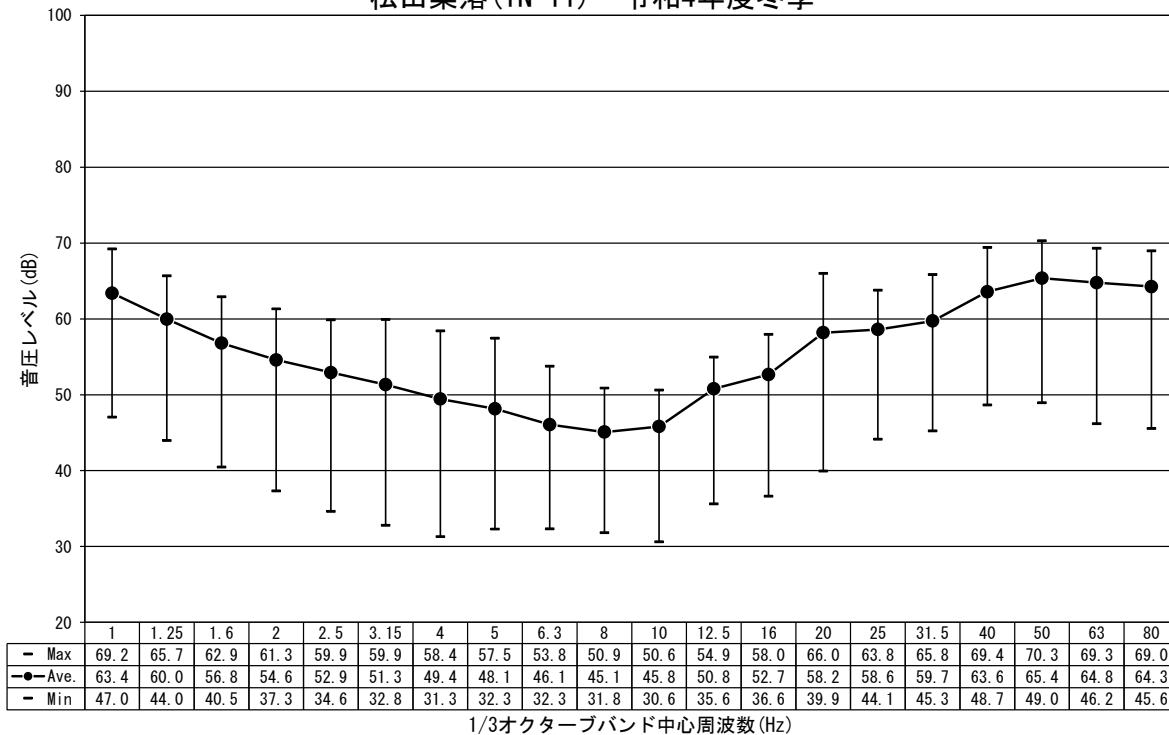


図-2.4.2.4(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和4年度冬季)

(2) 風向・風速の状況

低周波音調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和4年度春季から冬季の風向別平均風速は表-2.4.2.2に、風向別出現頻度は図-2.4.2.5～図-2.4.2.8に示すとおりです。

令和4年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で南西寄り、世富慶集落(TN-10)で南寄り、松田集落(TN-11)で西南西寄りの風が卓越していました。風速及び静穏率(Calm)については、いずれの地点も同程度となっていました。

令和4年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で東寄り、世富慶集落(TN-10)で南東寄り、松田集落(TN-11)で北東寄りの風が卓越していました。風速については、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)が国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は他の地点と比較して静穏率(Calm)が高くなっていました。

令和4年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で南南西寄り、世富慶集落(TN-10)で南寄り、松田集落(TN-11)で東北東寄りの風が卓越していました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は他の地点と比較して静穏率(Calm)が高くなっていました。

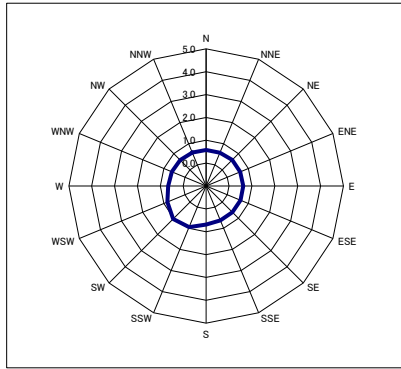
令和4年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は東南東寄り、世富慶集落(TN-10)で南寄り、松田集落(TN-11)で西北西寄りの風が卓越していました。風速については、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)が国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は他の地点と比較して静穏率(Calm)が高くなっていました。

表-2.4.2.2 風向・風速の調査結果一覧

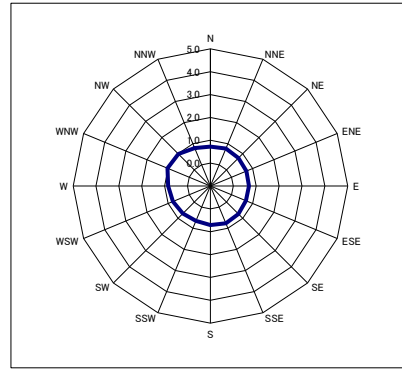
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	TN-5	TN-10	TN-11
R4年度春季	最多風向	SW	S	WSW
	平均風速	0.5	0.5	0.5
R4年度夏季	最多風向	E	SE	NE
	平均風速	0.3	0.6	0.5
R4年度秋季	最多風向	SSW	S	ENE
	平均風速	0.4	0.8	1.2
R4年度冬季	最多風向	ESE	S	WNW
	平均風速	0.4	1.0	0.8

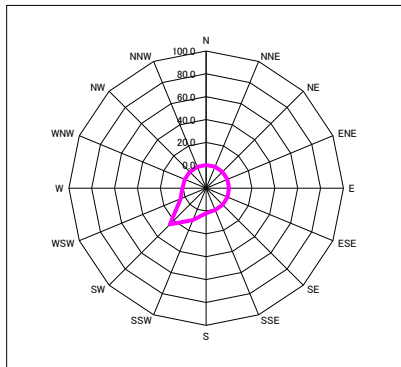
注) 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。



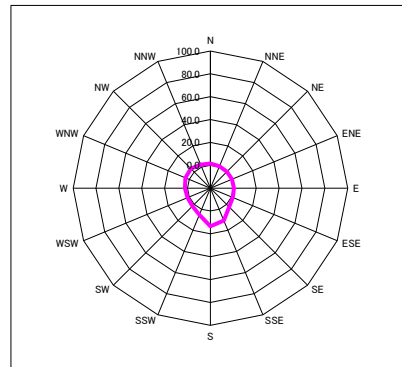
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.7
SSW	0.9
SW	1.0
WSW	0.8
W	0.7
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.8
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.8
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.8
W	0.8
WNW	1.0
NW	1.0
NNW	0.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.3
NNE	0.3
NE	0.1
ENE	0.1
E	0.1
ESE	0.3
SE	0.5
SSE	0.7
S	2.1
SSW	10.3
SW	24.9
WSW	4.2
W	0.8
WNW	0.2
NW	0.1
NNW	0.2
calm	54.9



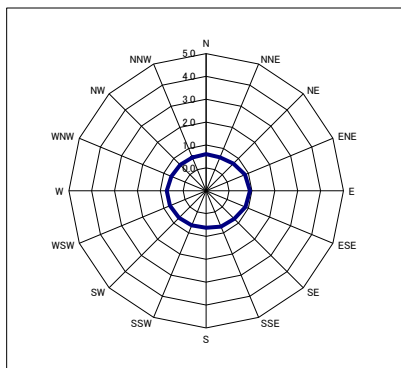
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.5
NNE	0.7
NE	0.4
ENE	0.5
E	0.6
ESE	1.3
SE	3.2
SSE	10.7
S	13.4
SSW	5.2
SW	2.2
WSW	1.7
W	2.3
WNW	3.7
NW	4.2
NNW	2.2
calm	46.4

観測期間：令和4年4月19日 0:00-24:00

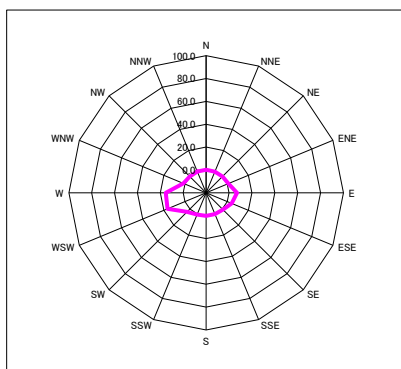
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和4年4月19日 0:00-24:00

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.7
ENE	0.8
E	0.9
ESE	0.9
SE	0.7
SSE	0.7
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.7
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6

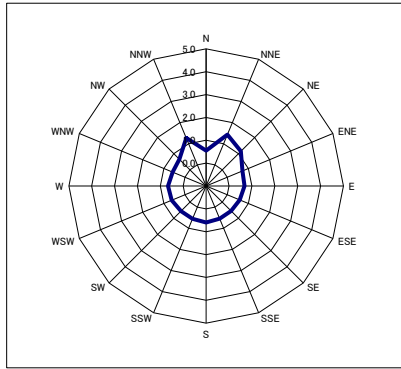


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.1
NNE	0.0
NE	0.1
ENE	1.1
E	7.0
ESE	4.2
SE	0.9
SSE	0.2
S	0.2
SSW	0.7
SW	3.6
WSW	16.6
W	15.4
WNW	1.5
NW	0.2
NNW	0.1
calm	48.2

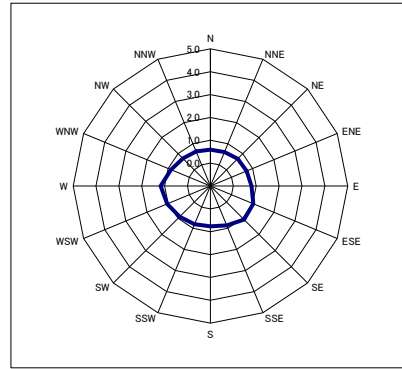
観測期間：令和4年4月19日 0:00-24:00

松田集落 (TN-11)

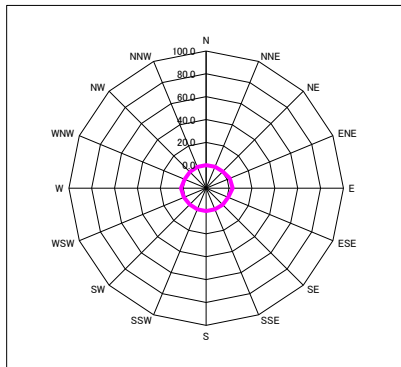
図-2.4.2.5 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度春季)



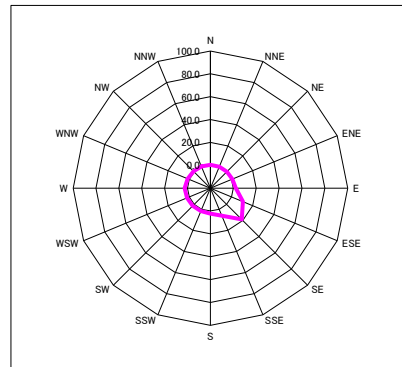
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.5
NNE	1.4
NE	1.2
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.5
SSE	0.5
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.7
WNW	0.6
NW	0.7
NNW	1.3



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.8
ESE	1.0
SE	1.1
SSE	0.9
S	0.8
SSW	0.8
SW	0.9
WSW	1.1
W	1.2
WNW	0.9
NW	0.7
NNW	0.6



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.1
NNE	0.3
NE	0.5
ENE	2.4
E	3.2
ESE	0.9
SE	0.5
SSE	0.1
S	0.0
SSW	0.1
SW	0.3
WSW	1.0
W	2.0
WNW	0.3
NW	0.1
NNW	0.1
calm	88.1



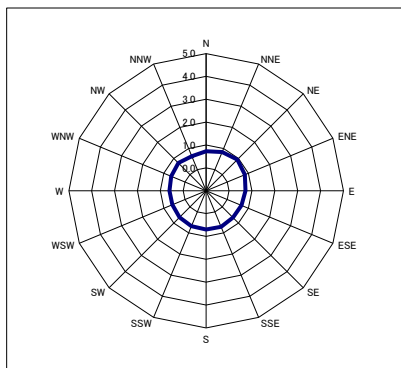
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.4
NNE	0.3
NE	0.3
ENE	0.8
E	2.3
ESE	10.7
SE	18.8
SSE	6.1
S	2.4
SSW	1.7
SW	2.0
WSW	2.1
W	2.6
WNW	1.5
NW	0.8
NNW	0.6
calm	46.6

観測期間：令和4年7月26日 0:00-24:00

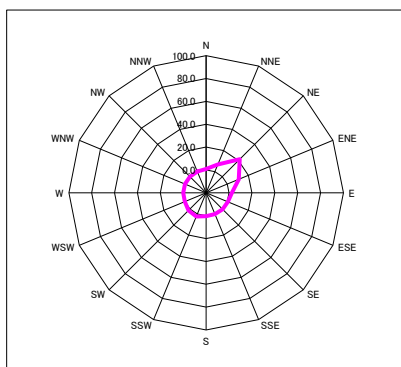
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和4年7月26日 0:00-24:00

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.8
NE	0.9
ENE	0.8
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.7
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	0.6

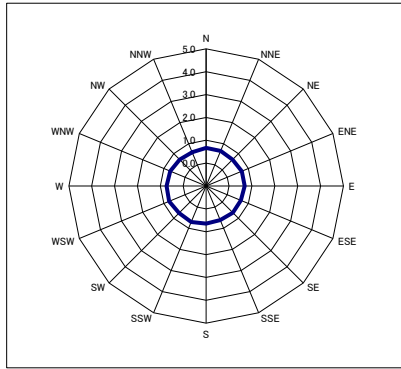


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.8
NNE	6.8
NE	21.6
ENE	10.9
E	2.5
ESE	0.6
SE	0.3
SSE	0.2
S	0.5
SSW	2.4
SW	1.8
WSW	0.1
W	0.1
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.1
calm	51.1

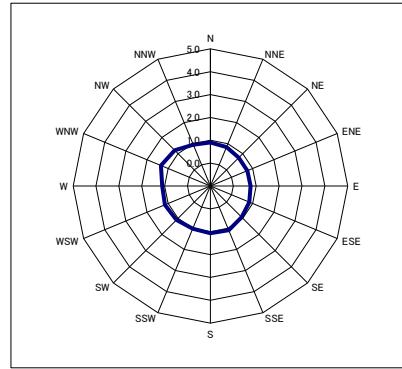
観測期間：令和4年7月26日 0:00-24:00

松田集落 (TN-11)

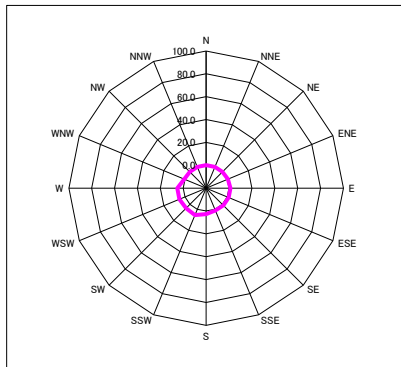
図-2.4.2.6 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度夏季)



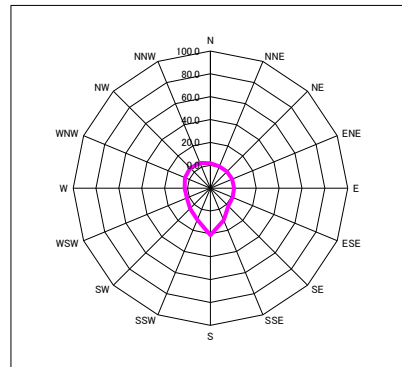
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.7
NE	0.6
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.7
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.8
W	0.7
WNW	0.7
NW	0.6
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	0.8
NE	0.8
ENE	0.7
E	0.8
ESE	0.8
SE	0.9
SSE	1.1
S	1.1
SSW	1.0
SW	1.1
WSW	1.2
W	1.1
WNW	1.3
NW	1.2
NNW	1.0



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.1
NNE	0.1
NE	0.2
ENE	0.5
E	1.2
ESE	1.4
SE	1.3
SSE	1.1
S	2.8
SSW	5.5
SW	4.8
WSW	5.3
W	5.2
WNW	0.6
NW	0.2
NNW	0.1
calm	69.9



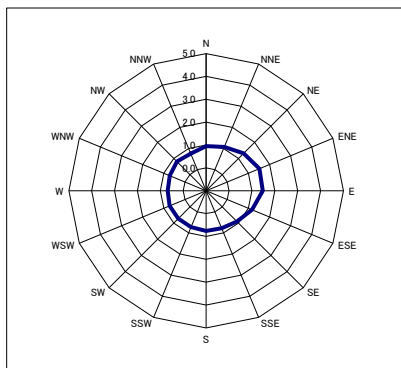
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.8
NNE	0.6
NE	0.4
ENE	0.5
E	0.7
ESE	1.0
SE	2.1
SSE	10.3
S	21.1
SSW	9.9
SW	5.2
WSW	2.3
W	2.5
WNW	4.1
NW	4.9
NNW	3.9
calm	28.6

観測期間：令和4年10月25日 0:00-24:00

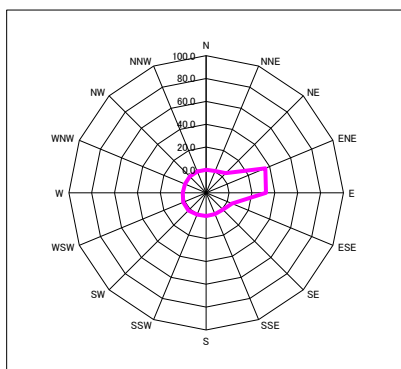
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和4年10月25日 0:00-24:00

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.1
NE	1.3
ENE	1.5
E	1.5
ESE	1.2
SE	0.9
SSE	0.8
S	0.8
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.7
WNW	0.7
NW	0.8
NNW	0.8

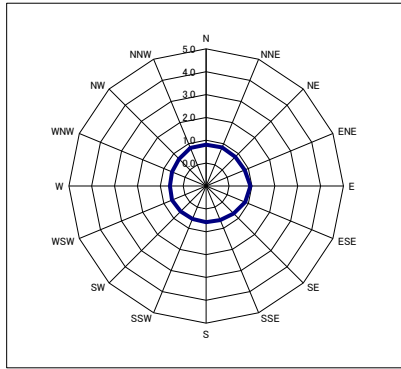


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.2
NNE	0.6
NE	4.3
ENE	36.0
E	32.3
ESE	4.6
SE	0.7
SSE	0.2
S	0.3
SSW	0.6
SW	1.9
WSW	1.7
W	0.4
WNW	0.1
NW	0.2
NNW	0.1
calm	15.7

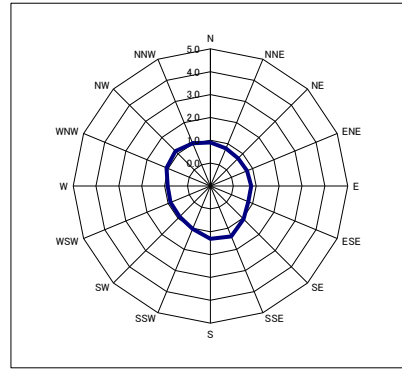
観測期間：令和4年10月25日 0:00-24:00

松田集落 (TN-11)

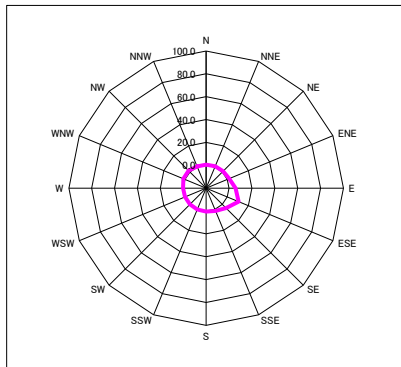
図-2.4.2.7 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度秋季)



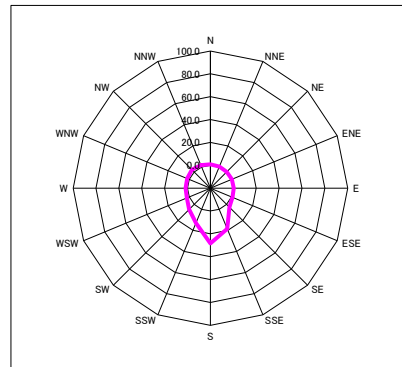
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.8
NNE	0.8
NE	0.8
ENE	0.8
E	0.9
ESE	0.8
SE	0.7
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.7
NNW	0.8



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	0.8
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.8
ESE	0.8
SE	1.0
SSE	1.4
S	1.3
SSW	1.0
SW	0.9
WSW	0.9
W	0.9
WNW	1.1
NW	1.2
NNW	1.0



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.9
ENE	1.9
E	5.8
ESE	10.7
SE	4.6
SSE	1.6
S	0.5
SSW	0.2
SW	0.1
WSW	0.1
W	0.2
WNW	1.6
NW	1.6
NNW	0.6
calm	68.4



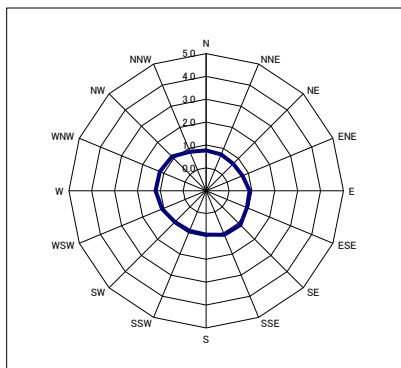
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.8
NNE	0.3
NE	0.2
ENE	0.2
E	0.4
ESE	0.9
SE	3.5
SSE	18.5
S	28.3
SSW	13.0
SW	6.3
WSW	2.3
W	1.8
WNW	2.0
NW	2.8
NNW	1.7
calm	16.9

観測期間：令和5年2月1日 0:00-24:00

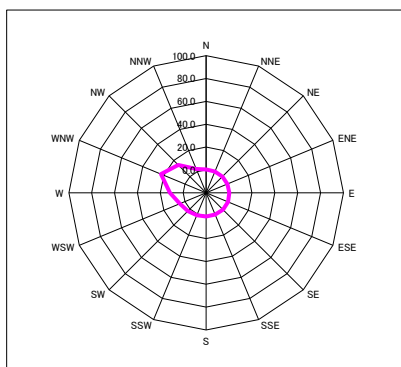
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和5年2月1日 0:00-24:00

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.8
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.9
ESE	0.9
SE	1.1
SSE	1.1
S	0.9
SSW	0.9
SW	0.9
WSW	1.1
W	1.2
WNW	1.2
NW	1.1
NNW	0.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.5
NNE	0.1
NE	0.1
ENE	0.1
E	0.2
ESE	0.7
SE	0.9
SSE	0.5
S	0.8
SSW	1.2
SW	2.6
WSW	4.8
W	11.6
WNW	22.7
NW	14.5
NNW	2.6
calm	36.1

観測期間：令和5年2月1日 0:00-24:00

松田集落 (TN-11)

図-2.4.2.8 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和4年度冬季)

2.5 底生動物等（移動後の状況監視）

2.5.1 追跡調査

(1) ウミボックス

ウミボックス移植後の追跡調査について、前原～久志地先では平成 29 年度に移植したウミボックスのモニタリングを、大浦湾西部では令和元～4 年度にかけて移植したウミボックスのモニタリングを継続しており、令和 4 年度の調査では前原～久志地先で移植後 5 年目の追跡調査を、大浦湾西部で移植後 1 年目の追跡調査（移植直後～移植 6 ヶ月後、令和 4 年度移植分）及び繁茂期の追跡調査（令和元～4 年度移植分）を実施しました。

なお、令和 5 年 3 月 19、21、28、29、31 日に 37 個体の移植を実施していますが、令和 4 年度中は追跡調査を実施していません。

表-2.5.1.1 ウミボッサ移植及びモニタリングの実施状況

移植先 (移植時期)		平成30年												平成31年				令和元年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
前原～久志地先 (平成29年度移植分)				移植	移植直後	1ヶ月後	3ヶ月後					6ヶ月後				春季				夏季			台風後	秋季					
大浦湾西部	(令和元～2年度移植分)																												
	(令和2～3年度移植分)																												
	(令和3～4年度移植分)																												
	(令和4～5年度移植分)																												

移植先		令和2年												令和3年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先 (平成29年度移植分)			冬季		春季				夏季			秋季			繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④							
大浦湾西部	(令和元～2年度移植分)			移植	移植直後	1ヶ月後	3ヶ月後				6ヶ月後				繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④							
	(令和2～3年度移植分)															移植	移植直後	1ヶ月後	3ヶ月後				6ヶ月後		
	(令和3～4年度移植分)																								
	(令和4～5年度移植分)																								

移植先		令和4年												令和5年			
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
前原～久志地先 (平成29年度移植分)			繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④										繁茂期①	繁茂期②
大浦湾西部	(令和元～2年度移植分)		繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④											
	(令和2～3年度移植分)		繁茂期①	繁茂期②	繁茂期③	繁茂期④										繁茂期①	繁茂期②
	(令和3～4年度移植分)			移植	移植直後	1ヶ月後	3ヶ月後				6ヶ月後						
	(令和4～5年度移植分)																移植

注) ウミボッサ移植後2年目以降の追跡調査については、ウミボッサの生活史を考慮し、令和2年度より調査時期をウミボッサの繁茂期を含む2月から5月まで毎月1回に変更しています。

1) 前原～久志地先（平成 29 年度移植先）

前原～久志地先に平成 29 年度（平成 30 年 3 月）に移植したウミボスの移植後 5 年目の追跡調査について、移植の作業状況を図-2.5.1.1 に、移植個体の追跡調査結果を図-2.5.1.2 に、移植先周辺の海藻類の種類別生育被度を表-2.5.1.2 に示します。

平成 30 年 3 月 28 日に移植したウミボス 1 個体のモニタリングを、令和 4 年 4 月 13 日（令和 4 年繁茂期③）、5 月 18 日（令和 4 年繁茂期④）、令和 5 年 2 月 15 日（令和 5 年繁茂期①）及び 3 月 17 日（令和 5 年繁茂期②）に実施しました。なお、移植後 4 年目までの結果は、令和 3 年度の環境監視調査報告書に記載しています。

移植後 5 年目の繁茂期の追跡調査では、移植先周辺において、全ての調査時期にウミボスが確認されました。

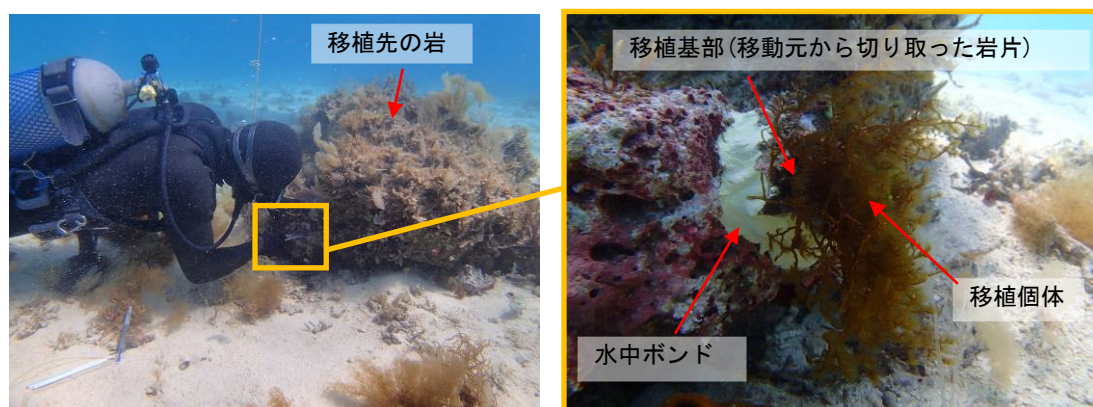


図-2.5.1.1 ウミボス移植の作業状況（平成 30 年 3 月 28 日）





<p>令和4年 繁茂期③ R4.4.13</p>		<p>移植先周辺でウミ ボツスが確認され た。</p>
<p>令和4年 繁茂期④ R4.5.18</p>		<p>移植先周辺でウミ ボツスが確認され た。</p>
<p>令和5年 繁茂期① R5.2.15</p>		<p>移植先周辺でウミ ボツスが確認され た。</p>
<p>令和5年 繁茂期② R5.3.17</p>		<p>移植先周辺でウミ ボツスが確認され た。</p>

図-2.5.1.2 ウミボツス移植個体の追跡調査結果（平成29年度移植分）

表-2.5.1.2 ウミボッサ移植先周辺の海藻類の種類別生育被度
(平成29年度移植分)

No.	綱	目	科	和名	移植後5年目			
					令和4年 繁茂期③	令和4年 繁茂期④	令和5年 繁茂期①	令和5年 繁茂期②
					R4.4.13	R4.5.18	R5.2.15	R5.3.17
1	藍藻綱	-	-	藍藻綱	r			r
2	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ソデガラミ	r			
3				ビロウドガラガラ	+	+	r	r
4				ガラガラ属	+			r
5		サンゴモ目	ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	5%	5%	5%	5%
6		テングサ目	テングサ科	テングサ属	r	r	r	r
7				テングサ科	r	r	r	r
8		カギケノリ目	カギケノリ科	カギケノリ	15%		10%	10%
9		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ科	r	r	r	r
10			イワノカワ科	イワノカワ科	10%	5%	5%	+
11		オゴノリ目	オゴノリ科	オゴノリ属	r	r	r	r
12		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	r	r	5%	+
13				テングサモドキ属			r	r
14		イギス目	フジマツモ科	マクリ	+	+	+	+
15				ソゾ属	r		+	+
16				イトクズグサ				r
17				アミジグサ目	アミジグサ科	スジヤハズ	5%	r
18			ウラボシヤハズ	r	r	+	+	
19			トゲアミジ		r	r	5%	
20			イトアミジ	5%	5%	+	5%	
21			アミジグサ属			r	r	
22			アカバウミウチワ	+	+	r	r	
23			コガネウミウチワ	+	+	r	r	
24			ウスユキウチワ	r	r	r	r	
25			ウミウチワ属	5%	+	+	+	
26			ジガミグサ	+	+	+	+	
27	ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク	+	+	r	r	
28		モズク科	モズク	+	+	r	r	
29	カヤモノリ目	カヤモノリ科	カゴメノリ	5%	+	5%	+	
30			ホソカゴメノリ			r	+	
31	ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッサ	r	r	r	r	
32	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	5%	5%	5%	5%	
33			タマキレバモク	+	+	+	+	
34			キシユウモク	r	r	r	r	
35			ホンダワラ属	30%	30%	5%	5%	
36	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ホソバロニア	+	r	r	r
37		ミドリゲ目	アオモグサ科	アオモグサ				r
38			パロニア科	キッコウグサ	+	+	r	r
39				ムクキッコウグサ	r	r	r	r
40				パロニア属	r		r	
41		イワズタ目	イワズタ科	スズカケズタ	r	r		
42				タカツキズタ		r		
43			ハゴロモ科	ヒロハサボテングサ				r
44		ミル目	ミル科	ミル属	+	+	+	r
45		カサノリ目	ダジクラズ科	フデノホ	+	+	r	r
46			カサノリ科	イソスギナ	+		r	r
47	単子葉植物綱	オモダカ目	トチカガミ科	ウミヒルモ	r		r	
総出現種類数					39	33	39	42

注)「+」は生育被度5%未満、「r」は生育被度1%未満であることを示します。

2) 大浦湾西部（令和元～4年度移植先）

大浦湾西部に令和3～4年度（令和4年3～4月）に移植したウミボッスの移植後1年目（移植直後～6ヶ月後）の追跡調査について、移植の作業状況を図-2.5.1.3に、移植個体の追跡調査結果を図-2.5.1.4に、移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度を表-2.5.1.3に示します。また、令和元～4年度に移植したウミボッスの繁茂期の追跡調査について、移植の作業状況を図-2.5.1.3に、移植個体の追跡調査結果を図-2.5.1.5に、移植先周辺の海藻類の種類別生育被度を表-2.5.1.4に示します。なお、表-2.5.1.4中の令和5年繁茂期①及び②には、令和3～4年度に移植したウミボッスのモニタリングも含まれます。

令和4年3月1、20、21、28～31日、4月1～3、5～11日に移植したウミボッス345個体については、移植直後の追跡調査を令和4年4月12日に、移植1ヶ月後の追跡調査を5月17日に、移植3ヶ月後の追跡調査を7月21日に、移植6ヶ月後の追跡調査を11月23日に実施しました。

移植基部及び周辺部において、移植直後及び移植1ヶ月後の追跡調査でウミボッスが確認されました。また、移植先の岩片においては、移植1ヶ月後の追跡調査でウミボッスが確認されました。移植3ヶ月後及び6ヶ月後にウミボッスが確認されなかった理由として、本種の生活史による季節的な消長が考えられました。

令和元～4年度に移植したウミボッスについて、移植先周辺における繁茂期の追跡調査を、令和4年4月12日（令和4年繁茂期③）、5月16日（令和4年繁茂期④）、令和5年2月16日（令和5年繁茂期①）及び3月16日（令和5年繁茂期②）に実施しました。

繁茂期の追跡調査では、移植先の周辺において、全ての調査時期にウミボッスが確認されました。

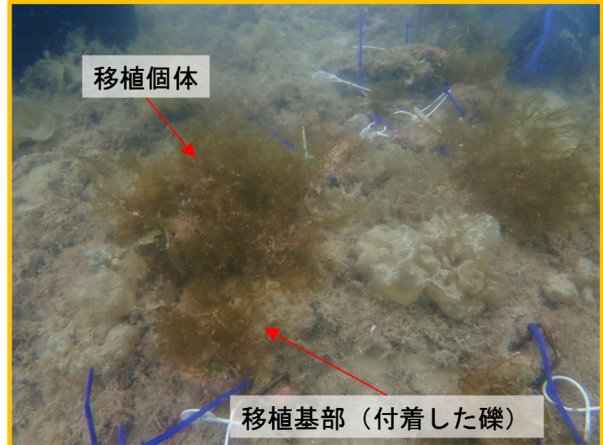
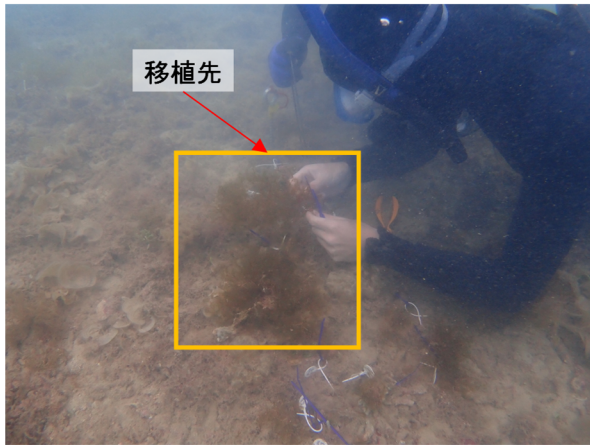


図-2.5.1.3 (1) ウミボッサ移植の作業状況 (令和2年4月4日)

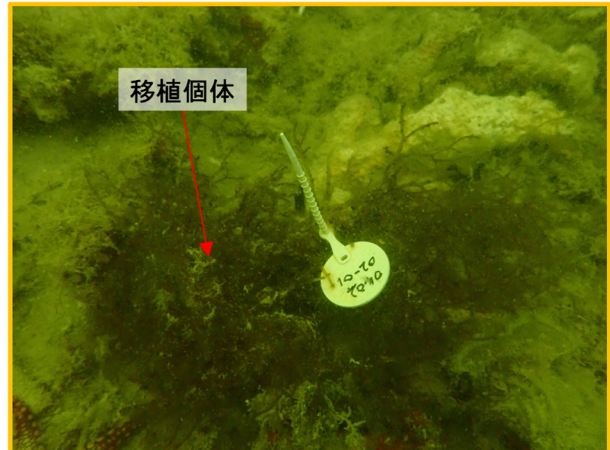
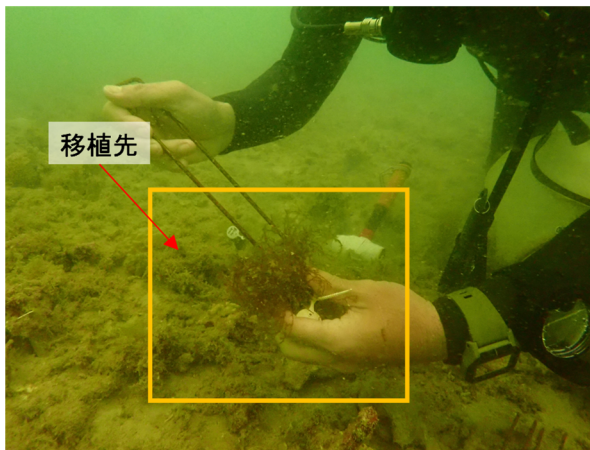


図-2.5.1.3 (2) ウミボッサ移植の作業状況 (令和3年4月2日)

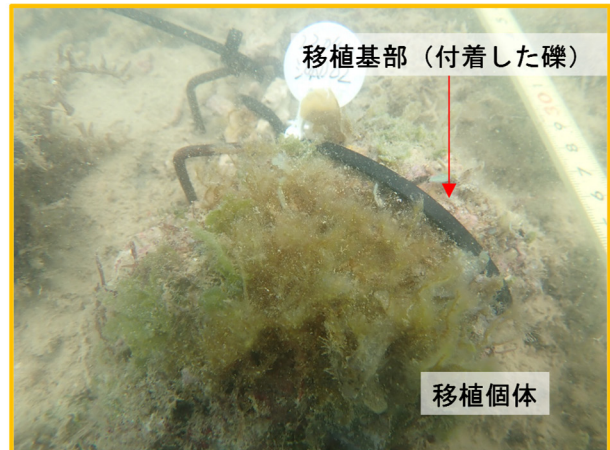
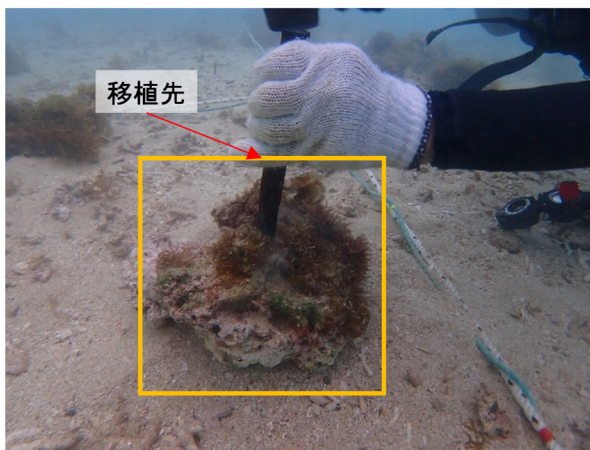

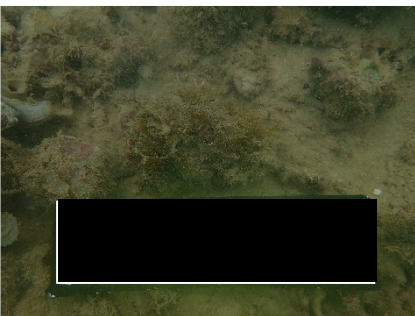

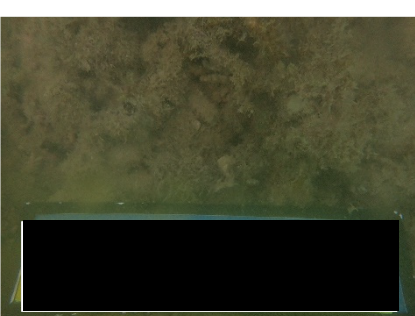


図-2.5.1.3 (3) ウミボッサ移植の作業状況 (令和4年4月11日)

<p>直後 R4. 4. 12</p>		<p>移植基部でウミボ ッスが確認され た。</p>
<p>1ヶ月後 R4. 5. 17</p>		<p>移植基部でウミボ ッスが確認され た。</p>
<p>3ヶ月後 R4. 7. 21</p>		<p>ウミボッスは確認 されなかった。</p>
<p>6ヶ月後 R4. 11. 23</p>		<p>ウミボッスは確認 されなかった。</p>

注) 1年目の追跡調査結果は、移植基部でのウミボッスの確認状況を示します。

図-2.5.1.4 ウミボッス移植個体の移植直後調査結果
(令和3~4年度移植分、移植1年目)

表-2.5.1.3(1) ウミボッサ移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度
(令和3~4年度移植分、移植1年目)

観察範囲	綱	目	科	種名	令和3~4年度移植分(移植1年目)				
					移植直後	移植1ヶ月後	移植3ヶ月後	移植6ヶ月後	
					R4. 4. 12	R4. 5. 17	R4. 7. 21	R4. 11. 23	
移植基部	紅藻綱	サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	r			
			ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	+	+	+	+	
		テングサ目	テングサ科	テングサ科	+	+	+	+	
		スギノリ目	リュウモンソウ科	ヒビロウド		+			
				イバラノリ科	イバラノリ属	+	+		r
			イバラノリ科	イバラノリ科			+	r	
			イワノカワ科	イワノカワ科	+	+	+	+	
		イギス目	フジマツモ科	キクヒオドシ	キクヒオドシ	+	r	r	r
				ソゾ属	ソゾ属	r	r	r	r
				イトグサ属	イトグサ属	r	r	r	r
	ウラボシヤハズ			ウラボシヤハズ		r	+	r	
	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ハイオオギ	ハイオオギ	r	r	r	r
				ハイオオギ属	ハイオオギ属	r	r	r	r
				コガネウミウチワ	コガネウミウチワ				r
				ウミウチワ属	ウミウチワ属	r	r	r	r
				ジガミグサ	ジガミグサ	r	r		r
				ウミボッサ	ウミボッサ	+	+		
				ケヤリモ目	ケヤリモ科	ケヤリモ科			
		ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	ヤバネモク			r	r
				タマキレバモク	タマキレバモク			r	r
ホンダワラ属				ホンダワラ属			r	r	
緑藻綱	イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ				r		
	カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ			r	r		
移植先の岩	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ソデガラミ	r				
			ビロウドガラガラ	ビロウドガラガラ			r	r	
		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	+	r	r	r	
			サンゴモ科	サンゴモ科				r	
		テングサ目	テングサ科	テングサ科				r	
			テングサ科	テングサ科				r	
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属		r	r	r	
				イバラノリ科	イバラノリ科	+	r	r	r
			イワノカワ科	イワノカワ科	r	r	r	r	
		イギス目	フジマツモ科	キクヒオドシ	キクヒオドシ		r	r	r
	ソゾ属			ソゾ属	r	r	r	r	
	イトグサ属			イトグサ属		r	r	r	
	イトグサ属			イトグサ属		r	r	r	
	イトクスグサ			イトクスグサ		r	r	r	
	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ウラボシヤハズ	ウラボシヤハズ		r	r	r
				アミジグサ	アミジグサ				r
				アミジグサ属	アミジグサ属	r	r		
				ハイオオギ属	ハイオオギ属	r	r	r	r
				コガネウミウチワ	コガネウミウチワ	+	r	r	r
				ウミウチワ属	ウミウチワ属	+	+	+	+
				ジガミグサ	ジガミグサ		r	r	r
				カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ		r	
		カヤモノリ科	カヤモノリ科	カゴメノリ	r	r			
		ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッサ		r			
		ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	ヤバネモク	r	r	r	r
				タマキレバモク	タマキレバモク	r	r	r	r
	ホンダワラ属			ホンダワラ属			r	r	
ホンダワラ属	ホンダワラ属					r	r		
緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ホソバロニア	r					
	イワズタ目	ハゴロモ科	ウチワサボテンサ	r	r	r	r		
	カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ			r	r		

注)「+」は生育被度5%未満、「r」は生育被度1%未満であることを示します。

表-2.5.1.3(2) ウミボッサ移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度
(令和3~4年度移植分、移植1年目)

観察範囲	綱	目	科	種名	令和3~4年度移植分(移植1年目)				
					移植直後 R4. 4. 12	移植1ヶ月後 R4. 5. 17	移植3ヶ月後 R4. 7. 21	移植6ヶ月後 R4. 11. 23	
周辺部	藍藻綱 紅藻綱	-	-	藍藻綱		r		r	
		ウミゾウメン目	ガラガラ科	ソデガラミ	r				
				ピロウドガラガラ			r	r	
				ガラガラ属				r	
			コナハダ科	コナハダ属	r				
		サンゴモ目		サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	r	r	r
			ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	+	+	+	r	
		テングサ目	テングサ科	ハイテングサ	r	r	r	r	
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	r	r	r		
				イバラノリ科				r	
				イワノカワ科	イワノカワ科	r	r	r	r
			アツバノリ科	ミアナグサ				r	
		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	r	r	r	r	
				テングサモドキ属	+	+	+	r	
		イギス目	イギス科	イギス科		r			
				フジマツモ科	キクヒオドシ	r	+	+	r
					マクリ	r	r	r	r
				クロソゾ	r	r	r		
				ミツデソゾ	r	r	r		
				ソゾ属	r	r	r		
				イトグサ属				r	
				イトクズグサ	+	+	+	r	
	褐藻綱		アミジグサ目	アミジグサ科	ウラボシヤハズ	r	r	r	
					アミジグサ属		r	r	r
		ハイオオギ属			+	+	+	r	
		コガネウミウチワ			r	r	r	r	
		ウミウチワ属			10%	10%	+	+	
		ジガミグサ			r	r	r	r	
		ナガマツモ目	モズク科	モズク	r				
		カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ	5%				
				カゴメノリ	r	r			
		ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッサ	+	r			
		ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	r	r	+	r	
				タマキレバモク	r	r	+	r	
				ホンダワラ属	r	r	+	r	
	ラッパモク			r					
	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ				r	
イワズタ目		イワズタ科	ヘライワズタ			r			
			エツキズタ				r		
			ヨレズタ	r					
			タカノハズタ	r					
			コケイワズタ	r					
			ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	r	r	r	r	
		フササボテングサ		r	r	r			
カサノリ目		ダジクラズス科	フデノホ		r	r	r		

注)「+」は生育被度5%未満、「r」は生育被度1%未満であることを示します。





<p>令和4年 繁茂期③ R4.4.12</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>
<p>令和4年 繁茂期④ R4.5.17</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>
<p>令和5年 繁茂期① R5.2.16</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>
<p>令和5年 繁茂期② R5.3.16</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>

図-2.5.1.5 ウミボッサ移植個体の移植直後調査結果
(令和元～4年度移植分、繁茂期の追跡調査)

表-2.5.1.4 ウミボッサ移植先周辺の海藻類の種類別生育被度
(令和元～4年度移植分、繁茂期の追跡調査)

No.	綱	目	科	種名	令和4年	令和4年	令和5年	令和5年		
					繁茂期③ R4.4.12	繁茂期④ R4.5.17	繁茂期① R5.2.16	繁茂期② R5.3.16		
1	藍藻綱	-	-	藍藻綱						
2	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ソデガラミ	+					
3				ピロウドガラガラ			r	r		
4				ガラガラ属		r	r	r		
5				コナハダ科	コナハダ属	r	r	r	r	
6		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	+	5%	r	r		
7				モサズキ属			+	+		
8				ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	5%	10%	+	+	
9		テングサ目	テングサ科	ハイテングサ	r	+	r	r		
10				テングサ科	+	+	+	+		
11		カギケノリ目	カギケノリ科	カギケノリ			+	r		
12		スギノリ目	リュウモンソウ科	ヒビロウド		+	r			
13			イバラノリ科	イバラノリ属	+	5%		5%		
14				イバラノリ科		+	+	r		
15			イワノカワ科	イワノカワ科	+	10%	5%			
16			アツパノリ科	ミアナグサ			r			
17		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	r	+	r	r		
18				テングサモドキ属	+	+	r	r		
19		イギス目	イギス科	モサヨツノサデ			5%	5%		
20				イギス科			r			
21				コノハノリ科	カラゴロモ			r		
22			フジマツモ科	トゲノリ			+	+		
23				キクヒオドシ	+	5%	r	r		
24				マクリ	r	r	r	r		
25				クロソフ	r	+		r		
26				ミツデソフ	r	+		r		
27				ソフ属	+	5%	r	r		
28				イトグサ属	r	+	+	+		
29				イトクズグサ	+	5%	r	r		
30				褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ウラボシヤハズ	r	+	r
31	アミジグサ属						r	+	r	r
32	ハイオオギ	r	r				r	r		
33	ハイオオギ属	+	5%				+	+		
34	コガネウミウチフ	+	+				+	+		
35	ウミウチフ属	15%	25%				5%	10%		
36	ジガミグサ	+	5%				r	r		
37	ナガマツモ目	モズク科	モズク		r		r			
38	カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ		5%	+				
39			カゴモノリ		+	+	r	20%		
40	ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッサ	+	5%	+	5%			
41	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	+	+	r	r			
42			タマキレバモク	+	+	5%	5%			
43			ホンダワラ属	r	+	+	+			
44			ラッパモク	r	r					
45			黄緑藻綱	フシナシミドロ目	フシナシミドロ科	ウミフシナシミドロ			+	+
46	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ			r	r		
47				アミモヨウ			r	r		
48				ホソバロニア	r	r				
49		ミドリゲ目	アオモグサ科	アオモグサ		r				
50		イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ			r	r		
51				ヨレズタ	r	r				
52				タカノハズタ	r	r	r			
53				イチイズタ		r				
54				コケイワズタ	r	r				
55				ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	+	+	r	r	
56					ミツデサボテングサ			r	r	
57		フササボテングサ			+	r	r			
58		カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ		+	r	r		
59				カサノリ科	リュウキュウガサ				r	
60				カサノリ					r	
総出現種類数					38	45	44	45		

注)「+」は生育被度5%未満、「r」は生育被度1%未満であることを示します。

2.5.2 生物相調査

(1) インベントリー調査（定性的調査）

1) 調査結果の概要

令和4年度に実施した調査結果の概要として、記録された分類群数を表-2.5.2.1に、季別の記録された種数を表-2.5.2.2に示します。

各分類群における出現種数は、海藻類^{※1}が156種類、海草類^{※2}が9種類、底生動物が731種類であり、全分類群合計では896種類でした。また、季別の種数は483～523種類でした。



図-2.5.2.1 インベントリー調査の調査地点

※1 海藻類：藍藻綱、紅藻綱、褐藻綱、黄緑藻綱、緑藻綱に属する海藻草類。

※2 海草類：単子葉植物綱に属する海藻草類。

表-2.5.2.1 インベントリー調査 記録された分類群数

項目		分類群数				
植物	海藻類	4 門	5 綱	26 目	45 科	156 種類
	海草類	1 門	1 綱	1 目	2 科	9 種類
動物	底生動物	10 門	20 綱	44 目	188 科	731 種類
分類群合計		15 門	26 綱	71 目	235 科	896 種類

表-2.5.2.2 インベントリー調査 記録された種数

項目		調査時期	令和4年度				
			春季	夏季	台風後	秋季	冬季
調査地点数			25 地点	25 地点	25 地点	25 地点	25 地点
植物	海藻類		122 種類	106 種類	88 種類	102 種類	124 種類
	海草類		9 種類	9 種類	9 種類	9 種類	9 種類
動物	底生動物		375 種類	408 種類	395 種類	396 種類	350 種類
分類群合計			506 種類	523 種類	492 種類	507 種類	483 種類

2) 出現種

総出現種リストを表-2.5.2.3に示します。

表-2.5.2.3(1) インベントリー調査 総出現種リスト (植物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種						
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季								
1	藍色植物門	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	オオヒゲソウ	○				○								
2					イワソメアイモ	○	○	○	○	○								
3					オオツブリブラリア	○	○	○	○	○								
4			ユレモ目	ユレモ科	Lyngbya polychroa	ネバリリブラリア				○								
5						アイミドリ	○	○	○	○	○							
6						スチゴネマ科	○	○	○	○	○							
7	紅色植物門	紅藻綱	ベニミドロ目	ベニミドロ科	ニセウシケノリ					○	●							
8			ウミノウメン目	カサマツ科	カモガシラノリ	ハイコナハダ	○	○		○	○	○	●					
9						ガラガラ科	ソデガラミ	○	○	○	○	○						
10							ナガガラガラ				○	○						
11							ガラガラ	○	○			○						
12						コナハダ科	ケコナハダ	クコナハダ	○						○	●		
13			サンゴモ目	サンゴモ科	ハイカニノテ			○		○		○						
14			ハバリデウム科	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	シマテングサ	○	○	○	○	○								
15					ヒメテングサ	○	○	○	○	○								
16					ハイテングサ	○	○	○	○	○								
17					ベニマダラ目	ベニマダラ科	ベニマダラ	○	○	○	○	○						
18					カギケノリ目	カギケノリ科	カギケノリ	○				○						
19			スギノリ目	イソモッカ科	イソダンツウ	フノリ科	○				○							
20						スギノリ科	カインリ	○	○	○	○	○						
21						ムカデノリ科	フイリグサ		○						●			
22						イバラノリ科	カズノイバラ	○	○									
23						アツバノリ科	ミアナグサ	コケイバラ			○							
24								オゴノリ目	オゴノリ科	ユミガタオゴノリ	○	○	○	○	○			
25						マサゴシバリ目	ワツナギソウ科	ワツナギソウ	クビレオゴノリ		○							
26									ナシカイオゴノリ		○	○					●	
27						マサゴシバリ目	ワツナギソウ科	ワツナギソウ	フシクレノリ	○	○	○	○	○				
28									フシクレノリ	○	○	○	○	○				
29			マサゴシバリ目	ワツナギソウ科	ワツナギソウ	カイメンソウ	○	○	○	○	○							
30						モツレテングサモドキ	○	○	○	○	○							
31			マサゴシバリ目	マサゴシバリ科	アツカワハナノエダ	アツカワハナノエダ					○							
32						ニセイバラノリ	○	○	○	○	○							
33			イギス目	イギス科	トゲイギス	ゴノメグサ	○		○		○							
34						ヨツノサデ				○								
35						モサヨツノサデ	○	○		○		○						
36						ウブググサ	○		○		○		○					
37						ランゲリア	○				○		○					
38						コノハノリ科	ホソアキギス	ホソアキギス	○				○		●			
39								ササバアキギス	○	○	○	○	○			●		
40						フジマツモ科	フジマツモ科	トゲノリ	ヒメズタ	○		○		○				
41									トゲノリ	○	○	○	○	○				
42									ツクシホウズキ	○	○	○	○	○			●	
43			キクヒオドシ	○	○				○	○	○							
44			エダネコケモドキ	○							○		○					
45			ヒメコケモドキ	○	○						○		○					
46			コケモドキ	○	○				○	○	○		○					
47			マクリ	○	○				○	○	○		○					
48			ソノノハナ	○	○								○					
49			アカソソ	○					○		○		○					
50			ミナミソソ	○	○					○								
51			ハネソソ							○								
52			ナンカイソソ	○	○	○	○	○		○								
53			ジャバラノリ	○	○	○	○	○		○								
54			ヨレミグサ	○				○		○								
55			ナガミグサ	○	○	○	○	○		○								
56			フタマタコケモドキ	○						○								
57			イトクズグサ	○	○	○	○	○		○								
58			不等毛植物門	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	スジヤハズ	○	○									
59							ウラボシヤハズ	○	○	○	○	○						
60							オオマタアミジ	○	○	○	○	○						
61							トゲアミジ	○	○									
62							ハイアミジグサ	○	○	○	○	○		○				
63							イトアミジ	○	○					○				
64							コガネウミウチワ	○	○	○	○	○		○				
65							アツバコモングサ	○						○				
66			ジガミグサ	○	○	○	○	○		○								

表-2.5.2.3(2) インベントリー調査 総出現種リスト (植物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
76	不等毛植物門	褐藻綱	ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク	○	○			○					
77				モズク科	モズク	○	○			○	●				
78				ウイキョウモ目	ヨコジマノリ科	ヨコジマノリ	○				○				
79					カヤモノリ科	フクロノリ	○	○			○				
80			カヤモノリ目	カヤモノリ科	カゴメノリ	○	○			○					
81					ホソカゴメノリ	○				○					
82					セイヨウハバノリ	○				○					
83					モサクダフクロ	○	○			○					
84					カヤモノリ					○		●			
85					ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッサ	○				○	●	●	
86					ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	●	
87							アツバモク	○	○	○	○	○			
88							ヒイラギモク	○	○	○	○	○			
89							ヒメハモク	○	○	○	○	○			
90			カラクサモク	○					○	○		●			
91			タマキレバモク	○			○	○	○	○					
92			キシウモク	○			○	○	○	○		●			
93			カサモク	○			○	○	○	○					
94							ラッパモク	○	○	○		○			
95				黄緑藻綱			フシナシミドロ目	フシナシミドロ科	ウミフシナシミドロ	○	○			○	●
96			緑色植物門	緑藻綱	アオサ目	ヒトエグサ科	ヒトエグサ	○	○		○	○			
97						シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	○	○		○	○		
98					シオグサ科	アミモヨウ						○			
99						タノモグサ	○	○	○	○	○				
100	ボウジュズモ	○							○	○					
101	カビシオグサ	○													
102	フサシオグサ	○				○				○					
103	ヒメフカミドリシオグサ								○			●			
104	ネダシシオグサ									○					
105	ヒメハイシオグサ	○									○				
106	オキナワネダシグサ										○				
107	オオネダシグサ	○				○	○	○	○			●			
108	ミドリゲ目	アオモグサ科			アオモグサ	○	○	○	○	○					
109					ハネアオモグサ	○	○	○	○	○					
110					マガタマモ	○	○	○	○	○		●			
111	バロニア科	ミドリゲ			○	○	○	○	○						
112		ヒメミドリゲ							○		●				
113		キッコウグサ			○	○	○	○	○						
114		ムクキッコウグサ			○	○	○	○	○						
115	タマバロニア	○						○							
116	バロニア	○			○	○	○	○							
117	オオバロニア	○			○	○	○	○							
118	ヘライワズタ	○			○	○	○	○							
119	ビャクシンズタ	○			○	○	○	○							
120	クビレズタ	○			○	○	○	○			●				
121	コツブセンナリズタ									○					
122	スズカケズタ								○						
123	センナリズタ	○			○	○	○	○							
124	ヒラエズタ							○	○						
125	エツキズタ	○													
126	タカツキズタ						○	○	○						
127	コハギズタ	○													
128	ヨレズタ	○			○	○	○	○	○						
129	タカノハズタ	○			○	○	○	○							
130	イチイズタ										●				
131	コケイワズタ	○			○					○					
132	ヒメイワズタ								○						
133	ハゴロモ科	クサビガタハウチワ			○	○	○	○	○						
134		コテングノハウチワ			○	○	○	○	○		●				
135		マルバハウチワ									○				
136		モツレチョウチン			○	○			○	○		●			
137		マユハキモ							○	○					
138		ウチワサボテングサ			○	○	○	○	○						
139		ミツデサボテングサ			○	○	○	○	○						
140		フササボテングサ			○	○	○	○	○			●			
141		ヒラサボテングサ								○					
142		ヒメイチヨウ			○	○	○	○	○						
143	ハゴロモ	○	○	○	○	○									
144	ミル目	ミル科	ナンバンハイミル	○	○			○	○						
145			モツレミル						○	○					
146			ヤセガタモツレミル	○	○	○									
147	ハネモ目	ハネモ科	カタハノハネモ			○									
148	カサノリ目	ダジクラズス科	ナガミズタマ	○	○			○		●					
149			ミズタマ	○	○	○	○	○							
150			ウスガサネ	○	○	○	○	○			●				
151			フデノホ	○	○	○	○	○							
152			ホソエガサ	○				○	○		●				
153		リュウキュウガサ	○	○	○	○	○								
154		カサノリ	○	○	○	○	○			●					
155		ヒナカサノリ	○	○					○						
156		イソスギナ	○	○	○	○	○								
157		種子植物門	単子葉植物綱	オモダカ目	トチカガミ科	リュウキュウスガモ	○	○	○	○					
158	ウミヒルモ					○	○	○	○	○			●		
159	オオウミヒルモ					○	○	○	○	○			●		
160	ヒメウミヒルモ					○	○	○	○	○			●		
161	ニラウミジグサ					○	○	○	○	○			●		
162	ホソバウミジグサ			○	○	○	○	○			●				
163	ベニアマモ			○	○	○	○	○			●				
164	リュウキュウアマモ			○	○	○	○	○			●				
165	ボウバアマモ			○	○	○	○	○			●				
総計種数						131	115	97	111	133	36	1			

表-2.5.2.3(3) インベントリ調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種					
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季							
1	有孔虫門	有孔虫綱	有孔虫目	アカスナゴ科	モミジスナゴ	○	○	○	○	○							
2	刺胞動物門	ヒドロ虫綱	ハナクラゲ目	エダウミヒドロ科	ミナミアエダウミヒドロ			○									
3				ハネガヤ科	シロガヤ							○					
4				スナギンチャク科	イワスナギンチャク							○					
5		花虫綱	イソギンチャク目	セイタカイソギンチャク科	セイタカイソギンチャク			○									
6				ナガナワイソギンチャク科	カニイソギンチャク			○									
7				ウメボシイソギンチャク科	タマイタダキイソギンチャク			○									
8				ハタゴイソギンチャク科	ハタゴイソギンチャク						○						
9				扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目	ニセツノヒラムシ科	ナンカイニセツノヒラムシ					○				
10	クロニセツノヒラムシ										○						
11	軟体動物門	多板綱	クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	ウスヒザラガイ	○	○	○	○	○							
12					オオセシジメザラガイ			○									
13					ハナヤカカブトヒザラガイ					○							
14					クサズリガイ科	コザネヒザラガイ				○							
15					リュウキュウヒザラガイ				○		○			○			
16					オニヒザラガイ				○	○	○	○	○				
17				ケハダヒザラガイ科	ソウガンケハダヒザラガイ						○						
18					ヒメケハダヒザラガイ						○			●			
19					腹足綱	カサガイ目	ヨメガカサ科	ヨメガカサ	○	○	○	○	○				
20								オオベッコウガサ			○	○	○	○	○		
21								ベッコウガサ			○	○	○	○	○		
22								ユキノカサガイ科	リュウキュウウノアシ			○	○	○	○	○	
23				リュウキュウアオガイ							○	○	○	○	○		
24				ヒメコザラ											○		
25				リュウキュウシボリガイ						○	○	○	○	○			
26				タイワンシボリガイ								○		○			
27				コガモガサ								○	○	○	○		
28				古腹足目			サラサバイ科	サラサバイ			○						
29	ニシキウス科	ニシキウス							○	○	○	○	○				
30	ウスイチモンジ								○	○	○	○	○				
31	ギンタカハマ					○				○	○						
32	ベニシリダカ							○									
33	サラサバテイ										○						
34	テツイロナツモモ					○			○								
35	コマキアゲエビス							○									
36	クルマチグサ					○			○	○	○						
37	オキナワイシダタミ					○		○	○	○	○						
38	クサイロイシダタミ										○						
39	ハナダタミ							○	○	○							
40	クビレクロツケ										○						
41	イワカワチグサ										○						
42	ヒメアワビ					○		○	○	○	○						
43	ヒラヒメアワビ							○	○	○	○						
44	フルヤガイ					○											
45	タイワンキサゴ					○							●				
46	サザエ科	コンダカサザエ						○	○	○	○			●			
47		カンキク						○	○			○					
48		ウラウスガイ															
49	サンショウガイモドキ科	サンショウガイモドキ						○									
50	ミミガイ科	イボアナゴウ						○		○							
51	スカシガイ科	コバンスソキレ							○								
52		リュウキュウオトメガサ							○	○							
53	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	イシダタミアマオブネ					○	○	○							
54			コシダカアマガイ			○	○	○	○	○	○						
55			キバアマガイ			○	○	○	○	○	○						
56			フトスジアマガイ			○	○	○	○	○	○						
57			マルアマオブネ			○	○	○	○	○	○						
58			オオアマガイ										●				
59			オオマルアマオブネ					○									
60			アマオブネガイ			○	○	○	○	○	○						
61			リュウキュウアマガイ			○	○	○	○	○	○						
62			ニシキアマオブネ						○	○	○						
63			スリツヤアマガイ			○	○										
64			ツバサカノコ			○				○			●				
65			カノコガイ			○	○			○	○		●				
66			イシマキガイ					○									
67			ハナガスミカノコ														
68			クサイロカノコ			○	○						●				
69	キンランカノコ			○	○						●						
70	フネアマガイ科	フネアマガイ							○								
71	ユキスズメガイ科	ミヤコドリ							○		●						
72	チチカケガイ科	ハチジョウチチカケガイ			○	○		○	○			●					
73		オニノツノガイ科	オニノツノガイ			○	○	○	○	○							
74	新生腹足目	オニノツノガイ科	オニノツノガイ		○		○										
75			メオニノツノガイ					○									
76			ハシナガツノブエ				○										
77			コゲツノブエ							○			●				
78			ヒメクワノミカニモリ								○		●				
79			クリムシカニモリ					○		○	○						
80			ゴマフカニモリ			○	○	○	○	○	○						
81			カヤノミカニモリ			○	○	○	○	○	○		●				
82			ウミノナカニモリ							○	○						
83			クワノミカニモリ			○	○	○									
84			ミツカドカニモリ								○		●				
85			オオシマカニモリ							○							
86			ヨロワカニモリ			○											
87			カザリカニモリ			○	○	○									
88			トウガタカニモリ			○				○							
89			ヤセトウガタカニモリ					○									
90	ウミノナ科	リュウキュウウミノナ			○	○		○	○								
91	ゴマフニナ科	ゴマフニナ			○	○	○	○	○								
92	トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ					○	○			●						
93	キバウミノナ科	フトヘナタリ						○			●						
94		カワアイ					○					●					
95	タマキビ科	コビトウラウスガイ			○	○	○	○	○								
96		ホソスジウスラタマキビ			○	○	○	○	○								
97		テリタマキビ															
98		コウダカタマキビ			○												
99		ウスラタマキビ			○	○	○	○	○	○							
100		イロタマキビ			○							●					

表-2.5.2.3(4) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
101	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タマキビ科	ヒメウズラタマキビ	○	○	○	○	○		
102					タイワンタマキビ	○	○	○	○	○		
103					イボタマキビ	○	○	○	○	○		
104				カワザンショウガイ科	ウスイロヘソカドガイ	○						
105				クビキレガイ科	クビキレガイ				○			
106				スズメガイ科	チリメンフウリンチドリ	○			○			
107				トンボガイ科	トンボガイ				○			
108				ソデボラ科	オハグロガイ			○	○		●	●
109					ムカシタモト	○		○	○	○		
110					マガキガイ	○	○	○	○	○		
111					クモガイ		○	○	○	○		
112				タカラガイ科	ハチジョウダカラ	○				○		
113					ヤクシマダカラ		○					
114					ホシダカラ			○				
115					ヒメホシダカラ		○	○				
116					ホシキスタ		○					
117					ヤナギシボリダカラ			○				
118					ナツメモドキ	○	○	○	○	○		
119					クロダカラ			○				
120					カミスジダカラ		○	○	○			
121					コモンダカラ	○						
122					ハナビラダカラ	○	○	○	○	○		
123					キイロダカラ	○	○	○	○	○		
124					ハナマルユキ	○						
125				タマガイ科	トミガイ	○				○		
126					シロヘソアキトミガイ		○					
127					ヘソアキトミガイ		○			○		
128					コハクダマ	○						
129					ハギノツユ			○				
130					ホウシュノタマ	○	○	○	○	○		
131					カノコダマ	○	○					
132					アラゴマフダマ				○		●	●
133					テマリダマ	○	○					
134					ミダレシマタマ		○					
135				オキニシ科	イワカワウネボラ					○		
136					シロナルトボラ			○				
137				フジツガイ科	シノマキ	○	○		○	○		
138					ミツカドボラ	○		○	○	○		
139					サツマボラ	○			○			
140					シロシノマキ			○				
141					シオボラ		○					
142					ヒメミツカドボラ	○						
143				イトカケガイ科	シノフガイ					○		
144				フトコロガイ科	フトコロガイ	○	○		○	○		
145					チヂミフトコロ			○				
146					タモトガイ			○				
147					ムシエビ	○	○	○	○			
148					マツムシ		○		○			
149					ツマベニマツムシ		○					
150					スイシマツムシ			○				
151					シヤジクマツムシ				○			
152					キリコノミニナ		○					
153				ムシロガイ科	イボヨフバイ		○	○		○		
154					マルカニノデムシロ		○					
155					アワムシロ	○	○	○	○	○		
156					アツムシロ	○	○	○	○	○		
157					ヒメヨフバイ			○				
158					シイノミヨフバイ	○			○	○		
159					ミスジヨフバイ	○				○		
160					ヨフバイモドキ		○	○	○	○		
161					リュウキュウムシロ					○	●	●
162					イガムシロ		○				●	●
163				エソバイ科	シロイボノシガイ	○						
164					フイリノシガイ	○	○					
165					レンガツミノシガイ				○			
166					ノシガイ	○	○	○	○	○		
167					スジグロホラダマシ	○						
168					ホラダマシ		○		○	○		
169					シマベッコウバイ	○	○	○	○	○		
170				イトマキボラ科	イトマキボラ		○		○			
171					ペニマキガイ		○	○	○	○		
172					スジグロニシキニナ				○			
173				オニコブシ科	コオニコブシ		○					
174				アッキガイ科	テングガイ				○			
175					ガンゼキボラ	○		○		○		
176					ヒシヨウラク				○			
177					キナフレイシダマシ		○	○				
178					ウネレイシダマシ	○	○	○	○	○		
179					ニセシロレイシダマシ			○				
180					ゴマフスカボラ	○	○	○	○	○		
181					ヨウラクレイシダマシ	○	○				●	●
182					レイシダマシモドキ		○	○	○	○		
183					コウシレイシダマシ	○	○		○	○		
184					レイシダマシ	○	○	○	○	○		
185					カタハリレイシダマシ	○			○	○		
186					ウネシロレイシダマシ	○	○	○	○	○		
187					ニッポシレイシダマシ			○				
188					トゲレイシダマシ				○			
189					シロイガレイシ		○	○				
190					キマダライガレイシ			○				
191					アカイガレイシ			○				
192					キイロイガレイシ			○	○			
193					ツノレイシ		○					
194					ツノテツレイシ	○	○	○	○	○		
195					テツレイシ	○	○	○	○	○		
196					ハナワレイシ			○				
197					テツボラ			○	○			
198					ホソスジテツボラ			○				
199					コゲレイシダマシ	○	○	○	○	○		
200					チリメンカスレイシ		○		○	○		

表-2.5.2.3(5) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
201	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	アッキガイ科	クチュラサキサンゴヤドリ	○	○	○		○					
202					スジサンゴヤドリ	○									
203				カゴメサンゴヤドリ								○			
204				フデガイ科	チョウセンフデ		○		○						
205					マユフデ	○				○					
206					フチスイフデ		○								
207					キバフデ	○	○								
208					フトコロヤタテ		○	○							
209					クチジロヒメヤタテ					○					
210					クリイロヤタテ					○					
211					ナガシマヤタテ	○	○	○			○	○			
212					オオシマヤタテ					○					
213					ミダレシマヤタテ	○	○				○				
214					キイロフデ					○					
215					ツノイロチョウチンフデ	○	○	○			○	○			
216					マクラフデ					○	○	○			
217					クチベニアラフデ					○					
218					イモフデガイ	○				○					
219					ヒメイモフデ							○			
220					ミノムシガイ科	オオミノムシ						○			
221						ハイイロミノムシ	○							●	●
222						カバズツクシ						○			
223						チビツクシ	○							●	●
224						イトカケツクシ	○	○	○			○	○		
225						ハマヅト	○	○	○			○	○		
226						チヂミハマヅト						○	○		
227				トゲハマヅト		○	○	○							
228				シマオトメフデ									○		
229				サフランオトメフデ							○				
230				マメオトメフデ							○				
231				クロオトメフデ							○				
232				トリカゴオトメフデ								○			
233				ヒメテツヤタテ							○				
234				ホタルガイ科		オオシマホタル類似種	○	○	○		○	○			
235				マクラガイ科		サツマビナ					○	○			
236				イモガイ科		ミカドミナシ					○	○			
237					アカシマミナシ						○				
238					ヒラマキイモ	○	○	○			○	○			
239					ベニイタダキイモ						○				
240					サラサミナシ						○	○			
241					イタチイモ										
242					カバミナシ						○				
243					ヤナギシボリイモ							○			
244					コモンイモ	○	○	○			○	○			
245					ゴマフイモ	○	○	○			○	○			
246					アラレイモ	○									
247					ハイイロイモ	○									
248					サヤガタイモ	○	○					○			
249					ジュズカケサヤガタイモ	○									
250					マダライモ	○	○	○			○	○			
251					ガクフイモ	○	○	○			○	○			
252					シロセイロンイモ						○				
253					ハルシャガイ	○					○	○			
254					クロザメモドキ	○	○	○			○	○			
255					アジロイモ						○	○			
256					タガヤサンミナシ						○	○			
257					アンボンクロザメ	○					○	○			
258					クロフモドキ	○	○					○			
259					ロウソクガイ							○			
260					ナガシマイモ	○					○	○			
261					イボシマイモ	○					○	○			
262					ニセイボシマイモ	○	○	○							
263				キヌカツギイモ							○				
264				フックラキヌカツギイモ	○										
265				ヤセイイモ							○				
266				マンジガイ科	カザリコトツブ	○									
267				ツノクダマキ科	ツノクダマキ	○									
268				クダマキガイ科	トラフクダマキ					○	○				
269					クダボラ						○		●	●	
270				タケノコガイ科	ミガキタケ					○		○			
271					シワミガキタケ						○				
272					ゴバンタケ						○				
273					ココアトクサ	○					○	○			
274					カニモリタケ						○				
275					ムシロタケ						○	○			
276					ベニタケ							○			
277					リュウキュウタケ										
278					ニクタケ							○			
279					キスジニクタケ						○				
280				低位異鰓目	オオシノミガイ科	カヤノミガイ					○	●	●		
281					コシノミガイ					○					
282				裸鰓目	イロウミウシ科	フジナミウミウシ					○				
283					イボウミウシ科	キイロイボウミウシ						○			
284						コイボウミウシ	○				○	○			
285					ミカドウミウシ科	ミカドウミウシ					○				
286					ヨツスジミノウミウシ科	ムカデミノウミウシ						○			
287				真後鰓目	ブドウガイ科	ニクイロブドウガイ						○			
288					カイコガイ										
289				汎有肺目	カラマツガイ科	コウダカカラマツガイ	○	○	○		○	○			
290						ヒラカラマツガイ	○	○	○		○	○			
291						クロカラマツガイ	○	○	○		○	○			
292					チドリミドリガイ科	チドリミドリガイ					○	○			
293						ネコノミミクチキレ	○	○	○		○	○			
294						シイノミクチキレ					○				
295					アンバルクチキレ	○							●	●	
296					イソアワモチ科	イソアワモチ	○	○	○		○				
297					オカミガイ科	クロヒラシイノミガイ	○	○			○		●	●	
298						ヒメヒラシイノミガイ						○	●	●	
299				カシノメガイ									●	●	
300				ナガオカミガイ							○			●	

表-2.5.2.3(6) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種						
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季								
301	軟体動物門	腹足綱	汎有肺目	オカミミガイ科	ツヤハマシノミガイ	○	○	○	○	○								
302					スジハマシノミガイ	○	○	○	○	○								
303					ホソハマシノミガイ	○	○	○	○	○								
304					ハマシノミガイ	○	○	○	○	○		●						
305					チビハマシノミガイ								●					
306					キヌメハマシノミガイ (トリコハマシノミガイ)							○	●					
307					ヌノメハマシノミガイ				○			○	●					
308					コクトウハマシノミガイ													
309					頭足綱	八腕形目	マダコ科	ワモンダコ			○	○						
310					二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	フネガイ			○	○	○					
311								オオタカノハガイ						○				
312								エガイ	○	○	○	○	○					
313								オオカリガネエガイ	○	○	○	○	○					
314								カリガネエガイ	○	○	○	○	○					
315								ベニエガイ	○	○	○	○	○					
316								クロミノエガイ										
317								ハブタエエガイ				○	○					
318								コシロガイ	○	○		○	○					
319								タマキガイ科	ソメワケグリ	○	○	○	○	○		●		
320								イガイ目	イガイ科	シロインコ			○					
321										ヒバリガイモドキ		○	○	○				
322										スキゲヒバリガイ			○	○				
323										リュウキュウヒバリガイ	○	○	○	○	○			
324										ホソスジヒバリガイ		○	○	○	○	○	●	●
325										ヒナタマエガイ類似種							○	
326										クロシキノハン				○				
327										ミドリリアオリ	○	○	○	○	○			
328										クロチョウガイ		○	○	○	○			
329										シマウグイス					○			
330								シュモクガイ科	ニワトリガキ	○	○	○	○	○				
331	マクガイ科	ヘリトリアオリ	○	○				○	○	○								
332		マクガイ	○	○				○	○	○								
333		シロアオリ		○				○	○	○								
334		カイシアオリ	○	○				○	○	○								
335		シュモクアオリ							○	○								
336		イタボガキ科	シロヒメガキ						○									
337	オハグロガキ	○	○	○				○	○									
338	クロヘリガキ類似種	○	○	○				○	○									
339	トサカガキ								○									
340	ベッコウガキ科	ヒラガキ						○										
341		シャコガキ	○	○														
342	ハボウキガイ科	イワカワハゴロモ	○	○	○	○	○											
343		カゲロウガイ	○	○		○	○											
344	ミノガイ目	ミノガイ科	ミノガイ					○										
345			オオユキミノ	○	○	○	○	○		●								
346	イタヤガイ目	イタヤガイ科	リュウキュウナデシコ	○	○	○	○	○										
347			シロスジナデシコ	○	○	○	○	○										
348			チヒロガイ			○												
349			ウミギクモドキ	○	○	○	○	○										
350			メンガイ						○									
351		コシトゲウミギク				○												
352		ミヒカリメンガイ			○	○												
353		ネズミノテ科	カスリイシガキモドキ			○	○											
354		トマヤガイ科	クロフトマヤガイ	○	○													
355		マルスダレガイ目	ツキガイ科	ウミアサガイ			○		○									
356	ヒメツキガイ							○										
357	チヂミウメノハナ							○		○	●							
358	カブラツキガイ					○	○	○		○	●							
359	フタバシラガイ科			Diplodonta sp. B	○	○					●							
360	キクザルガイ科			ウナバラキクザル		○												
361	ケイトウガイ									○								
362	ウロコガイ科			ニッポンシマメアゲマキ類似種				○	○									
363	チリハキガイ科			キザミシタリ			○	○	○									
364				セウケハチミツガイ	○	○	○	○	○		●	●						
365				チチノシタリ				○	○									
366				ミガキシタリ				○	○									
367				ユンタクシジミ			○					●						
368				ブンブクヤドリガイ科	スジホシムシヤドリガイ	○	○					●						
369	ホシムシアケボノガイ									○	●							
370	フナガタガイ科			フナガタガイ	○	○		○										
371	ザルガイ科			イレズミザル	○	○		○			●	●						
372				リュウキュウザル	○	○	○	○	○									
373				オオヒシガイ	○	○	○	○	○									
374				カワラガイ	○	○	○	○	○		●	●						
375		オキナワヒシガイ	○	○	○	○	○		●	●								
376		キヌヒシガイ	○	○	○	○	○											
377		リュウキュウアオイ	○	○	○	○	○			●								
378		ポタンガイ	○	○	○	○	○											
379		シャコガイ科	ヒメシャコ	○	○													
380			シラナミ				○											
381	マルスダレガイ科	ヌノメガイ				○												
382		カノコアサリ	○	○	○	○	○											
383		チリメンカノコアサリ	○	○	○	○	○			●								
384		アラスジケマンガイ																
385		ホソスジイナミガイ				○												
386		イナミガイ	○	○														
387		オミナエシハマグリ	○	○	○	○	○		●	●								
388		サラサガイ							○									
389		マルオミナエシ	○	○			○											
390		オイノカガミ				○	○		○	●								
391	ヒメリュウキュウアサリ				○	○			●									
392	ヒメアサリ	○	○	○	○	○												
393	スダレハマグリ	○	○			○		○	●									
394	フキアゲアサリ	○	○			○	○		●									
395	ハネマツカゼ	○																
396	ハナグモリ科	ハナグモリ	○			○			●									
397	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○		●	●								
398		キュウシュウナミノコ						○		●								
399	ニッコウガイ科	ヒノデガイ		○					○	●								
400		ヒメニッコウガイ	○	○	○	○	○			●								

表-2.5.2.3(7) インベントリ調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種						
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季								
401	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	ニッコウガイ科	ダイミョウガイ				○		●	●						
402					ハラサキガイ	○						●	●					
403					ヒラセザクラ	○					○		●	●				
404					ネコジタザラ	○							●	●				
405					リュウキュウシラトリ	○	○				○	○						
406					ナミノコザラ	○					○			●				
407					ホシヤマナミノコザラ	○	○						●	●				
408					リュウキュウクサビザラ	○							●	●				
409					ミガキヒメザラ	○	○				○	○		●				
410					ハスメザクラ	○					○	○		●				
411					トガリュウシオガイ	○	○				○	○		●				
412					アサジガイ科	サメザラモドキ								●	●			
413					シオサザナミ科	マスオガイ	○					○		●	●			
414						リュウキュウマスオ	○	○			○	○						
415					マテガイ科	バラフマテガイ						○		●	●			
416						ホソバラフマテガイ						○		●	●			
417					パカガイ科	タママキ	○	○			○	○						
418						リュウキュウパカガイ	○	○			○	○						
419						ナガタママキ	○	○						●	●			
420						トウカイトママキ								●	●			
421						オトメタママキ						○		●	●			
422						イソハマグリ	○	○			○	○		●	●			
423						クチバガイ					○			●	●			
424	環形動物門	ゴカイ綱	サンバゴカイ目	ウロコムシ科	トゲウロコムシ				○									
425					マルフチトゲウロコムシ	○												
426				オトヒメゴカイ科	マエコブオトヒメゴカイ					○								
427				ゴカイ科	クマドリゴカイ	○	○			○	○							
428					イソゴカイ						○							
429					スナイソゴカイ	○	○			○								
430					コケゴカイ	○					○							
431				ウミケムシ目	ウミケムシ科	ハナオレウミケムシ				○								
432				ケヤリムシ目	カンザシゴカイ科	イバラカンザシゴカイ	○				○							
433				ユムシ動物門	キタユムシ目	キタユムシ科	タテジマユムシ	○			○							
434				スジユムシ		○												
435	星口動物門	スジホシムシ綱	フクロホシムシ目	スジホシムシ科	スジホシムシモドキ属	○	○		○	○	●	●						
436					スジホシムシ	○	○			○	○		●	●				
437					サメハダホシムシ綱	サメハダホシムシ目	サメハダホシムシ科	ネッタイサメハダホシムシ				○						
438								タイヘイサメハダホシムシ				○						
439								サメハダホシムシ	○									
440	節足動物門	アゴアン綱	有肛目	サンゴフジツボ科	ルリツボムシ		○											
441					ミョウガガイ科	カメノテ	○	○		○	○							
442					有柄目	イワフジツボ科	ウチムラサキイワフジツボ	○	○		○	○						
443					無柄目		ミナミイワフジツボ	○	○		○	○						
444							クロフジツボ科	クロフジツボ	○	○								
445								ミナミクロフジツボ	○	○		○	○					
446								タテジマフジツボ					○					
447								シロスジフジツボ	○	○		○	○					
448					軟甲綱	シャコ目	フトユビシャコ科	フトユビシャコ	○	○		○						
449								コトゲフトユビシャコ					○	○				
450								ウニシャコ科	ミツヤマトジオンシャコ			○	○	○				
451								ホソユビシャコ科	ホソユビシャコ	○								
452								ヒメシャコ科	ヒメトラフシャコ	○	○							
453									ミツツノヒメシャコ	○	○			○	○			
454									シマトラフヒメシャコ	○				○	○			
455									シャコ科	<i>Clorida denticauda</i>					○			
456										<i>Leptosquilla scheltzii</i>				○	○			
457								エビ目	クルマエビ科	フトミゾエビ				○		○		
458					テラオクルマ													
459					<i>Metapenaeopsis commensalis</i>									○				
460					モエビ													
461					サクラエビ科	<i>Sicyonella inermis</i>							○	○		●	●	
462						<i>Sicyonella maldivensis</i>								○		●	●	
463	ドウケツエビ科	サンゴヒメエビ								○								
464	オトヒメエビ科	オトヒメエビ	○	○			○			○								
465	テナガエビ科	マイヒメエビ	○															
466		スネナガエビ					○											
467		フトユビスジエビ (ユビナガスジエビ)								○								
468		シオダマリカクレエビ					○											
469		シサンゴカクレエビ								○								
470		エンマカクレエビ	○	○														
471		オトヒメテッポウエビ	○	○			○			○								
472		アカマダラテッポウエビ	○	○														
473		ゲツメンテッポウエビ	○															
474		エドワールテッポウエビ	○	○			○			○								
475		イソテッポウエビ	○	○			○			○								
476		マイアーステッポウエビ								○								
477		マダラテッポウエビ	○	○			○			○								
478		トウゾクテッポウエビ	○	○														
479		サブテッポウエビ	○				○											
480		サワギテッポウエビ	○					○										
481		テッポウエビ属の1種F						○										
482		フナフチテッポウエビ	○				○	○										
483		カワテッポウエビ	○	○														
484		モンツキテッポウエビ	○	○			○											
485		フタコブツノテッポウエビ	○	○														
486		アシボソヨコシマムラサキエビ	○															
487	ツノメエビ科	ツノメエビ						○										
488	ヒメサンゴモエビ科	イソギンチャクモエビ						○										
489	エビジャコ科	イノーエビジャコ	○															
490		コツノエビジャコ	○															
491		ミナミエビジャコ						○										
492	スナモグリ科	ハルマンズスナモグリ	○	○			○	○										
493		ブイエスナモグリ	○	○			○	○		●	●							
494	エラゲスナモグリ科	エラゲスナモグリ	○	○			○	○										
495	Callincheridae	トゲスナモグリ	○	○			○	○		●	●							
496		ミツトゲヤワスナモグリ	○	○			○	○										
497		<i>Neocallichirus calmani</i>	○	○			○	○		●	●							
498		<i>Neocallichirus jousseaumei</i>	○	○			○	○		●	●							
499	リュウグウスナモグリ科	オトヒメスナモグリ								●	●							
500	アナジャコ科	コブシアナジャコ	○				○	○		●	●							

表-2.5.2.3(8) インベントリ調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
501	節足動物門	軟甲綱	エビ目	アナジャコ科	ヨコヤアナジャコ					○					
502				コシオリエビ科	ホクロコシオリエビ	○	○	○			○				
503				カニダマシ科	アカホシカニダマシ					○					
504					ミナミコブカニダマシ	○	○	○							
505					アジアアカハラ	○	○	○	○			○			
506					ミナミカニダマシ	○	○	○	○			○			
507					イソカニダマシ				○			○			
508					ヒロバカニダマシ	○	○	○	○			○			
509					ケブカカニダマシ	○	○	○	○			○			
510					<i>Petrolisthes triobatus</i>				○						
511					<i>Petrolisthes inermis</i>				○	○	○	○	○		
512					クダヒゲガニ科	ヒメクダヒゲガニ	○	○							
513				クダヒゲガニ					○						
514				スナホリガニ科	スナホリガニ	○	○	○	○			○			
515				オカヤドカリ科	オカヤドカリ	○	○	○	○				●		
516					ムラサキオカヤドカリ	○	○	○	○				●		
517					ナギオカヤドカリ	○	○	○	○			○	●		
518					コムラサキオカヤドカリ				○	○	○	○	●		
519				ヤドカリ科	ユビワサンゴヤドカリ				○						
520					スベスベサンゴヤドカリ	○	○	○	○			○			
521					ツマジロサンゴヤドカリ	○	○	○	○			○			
522					クリイロサンゴヤドカリ				○						
523					シロサンゴヤドカリ				○				●	●	
524					サンゴヨコバサミ	○	○	○	○			○	●	●	
525					ワカクサヨコバサミ				○			○	●	●	
526					ツマキヨコバサミ	○	○	○	○			○			
527					イモガイヨコバサミ	○	○	○	○			○			
528					マダラヨコバサミ	○	○	○	○			○			
529					ツメナガヨコバサミ	○	○	○	○			○			
530					タテジマヨコバサミ	○	○	○	○			○			
531					イソヨコバサミ	○	○								
532					カブトヤドカリ	○	○								
533					オイランヤドカリ	○	○	○	○						
534				コモンヤドカリ	○	○									
535				テナガヤドカリ	○	○	○								
536				マルテツノヤドカリ	○	○	○	○				●	●		
537				<i>Diogenes pallescens</i>				○	○	○	○				
538				ホンヤドカリ科	ユミナリヤドカリ	○	○				○				
539					カンザシヤドカリ				○						
540					ユビワヒメホンヤドカリ	○	○	○	○						
541					<i>pagurixus haigae</i>	○	○	○	○						
542					オキナワホンヤドカリ				○						
543					ユビナガホンヤドカリ	○	○	○	○			○			
544				クロシマホンヤドカリ				○							
545				カイカムリ科	ミゾカイカムリ	○									
546				カラッパ科	マルソデカラッパ										
547					ソデカラッパ	○	○	○	○			○			
548				キンセンガニ科	コモンガニ	○			○	○					
549				メガネオウギガニ科	メガネオウギガニ	○	○	○							
550				イワオウギガニ科	イワオウギガニ	○	○	○	○			○			
551					イワオウギガニ	○	○	○	○						
552				イソオウギガニ科	シワセビロガニ	○	○	○	○						
553					セビロオウギガニ	○	○	○	○						
554					キバオウギガニ	○	○	○	○						
555					イソオウギガニ	○	○	○	○						
556				ムツアシガニ科	オオウラムツアシガニ						○	●	●		
557					ムツアシガニ科の一種				○						
558				ヤワラガニ科	ハジカサーヒメソバガラガニ	○	○	○	○			○			
559					ヒメソバガラガニ	○			○						
560					ツノダシヤワラガニ	○			○						
561	オキナワヤワラガニ					○					●				
562		ソバガラガニ				○									
563	コブシガニ科	シワカルイシコブシ	○												
564		スエヒロトゴコブシ							○						
565		アマミマメコブシガニ	○	○	○	○				●	●				
566		<i>Ebalia woodmasoni</i>													
567		クルミコブシ				○									
568		ヒラテコブシガニ	○												
569		フタメコブシ				○				○					
570	イリオモテマメコブシガニ	○	○	○	○				○	●	●				
571	サガミコブシ	○													
572	モガニ科	イッカクガニ	○	○	○	○			○						
573	クモガニ科	クビナシアケウス				○									
574		シヤクドウマメツブガニ	○												
575	ケアシガニ科	ノコギリガニ				○									
576		コワタクスガニ	○	○	○				○						
577		ヒラワタクズガニ	○	○	○				○						
578		イソクスガニ	○	○	○										
579		ツノナガイソクスガニ	○			○									
580		ヒライソクスガニ	○												
581	イトアシガニ科	テナガイトアシガニ						○							
582	ヒシガニ科	オキナヒシガニ				○									
583		コトゲオキナヒシガニ													
584		カルイシガニ						○							
585	ケブカガニ科	ヒロハイボテガニ						○							
586		<i>Aniptummus vietnamicus</i>	○	○											
587		トラノオガニ	○						○						
588		マルミトラノオガニ	○	○											
589		ミナミトラノオガニ	○												
590		ニューカレドニアケブカガニ							○						
591		トラノオガニダマシ	○	○	○	○			○						
592		<i>Pilumnus turgidulus</i>	○	○											
593		<i>Pilumnus turgidulus</i> 類似種							○						
594		ケブカガニ	○	○	○	○			○						
595		メイロケブカガニ	○												
596		ワタリガニ科	クメジマハイガザミモドキ												
597	アミメノコギリガザミ		○	○	○	○									
598	サメハダヒメガザミ		○	○	○				○						
599	メダマヒメガザミ		○	○	○				○						
600	タイワンガザミ		○	○	○	○									

表-2.5.2.3(9) インベントリ調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
601	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ワタリガニ科	ジャンメガザミ		○					
602					ツノナシイボガザミ			○	○		●	●
603					ツノヒメガザミ	○	○		○			
604					オオメテナガヒメガザミ	○			○			
605					マルハテナガヒメガザミ	○	○	○		○		
606					フタハベニツケモドキ	○	○	○	○	○		
607					チャブタルベニツケガニ			○	○	○		
608					ヒメフタハベニツケガニ	○	○	○	○	○		
609					ヒメベニツケガニ		○	○		○		
610					ミナミベニツケガニ	○	○	○	○	○		
611					ミナミベニツケモドキ	○	○	○	○	○		
612					ミスジベニツケガニ		○					
613				ヒメソオウギガニ科	ヒメソオウギガニ	○		○	○			
614				サンゴガニ科	カバイロサンゴガニ		○					
615				オウギガニ科	ピロードアワツガニ	○	○	○	○			
616					ケフサテナガオウギガニ							
617					ナギテナガオウギガニ	○	○	○				
618					ヒメテナガオウギガニ			○	○			
619					クロテナガオウギガニ	○	○	○				
620					ユビワテナガオウギガニ				○			
621					ヒツメオウギガニモドキ	○						
622					ヒツメオウギガニ		○	○				
623					ヒメヒツメガニモドキ		○	○	○	○		
624					デマンヒツメガニ	○	○	○	○	○		
625					ヒメヒツメガニ	○	○	○	○	○		
626					ヒツメガニ	○						
627					シロゴイシガニ			○		○		
628					オウギガニ	○	○	○	○	○		
629					コオウギガニ	○	○	○	○	○		
630					ダーナオウギガニ	○	○	○	○	○		
631					ムツハオウギガニ	○	○	○	○	○		
632					ヤエヤマトゲオウギガニ			○	○	○		
633					ヒメベニオウギガニ			○				
634					<i>Luniella scabricula</i>	○						
635					アルフォンシウオウギガニ		○					
636					ムラサキアワツガニ				○	○		
637					ヒメオウギガニ	○	○		○			
638					フトユビヒメオウギガニ			○				
639					ツブトゲオウギガニ		○	○				
640					トゲオウギガニ	○	○	○	○	○		
641					ツブヒラアシオウギガニ			○				
642					エリアシアワツガニ	○		○				
643					テナガヒツメガニ	○		○				
644					シワトゲオウギガニ		○					
645					グアムエリアシオウギガニ		○		○			
646				オカガニ科	ヤエヤマヒメオカガニ	○	○	○	○	○		●
647					オカガニ		○					
648				イワガニ科	オオカクレイワガニ			○		○		
649					ミナミイワガニ	○	○	○	○	○		
650					オオイワガニ	○		○				
651					ツブイワガニ	○				○		
652					ヒルギハシリイワガニ		○					
653					ハシリイワガニモドキ	○	○	○	○	○		
654					ヒメイワガニ	○	○	○	○	○		
655					イダテンイワガニ		○	○	○	○		
656					コイワガニ	○	○	○	○	○		
657				ショウジンガニ科	イボショウジンガニ	○						
658				トゲアシガニ科	<i>Percnon planissimum</i>	○			○	○		
659				ベンケイガニ科	フジテガニ	○	○	○	○	○	●	●
660					キノボリベンケイガニ							
661					イワトビベンケイガニ	○	○		○	○	●	●
662					クチキヒメベンケイガニ		○		○	○		
663					ヒメベンケイガニ	○						
664					ケブカベンケイガニ			○	○	○		
665					フタバカクガニ	○	○	○	○	○		
666					カクベンケイガニ	○	○	○	○	○		
667					ユビアカベンケイガニ			○			●	●
668				モクズガニ科	ミナミアカイソガニ	○	○	○	○	○		
669					ヒライソガニ	○	○	○	○	○		
670					オキナワヒライソガニ	○	○	○	○	○	●	●
671					トゲアシヒライソガニモドキ			○	○	○		●
672					ヒメイワガニモドキ	○	○	○	○	○		●
673					コウナガイワガニモドキ	○	○	○	○	○		●
674					ミナミアシハラガニ	○	○	○	○	○	●	●
675					ケフサヒライソモドキ	○	○	○	○	○		●
676					ヒメヒライソモドキ	○	○	○	○	○	●	●
677					タイワンヒライソモドキ	○	○	○	○	○	●	●
678					マルミカワガニ				○	○		●
679					ヨツハヒライソモドキ	○	○	○	○	○	●	●
680					ヒライソモドキ属D		○		○	○		●
681					レンゲガニ	○	○	○			●	●
682					トリウミアカイソモドキ					○	●	●
683					ミナミヒライソモドキ	○	○	○	○	○	●	●
684				ムツハアリアケガニ科	カワスナガニ	○	○	○	○	○	●	●
685				コメツキガニ科	ミナミチゴガニ	○	○					●
686					リュウキュウコメツキガニ	○	○	○	○	○		
687					ツノメチゴガニ	○	○	○	○	○		
688				オサガニ科	オモナゴドロガニ							●
689					ヒメカクオサガニ	○	○	○	○	○	●	●
690					チゴイワガニ		○					●
691					ミナミオサガニ	○	○	○	○	○		
692					フタハオサガニ	○	○	○	○	○		
693					ミナミメナガオサガニ	○	○	○	○	○		
694					イリオモテメナガオサガニ			○				
695				ミナミコメツキガニ科	ミナミコメツキガニ	○	○	○	○	○		
696				スナガニ科	ツノメガニ	○	○	○	○	○		
697					ナンヨウスナガニ	○	○	○	○	○		
698					オキナワハクセンシオマネキ	○	○	○	○	○		
699					ミナミヒメシオマネキ			○				
700					ルリマダラシオマネキ	○	○	○				●

表-2.5.2.3(10) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
701	節足動物門	軟甲綱	エビ目	スナガニ科	ヒメシオマネキ	○	○		○	○					
702							ベニシオマネキ		○						
703							カクレガニ科	クロビノ			○				
704	棘皮動物門	ウミユリ綱	ウミシダ目	クシウミシダ科	クラアクウミシダ				○						
705			ヒトデ綱	アカヒトデ目	コブヒトデ科	コブヒトデ	○	○	○	○	○				
706				ホウキボシ科	アミメジユズベリヒトデ				○						
707				ルソンヒトデ目	ルソンヒトデ科	ルソンヒトデ	○	○	○	○	○				
708		クモヒトデ綱	クモヒトデ目	トゲクモヒトデ科	ウデナガクモヒトデ	○			○	○					
709						ゴマフクモヒトデ	○	○		○	○				
710						ウデフリクモヒトデ		○		○					
711						クロクモヒトデ				○	○				
712						オハグロクモヒトデ					○	○			
713		ウニ綱	ガンガゼ目	ガンガゼ科	アオスジガンガゼ	○	○	○	○	○					
714						トックリガンガゼモドキ		○							
715	ホンウニ目		サンショウウニ科	コシダカウニ				○							
716					シラヒゲウニ				○						
717					ホンナガウニ	○	○	○	○	○					
718					ツマジロナガウニ	○	○	○	○	○					
719			ミナミタワシウニ	○	○	○	○	○							
720			タコノマクラ目	カシパン科	ミナミヨツアナカシパン				○						
721	ナマコ綱		楯手目	クロナマコ科	トゲクリイロナマコ		○								
722						クリイロナマコ	○	○							
723					クロナマコ				○						
724					ニセクロナマコ					○					
725					モグラクロナマコ				○						
726			無足目	イカリナマコ科	トゲオオイカリナマコ				○						
727			クルマナマコ科	ムラサキクルマナマコ	○	○	○	○	○						
728	脊索動物門	ホヤ綱	マメボヤ目	ウスボヤ科	チャツボボヤ	○	○		○	○					
729					ハンゲボヤ科	ワモンツツボヤ				○	○				
730					シロボヤ科	ミナミクロボヤ	○	○			○				
731			マボヤ目	マボヤ科	ミナミカラスボヤ	○	○	○	○	○					
					総計種数	375	408	395	396	350	91	109			

(2) 底生動物調査（定量的調査）

1) 調査結果の概要

調査結果の概要を表-2.5.2.4に示します。

各調査時期における出現種類数は50～113種類、平均出現種類数は18～44種類、平均個体数は38～166個体/0.1m²、平均湿重量は0.58～6.86g/0.1m²でした。

主な出現種は、シリス亜科、*Pista*属、ホソツメタナイス科などでした。

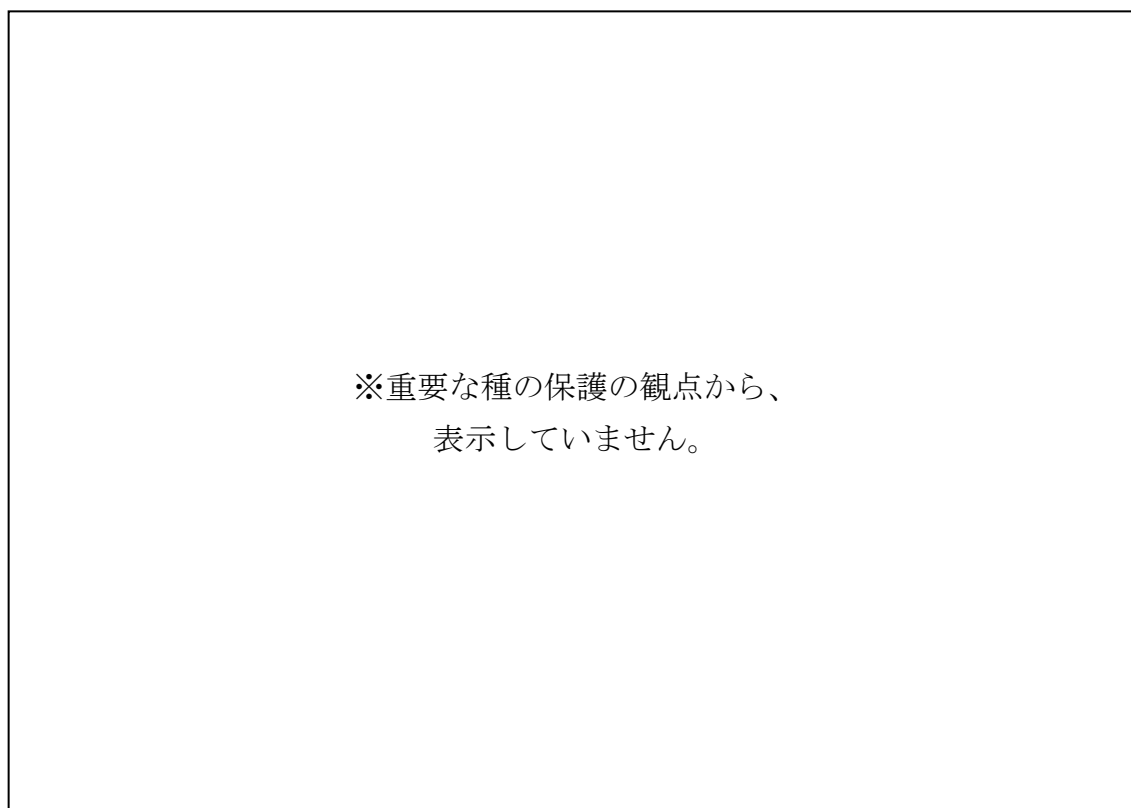


図-2.5.2.2 底生動物調査の調査地点

表-2.5.2.4 底生動物調査 結果概要

調査年度		令和4年度				
項目	調査時期	春季 令和4年5月10, 12日	夏季 令和4年7月6, 7日	台風後 令和4年9月20, 21日	秋季 令和4年10月26, 27日	冬季 令和5年1月25, 26日
	調査地点数		4	4	4	4
出現種類数		78	113	50	77	78
平均出現種類数		(8 ~ 36)	(27 ~ 54)	(11 ~ 27)	(16 ~ 32)	(7 ~ 46)
平均個体数 (個体/0.1m ²)		76 (11 ~ 132)	166 (105 ~ 240)	38 (16 ~ 69)	53 (20 ~ 74)	79 (15 ~ 162)
平均湿重量 (g/0.1m ²)		0.58 (0.13 ~ 0.97)	6.86 (1.58 ~ 15.22)	3.13 (0.04 ~ 8.96)	4.51 (0.36 ~ 14.90)	1.83 (0.17 ~ 3.54)
個体数 組成比 (%)	軟体動物門	6.6	9.9	13.7	17.1	18.4
	環形動物門	49.2	34.1	64.1	50.5	36.4
	節足動物門	34.3	48.0	3.9	14.8	37.3
	その他	9.9	8.0	18.3	17.6	7.9
主な出現種の平均個体数 (個体/0.1m ²) () 内は組成比%		<i>Pista</i> 属 8 (10.6) <i>Myriochele</i> 属 7 (9.2) ホソツメタナイス科 7 (9.2) <i>Urothoe</i> 属 4 (5.3)	Corophiinae 31 (18.5) ホソツメタナイス科 23 (13.8) シリス亜科 10 (5.9)	シリス亜科 4 (9.2) <i>Pista</i> 属 4 (9.2) 紐形動物門 3 (8.5) タケフシゴカイ科 2 (5.2)	キレコミゴカイ 6 (11.0) サンショウウニ科 4 (6.7) ウスヒザラガイ科 3 (5.7) <i>Pista</i> 属 3 (5.7)	<i>Armandia</i> 属 6 (7.6) ウスヒザラガイ科 6 (7.3) ホソツメタナイス科 6 (7.3) クダオソコエビ属 5 (6.6)

注) 1. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示します。

2. 主な出現種には、平均個体数の組成比で5%以上の上位5種を示します。

2) 出現種

総出現種リストを表-2.5.2.5に示します。

出現したマクロベントスは、種まで同定されなかったものも含めて 198 種類が記録され、このうち環形動物門（70 種類）が最も多く、次いで節足動物門（60 種類）及び軟体動物門（52 種類）が多くみられました。

表-2.5.2.5(1) 底生動物調査 総出現種リスト

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
1	有孔虫門	有孔虫綱	有孔虫目	ソリテス科	<i>Amphisorus hemprichii</i>			○	○			
2	海綿動物門	普通海綿綱	-	-	普通海綿綱		○					
3	刺胞動物門	花虫綱	ハナギンチャク目	ハナギンチャク科	ハナギンチャク科			○				
4			イソギンチャク目	-	イソギンチャク目	○	○	○	○	○		
5	扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目	-	ヒラムシ目	○	○		○	○		
6	紐形動物門	-	-	-	紐形動物門	○	○	○	○	○		
7	線形動物門	-	-	-	線形動物門	○	○	○	○	○		
8	軟体動物門	多板綱	サメハダヒザラガイ目	サメハダヒザラガイ科	シリフトヒザラガイ	○	○	○	○	○		
9			クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	ウスヒザラガイ科	○	○	○	○	○		
10				ケハダヒザラガイ科	ヒメケハダヒザラガイ		○				●	●
11					ピロウドヒザラガイ				○			
12					ケハダヒザラガイ属			○				
13					ケハダヒザラガイ科	○				○		
14		腹足綱	カサガイ目	ユキノカサガイ科	ユキノカサガイ科	○	○					
15			古腹足目	ニシキウス科	サラサタマ	○						●
16					ヒメアワビ		○		○	○		
17					クレナイアシヤガマ		○			○		
18					アシヤガマ属				○			
19				スカシガイ科	スソキレガイ		○			○		
20					スカシガイ科			○	○			
21			新生腹足目	オニノツノガイ科	オニノツノガイ科		○					
22				ソデボラ科	マガキガイ		○					
23				ムカデガイ科	ムカデガイ科				○			
24				タマガイ科	シロヘソアキトミガイ					○		
25					ヘソアキトミガイ	○	○					
26					タマガイ科					○		
27				ミノムシガイ科	ハマツト	○				○		
28					チヂミハマツト		○					
29				マクラガイ科	サツマビナ		○					
30				ツノクダマキ科	ヒトスジツノクダマキ				○			
31			裸貝目	-	裸貝目		○		○	○		
32			真後鰓目	キセウタガイ科	キセウタガイ科		○			○		
33				ブドウガイ科	ブドウガイ科		○					
34			汎有肺目	チドリミドリガイ科	チドリミドリガイ		○					
35				ゴクラクミドリガイ科	ゴクラクミドリガイ科							
36		掘足綱	-	-	掘足綱	○			○	○		
37		二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	リュウキユウサルボウ			○				●
38				タマキガイ科	ソメウケグリ		○					●
39			イガイ目	イガイ科	ヒバリガイ属	○				○		
40					サザナミマクラ				○		●	●
41			ミノガイ目	ミノガイ科	ユキミノ属	○	○					
42			異鰓帯目	スエモノガイ科	スエモノガイ科		○					
43			マルスダレガイ目	ツキガイ科	ツキガイ科		○					
44				フタバシラガイ科	<i>Diplodonta</i> 属			○			●	●
45				ウロコガイ科	ウロコガイ科					○		
46				ザルガイ科	リュウキユウザル		○					
47					オオヒシガイ				○	○		
48					キスヒシガイ		○			○		
49				マルスダレガイ科	カノコアサリ		○	○	○			
50					オミナエシハマグリ			○			●	●
51					マルオミナエシ					○		
52					フキアガアサリ			○				●
53					マルスダレガイ科				○			
54				ニッコウガイ科	リュウキユウサラガイ				○		●	●
55					コニッコウガイ				○		●	●
56					ミガキヒメザラ				○		●	●
57					ミクニシボリザクラ	○	○				●	●
58					ザンノナミダ			○			●	●
59				チドリマスオ科	ハマチドリ				○			
60	環形動物門	ゴカイ綱	サンバゴカイ目	ウロコムシ科	ウロコムシ科	○		○				
61				ノラリウロコムシ科	<i>Pisione</i> 属	○						
62					<i>Euthalenessa</i> 属	○	○	○		○		
63					ノラリウロコムシ科	○	○	○		○		
64				サンバゴカイ科	<i>Eumida</i> 属	○	○	○		○		
65					<i>Phyllodoce</i> 属	○	○	○		○		
66					サンバゴカイ科	○	○	○		○		
67				チロリ科	<i>Glyceria</i> 属	○	○	○		○		
68				ニカイチロリ科	<i>Goniada</i> 属	○	○	○		○		
69				オトヒメゴカイ科	オトヒメゴカイ科	○	○	○	○	○		
70				カギゴカイ科	イッカクカギゴカイ		○	○				
71					<i>Syneilesis</i> 属		○					
72				シリスコ	<i>Exogone</i> 属	○						
73					<i>Sphaerovallis</i> 属	○						
74					シリス亜科	○	○	○	○	○		
75					シリス科	○	○					
76				ゴカイ科	キレコミゴカイ		○	○	○	○		
77					<i>Ceratonereis</i> 属	○	○			○		
78					ヒメゴカイ		○					
79					<i>Platynereis</i> 属				○			
80					ゴカイ科	○	○	○	○	○		
81				シロガネゴカイ科	<i>Micronephthys</i> 属	○	○					
82					ミナミシロガネゴカイ			○	○	○		
83			ウミケムシ目	ウミケムシ科	<i>Linopherus</i> 属	○	○	○	○	○		
84			イソメ目	ナナテイソメ科	ナナテイソメ科	○	○	○	○	○		
85					<i>Eunice</i> 属	○	○	○	○	○		
86					<i>Lysidice</i> 属				○			
87					<i>Marphysa</i> 属				○			
88					<i>Nematoneis</i> 属				○	○		
89				ギボシイソメ科	<i>Lumbrineris</i> 属	○	○	○				
90					<i>Lumbrineris</i> 属	○	○	○				
91				ノリコイソメ科	<i>Protodorvillea</i> 属		○	○				
92					<i>Schistomeringos</i> 属		○					
93			ホコサキゴカイ目	ホコサキゴカイ科	<i>Leitoscoloplos</i> 属		○			○		
94					<i>Naineris</i> 属		○					
95				ヒメエラゴカイ科	<i>Aricidea</i> 属		○	○				
96					<i>Paraonides lyra</i>	○	○					
97					<i>Paraonides</i> 属		○	○				
98					ヒメエラゴカイ科		○					
99			スピオ目	スピオ科	ケンサキスピオ	○	○	○	○	○		
100					<i>Laonice</i> 属		○					

表-2.5.2.5(2) 底生動物調査 総出現種リスト

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度				重要な種	移動対象種		
						春季	夏季	台風後	秋季			冬季	
101	環形動物門	ゴカイ綱	スビオ目	スビオ科	ソデナガスビオ			○	○				
102					オオシマスビオ	○							
103					<i>Prionospio</i> 属		○		○	○			
104					<i>Pseudopolydora</i> 属			○	○	○			
105					<i>Scolecopsis</i> 属		○	○	○	○	○		
106					<i>Spio</i> 属						○		
107					<i>Spionophanes</i> 属		○	○				○	
108											○		
109								モロテゴカイ科	<i>Mageiona</i> 属		○		
110								ミスヒキゴカイ科	<i>Aphelocheata</i> 属		○		
111									<i>Caulierella</i> 属			○	○
112									<i>Cirriformia</i> 属		○		
113							イトゴカイ目	イトゴカイ科	<i>Mediomastus</i> 属	○			
114									<i>Notomastus</i> 属	○	○	○	○
115									イトゴカイ科	○	○	○	○
116									タケフシゴカイ科	○	○	○	○
117							オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	<i>Armandia</i> 属	○	○	○	○
118									<i>Onbelia</i> 属		○	○	○
119							イジママカシゴカイ目	イジママカシゴカイ科	<i>Polvaordius</i> 属		○		
120							チマキゴカイ目	チマキゴカイ科	<i>Myriochele</i> 属	○	○	○	○
121							フサゴカイ目	フサゴカイ科	<i>Lysilla</i> 属	○	○	○	○
122									<i>Polvcirrus</i> 属			○	
123									<i>Pista</i> 属	○	○	○	○
124									フサゴカイ科	○	○	○	○
125								カザリゴカイ科	カザリゴカイ科	○		○	
126								タマシフサゴカイ科	<i>Terebellides</i> 属	○	○		
127							ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	コクビロケヤリムシ属	○	○		○
128									ケヤリムシ科	○	○	○	○
129								カンザシゴカイ科	フクロカンザシゴカイ			○	
130	星口動物門	サメハダホシムシ綱	サメハダホシムシ目	タテホシムシ科	ミナミタテホシムシ	○		○					
131	節足動物門	ウミグモ綱	-	-	ウミグモ綱								
132		カイクム綱	ウミホタル目	ウミホタル科	ウミホタル科		○						
133					ウミホタル目	○		○					
134		軟甲綱	シャコ目	フトユビシャコ科	フトユビシャコ科			○					
135					ヒメシャコ科	ヒメシャコ科			○				
136				ヨコエビ目	スガメソコエビ科	スガメソコエビ属		○					
137						ニッポンスガメ	○	○		○			
138					チビヨコエビ科	チビマルヨコエビ属			○				
139					ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ属	○			○			
140					ユンボソコエビ科	ユンボソコエビ科			○				
141					ドロクダムシ科	Corophiinae	○	○		○			
142					アゴナガヨコエビ科	アゴナガヨコエビ属		○					
143					インクヨコエビ科	ソコエビ属	○	○		○			
144						クダソコエビ属			○				
145					カマキリヨコエビ科	ホソヨコエビ属		○		○			
146						カマキリヨコエビ属	○						
147					コメツボヨコエビ科	テツボウダマ属	○	○					
148					マルハサミヨコエビ科	マルハサミヨコエビ属	○	○		○			
149					フトヒゲソコエビ科	フトヒゲソコエビ科		○					
150					スナナリヨコエビ科	イソヨコエビ属			○				
151						スナナリヨコエビ属	○	○		○			
152					メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属	○	○					
153						メリタヨコエビ科			○				
154					クチバシソコエビ科	サンバクソコエビ属		○					
155					ヒサシソコエビ科	ヒサシソコエビ科	○	○		○			
156					テングヨコエビ科	テングヨコエビ科	○						
157					ドロノミ科	ドロノミ属			○				
158					タテソコエビ科	タテソコエビ属			○				
159					マルソコエビ科	マルソコエビ属	○	○		○			
160					-	ヨコエビ亜目			○				
161					ワレカラ科	ワレカラ属	○						
162				ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科			○				
163					ウミナナフシ科	ウミナナフシ科	○	○		○			
164					グソクムシ科	グソクムシ科		○					
165					ウミクワガタ科	ウミクワガタ科				○			
166					-	ミズムシ亜目		○					
167				タナイス目	タナイス科	ケブカタナイス				○			
168						タナイス科		○					
169					ホソツメタナイス科	ホソツメタナイス科	○	○		○			
170				クマ目	ナギサクマ科	ナギサクマ科	○			○			
171				エビ目	モエビ科	モエビ科			○				
172					ロウソクエビ科	<i>Processa</i> 属	○		○				
173					アナエビ科	アナエビ科		○	○				
174					スナモグリ科	スナモグリ科	○		○				
175					コシオリエビ科	コシオリエビ属			○	○			
176					カニダマシ科	<i>Enosteoides</i> 属	○						
177					ヤドカリ科	ヤドカリ科			○	○			
178					ホシヤドカリ科	ホシヤドカリ科	○	○		○			
179					カラッパ科	ソデカラッパ		○					
180					コブシガニ科	コブシモドキ属				○			
181				ケアシガニ科	イソクズガニ属				○				
182				ヒシガニ科	ヒシガニ科			○					
183				ケブカガニ科	イボテガニ属		○						
184					ケブカガニ科			○	○				
185				ワタリガニ科	ガザミ属		○	○					
186					ヒメフタバベニツケガニ				○				
187					フタバベニツケガニ属				○				
188					ワタリガニ科			○					
189				オウギガニ科	ヒツメガニ属	○	○		○				
190				オサガニ科	オサガニ属	○	○						
191	箴虫動物門	-	ホウキムシ目	ホウキムシ科	<i>Phoronis</i> 属	○		○	○				
192	半索動物門	ギボシムシ綱	-	-	ギボシムシ綱			○					
193	棘皮動物門	クモヒトデ綱	-	-	クモヒトデ綱			○					
194		ウニ綱	サンショウウニ目	サンショウウニ科	サンショウウニ科		○	○	○				
195			タコノマクラ目	マメウニ科	マメウニ科				○				
196	脊索動物門	ホヤ綱	マメボヤ目	ウスボヤ科	ウスボヤ科	○							
197			マボヤ目	シロボヤ科	シロボヤ科	○							
198				フクロボヤ科	フクロボヤ科	○							
総計種数						78	113	50	77	78	7	13	

(3) 潮間帯生物調査（定量的調査）

1) 調査結果の概要

目視観察における地形・底質の状況と主な出現種の出現状況を図-2.5.2.4 に、刈り取り、堆積物採取の調査結果の概要を表-2.5.2.6 に示します。

底生動物の移動先近傍である L-潮 4 は大浦湾西側に位置し、調査測線は陸側に急傾斜の岩盤があり、それ以降は巨礫からなる比較的平坦な地形でした。

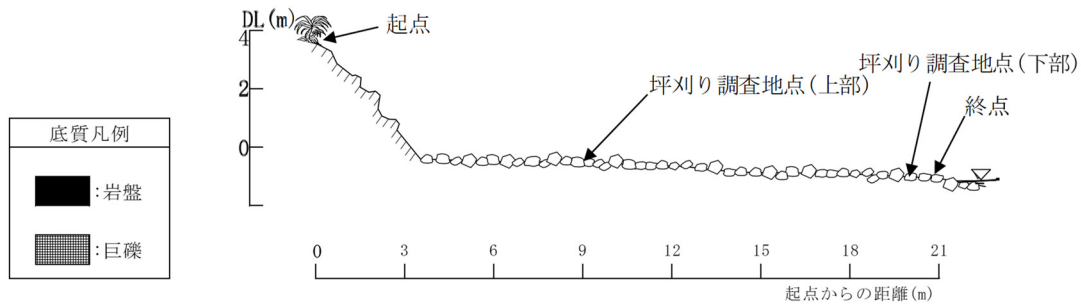
目視観察では、令和 4 年度春季から冬季にかけて、急斜面の岩盤の部分には生物はほとんどみられず、平坦な地形の部分には、植物では藍藻綱やサビ亜科（無節サンゴモ類）などが、動物ではアマオブネガイやイソカニダマシなどがみられました。

刈り取り、堆積物採取調査では、出現種類数においては、植物は 10～18 種類、動物は 29～45 種類でした。平均出現種類数においては、植物は 6～11 種類、動物は 15～24 種類でした。平均湿重量においては、植物は 0.64～2.55g/0.09m²、動物は 14.73～35.73g/0.09m² でした。平均個体数においては、動物は 65～118 個体/0.09 m² でした。

主な出現種としては、植物ではユレモ科、ハイテングサなどが、動物ではアマオブネガイ、ミナミタテホシムシなどがみられました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-2.5.2.3 潮間帯生物調査の調査地点



主な底質

調査期日	分類	和名	0	3	6	9	12	15	18	21
令和4年度春季	植物	藍藻綱								
		サビ亜科(無節サンゴモ類)								
		ハイテングサ								
	動物	アマオブネガイ								
		イソカニダマシ								
		ミナミカニダマシ								
令和4年度夏季	植物	藍藻綱								
		サビ亜科(無節サンゴモ類)								
		ハイテングサ								
	動物	アマオブネガイ								
		イソカニダマシ								
		ミナミカニダマシ								
令和4年度台風後	植物	藍藻綱								
		サビ亜科(無節サンゴモ類)								
		ハイテングサ								
	動物	オキナワイシダタミ								
		アマオブネガイ								
		イソカニダマシ								
令和4年度秋季	植物	ユレモ科								
		藍藻綱								
		サビ亜科(無節サンゴモ類)								
	動物	オキナワイシダタミ								
		アマオブネガイ								
		イソカニダマシ								
令和4年度冬季	植物	藍藻綱								
		アオサ属								
		サビ亜科(無節サンゴモ類)								
	動物	オキナワイシダタミ								
		アマオブネガイ								
		イソカニダマシ								

凡例	
—	:1-5個体, 5%未満
- -	:6-10個体, 5-24%
- - -	:11-20個体, 25-49%
■	:21-100個体, 50-74%
■	:101個体以上, 75%以上

- 注) 1. 植物の主な出現種は、複数の地点で確認された種のうち、出現頻度の高い上位3種を選定し図示しました。なお、重複種が出た場合は、出現被度の高い種を選定しました。
2. 動物の主な出現種は、出現頻度の高い上位3種を選定し図示しました。なお、重複種が出た場合は、出現個体数の多い種を選定しました。
3. 植物は被度で、動物は個体数で示しました。

図-2.5.2.4 潮間帯生物調査 目視観察 地形・底質の状況と主な出現種の出現状況 (L-潮4)

表-2.5.2.6 潮間帯生物調査 刈り取り、堆積物採取 結果概要

調査年度		令和4年度				
項目	調査時期	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
		令和4年5月16日	令和4年7月12日	令和4年9月9日	令和4年11月8日	令和5年2月9日
植物	出現種類数	18	14	10	12	17
	平均出現種類数	11 (6 ~ 16)	8 (1 ~ 14)	6 (1 ~ 10)	8 (3 ~ 12)	9 (2 ~ 15)
	平均湿重量 (g/0.09m ²)	1.42 (0.27 ~ 2.57)	1.36 (0.06 ~ 2.66)	0.64 (0.00 ~ 1.28)	0.88 (0.54 ~ 1.22)	2.55 (1.45 ~ 3.64)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09m ²)	アイミドリ 0.67 (47.2)	ハイテングサ 1.25 (91.9)	ハイテングサ 0.58 (90.6)	藍藻綱 0.40 (45.5)	セイヨウハバノリ 0.99 (38.7)
	()内は 組成比%	ハイテングサ 0.22 (15.1)		ソゾ属 0.05 (7.0)	ユレモ目 0.40 (44.9)	ユレモ科 0.72 (28.3)
		カイノリ 0.22 (15.1)			ハイテングサ 0.07 (7.4)	フクロノリ属 0.29 (11.4)
動物	出現種類数	40	29	30	37	45
	平均出現種類数	21 (11 ~ 31)	15 (5 ~ 25)	16 (7 ~ 24)	23 (18 ~ 27)	24 (8 ~ 39)
	平均個体数 (個体/0.09m ²)	106 (46 ~ 165)	95 (20 ~ 169)	65 (29 ~ 100)	77 (61 ~ 93)	118 (31 ~ 205)
	平均湿重量 (g/0.09m ²)	32.01 (24.54 ~ 39.47)	25.22 (16.20 ~ 34.24)	14.73 (11.30 ~ 18.15)	35.73 (31.88 ~ 39.57)	22.33 (20.64 ~ 24.02)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m ²)	コウダカカラマツ属 18 (16.6)	コウダカカラマツ属 22 (23.3)	<i>Petrolisthes inermis</i> 13 (19.4)	ミナミカニダマシ 14 (17.5)	ミナミタテホシムシ 20 (16.9)
	()内は 組成比%	アマオブネガイ 12 (11.4)	アマオブネガイ 9 (9.5)	ミナミカニダマシ 8 (12.4)	アマオブネガイ 11 (14.3)	ゴカイ科 12 (10.2)
	ウスヒザラガイ科 11 (10.0)	<i>Perinereis</i> 属 9 (9.5)	ミナミタテホシムシ 8 (11.6)	イソギンチャク目 8 (10.4)	イソヨコエビ属 9 (7.6)	
	リュウキュウアオガイ 7 (6.6)	ミナミタテホシムシ 7 (7.4)	アマオブネガイ 5 (7.0)	リュウキュウアオガイ 5 (6.5)	オニノツノガイ科 9 (7.2)	
	ヒメケハダヒザラガイ 7 (6.2)	ウスヒザラガイ科 7 (6.9)	クマドリゴカイ 5 (7.0)	ミナミタテホシムシ 5 (6.5)	ムカデガイ科 6 (5.1)	
		<i>Petrolisthes inermis</i> 7 (6.9)			コウダカカラマツ属 6 (5.1)	

- 注) 1. 表中の平均は、測線に設けた2枠の平均値を示します。また、平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均(最小値~最大値)を示します。
2. 主な出現種には、植物は平均湿重量、動物は平均個体数の組成比で5%以上の上位5種を示します。

2) 出現種

目視観察及び刈り取り、堆積物採取における潮間帯生物の出現種リストを表-2.5.2.7に示します。

種まで同定されなかったものも含めて、植物は38種類が記録され、このうち紅色植物門(15種類)が最も多くみられました。動物は152種類が記録され、軟体動物門(81種類)が最も多く、次いで節足動物門(49種類)が多くみられました。

表-2.5.2.7(1) 潮間帯生物調査 総出現種リスト (植物)

No.	門	綱	目	科	種名	坪刈り、堆積物採取 令和4年度					目視観察 令和4年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
1	藍色植物門	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	イワソメアイモ	○			○	○										
2					ヒゲモ属															
3			ユレモ目	ユレモ科	ユレモ科															
4				スチゴネマ科	アイミドリ	○	○													
5				-	ユレモ目															
6				-	藍藻綱															
7	紅色植物門	紅藻綱	ウミノウメン目	コナハダ科	コナハダ属															
8				ウミノウメン科	スルハダ属															
9			サンゴモ目	ハバリデウム科	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	○	○													
10				テングサ目	テングサ科	ヒメテングサ	○													
11			ベニマダラ目	ベニマダラ科	ベニマダラ	ベニマダラ	○	○												
12					イソモッカ科	イソダンツウ	○	○												
13					スギノリ科	カイノリ	○	○												
14					イバラノリ科	イバラノリ属														
15			イワノカワ科	イワノカワ科	イワノカワ科	イワノカワ科	○	○												
16					イギス目	イギス科	トゲイギス	○	○											
17			フジマツモ科	フジマツモ科	マクリ															
18					ヒメゴケ属															
19					ソノ属															
20					フジマツモ科															
21					フジマツモ科															
22					不等毛植物門	褐藻綱	イソガワラ目	イソガワラ科	イソガワラ科	○	○									
23							クロガシラ目	クロガシラ科	クロガシラ属											
24			アミジグサ目	アミジグサ科			ハイオオギ													
25							ウミウチワ属の1種													
26			カヤモノリ目	カヤモノリ科			ウミウチワ属													
27							フクロノリ													
28	フクロノリ属																			
29	セイヨウハバノリ																			
30			セイヨウハバノリ属																	
31	緑色植物門	緑藻綱	アオサ目	ヒトエグサ科			ヒトエグサ	○												
32				アオサ科	アオノリ属	○	○													
33			シオグサ目	シオグサ科	アオサ属															
34					シオグサ属															
35					オオネダシグサ															
36					オオネダシグサ															
37			ミドリゲ目	マガタマモ科	ミドリゲ															
38			ハネモ目	ハネモ科	ハネモ属															
38	カサノリ目	ダジクラズ科	ミスタマ																	
総計種類数						18	14	10	12	17	16	18	17	17	19	1	0			

表-2.5.2.7(2) 潮間帯生物調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	採り、堆積物採取 令和4年度					目視観察 令和4年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
1	刺胞動物門	花虫綱	イソギンチャク目	-	イソギンチャク目												
2	扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目	-	ヒラムシ目												
3	軟体動物門	多板綱	クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	ウスヒザラガイ科	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
4				ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ科	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
5		腹足綱	カサガイ目	ヨメガカサ科	ヨメガカサ科												
6				ユキノカサガイ科	ユキノカサガイ科												
7				リュウキュウノアシ	リュウキュウノアシ												
8				リュウキュウアマガイ	リュウキュウアマガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
9				コガモガサ	コガモガサ												
10				Lottia属	Lottia属	○											
11				クサイロアマガイ	クサイロアマガイ												
12		古腹足目	ニシキウス科	クルマチグサ	クルマチグサ												
13				オキナワイシダタミ	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
14				ハナダタミ	ハナダタミ												
15				ヒメアワビ	ヒメアワビ												
16				ウスヒメアワビ	ウスヒメアワビ	○	○										
17		アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	コシダカアマガイ	コシダカアマガイ												
18				キバアマガイ	キバアマガイ												
19				マルアマオブネ	マルアマオブネ	○											
20				オオアマガイ	オオアマガイ												
21				アマオブネガイ	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			●
22				マキミゾアマオブネ	マキミゾアマオブネ												
23				リュウキュウアマガイ	リュウキュウアマガイ												
24				ニシキアマオブネ	ニシキアマオブネ												
25				スリツキアマガイ	スリツキアマガイ												
26		新生腹足目	オニツノガイ科	ウミニナカニモリ	ウミニナカニモリ												
27				オオシマカニモリ	オオシマカニモリ												
28				オニツノガイ科	オニツノガイ科	○		○		○							
29			ゴマフニナ科	ゴマフニナ	ゴマフニナ												
30			タマキビ科	コビトウラウスガイ	コビトウラウスガイ												
31				ホソスジウズラタマキビ	ホソスジウズラタマキビ												
32				タイワンタマキビ	タイワンタマキビ												
33				イボタマキビ	イボタマキビ												
34			リソツボ科	オガサワラリソツボ	オガサワラリソツボ												
35			ホソスジショウジガイ科	ホソスジショウジガイ	ホソスジショウジガイ												
36			クビキレガイ科	クビキレガイ科	クビキレガイ科												
37			ハナゴウナ科	ハナゴウナ科	ハナゴウナ科												
38			ムカデガイ科	ムカデガイ科	ムカデガイ科												
39			タカラガイ科	ナツメモドキ	ナツメモドキ												
40				ナツメダカラ	ナツメダカラ												
41				ハナビラダカラ	ハナビラダカラ	○											
42				キイロダカラ	キイロダカラ												
43				タカラガイ科	タカラガイ科												
44			タマガイ科	タマガイ科	タマガイ科												
45			ムシロガイ科	アツムシロ	アツムシロ												
46			エソバイ科	ノシガイ	ノシガイ												
47				シマベッコウバイ	シマベッコウバイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
48				エソバイ科	エソバイ科	○											
49			アッキガイ科	ウネレイシダマン	ウネレイシダマン												
50				レイシダマン	レイシダマン	○											
51				ウネシロレイシダマン	ウネシロレイシダマン												
52				テツレイシ	テツレイシ												
53				ウネレイシダマン	ウネレイシダマン												
54				アッキガイ科	アッキガイ科	○											
55			イモガイ科	マダライモ	マダライモ	○	○										
56			裸側目	-	裸側目												
57		真後鰓目	ブドウガイ科	ブドウガイ科	ブドウガイ科												
58			ミドリガイ科	ミドリガイ科	ミドリガイ科												
59		汎有肺目	カラマツガイ科	コウダカカラマツガイ	コウダカカラマツガイ												
60				カラマツガイ	カラマツガイ												
61				コウダカカラマツ属	コウダカカラマツ属	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
62				イソアワモチ科	イソアワモチ科												
63		二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	フネガイ科												
64				エガイ	エガイ	○											
65				カリガネガイ	カリガネガイ												
66				フネガイ科	フネガイ科												
67			イガイ目	イガイ科	イガイ科	○											●
68				Brachidontes属	Brachidontes属	○											●
69				スジタマエガイ	スジタマエガイ												
70				インコタマエガイ類似種	インコタマエガイ類似種	○											
71				タマエガイ属	タマエガイ属												
72				イガイ科	イガイ科												
73			ウグイスガイ目	マクガイ科	マクガイ科												
74				ヘリトリアオリ	ヘリトリアオリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
75				シロアオリ	シロアオリ												
76				カイシアオリ	カイシアオリ												
77				マクガイ科	マクガイ科	○											
78			イタボガキ目	イタボガキ科	イタボガキ科												
79			マルスダレガイ目	シロスジナデシコ	シロスジナデシコ												
80				ブンブクヤドリガイ科	ブンブクヤドリガイ科												
81				ツクエガイ科	ツクエガイ科												
82				マルスダレガイ科	マルスダレガイ科												
83			オオノガイ目	ニオガイ科	ニオガイ科												
84	環形動物門	ゴカイ綱	サンバゴカイ目	ウロコムシ科	フサウスウロコムシ	○											
85				Lepidonotus属	Lepidonotus属												
86				ウロコムシ科	ウロコムシ科												
87				シリシ科	シリシ科	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
88				ゴカイ科	クマドリゴカイ												
89				Perinereis属	Perinereis属	○	○										
90				ゴカイ科	ゴカイ科												
91			イソメ目	イソメ科	シボリイソメ												
92			オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	Armandia属												
93			ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科												
94				ヤッコカンザシゴカイ科	ヤッコカンザシゴカイ科												
95				-	ゴカイ綱												
96	星口動物門	スジホシムシ綱	フクロホシムシ目	スジホシムシ科	スジホシムシ科												●
97			サメハダホシムシ目	サメハダホシムシ科	イトクズホシムシ属	○											●
98					シロスジホシムシ												
99				タテホシムシ科	ミナミタテホシムシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
100	節足動物門	アゴアシ綱	無柄目	イワフジツボ科	リトウイワフジツボ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

表-2.5.2.7(3) 潮間帯生物調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	種名	採り、堆積物採取 令和4年度					目視観察 令和4年度				重要な種	移動対象種						
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季			冬季					
101	節足動物門	アゴアシ綱	無柄目	イワフジツボ科	イワフジツボ科																	
102				クロフジツボ科	ミナミクロフジツボ																	
103				フジツボ科	シロスジフジツボ																	
104				軟甲綱	ヨコエビ目	ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ属		○			○										
105						ユンボソコエビ科	ドロソコエビ属		○													
106						ユンボソコエビ科	ユンボソコエビ科															
107						モクスヨコエビ科	モクスヨコエビ属		○				○									
108						カマギリヨコエビ科	ホソヨコエビ属						○									
109						スナナリヨコエビ科	イソヨコエビ属							○								
110						メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ属		○	○												
111						ハマトビムシ科	ハマトビムシ科								○					○		
112																○				○		
113		ワラジムシ目	ウミクワガタ科			ウミクワガタ科			○				○									
114			コツムシ科			シリケンウミセミ属		○														
115			フナムシ科			リュウキュウフナムシ														○		
116		タナイス目	タナイス科			タナイス科							○									
117			ホソメタナイス科			ホソメタナイス科		○					○									
118		エビ目	テッポウエビ科			テッポウエビ属																
119			テッポウエビ科			テッポウエビ科								○								
120			カナダマシ科	カナダマシ科	カナダマシ科		○					○					○					
121				カナダマシ科	カナダマシ科		○					○					○					
122				カナダマシ科	カナダマシ科		○					○					○					
123			カナダマシ科	<i>Petrolisthes inermis</i>		○	○	○														
124				カナダマシ科	カナダマシ科		○															
125			オカヤドカリ科	ナキオカヤドカリ								○					○		●			
126			ヤドカリ科	ツマキヨコバサミ		○	○	○				○					○					
127				マダラヨコバサミ								○					○					
128			ツノヤドカリ科	ツノヤドカリ科													○					
129			ホンヤドカリ科	ホンヤドカリ科													○					
130			イワオウギガニ科	イワオウギガニ科								○					○					
131			イソオウギガニ科	セビロオウギガニ		○	○					○					○					
132			イソオウギガニ科	イソオウギガニ													○					
133			ヤワラガニ科	ヤワラガニ科	ヤワラガニ科												○					
134				ヤワラガニ科	<i>Aniptumus vietnamicus</i>												○					
135				ヤワラガニ科	トラノオガニ		○															
136		ケブカガニ科	ケブカガニ科	ケブカガニ科												○						
137			ケブカガニ科	ケブカガニ科													○					
138		ワタリガニ科	ミナミベニツケガニ													○						
139		オウギガニ科	オウギガニ科	オウギガニ科		○					○					○						
140			オウギガニ科	オウギガニ科		○																
141			オウギガニ科	ムツハオウギガニ			○															
142			オウギガニ科	オウギガニ科				○									○					
143		イワガニ科	イワガニ科	イワガニ科												○						
144			イワガニ科	イワガニ科												○						
145			イワガニ科	イワガニ科								○				○						
146		モクスガニ科	オキナワヒライソガニ												○			●				
147		オサガニ科	ヒメカクオサガニ															●				
148		昆虫綱	ハエ目	ユスリカ科	ユスリカ科		○											●				
149	棘皮動物門	クモヒトデ綱	クモヒトデ目	フサクモヒトデ科	ウデフリクモヒトデ						○				○							
150	ウニ綱	ホンウニ目	ナガウニ科	ナガウニ属											○							
151	ナマコ綱	無足目	クルマナマコ科	クルマナマコ科							○				○							
152	脊索動物門	ホヤ綱	マボヤ目	マボヤ科	マボヤ科						○											
総計種類数						40	29	30	37	45	62	57	58	60	53	6	7					

(4) 干潟生物分布調査（定量的調査）

干潟域の底生動物の移動をしていないため、令和4年度は干潟生物分布調査を実施していません。

(5) 浮遊生物調査（定量的調査）

1) 調査結果の概要

調査結果の概要を表-2.5.2.8に示します。

各調査時期における出現種類数は、植物プランクトンは56～93種類、動物プランクトンは21～45種類、平均出現種類数は、植物プランクトンは32～61種類、動物プランクトンは11～19種類、植物プランクトンの平均細胞数は2,618～677,678細胞/L、動物プランクトンの平均個体数は1,467～15,012個体/m³でした。

主な出現種は、植物プランクトンでは *Heterocapsa* spp.、Peridinales などが、動物プランクトンでは *Oithona* spp. (copepodite)、Copepoda (nauplius) などがみられました。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-2.5.2.5 浮遊生物調査の調査地点

表-2.5.2.8 浮遊生物調査 結果概要

調査年度		令和4年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
項目		令和4年5月10, 12日	令和4年7月6, 7日	令和4年9月20, 21日	令和4年10月26, 27日	令和5年1月25, 26日	
植物 プランク トン	調査地点数	4	4	4	4	4	
	出現種類数	70	93	56	58	58	
	平均出現種類数	37 (31 ~ 47)	61 (54 ~ 67)	37 (32 ~ 42)	35 (28 ~ 41)	32 (24 ~ 40)	
	平均細胞数 (細胞/L)	11,790 (7,420 ~ 18,170)	677,678 (90,720 ~ 1,522,890)	9,660 (4,910 ~ 16,930)	2,618 (1,690 ~ 4,090)	5,390 (1,320 ~ 7,830)	
	主な出現種の平均細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	<i>Heterocapsa</i> spp.	3,175 (26.9)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 600,225 (88.6)	Haptophyceae 2,675 (27.7)	unidentified flagellates 425 (16.2)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,138 (21.1)
		unidentified flagellates	2,215 (18.8)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 37,850 (5.6)	Peridinales 1,705 (17.7)	<i>Heterocapsa</i> spp. 255 (9.7)	unidentified flagellates 950 (17.6)
		Prasinophyceae	2,008 (17.0)		Gymnodiniales 1,200 (12.4)	Gymnodiniales 243 (9.3)	Euglenophyceae 940 (17.4)
		Cryptophyceae	1,775 (15.1)		<i>Heterocapsa</i> spp. 943 (9.8)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 188 (7.2)	Cryptophyceae 438 (8.1)
					unidentified flagellates 543 (5.6)	Peridinales 150 (5.7)	Peridinales 400 (7.4)
	動物 プランク トン	出現種類数	21	29	40	45	39
平均出現種類数		11 (8 ~ 15)	15 (10 ~ 24)	18 (14 ~ 26)	19 (17 ~ 21)	19 (9 ~ 28)	
平均個体数 (個体/m ³)		2,657 (920 ~ 4,008)	15,012 (1,238 ~ 38,600)	4,032 (919 ~ 10,312)	3,302 (400 ~ 6,471)	1,467 (1,240 ~ 1,787)	
主な出現種の平均個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%		Copepoda (nauplius)	732 (27.5)	Copepoda (nauplius) 5,157 (34.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,748 (43.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,278 (38.7)	Copepoda (nauplius) 500 (34.1)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	677 (25.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,544 (23.6)	<i>Oithona simplex</i> 485 (12.0)	<i>Oithona simplex</i> 809 (24.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 237 (16.2)
	<i>Oithona dissimilis</i>	534 (20.1)	<i>Oithona simplex</i> 1,237 (8.2)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 396 (9.8)	Copepoda (nauplius) 357 (10.8)	Paracalanidae (copepodite) 123 (8.4)	
	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	142 (5.3)	<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 800 (5.3)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 273 (6.8)	<i>Oithona aruensis</i> 168 (5.1)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 78 (5.3)	
	<i>Oithona simplex</i>	139 (5.2)		Copepoda (nauplius) 254 (6.3)			

注) 1. 平均出現種類数及び平均細胞数には、調査地点平均（最小値～最大値）を示します。
 2. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示します。

2) 出現種

総出現種リストを表-2.5.2.9に示します。

出現した植物プランクトンは、種まで同定されなかったものも含め、142種類でした。このうち不等毛植物門（73種類）が最も多く、次いで渦鞭毛植物門（51種類）が多くみられました。

出現した動物プランクトンは、種まで同定されなかったものも含め、77種類でした。節足動物門が63種類と総出現種の大半を占め、節足動物門の中では甲殻（橈脚）綱が58種類と大半を占めていました。

表-2.5.2.9(1) 浮遊生物調査 総出現種リスト (植物プランクトン)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度								
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季				
1	藍色植物門	藍藻綱	クロオコックス目	ミクロキステイス科	<i>Merismopedia</i> sp.	○	○							
2			ユレモ目	ユレモ科	<i>Lyngbya</i> sp.				○					
3						Oscillatoriaceae		○	○	○				
4						ナガレクダモ科	<i>Trichodesmium</i> spp.	○	○	○	○	○		
5				ネンジュモ目	ネンジュモ科	<i>Aphanizomenon</i> sp.				○				
6						Nostocaceae		○	○					
7	クリプト植物門	クリプト藻綱	—	—	Cryptophyceae	○	○	○	○	○				
8	渦鞭毛植物門	渦鞭毛藻綱	プロロケントルム目	プロロケントルム科	<i>Prorocentrum balticum</i>	○	○	○	○	○				
9						<i>Prorocentrum compressum</i>	○							
10						<i>Prorocentrum dentatum</i>	○		○		○			
11						<i>Prorocentrum emarginatum</i>		○		○				
12						<i>Prorocentrum gracile</i>		○						
13						<i>Prorocentrum lima</i>		○						
14						<i>Prorocentrum mexicanum</i>	○	○	○	○	○			
15						<i>Prorocentrum micans</i>				○				
16						<i>Prorocentrum minimum</i>	○		○	○	○			
17						<i>Prorocentrum triestinum</i>	○	○	○	○	○			
18						<i>Prorocentrum</i> spp.		○			○			
19					ディノフィシス目	ディノフィシス科	<i>Dinophysis rudgei</i>		○					
20							<i>Dinophysis</i> sp.			○				
21							<i>Ornithocercus</i> sp.					○		
22					ギムノディニウム目	ギムノディニウム科	<i>Akashiwo sanguinea</i>	○	○					
23							<i>Amphidinium</i> spp.	○	○	○	○	○		
24							<i>Gymnodinium</i> spp.	○	○	○	○	○		
25							<i>Gyrodinium instriatum</i>	○	○			○		
26							<i>Gyrodinium</i> spp.	○	○	○	○	○		
27							<i>Karenia papilionacea</i>					○		
28							<i>Torodinium teredo</i>		○					
29							<i>Torodinium</i> spp.	○			○	○		
30						ワルノヴィア科	<i>Warnovia</i> spp.	○						
31						—	Gymnodiniales	○	○	○	○	○		
32					ノクティルカ目	ノクティルカ科	<i>Pronoctiluca spinifera</i>		○			○		
33					ゴニオラックス目	ケラチウム科	<i>Ceratium belone</i>		○					
34							<i>Ceratium furca</i>	○	○					
35							<i>Ceratium kofoidii</i>			○				
36							<i>Ceratium lineatum</i>			○				
37							<i>Ceratium pentagonum</i>			○				
38							<i>Ceratium teres</i>					○		
39							<i>Ceratium tripos</i>		○					
40						ゴニオラックス科	<i>Alexandrium</i> spp.		○			○		
41							<i>Gonyaulax verior</i>	○	○					
42							<i>Gonyaulax</i> spp.	○	○					
43							Gonyaulacaceae		○					
44						オストレオプシス科	<i>Ostreopsis</i> spp.	○		○	○			
45						オキシトキサム科	<i>Oxytoxum tessellatum</i>					○		
46							<i>Oxytoxum</i> spp.	○	○	○	○	○		
47						トリアディニウム科	<i>Goniodoma polyedricum</i>		○					
48					ベリディニウム目	カルキオディネラ科	<i>Scrippsiella</i> spp.	○	○	○	○	○		
49						ベリディニウム科	<i>Heterocapsa triquetra</i>					○		
50							<i>Heterocapsa</i> spp.	○	○	○	○	○		
51							<i>Peridinium quinquecorne</i>	○	○	○				
52						ポドラムバス科	<i>Podolampas palmipes</i>		○					
53							<i>Podolampas spinifera</i>		○					
54						プロトベリディニウム科	<i>Oblea</i> sp.					○		
55							<i>Protoperidinium hipes</i>	○	○					
56							<i>Protoperidinium pellucidum</i>		○					
57							<i>Protoperidinium</i> spp.	○	○	○	○	○		
58						—	Peridinales	○	○	○	○	○		
59			不等毛植物門	黄金色藻綱	ディクチオカ目	ディクチオカ科	<i>Dictyocha fibula</i>	○						
60						エブリア科	<i>Ebria tripartita</i>				○			
61					珪藻綱	円心目	タラシオシーラ科	<i>Cyclotella</i> sp.	○					
62									<i>Skeletonema costatum sensu lato</i>		○		○	
63									<i>Thalassiosira</i> spp.	○	○	○	○	○
64									Thalassiosiraceae	○	○	○	○	○
65									メロシーラ科	<i>Leptocylindrus danicus</i>	○	○	○	○
66								<i>Melosira nummuloides</i>		○		○		
67							コスキノディスク科	<i>Coscinodiscus</i> spp.		○	○	○		
68							ヘミディスク科	<i>Actinocyclus</i> sp.	○					
69							アステロラムブラ科	<i>Asteromphalus</i> sp.	○					
70							リゾソレニア科	<i>Rhizosolenia calcar avis</i>		○				
71								<i>Rhizosolenia fragilissima</i>		○		○	○	
72								<i>Rhizosolenia phuketensis</i>					○	
73								<i>Rhizosolenia setigera</i>	○					
74								<i>Rhizosolenia</i> spp.		○				
75				ビドゥルフィア科			<i>Biddulphia</i> sp.			○				

表-2.5.2.9(2) 浮遊生物調査 総出現種リスト (植物プランクトン)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度							
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季			
76	不等毛植物門	珪藻綱	円心目	ピドゥルフィア科	<i>Hemiaulus hauckii</i>		○						
77					<i>Hemiaulus sinensis</i>		○						
78					キートケロス科		<i>Bacteriastrum</i> sp.		○				
79						<i>Chaetoceros compressum</i>		○					
80						<i>Chaetoceros constrictum</i>		○					
81						<i>Chaetoceros curvisetum</i>		○					
82						<i>Chaetoceros debile</i>	○						
83						<i>Chaetoceros diversum</i>		○					
84						<i>Chaetoceros lorenzianum</i>		○					
85						<i>Chaetoceros peruvianum</i>	○						
86						<i>Chaetoceros subtile</i>		○					
87						<i>Chaetoceros</i> spp. (single type)		○			○		
88					<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)		○		○	○			
89					<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○	○		○			
90					キマトシラ科		Cymatosiraceae	○					
91					ユーボディスク科		<i>Odontella mobiliensis</i>	○					
92					羽状目	ディアトーマ科	<i>Asterionella glacialis</i>					○	
93							<i>Bleakeleya notata</i>					○	
94							<i>Climacospheia moniligera</i>	○		○	○		
95				<i>Fragilaria</i> spp.			○	○		○	○		
96				<i>Licmophora</i> spp.			○	○	○	○	○		
97		<i>Lioloma</i> sp.		○									
98		<i>Microtabella interrupta</i>	○	○			○	○					
99		<i>Podocystis</i> sp.							○				
100		<i>Striatella unipunctata</i>							○				
101		<i>Thalassionema nitzschioides</i>		○									
102		<i>Thalassionema</i> spp.	○	○			○						
103		<i>Toxarium undulatum</i>					○	○					
104		<i>Ulnaria</i> spp.	○				○	○					
105		Diatomaceae	○	○			○	○	○				
106		ユーノテア科		<i>Eunotia</i> sp.						○			
107		アクナンテス科		<i>Achnanthes</i> spp.		○	○						
108			<i>Achnantheidium</i> sp.					○	○				
109			<i>Cocconeis</i> sp.					○	○				
110		ナビキュラ科		<i>Amphora</i> spp.		○	○	○	○				
111			<i>Diploneis</i> spp.				○	○	○				
112			<i>Entomoneis</i> spp.	○			○	○					
113			<i>Haslea</i> sp.				○		○				
114			<i>Mastogloia</i> sp.				○						
115			<i>Navicula</i> spp.	○		○	○	○	○				
116			<i>Pleurosigma</i> spp.	○		○	○	○	○				
117			Naviculaceae	○		○	○	○	○				
118		ニッチア科		<i>Bacillaria paxillifer</i>		○		○	○				
119			<i>Cylindrotheca closterium</i>	○		○	○	○	○				
120			<i>Nitzschia longissima</i>	○		○			○				
121			<i>Nitzschia rectilonga</i>	○		○	○	○	○				
122			<i>Nitzschia sigma</i>	○	○			○					
123			<i>Nitzschia</i> sp. (cf. <i>spathulata</i>)				○						
124			<i>Nitzschia</i> sp. (cf. <i>vitrea</i>)			○							
125			<i>Nitzschia</i> spp.	○	○	○	○	○					
126			<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>	○									
127			<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○	○	○	○	○					
128			Nitzschiaceae			○							
129		スリレラ科		<i>Campylodiscus</i> sp.				○					
130			<i>Surirella</i> sp.				○						
131		—		Pennales	○	○	○	○					
132	ハプト植物門	ハプト藻綱	円石藻目	ラブドスファエラ科	<i>Discosphaera tubifer</i>			○					
133				—	ハロパッバス科	<i>Halopappus adriaticus</i>			○				
134		—	—	—	Haptophyceae	○	○	○	○				
135	ユーグレナ植物門	ユーグレナ藻綱	ユーグレナ目	ユーグレナ科	<i>Phacus</i> sp.		○						
136		—	—	—	Euglenophyceae	○	○	○	○				
137	緑色植物門	プラシノ藻綱	—	—	Prasinophyceae	○	○	○	○				
138		緑藻綱	クロロコックム目	セネデスムス科	<i>Coelastrum</i> sp.		○						
139					<i>Scenedesmus</i> sp.		○			○			
140					<i>Tetrastrum</i> sp.		○						
141					ホシミドロ目	ツヅミモ科	<i>Staurastrum</i> sp.		○				
142	不明鞭毛藻類	—	—	—	unidentified flagellates	○	○	○	○				
総計種類数						70	93	56	58	58			

表-2.5.2.9(3) 浮遊生物調査 総出現種リスト (動物プランクトン)

No.	門	綱	目	科	種名	令和4年度				
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季
1	肉質鞭毛虫門	顆粒根足虫綱	有孔虫目	—	Foraminifera				○	
2	刺胞動物門	ヒドロムシ綱	ヒドロムシ目	—	Hydroida		○	○		
3			クダクラゲ目	—	Siphonophora			○		
4	有しつ動物門	有触手綱	フウセンクラゲ目	—	Cydippida	○				
5	軟体動物門	マキガイ綱	—	—	Gastropoda (larva)	○	○	○	○	○
6		ニマイガイ綱	—	—	Bivalvia (umbo larva)	○	○	○	○	○
7	環形動物門	ゴカイ綱	—	—	Polychaeta (larva)	○	○	○	○	○
8	節足動物門	甲殻(橈脚)綱	カラヌス目	アカルチア科	<i>Acartia bispinosa</i>	○			○	○
9					<i>Acartia danae</i>			○		
10					<i>Acartia erythraea</i>	○			○	
11					<i>Acartia fossae</i>	○		○	○	○
12					<i>Acartia negligens</i>		○	○	○	
13					<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○
14				カラヌス科	<i>Cosmocalanus darwini</i>					○
15					<i>Nannocalanus minor</i>			○		
16					Calanidae (copepodite)					○
17				カロカラヌス科	<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)		○			○
18				セントロバジェス科	<i>Centropages orsinii</i>	○			○	○
19				クラウソカラヌス科	<i>Clausocalanus furcatus</i>	○			○	○
20					<i>Clausocalanus minor</i>				○	
21					<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite)			○	○	○
22				エウキータ科	<i>Paraeuchaeta concinna</i>					○
23				バラカラヌス科	<i>Acrocalanus gracilis</i>				○	
24					<i>Acrocalanus longicornis</i>			○		○
25					<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)		○	○	○	
26					<i>Bestiolina similis</i>		○	○	○	
27					<i>Delius nudus</i>				○	○
28					<i>Paracalanus crassirostris</i>	○	○	○	○	
29					<i>Paracalanus denudatus</i>				○	
30					<i>Paracalanus elegans</i>	○		○	○	
31					<i>Paracalanus parvus</i>			○	○	
32					<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○
33					Paracalanidae (copepodite)			○	○	○
34				ボンテラ科	<i>Calanopia elliptica</i>				○	
35					<i>Calanopia</i> spp. (copepodite)				○	
36					<i>Labidocera laevidentata</i>					○
37					<i>Pontella</i> spp. (copepodite)			○		
38					Pontellidae (copepodite)			○	○	
39				トルタヌス科	<i>Tortanus</i> spp. (copepodite)					○
40				—	Calanoida (copepodite)					○
41			キクロプス目	オイトナ科	<i>Oithona aruensis</i>		○	○	○	○
42					<i>Oithona attenuata</i>		○	○	○	○
43					<i>Oithona dissimilis</i>	○	○	○	○	○
44					<i>Oithona nana</i>			○	○	○
45					<i>Oithona oculata</i>	○		○	○	
46					<i>Oithona plumifera</i>			○		
47					<i>Oithona rigida</i>			○		
48					<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○	○
49					<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○
50				—	Cyclopoida (copepodite)					○
51			ハルバクテクス目	エクチノソマ科	<i>Microsetella norvegica</i>			○	○	○
52					<i>Microsetella rosea</i>					○
53					<i>Microsetella</i> spp. (copepodite)		○			
54				—	Harpacticoida		○		○	○
55			ボエキロストム目	コリケウス科	<i>Corycaeus affinis</i>			○		
56					<i>Corycaeus pacificus</i>				○	
57					<i>Corycaeus speciosus</i>				○	
58					<i>Corycaeus</i> spp. (copepodite)			○	○	○
59				オンケア科	<i>Oncaea clevei</i>					○
60					<i>Oncaea media</i>					○
61					<i>Oncaea venusta</i>					○
62					<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)		○		○	○
63				クラウシジウム科	<i>Hemicyclops</i> spp. (copepodite)				○	
64			モンストリラ目	モンストリラ科	Monstrilloidae				○	
65			—	—	Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○
66		甲殻(蔓脚)綱	フジツボ目	—	Cirripedia (nauplius)	○		○	○	○
67		甲殻(軟甲)綱	ワラジムシ目	—	Isopoda		○			○
68			オキアミ目	—	Euphausiacea (calyptopis)		○	○		
69			エビ目	—	Macrura (zoea)		○	○		
70				—	Brachyura (zoea)		○		○	○
71	触手動物門	ホウキムシ綱	—	—	Phoronida (actinotrocha)		○			
72	毛がく動物門	ヤムシ綱	ヤムシ目	ヤムシ科	<i>Sagitta</i> spp.	○				
73					<i>Sagitta</i> spp. (juvenile)		○			
74	きょく皮動物門	クモヒトデ綱	—	—	Ophiuroidea (ophionluteus)		○	○		
75	原索動物門	ホヤ綱	—	—	Ascidacea (tadpole larva)			○		
76		オタマボヤ綱	オタマボヤ目	オタマボヤ科	<i>Oikopleura</i> spp.	○	○	○	○	○
77				サイヅチボヤ科	<i>Fritillaria</i> spp.		○			
総計種類数						21	29	40	45	39

2.6 サンゴ類（全域の状況監視）

2.6.1 サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等

令和4年度夏季及び冬季に実施したサンゴ類の全域の状況監視の結果を図-2.6.1.1に示します。

サンゴ類は、嘉陽海域では主にリーフエッジ付近において5～75%の比較的高い被度で見られました。大浦湾東部では、主に大浦湾口付近からカヌチャ前面にかけてのリーフエッジ付近において5～50%の被度で見られました。中干瀬では主に外洋側の礁斜面において5～75%の比較的高い被度で見られました。豊原から潟原地先にかけての海域では、主にリーフエッジ付近において5～75%の比較的高い被度で見られました。

サンゴ類の白化は夏季、冬季ともに、嘉陽海域、大浦湾東部及び豊原から潟原地先にかけてのリーフエッジ付近において、主に被度5%以上のサンゴ類が確認された地点で確認されました。

サンゴ類の食害は、主に被度5%以上のサンゴ類が確認された地点において確認されました。土砂の堆積（浮泥）はみられませんでした。

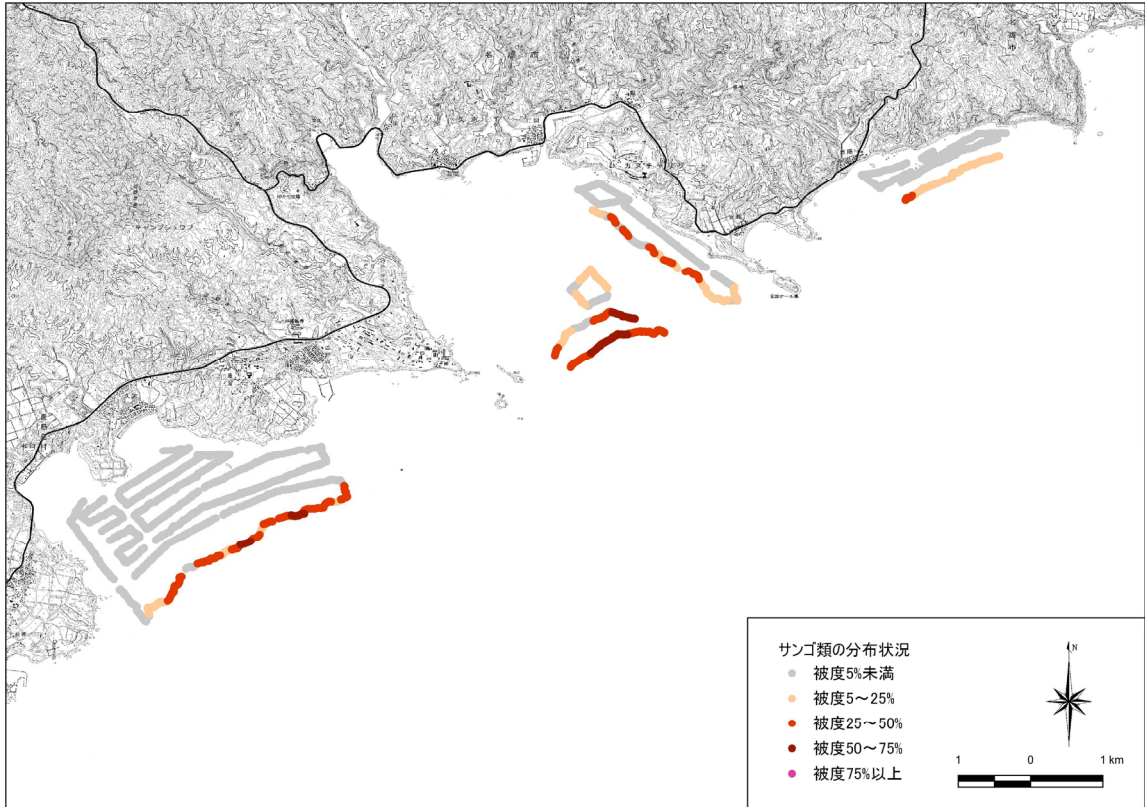


図-2.6.1.1(1) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
(令和4年度夏季 生息被度)

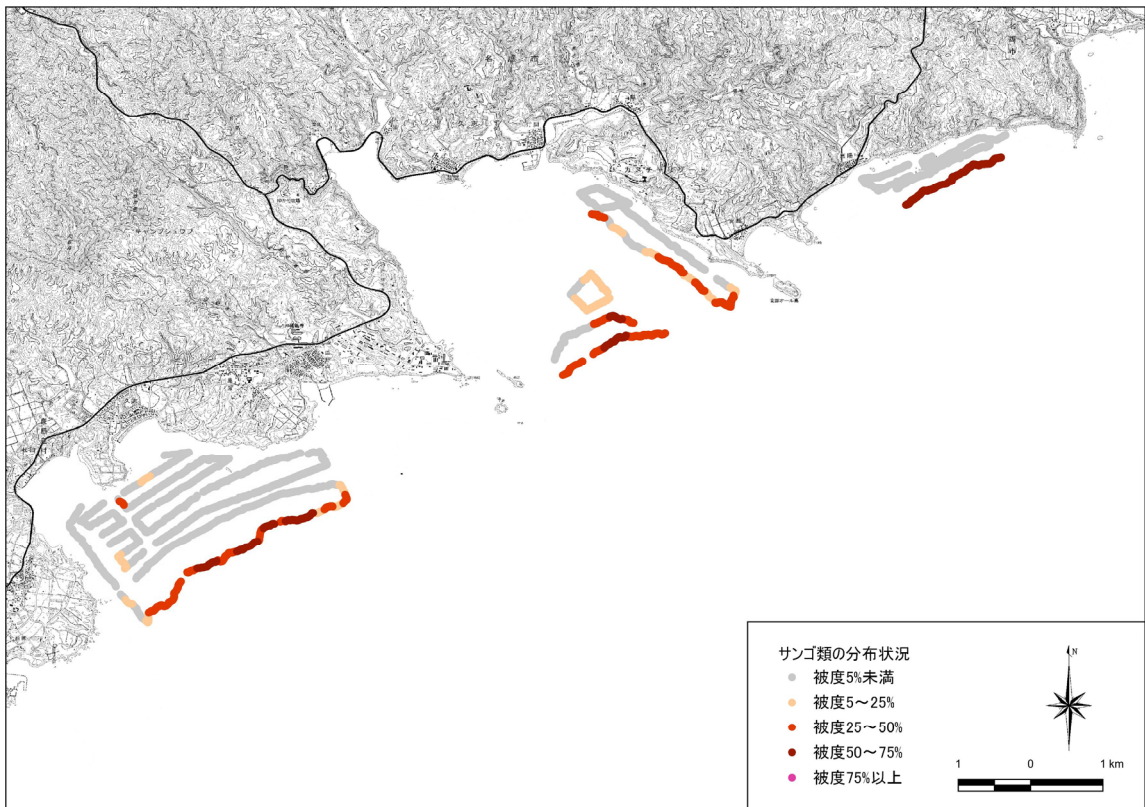


図-2.6.1.1(2) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
(令和4年度冬季 生息被度)

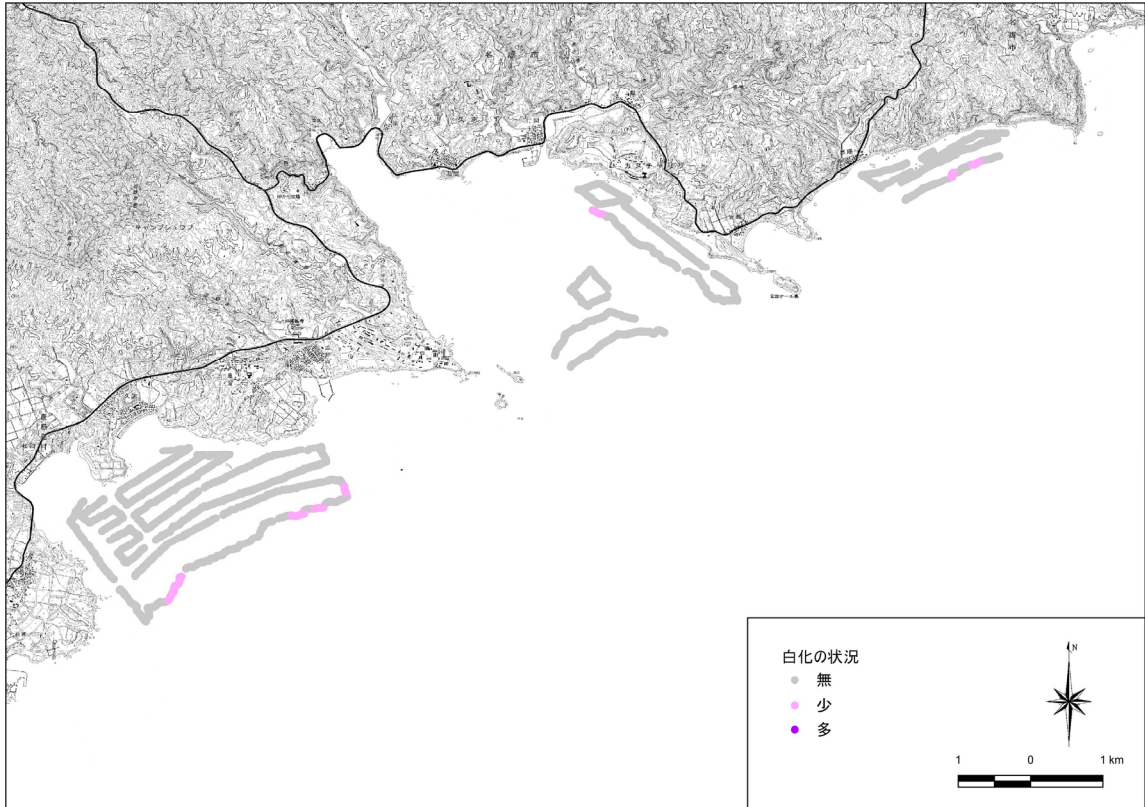


図-2.6.1.1(3) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
(令和4年度夏季 白化の状況)



図-2.6.1.1(4) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
(令和4年度冬季 白化の状況)

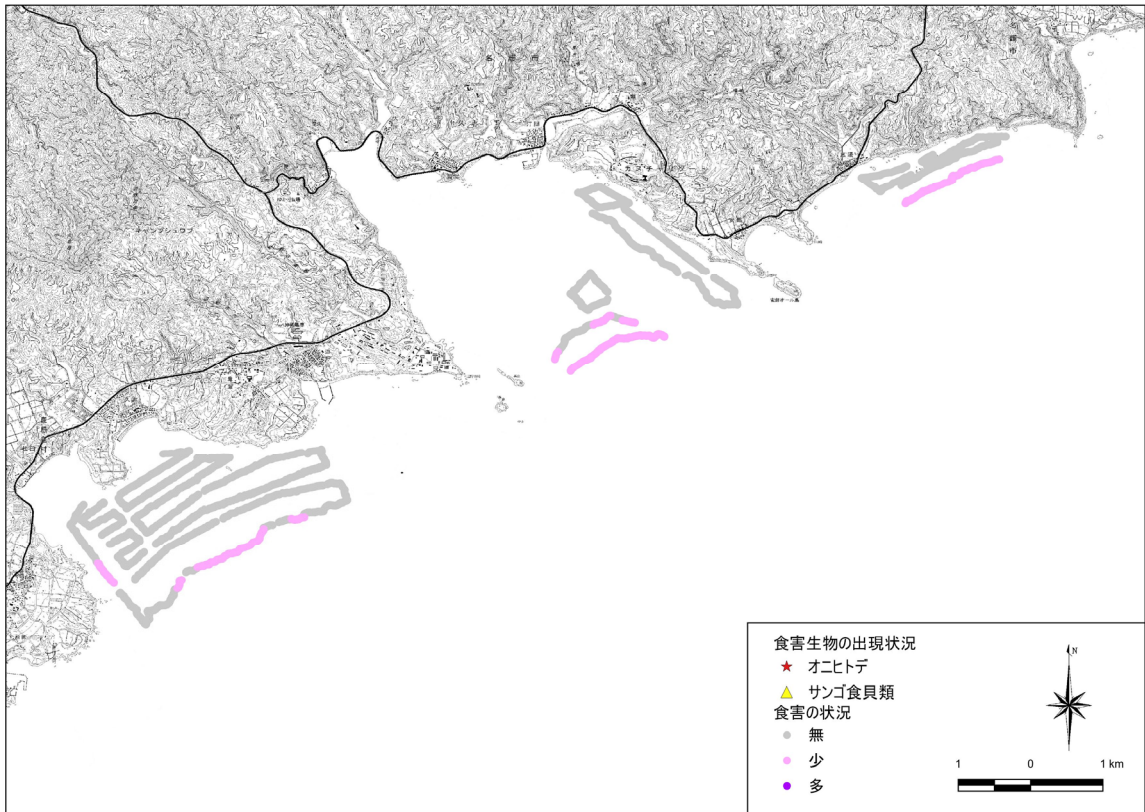


図-2.6.1.1(5) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
 (令和4年度夏季 食害生物の出現状況)

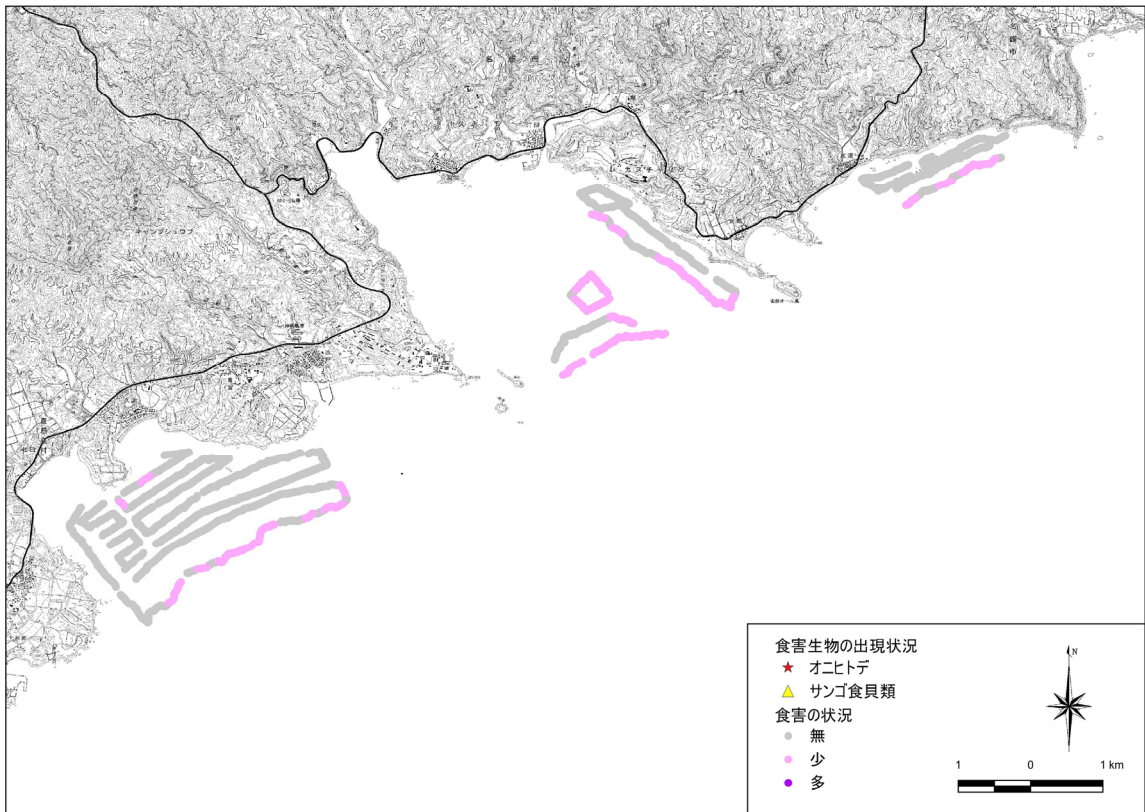


図-2.6.1.1(6) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
 (令和4年度冬季 食害生物の出現状況)

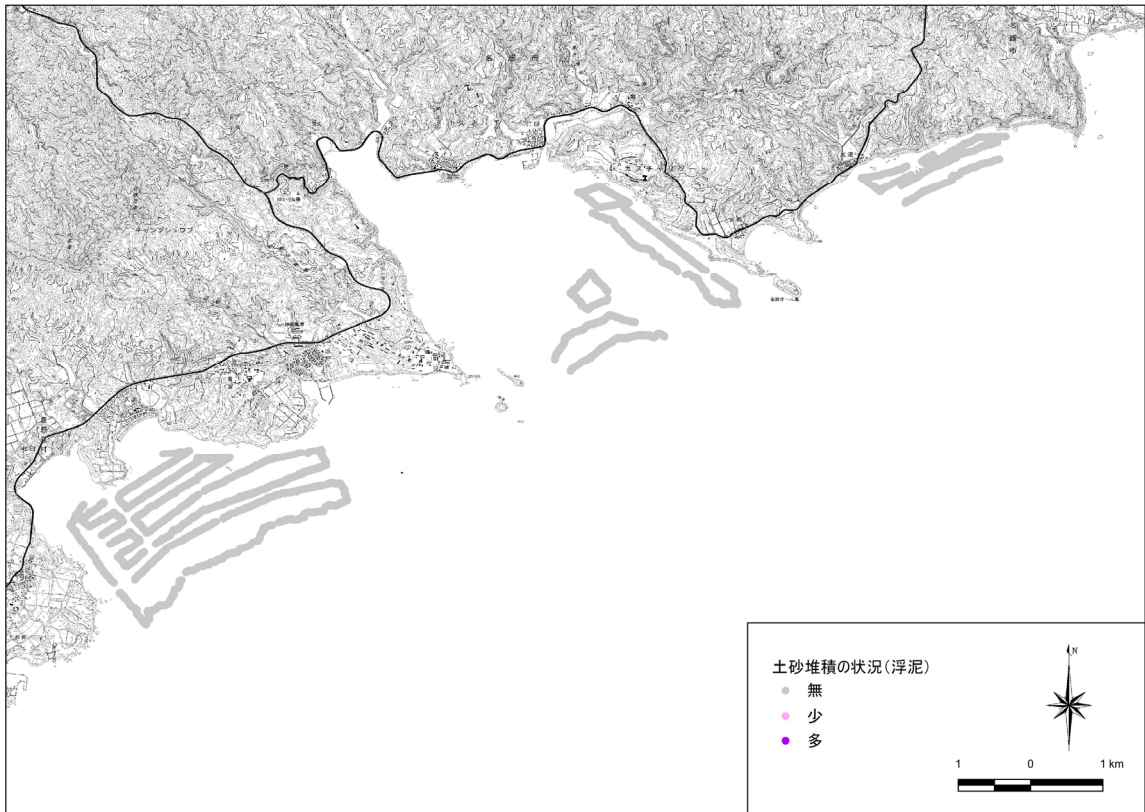


図-2.6.1.1(7) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
(令和4年度夏季 土砂の堆積状況)

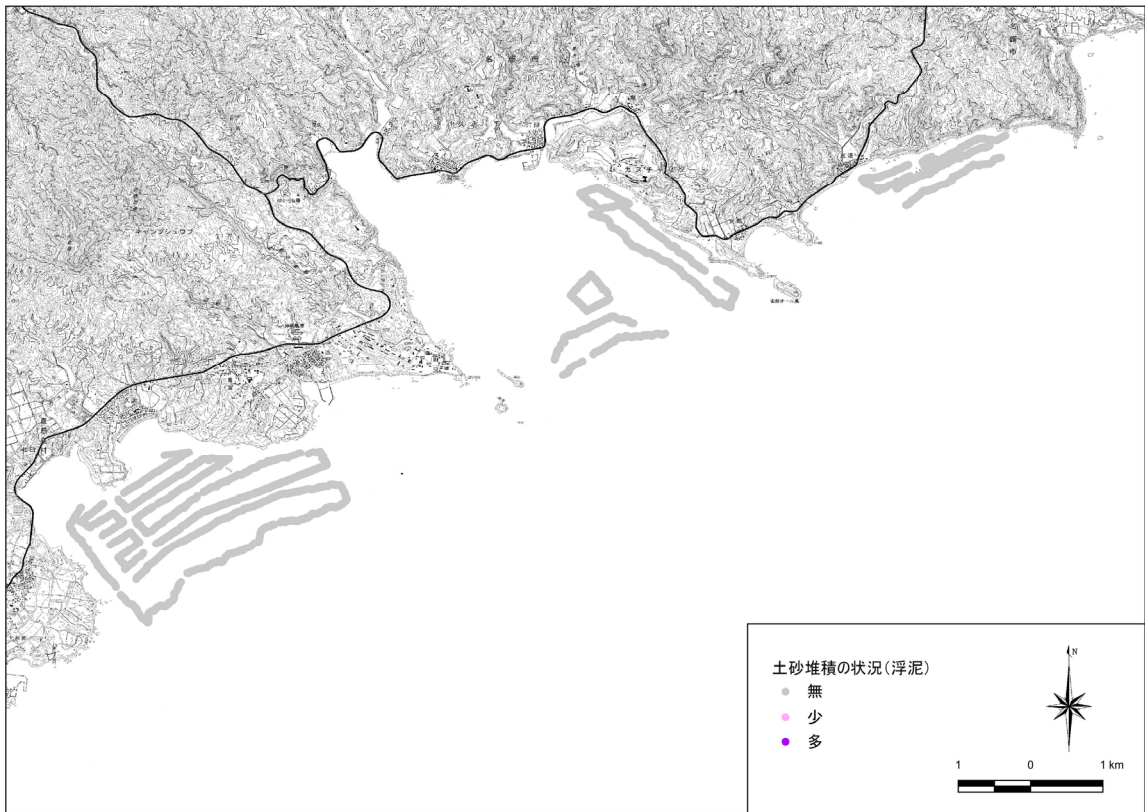


図-2.6.1.1(8) 全域の状況監視におけるサンゴ類の状況
(令和4年度冬季 土砂の堆積状況)

2.7 海藻草類（全域の状況監視）

2.7.1 海藻草類の生育被度、生育状況

令和4年度夏季及び冬季に実施した海藻草類の全域の状況監視の結果を図-2.7.1.1に示します。

海草類は、調査海域西側の久志地先のリーフ内で、夏季には被度5～50%の範囲が、冬季には被度5～25%の範囲が確認されました。調査海域東側の嘉陽地先、大浦湾東側及び大浦湾口部の中干瀬では海草類は確認されたものの、被度5%以上の範囲はみられませんでした。

ホンダワラ類は、嘉陽地先、大浦湾東側、大浦湾口部の中干瀬及び久志地先で、夏季には被度5～50%の範囲が、冬季には被度5～25%の範囲が広く確認されました。

海草類への浮泥の堆積は、久志地先の岸側において、夏季に少量確認されました。

海草類の葉上に付着している藻類は、夏季に久志地先で少量～多量確認されました。

海草類の葉枯は、夏季及び冬季に久志地先で少量確認されました。

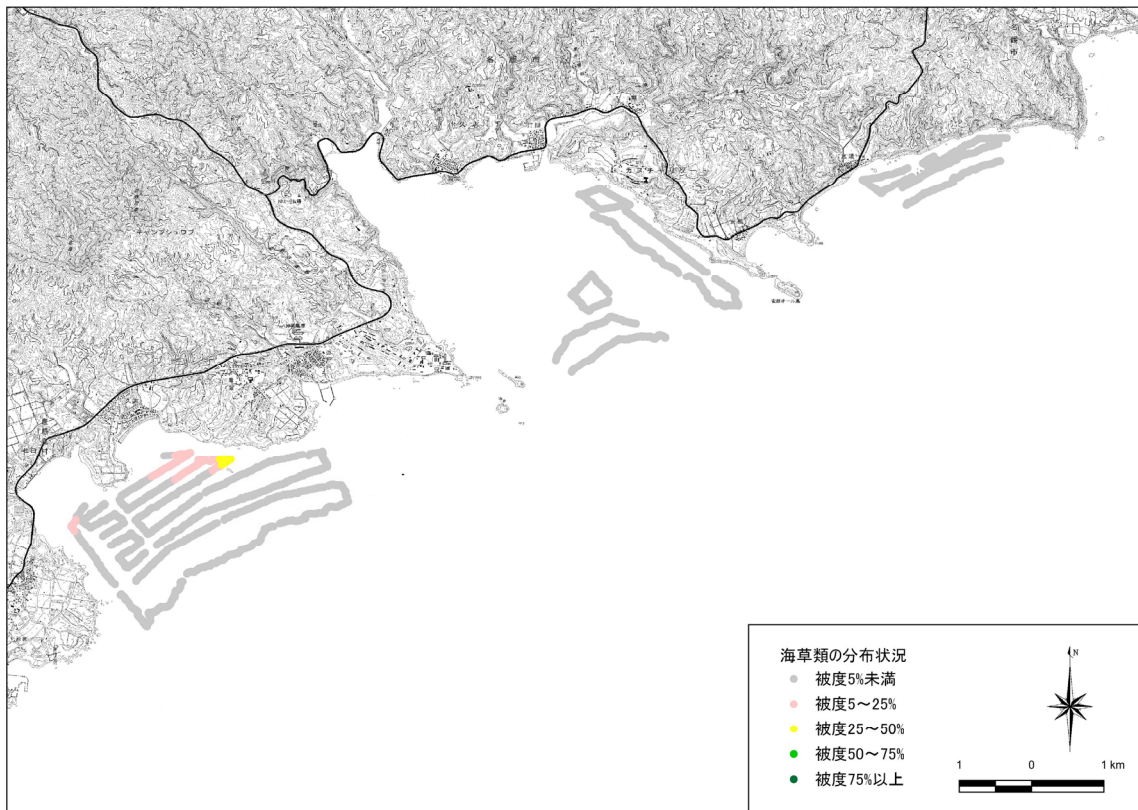


図-2.7.1.1(1) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度夏季 海藻類の生育被度)

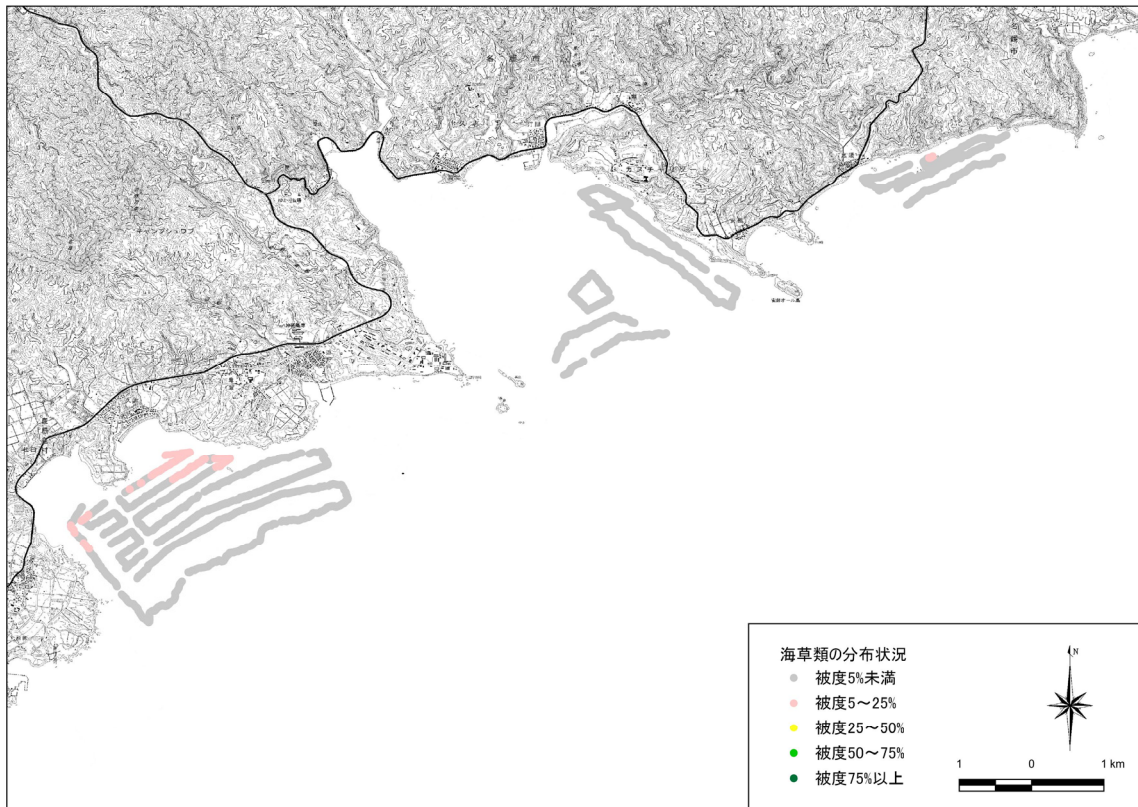


図-2.7.1.1(2) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度冬季 海藻類の生育被度)

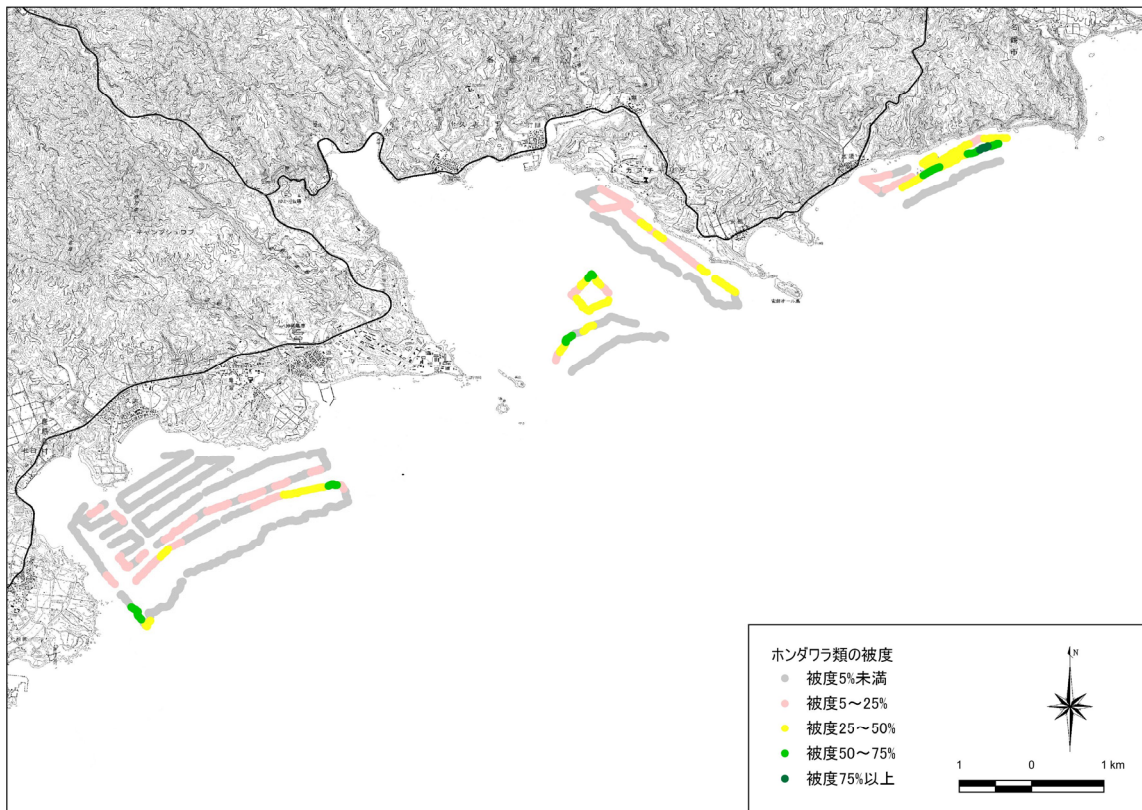


図-2.7.1.1(3) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度夏季 ホンダワラ類の生育被度)

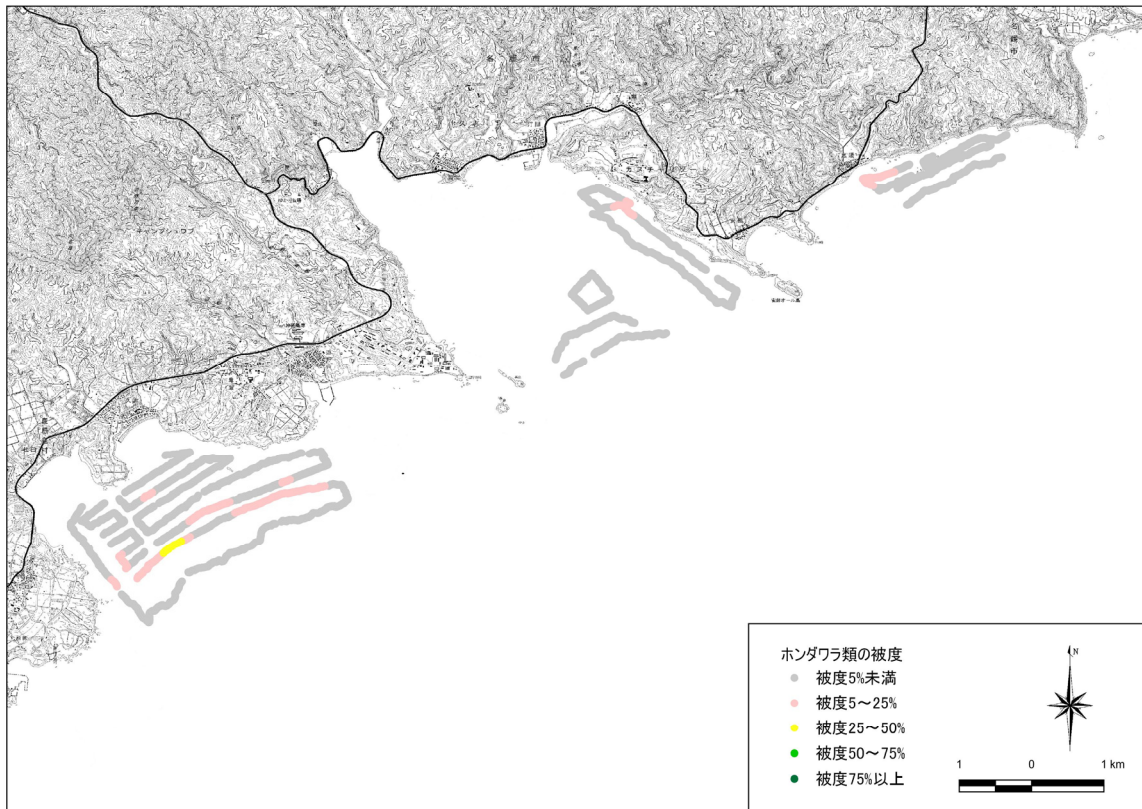


図-2.7.1.1(4) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度冬季 ホンダワラ類の生育被度)

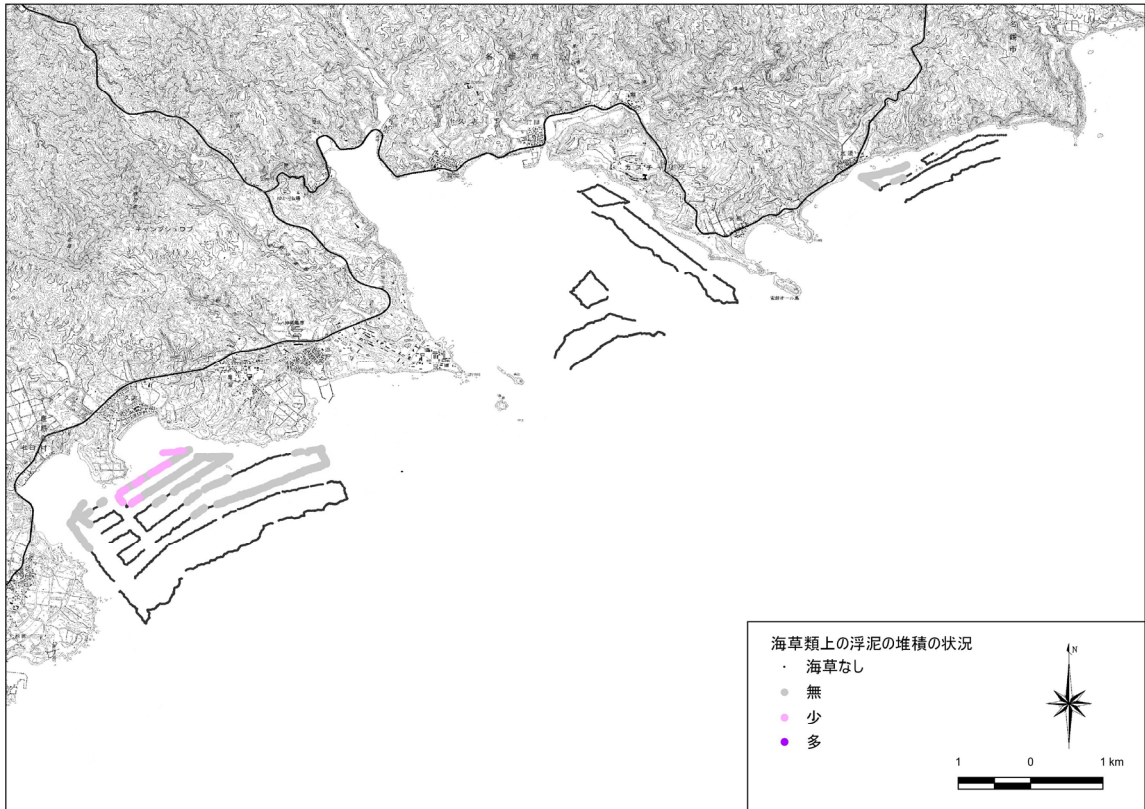


図-2.7.1.1(5) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度夏季 海草類への浮泥の堆積状況)

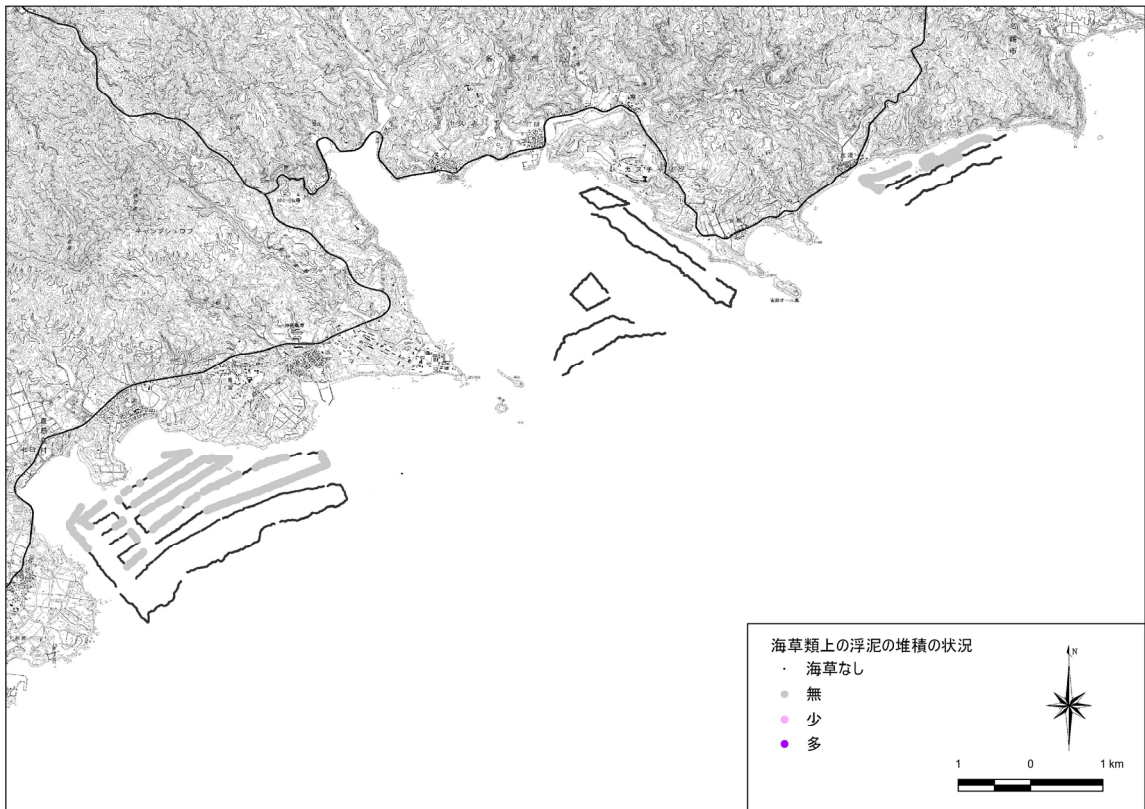


図-2.7.1.1(6) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度冬季 海草類への浮泥の堆積状況)

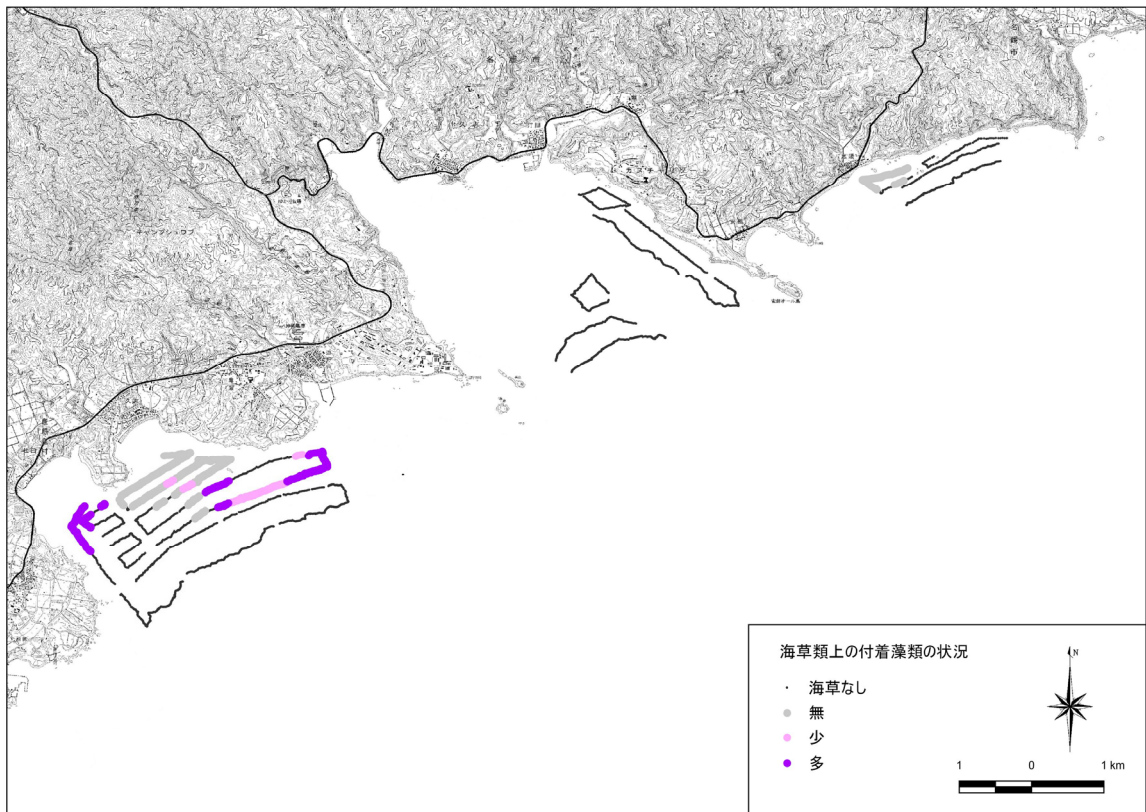


図-2.7.1.1(7) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度夏季 海草類への藻類の付着状況)

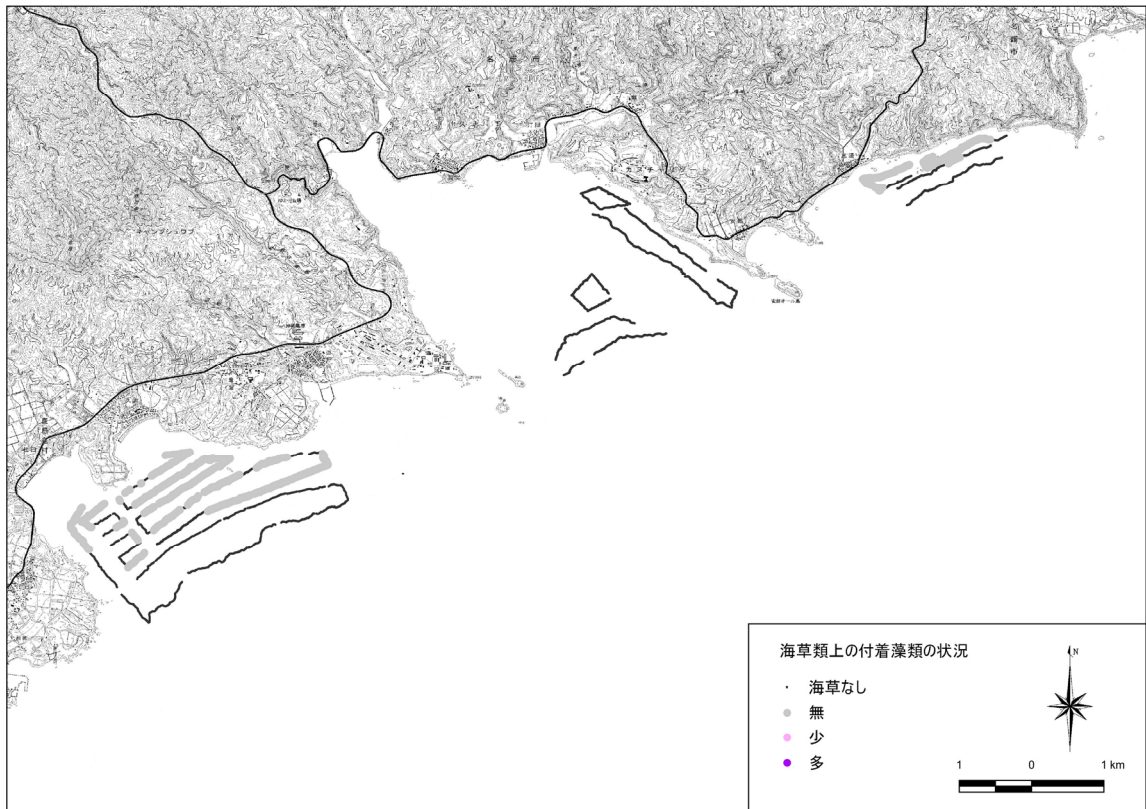


図-2.7.1.1(8) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度冬季 海草類への藻類の付着状況)

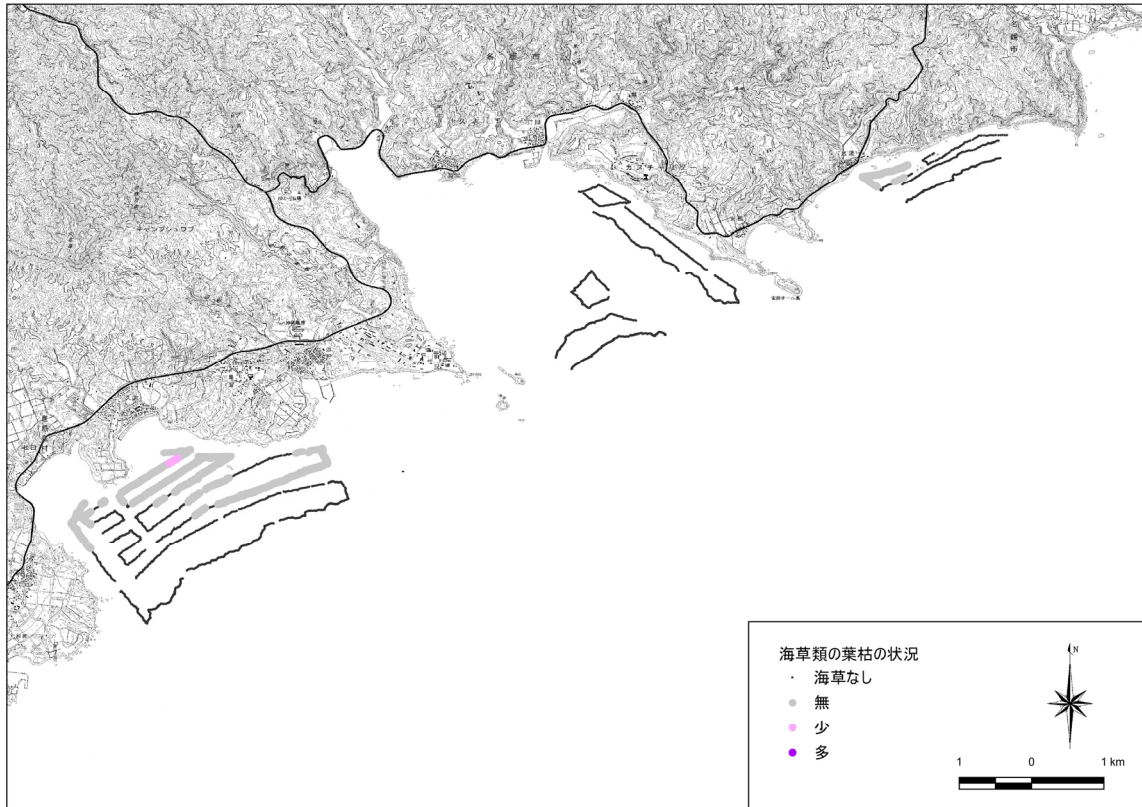


図-2.7.1.1(9) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度夏季 海藻類の葉枯の状況)

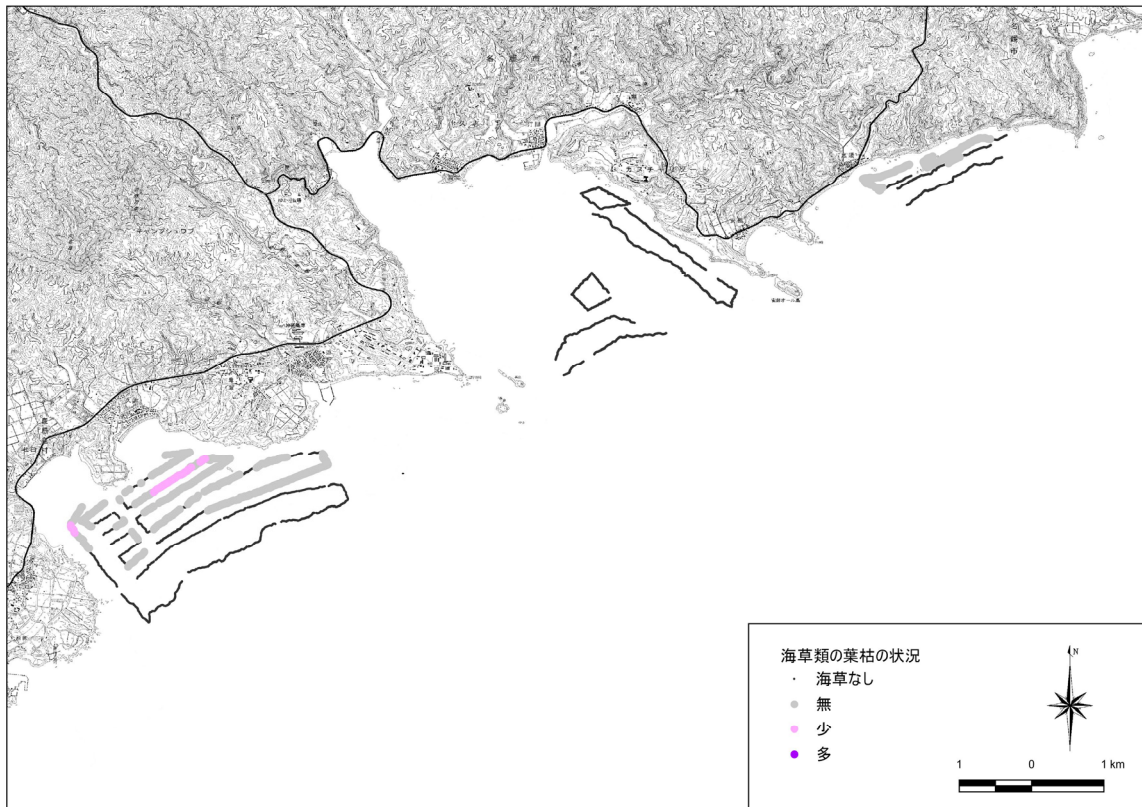


図-2.7.1.1(10) 全域の状況監視における海藻草類の状況
(令和4年度冬季 海藻類の葉枯の状況)

2.7.2 クビレミドロ生育状況等

既往調査でクビレミドロの生育がみられている久志地区において、令和4年4月4、5、18日にクビレミドロの生育状況を調査した結果を図-2.7.2.1に示します。

クビレミドロ群落は、平成24年度以降と同様に本年度も確認されませんでした。

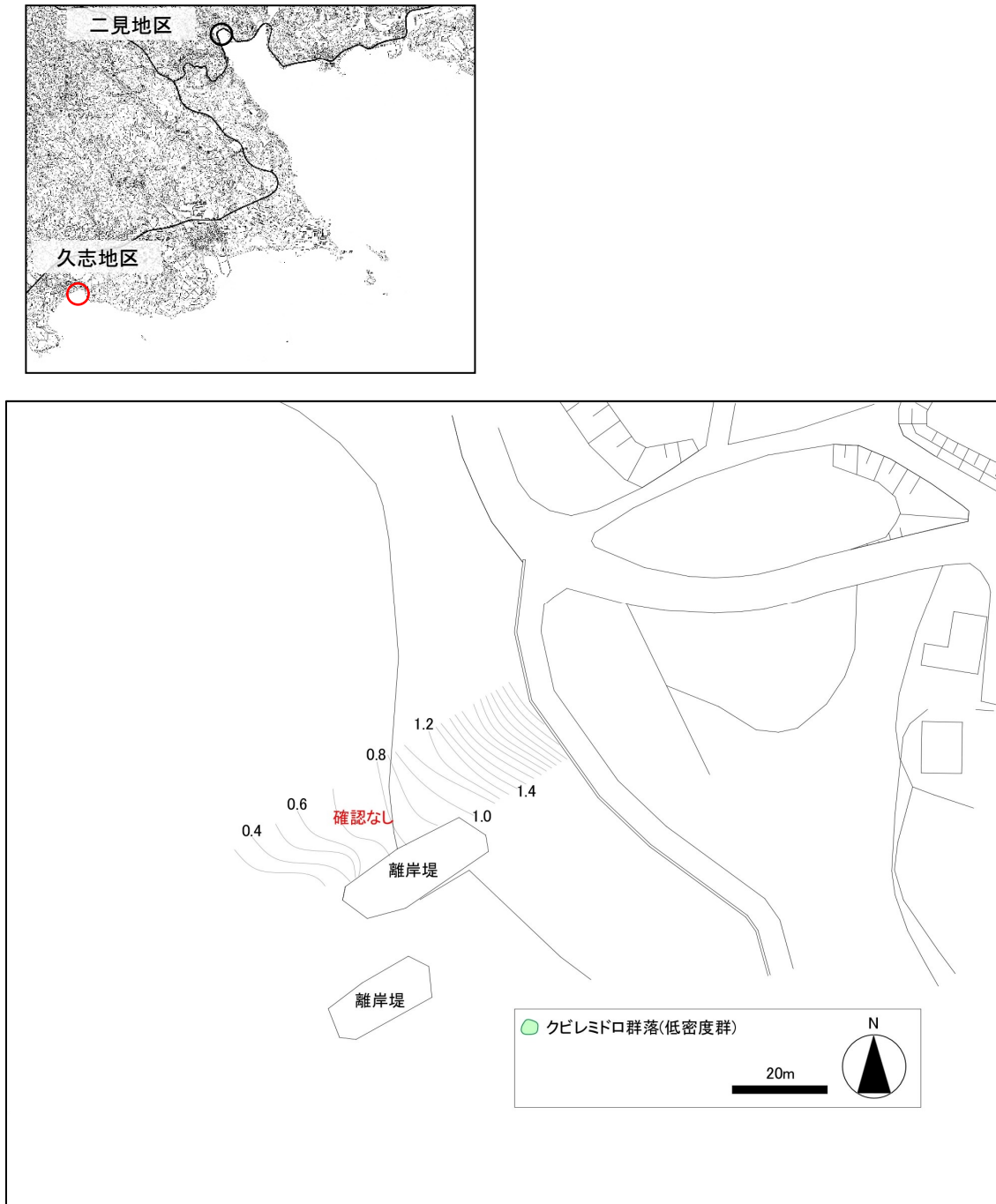


図-2.7.2.1 クビレミドロの分布状況 (久志地区)

第 3 章 環境監視調査結果のまとめ

令和 4 年度に実施した大気質、騒音、振動、低周波音、底生動物等についての環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討を行った結果を以下に示します。

なお、サンゴ類及び海藻草類についての調査結果は、事後調査の結果を解析する際の参考とするものであり、環境監視基準との比較は行わないため、ここでは記載していません。

3.1 大気質

3.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.1.1.1 に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、二酸化窒素(NO₂)の日平均値、二酸化硫黄(SO₂)の日平均値及び1時間値、浮遊粒子状物質(SPM)の日平均値及び1時間値は、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.1.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の評価結果

項目	地点名	区分	環境監視調査の結果				環境監視基準
			工事中				
			令和4年度春季	令和4年度夏季	令和4年度秋季	令和4年度冬季	
二酸化窒素 NO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.002	0.003	0.002	1日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内 又はそれ以下
	AT-2		0.001	0.003	0.001	0.002	
	AT-3		0.002	0.005	0.002	0.002	
	AT-8		0.002	0.002	0.002	0.002	
二酸化硫黄 SO ₂ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が 0.04ppm以下、 かつ 1時間値が 0.1ppm以下
		1時間値	0.001	0.002	0.001	0.001	
	AT-2	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.001	
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.001	
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.000	
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.000	
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.001	
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m ³)	AT-1	日平均値	0.025	0.026	0.026	0.012	1日平均値が 0.10mg/m ³ 以下、 かつ 1時間値が 0.20mg/m ³ 以下
		1時間値	0.038	0.041	0.049	0.024	
	AT-2	日平均値	0.023	0.016	0.023	0.012	
		1時間値	0.031	0.025	0.046	0.037	
	AT-3	日平均値	0.024	0.015	0.021	0.012	
		1時間値	0.040	0.044	0.030	0.027	
	AT-8	日平均値	0.020	0.018	0.019	0.017	
		1時間値	0.039	0.027	0.029	0.044	

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。

2. 表中の日平均値、1時間値は各季の調査期間中における最大値を示します。

3. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」として示しています。

3.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.1.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、二酸化窒素(NO_2)の日平均値、二酸化硫黄(SO_2)の日平均値及び1時間値、浮遊粒子状物質(SPM)の日平均値及び1時間値は、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.1.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の評価結果

項目	地点名	区分	環境監視調査の結果				環境監視基準
			工事中				
			令和4年度春季	令和4年度夏季	令和4年度秋季	令和4年度冬季	
二酸化窒素 NO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.004	0.003	0.002	0.005	1日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内 又はそれ以下
	TN-10		0.005	0.003	0.006	0.007	
	TN-11		0.006	0.003	0.002	0.005	
二酸化硫黄 SO_2 (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が 0.04ppm以下、 かつ 1時間値が 0.1ppm以下
		1時間値	0.001	0.002	0.001	0.001	
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	
		1時間値	0.001	0.002	0.002	0.001	
	TN-11	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.005	
浮遊粒子状物質 SPM (mg/m^3)	TN-5	日平均値	0.015	0.027	0.018	0.017	1日平均値が 0.10 mg/m^3 以下、 かつ 1時間値が 0.20 mg/m^3 以下
		1時間値	0.037	0.051	0.044	0.049	
	TN-10	日平均値	0.018	0.022	0.021	0.018	
		1時間値	0.040	0.049	0.037	0.047	
	TN-11	日平均値	0.017	0.021	0.023	0.022	
		1時間値	0.025	0.041	0.037	0.045	

- 注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
 2. 表中の日平均値、1時間値は各季の調査期間中における最大値を示します。
 3. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

3.2 騒音

3.2.1 道路交通騒音

道路交通騒音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.2.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（70dB以下）を下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.2.1.1 道路交通騒音の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L _{Aeq})				環境監視基準
		工事中				
		令和4年度春季	令和4年度夏季	令和4年度秋季	令和4年度冬季	
TN-5	昼間	64	66	65	65	70dB以下
TN-10		65	65	65	66	
TN-11		65	65	64	65	

- 注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の沿道を示します。
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。
 3. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）における等価騒音レベルを示します。

3.2.2 建設作業騒音

建設作業騒音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.2.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（85dB以下）を下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.2.2.1 建設作業騒音の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L ₅)				環境監視基準
		工事中				
		令和4年度春季	令和4年度夏季	令和4年度秋季	令和4年度冬季	
EN-10	昼間	50	57	66	56	85dB以下
EN-13		62	60	68	61	

- 注) 1. 地点名のEN-10は国立沖縄工業高等専門学校、EN-13は辺野古集落を示します。
 2. 環境監視基準は騒音規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」としています。
 3. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）において、それぞれの時間での測定値のうち、騒音レベルの90%レンジ上端値の最大値を示します。

3.3 振動

3.3.1 道路交通振動

道路交通振動の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.3.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（60dB 又は 65dB 以下）を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.3.1.1 道路交通振動の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L ₁₀)				環境監視基準
		工事中				
		令和4年度春季	令和4年度夏季	令和4年度秋季	令和4年度冬季	
TV-5	昼間	<30	<30	<30	<30	60dB以下
TV-10		33	36	35	34	65dB以下
TV-11		38	40	38	39	

- 注) 1. 地点名のTV-5は国立沖縄工業高等専門学校、TV-10は世富慶集落、TV-11は松田集落の沿道を示します。
 2. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区域相当値としています。
 4. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における振動レベルの80%レンジ上端値の最大値を示します。

3.3.2 建設作業振動

建設作業振動の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.3.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において環境監視基準（75dB 以下）を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.3.2.1 建設作業振動の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L ₁₀)				環境監視基準
		工事中				
		令和4年度春季	令和4年度夏季	令和4年度秋季	令和4年度冬季	
EV-10	昼間	<30	<30	<30	<30	75dB以下
EV-13		<30	<30	<30	<30	

- 注) 1. 地点名のEV-10は国立沖縄工業高等専門学校、EV-13は辺野古集落を示します。
 2. 30dB未満は「<30」と表示しています。
 3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」です。
 4. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）において、それぞれの時間での測定値のうち、振動レベルの80%レンジ上端値の最大値を示します。

3.4 低周波音

3.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.4.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.4.1.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の評価結果

単位：dB

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル											
			1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz		
LF-10	環境監視調査の結果	工事中	R4年度春季	48.0	46.9	46.2	46.3	44.9	47.5	46.3	44.7	47.4	45.5	
			R4年度夏季	44.5	43.0	41.2	40.0	38.2	38.6	38.8	39.0	40.0	40.5	
			R4年度秋季	50.6	47.9	45.7	44.5	43.8	43.7	43.8	43.8	43.3	43.4	
			R4年度冬季	56.6	53.1	51.4	50.8	50.0	49.4	49.0	48.1	47.6	47.1	
LF-13		環境監視調査の結果	工事中	R4年度春季	58.0	56.2	54.8	54.1	51.1	52.3	51.4	49.9	49.4	47.8
				R4年度夏季	67.9	64.7	61.3	59.1	56.1	54.7	51.3	48.0	45.9	44.4
				R4年度秋季	58.6	57.2	55.7	54.0	52.4	50.3	48.2	46.2	44.9	44.8
				R4年度冬季	69.8	66.3	62.9	60.0	57.5	54.8	52.8	51.3	49.9	48.4
環境監視基準			心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	
			物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル											
			10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz		
LF-10	環境監視調査の結果	工事中	R4年度春季	44.4	45.6	46.7	49.2	50.5	53.3	52.3	52.5	52.9	51.3	
			R4年度夏季	42.8	43.6	44.6	46.3	49.2	50.7	52.6	59.4	54.6	49.6	
			R4年度秋季	43.6	44.4	45.3	47.7	49.6	53.5	54.2	52.3	53.1	51.6	
			R4年度冬季	47.1	47.2	47.7	49.9	49.8	50.2	50.7	50.7	50.8	51.3	
LF-13		環境監視調査の結果	工事中	R4年度春季	46.5	47.3	48.8	52.4	54.1	64.4	58.1	56.9	59.9	57.2
				R4年度夏季	46.3	47.3	47.9	49.7	52.4	65.8	60.0	57.3	59.2	56.2
				R4年度秋季	43.4	45.4	46.3	48.6	51.6	64.0	56.3	58.5	59.7	57.4
				R4年度冬季	47.4	47.9	49.2	50.5	52.6	63.6	57.8	58.3	58.0	55.6
環境監視基準			心理的	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84	
			物的	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-	

- 注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間ごとの測定値のエネルギー平均値です。
 2. LF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。
 3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、物的影響に係る閾値としています。

3.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.4.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.4.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の評価結果

単位：dB

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル										
			1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	
TN-5	環境監視調査の結果	工事中	R4年度春季	69.0	65.1	60.0	53.6	47.2	43.0	41.8	41.7	44.7	43.8
			R4年度夏季	67.4	63.8	58.7	52.5	46.1	42.4	41.7	43.3	46.0	46.1
			R4年度秋季	68.2	64.7	59.9	53.7	48.0	44.7	43.4	42.8	43.0	44.3
			R4年度冬季	69.7	66.2	61.2	55.4	51.3	50.7	53.9	54.1	49.1	47.4
TN-10			R4年度春季	60.3	55.6	50.4	47.5	44.8	44.0	44.9	44.2	47.8	49.6
			R4年度夏季	64.6	60.3	55.3	50.9	47.8	45.9	45.9	44.8	47.1	49.8
			R4年度秋季	63.4	59.0	54.3	50.8	48.3	46.7	46.6	46.1	48.6	49.7
			R4年度冬季	67.2	63.5	58.9	55.7	54.9	52.1	53.5	53.7	59.9	50.9
TN-11			R4年度春季	58.2	53.5	49.7	47.3	45.5	44.2	42.8	42.3	43.0	44.1
			R4年度夏季	57.0	51.8	47.5	44.8	43.5	42.3	41.8	42.0	43.9	44.1
			R4年度秋季	65.0	62.1	59.6	58.3	55.5	54.4	52.4	50.0	47.2	45.8
			R4年度冬季	63.4	60.0	56.8	54.6	52.9	51.3	49.4	48.1	46.1	45.1
環境監視基準		心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	
		物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル										
			10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz	
TN-5	環境監視調査の結果	工事中	R4年度春季	46.0	49.3	51.6	54.4	55.6	57.2	59.7	61.8	62.7	59.5
			R4年度夏季	46.8	50.9	52.5	53.8	55.1	57.6	59.6	61.6	60.7	59.2
			R4年度秋季	46.7	50.4	52.9	54.7	56.7	59.0	60.5	62.8	63.1	60.2
			R4年度冬季	48.6	50.4	51.6	54.8	55.7	58.3	60.3	61.4	60.3	58.5
TN-10			R4年度春季	50.7	54.6	56.4	57.5	61.6	59.6	59.8	61.9	61.5	60.4
			R4年度夏季	50.8	55.6	56.0	56.6	58.8	59.7	61.8	63.1	61.6	62.9
			R4年度秋季	51.4	56.1	56.6	58.3	59.6	59.2	60.0	61.9	64.8	62.1
			R4年度冬季	51.8	54.2	55.0	57.1	60.3	60.7	61.9	62.7	61.3	61.0
TN-11			R4年度春季	45.8	50.5	52.3	57.4	60.8	59.4	62.6	64.9	65.2	64.3
			R4年度夏季	44.8	49.2	51.9	55.4	56.1	58.3	61.6	64.4	66.2	64.1
			R4年度秋季	45.9	50.3	54.3	56.5	59.1	60.9	62.1	65.1	67.1	64.0
			R4年度冬季	45.8	50.8	52.7	58.2	58.6	59.7	63.6	65.4	64.8	64.3
環境監視基準		心理的	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84	
		物的	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-	

注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間ごとの測定値のエネルギー平均値です。
 2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。
 3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、物的影響に係る閾値としています。

3.5 底生動物等（移動後の状況監視）

底生動物等（移動後の状況監視）の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果を以下に示します。なお環境監視基準としては、マーキングした固着性の底生動物及びウミボスについて、個体数や生育状況に顕著な減少が確認された場合、及び底生動物相、海藻草類相、浮遊生物相において、種類数や個体数等を過年度調査結果の変動幅と比較し、顕著な減少が確認された場合に大きな変化が生じていると判断することとしています。また、令和4年度までに実施した追跡調査の移動先と調査地点は図-1.2.5.1に、重要な種の移動先と生物相調査の調査地点は巻末資料に示します。

3.5.1 追跡調査

移植したウミボスの追跡調査の結果の概要を、表-3.5.1.1に示します。

平成29年度の移植では、平成30年3月28日に前原～久志地先にて1個体を移植しました。このとき、移植先の岩及びその周辺で、ウミボスの生育は確認されませんでした。その後、移植1年後である平成31年3月30日に実施した追跡調査では周辺部にウミボスが確認されたことから、移植個体が発生に寄与したと推察されました。

令和4年度の繁茂期の追跡調査では、令和4年4月13日（令和4年繁茂期③）、5月18日（令和4年繁茂期④）、令和5年2月15日（令和5年繁茂期①）及び3月17日（令和5年繁茂期②）に追跡調査を実施したところ、移植先周辺において全ての調査時期にウミボスが確認されました。

令和元年度から令和4年度にかけて、大浦湾西部にて計477個体（令和元～2年度：95個体、令和2～3年度：37個体、令和3～4年度：345個体）を移植したところ、いずれも、移植直後、移植1ヶ月後及び繁茂期の追跡調査においてウミボスが確認されました。

令和4年度の繁茂期の追跡調査では、令和4年4月12日（令和4年繁茂期③）、5月16日（令和4年繁茂期④）、令和5年2月16日（令和5年繁茂期①）及び3月16日（令和5年繁茂期②）に追跡調査を実施したところ、全ての調査時期で移植先周辺においてウミボスが確認されました。

以上のことから、いずれの移植先においてもウミボスの生育が継続して確認されています。今後も追跡調査を継続して、生育状況の推移を確認していきます。

表-3.5.1.1 移植したウミボスの追跡調査結果の概要

移植先（移植時期）		平成30年												平成31年				令和元年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
前原～久志地先（平成29年度移植分）				■	○	■	■						■							■			■	■					
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）																												
	（令和2～3年度移植分）																												
	（令和3～4年度移植分）																												
	（令和4～5年度移植分）																												

移植先		令和2年												令和3年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先（平成29年度移植分）			■		■				■				■				■	○	○	○					
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）			■	○	○		■			■				■	○	○	○	○						
	（令和2～3年度移植分）																■	○	○		■			■	
	（令和3～4年度移植分）																								
	（令和4～5年度移植分）																								

移植先		令和4年												令和5年				
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
前原～久志地先（平成29年度移植分）			○	○	○	○											○	○
大浦湾西部	（令和元～2年度移植分）		○	○	○	○											○	○
	（令和2～3年度移植分）		○	○	○	○											○	○
	（令和3～4年度移植分）			■	○	○		■				■						
	（令和4～5年度移植分）																	■

注) 1. 表中の凡例は以下のとおり。

■：移植実施、■：追跡調査実施、○：ウミボスを確認

2. 令和5年3月に計37個体の移植を実施していますが、令和4年度中には追跡調査を実施していません。

3. ウミボス移植後2年目以降の追跡調査については、ウミボスの生活史を考慮し、令和2年度より調査時期をウミボスの繁茂期を含む2月から5月まで毎月1回に変更しています。

3.5.2 生物相調査

(1) インベントリー調査（定性的調査）

インベントリー調査で対象としている海藻類、海草類及び底生動物について、全地点を調査季別に整理した経年の出現種数を表-3.5.2.1 に示します。また、各地点の生息生育環境の変化について検討するために、各種レッドデータブック等において生息生育環境の情報が多く整理されており、生物相の中でも出現傾向による環境変化を推定することが可能と考えられる「重要な種」に着目し、整理を行いました。調査回ごとの重要な種の出現種数を図-3.5.2.2 に、地点別の各年度の出現種数、重要な種の種数及び重要な種の出現状況を表-3.5.2.3 に示します。なお、これらの表及び図では、平成 19 年度夏季から平成 26 年度春季の出現種数は、令和 4 年度に調査を実施した 25 地点において出現した種類を集計対象としました。また、平成 29 年度春季から平成 30 年度春季における調査地点は少ないため、これらの時期の出現種数は参考として掲載しています。

工事中の令和 4 年度春季から冬季における海藻類、海草類及び底生動物の出現種数は、いずれの調査時期においても工事前における変動の範囲内であり、大きな変化はみられませんでした。また、各地点の環境の変化をみるために地点別の各年度で出現する重要な種を比較した結果、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられませんでした。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-3.5.2.1 インベントリー調査の調査地点

1) 各地点における経年結果

平成 19 年度から平成 26 年度及び平成 29 年度から令和 4 年度に実施されたインベントリー調査の各地点における底生動物及び海藻草類の総計種数、並びにそれらの重要な種数の経年結果概要を表-3.5.2.2 に示します。

令和 4 年度に実施されたインベントリー調査で確認された種数は、工事前の変動範囲内かそれ以上であり、顕著な減少はみられず、また、重要な種も工事前から継続して確認される種が多いことから、生息生育環境に大きな変化は確認されませんでした。

2) 海域区分ごとの調査結果

各調査地点を海域で区分し [] を嘉陽海域海岸部、[] を大浦湾海域海岸部、[] を久志・潟原海域海岸部、[] を大浦湾海域海上部、[] を久志・豊原海域海上部としました（図-3.5.2.1 参照）。そのうえで、各海域内の地点を相互に対照地点とみなし、海域ごとに重要な種の出現状況を整理し、工事前と工事中の比較を行いました。

底生動物及び海草類について、平成 19 年度から平成 26 年度及び平成 29 年度から令和 4 年度において、嘉陽海域海岸部では、3 地点で 102 種の重要な種が確認され、このうち 3 地点全てにおいて確認された重要な種は 14 種、2 地点以上で確認された重要な種は 47 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 55 種でした。大浦湾海域海岸部では、9 地点で 213 種の重要な種が確認され、このうち 9 地点全てにおいて確認された重要な種は 2 種、2 地点以上で確認された重要な種は 133 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 80 種でした。久志・潟原海域海岸部では、5 地点で 128 種の重要な種が確認され、このうち 5 地点全てにおいて確認された重要な種は 8 種、2 地点以上で確認された重要な種は 63 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 65 種でした。大浦湾海域海上部では、2 地点で 53 種の重要な種が確認され、このうち 2 地点全てにおいて確認された重要な種は 22 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 31 種でした。久志・豊原海域海上部では、6 地点で 105 種の重要な種が確認され、このうち 6 地点全てにおいて確認された重要な種は 24 種、2 地点以上で確認された種は 72 種、1 地点でのみ確認された種は 33 種でした。

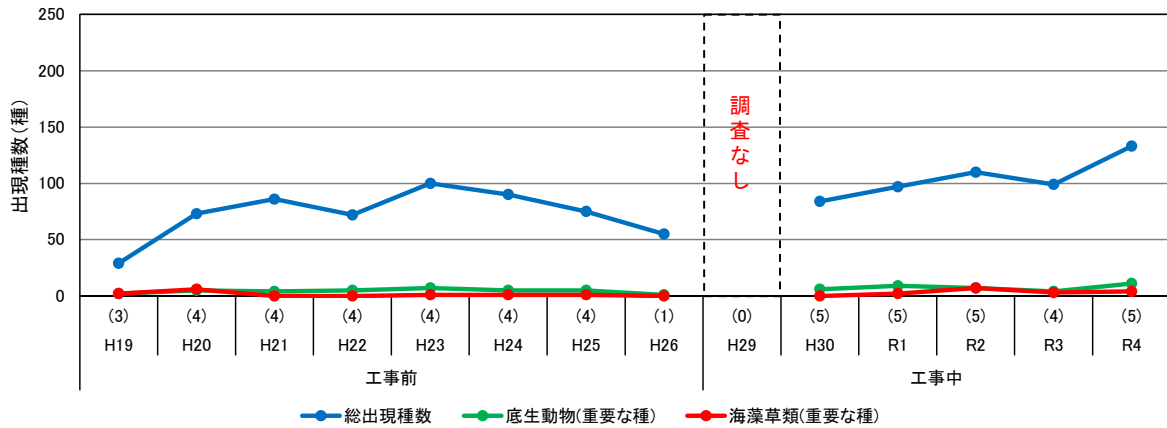
海域内の調査地点間で共通して確認されている重要な種は工事前から工事中にかけて継続的に確認されており、各海域の生息生育環境に大きな変化は確認されませんでした。

表-3.5.2.1 海藻類、海草及び底生動物の出現種数（インベントリー調査）

工事		工事前																												
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26	
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	
調査地点数		25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
海藻類	出現種数（種）	49	71	72	103	85	70	88	84	67	70	93	44	71	66	79	98	72	73	82	94	68	81	85	91	60	75	82	94	
	出現種数範囲	44~103																												
海草類	出現種数（種）	7	8	8	11	10	11	10	11	11	8	11	5	8	9	10	10	9	9	9	10	8	8	9	10	8	9	8	8	
	出現種数範囲	5~11																												
底生動物	出現種数（種）	303	298	293	353	344	324	298	442	443	353	413	432	332	294	352	494	349	320	319	462	304	366	301	449					
	出現種数範囲	232~494																												

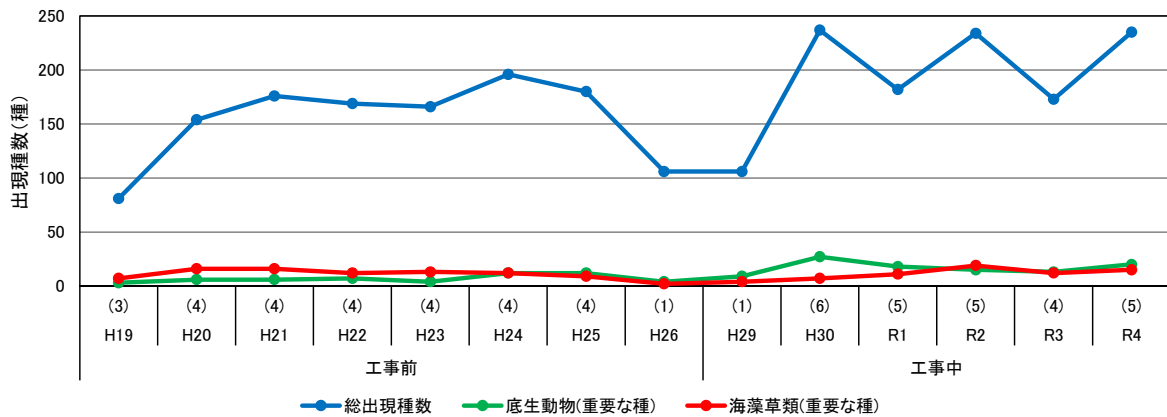
工事		工事中																												
調査年度		H29				H30				R1				R2				R3				R4								
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
調査地点数		1	2	15	19	21	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
海藻類	出現種数（種）	14	22	58	90	105	82	86	89	84	100	97	88	74	87	112	112	82	81	87	134	127	97	105	86	122	106	88	102	124
	出現種数範囲	14~105				74~134																								
海草類	出現種数（種）	0	1	7	9	9	9	8	8	9	10	10	9	8	10	9	8	10	9	11	10	8	9	8	9	9	9	9	9	
	出現種数範囲	0~9				8~11																								
底生動物	出現種数（種）	34	93	235	392	360	311	328	379	364	363	364	361	354	314	200	347	353	396	325	330	403	344	308	333	375	408	395	396	350
	出現種数範囲	34~392				200~408																								

注) 1. 本環境監視調査結果（令和4年度）は、黄色の網掛けで示しています。
 2. 平成29年度春季から平成30年度春季については調査地点数の関係から参考として掲載しており、工事中の出現種数範囲には含まれません。



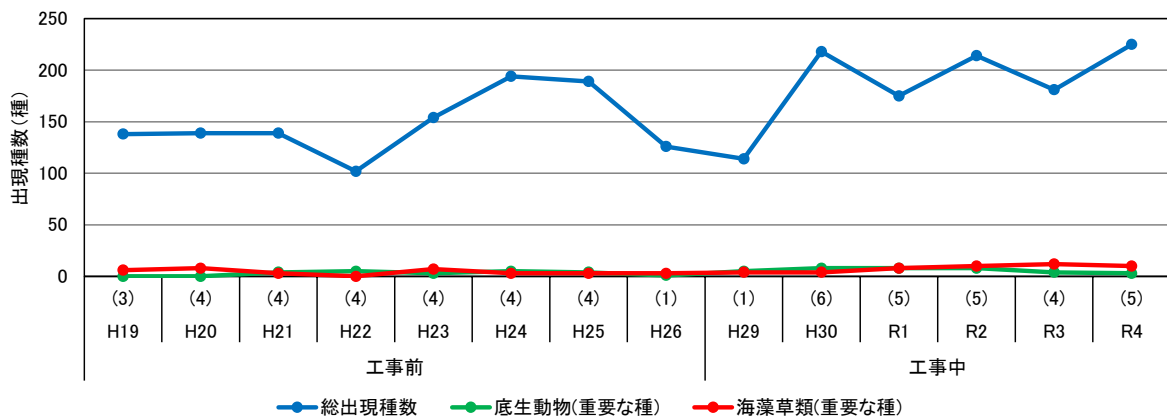
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(1) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



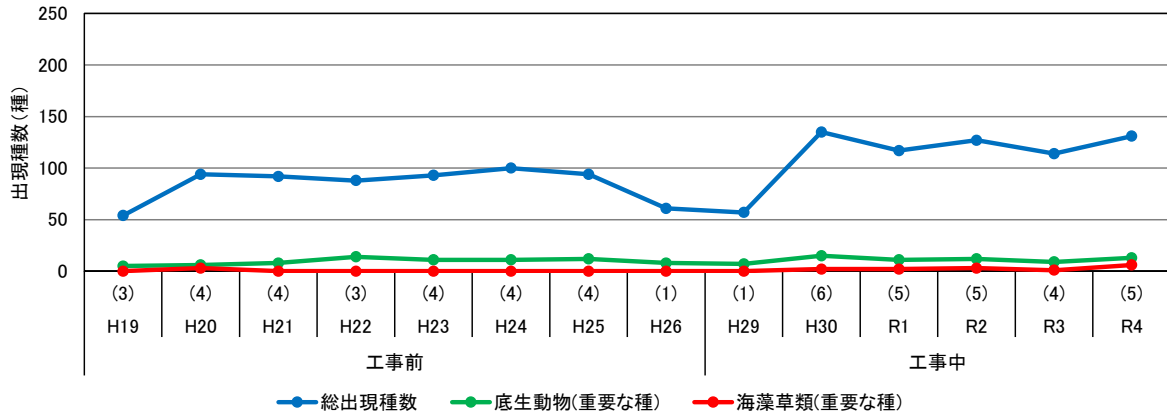
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(2) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



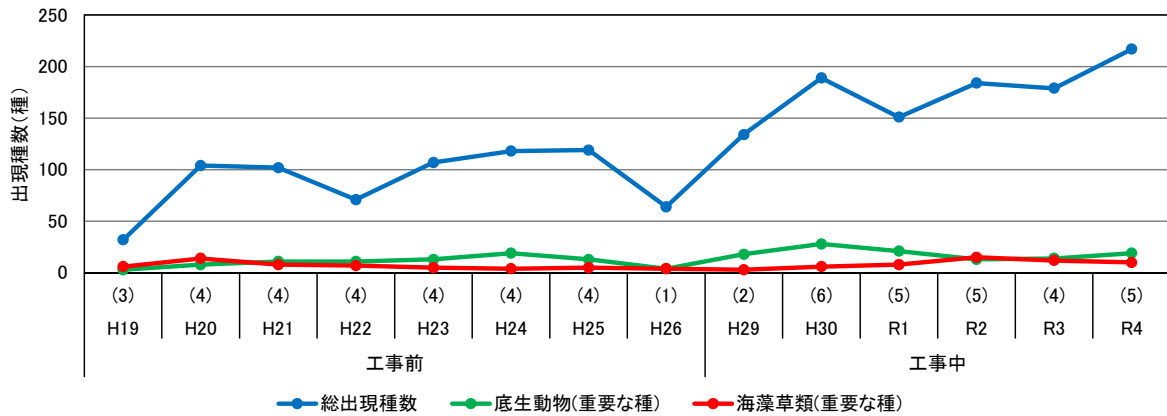
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(3) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



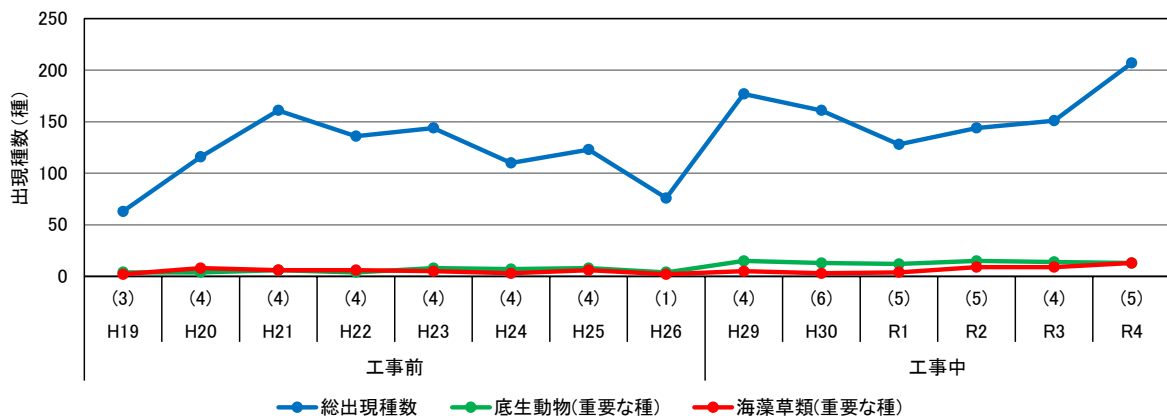
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(4) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



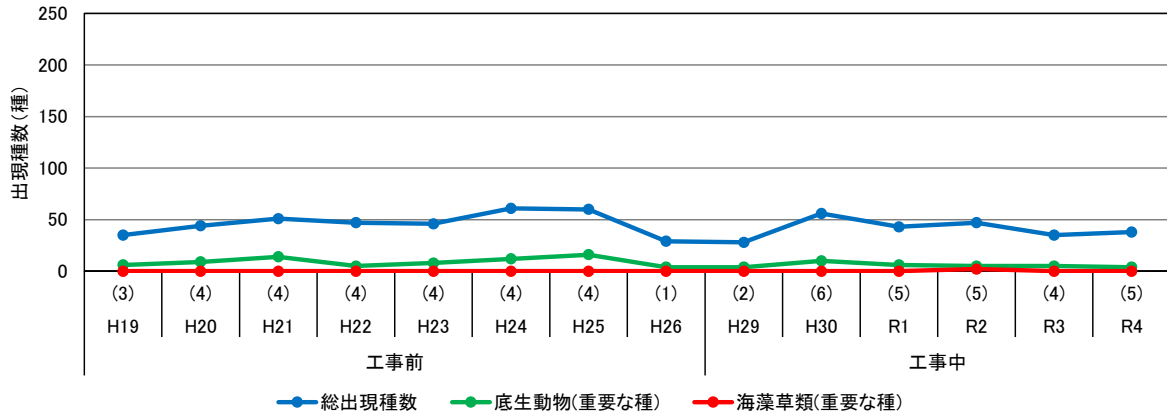
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(5) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



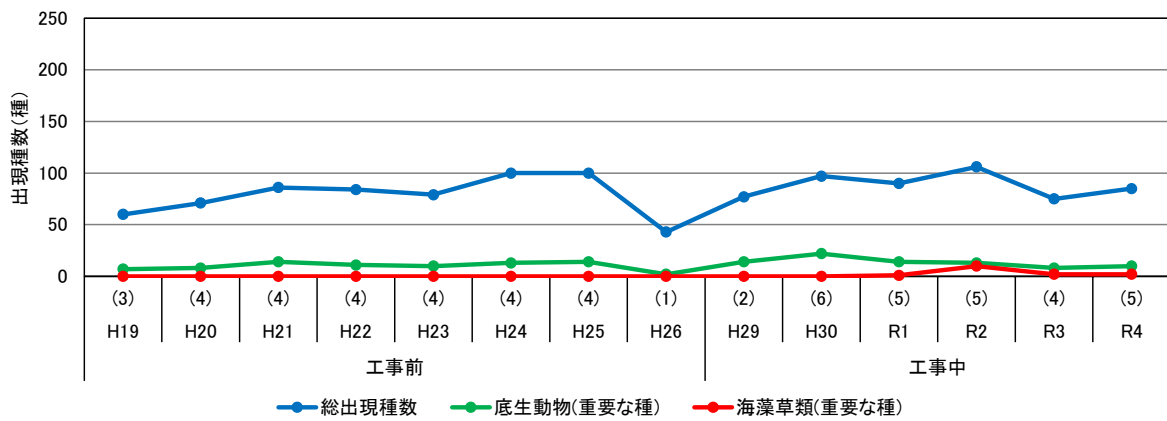
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(6) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



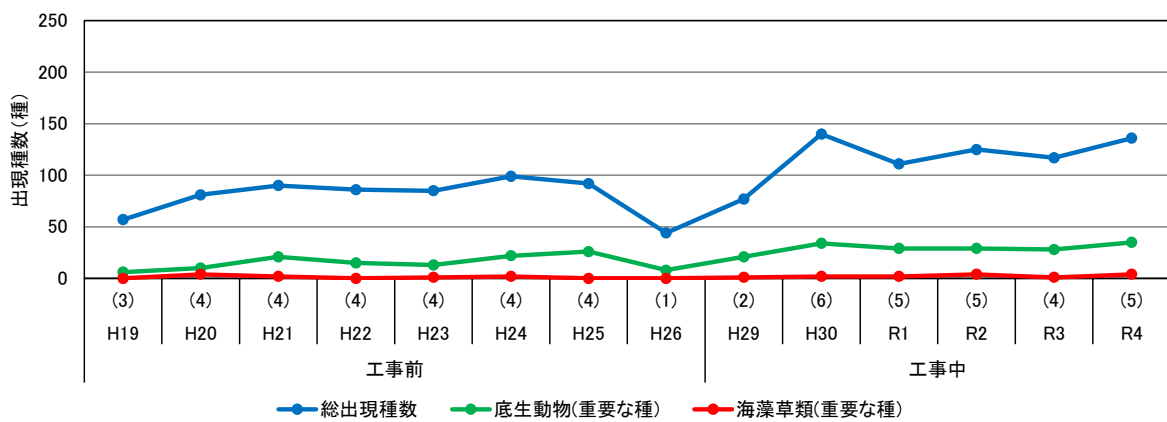
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(7) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



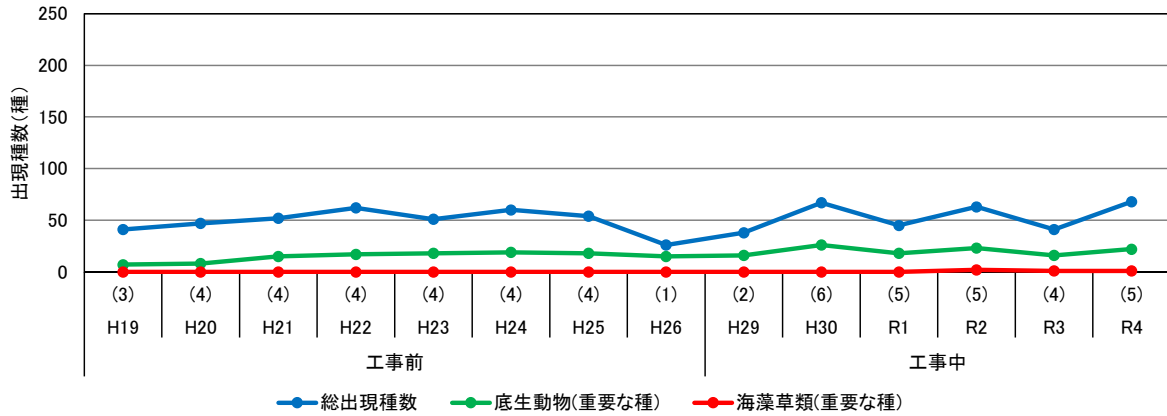
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(8) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



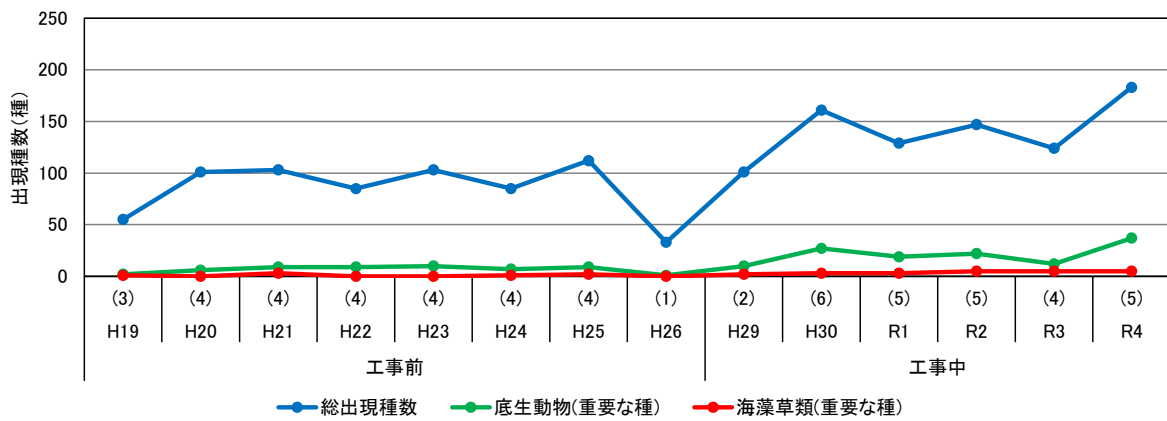
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(9) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



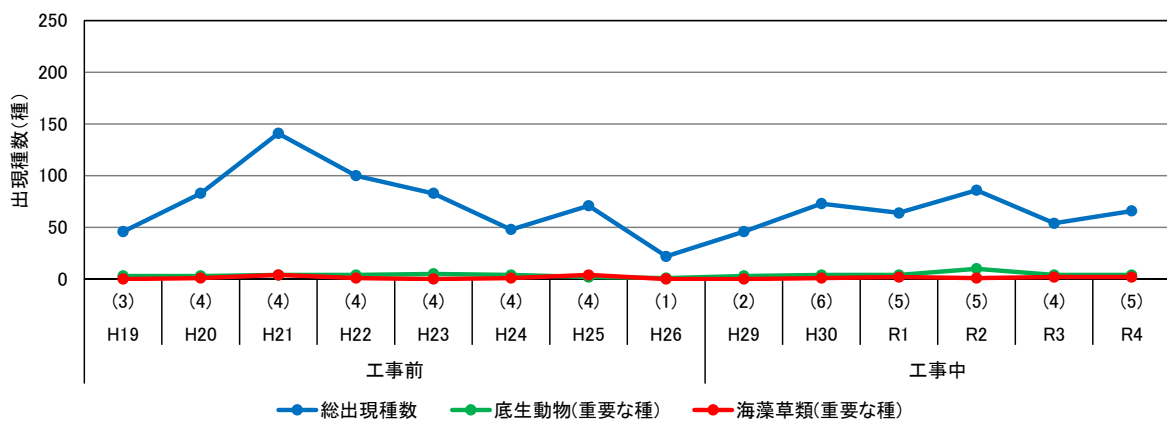
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(10) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



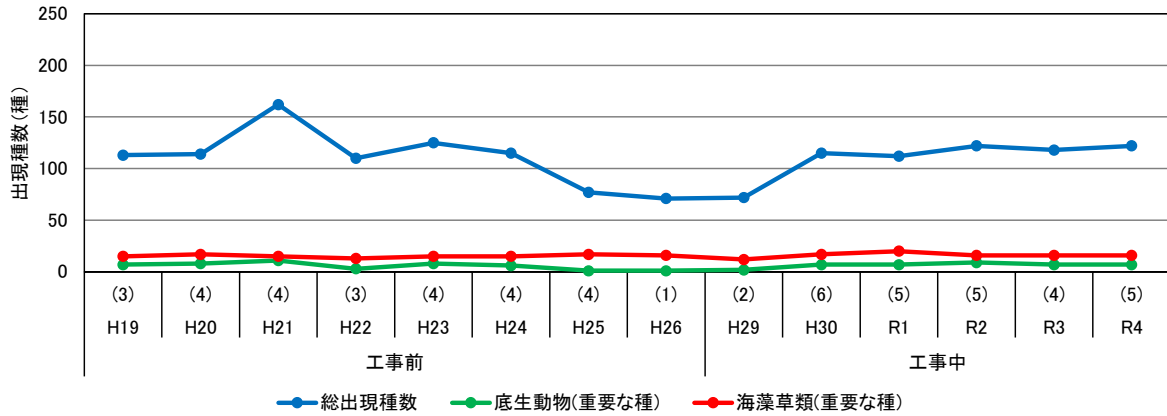
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(11) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



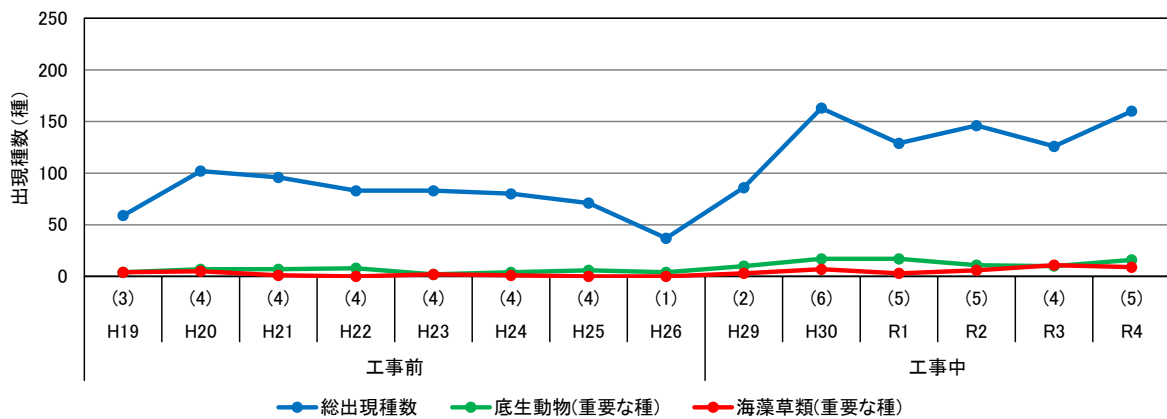
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(12) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



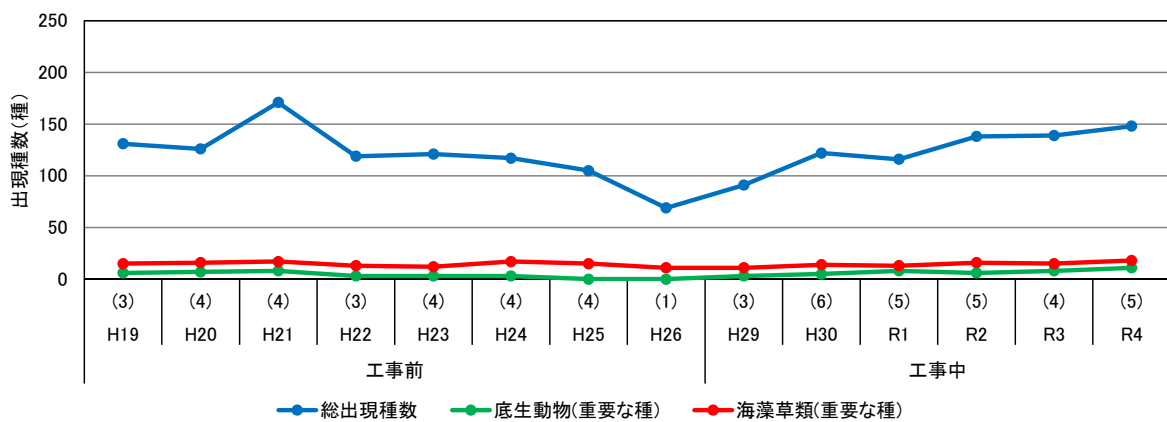
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(13) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



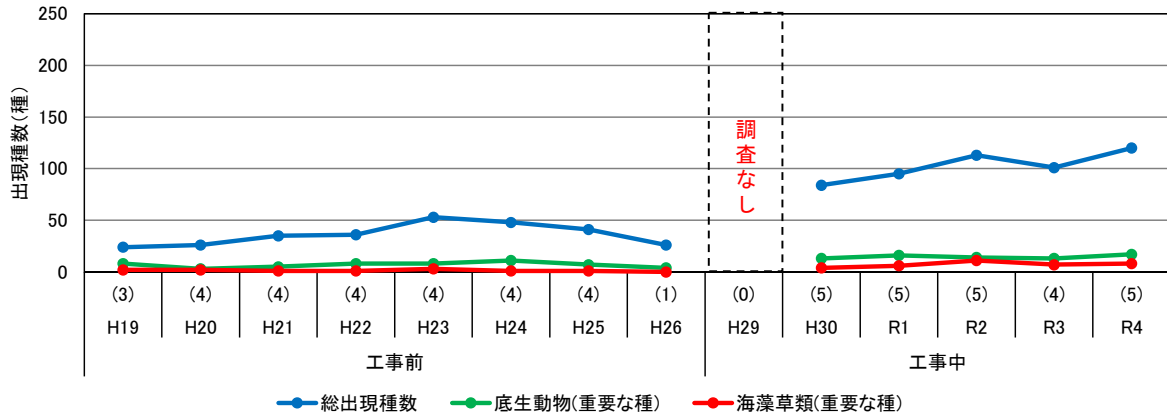
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(14) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



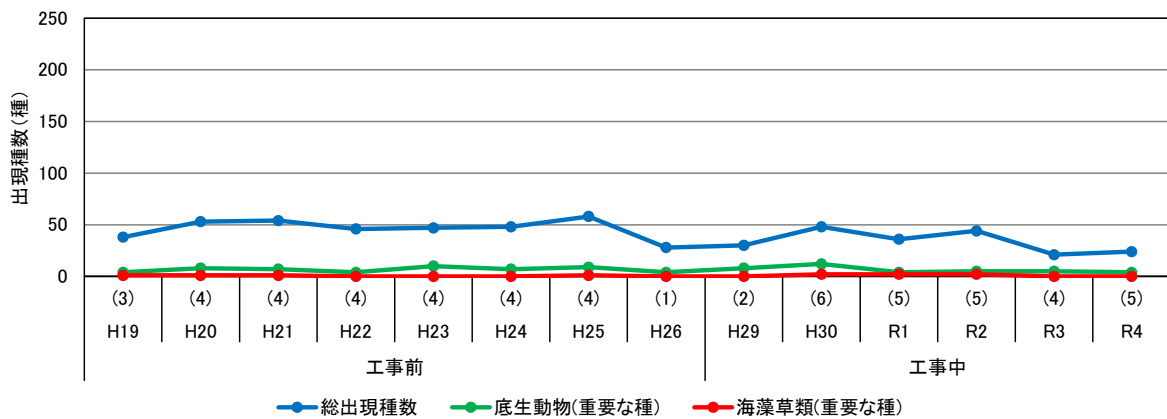
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(15) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



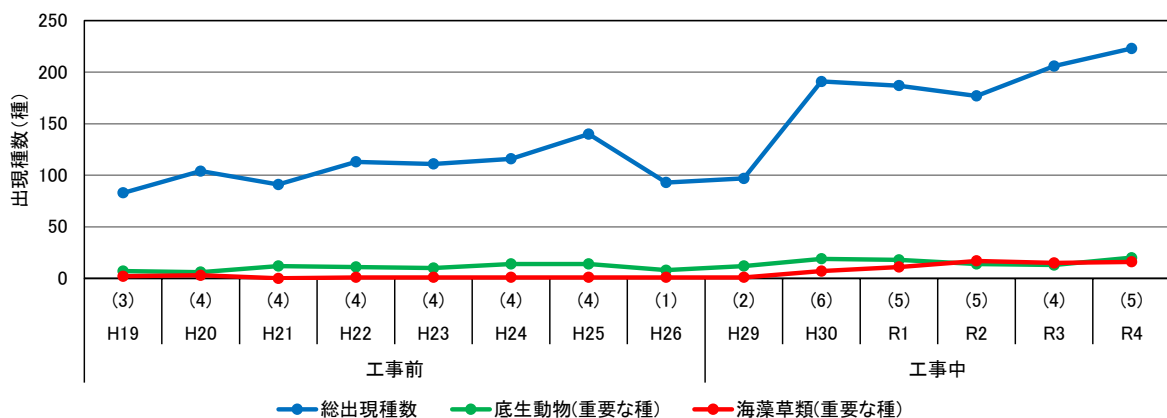
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(16) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



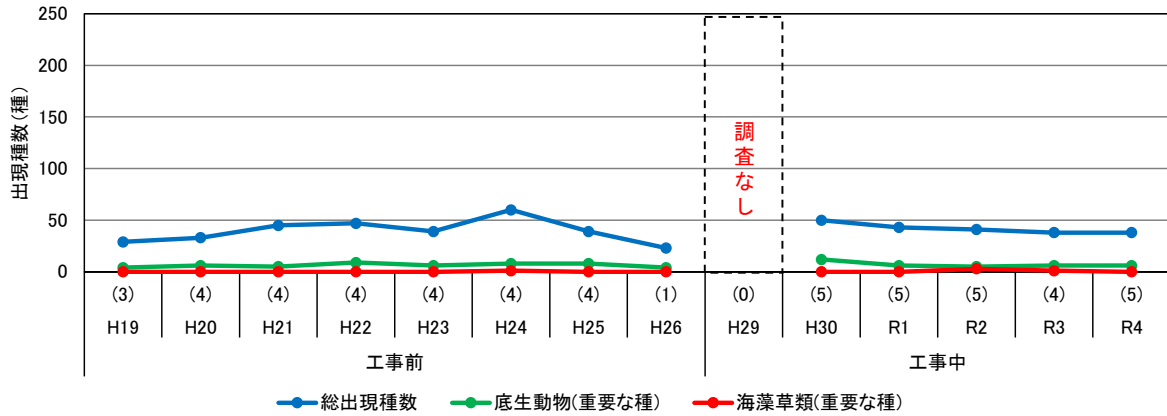
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(17) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



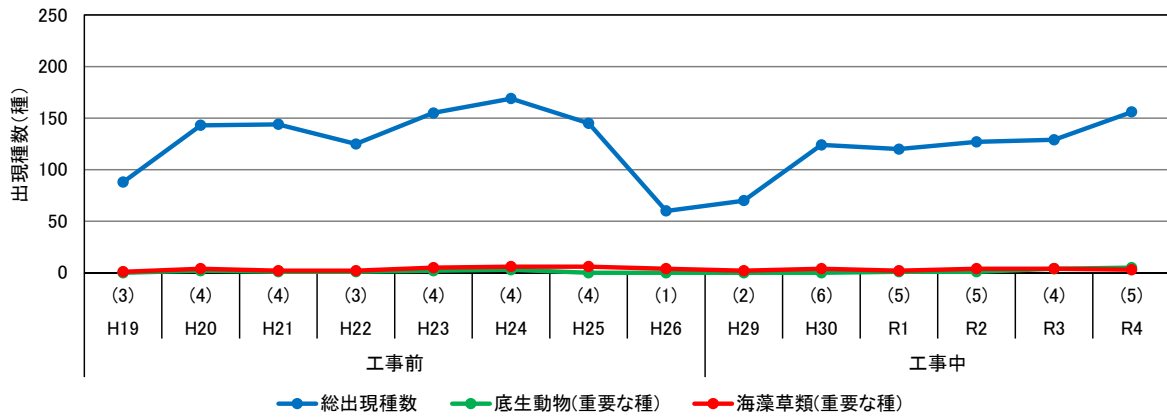
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(18) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



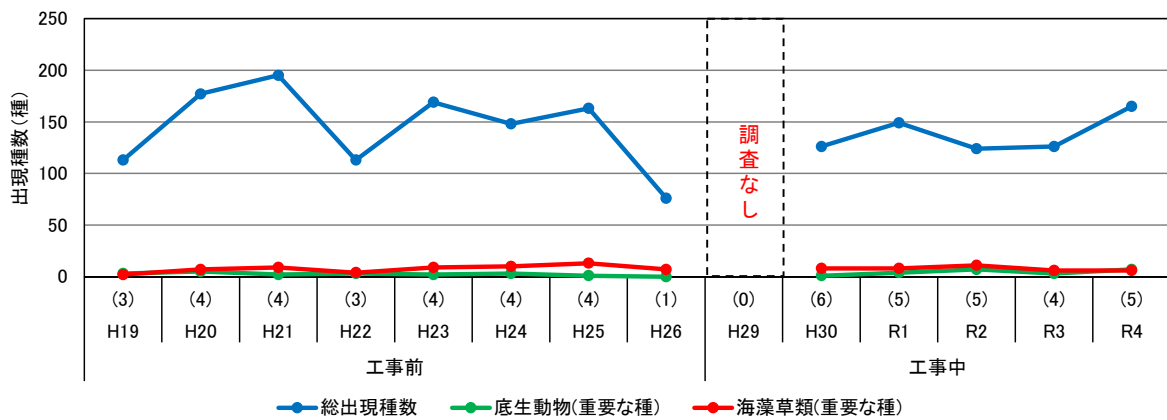
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(19) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



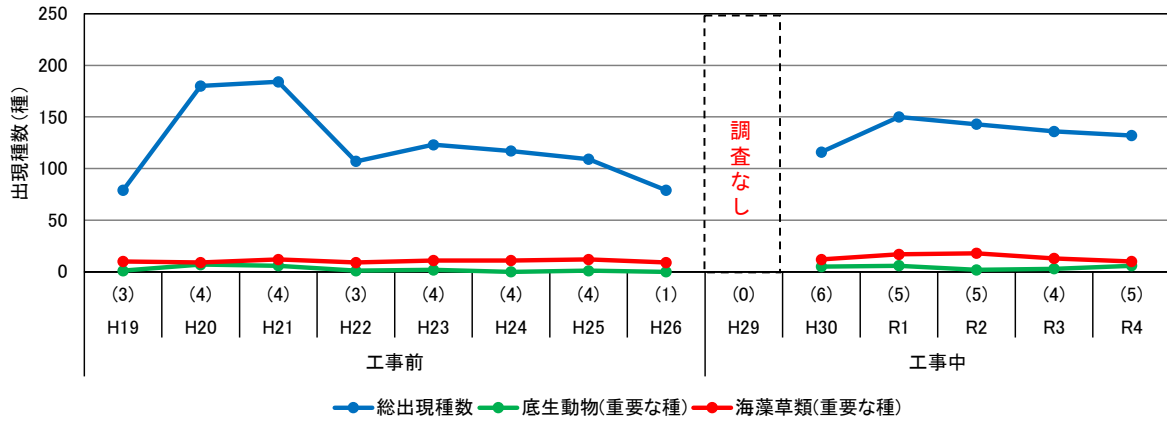
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(20) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



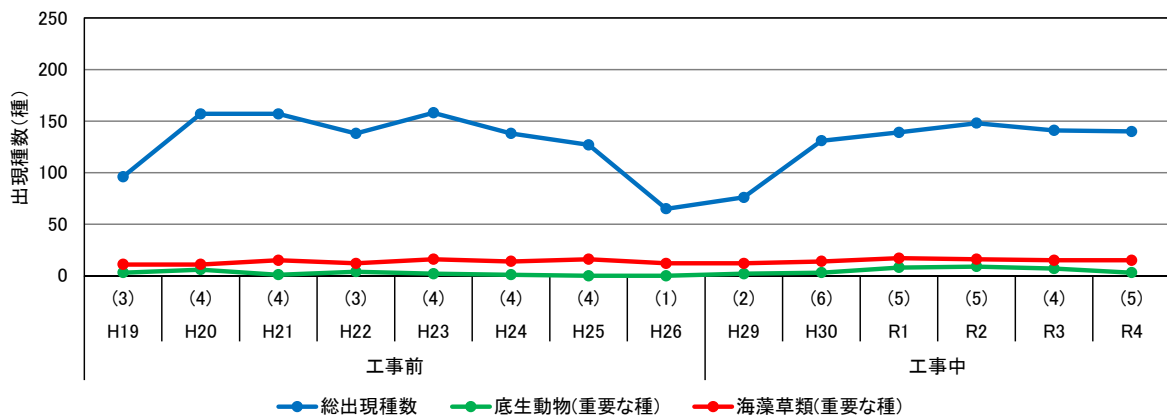
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(21) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()



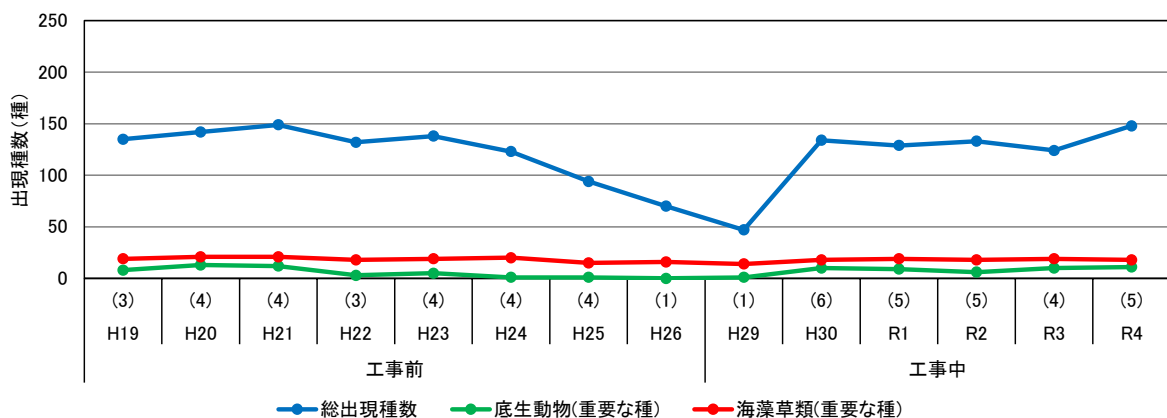
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(22) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



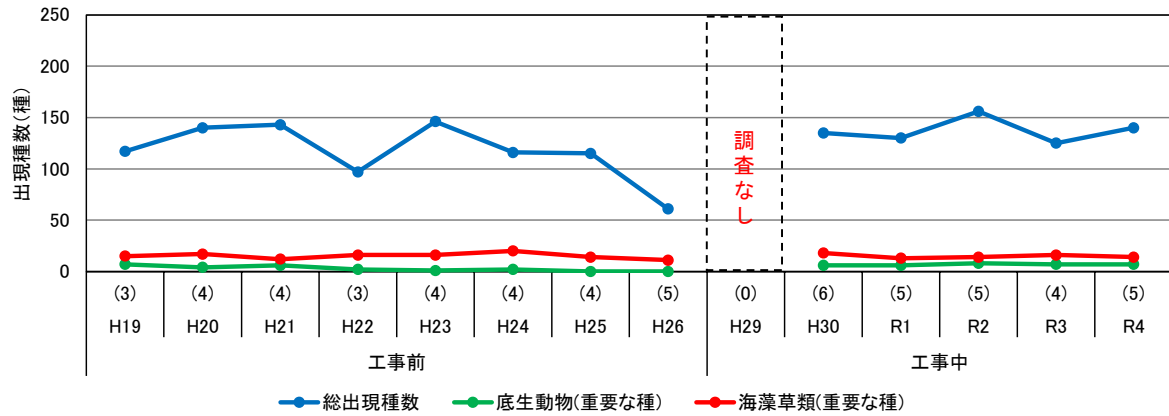
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(23) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(24) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(25) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ()

表-3.5.2.2 インベントリー調査結果概要表

			■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■			
			工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中		
底生動物	総計種数(種)	最大値	90	102	161	210	169	180	89	119	108	165	124	149	58	54	96	91	93	132
		最小値	22	73	68	90	80	104	53	54	25	122	50	101	29	26	42	66	44	69
底生動物	重要な種数(種)	最大値	7	11	12	27	5	8	14	15	19	28	8	15	16	10	14	22	26	35
		最小値	1	4	3	9	0	3	5	7	3	13	4	12	4	4	2	8	6	21
海藻草類	総計種数(種)	最大値	22	31	47	67	43	73	16	30	45	58	40	61	5	6	6	33	13	16
		最小値	5	7	13	16	20	10	1	3	7	12	11	19	0	2	1	4	0	7
海藻草類	重要な種数(種)	最大値	6	7	16	19	8	12	3	6	14	15	8	13	0	2	0	10	4	4
		最小値	0	0	2	4	0	4	0	0	4	3	2	3	0	0	0	0	0	1

			■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■			
			工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中		
底生動物	総計種数(種)	最大値	59	63	101	154	103	73	104	63	81	140	112	83	43	93	52	42	130	171
		最小値	25	35	33	91	22	42	28	22	33	72	29	41	18	70	27	19	77	86
底生動物	重要な種数(種)	最大値	19	26	10	37	5	10	11	9	8	17	8	11	11	17	10	12	14	20
		最小値	7	16	1	10	1	3	1	2	2	10	0	3	3	13	4	4	6	12
海藻草類	総計種数(種)	最大値	4	7	19	29	38	20	58	62	27	38	63	73	10	34	6	6	12	52
		最小値	0	0	0	10	0	4	43	50	4	14	40	50	0	14	1	2	5	11
海藻草類	重要な種数(種)	最大値	0	2	3	5	4	2	17	20	5	11	17	18	3	11	1	2	3	17
		最小値	0	0	0	2	0	0	13	12	0	3	11	11	0	4	0	0	0	1

			■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■		■■■■			
			工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中		
底生動物	総計種数(種)	最大値	56	48	108	99	137	98	129	70	110	77	85	78	100	78
		最小値	23	33	26	33	25	54	34	51	27	29	23	8	24	56
底生動物	重要な種数(種)	最大値	9	12	3	5	5	7	7	6	6	9	13	11	7	8
		最小値	4	5	0	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	6
海藻草類	総計種数(種)	最大値	4	5	61	60	69	72	59	80	63	74	68	71	65	79
		最小値	0	0	25	37	32	56	38	65	38	47	47	39	37	65
海藻草類	重要な種数(種)	最大値	1	3	6	4	13	11	12	18	16	17	21	19	20	18
		最小値	0	0	1	2	2	6	9	10	11	12	15	14	11	13

注) 調査回数が少なかった平成26年度は工事前の変動範囲から除いています。

表-3.5.2.3(1) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前									工事中				
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5
出現種数	22	51	78	67	90	79	68	50		77	87	79	73	102
重要な種数	2	5	4	5	7	5	5	1		6	9	7	4	11
底生動物														
オオアマガイ		○	○	○			○							○
クサイロカノコ												○		
カヤノミカニモリ		○												○
シチクガイ							○							
セワケハチミツガイ				○										
スジホシムシヤドリガイ									○					
リュウキュウナミノコ					○									
マスオガイ					○									
イソハマグリ					○									○
スジホシムシモドキ			○								○			
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○
スジホシムシ					○						○			○
<i>Sicyonella inermis</i>							○							
ブビエスナモグリ				○					○	○		○		
ムラサキオカヤドカリ	○									○				
ナキオカヤドカリ	○	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○
シロサンゴヤドカリ														○
マーグイヨコバサミ						○								
キカイホンヤドカリ											○			
オキナワヒライソガニ			○		○									
トゲアシヒライソガニモドキ														○
ヨツハヒライソモドキ					○	○					○	○		○
レンゲガニ											○			
ミナミヒライソモドキ		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
ムツハリアケガニ		○												
ヒメカクオサガニ						○					○	○	○	○
海藻草類														
出現種数	7	22	8	5	10	11	7	5		7	10	31	26	31
重要な種数	2	6	0	0	1	1	1	0		0	2	7	3	4
ニセウシケノリ													○	
カモガシラノリ												○		○
ハイコナハダ											○	○	○	○
ササバアヤギス														○
オオネダシグサ												○		
ヒロハサボテングサ		○												
ウスガサネ	○										○	○	○	○
カサノリ	○	○			○	○	○							
リュウキュウスガモ		○										○		
ウミヒルモ		○										○		
ホソバウミジグサ		○										○		
ベニアマモ		○												

調査なし

表-3.5.2.3(2) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中						
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査年度															
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	
出現種数	68	109	129	137	122	161	145	87	90	210	155	167	122	175	
重要な種数	3	6	6	7	4	12	12	4	9	27	18	14	13	20	
ヒメケハダヒザラガイ				○											
タイワンキサゴ														○	
ヤジリスカシガイ						○			○						
オオアマガイ	○	○							○						
クサイロカノコ			○			○	○		○						
キンランカノコ			○												
カヤノミカニモリ						○							○	○	
オハグロガイ									○						
イガムシロ														○	
ヨウラクレイシダマシ														○	
カヤノミガイ											○			○	
チビハマシイノミガイ											○				
ホソスジヒバリガイ										○					
チヂミウメノハナ									○						
カブラツキガイ							○	○	○	○	○		○		
ユンタクシジミ			○							○		○			
スジホシムシヤドリガイ										○					
イレズミザル												○			
カワラガイ						○									
オキナワヒシガイ				○			○		○	○			○		
リュウキュウアオイ														○	
オミナエシハマグリ						○						○			
オイノカガミ										○					
リュウキュウナミノコ														○	
ヒメニッコウガイ										○	○				
ナミノコザラ			○												
底生動物															
ホシヤマナミノコザラ														○	
ミガキヒメザラ							○			○					
ミクニシボリザクラ										○					
ハスメザクラ										○				○	
ユキガイ											○				
イソハマグリ		○												○	
スジホシムシモドキ							○								
スジホシムシモドキ属										○	○	○			
スジホシムシ			○	○			○			○	○	○		○	
<i>Sicyonella inermis</i>				○			○				○			○	
ブビエスナモグリ					○	○	○		○	○	○	○	○	○	
モバホソスナモグリ						○									
<i>Neocallichirus calmani</i>													○		
ノコバスナモグリ												○			
オトヒメスナモグリ										○					
オカヤドカリ										○	○				
ムラサキオカヤドカリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
オオウラムツアシガニ					○	○	○	○							
ヤエヤマヒメオカガニ							○		○	○	○	○	○	○	
ムラサキオカガニ													○		
アカカクレイワガニ		○													
イワトビベンケイガニ									○	○	○	○	○	○	
アシナガアカイソガニ											○				
ヨツハヒライソモドキ										○	○				
レンゲガニ										○					
ミナミヒライソモドキ									○	○	○	○	○	○	
ヒメカクオサガニ		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ルリマダラシオマネキ									○		○	○	○	○	

表-3.5.2.3(3) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5
出現種数	13	45	47	32	44	35	35	19	16	27	27	67	51	60
重要な種数	7	16	16	12	13	12	9	2	4	7	11	19	12	15
カモガシラノリ						○								○
ハイコナハダ													○	○
ササバアヤギヌ													○	○
ツクシホウズキ														○
カヤモノリ			○		○							○		
ヤバネモク		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○
チュラシマモク										○				
ウミフシナシミドロ												○		
ホソバロニア		○			○									
オオネダシグサ												○	○	○
マガタマモ	○	○	○	○							○	○	○	
コテングノハウチワ				○		○	○							
テングノハウチワ		○												
ヒロハサボテングサ			○									○		
フササボテングサ			○	○	○	○	○					○		
ナガミズタマ		○	○		○									
ウスガサネ		○		○	○	○				○	○	○	○	○
カサノリ		○	○	○	○	○			○			○		○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ		○	○									○	○	○
ヒメウミヒルモ											○	○		
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○
ホソバウミジグサ		○	○	○	○		○			○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○
ベニアマモ	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○
リュウキュウアマモ	○	○	○	○		○	○					○		○
ボウバアマモ		○	○								○	○		○

海藻草類

表-3.5.2.3(4) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中						
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	
出現種数	105	96	105	80	130	167	169	99	104	180	139	147	119	152	
重要な種数	0	0	4	5	3	5	4	1	5	8	8	8	4	3	
底生動物	ヨウラクレイシダマシ										○				
	ホソハマシイノミガイ									○	○				
	セワケハチミツガイ									○				○	
	スジホシムシヤドリガイ											○			
	イレスミザル											○			
	ネコジタザラ										○	○			
	ミクニシボリザクラ							○							
	ハスメザクラ									○					
	アマミスジホシムシモドキ				○										
	スジホシムシモドキ属									○	○	○	○		
	スジホシムシ												○		
	モバホソスナモグリ							○		○					
	オカヤドカリ				○						○				
	ムラサキオカヤドカリ			○	○	○		○							
	ナキオカヤドカリ			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	シロサンゴヤドカリ											○		○	
	ヤエヤマヒメオカガニ						○			○	○		○	○	
	アカクレイワガニ			○											
	イワトビベンケイガニ									○					
	アシナガアカイソガニ			○	○	○	○	○			○	○			
ヒメカクオサガニ								○		○	○	○	○	○	
出現種数	33	43	34	22	24	27	20	27	10	38	36	67	62	73	
重要な種数	6	8	3	0	7	3	3	3	4	4	8	10	12	10	
海藻草類	カモガシラノリ				○								○		
	ハイコナハダ											○	○	○	
	ケコナハダ												○	○	
	ヌルハダ		○												
	ササバアヤギヌ												○	○	
	ヤバネモク	○	○			○			○	○	○	○	○	○	
	カラクサモク												○	○	
	コバモク	○				○									
	キシユウモク									○	○	○			
	チュラシマモク	○									○	○			
	ホソバロニア								○						
	オオネダシグサ											○	○	○	
	マガタマモ	○	○	○							○	○		○	
	モツレチョウチン											○	○	○	
	ナガミズタマ		○	○		○					○	○	○	○	
	ウスガサネ	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	
	カサノリ		○			○					○		○		
	リュウキュウスガモ	○	○			○	○	○		○	○	○	○		
	マツバウミジグサ									○					
	ベニアマモ		○			○									
リュウキュウアマモ						○									

表-3.5.2.3(5) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5
出現種数	53	78	82	81	87	89	87	58	54	119	103	97	95	103
重要な種数	5	6	8	14	11	11	12	8	7	15	11	12	9	13
底生動物														
オオアマガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
ヌノメミヤコドリ									○					
ミヤコドリ														○
カヤノミカニモリ		○	○	○	○	○	○	○					○	○
イロタマキビ														○
カブラツキガイ										○				
セワケハチミツガイ	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○
スジホシムシヤドリガイ				○	○								○	
ハザクラ				○		○								
マスオガイ														○
クチバガイ							○							
スジホシムシモドキ		○	○				○							
スジホシムシモドキ属										○	○	○	○	
スジホシムシ					○						○			
ブビエスナモグリ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Neocallichirus calmani</i>										○		○		
オオヒロバカニダマシ										○				
オカヤドカリ											○	○		
ムラサキオカヤドカリ	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
マルテツノヤドカリ						○								○
オオウラムツアシガニ							○							
イリオモテマメコブシガニ														○
アマミマメコブシガニ						○		○						
ヤエヤマヒメオカガニ										○				
イワトビバンケイガニ				○						○				
アシナガアカイソガニ				○	○	○	○	○	○		○	○		
オキナワヒライソガニ				○										
ミナミアシハラガニ				○										
コウビロヒライソモドキ										○				
ヨツハヒライソモドキ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメアカイソモドキ										○				
ミナミヒライソモドキ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
ヒメカクオサガニ			○	○			○			○	○	○		○
海藻草類														
出現種数	1	16	10	7	6	11	7	3	3	16	14	30	19	28
重要な種数	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	1	6
カモガシラノリ														○
ハイコナハダ														○
ヌルハダ		○												
ササバアヤギヌ		○												○
ヤバネモク												○		
キシウモク		○								○				
ウミフシナシミドロ											○	○		○
オオネダシグサ														○
ウスガサネ										○	○	○	○	○

表-3.5.2.3(6) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	25	59	74	47	87	105	108	53	122	165	130	131	127	159
重要な種数	3	8	11	11	13	19	13	4	18	28	21	13	14	19
ヒメケハダヒザラガイ					○									
カヤノミカニモリ		○	○			○			○	○		○		○
オハグロガイ										○				
ヨウラクレイシダマシ														○
ヤタテガイ									○					
ミノムシガイ											○			
コトツブ						○								
シチクガイ										○				
リュウキュウサルボウ			○	○			○							
サンコガキ							○							
ウミギク										○				
オオツヤウロコガイ							○							
オサガニヤドリガイ											○			
ユンタクシジミ										○	○			
スジホシムシヤドリガイ									○					○
イレズミザル														○
カララガイ													○	
オキナワヒシガイ													○	○
チリメンカノコアサリ										○				
オミナエシハマグリ									○					○
ナミノコガイ	○	○	○		○	○								
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○
キュウシュウナミノコ						○				○				
ヒワスウネイチョウ			○											
ナミノコザラ											○			
ホシヤマナミノコザラ		○	○	○	○	○			○	○		○		○
ウラキヒメザラ				○						○				○
ミガキヒメザラ					○	○	○		○	○	○	○	○	○
ミクニシボリザクラ									○					
ハスメザクラ										○				○
オガタザクラ		○	○		○	○								
ホソバラフマテガイ										○				
ナガタママキ						○	○	○	○		○			
トウカイタママキ				○	○	○	○	○		○				
オトメタママキ				○	○	○	○			○	○			
イソハマグリ				○	○	○	○				○	○		
スジホシムシモドキ									○					
スジホシムシモドキ属													○	○
スジホシムシ		○			○		○		○	○	○		○	○
メナガオサガニハサミエボシ										○				
<i>Sicyonella inermis</i>							○		○					
ブビエスナモグリ			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
モバホソスナモグリ										○				
<i>Neocallichirus calmani</i>						○			○	○	○	○	○	○
オカヤドカリ										○				
ムラサキオカヤドカリ						○	○		○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
マーグイヨコバサミ									○		○			
マルテツノヤドカリ						○	○	○	○	○	○	○	○	○
テナガツノヤドカリ		○	○											
キカイホンヤドカリ									○					
オオウラムツアシガニ				○	○	○	○	○						○
アマミマメコブシガニ											○			
ツノナシイボガザミ										○				
イワトビベンケイガニ										○				
ヨツハヒライソモドキ					○									
ミナミヒライソモドキ			○							○	○	○	○	
ヒメカクオサガニ				○	○	○				○	○	○	○	○
メナガオサガニ										○	○	○		
ルリマダラシオマネキ											○			

底生動物

表-3.5.2.3(7) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	7	45	28	24	20	13	11	11	12	24	21	53	52	58
重要な種数	6	14	8	7	5	4	5	4	3	6	8	15	12	10
カモガシラノリ												○	○	○
ハイコナハダ									○			○	○	○
ササバアヤギヌ														○
ヤバネモク		○										○	○	
キシユウモク											○		○	
ウミフシナシミドロ											○	○	○	○
オオネダシグサ														○
キザミズタ		○												
コテングノハウチワ										○		○		
ヒロハサボテングサ		○									○			
フササボテングサ				○								○	○	○
ウスガサネ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カサノリ			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○				○				○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
オオウミヒルモ		○										○		
ホソウミヒルモ			○											
コアマモ		○												
ニラウミジグサ	○	○	○	○							○		○	○
ホソバウミジグサ		○	○		○	○	○			○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
ベニアマモ	○	○												
リュウキュウアマモ	○	○	○									○		
ボウバアマモ		○										○		

表-3.5.2.3(8) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中						
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査年度															
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	4	6	5	5	4	5	
出現種数	50	76	124	102	117	92	91	65	149	141	109	101	108	146	
重要な種数	4	4	6	4	8	7	8	4	15	13	12	15	14	15	
ヒメケハダヒザラガイ			○				○						○		
オオアマガイ	○				○		○		○	○					
カヤノミカニモリ								○		○				○	
ヤタテガイ			○												
ホソハマシイノミガイ											○				
クログチ		○			○										
サンゴガキ									○						
セワケハチミツガイ					○				○						
ナミノコガイ	○	○	○	○		○			○	○					
リュウキュウナミノコ		○	○	○		○	○				○	○	○	○	
キュウシュウナミノコ										○		○	○	○	
ナミノコザラ											○			○	
ホシヤマナミノコザラ										○		○	○	○	
リュウキュウクサビザラ													○	○	
ウラキヒメザラ													○		
ミガキヒメザラ											○	○	○	○	
アシバマスオ												○			
ナガタママキ									○	○	○	○	○	○	
トウカイタママキ														○	
オトメタママキ														○	
イソハマグリ												○			
スジホシムシモドキ									○						
スジホシムシモドキ属													○		
スジホシムシ										○					
<i>Sicronella inermis</i>											○	○	○	○	
ブビエスナモグリ								○	○	○	○	○	○	○	
<i>Neocallichirus calmani</i>									○	○	○	○	○	○	
ムラサキオカヤドカリ	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
マルテツノヤドカリ									○						
ヤエヤマヒメオカガニ									○	○	○	○			
マルガオバンケイガニ					○										
イワトビバンケイガニ						○	○		○		○	○	○	○	
アシナガアカイソガニ				○	○	○									
オキナワヒライソガニ					○										
ヨツハヒライソモドキ						○	○								
レンゲガニ							○								
ミナミヒライソモドキ									○						
ヒメカクオサガニ			○		○				○	○	○	○		○	
出現種数	13	40	37	34	27	18	32	11	28	20	19	43	43	61	
重要な種数	2	8	6	6	5	3	6	2	5	3	4	9	9	13	
カモガシラノリ		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
ハイコナハダ			○						○	○	○	○	○	○	
アケボノモズク				○											
ヌルハダ		○	○												
ササバアヤギヌ														○	
ツクシホウズキ		○				○							○	○	
カヤモノリ					○										
ヤバネモク	○	○	○				○		○				○	○	
コバモク					○										
キシウモク		○							○						
チュラシマモク		○													
ウミフシナシミドロ												○		○	
ホソバロニア				○											
オオネダシグサ												○		○	
ヒメミドリゲ													○		
クビレズタ														○	
キザミズタ							○								
イチイズタ							○								
モツレチョウチン												○	○	○	
ヒロハサボテングサ				○							○	○		○	
フササボテングサ				○								○	○	○	
ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
カサノリ		○		○	○		○	○			○	○	○	○	
ホソバウミジグサ														○	

表-3.5.2.3(9) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前						工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	34	41	46	44	43	58	55	29	26	54	41	41	33	36
重要な種数	6	9	14	5	8	12	16	4	4	10	6	5	5	4
オオアマガイ							○							
ツバサカノコ (ヒロクチカノコ沖縄型)			○											
ミヤコドリ		○	○											
コゲツノブエ			○											
ヘナタリ		○	○											
マドモチウミニナ	○		○			○								
オイランカワザンショウ									○					
アンバルクチキレ							○			○				
クロヒラシイノミガイ			○											
ホソハマシイノミガイ			○											
クログチ		○	○				○							
タゴンデモドキ									○					
ナミノコガイ		○	○			○	○			○				
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キュウシュウナミノコ														○
ヘラサギガイ											○			
トガリユウシオガイ	○													
リュウキュウザクラ	○						○			○				
ハザクラ		○			○	○	○							
マスオガイ							○							
アシベマスオ	○	○		○	○	○	○	○		○		○	○	
イソハマグリ				○	○		○		○	○	○	○	○	○
クチバガイ						○								
クシケマスオ							○							
コブシアナジャコ				○										
オカヤドカリ										○				
ムラサキオカヤドカリ			○			○				○				
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ							○							
マルテツノヤドカリ							○	○						
イリオモテマメコブシガニ					○		○							
オキナワヒライソガニ		○	○		○	○	○			○		○		
コウナガイワガニモドキ						○					○			
ミナミアシハラガニ					○									
ヒメヒライソモドキ											○			
トリウミアカイソモドキ								○					○	
ヒラモクズガニ			○											
ルリマダラシオマネキ						○								
出現種数	1	3	5	3	3	3	5	0	2	2	2	6	2	2
重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
ササバアヤギス												○		
オオネダシグサ												○		

表-3.5.2.3(10) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度	工事前								工事中						
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	
出現種数	56	67	80	78	74	96	96	42	72	91	86	73	66	78	
重要な種数	7	8	14	11	10	13	14	2	14	22	14	13	8	10	
オオアマガイ			○		○	○	○								
ニセヒロクチカノコ			○	○						○					
ミヤコドリ										○					
コゲツノブエ						○									
カヤノミカニモリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○				○	
オハグロガイ							○								
ハブタエセキモリ										○					
リュウキュウムシロ					○										
ドロアワモチ									○						
ゴマセンベイアワモチ			○												
ヘソアキコミミガイ													○		
クログチ		○		○											
<i>Diplodonta</i> sp. B										○					
セワケハチミツガイ										○	○				
ホシムシアケボノガイ														○	
スジホシムシヤドリガイ												○			
イオウハマグリ			○												
ヤエヤマスダレ		○		○	○	○	○		○		○				
スダレハマグリ			○							○					
ナミノコガイ	○						○								
リュウキュウナミノコ	○				○	○	○		○			○	○	○	
キュウシュウナミノコ														○	
リュウキュウサラガイ										○				○	
ヒメニッコウガイ														○	
ヌノメイチョウシラトリ			○												
ホシヤマナミノコザラ														○	
ハザクラ						○	○			○					
マスオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
アシバマスオ			○		○	○	○								
ユキガイ										○					
クチバガイ											○				
スジホシムシモドキ			○	○			○								
アマミスジホシムシモドキ		○					○	○							
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	
スジホシムシ		○	○							○	○	○			
ブビエスナモグリ			○						○	○	○	○			
コブシアナジャコ				○											
オオヒロバカニダマシ									○						
ムラサキオカヤドカリ							○								
ナキオカヤドカリ							○			○	○	○	○	○	
ワカクサヨコバサミ					○	○				○	○	○			
オキナワヤワラガニ						○	○			○			○		
イリオモテマメコブシガニ					○							○			
アマミマメコブシガニ		○		○						○					
ツノナシイボガザミ										○	○				
フジテガニ										○					
オキナワヒライソガニ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
コウナガイワガニモドキ	○								○	○	○		○		
ヒメヒライソモドキ	○														
レンゲガニ												○			
トリウミアカイソモドキ									○	○	○			○	
ミナミヒライソモドキ				○					○	○		○	○		
ヒラモクズガニ						○									
ハサミカクレガニ											○				
ヒメカクオサガニ									○						
メナガオサガニ			○	○											
ルリマダラシオマネキ									○		○	○			

表-3.5.2.3(11) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	4	4	6	6	5	4	4	1	5	6	4	33	9	7
重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	2	2
海藻草類	カモガシラノリ											○		
	ハイコナハダ											○		
	フクロフノリ											○		
	ササバアヤギヌ										○	○	○	○
	ヤバネモク											○		
	ウミフシナシミドロ											○		
	オオネダシグサ											○	○	○
	フササボテングサ											○		
	ウスガサネ											○		
	カサノリ											○		

表-3.5.2.3(12) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度	工事前								工事中						
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	6	5	4	5	
出現種数	55	68	84	81	80	93	86	44	69	132	104	112	107	120	
重要な種数	6	10	21	15	13	22	26	8	21	34	29	29	28	35	
オオアマガイ	○		○				○			○					
ニセヒロクチカノコ				○											
ミヤコドリ											○				
コゲツノブエ			○							○					
カヤノミカニモリ		○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	
ミツカドカニモリ			○				○								
フトスジツノブエ		○	○	○			○		○						
フトヘナタリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	
ヘナタリ			○												
カワアイ			○											○	
イロタマキビ						○									
ガタチンナン													○		
カニノテムシロ			○												
リュウキュウムシロ												○			
アンバルクチキレ										○				○	
ドロアワモチ									○						
ゴマセンベイアワモチ			○												
クロヒラシイノミガイ				○											
ヘソアキコミミガイ			○			○				○					
シュジュコミミガイ							○								
ホソハマシイノミガイ				○	○	○				○	○				
クログチ			○	○	○	○			○						
ヒロクチソトオリガイ												○			
チヂミウメノハナ										○	○	○		○	
<i>Diplodonta</i> sp. B														○	
サタマメケボリガイ													○		
ユンタクシジミ										○	○				
スジホシムシヤドリガイ											○				
ホシムシアケボノガイ							○								
タグゾデモドキ			○			○									
イオウハマグリ			○							○					
ヤエヤマダレ		○	○								○		○		
スダレハマグリ		○				○				○				○	
ハナグモリ													○	○	
リュウキュウナミノコ				○										○	
ヒメニッコウガイ														○	
ヘラサギガイ												○	○	○	
ヒラセザクラ														○	
ヌノメイチョウシラトリ										○					
ナミノコザラ											○				
ホシヤマナミノコザラ										○	○	○			
リュウキュウクサビザラ										○		○			
ウラキヒメザラ								○			○				
ミガキヒメザラ							○						○	○	
ミクニシボリザクラ											○		○		
ハスメザクラ										○	○	○	○		
トガリユウシオガイ			○			○	○	○		○	○		○	○	
リュウキュウザクラ						○				○	○				
ミナトマスオ											○				
アシベマスオ							○					○	○		
リュウキュウアリソガイ													○		
ナガタマキ											○				
クチバガイ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
クシケマスオ								○							
アマミスジホシムシモドキ								○		○					
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	
スジホシムシ							○			○	○	○			
テッポウエビ							○								
ブビエスナモグリ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コブシアナジャコ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

底生動物

表-3.5.2.3(13) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度	工事前								工事中						
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	6	5	4	5	
底生動物	オカヤドカリ									○	○	○	○	○	
	ムラサキオカヤドカリ		○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	コムラサキオカヤドカリ								○	○	○	○	○	○	
	ワカクサヨコバサミ													○	
	マルテツノヤドカリ													○	
	オキナワヤワラガニ					○									○
	マングローブテッポウエビ								○						○
	イリオモテマメコブシガニ						○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマミマメコブシガニ						○	○		○	○	○	○	○	○
	ツノナシイボガザミ									○	○	○	○	○	○
	ヤエヤマヒメオカガニ				○					○		○			○
	フジテガニ												○		○
	イワトビベンケイガニ								○	○					○
	オキナワヒライソガニ		○	○		○	○			○	○	○	○		○
	コウナガイワガニモドキ			○	○	○	○	○			○		○		○
	ミナミアシハラガニ				○	○				○	○	○	○	○	○
	レンゲガニ													○	○
	トリウミアカイソモドキ						○	○							○
	ミナミヒライソモドキ	○									○				○
	ヒラモクズガニ	○													○
	ハサミカクレガニ												○	○	○
	ヒメカクオサガニ					○			○						○
チゴイワガニ		○								○		○	○	○	
ヒメヤマトオサガニ			○											○	
ナカグスクオサガニ						○								○	
ハクセンシオマネキ									○					○	
ルリマダラシオマネキ								○	○			○	○	○	
出現種数	2	13	6	5	5	6	6	0	8	8	7	13	10	16	
重要な種数	0	4	2	0	1	2	0	0	1	2	2	4	1	4	
海藻草類	カモガシラノリ		○												
	オゴノリ		○	○											
	ホソアヤギヌ													○	
	ササバアヤギヌ					○	○		○	○	○	○		○	
	ウミフシナシミドロ		○							○	○	○		○	
	クビレミドロ		○	○			○							○	
	オオネダシグサ											○	○	○	
	ウミヒルモ											○		○	

表-3.5.2.3(14) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	41	43	49	59	49	57	52	25	35	60	45	58	38	63
重要な種数	7	8	15	17	18	19	18	15	16	26	18	23	16	22
底生動物														
オオアマガイ		○						○						
ウスベニツバサカノコ	○	○	○	○						○				
ツバサカノコ														○
コゲツノブエ										○				○
カヤノミカニモリ			○											
ヌノメカワニナ												○		○
フトヘナタリ			○		○							○		
イロタマキビ									○					
オイランカワザンショウ				○	○	○				○				
ドロアワモチ										○				
マダラヒラシイノミガイ									○					
クロヒラシイノミガイ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヘソアキコミミガイ				○										
ヒゲマキシイノミミガイ							○							
ナガオカミミガイ					○	○		○		○		○		
ホソハマシイノミガイ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
チビハマシイノミガイ				○	○	○		○		○				○
ヌノメハマシイノミガイ				○						○	○			○
クログチ		○												
チヂミウメノハナ														○
リュウキュウナミノコ	○													
トガリュウシオガイ		○	○											
ハザクラ								○						
クチバガイ	○	○	○	○	○		○			○	○	○		
スジホシムシモドキ				○										
スジホシムシモドキ属														○
オオテナガエビ								○		○	○	○		
ブビエスナモグリ												○		
コブシアナジャコ											○	○		
オカヤドカリ					○		○		○	○	○	○	○	○
ムラサキオカヤドカリ		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コムラサキオカヤドカリ											○	○	○	○
オキナワヤワラガニ				○		○	○							
マングローブテッポウエビ						○								
イリオモテマメコブシガニ						○						○		
マンガルマメコブシガニ			○											
アカテノコギリガザミ				○										
ヤエヤマヒメオカガニ								○	○		○		○	○
リュウキュウアカテガニ										○				
ウモレベンケイガニ			○											
フジテガニ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イワトビベンケイガニ						○			○	○	○	○	○	○
ユビアカベンケイガニ						○	○	○	○	○	○	○	○	○
トガアシヒライソガニモドキ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コウナガイワガニモドキ					○	○	○	○		○		○	○	○
ミナミアシハラガニ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アゴヒロカワガニ				○		○					○			
ヒメヒライソモドキ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コウビロヒライソモドキ			○											
タイワンヒライソモドキ	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○
レンゲガニ	○													
ヒラモクズガニ		○	○	○	○	○	○	○						
カラスナガニ										○	○		○	○
ヨウナシカワスナガニ						○								
チゴイワガニ			○				○		○	○		○		
ハクセンシオマネキ									○					
ルリマダラシオマネキ												○		
海藻草類														
出現種数	0	4	3	3	2	3	2	1	3	7	0	5	3	5
重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1
ホソアヤギヌ												○		○
ササバアヤギヌ												○	○	

表-3.5.2.3(15) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度														
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	52	93	84	78	95	74	101	33	91	144	117	123	102	154
重要な種数	2	6	9	9	10	7	9	1	10	27	19	22	12	37
オオアマガイ		○	○	○	○	○	○							
カヤノミカニモリ	○		○	○				○	○		○	○		
ミノムシガイ											○			
ハイイロミノムシ					○									
コトツブ												○		
クロヒラシイノミガイ										○				
ヒメヒラシイノミガイ														○
ナガオカミミガイ										○				○
ホソハマシイノミガイ				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
チビハマシイノミガイ										○				
<small>ホソメハマシイノミガイ (トリコハマシイノミガイ)</small>														○
ヌノメハマシイノミガイ														○
リュウキュウサルボウ					○									
クログチ				○										
チヂミウメノハナ														○
カブラツキガイ										○			○	○
<i>Diplodonta</i> sp. B														○
スジホシムシヤドリガイ						○				○				
タガソデモドキ			○											
オキナワヒシガイ										○				○
リュウキュウアオイ														○
リュウキュウナミノコ		○	○							○				
キュウシュウナミノコ										○				
ダイミョウガイ														○
へらサギガイ														○
ヒラセザクラ														○
ウネイチョウシラトリ													○	
ホシヤマナミノコザラ										○	○	○		○
リュウキュウカサビザラ											○			○
ミガキヒメザラ										○	○	○		○
ミクニシボリザクラ										○				
ハスメザクラ										○				○
マスオガイ					○									
バラフマテガイ														○
ホソバラフマテガイ							○			○	○	○		○
ナガタママキ														○
オトメタママキ							○		○	○				
イソハマグリ		○												○
クチバガイ			○	○			○							
スジホシムシモドキ						○	○		○					
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○		○
スジホシムシ												○	○	○
メナガオサガニハサミエボシ										○				
<i>Sicyonella inermis</i>										○	○			
<i>Sicyonella maldivensis</i>											○			○
ブビエスナモグリ							○		○	○	○	○	○	○
トゲスナモグリ										○				
コブシアナジャコ														○
オカヤドカリ			○							○	○	○	○	○
ムラサキオカヤドカリ		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
コムラサキオカヤドカリ												○		
マルテツノヤドカリ							○		○		○			
キカイホンヤドカリ					○									
オオウラムツアシガニ							○							
イリオモテマメコブシガニ											○	○		○
アマミマメコブシガニ														○
ツノナシイボガザミ										○	○	○	○	○
ヤエヤマヒメオカガニ														○
ムラサキオカガニ												○		

底生動物

表-3.5.2.3(16) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前									工事中				
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	52	93	84	78	95	74	101	33	91	144	117	123	102	154
重要な種数	2	6	9	9	10	7	9	1	10	27	19	22	12	37
底生動物										○	○		○	○
イワトビバンケイガニ														
ユビアカバンケイガニ												○		
アシナガアカイソガニ						○								
オキナワヒライソガニ			○		○				○	○			○	○
ミナミアシハラガニ				○								○		
ヒメヒライソモドキ												○		
タイワンヒライソモドキ												○		
ヨツハヒライソモドキ					○									
レンゲガニ		○												
ミナミヒライソモドキ										○	○	○		○
ムツハアリアケガニ				○									○	○
ヒメカクオサガニ												○	○	
ルリマダラシオマネキ														○
出現種数	3	8	19	7	8	11	11	0	10	17	12	24	22	29
重要な種数	1	0	3	0	0	1	2	0	2	3	3	5	5	5
海藻草類												○		
フクロフノリ												○		
ササバアヤギヌ												○	○	○
ウミフシナシミドロ										○		○	○	○
オオネダシグサ													○	○
ヒロハサボテングサ										○				
ウスガサネ						○								
リュウキュウスガモ			○											
ウミヒルモ			○				○		○	○	○	○	○	○
トゲウミヒルモ									○					
ヒメウミヒルモ										○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○		○				○							

表-3.5.2.3(17) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前									工事中				
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	37	67	103	82	72	41	47	22	42	55	48	73	42	46
重要な種数	3	3	4	4	5	4	2	1	3	4	4	10	4	4
底生動物			○									○		○
ヒメケハダヒザラガイ			○									○		○
オオアマガイ	○	○		○		○	○			○			○	
ヒメヒラシイノミガイ				○	○	○				○	○	○	○	○
スジホシムシモドキ属												○		
スジホシムシ				○								○		
オカヤドカリ			○							○	○	○	○	○
ムラサキオカヤドカリ	○	○	○		○				○		○	○		
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イリオモテマメコブシガニ												○		
ツノナシイボガザミ												○		
ヤエヤマヒメオカガニ									○			○		
リュウキュウアカテガニ						○								
イワトビバンケイガニ					○									
ヨツハヒライソモドキ					○									
出現種数	9	16	38	18	11	7	24	0	4	18	16	13	12	20
重要な種数	0	1	4	1	0	1	4	0	0	1	2	1	2	2
海藻草類		○				○	○			○	○	○	○	○
カモガシラノリ		○				○	○			○	○	○	○	○
ハイコナハダ													○	○
ピリヒバ							○							
ツクシホウズキ											○			
ヤバネモク			○											
ホソバロニア							○							
キザミズタ			○				○							
ウスガサネ			○	○										
ウミヒルモ			○											

表-3.5.2.3(18) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中						
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	
底生動物	出現種数	65	59	104	65	72	64	32	28	22	55	50	63	59	61
	重要な種数	7	8	11	3	8	6	1	1	2	7	7	9	7	7
	サラサダマ			○											
	クサイロカノコ			○			○	○			○	○	○	○	○
	キンランカノコ						○			○	○	○	○	○	○
	ウミヒメカノコ										○	○			
	オハクロガイ			○	○	○									
	アラゴマフダマ	○													
	リュウキュウサルボウ		○	○					○						
	ソメワケグリ	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○
	ホソスジヒバリガイ														○
	スエヒロガイ			○		○									
	オオユキミノ		○	○	○	○	○				○	○			
	チヂミウメノハナ	○													
	オサガニヤドリガイ		○			○									
	カワラガイ		○	○		○	○				○	○	○	○	○
	オキナワヒシガイ	○	○	○		○							○	○	○
	トモシラオガイ												○		
	オミナエシハマグリ										○			○	
	オイノカガミ	○					○				○		○	○	○
	ヤエヤマダレ												○		
	ニッコウガイ											○			
	コニッコウガイ			○											
	ミクニシボリザクラ	○	○												
スジホシムシモドキ			○												
メナガオサガニ	○	○	○		○										
海藻草類	出現種数	48	55	58	45	53	51	45	43	50	60	62	59	59	61
	重要な種数	15	17	15	13	15	15	17	16	12	17	20	16	16	16
	ヌルハダ		○												
	モズク	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○
	ウミボッス							○	○		○				
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キシュウモク			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	ウミフシナシミドロ											○	○		
	クビレズタ		○						○			○			
	キザミズタ		○												
	イチイズタ			○								○			
	コテングノハウチワ	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	ソリハサボテングサ	○													
	ヒロハサボテングサ		○		○	○									
	フササボテングサ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	ナガミズタマ											○			
	ウスガサネ	○	○				○	○	○			○	○	○	○
	ホソエガサ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウミヒルモ		○		○	○	○	○	○		○	○		○	○
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○		○	○	○	○	○	○					
ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
リュウキュウアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

表-3.5.2.3(19) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度														
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	51	75	81	71	69	67	62	33	72	140	112	108	93	124
重要な種数	4	7	7	8	2	4	6	4	10	17	17	11	10	16
底生動物														
オオアマガイ	○	○		○										
カヤノミカニモリ	○		○					○	○	○	○	○	○	○
ヒメオリエレムシロ											○			
リュウキュウサルボウ												○		
ソメワケグリ										○	○			
クログチ		○				○								
カブラツキガイ										○				
セワケガイ											○			
ナタマメケボリガイ											○			
セワケハチミツガイ														○
ユンタクシジミ										○	○			
タゴソデモドキ			○											
イレスミザル														○
オイノカガミ		○												
スダレハマグリ														○
ナミノコガイ			○								○			
リュウキュウナミノコ	○		○	○			○		○	○	○	○	○	○
ヒメニッコウガイ										○				
ミガキヒメザラ														○
ハスメザクラ										○				
イソハマグリ			○	○		○	○	○	○	○	○		○	○
スジホシムシモドキ									○					
スジホシムシモドキ属										○	○	○		○
スジホシムシ									○	○	○			
ブビエスナモグリ									○	○	○	○	○	○
オカヤドカリ		○		○										
ムラサキオカヤドカリ		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
イワトビベンケイガニ				○										
オキナワヒライソガニ												○		
コウナガイワガニモドキ				○										
ヨツハヒライソモドキ											○		○	○
レンゲガニ									○	○	○	○	○	○
ミナミヒライソモドキ							○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメカクオサガニ								○	○	○	○	○	○	○
メナガオサガニ		○												
ルリマダラシオマネキ														○
海藻草類														
出現種数	8	27	15	12	14	13	9	4	14	23	17	38	33	36
重要な種数	4	5	1	0	2	1	0	0	3	7	3	6	11	9
カモガシラノリ		○	○		○				○	○	○		○	○
ハイコナハダ												○	○	○
カタオゴノリ													○	
ホソアヤギヌ												○		
カヤモノリ									○					
ヤバネモク										○		○	○	
キシウモク											○			
ウミフシナシミドロ													○	○
ヒメフカミドリシオグサ														○
オオネダシグサ													○	○
ヒメミドリゲ														○
ヒロハサボテングサ		○								○				
フササボテングサ										○			○	○
ウスガサネ		○										○	○	○
ホソエガサ		○										○		
カサノリ	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○												○	
ホソバウミジグサ										○			○	
マツバウミジグサ	○													
リュウキュウアマモ										○				
ボウバアマモ	○													

表-3.5.2.3(20) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中						
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	
出現種数	84	72	112	68	65	54	55	29	41	59	66	73	66	83	
重要種数	6	7	8	3	3	3	0	0	3	5	8	6	8	11	
底生動物	オオアシヤガイ		○												
	クサイロカノコ										○	○			
	キンランカノコ									○	○	○	○		
	マルシロネズミ			○							○				
	オハクロガイ													○	
	ホラガイ													○	
	ミノムシガイ													○	
	クダボラ													○	
	リュウキュウサルボウ	○	○	○							○				○
	ソメワケグリ											○	○	○	○
	ホソスジヒバリガイ														○
	スエヒロガイ						○								○
	オオユキミノ	○	○	○			○			○	○	○			○
	ウラキツキガイ			○											○
	カブラツキガイ		○												○
	バライロマメアゲマキ				○										○
	コハクマメアゲマキ											○			○
	オサガニヤドリガイ	○			○	○									○
	イレズミザル									○					○
	カワラガイ	○		○			○			○		○	○	○	○
	オキナワヒシガイ		○								○	○	○	○	○
	オミナエシハマグリ	○		○							○				○
	オイノカガミ		○			○							○		○
ヒメリュウキュウアサリ														○	
ヒメニッコウガイ		○												○	
ミクニシボリザクラ													○	○	
ナキオカヤドカリ			○											○	
メナガオサガニ	○		○	○	○									○	
海藻草類	出現種数	47	54	59	51	56	63	50	40	50	63	50	65	73	65
	重要種数	15	16	17	13	12	17	15	11	11	14	13	16	15	18
	ナンカイオゴノリ														○
	モズク		○	○			○	○	○		○	○	○	○	○
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	キシユウモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	チュラシマモク					○	○								○
	ウミフシナシミドロ									○	○		○		○
	ホソバロニア	○	○						○						○
	クダネダシグサ					○									○
	クビレズタ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
	キザミズタ		○		○		○		○						○
	コテングノハウチワ			○			○	○							○
	テングノハウチワ	○													○
	ソリハサボテングサ	○													○
	ヒロハサボテングサ		○	○	○			○							○
	フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソエガサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ			○								○	○	○	○
	オオウミヒルモ			○								○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	
マツバウミジグサ	○		○	○	○	○		○						○	
ベニアマモ		○										○		○	
リュウキュウアマモ	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	

表-3.5.2.3(21) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5
出現種数	20	18	30	29	43	42	38	26	70	76	79	76	93	
重要な種数	8	3	5	8	8	11	7	4	13	16	14	13	17	
カヤノミカニモリ					○							○	○	
ガタチンナン											○			
ヒメオリイレムシロ	○								○					
ハイイロミノムシ													○	
ソメワケグリ										○				
<i>Diplodonta</i> sp. B									○		○			
ナタマメケボリガイ											○			
タガソデモドキ					○									
オキナワヒシガイ							○		○	○				
タイワンシラオガイ	○													
ユウカゲハマグリ											○			
オイノカガミ								○					○	
ナミノコガイ	○												○	
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
スノメイチョウシラトリ				○	○									
ホシヤマナミノコザラ													○	
ウラキヒメザラ										○				
ミガキヒメザラ													○	
ハスメザクラ									○					
イソハマグリ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
クチバガイ						○				○				
スジホシムシモドキ属									○		○	○	○	
スジホシムシ											○	○	○	
<i>Sicyonella inermis</i>							○					○	○	
ブビエスナモグリ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
トゲスナモグリ						○		○	○	○	○	○	○	
コブシアナジャコ										○		○		
ムラサキオカヤドカリ	○		○	○		○			○	○		○		
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ワカクサヨコバサミ						○			○					
オオウラムツアシガニ					○									
アマミマメコブシガニ									○	○			○	
オキナワヒライソガニ						○	○			○	○			
コウナガイワガニモドキ						○	○							
レンゲガニ	○									○	○	○	○	
ミナミヒライソモドキ				○						○			○	
ハサミカクレガニ										○				
ヒメカクオサガニ											○	○	○	
ヒメヤマトオサガニ				○										
出現種数	4	8	5	7	10	6	3	0	14	19	34	25	27	
重要な種数	2	2	1	1	3	1	1	0	4	6	11	7	8	
ハイコナハダ													○	
ナンカイオゴノリ												○		
ヤバネモク												○	○	
キシウモク										○	○			
ウミフシナシミドロ									○	○	○	○	○	
コテングノハウチワ													○	
リュウキュウズタ												○		
ヒロハサボテングサ										○	○			
フササボテングサ									○	○	○	○	○	
ウスガサネ					○				○	○	○	○	○	
ホソエガサ											○			
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
ウミヒルモ													○	
ニラウミジグサ	○										○			
ホソバウミジグサ											○			
マツバウミジグサ		○												
ベニアマモ					○						○			
リュウキュウアマモ											○			

調査なし

表-3.5.2.3(23) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中						
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査年度															
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	6	5	4	5	
出現種数	77	93	86	102	101	104	130	88	86	167	164	131	159	171	
重要な種数	7	6	12	11	10	14	14	8	12	19	18	14	13	20	
ヒメケハダヒザラガイ											○				
ニセヒロクチカノコ			○												
ミヤコドリ		○			○				○	○					
コゲツノブエ													○		
カヤノミカニモリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ミツカドカニモリ														○	
ヒメオリレムシロ											○				
リュウキュウムシロ			○		○	○			○	○	○			○	
イガムシロ								○	○				○		
ヨウラクレイシダマシ														○	
ホソハマシイノミガイ						○			○					○	
リュウキュウサルボウ	○														
チヂミウメノハナ												○			
カブラツキガイ	○						○	○		○	○	○	○	○	
<i>Diplodonta</i> sp.B													○	○	
ユンタクシジミ				○				○	○					○	
スジホシムシヤドリガイ						○								○	
ホシムシアケボノガイ							○								
イレズミザル													○		
カワラガイ						○									
オキナワヒシガイ					○					○					
チリメンカノコアサリ														○	
リュウキュウアサリ											○				
リュウキュウナミノコ													○		
ヒメニッコウガイ										○	○				
ネコジタザラ														○	
ミガキヒメザラ														○	
ハスメザクラ										○	○				
マスオガイ		○	○	○		○	○					○		○	
ユキガイ										○					
イソハマグリ			○												
クチバガイ					○					○			○		
スジホシムシモドキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
アマミスジホシムシモドキ			○			○	○								
スジホシムシモドキ属										○	○	○	○	○	
スジホシムシ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ズビエスナモグリ											○				
オトヒメスナモグリ											○			○	
ムラサキオカヤドカリ				○	○	○	○						○		
ナキオカヤドカリ	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
マーグイヨコバサミ										○	○				
リュウキュウカクエンコウガニ						○	○								
アマミマメコブシガニ														○	
ヤエヤマヒメオカガニ												○			
アシナガアカイソガニ						○									
オキナワヒライソガニ			○	○	○		○		○	○	○				
ロッカクイソガニ					○										
コウナガイワガニモドキ											○				
ヒメヒライソモドキ			○												
レンゲガニ										○					
ミナミヒライソモドキ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ヒメカクオサガニ				○						○	○	○	○	○	
ヒメヤマトオサガニ				○											
ルリマダラシオマネキ			○	○		○	○			○	○	○	○	○	

底生動物

表-3.5.2.3(24) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	6	5	4	5
出現種数	6	11	5	11	10	12	10	5	11	24	23	46	47	52
重要な種数	2	3	0	1	1	1	1	1	1	7	11	17	15	16
ニセウシケノリ														○
カモガシラノリ		○									○	○	○	○
ハイコナハダ											○	○	○	○
ケコナハダ													○	○
カタオゴノリ												○		
ツクシホウズキ												○		
モズク										○				○
カヤモノリ											○	○		○
ヤバネモク	○											○	○	○
キシユウモク													○	○
ウミフシナシミドロ											○	○	○	○
オオネダシグサ													○	○
モツレチョウチン												○	○	○
ヒロハサボテングサ										○	○			
フササボテングサ												○	○	○
ウスガサネ		○								○	○	○	○	○
ホソエガサ												○		
カサノリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ										○	○	○	○	○
ウミヒルモ												○	○	○
ニラウミジグサ											○	○	○	○
ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○
マツバウミジグサ										○	○	○		

表-3.5.2.3(25) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前									工事中										
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4						
調査年度																				
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5						
出現種数	29	32	42	46	36	56	39	23		48	43	36	33	37						
重要な種数	4	6	5	9	6	8	8	4		12	6	5	6	6						
底生動物										調査なし										
オオアマガイ		○																		
カヤノミカニモリ			○																	
イロタマキビ																				○
アンパルクチキレ				○			○	○								○				
クロヒラシイノミガイ																○				
ホソハマシイノミガイ					○		○									○				○
チヂミウメノハナ			○																	
<i>Diplodonta</i> sp.B		○	○	○	○	○	○									○	○	○	○	○
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○	○	○
リュウキュウクサビザラ																○				
リュウキュウザクラ				○	○															
ハザクラ		○																		
アシバマスオ				○	○		○													
イソハマグリ																○	○			
ヒガタスナホリムシ							○													
テッポウエビ							○													
ブイエスナモグリ																○	○	○		
ムラサキオカヤドカリ	○							○								○			○	
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ								○												
アマミマメコブシガニ				○																
フジテガニ	○						○	○	○	○	○	○	○	○						
ユビアカベンケイガニ							○													
オキナワヒライソガニ										○										
コウナガイワガニモドキ				○			○						○							
ヒメヤマトオサガニ				○																
メナガオサガニ		○																		
海藻草類																				
出現種数	0	1	3	1	3	4	0	0		2	0	5	5	1						
重要な種数	0	0	0	0	0	1	0	0		0	0	3	1	0						
ホソアヤギス												○								
ササバアヤギス												○								
カサノリ						○						○	○							

表-3.5.2.3(26) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中						
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	
出現種数	63	100	105	83	106	108	87	26	33	64	72	77	82	99	
重要な種数	0	2	1	1	2	3	0	0	0	0	1	1	4	5	
底生動物	サラサダマ											○			
	イワカワトキワガイ												○		
	ホラガイ						○								
	コガンゼキ					○									
	リュウキュウサルボウ			○											
	ソメワケグリ													○	
	オオユキミノ										○		○	○	
	イレズミザル		○												
	オキナワヒシガイ					○	○								
	インドアオイ						○								
	チリメンカノコアサリ		○											○	
	フキアゲアサリ				○									○	
ヒメニッコウガイ													○		
海藻草類	出現種数	25	43	39	42	49	61	58	34	37	60	48	50	47	57
	重要な種数	1	4	2	2	5	6	6	4	2	4	2	4	4	3
	コナハダモドキ										○	○		○	
	ホソバノガラガラモドキ								○						
	ヌルハダ		○	○	○	○									
	キリンサイ												○		
	ウミボッス							○							
	ヤバネモク													○	○
	カラクサモク												○		
	ホソバロニア										○	○			
	クダネダシグサ							○							
	クビレズタ							○			○		○	○	○
	キザミズタ					○	○	○							
	イチイズタ					○	○	○	○	○	○				
	ナガミズタマ	○	○			○	○	○	○				○	○	○
	カサノリ		○	○		○	○	○							
ウミヒルモ		○							○						
オオウミヒルモ		○		○		○	○	○							

表-3.5.2.3(27) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前									工事中				
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5
出現種数	81	119	137	72	105	84	94	25		54	78	61	70	98
重要な種数	3	5	2	3	2	3	1	0		1	4	7	3	7
ウミヒメカノコ												○		
アラゴマフダマ												○		○
ホラガイ					○									
クダボラ										○				
シチュクガイ												○		
リュウキュウサルボウ											○			
ソメワケグリ	○	○											○	
オオユキミノ												○		
ウミギク					○									
イレズミザル		○	○											
カワラガイ		○												
オキナワヒシガイ												○		○
リュウキュウアオイ														○
チリメンカノコアサリ	○	○	○	○		○					○	○	○	○
オウギカノコアサリ		○												
フキアゲアサリ	○			○		○	○				○		○	○
ヒメニッコウガイ														○
コニッコウガイ												○		
アシベマスオ											○			
トウカイタママキ							○							○
オトメタママキ				○										
出現種数	32	58	58	41	64	64	69	51	調査なし	72	71	63	56	67
重要な種数	2	7	9	4	9	10	13	7		8	8	11	6	6
コナハダモドキ										○	○			
ホソバノガラガラモドキ								○						
ヌルハダ	○	○	○	○	○	○	○							
エツキヒビロウド							○							
フイリグサ						○								
カラゴロモ			○			○	○					○	○	
モズク							○	○		○		○		
カヤモノリ										○			○	
ウミボッス								○						
ヤバネモク		○	○		○	○	○			○	○	○	○	○
カラクサモク												○		○
キシウモク						○					○	○		○
チュラシマモク							○					○		
ホソバロニア		○												
クビレズタ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
キザミズタ		○	○	○	○	○	○	○						
イチイズタ		○			○	○	○	○		○	○	○	○	○
コテングノハウチワ						○	○							
フササボテングサ											○			
ハネモモドキ					○		○							
ナガミズタマ			○		○		○	○		○		○		
ウスガサネ											○			○
カサノリ	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	
リュウキュウスガモ			○											
オオウミヒルモ			○	○	○							○		

表-3.5.2.3(28) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5
出現種数	34	125	129	56	65	58	53	41		51	70	68	68	62
重要な種数	1	7	6	1	2	0	1	0		5	6	2	3	6
底生動物					○									
オオアシヤガイ					○									○
オハグロガイ														
クサイロカノコ									○	○	○			
キンランカノコ									○	○			○	
ウミヒメカノコ									○					
ユキスズメ			○											
ロウイロトミガイ							○							
アラゴマフダマ		○	○											
チビツクシ														○
ソメワケグリ	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○
オオユキミノ		○												
アケボノガイ			○											
カワラガイ														○
オキナワヒシガイ		○	○							○		○	○	○
チリメンカノコアサリ			○											
ヒメリュウキュウアサリ										○				
フキアゲアサリ		○												
ヒノデガイの一種		○												
ヒノデガイ														○
ヒメニッコウガイ		○												
アシベマスオ										○				
スジホシムシモドキ属									○					
海藻草類														
出現種数	45	55	55	51	58	59	56	38		65	80	75	68	70
重要な種数	10	9	12	9	11	11	12	9		12	17	18	13	10
スルハダ	○	○	○											
フイリグサ											○			
ナンカイオゴノリ										○	○			○
カラゴロモ					○			○						
モズク			○				○	○		○	○	○	○	○
ウミボッス											○	○		
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナガミモク									○					
カラクサモク										○				○
キシウモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク	○			○		○		○	○	○	○			
ホソバロニア		○												
クビレズタ			○											
イチイヅタ											○	○	○	
コテングノハウチワ	○		○			○	○		○	○	○	○	○	○
ヒロハサボテングサ	○		○		○									
フササボテングサ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ニセハウチワ		○								○				
ナガミズタマ													○	
ウスガサネ											○			
ホソエガサ										○	○			
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ			○	○	○	○	○	○		○			○	
オオウミヒルモ		○			○						○			
ニラウミジグサ	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ									○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○		○	○	○	○	○	○						
ベニアマモ									○	○				
リュウキュウアマモ							○							
ボウバアマモ							○		○	○	○			

調査なし

表-3.5.2.3(29) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前								工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
出現種数	54	108	110	88	95	79	66	27	29	60	66	77	67	68
重要な種数	3	6	1	4	2	1	0	0	2	3	8	9	7	3
クサイロカノコ										○		○	○	
キンランカノコ						○							○	
マルシロネズミ				○										
ハナヅトガイ											○			
アラゴマフダマ												○		
ハイイロミノムシ												○		
チビツクシ														○
リュウキュウサルボウ		○												
ソメワケグリ	○	○	○		○				○	○	○	○	○	○
ホソスジヒバリガイ											○			
オオユキミノ		○		○	○				○	○	○	○	○	○
コハクマメアゲマキ												○		
オサガニヤドリガイ	○													
イレズミザル											○			
カワラガイ											○			
オキナワヒシガイ		○									○	○	○	
リュウキュウアオイ				○										
インドアオイ		○												
チリメンカノコアサリ												○		
オミナエシハマグリ				○							○			
オノカガミ												○	○	
ヒメニッコウガイ		○												
ミクニシボリザクラ													○	
メナガオサガニ	○													
出現種数	42	49	47	50	63	59	61	38	47	71	73	71	74	72
重要な種数	11	11	15	12	16	14	16	12	12	14	17	16	15	15
ヌルハダ						○								
ナンカイオゴノリ											○			
カラゴロモ							○							
モズク		○	○		○		○			○	○	○	○	○
ウミボッス							○	○		○			○	○
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カラクサモク				○							○	○		
キシウモク	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク			○		○				○		○			
ホソバロニア		○												
イチイヅタ								○	○					
コテングノハウチワ	○		○		○	○	○	○				○		○
テングノハウチワ		○												
ヒロハサボテングサ			○		○									
フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナガミズタマ											○		○	
ウスガサネ												○		
ホソエガサ				○	○		○		○		○	○	○	○
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○			○	○	○	○	○				
ベニアマモ		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○
リュウキュウアマモ			○	○	○	○	○	○						
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○

表-3.5.2.3(30) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

調査年度														
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5
出現種数	79	81	85	70	70	63	47	23	8	63	60	63	54	78
重要な種数	8	13	12	3	5	1	1	0	1	10	9	6	10	11
底生動物	サラサダマ										○			
	ヤジリスカシガイ		○											
	クサイロカノコ		○							○		○	○	○
	キンランカノコ									○	○	○	○	○
	オハクログガイ													
	ウミヒメカノコ									○				○
	ロウイロトミガイ				○									
	アラゴマフダマ										○			
	イワカワトキワガイ									○				
	オオシイノミクチキレ												○	
	リュウキュウサルボウ		○	○										
	ソメワケグリ	○		○				○	○	○	○	○	○	○
	ホソスジヒバリガイ													○
	サザナミマクラ			○										
	スエヒロガイ			○		○								
	オオユキミノ	○	○	○	○	○				○	○			○
	カブラツキガイ		○											
	ミナミウロコガイ		○											
	バライロマメアゲマキ		○											
	オサガニヤドリガイ	○		○		○								
	カワラガイ			○						○	○	○	○	○
	オキナワヒシガイ	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○
	リュウキュウアオイ									○				
	チリメンカノコアサリ												○	
	トモシラオガイ			○										
	オミナエシハマグリ												○	○
	オイノカガミ	○	○	○	○					○	○	○	○	○
	リュウキュウアサリ												○	
コニッコウガイ	○	○	○											
ヒラセザクラ	○									○			○	
シロナノハナガイ		○												
スジホシムシモドキ		○												
メナガオサガニ	○	○	○		○									
海藻草類	出現種数	56	61	64	62	68	60	47	47	39	71	69	70	70
	重要な種数	19	21	21	18	19	20	15	16	14	18	19	18	19
	ヌルハダ		○											
	ナンカイオゴノリ													○
	モズク		○	○		○	○		○		○	○	○	○
	カヤモノリ												○	
	ウミボッス								○				○	○
	ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カラクサモク	○												
	キシユウモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	チュラシマモク						○							
	ウミフシナシミドロ								○		○	○		
	ホソバロニア	○	○	○					○					
	クダネダシグサ						○							
	クビレズタ	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	
	キザミズタ		○	○	○	○	○		○					
	イチイズタ			○		○					○			
	コテングノハウチワ			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	テングノハウチワ	○	○											
	ソリハサボテングサ	○												
	ヒロハサボテングサ		○	○	○									
	フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソエガサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホソバウミジグサ		○							○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

表-3.5.2.3(31) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ()

	工事前									工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
調査年度															
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5	5
出現種数	67	75	100	49	83	57	56	24	56	61	78	59	75	75	75
重要な種数	7	4	6	2	1	2	0	0	6	6	8	7	7	7	7
サラサダマ									○	○	○				
クサイロカノコ									○		○				
キンランカノコ										○					
ウミヒメカノコ									○	○	○	○			
ネジマガキ		○													
アラゴマフダマ										○	○				
ハイロミノムシ	○														
リュウキュウサルボウ			○												
ソメワケグリ	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
ウチワガイ												○			
ホソスジヒバリガイ														○	○
オオユキミノ	○	○	○									○	○	○	○
ウミギク		○													
イレズミザル													○		
カワラガイ													○	○	○
オキナフヒシガイ			○			○						○	○	○	○
タイワンシラオガイ			○												
オミナエシハマグリ				○											
ヒノデガイの一種	○														
ヒノデガイ									○						
ヒメニッコウガイ															○
コニッコウガイ	○									○					
ナミノコザラ													○		
ミクニシボリザクラ	○								○						
スジホシムシモドキ属															○
メナガオサガニ	○		○												
出現種数	50	65	43	48	63	59	59	37	79	69	78	66	65	65	65
重要な種数	15	17	12	16	16	20	14	11	18	13	14	16	14	14	14
コナハダモドキ									○						
ヌルハダ			○												○
フイリグサ															
カタオゴノリ		○													
ナンカイオゴノリ										○					
カラゴロモ						○	○						○		
モズク			○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ウミボッス						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナガミモク									○						
キシユウモク	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク						○			○						
ホソバロニア		○						○							
クダネダングサ						○									
クビレズタ				○	○			○					○	○	○
キサミズタ		○		○	○	○		○							
コテングノハウチワ	○	○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○
テングノハウチワ	○	○													
ヒロハサボテングサ	○	○	○		○										
フササボテングサ	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ハネモモドキ							○								
ナガミズタマ											○	○			
ウスガサネ	○					○			○				○		
ケブカフデモ									○						
ホソエガサ		○		○											
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ		○			○				○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○			○	○	○	○	○	○						
ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○				○			
リュウキュウアマモ				○	○										
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○							

調査なし

(2) 底生動物調査（定量的調査）

底生動物調査で対象としている底生動物（マクロベントス）について、各地点を調査季別に整理した経年の結果概要を表-3.5.2.4に、全地点を調査季別に整理した経年の出現種類数、個体数及び湿重量を表-3.5.2.5及び図-3.5.2.4に、各地点の調査季別の結果概要に示された主な出現種（組成比で5%以上の上位5種）の出現状況を年度ごとに比較した結果を表-3.5.2.6に示します。

いずれの地点においても、出現種類数、個体数及び湿重量は工事中も工事前の変動の範囲内あるいはそれ以上の値でした。また、主な出現種の出現状況を比較した結果、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられませんでした。

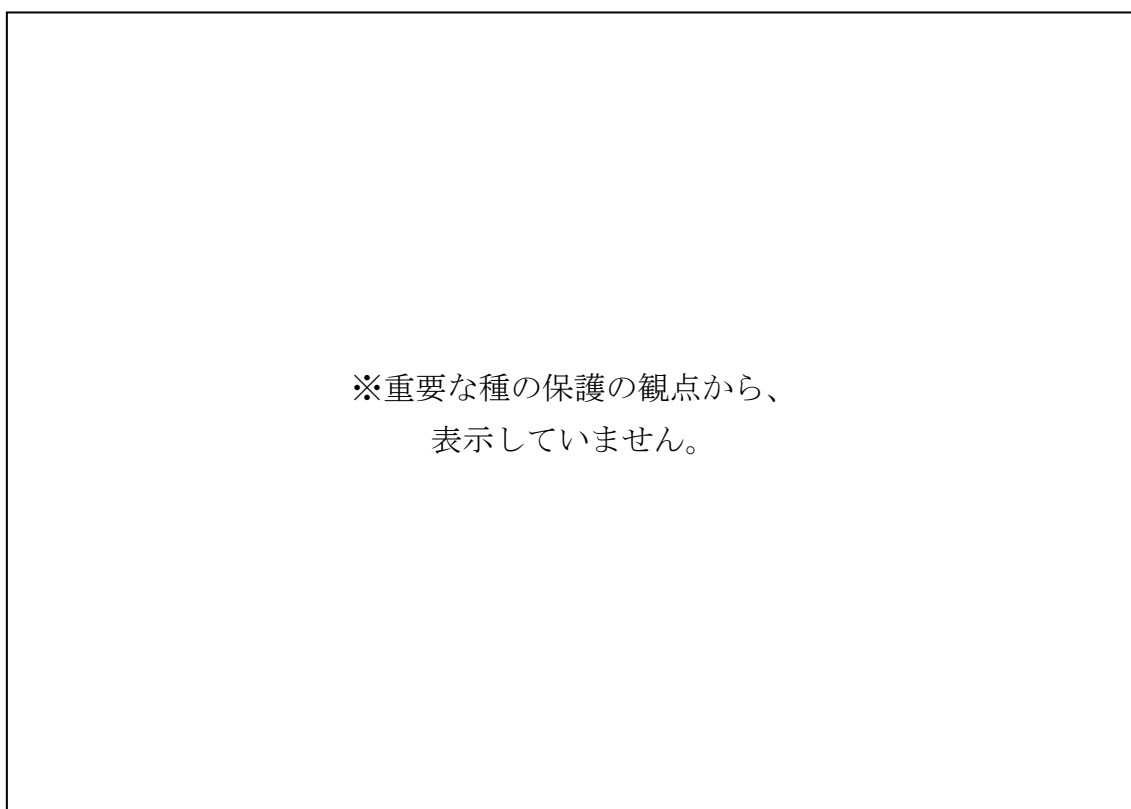


図-3.5.2.3 底生動物調査の調査地点

表-3.5.2.4(1) 結果概要 (底生動物調査：E8：工事前)

調査地点		E8		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
項目				
出現種類数		5	9	7
個体数(個体/0.1m ²)		133	24	12
湿重量(g/0.1m ²)		0.60	0.07	0.01
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%		<i>Amphisorus hemprichii</i> 68 (51.1) <i>Amphistegina madagascariensis</i> 40 (30.1) <i>Nummulites ammonoides</i> 19 (14.3)	マルソコエビ属 9 (37.5) <i>Nummulites ammonoides</i> 7 (29.2) ナギサスナホリムシ属 2 (8.3)	マルソコエビ属 5 (41.7) サンバクソコエビ属 2 (16.7) <i>Amphistegina madagascariensis</i> 1 (8.3) <i>Typosyllis</i> 属 1 (8.3) ナミノコザラ 1 (8.3) ヒトモトイソメ 1 (8.3) ホヤ綱 1 (8.3)

調査地点		E8			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		16	14	14	14
個体数(個体/0.1m ²)		35	32	28	19
湿重量(g/0.1m ²)		1.27	0.91	0.54	0.12
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%		ウミホタル科 11 (31.4) マルスダレガイ科 4 (11.4) <i>Typosyllis</i> 属 3 (8.6) <i>Armandia</i> 属 2 (5.7) サカライマスオ 2 (5.7) マルソコエビ属 2 (5.7) 紐形動物門 2 (5.7)	<i>Nummulites ammonoides</i> 10 (31.3) ウミホタル科 4 (12.5) <i>Armandia</i> 属 3 (9.4) <i>Typosyllis</i> 属 3 (9.4) マルソコエビ属 3 (9.4)	ウミホタル科 7 (25.0) クビナガスガメ 3 (10.7) <i>Amphisorus hemprichii</i> 2 (7.1) <i>Amphistegina madagascariensis</i> 2 (7.1) <i>Armandia</i> 属 2 (7.1) ウミケムシ科 2 (7.1) コメザクラ 2 (7.1) マルソコエビ属 2 (7.1)	<i>Eunice</i> 属 5 (26.3) <i>Nummulites ammonoides</i> 2 (10.5) <i>Armandia</i> 属 1 (5.3) <i>Protodorvillea</i> 属 1 (5.3) <i>Typosyllis</i> 属 1 (5.3) アワムシロ 1 (5.3) ウミケムシ科 1 (5.3) ウミホタル科 1 (5.3) オトヒメゴカイ科 1 (5.3) オボコスガメ属 1 (5.3) スナカキソコエビ属 1 (5.3) ヒトモトイソメ 1 (5.3) ヒラムシ目 1 (5.3) マルスダレガイ科 1 (5.3)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(2) 結果概要 (底生動物調査: E8: 工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		14	7	2	7
個体数(個体/0.1m ²)		19	11	3	12
湿重量(g/0.1m ²)		0.12	0.01	0.07	0.05
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) () 内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	5 (26.3)	スナカキノコエビ属 3 (27.3)	<i>Thalenessa</i> 属 2 (66.7)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 4 (33.3)
	<i>Nummulites ammonoides</i>	2 (10.5)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 2 (18.2)	紐形動物門 1 (33.3)	紐形動物門 3 (25.0)
	ヒラムシ目	1 (5.3)	<i>Nummulites ammonoides</i> 2 (18.2)		<i>Leptochelia</i> 属 1 (8.3)
	アワムシロ	1 (5.3)	オフェリアゴカイ科 1 (9.1)		<i>Sorites orbiculus</i> 1 (8.3)
	マルスダレガイ科	1 (5.3)	カタナメクジウオ 1 (9.1)		ウミホタル科 1 (8.3)
	オトヒメゴカイ科	1 (5.3)	ナミノコザラ 1 (9.1)		コシオリエビ属 1 (8.3)
	<i>Typosyllis</i> 属	1 (5.3)	マルソコエビ属 1 (9.1)		ハイハイドロクダムシ属 1 (8.3)
	ウミケムシ科	1 (5.3)			
	ヒトモトイソメ	1 (5.3)			
	<i>Protodorvillea</i> 属	1 (5.3)			

調査地点		E8			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		4	23	10	13
個体数(個体/0.1m ²)		4	41	20	22
湿重量(g/0.1m ²)		0.02	0.31	1.82	0.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) () 内は組成比%	ウミホタル科	1 (25.0)	スナクモヒトデ科 5 (12.2)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 8 (40.0)	ウミホタル科 6 (27.3)
	スナカキノコエビ属	1 (25.0)	ウスヒザラガイ科 4 (9.8)	<i>Typosyllis</i> 属 2 (10.0)	<i>Armandia</i> 属 3 (13.6)
	マルソコエビ属	1 (25.0)	カマカヨコエビ属 4 (9.8)	ケハダヒザラガイ属 2 (10.0)	<i>Typosyllis</i> 属 2 (9.1)
	ムシモドキギンチャク科	1 (25.0)	コツブムシ科 3 (7.3)	マルソコエビ属 2 (10.0)	シリス皿科 2 (9.1)
			ムシモドキギンチャク科 3 (7.3)	ウメノハナガイ属 1 (5.0)	
				チリメンカノコアサリ 1 (5.0)	
				トクサモドキ 1 (5.0)	
				ヒラムシ目 1 (5.0)	
				ミツカドカタビラガイ科 1 (5.0)	
				紐形動物門 1 (5.0)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(3) 結果概要 (底生動物調査：E8：工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		24	9	12	15
個体数(個体/0.1m ²)		66	10	14	22
湿重量(g/0.1m ²)		0.47	0.58	0.06	0.10
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	ウミホタル科	12 (18.2)	ウスヒザラガイ科 2 (20.0)	サンバクソコエビ属 2 (14.3)	紐形動物門 4 (18.2)
	ナミノコザラ	8 (12.1)	<i>Eunice</i> 属 1 (10.0)	スナカキノコエビ属 2 (14.3)	<i>Armandia</i> 属 2 (9.1)
	<i>Armandia</i> 属	7 (10.6)	ウミケムシ科 1 (10.0)	<i>Armandia</i> 属 1 (7.1)	<i>Eunice</i> 属 2 (9.1)
	スナクモヒトデ科	7 (10.6)	ケハダヒザラガイ属 1 (10.0)	<i>Diplocirrus</i> 属 1 (7.1)	<i>Micronephthys</i> 属 2 (9.1)
	マルソコエビ属	5 (7.6)	サメハダヒメガザミ 1 (10.0)	<i>Glycera</i> 属 1 (7.1)	<i>Schistomeringsos</i> 属 2 (9.1)
			シリス亜科 1 (10.0)	<i>Micronephthys</i> 属 1 (7.1)	
			シリプトヒザラガイ 1 (10.0)	<i>Typosyllis</i> 属 1 (7.1)	
			スナカキノコエビ属 1 (10.0)	イロアセアシヤガマ 1 (7.1)	
			ヒトモトイソメ 1 (10.0)	ウスヒザラガイ科 1 (7.1)	
				スナクモヒトデ科 1 (7.1)	
				ヒトモトイソメ 1 (7.1)	
				紐形動物門 1 (7.1)	

調査地点		E8			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		14	10	5	12
個体数(個体/0.1m ²)		42	15	11	18
湿重量(g/0.1m ²)		0.11	0.46	0.45	0.01
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	マルソコエビ属	11 (26.2)	<i>Armandia</i> 属 3 (20.0)	マルソコエビ属 5 (45.5)	ハイハイドロクダムシ属 5 (27.8)
	<i>Armandia</i> 属	9 (21.4)	<i>Typosyllis</i> 属 2 (13.3)	<i>Thalenessa</i> 属 2 (18.2)	サイツチクーマ属 2 (11.1)
	ハイハイドロクダムシ属	5 (11.9)	チリメンカノコアサリ 2 (13.3)	アサセクーマ属 2 (18.2)	サンバクソコエビ属 2 (11.1)
	ウミホタル科	3 (7.1)	フキアゲアサリ 2 (13.3)	<i>Armandia</i> 属 1 (9.1)	<i>Armandia</i> 属 1 (5.6)
	ナギサスナホリムシ属	3 (7.1)	ウスヒザラガイ科 1 (6.7)	スナカキノコエビ属 1 (9.1)	<i>Caulleliella</i> 属 1 (5.6)
	マルスダレガイ科	3 (7.1)	ウミホタル科 1 (6.7)		<i>Typosyllis</i> 属 1 (5.6)
			タテホシムシ属 1 (6.7)		スナカキノコエビ属 1 (5.6)
			マキガイホシムシ属 1 (6.7)		ナギサスナホリムシ属 1 (5.6)
			ミクニシボリザクラ 1 (6.7)		マルソコエビ属 1 (5.6)
			紐形動物門 1 (6.7)		ミズヒキゴカイ科 1 (5.6)
					メリタヨコエビ科 1 (5.6)
					紐形動物門 1 (5.6)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(4) 結果概要（底生動物調査：E8：工事前）

調査地点		E8						
調査年度		平成25年度						
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季			
項目								
出現種類数		18	10	8	16			
個体数(個体/0.1m ²)		52	17	18	35			
湿重量(g/0.1m ²)		2.65	1.41	0.89	3.42			
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	フキアゲアサリ	16 (30.8)	ウミホタル科	4 (23.5)	フキアゲアサリ	7 (38.9)	フキアゲアサリ	16 (45.7)
	スナカキソコエビ属		<i>Armandia</i> 属	2 (11.8)	<i>Heterostegina depressa</i>	4 (22.2)	チリメンカノコアサリ	4 (11.4)
	ウミホタル科	8 (15.4)	オボコスガメ属	2 (11.8)	マルソコエビ属	2 (11.1)	紐形動物門	2 (5.7)
	<i>Armandia</i> 属	5 (9.6)	スジホシムシ	2 (11.8)	<i>Chaetozone</i> 属	1 (5.6)		
	<i>Typosyllis</i> 属	3 (5.8)	紐形動物門	2 (11.8)	<i>Typosyllis</i> 属	1 (5.6)		
	サイツチクーマ属	3 (5.8)			ウミホタル科	1 (5.6)		
	ヒトモイトソメ	3 (5.8)			オフエリアゴカイ科	1 (5.6)		
					ハマチドリガイ	1 (5.6)		
						1 (5.6)		
						1 (5.6)		

調査地点		E8	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
出現種類数		19	
個体数(個体/0.1m ²)		63	
湿重量(g/0.1m ²)		2.31	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	フキアゲアサリ	29 (46.0)	
	アデヤカヒメカノコアサリ	9 (14.3)	
	ウミホタル目	4 (6.3)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(5) 結果概要 (底生動物調査: E8: 工事中)

調査地点		E8	
調査年度		平成29年度	
項目	調査時期		
	秋季	冬季	
出現種数	9	32	
個体数(個体/0.1㎡)	31	52	
湿重量(g/0.1㎡)	0.04	0.44	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	シリス亜科	<i>Eumice</i> 属 9 (17.3)	
	12 (38.7)	縋形動物門	<i>Linopherus</i> 属 3 (5.8)
	5 (16.1)	<i>Amphistegina madagascariensis</i>	シリス亜科 3 (5.8)
	4 (12.9)	<i>Ophelina</i> 属	
	4 (12.9)	ナンノクマ科	
2 (6.5)			

調査地点		E8					
調査年度		平成30年度					
項目	調査時期						
	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	
出現種数	41	9	6	12	12	17	
個体数(個体/0.1㎡)	90	14	9	27	43	41	
湿重量(g/0.1㎡)	32.18	0.05	17.02	0.18	0.36	0.06	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	マルスダレガイ科	シリス亜科	シリス亜科	<i>Amphisorus hemprichii</i>	<i>Amphisorus hemprichii</i>	<i>Pisone</i> sp.	
	7 (7.8)	4 (28.6)	3 (33.3)	12 (44.4)	20 (46.5)	8 (19.5)	
	スナナリヨコエビ属	ヒサシソコエビ科	<i>Amphisorus hemprichii</i>	フキアゲアサリ	<i>Linopherus</i> 属	<i>Linopherus</i> 属	
	6 (6.7)	3 (21.4)	2 (22.2)	3 (11.1)	10 (23.3)	7 (17.1)	
	アデヤカヒメカノコアサリ	<i>Linopherus</i> 属	縋形動物門	<i>Linopherus</i> 属		シリス亜科	
	6 (6.7)	1 (7.1)	1 (11.1)	2 (7.4)		6 (14.6)	
	Corophiinae	<i>Euthaleanessa</i> 属	イソギンチャク目	マルソコエビ属		Corophiinae	
	5 (5.6)	1 (7.1)	1 (11.1)	2 (7.4)		4 (9.8)	
		<i>Schistomeringos</i> 属	カネコマクラ				
		1 (7.1)	1 (11.1)				
		ミナミタテホシムシ	<i>Lumbrinerides</i> 属				
		1 (7.1)	1 (11.1)				
		<i>Lumbrinerides</i> 属					
		1 (7.1)					
		<i>Ophelia</i> 属					
	1 (7.1)						
	コブムシ科						
	1 (7.1)						

調査地点		E8				
調査年度		令和元年度				
項目	調査時期					
	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
出現種数	25	12	20	17	25	
個体数(個体/0.1㎡)	38	22	34	46	86	
湿重量(g/0.1㎡)	0.14	0.45	0.18	0.42	0.19	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	マルソコエビ属	ウスヒザラガイ科	<i>Amphisorus hemprichii</i>	シリス亜科	ナンノクマ科	
	5 (13.2)	5 (22.7)	6 (17.6)	8 (17.4)	18 (20.9)	
	ホソツメタナイス科	<i>Lumbrineris</i> 属	ハマチドリ	Corophiinae	ウスヒザラガイ科	
	4 (10.5)	3 (13.6)	3 (8.8)	8 (17.4)	7 (8.1)	
	Corophiinae	スナナリヨコエビ属	<i>Heterostegina depressa</i>	ナンノクマ科	マルソコエビ属	
	3 (7.9)	3 (13.6)	2 (5.9)	5 (10.9)	7 (8.1)	
	スナナリヨコエビ属	<i>Linopherus</i> 属	<i>Mumullites ammonoides</i>	縋形動物門	シリス亜科	
	3 (7.9)	2 (9.1)	2 (5.9)	4 (8.7)	6 (7.0)	
	ヒダナガヨコエビ属	スナクモヒトデ科	シリス亜科	<i>Armandia</i> 属	ヒサシソコエビ科	
	2 (5.3)	2 (9.1)	2 (5.9)	4 (8.7)	6 (7.0)	
ソコエビ属		<i>Armandia</i> 属	ウミホタル科	クモヒトデ綱		
2 (5.3)		2 (5.9)	4 (8.7)	6 (7.0)		
		<i>Thoracophelia</i> 属				
		2 (5.9)				
		ヒサシソコエビ科				
		2 (5.9)				
		マルソコエビ属				
		2 (5.9)				

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(6) 結果概要 (底生動物調査: E8: 工事中)

調査地点		E8				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		31	42	23	10	17
個体数(個体/0.1m ²)		62	99	72	11	41
湿重量(g/0.1m ²)		0.20	5.03	0.35	0.08	0.22
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%		マルソコエビ属 9 (14.5) サンバクソコエビ属 5 (8.1) ヒサソコエビ科 5 (8.1) シリス亜科 4 (6.5)	ウミホタル科 12 (12.1) ウスヒザラガイ科 8 (8.1) <i>Armandia</i> 属 7 (7.1) <i>Linopherus</i> 属 6 (6.1) ケハダヒザラガイ科 5 (5.1) ケンサキシピオ 5 (5.1)	ケハダヒザラガイ科 17 (23.6) シリス亜科 11 (15.3) 縷形動物門 10 (13.9) ウミホタル目 7 (9.7)	ヒラムシ目 2 (18.2) 紐形動物門 1 (9.1) マルスダレガイ科 1 (9.1) リュウキュウクサビザラ 1 (9.1) シリス亜科 1 (9.1) ゴカイ科 1 (9.1) ナナテイソメ科 1 (9.1) <i>Lumbrineris</i> 属 1 (9.1) ケンサキシピオ 1 (9.1) スガメソコエビ属 1 (9.1)	ハイハイドロクダムシ属 16 (39.0) マルソコエビ属 4 (9.8) メリタヨコエビ科 3 (7.3)

調査地点		E8			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		16	29	38	19
個体数(個体/0.1m ²)		21	80	81	35
湿重量(g/0.1m ²)		0.22	1.60	0.60	0.52
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%		ナナテイソメ科 3 (14.3) シリス亜科 2 (9.5) <i>Linopherus</i> 属 2 (9.5) ミノムシガイ科 2 (9.5)	ウミホタル科 14 (17.5) <i>Linopherus</i> 属 12 (15.0) シリス亜科 6 (7.5) スナナリヨコエビ属 6 (7.5) <i>Lembos</i> 属 5 (6.3)	ホソツメタナイス科 15 (18.5) シリス亜科 12 (14.8)	ウスヒザラガイ科 6 (17.1) アシヤガマ 4 (11.4) シリプトヒザラガイ 3 (8.6) <i>Armandia</i> 属 3 (8.6) ヒメフタハベニツケガニ 3 (8.6)

調査地点		E8				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		31	45	19	31	46
個体数(個体/0.1m ²)		54	105	40	74	162
湿重量(g/0.1m ²)		0.26	3.08	0.68	1.35	1.98
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%		ニッホンスガメ 5 (9.3) Corophiinae 4 (7.4) ウスヒザラガイ科 3 (5.6) <i>Linopherus</i> 属 3 (5.6) <i>Notomastus</i> 属 3 (5.6) マルソコエビ属 3 (5.6) ホンヤドカリ科 3 (5.6)	ウスヒザラガイ科 13 (12.4) シリス亜科 8 (7.6) <i>Linopherus</i> 属 8 (7.6) 縷形動物門 7 (6.7) シリプトヒザラガイ 6 (5.7)	ウスヒザラガイ科 6 (15.0) ケハダヒザラガイ属 5 (12.5) シリス亜科 4 (10.0) <i>Amphisorus hemprichii</i> 3 (7.5) <i>Nematoneis</i> 属 3 (7.5)	サンショウウニ科 13 (17.6) ウスヒザラガイ科 10 (13.5) コシオリエビ属 5 (6.8)	ウスヒザラガイ科 23 (14.2) クダソコエビ属 21 (13.0) ホソツメタナイス科 15 (9.3) スソケレガイ 12 (7.4) ホソヨコエビ属 9 (5.6)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(7) 結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点		E25		
調査年度		平成19年度		
項目	調査時期			
	夏季	秋季	冬季	
出現種類数	10	18	10	
個体数(個体/0.1m ²)	11	30	12	
湿重量(g/0.1m ²)	0.03	0.00	2.41	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	シリス亜科		<i>Typosyllis</i> 属	オボコスガメ属
	<i>Armandia</i> 属	2 (18.2)	10 (33.3)	3 (25.0)
	<i>Laonice</i> 属	1 (9.1)	<i>Notomastus</i> 属	<i>Aonides</i> 属
	<i>Mediomastus</i> 属	1 (9.1)	2 (6.7)	1 (8.3)
	<i>Poecilochaetus</i> 属	1 (9.1)	<i>Scolecopsis</i> 属	<i>Pista</i> 属
	オウギガニ科	1 (9.1)	2 (6.7)	1 (8.3)
	テッポウエビ属	1 (9.1)	ゴカイ科	イソギンチャク目
	テナガエビ科	1 (9.1)	2 (6.7)	1 (8.3)
	ヒメフタハベニツケガニ	1 (9.1)		ウミホタル科
	ユキミノ属	1 (9.1)		1 (8.3)
				ソデカラッパ
				1 (8.3)
				テナガヒメガザミ
				1 (8.3)
			ヒラムシ目	
			1 (8.3)	
			メリタヨコエビ科	
			1 (8.3)	
			紐形動物門	
			1 (8.3)	

調査地点		E25			
調査年度		平成20年度			
項目	調査時期				
	春季	夏季	秋季	冬季	
出現種類数	23	21	23	23	
個体数(個体/0.1m ²)	38	62	36	37	
湿重量(g/0.1m ²)	5.97	0.58	3.80	0.21	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	<i>Cypridina</i> 属		シリス亜科	シリス亜科	<i>Typosyllis</i> 属
	<i>Typosyllis</i> 属	4 (10.5)	17 (27.4)	11 (30.6)	8 (21.6)
	ナミノコザラ	4 (10.5)	<i>Leptochelia</i> 属	<i>Thalenessa</i> 属	ヒトモトイソメ
	<i>Micronephthys</i> 属	4 (10.5)	13 (21.0)	2 (5.6)	5 (13.5)
	<i>Notomastus</i> 属	2 (5.3)	ヒトモトイソメ	ギボシイソメ科	<i>Eunice</i> 属
	<i>Thalenessa</i> 属	2 (5.3)	8 (12.9)	2 (5.6)	2 (5.4)
	ウミケムシ科	2 (5.3)		テナガヒメガザミ	オナガナメクジウオ
	スナクモヒトデ科	2 (5.3)		2 (5.6)	2 (5.4)
	マルソコエビ属	2 (5.3)			キレコミゴカイ
					2 (5.4)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(8) 結果概要 (底生動物調査 : E25 : 工事前)

調査地点		E25			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		20	7	16	10
個体数(個体/0.1㎡)		44	8	31	19
湿重量(g/0.1㎡)		0.22	0.33	3.89	0.08
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	<i>Cypridina</i> 属		シリヌ亜科	<i>Typosyllis</i> 属	<i>Typosyllis</i> 属
	シリヌ亜科	9 (20.5)	2 (25.0)	10 (32.3)	8 (42.1)
			<i>Glycera</i> 属	紐形動物門	ヒツメガニ属
		5 (11.4)	1 (12.5)	4 (12.9)	2 (10.5)
	紐形動物門		<i>Leiochrides</i> 属	オナガナメクジウオ	ヒトモトイソメ
		4 (9.1)	1 (12.5)	2 (6.5)	2 (10.5)
	<i>Notomastus</i> 属		<i>Lumbrinerides</i> 属	ヒトモトイソメ	<i>Eunice</i> 属
		3 (6.8)	1 (12.5)	2 (6.5)	1 (5.3)
	<i>Pista</i> 属		<i>Pista</i> 属	ムシモドキギンチャク科	<i>Pisione</i> 属
		3 (6.8)	1 (12.5)	2 (6.5)	1 (5.3)
ムシモドキギンチャク科		テナガヒメガザミ		イカリナマコ科	
	3 (6.8)	1 (12.5)		1 (5.3)	
		ホンヤドカリ科		オボコスガメ属	
		1 (12.5)		1 (5.3)	
				ヒラムシ目	
				1 (5.3)	
				ホンヤドカリ科	
				1 (5.3)	
				異紐虫目	
				1 (5.3)	

調査地点		E25			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		26	17	17	29
個体数(個体/0.1㎡)		49	37	30	49
湿重量(g/0.1㎡)		2.17	7.83	4.50	3.03
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	<i>Cypridina</i> 属		メリタヨコエビ科	<i>Eunice</i> 属	<i>Eunice</i> 属
	オボコスガメ属	7 (14.3)	10 (27.0)	7 (23.3)	9 (18.4)
			<i>Leptochelia</i> 属	シリヌ亜科	<i>Typosyllis</i> 属
		7 (14.3)	6 (16.2)	4 (13.3)	4 (8.2)
	マルソコエビ属		ヤドカリ科	トゲハマツト	<i>Leptochelia</i> 属
		5 (10.2)	3 (8.1)	4 (13.3)	3 (6.1)
	紐形動物門		シリヌ亜科	アワムシロ	
		5 (10.2)	2 (5.4)	2 (6.7)	
	シリヌ亜科		ベニツケガニ属		
		3 (6.1)	2 (5.4)		
		マキザサ			
		2 (5.4)			
		マルソコエビ属			
		2 (5.4)			

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(9) 結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		22	22	17	24
個体数(個体/0.1㎡)		34	52	60	50
湿重量(g/0.1㎡)		0.74	1.44	2.47	1.88
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	<i>Typosyllis</i> 属	6 (17.6)	11 (21.2)	17 (28.3)	9 (18.0)
	ウスヒザラガイ科	3 (8.8)	9 (17.3)	16 (26.7)	7 (14.0)
	紐形動物門	3 (8.8)	6 (11.5)	8 (13.3)	4 (8.0)
	<i>Nephtys</i> 属	2 (5.9)	3 (5.8)	3 (5.0)	3 (6.0)
	<i>Pelogenia</i> 属	2 (5.9)			3 (6.0)
	ハイハイドロクダムシ属	2 (5.9)			3 (6.0)
					3 (6.0)
					3 (6.0)

調査地点		E25			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		30	11	8	19
個体数(個体/0.1㎡)		80	35	25	31
湿重量(g/0.1㎡)		4.16	0.16	0.03	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	18 (22.5)	18 (51.4)	16 (64.0)	4 (12.9)
	<i>Leptochelia</i> 属	12 (15.0)	4 (11.4)	2 (8.0)	3 (9.7)
	メリタヨコエビ科	5 (6.3)	3 (8.6)	2 (8.0)	3 (9.7)
	ヤドカリ科	5 (6.3)	2 (5.7)		2 (6.5)
	紐形動物門	5 (6.3)	2 (5.7)		2 (6.5)
					2 (6.5)
					2 (6.5)
					2 (6.5)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(10) 結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		37	22	8	10
個体数(個体/0.1㎡)		70	76	13	13
湿重量(g/0.1㎡)		9.54	2.90	3.08	3.22
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%		コキノカサガイ科 7 (10.0) <i>Leptocheilia</i> 属 6 (8.6) メリタヨコエビ科 5 (7.1) <i>Armandia</i> 属 4 (5.7) <i>Eunice</i> 属 4 (5.7)	<i>Eunice</i> 属 13 (17.1) オボコスガメ属 11 (14.5) ヒトモトイソメ 11 (14.5) <i>Typosyllis</i> 属 8 (10.5) <i>Leptocheilia</i> 属 6 (7.9)	<i>Typosyllis</i> 属 6 (46.2) ガザミ属 1 (7.7) カザリカニモリ 1 (7.7) シリス亜科 1 (7.7) タナイス目 1 (7.7) テッポウエビ属 1 (7.7) ムシロタケ 1 (7.7) ユンボンコエビ科 1 (7.7)	<i>Aricidea</i> 属 2 (15.4) <i>Spio</i> 属 2 (15.4) シリス亜科 2 (15.4) <i>Armandia</i> 属 1 (7.7) イソギンチャク目 1 (7.7) キバタケ 1 (7.7) ナミノコザラ 1 (7.7) マルソコエビ属 1 (7.7) ムシボタル 1 (7.7) 紐形動物門 1 (7.7)

調査地点		E25	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
出現種類数		19	
個体数(個体/0.1㎡)		68	
湿重量(g/0.1㎡)		0.20	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%		<i>Nummulites ammonoides</i> 25 (36.8) ヒサシソコエビ科 11 (16.2) <i>Amphistegina madagascariensis</i> 8 (11.8)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(11) 結果概要（底生動物調査：E25：工事中）

調査地点		E25	
調査年度		平成29年度	
項目	調査時期		
	秋季	冬季	
出現種数	27	32	
個体数(個体/0.1m ²)	65	152	
湿重量(g/0.1m ²)	5.34	4.91	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	シリシ亜科	ホソツメタナイス科	
	19 (29.2)	43 (28.3)	
	クシガタイソメ	シリシ亜科	
	9 (13.8)	27 (17.8)	
	<i>Pareurythoe</i> 属	<i>Eumice</i> 属	
	4 (6.2)	15 (9.9)	
		<i>Amphisorus heprrichii</i>	
		10 (6.6)	

調査地点		E25										
調査年度		平成30年度										
項目	調査時期											
	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季						
出現種数	26	13	19	28	23	14						
個体数(個体/0.1m ²)	48	34	67	149	49	28						
湿重量(g/0.1m ²)	1.05	77.76	0.36	0.52	0.03	0.10						
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	シリシ亜科	9 (18.8)	シリシ亜科	9 (26.5)	シリシ亜科	36 (53.7)	シリシ亜科	36 (24.2)	線形動物門	11 (22.4)	シリシ亜科	9 (32.1)
	イッカクカギゴカイ	6 (12.5)	<i>Linopherus</i> 属	7 (20.6)	線形動物門	5 (7.5)	<i>Eumice</i> 属	25 (16.8)	シリシ亜科	5 (10.2)	スナナリヨコエビ属	3 (10.7)
	ホソツメタナイス科	4 (8.3)	<i>Eumice</i> 属	6 (17.6)	タクフシゴカイ科	3 (8.8)	<i>Linopherus</i> 属	18 (12.1)	ミミズ綱	5 (10.2)	<i>Notomastus</i> 属	3 (10.7)
							線形動物門	15 (10.1)	線形動物門	3 (6.1)	Corophiinae	2 (7.1)
							イトゴカイ科	9 (6.0)	マルソコエビ属	3 (6.1)	キレコミゴカイ	2 (7.1)

調査地点		E25								
調査年度		令和元年度								
項目	調査時期									
	春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
出現種数	10	25	18	12	44					
個体数(個体/0.1m ²)	16	37	25	52	171					
湿重量(g/0.1m ²)	0.16	1.37	1.48	0.03	0.23					
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	細形動物門	4 (25.0)	ウスヒザラガイ科	8 (21.6)	シリシ亜科	2 (8.0)	シリシ亜科	15 (28.8)	シリシ亜科	41 (24.0)
	ノラリウロコムシ科	2 (12.5)	<i>Pista</i> 属	3 (8.1)	<i>Linopherus</i> 属	2 (8.0)	<i>Eumice</i> 属	8 (15.4)	<i>Eumice</i> 属	25 (14.6)
	ミナシロガネゴカイ	2 (12.5)	ケヤリムシ科	2 (5.4)	ハマツト	2 (8.0)	<i>Linopherus</i> 属	7 (13.5)	ニッポンスガメ	15 (8.8)
	<i>Notomastus</i> 属	2 (12.5)	テッポウエビ属	2 (5.4)	ホタルガイ属	2 (8.0)	オフエリアゴカイ科	6 (11.5)	<i>Linopherus</i> 属	10 (5.8)
	マルソコエビ属	1 (6.3)	サンカクヒンガニ	2 (5.4)	<i>Eumice</i> 属	2 (8.0)	線形動物門	6 (11.5)	Corophiinae	10 (5.8)
	スナナリヨコエビ属	1 (6.3)			ナガオタケフシゴカイ	2 (8.0)				
	ナナテイソメ科	1 (6.3)			<i>Pista</i> 属	2 (8.0)				
	<i>Pista</i> 属	1 (6.3)								
	<i>Pseudophilyra</i> 属	1 (6.3)								
	ガザミ属	1 (6.3)								

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(12) 結果概要 (底生動物調査: E25: 工事中)

調査地点		E25				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数	19	19	15	20	11	
個体数(個体/0.1mf)	25	43	43	25	16	
湿重量(g/0.1mf)	0.98	0.20	0.73	3.66	0.73	
主な出現種の個体数 (個体/0.1mf) ()内は組成比%	<i>Praxillella</i> 属 3 (12.0) マルハサミヨコエビ属 3 (12.0) ユキミノ属 2 (8.0) <i>Pista</i> 属 2 (8.0)	シリス亜科 18 (41.9) Corophiinae 4 (9.3)	シリス亜科 23 (53.5) ハブタエアシガイ 3 (7.0)	シリス亜科 4 (16.0) <i>Ceratonereis</i> 属 2 (8.0) <i>Armandia</i> 属 2 (8.0)	シリス亜科 4 (25.0) <i>Micropodarke</i> 属 2 (12.5) <i>Caulierella</i> 属 2 (12.5) ミクニシボリザクラ 1 (6.3) サンバゴカイ科 1 (6.3) ミナミシロガネゴカイ 1 (6.3) <i>Magelona</i> 属 1 (6.3) <i>Notomastus</i> 属 1 (6.3) <i>Pista</i> 属 1 (6.3) ニッポンスガメ 1 (6.3)	

調査地点		E25			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数	24	19	15	27	
個体数(個体/0.1mf)	62	35	25	63	
湿重量(g/0.1mf)	0.89	8.89	0.82	3.06	
主な出現種の個体数 (個体/0.1mf) ()内は組成比%	シリス亜科 11 (17.7) <i>Linopherus</i> 属 7 (11.3) 紐形動物門 6 (9.7) タケフシゴカイ科 6 (9.7) ホソツメタナイス科 5 (8.1)	<i>Eunice</i> 属 9 (25.7) タケフシゴカイ科 5 (14.3) <i>Amphisorus hemprichii</i> 2 (5.7) ハスメザクラ 2 (5.7) <i>Eteone</i> 属 2 (5.7) ウミナナフシ科 2 (5.7)	フタマタゴカイ 5 (20.0) <i>Micropodarke</i> 属 3 (12.0) シリス亜科 3 (12.0) 紐形動物門 2 (8.0) <i>Pista</i> 属 2 (8.0)	ユキミノ属 17 (27.0) <i>Eunice</i> 属 10 (15.9) タケフシゴカイ科 4 (6.3) ニッポンスガメ 4 (6.3)	

調査地点		E25				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数	36	54	13	16	7	
個体数(個体/0.1mf)	106	240	28	20	15	
湿重量(g/0.1mf)	0.97	1.58	0.04	1.42	3.54	
主な出現種の個体数 (個体/0.1mf) ()内は組成比%	ホソツメタナイス科 13 (12.3) シリス亜科 12 (11.3) ソコエビ属 8 (7.5) <i>Armandia</i> 属 7 (6.6)	ホソツメタナイス科 70 (29.2) シリス亜科 23 (9.6) ソコエビ属 14 (5.8)	紐形動物門 6 (21.4) シリス亜科 5 (17.9) <i>Pista</i> 属 5 (17.9) <i>Lysilla</i> 属 2 (7.1) オトヒメゴカイ科 2 (7.1)	シリス亜科 3 (15.0) ウスヒザラガイ科 2 (10.0) <i>Notomastus</i> 属 2 (10.0) ピロウドヒザラガイ 1 (5.0) ヒトスジツノクダマキ 1 (5.0) カノコアサリ 1 (5.0) キレコミゴカイ 1 (5.0) ミナミシロガネゴカイ 1 (5.0) <i>Nematonereis</i> 属 1 (5.0) フタバベニツケガニ属 1 (5.0)	紐形動物門 4 (26.7) <i>Pista</i> 属 3 (20.0) オオヒシガイ 2 (13.3) シリス亜科 2 (13.3) <i>Ceratonereis</i> 属 2 (13.3)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(13) 結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点		E27		
調査年度		平成19年度		
項目	調査時期	夏季	秋季	冬季
	出現種類数		12	25
個体数(個体/0.1㎡)		15	85	27
湿重量(g/0.1㎡)		0.06	5.83	11.20
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ウミケムシ科	2 (13.3)	<i>Typosyllis</i> 属 22 (25.9)	<i>Leptocheilia</i> 属 9 (33.3)
	ヒトモトイソメ	2 (13.3)	<i>Eunice</i> 属 14 (16.5)	ウスヒザラガイ科 2 (7.4)
	ヒメフタハベニツケガニ	2 (13.3)	<i>Notomastus</i> 属 8 (9.4)	オウギガニ科 2 (7.4)
	<i>Eunice</i> 属	1 (6.7)	オトヒメゴカイ科 6 (7.1)	スナクモヒトデ科 2 (7.4)
	<i>Notomastus</i> 属	1 (6.7)	シリス亜科 5 (5.9)	
	<i>Phoronis</i> 属	1 (6.7)		
	<i>Pista</i> 属	1 (6.7)		
	キレコミゴカイ	1 (6.7)		
	シリス亜科	1 (6.7)		
	テナガエビ科	1 (6.7)		
	ミナミメナガオサガニ	1 (6.7)		
	紐形動物門	1 (6.7)		

調査地点		E27			
調査年度		平成20年度			
項目	調査時期	春季	夏季	秋季	冬季
	出現種類数		21	20	22
個体数(個体/0.1㎡)		32	34	51	30
湿重量(g/0.1㎡)		0.47	1.25	9.54	2.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ウミケムシ科	4 (12.5)	<i>Typosyllis</i> 属 5 (14.7)	シリス亜科 7 (13.7)	<i>Leptocheilia</i> 属 3 (10.0)
	オボコスガメ属	4 (12.5)	<i>Eunice</i> 属 4 (11.8)	ヒトモトイソメ 7 (13.7)	オウギガニ科 3 (10.0)
	<i>Eunice</i> 属	3 (9.4)	<i>Leptocheilia</i> 属 4 (11.8)	<i>Marphysa</i> 属 4 (7.8)	<i>Eunice</i> 属 2 (6.7)
	<i>Leptocheilia</i> 属	2 (6.3)	ヒツメガニ属 3 (8.8)	ケヤリムシ科 4 (7.8)	<i>Typosyllis</i> 属 2 (6.7)
	ミクニシボリザクラ	2 (6.3)	ハマヅト 2 (5.9)	紐形動物門 4 (7.8)	アワムシロ 2 (6.7)
	ヤドカリ科	2 (6.3)	ヒメアワビ 2 (5.9)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(14) 結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点		E27			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		31	18	11	24
個体数(個体/0.1㎡)		70	47	19	37
湿重量(g/0.1㎡)		0.28	0.68	0.17	57.08
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%		<i>Leptocheilia</i> 属 10 (14.3) <i>Amphisorus hemprichii</i> 8 (11.4) ヒヅメガニ属 8 (11.4) ユキノカサガイ科 5 (7.1) メリタヨコエビ科 4 (5.7)	コシオリエビ属 13 (27.7) オウギガニ科 6 (12.8) ヒヅメガニ属 5 (10.6) ホンヤドカリ科 5 (10.6)	オウギガニ科 5 (26.3) <i>Typosyllis</i> 属 3 (15.8) <i>Prionospio</i> 属 2 (10.5) ウミケムシ科 2 (10.5) <i>Processa</i> 属 1 (5.3) カスリオフェリア 1 (5.3) シリス亜科 1 (5.3) ヒメアワビ 1 (5.3) ヒメフタハベニツケガニ 1 (5.3) ホシムシ目 1 (5.3) 紐形動物門 1 (5.3)	<i>Leptocheilia</i> 属 4 (10.8) <i>Pista</i> 属 4 (10.8) <i>Notomastus</i> 属 3 (8.1) <i>Eunice</i> 属 2 (5.4) <i>Platynereis</i> 属 2 (5.4) シリス亜科 2 (5.4) ヒヅメガニ属 2 (5.4) 紐形動物門 2 (5.4)

調査地点		E27			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		22	17	26	31
個体数(個体/0.1㎡)		32	28	38	64
湿重量(g/0.1㎡)		11.66	2.05	3.46	9.43
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%		ムシモドキギンチャク科 4 (12.5) <i>Typosyllis</i> 属 3 (9.4) <i>Axiiothella</i> 属 2 (6.3) <i>Eunice</i> 属 2 (6.3) <i>Notomastus</i> 属 2 (6.3) <i>Pista</i> 属 2 (6.3) ヒトモトイソメ 2 (6.3)	<i>Axiiothella</i> 属 4 (14.3) <i>Cypridina</i> 属 4 (14.3) アワムシロ 2 (7.1) オボコスガメ属 2 (7.1) ハマヅト 2 (7.1) ヒトモトイソメ 2 (7.1) マルハサミヨコエビ属 2 (7.1)	ウスヒザラガイ科 7 (18.4) ヒヅメガニ属 4 (10.5) <i>Typosyllis</i> 属 3 (7.9) オウギガニ科 2 (5.3)	<i>Leptocheilia</i> 属 9 (14.1) コシオリエビ属 9 (14.1) <i>Eunice</i> 属 4 (6.3) ヒメアワビ 4 (6.3)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(15) 結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点		E27			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		42	21	30	26
個体数(個体/0.1㎡)		78	36	47	47
湿重量(g/0.1㎡)		3.07	0.22	1.35	1.49
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	<i>Pista</i> 属	10 (12.8)	<i>Eunice</i> 属 4 (11.1)	<i>Armandia</i> 属 6 (12.8)	<i>Typosyllis</i> 属 7 (14.9)
	<i>Pelogenia</i> 属	7 (9.0)	ウスヒザラガイ科 4 (11.1)	<i>Typosyllis</i> 属 4 (8.5)	<i>Eunice</i> 属 5 (10.6)
	<i>Leptochelia</i> 属	5 (6.4)	ヒメゴカイ 4 (11.1)	<i>Axiothella</i> 属 3 (6.4)	<i>Leptochelia</i> 属 3 (6.4)
	ケヤリムシ科	4 (5.1)	<i>Lumbrinerides</i> 属 2 (5.6)	<i>Pista</i> 属 3 (6.4)	ヒメフタハベニツケガニ 3 (6.4)
	紐形動物門	4 (5.1)	アサセクーマ属 2 (5.6)	ムシモドキギンチャク科 3 (6.4)	
			コシオリエビ属 2 (5.6)		
			ヒツメガニ属 2 (5.6)		
			ヒトモトイソメ 2 (5.6)		
			ムシモドキギンチャク科 2 (5.6)		

調査地点		E27			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		34	26	20	30
個体数(個体/0.1㎡)		77	56	27	51
湿重量(g/0.1㎡)		8.23	3.41	0.07	0.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ユキノカサガイ科	19 (24.7)	ヒツメガニ属 7 (12.5)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 3 (11.1)	<i>Eunice</i> 属 5 (9.8)
	ヒツメガニ属	10 (13.0)	ヒトモトイソメ 5 (8.9)	イッカクガニ 3 (11.1)	ウミケムシ科 5 (9.8)
	シリス亜科	6 (7.8)	<i>Eunice</i> 属 4 (7.1)	<i>Pelogenia</i> 属 2 (7.4)	<i>Leptochelia</i> 属 4 (7.8)
			紐形動物門 4 (7.1)	ヒトモトイソメ 2 (7.4)	<i>Pista</i> 属 4 (7.8)
			シリス亜科 3 (5.4)	マルソコエビ属 2 (7.4)	<i>Typosyllis</i> 属 3 (5.9)
			ブドウガイ科 3 (5.4)		キレコミゴカイ 3 (5.9)
			ムシモドキギンチャク科 3 (5.4)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(16) 結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点		E27						
調査年度		平成25年度						
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季			
項目								
出現種類数		18	23	14	54			
個体数(個体/0.1㎡)		29	55	23	277			
湿重量(g/0.1㎡)		0.66	0.45	5.94	4.31			
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	5 (17.2)	<i>Leptocheilia</i> 属	8 (14.5)	<i>Typosyllis</i> 属	3 (13.0)	<i>Sorites orbiculus</i>	107 (38.6)
	ウスヒザラガイ科		オボコスガメ属	7 (12.7)	<i>Pista</i> 属	2 (8.7)	<i>Pista</i> 属	28 (10.1)
		3 (10.3)	<i>Eunice</i> 属	6 (10.9)	<i>Prionospio</i> 属	2 (8.7)	タケフシゴカイ科	25 (9.0)
	<i>Typosyllis</i> 属	2 (6.9)	<i>Pista</i> 属	4 (7.3)	イトゴカイ科	2 (8.7)	<i>Notomastus</i> 属	19 (6.9)
	イソギンチャク目	2 (6.9)	スナクモヒトデ科	4 (7.3)	キヌヒシガイ	2 (8.7)		
	ウミナナフシ科	2 (6.9)			クモヒトデ綱	2 (8.7)		
	ケヤリムシ科	2 (6.9)			ゴカイ科	2 (8.7)		
	シリス亜科	2 (6.9)			マルソコエビ属	2 (8.7)		

調査地点		E27	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
出現種類数		33	
個体数(個体/0.1㎡)		93	
湿重量(g/0.1㎡)		0.75	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	<i>Nummulites ammonoides</i>	20 (21.5)	
	サクラガイ属	13 (14.0)	
	マキガイホシムシ科	6 (6.5)	
	ミガキヒメザラ	5 (5.4)	
	ミナミヨツアナカシバン	5 (5.4)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(17) 結果概要 (底生動物調査: E27: 工事中)

調査地点		E27		
調査年度		平成29年度		
項目	調査時期			
	夏季	秋季	冬季	
出現種数	17	40	46	
個体数(個体/0.1m ²)	28	129	112	
湿重量(g/0.1m ²)	1.08	2.91	17.64	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	イトゴカイ科	シリス亜科	<i>Aphisorus hemprichii</i>	
	4 (14.3)	25 (19.4)	23 (20.5)	
	<i>Maldane</i> 属	<i>Myriochele</i> 属	<i>Pista</i> 属	
	3 (10.7)	23 (17.8)	10 (8.9)	
	テッポウエビ属	<i>Aphisorus hemprichii</i>	ヒゾメガンニ属	
	3 (10.7)	14 (10.9)	8 (7.1)	
	<i>Megalomma</i> 属		<i>Myriochele</i> 属	
	2 (7.1)		6 (5.4)	
<i>Pista</i> 属		シリス亜科		
2 (7.1)		6 (5.4)		
アワムシロ				
2 (7.1)				
ヒメフタハベニツケガニ				
2 (7.1)				

調査地点		E27					
調査年度		平成30年度					
項目	調査時期						
	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	
出現種数	35	28	24	20	25	26	
個体数(個体/0.1m ²)	128	90	84	33	62	65	
湿重量(g/0.1m ²)	3.56	11.83	4.78	1.36	0.12	0.61	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	<i>Pista</i> 属	<i>Pista</i> 属	<i>Pista</i> 属	シリス亜科	シリス亜科	シリス亜科	
	39 (30.5)	23 (25.6)	17 (20.2)	6 (18.2)	16 (25.8)	13 (20.0)	
	<i>Myriochele</i> 属	シリス亜科	シリス亜科	イソギンチャク目	線形動物門	スナナリヨコエビ属	
	11 (8.6)	9 (10.0)	15 (17.9)	4 (12.1)	12 (19.4)	6 (9.2)	
	<i>Notomastus</i> 属	<i>Aphisorus hemprichii</i>	<i>Notomastus</i> 属	<i>Lambrineris</i> 属	線形動物門	ツノヤドカリ属	
	10 (7.8)	9 (10.0)	11 (13.1)	3 (9.1)	6 (9.7)	6 (9.2)	
	シリス亜科	タクフシゴカイ科	<i>Aphisorus hemprichii</i>	サシバゴカイ科		Corophiinae	
	9 (7.0)	7 (7.8)	7 (8.3)	2 (6.1)		5 (7.7)	
	Corophiinae	<i>Notomastus</i> 属	<i>Eunice</i> 属	<i>Aphisorus hemprichii</i>		線形動物門	
	7 (5.5)	6 (6.7)	5 (6.0)	2 (6.1)		5 (7.7)	
				<i>Pista</i> 属			
				2 (6.1)			

調査地点		E27				
調査年度		令和元年度				
項目	調査時期					
	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
出現種数	21	28	23	39	48	
個体数(個体/0.1m ²)	29	56	54	131	142	
湿重量(g/0.1m ²)	0.70	6.75	0.38	0.17	6.46	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	フロロボヤ科	<i>Pista</i> 属	<i>Pista</i> 属	線形動物門	シリス亜科	
	5 (17.2)	13 (23.2)	15 (27.8)	32 (24.4)	17 (12.0)	
	シリス亜科	タクフシゴカイ科	ミナミノガネゴカイ	シリス亜科	<i>Eunice</i> 属	
	3 (10.3)	5 (8.9)	4 (7.4)	16 (12.2)	12 (8.5)	
	ニッポンスガメ	<i>Eunice</i> 属	ナガオタクフシゴカイ	<i>Eunice</i> 属	<i>Megalomma</i> 属	
	2 (6.9)	4 (7.1)	3 (5.6)	16 (12.2)	11 (7.7)	
	<i>Eunice</i> 属	線形動物門	ケヤリムシ科		ホソツメタナイス科	
	2 (6.9)	3 (5.4)	3 (5.6)		9 (6.3)	
			線形動物門		タクフシゴカイ科	
			3 (5.6)		8 (5.6)	
			線形動物門			
			3 (5.6)			
		<i>Myriochele</i> 属				
		3 (5.6)				

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(18) 結果概要 (底生動物調査: E27: 工事中)

調査地点		E27				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		35	27	16	20	47
個体数(個体/0.1m ²)		153	95	24	39	138
湿重量(g/0.1m ²)		3.29	5.16	2.37	3.46	12.93
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	42 (27.5)	<i>Pista</i> 属 30 (31.6)	<i>Eunice</i> 属 4 (16.7)	<i>Pista</i> 属 7 (17.9)	<i>Pista</i> 属 28 (20.3)
	マルソコエビ属	28 (18.3)	シリス亜科 9 (9.5)	<i>Pista</i> 属 4 (16.7)	シリス亜科 6 (15.4)	<i>Myriochele</i> 属 15 (10.9)
	ユキミノ属	12 (7.8)	ニッポンスガメ 9 (9.5)	ケハダヒザラガイ科 2 (8.3)	ミナミシログナゴカイ 6 (15.4)	ユキミノ属 12 (8.7)
	ホソツメタナイス科	9 (5.9)	<i>Eunice</i> 属 6 (6.3)	ハマツト 2 (8.3)	<i>Podarkeopsis</i> 属 2 (5.1)	ミナミシログナゴカイ 7 (5.1)
	<i>Pista</i> 属	8 (5.2)	マルソコエビ属 5 (5.3)		<i>Ceratonereis</i> 属 2 (5.1)	
					ホンヤドカリ科 2 (5.1)	

調査地点		E27			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		34	12	22	32
個体数(個体/0.1m ²)		107	21	51	109
湿重量(g/0.1m ²)		1.34	18.94	0.79	2.93
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	シリス亜科	12 (11.2)	<i>Pista</i> 属 5 (23.8)	<i>Pista</i> 属 12 (23.5)	ホソツメタナイス科 25 (22.9)
	<i>Eunice</i> 属	10 (9.3)	ナガオタケフシゴカイ 4 (19.0)	<i>Myriochele</i> 属 5 (9.8)	シリス亜科 10 (9.2)
	メリタヨコエビ属	9 (8.4)	<i>Eunice</i> 属 3 (14.3)	紐形動物門 3 (5.9)	<i>Pista</i> 属 8 (7.3)
	ホソツメタナイス科	7 (6.5)		シリス亜科 3 (5.9)	
	<i>Linopherus</i> 属	6 (5.6)		<i>Ceratonereis</i> 属 3 (5.9)	
	ウミホタル科	6 (5.6)		ケヤリムシ科 3 (5.9)	
				ニッポンスガメ 3 (5.9)	

調査地点		E27				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		34	50	27	19	35
個体数(個体/0.1m ²)		132	155	69	66	93
湿重量(g/0.1m ²)		0.94	7.54	8.96	14.90	1.64
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	<i>Pista</i> 属	28 (21.2)	ホソツメタナイス科 19 (12.3)	<i>Pista</i> 属 9 (13.0)	キレコミゴカイ 21 (31.8)	ニッポンスガメ 9 (9.7)
	<i>Myriochele</i> 属	26 (19.7)	コクビワケヤリムシ属 10 (6.5)	タケフシゴカイ科 8 (11.6)	<i>Pista</i> 属 12 (18.2)	<i>Pista</i> 属 8 (8.6)
	ホソツメタナイス科	13 (9.8)	<i>Pista</i> 属 10 (6.5)	<i>Myriochele</i> 属 6 (8.7)	タケフシゴカイ科 6 (9.1)	ケヤリムシ科 6 (6.5)
	マルソコエビ属	9 (6.8)	シリス亜科 8 (5.2)	シリス亜科 5 (7.2)	<i>Phoronis</i> 属 6 (9.1)	ホソツメタナイス科 6 (6.5)
	紐形動物門	8 (6.1)	<i>Notomastus</i> 属 8 (5.2)	キレコミゴカイ 5 (7.2)	ケヤリムシ科 4 (6.1)	シリス亜科 5 (5.4)
			<i>Myriochele</i> 属 8 (5.2)	ミナミシログナゴカイ 5 (7.2)		
			ケヤリムシ科 8 (5.2)			

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(19) 結果概要 (底生動物調査：E37：工事前)

調査地点		E37			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		15	11	10	13
個体数(個体/0.1㎡)		29	16	10	15
湿重量(g/0.1㎡)		0.10	0.46	0.14	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ニシキウズガイ科		オボコスガメ属	<i>Clymenella</i> 属	オウギガニ科
	5 (17.2)	4 (25.0)	1 (10.0)	2 (13.3)	
	<i>Armandia</i> 属		オウギガニ科	<i>Laonice</i> 属	ユンボソコエビ科
	4 (13.8)	3 (18.8)	1 (10.0)	2 (13.3)	
	ハイハイドロクダムシ属		<i>Schistomerings</i> 属	<i>Lumbrineris</i> 属	<i>Glycera</i> 属
	4 (13.8)	1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
	<i>Phyllodoce</i> 属		<i>Sthenelais</i> 属	<i>Magelona</i> 属	<i>Scoletopsis</i> 属
	2 (6.9)	1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
	<i>Processa</i> 属		イシクヨコエビ科	<i>Sthenelais</i> 属	イソヨコエビ属
	2 (6.9)	1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
	ホソヨコエビ属		ウミケムシ科	ウミクワガタ科	イッカクガニ
	2 (6.9)	1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
	マルソコエビ属		スナモグリ属	コシオリエビ属	キレコミゴカイ
	2 (6.9)	1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
		ハマヅト	テナガヒメガザミ	クマ属	
		1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
		ヒメアワビ	ヒメフタハベニソクガニ	スナクモヒトデ科	
		1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
		メリタヨコエビ属	ムシロガイ科	ソデカラッパ	
		1 (6.3)	1 (10.0)	1 (6.7)	
		紐形動物門		テナガヒメガザミ	
		1 (6.3)		1 (6.7)	
				マメコブシガニ属	
				1 (6.7)	
				ミナミシロガネゴカイ	
				1 (6.7)	

調査地点		E37			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		21	13	16	2
個体数(個体/0.1㎡)		36	15	26	2
湿重量(g/0.1㎡)		8.62	1.04	14.68	0.56
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ハイハイドロクダムシ属		ツノヤドカリ属	コツブムシ科	<i>Thalenessa</i> 属
	12 (33.3)	3 (20.0)	5 (19.2)	1 (50.0)	
	マルソコエビ属		<i>Armandia</i> 属	<i>Glycera</i> 属	アワムシロ
	3 (8.3)	1 (6.7)	3 (11.5)	1 (50.0)	
	<i>Processa</i> 属		<i>Glycera</i> 属	イッカクガニ	
	2 (5.6)	1 (6.7)	2 (7.7)		
	アコヤガイ属		<i>Leptochelia</i> 属	コシオリエビ属	
	2 (5.6)	1 (6.7)	2 (7.7)		
			<i>Nephtys</i> 属	ハマヅト	
			1 (6.7)	2 (7.7)	
			<i>Phyllodoce</i> 属	マガキガイ	
			1 (6.7)	2 (7.7)	
			<i>Spio</i> 属		
			1 (6.7)		
		カノキセワタガイ科			
		1 (6.7)			
		ゴカイ科			
		1 (6.7)			
		シリス亜科			
		1 (6.7)			
		マガキガイ			
		1 (6.7)			
		ヤドカリ科			
		1 (6.7)			
		紐形動物門			
		1 (6.7)			

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(20) 結果概要（底生動物調査：E37：工事前）

調査地点		E37			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		17	20	23	14
個体数(個体/0.1㎡)		78	29	36	22
湿重量(g/0.1㎡)		6.33	64.24	5.04	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ウスヒザラガイ科	28 (35.9)	マガキガイ 5 (17.2)	ゴカイ科 3 (8.3)	ヤドカリ科 7 (31.8)
	Notomastus属	15 (19.2)	Armandia属 2 (6.9)	ツマジロサンゴヤドカリ 3 (8.3)	ウミグモ目 3 (13.6)
	ウスヒメアワビ	5 (6.4)	Processa属 2 (6.9)	ムシモドキギンチャク科 3 (8.3)	
	ユキノカサガイ科	5 (6.4)	ウスヒザラガイ科 2 (6.9)	Armandia属 2 (5.6)	
	異紐虫目	4 (5.1)	オウギガニ科 2 (6.9)	Pseudopolydora属 2 (5.6)	
			マメコブシガニ属 2 (6.9)	オウギガニ科 2 (5.6)	
				ダンゴクモヒトデ 2 (5.6)	
				トゲハマツト 2 (5.6)	
				ヘソアキトミガイ 2 (5.6)	
				ホソスジチョウジガイ 2 (5.6)	

調査地点		E37			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		25	8	7	10
個体数(個体/0.1㎡)		45	9	20	43
湿重量(g/0.1㎡)		0.36	0.33	0.10	0.03
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ムシモドキギンチャク科	7 (15.6)	ヤドカリ科 2 (22.2)	Armandia属 6 (30.0)	ハイハイドロクダムシ属 22 (51.2)
	スナクモヒトデ科	4 (8.9)	Glycera属 1 (11.1)	カンフーソコエビ属 4 (20.0)	マルソコエビ属 9 (20.9)
	Armandia属	3 (6.7)	イトクズホシムシ属 1 (11.1)	ハイハイドロクダムシ属 4 (20.0)	カンフーソコエビ属 4 (9.3)
	イカリナマコ科	3 (6.7)	コブシガニ科 1 (11.1)	Sthenelais属 2 (10.0)	
	ヒゲナガヨコエビ属	3 (6.7)	ゴマフカニモリ 1 (11.1)	ナギサスナホリムシ属 2 (10.0)	
	ヤドカリ科	3 (6.7)	ツクシガイ科 1 (11.1)		
			ナナテイソメ科 1 (11.1)		
			ホシムシ目 1 (11.1)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(21) 結果概要（底生動物調査：E37：工事前）

調査地点		E37			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		10	17	12	7
個体数(個体/0.1㎡)		17	24	28	22
湿重量(g/0.1㎡)		0.12	1.16	0.04	0.04
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%		マルソコエビ属 5 (29.4) <i>Nephtys</i> 属 4 (23.5) <i>Spio</i> 属 1 (5.9) アサセクーマ属 1 (5.9) ウミケムシ科 1 (5.9) オボコスガメ属 1 (5.9) シリス亜科 1 (5.9) ナギサスナホリムシ属 1 (5.9) ニッコウガイ属 1 (5.9) ヒツメガニ属 1 (5.9)	オウギガニ科 4 (16.7) <i>Ceratonereis</i> 属 2 (8.3) マルソコエビ属 2 (8.3) ミナミシロガネゴカイ 2 (8.3) 紐形動物門 2 (8.3)	マルソコエビ属 13 (46.4) アサセクーマ属 3 (10.7) ハイハイドロクダムシ属 2 (7.1) 紐形動物門 2 (7.1)	マルソコエビ属 11 (50.0) ナギサスナホリムシ属 4 (18.2) ブドウガイ科 3 (13.6)

調査地点		E37			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		17	8	7	32
個体数(個体/0.1㎡)		29	11	7	110
湿重量(g/0.1㎡)		0.07	0.53	1.91	6.27
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%		マルソコエビ属 4 (13.8) ニシキウズガイ科 3 (10.3) 紐形動物門 3 (10.3) <i>Prionospio</i> 属 2 (6.9) サンバクソコエビ属 2 (6.9) フサゴカイ科 2 (6.9) ホンヤドカリ科 2 (6.9) ミナミシロガネゴカイ 2 (6.9)	オボコスガメ属 2 (18.2) スジホシムシ 2 (18.2) ニシキウズガイ科 2 (18.2) <i>Notomastus</i> 属 1 (9.1) <i>Poecilochaetus</i> 属 1 (9.1) <i>Scoloplos</i> 属 1 (9.1) ケハダヒザラガイ属 1 (9.1) ミクニシボリザクラ 1 (9.1)	アサセクーマ属 1 (14.3) サツマビナ 1 (14.3) ナギサスナホリムシ属 1 (14.3) ヒゲナガヨコエビ属 1 (14.3) マルソコエビ属 1 (14.3) ミナミシロガネゴカイ 1 (14.3) ユンボソコエビ科 1 (14.3)	マルソコエビ属 36 (32.7) ハイハイドロクダムシ属 20 (18.2) ナギサスナホリムシ属 6 (5.5)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(22) 結果概要（底生動物調査：E37：工事前、工事中）

調査地点	E37	
調査年度	平成26年度	
調査時期	春季	
項目		
出現種類数	67	
個体数(個体/0.1㎡)	201	
湿重量(g/0.1㎡)	12.98	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	ウスヒザラガイ科	
	33	(16.4)
	スナクモヒトデ科	
	17	(8.5)
	リュウキュウシボリガイ	
	15	(7.5)

調査地点	E37			
調査年度	平成29年度			
調査時期	秋季		冬季	
項目				
出現種類数	15		22	
個体数(個体/0.1㎡)	29		42	
湿重量(g/0.1㎡)	1.71		0.41	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ()内は組成比%	アワムシロ		線形動物門	
	5	(17.2)	8	(19.0)
	線形動物門		<i>Amphisorus hemprichii</i>	
	5	(17.2)	4	(9.5)
	<i>Euthalenessa</i> 属		<i>Glycera</i> 属	
	3	(10.3)	3	(7.1)
	<i>Glycera</i> 属		<i>Scolecipis</i> 属	
	2	(6.9)	3	(7.1)
	<i>Pisione</i> 属		紐形動物門	
	2	(6.9)	3	(7.1)
ヒメゴカイ				
2	(6.9)			
ミクニシボリザクラ				
2	(6.9)			

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(23) 結果概要（底生動物調査：E37：工事中）

調査地点		E37											
調査年度		平成30年度											
項目	調査時期		台風後①		台風後②		令和元年度						
	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季					
出現種数	29	24	20	34	31	35	35	35					
個体数(個体/0.1m ²)	59	82	64	67	116	165	165	165					
湿重量(g/0.1m ²)	0.40	0.01	>0.01	4.58	8.39	0.50	0.50	0.50					
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	<i>Myriochele</i> 属	6 (10.2)	線形動物門	45 (54.9)	Corophiinae	16 (25.0)	線形動物門	14 (20.9)	Corophiinae	36 (31.0)	Corophiinae	46 (27.9)	
	線形動物門	5 (8.5)			ツノヤドカリ属	14 (21.9)	<i>Euthalenessa</i> 属	6 (9.0)	線形動物門	20 (17.2)	タナイス科	25 (15.2)	
	アワムシロ	5 (8.5)			線形動物門	12 (18.8)	ヒラムシ目	5 (7.5)	<i>Pisicore</i> 属	20 (17.2)	線形動物門	23 (13.9)	
	紐形動物門	4 (6.8)			ニッポンスガメ	4 (6.3)					ニッポンスガメ	9 (5.5)	
	ニッポンスガメ	4 (6.8)											
	ホンヤドカリ科	4 (6.8)											
	クモヒトヅ綱	4 (6.8)											

調査地点		E37										
調査年度		令和元年度										
項目	調査時期		台風後		令和元年度		令和元年度					
	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季				
出現種数	31	25	24	16	34	34	34	34				
個体数(個体/0.1m ²)	104	46	47	45	57	57	57	57				
湿重量(g/0.1m ²)	0.09	0.19	0.37	>0.01	0.07	0.07	0.07	0.07				
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	Corophiinae	31 (29.8)	ニッポンスガメ	9 (19.6)	線形動物門	12 (25.5)	線形動物門	18 (40.0)	ニッポンスガメ	8 (14.0)	ニッポンスガメ	8 (14.0)
	ニッポンスガメ	14 (13.5)	ホンヤドカリ科	4 (8.7)	Corophiinae	5 (10.6)	Corophiinae	10 (22.2)	ホンヤドカリ科	6 (10.5)	ホンヤドカリ科	6 (10.5)
	線形動物門	10 (9.6)	線形動物門	3 (6.5)	<i>Linopherus</i> 属	3 (6.4)	<i>Prionospio</i> 属	3 (6.7)	線形動物門	3 (5.3)	線形動物門	3 (5.3)
	Pagurapseudidae	9 (8.7)	<i>Linopherus</i> 属	3 (6.5)	<i>Dispio</i> 属	3 (6.4)			<i>Amphistogina madagascariensis</i>	3 (5.3)	<i>Amphistogina madagascariensis</i>	3 (5.3)
			シリプトヒザラガイ	3 (6.5)	<i>Pseudopolydora</i> 属	3 (6.4)			<i>Glycera</i> 属	3 (5.3)	<i>Glycera</i> 属	3 (5.3)
									ベニスビオ	3 (5.3)	ベニスビオ	3 (5.3)

調査地点		E37										
調査年度		令和2年度										
項目	調査時期		台風後		令和2年度		令和2年度					
	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季				
出現種数	8	34	23	20	32	32	32	32				
個体数(個体/0.1m ²)	14	82	56	53	57	57	57	57				
湿重量(g/0.1m ²)	0.04	7.16	5.56	5.73	0.90	0.90	0.90	0.90				
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	Corophiinae	4 (28.6)	線形動物門	21 (25.6)	Corophiinae	16 (28.6)	線形動物門	17 (32.1)	シリプトヒザラガイ	5 (15.6)	シリプトヒザラガイ	5 (15.6)
	マルソコエビ属	3 (21.4)	線形動物門	5 (6.1)	線形動物門	6 (10.7)	イソギンチャク目	7 (13.2)	ナギサクマ科	5 (15.6)	ナギサクマ科	5 (15.6)
	キセツタガイ科	2 (14.3)	メリタヨコエビ科	5 (6.1)	ケンサキスピオ	4 (7.1)	<i>Notomastus</i> 属	5 (9.4)	ホンヤドカリ科	3 (9.4)	ホンヤドカリ科	3 (9.4)
	ウスヒザラガイ科	1 (7.1)	ヤドカリ科	5 (6.1)	<i>Glycera</i> 属	3 (5.4)	<i>Processa</i> 属	3 (5.7)	<i>Amphisorus hamprichii</i>	2 (6.3)	<i>Amphisorus hamprichii</i>	2 (6.3)
	<i>Linopherus</i> 属	1 (7.1)			ホンソメタナイス科	3 (5.4)	クモヒトヅ綱	3 (5.7)				
	<i>Scolecipis</i> 属	1 (7.1)			クモヒトヅ綱	3 (5.4)						
	サンバクソコエビ属	1 (7.1)										
	オナガナメクジウオ	1 (7.1)										

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(24) 結果概要（底生動物調査：E37：工事中）

調査地点		E37			
調査年度		令和3年度			
項目	調査時期				
	春季	夏季	秋季	冬季	
出現種類数	27	8	23	27	
個体数(個体/0.1m ²)	128	11	39	54	
湿重量(g/0.1m ²)	0.37	0.05	0.44	4.55	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	線形動物門	縹形動物門	縹形動物門	<i>Pista</i> 属	
	51 (39.8)	2 (18.2)	8 (20.5)	9 (16.7)	
	ニッポンスガメ	ホンヤドカリ科	イソギンチャク目	<i>Armandia</i> 属	
	32 (25.0)	2 (18.2)	3 (7.7)	8 (14.8)	
	<i>Myriochele</i> 属	星口動物門	ミガキヒメザラ	縹形動物門	
	10 (7.8)	2 (18.2)	3 (7.7)	5 (9.3)	
		ナガオタケフシゴカイ	<i>Euthalenessa</i> 属	イソギンチャク目	
		1 (9.1)	3 (7.7)	3 (5.6)	
		ミガキヒメザラ	<i>Linopherus</i> 属	<i>Glycera</i> 属	
		1 (9.1)	2 (5.1)	3 (5.6)	
		ワタリガニ科	ソデナガスビオ		
		1 (9.1)	2 (5.1)		
	ミナミシロガネゴカイ	<i>Myriochele</i> 属			
	1 (9.1)	2 (5.1)			
	<i>Armandia</i> 属				
	1 (9.1)				

調査地点		E37				
調査年度		令和4年度				
項目	調査時期					
	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
出現種類数	8	27	11	32	17	
個体数(個体/0.1m ²)	11	165	16	50	46	
湿重量(g/0.1m ²)	0.13	15.22	2.84	0.36	0.17	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m ²) ()内は組成比%	縹形動物門	Corophiinae	縹形動物門	イトゴカイ科	<i>Armandia</i> 属	
	3 (27.3)	115 (69.7)	4 (25.0)	4 (8.0)	20 (43.5)	
	<i>Pisiole</i> 属	縹形動物門	縹形動物門	縹形動物門	<i>Prionospio</i> 属	
	2 (18.2)	14 (8.5)	2 (12.5)	3 (6.0)	6 (13.0)	
	縹形動物門		オトヒメゴカイ科	オトヒメゴカイ科		
	1 (9.1)		2 (12.5)	3 (6.0)		
	<i>Euthalenessa</i> 属		ハナギンチャク科	<i>Armandia</i> 属		
	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)		
	オトヒメゴカイ科		リュウキュウサルボウ	ドロノミ属		
	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)		
	<i>Sphaerosyllis</i> 属		<i>Glycera</i> 属	クモヒトデ綱		
	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)		
ケンサキシビオ		<i>Linopherus</i> 属				
1 (9.1)		1 (6.3)				
ナギサクマ科		<i>Caulerella</i> 属				
1 (9.1)		1 (6.3)				
		アナエビ科				
		1 (6.3)				
		ガザミ属				
		1 (6.3)				

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.5(1) 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査）

調査地点		E8																									
工事		工事前																									
調査年度	H19			H20				H21			H22				H23				H24				H25				H26
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数(種類)	5	9	7	16	14	14	14	7	2	7	4	23	10	13	24	9	12	15	14	10	5	12	18	10	8	16	19
出現種類数範囲	2~24																										
個体数(個体/0.1㎡)	133	24	12	35	32	28	19	11	3	12	4	41	20	22	66	10	14	22	42	15	11	18	52	17	18	35	63
個体数範囲	3~133																										
湿重量(g/0.1㎡)	0.60	0.07	0.01	1.27	0.91	0.54	0.12	0.01	0.07	0.05	0.02	0.31	1.82	0.26	0.47	0.58	0.06	0.10	0.11	0.46	0.45	0.01	2.65	1.41	0.89	3.42	2.31
湿重量範囲	0.01~3.42																										

調査地点		E8																														
工事		工事中																														
調査年度	H29			H30				H31	R1				R2				R3				R4											
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数(種類)	9	32	41	9	6	12	12	17	25	12	20	17	25	31	42	23	10	17	16	29	38	19	31	45	19	31	46					
出現種類数範囲	6~46																															
個体数(個体/0.1㎡)	31	52	90	14	9	27	43	41	38	22	34	46	86	62	99	72	11	41	21	80	81	35	54	105	40	74	162					
個体数範囲	9~162																															
湿重量(g/0.1㎡)	0.04	0.44	32.18	0.05	17.02	0.18	0.36	0.06	0.14	0.45	0.18	0.42	0.19	0.20	5.03	0.35	0.08	0.22	0.22	1.6	0.6	0.52	0.26	3.08	0.68	1.35	1.98					
湿重量範囲	0.04~32.18																															

調査地点		E25																										
工事		工事前																										
調査年度	H19			H20				H21			H22				H23				H24				H25				H26	
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数(種類)	10	18	10	23	21	23	23	20	7	16	10	26	17	17	29	22	22	17	24	30	11	8	19	37	22	8	10	19
出現種類数範囲	7~37																											
個体数(個体/0.1㎡)	11	30	12	38	62	36	37	44	8	31	19	49	37	30	49	34	52	60	50	80	35	25	31	70	76	13	13	68
個体数範囲	8~80																											
湿重量(g/0.1㎡)	0.03	0.00	2.41	5.97	0.58	3.80	0.21	0.22	0.33	3.89	0.08	2.17	7.83	4.50	3.03	0.74	1.44	2.47	1.88	4.16	0.16	0.03	0.14	9.54	2.90	3.08	3.22	0.20
湿重量範囲	0.00~9.54																											

調査地点		E25																														
工事		工事中																														
調査年度	H29			H30				H31	R1				R2				R3				R4											
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数(種類)	27	32	26	13	19	28	23	14	10	25	18	12	44	19	19	15	20	11	24	19	15	27	36	54	13	16	7					
出現種類数範囲	7~54																															
個体数(個体/0.1㎡)	65	152	48	34	67	149	49	28	16	37	25	52	171	25	43	43	25	16	62	35	25	63	106	240	28	20	15					
個体数範囲	15~240																															
湿重量(g/0.1㎡)	5.34	4.91	1.05	77.76	0.36	0.52	0.03	0.1	0.16	1.37	1.48	0.03	0.23	0.98	0.20	0.73	3.66	0.73	0.89	8.89	0.82	3.06	0.97	1.58	0.04	1.42	3.54					
湿重量範囲	0.03~77.76																															

注) 本環境監視調査結果(令和4年度)は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.5(2) 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査）

調査地点		E27																										
工事		工事前																										
調査年度	H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数(種類)	12	25	16	21	20	22	23	31	18	11	24	22	17	26	31	42	21	30	26	34	26	20	30	18	23	14	54	33
出現種類数範囲	11~54																											
個体数(個体/0.1m ²)	15	85	27	32	34	51	30	70	47	19	37	32	28	38	64	78	36	47	47	77	56	27	51	29	55	23	277	93
個体数範囲	15~277																											
湿重量(g/0.1m ²)	0.06	5.83	11.20	0.47	1.25	9.54	2.26	0.28	0.68	0.17	57.08	11.66	2.05	3.46	9.43	3.07	0.22	1.35	1.49	8.23	3.41	0.07	0.26	0.66	0.45	5.94	4.31	0.75
湿重量範囲	0.06~57.08																											

調査地点		E27																										
工事		工事中																										
調査年度	H29			H30				H31	R1				R2				R3				R4							
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数(種類)	17	40	46	35	28	24	20	25	35	21	28	23	39	48	35	27	16	20	47	34	12	22	32	34	50	27	19	35
出現種類数範囲	12~50																											
個体数(個体/0.1m ²)	28	129	112	128	90	84	33	62	165	29	56	54	131	142	153	95	24	39	138	107	21	51	109	132	155	69	66	93
個体数範囲	21~165																											
湿重量(g/0.1m ²)	1.08	2.91	17.64	3.56	11.83	4.78	1.36	0.12	0.5	0.7	6.75	0.38	0.17	6.46	3.29	5.16	2.37	3.46	12.93	1.34	18.94	0.79	2.39	0.94	7.54	8.96	14.9	1.64
湿重量範囲	0.12~18.94																											

調査地点		E37																											
工事		工事前																											
調査年度	H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26				
調査時期	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数(種類)	15	11	10	13	21	13	16	2	17	20	23	14	25	8	7	10	10	17	12	7	17	8	7	32	67				
出現種類数範囲	2~67																												
個体数(個体/0.1m ²)	29	16	10	15	36	15	26	2	78	29	36	22	45	9	20	43	17	24	28	22	29	11	7	110	201				
個体数範囲	2~201																												
湿重量(g/0.1m ²)	0.10	0.46	0.14	0.14	8.62	1.04	14.68	0.56	6.33	64.24	5.04	0.14	0.36	0.33	0.10	0.03	0.12	1.16	0.04	0.04	0.07	0.53	1.91	6.27	12.98				
湿重量範囲	0.03~64.24																												

調査地点		E37																									
工事		工事中																									
調査年度	H29		H30				H31	R1				R2				R3				R4							
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種類数(種類)	15	22	29	24	20	34	31	35	31	25	24	16	34	8	34	23	20	21	27	8	23	27	8	27	11	32	17
出現種類数範囲	8~35																										
個体数(個体/0.1m ²)	29	42	59	82	64	67	116	165	104	46	47	45	57	14	82	56	53	32	128	11	39	54	11	165	16	50	46
個体数範囲	11~165																										
湿重量(g/0.1m ²)	1.71	0.41	0.4	0.01	<0.01	4.58	8.39	0.5	0.09	0.19	0.37	<0.01	0.07	0.04	7.16	5.56	5.73	0.90	0.37	0.05	0.44	4.55	0.13	15.22	2.84	0.36	0.17
湿重量範囲	<0.01~15.22																										

注) 本環境監視調査結果(令和4年度)は、黄色の網掛けで示しています。

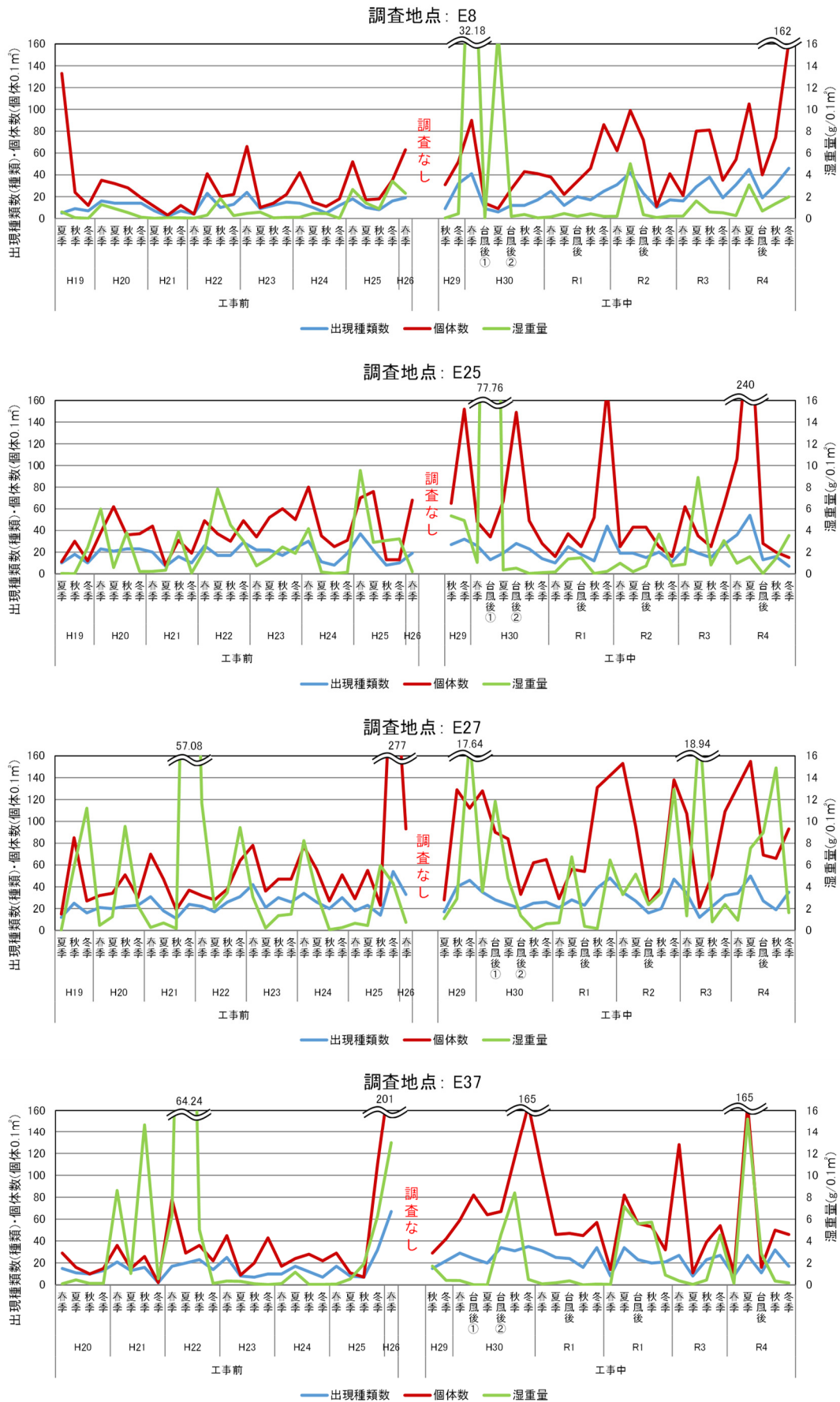


図-3.5.2.4 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量 (底生動物調査)

表-3.5.2.6(1) 底生動物の主な出現種の経年比較(E8)

調査年度	E8													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(2) 底生動物の主な出現種の経年比較(E8)

調査年度	E8													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(3) 底生動物の主な出現種の経年比較(E25)

調査年度	E25													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(4) 底生動物の主な出現種の経年比較(E25)

	E25													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査年度														
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>														

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(5) 底生動物の主な出現種の経年比較(E27)

調査年度	E27													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(6) 底生動物の主な出現種の経年比較(E27)

調査年度	E27													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(7) 底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

調査年度	E37													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(8) 底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

調査年度	E37													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(9) 底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

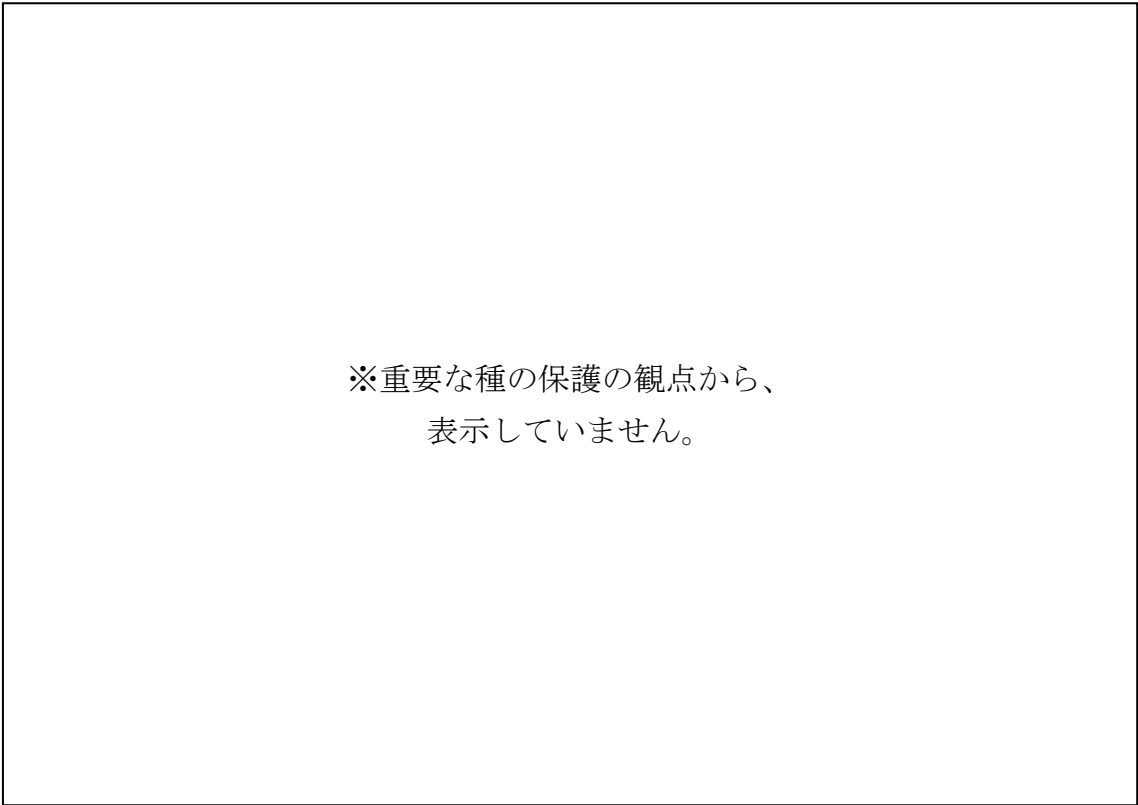
調査年度	E37													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>														

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

(3) 潮間帯生物調査（定量的調査）

目視観察における主な出現種（植物及び動物毎の出現頻度の高い上位3種）の経年出現状況を表-3.5.2.7に示します。植物では、主な出現種である藍藻綱、サビ亜科（無節サンゴモ類）及びハイテングサは、春季調査のみを実施した平成26年度を除くと、工事前から工事中を通して、全ての年度でいずれかの季節で確認されています。動物では、主な出現種であるリュウキュウアオガイ、オキナワイシダタミ及びアマオブネガイは、工事前から工事中を通して、全ての年度でいずれかの季節で確認されています。

刈り取り、堆積物採取における、経年の結果概要を表-3.5.2.8に、動植物の経年の平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量を表-3.5.2.9、図-3.5.2.6及び図-3.5.2.7に示します。調査を実施した地点（L-潮4）において、動植物の経年の平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量は、いずれの調査時期においても概ね工事前における変動の範囲内でした。また、主な出現種についても工事前と比較して大きな変化はみられませんでした。



※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-3.5.2.5 潮間帯生物調査の調査地点

表-3.5.2.7 目視観察 主な出現種の出現状況（潮間帯生物調査）

調査地点		L-潮4																															
工事		工事前																															
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26				
調査時期		夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春
植物	藍藻綱	○	○	○	○																												
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

工事		工事中																														
調査年度		H29		H30				R1				R2				R3				R4												
調査時期		秋	冬	春	台	夏	台	秋	冬	春	夏	台	秋	冬	春	夏	台	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	台	秋	冬
植物	藍藻綱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注）本環境監視調査結果（令和4年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.8(1) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
項目				
植物	出現種類数	5	6	14
	平均出現種類数	3 (1 ~ 4)	5 (3 ~ 6)	8 (5 ~ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.35 (0.20 ~ 0.50)	0.20 (0.00 ~ 0.40)	1.60 (0.20 ~ 3.00)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ヒメハモク 0.25 (71.4) ハイテングサ 0.10 (28.6)	ハイテングサ 0.20 (100.0)	ヒメテングサ 1.50 (93.8) ヒトエグサ 0.10 (6.3)
	() 内は組成比%			
動物	出現種類数	23	27	21
	平均出現種類数	16 (12 ~ 19)	17 (14 ~ 20)	14 (10 ~ 18)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	65 (34 ~ 96)	60 (55 ~ 64)	50 (36 ~ 64)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	35.05 (33.95 ~ 36.15)	37.84 (29.74 ~ 45.94)	23.77 (18.94 ~ 28.59)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 16 (23.8) アマオブネガイ 7 (10.8) クマドリゴカイ 6 (8.5) モクズヨコエビ属 5 (7.7) マダラヨコバサミ 4 (6.2)	アマオブネガイ 10 (16.8) ヤッコカンザシゴカイ 8 (13.4) マダラヨコバサミ 7 (10.9) イソカニダマシ属 6 (10.1) サメハダホシムシ属 5 (7.6)	アマオブネガイ 8 (15.0) イソカニダマシ属 7 (14.0) オキナワイシダタミ 7 (13.0) Nipponacmea属 6 (12.0) ヤッコカンザシゴカイ 5 (9.0)
() 内は組成比%				

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(2) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	9	7	12	14
	平均出現種類数	5 (2 ~ 7)	5 (4 ~ 5)	9 (8 ~ 10)	8 (1 ~ 14)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.15 (0.00 ~ 0.30)	0.20 (0.00 ~ 0.40)	12.55 (6.00 ~ 19.10)	1.10 (0.00 ~ 2.20)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 0.15 (100.0)	ヒメテングサ 0.10 (50.0) ハイテングサ 0.10 (50.0)	ハイテングサ 9.25 (73.7) ヒトエグサ 2.75 (21.9)	ハイテングサ 0.45 (40.9) マクリ 0.45 (40.9) ヒメテングサ 0.10 (9.1)
	() 内は組成比%				
動物	出現種類数	37	30	21	28
	平均出現種類数	22 (11 ~ 32)	18 (16 ~ 20)	13 (10 ~ 16)	17 (9 ~ 25)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	146 (45 ~ 247)	67 (53 ~ 80)	44 (41 ~ 47)	67 (48 ~ 86)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	52.13 (32.11 ~ 72.14)	47.49 (39.32 ~ 55.66)	24.79 (24.20 ~ 25.37)	43.09 (42.09 ~ 44.08)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 68 (46.2) ミナミカニダマン 12 (8.2) アマオブネガイ 10 (6.8)	イソカニダマシ属 15 (22.6) Nipponacmea属 9 (13.5) アマオブネガイ 9 (13.5) シマベッコウバイ 6 (9.0) サメハダホシムシ属 4 (5.3)	イソカニダマシ属 11 (25.0) アマオブネガイ 11 (23.9) Nipponacmea属 8 (17.0)	アマオブネガイ 12 (17.9) Nipponacmea属 10 (14.2) オキナワイシダタミ 7 (10.4) イソカニダマシ属 6 (9.0) シマベッコウバイ 4 (6.0)
() 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(3) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	7	12	12	12
	平均出現種類数	4 (2 ~ 6)	6 (2 ~ 10)	10 (9 ~ 10)	9 (6 ~ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.30 (0.00 ~ 0.60)	0.40 (0.00 ~ 0.80)	4.80 (4.60 ~ 5.00)	1.45 (0.50 ~ 2.40)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 0.30 (100.0)	ハイテングサ 0.40 (100.0)	ヒトエグサ 2.40 (50.0) イソダンツウ 1.60 (33.3) ハイテングサ 0.80 (16.7)	ヒトエグサ 0.90 (62.1) ヒメテングサ 0.40 (27.6) ハイテングサ 0.15 (10.3)
	() 内は組成比%				
動物	出現種類数	23	20	27	24
	平均出現種類数	15 (13 ~ 17)	11 (5 ~ 17)	17 (13 ~ 21)	16 (15 ~ 17)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	78 (59 ~ 97)	61 (47 ~ 74)	62 (57 ~ 66)	55 (45 ~ 65)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	73.54 (72.79 ~ 74.29)	51.15 (39.98 ~ 62.32)	35.56 (29.78 ~ 41.34)	41.34 (31.25 ~ 51.43)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	アマオブネガイ 32 (41.0) イソカニダマシ属 11 (14.1) <i>Nipponacmea</i> 属 7 (8.3) オキナワイシダタミ 7 (8.3) オオシマカニモリ 4 (5.1) ムラサキクルマナマコ 4 (5.1)	アマオブネガイ 21 (34.7) オキナワイシダタミ 13 (21.5) <i>Nipponacmea</i> 属 7 (11.6) サメハダホシムシ属 3 (5.0)	イソカニダマシ属 14 (22.0) アマオブネガイ 10 (16.3) シマベッコウバイ 5 (7.3) <i>Nipponacmea</i> 属 4 (5.7) オキナワイシダタミ 4 (5.7) ヒヅメガニ 4 (5.7)	アマオブネガイ 17 (30.9) イソカニダマシ属 6 (10.0) オキナワイシダタミ 4 (7.3) シマベッコウバイ 4 (7.3) <i>Nipponacmea</i> 属 3 (5.5)
() 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(4) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	3	2	12	19
	平均出現種類数	2 (1 ~ 2)	1 (0 ~ 2)	7 (5 ~ 9)	10 (3 ~ 16)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.50 (0.00 ~ 1.00)	0.15 (0.00 ~ 0.30)	8.45 (5.70 ~ 11.20)	3.55 (0.80 ~ 6.30)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	テングサ科 0.50 (100.0)	ハイテングサ 0.15 (100.0)	ヒトエグサ 2.85 (33.7) ハイテングサ 2.35 (27.8) シマテングサ 2.30 (27.2) イソダンツウ 0.50 (5.9)	ハイテングサ 3.05 (85.9) クダモ属 0.30 (8.5)
	() 内は組成比%				
動物	出現種類数	42	32	31	37
	平均出現種類数	24 (14 ~ 34)	19 (15 ~ 22)	17 (11 ~ 23)	22 (16 ~ 27)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	145 (47 ~ 243)	90 (50 ~ 129)	74 (42 ~ 106)	299 (49 ~ 549)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	55.11 (42.58 ~ 67.63)	27.19 (15.70 ~ 38.68)	23.88 (14.96 ~ 32.79)	20.74 (13.48 ~ 28.00)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	タテホシムシ属 60 (41.4) イソカニダマシ属 9 (6.2) アマオブネガイ 9 (5.9)	ヤッコカンザシゴカイ 24 (26.8) イソカニダマシ属 20 (22.3) アマオブネガイ 13 (14.0) シマベッコウバイ 5 (5.6)	イソカニダマシ属 16 (20.9) ヤッコカンザシゴカイ 16 (20.9) シロスジフジツボ 7 (8.8) アマオブネガイ 6 (8.1)	ヤッコカンザシゴカイ 238 (79.6)
() 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(5) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	4	15	16	14
	平均出現種類数	2 (1 ~ 3)	8 (4 ~ 12)	9 (4 ~ 14)	8 (5 ~ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.55 (0.00 ~ 1.10)	2.90 (0.30 ~ 5.50)	19.65 (10.80 ~ 28.50)	11.45 (0.80 ~ 22.10)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 0.55 (100.0)	ハイテングサ 2.75 (94.8) クダモ属 0.15 (5.2)	ヒトエグサ 14.25 (72.5) ハイテングサ 4.50 (22.9)	ハイテングサ 7.60 (66.4) テングサ科 3.25 (28.4)
	() 内は組成比%				
動物	出現種類数	42	25	58	56
	平均出現種類数	22 (11 ~ 33)	15 (12 ~ 18)	36 (25 ~ 46)	33 (24 ~ 42)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	176 (21 ~ 331)	40 (35 ~ 44)	387 (301 ~ 473)	225 (82 ~ 368)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	16.07 (8.45 ~ 23.68)	18.05 (13.06 ~ 23.04)	75.64 (70.02 ~ 81.25)	50.34 (47.01 ~ 53.67)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 121 (68.5)	ヤッコカンザシゴカイ 9 (22.8) オキナワイシダタミ 4 (8.9) <i>Nipponacmea</i> 属 3 (7.6) ゴマフニナ 3 (7.6) アマオブネガイ 3 (6.3)	ヤッコカンザシゴカイ 225 (58.1) イソカニダマシ属 25 (6.5)	ヤッコカンザシゴカイ 134 (59.6)
() 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(6) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	12	4	12	9
	平均出現種類数	7 (2 ~ 12)	2 (0 ~ 4)	6 (2 ~ 10)	5 (1 ~ 9)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	5.70 (3.80 ~ 7.60)	0.25 (0.00 ~ 0.50)	8.50 (3.40 ~ 13.60)	2.75 (0.20 ~ 5.30)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 4.55 (79.8) ヒメテングサ 0.75 (13.2)	テングサ科 0.20 (80.0) フジマツモ科 0.05 (20.0)	ハイテングサ 6.70 (78.8) ヒトエグサ 1.40 (16.5)	ヒメテングサ 1.20 (43.6) ヒトエグサ 0.50 (18.2) ユレモ科 0.45 (16.4) アオノリ属 0.30 (10.9) ハイテングサ 0.25 (9.1)
	() 内は組成比%				
動物	出現種類数	35	71	24	26
	平均出現種類数	23 (19 ~ 27)	45 (33 ~ 56)	15 (12 ~ 17)	15 (7 ~ 23)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	70 (46 ~ 94)	433 (291 ~ 575)	38 (26 ~ 49)	53 (18 ~ 88)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	26.24 (17.08 ~ 35.40)	44.20 (30.32 ~ 58.08)	32.30 (32.07 ~ 32.52)	11.94 (10.84 ~ 13.03)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	アマオブネガイ 10 (13.6) ヤッコカンザシゴカイ 9 (12.1) ツマキヨコバサミ 6 (7.9) Nipponacmea属 5 (7.1) イソカナダマシ属 5 (7.1)	ヤッコカンザシゴカイ 151 (34.9) タテホシムシ属 106 (24.4) ヒバリガイモドキ 38 (8.8)	アマオブネガイ 6 (16.0) オキナワイシダタミ 6 (14.7) イソカナダマシ属 5 (13.3) ニシキアマオブネ 3 (8.0) ツマキヨコバサミ 2 (5.3)	ヤッコカンザシゴカイ 13 (23.6) Perinereis属 6 (11.3) Nereis属 5 (8.5) Nipponacmea属 4 (7.5) アマオブネガイ 3 (5.7) オキナワイシダタミ 3 (5.7)
() 内は組成比%					

注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(7) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	8	13	15	8
	平均出現種類数	5 (3 ~ 7)	7 (1 ~ 12)	8 (4 ~ 11)	6 (4 ~ 7)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.69 (0.00 ~ 1.38)	2.15 (0.00 ~ 4.30)	5.40 (4.70 ~ 6.10)	1.78 (0.29 ~ 3.27)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 0.69 (100.0)	ハイテングサ 1.76 (81.6) ソゾ属 0.39 (17.9)	ヒトエグサ 2.34 (43.3) ハイテングサ 2.24 (41.4) トゲイギス 0.29 (5.3)	ヒメテングサ 0.79 (44.1) ハイテングサ 0.73 (40.7) クダモ属 0.26 (14.6)
	() 内は組成比%				
動物	出現種類数	40	21	27	30
	平均出現種類数	21 (10 ~ 32)	13 (7 ~ 18)	16 (10 ~ 21)	19 (15 ~ 23)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	66 (27 ~ 105)	46 (18 ~ 73)	85 (36 ~ 134)	163 (43 ~ 282)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	25.89 (14.81 ~ 36.97)	23.85 (23.07 ~ 24.62)	33.72 (12.47 ~ 54.96)	32.96 (31.53 ~ 34.39)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 15 (22.7) ウスヒザラガイ科 11 (15.9) アマオブネガイ 7 (9.8) オキナワイシダタミ 4 (6.1)	ヤッコカンザシゴカイ 9 (19.8) <i>Nipponacmea</i> 属 7 (14.3) イソカニダマシ属 6 (13.2) オキナワイシダタミ 5 (9.9) アマオブネガイ 4 (7.7)	ヤッコカンザシゴカイ 37 (43.5) タテホシムシ属 12 (14.1) イソカニダマシ属 7 (8.2) オキナワイシダタミ 7 (8.2)	ヤッコカンザシゴカイ 112 (68.6) アマオブネガイ 9 (5.5)
() 内は組成比%					

注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(8) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4
調査年度		平成26年度
調査時期		春季
植物	出現種類数	7
	平均出現種類数	4 (1 ~ 7)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	1.75 (1.27 ~ 2.22)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 1.06 (60.5) ヒトエグサ 0.64 (36.7)
	() 内は組成比%	
動物	出現種類数	27
	平均出現種類数	17 (13 ~ 20)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	57 (35 ~ 78)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	19.93 (17.22 ~ 22.64)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 9 (15.0) オキナワイシダタミ 8 (14.2) タテホシムシ属 8 (14.2) イソカニダマシ属 5 (8.8) イソヨコエビ属 5 (8.8)
() 内は組成比%		

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(9) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4	
調査年度		平成29年度	
調査時期		秋季	冬季
項目			
植物	出現種類数	6	14
	平均出現種類数	3 (0 ~ 6)	9 (6 ~ 12)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	1.31 (0.00 ~ 2.61)	6.80 (0.67 ~ 12.92)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	テングサ科 1.30 (99.6)	テングサ科 5.35 (78.7) スギノリ属 0.70 (10.2)
	() 内は組成比%		
動物	出現種類数	31	42
	平均出現種類数	17 (13 ~ 20)	27 (19 ~ 34)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	87 (37 ~ 136)	220 (146 ~ 293)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	18.04 (9.58 ~ 26.50)	45.88 (18.35 ~ 73.41)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 67 (38.7) コウダカカラマツ属 25 (14.5) オキナワイシダタミ 16 (9.2) タテホシムシ属 11 (6.4)	ヤッコカンザシゴカイ 182 (41.5) ミナミタテホシムシ 67 (15.3) <i>Perinereis</i> 属 25 (5.7) イソギンチャク目 22 (5.0)
() 内は組成比%			

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(10) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4						
調査年度		平成30年度						
調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	
項目								
植物	出現種類数	18	4	5	4	10	9	
	平均出現種類数	10 (9 ~ 11)	2 (0 ~ 4)	3 (2 ~ 4)	2 (1 ~ 3)	6 (3 ~ 8)	6 (3 ~ 8)	
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	3.00 (2.51 ~ 3.49)	2.45 (0.00 ~ 4.89)	0.09 (0.00 ~ 0.18)	0.05 (0.00 ~ 0.09)	0.06 (0.03 ~ 0.09)	0.97 (0.11 ~ 1.83)	
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ	1.41 (46.8)	2.40 (98.0)	0.09 (94.4)	0.03 (55.6)	0.02 (33.3)	0.52 (53.1)
		ホンダワラ属	0.48 (15.8)		サンゴモ目(無節サンゴモ類)	0.01 (5.6)		0.35 (36.1)
		スギノリ属	0.33 (10.8)		ハイテングサ	0.02 (44.4)	0.02 (25.0)	0.05 (5.2)
		トゲイギス	0.32 (10.5)				0.01 (16.7)	
		ヒメテングサ	0.27 (9.0)				0.01 (16.7)	
	() 内は組成比%					0.01 (8.3)		
	出現種類数	68	21	25	30	28	16	
平均出現種類数	41 (30 ~ 51)	11 (4 ~ 18)	14 (13 ~ 15)	19 (14 ~ 23)	16 (9 ~ 22)	10 (10 ~ 10)		
平均個体数 (個体/0.09㎡)	313 (264 ~ 361)	77 (16 ~ 137)	70 (70 ~ 70)	170 (36 ~ 304)	87 (27 ~ 146)	47 (34 ~ 60)		
平均湿重量 (g/0.09㎡)	36.11 (26.77 ~ 45.45)	19.70 (18.40 ~ 20.99)	34.21 (17.27 ~ 51.14)	21.41 (20.26 ~ 22.56)	12.92 (7.86 ~ 17.97)	23.69 (17.40 ~ 29.98)		
主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ	206 (65.8)	29 (37.9)	22 (31.4)	98 (57.6)	33 (37.6)	13 (26.6)	
	アマオブネガイ		13 (17.0)	16 (22.9)	22 (12.6)	19 (21.4)	11 (23.4)	
	コウダカカラマツ属		8 (9.8)	5 (7.1)		5 (5.8)	5 (9.6)	
	<i>Petrolisthes inermis</i>		4 (5.2)	5 (6.4)		5 (5.8)	4 (8.5)	
	クマドリゴカイ		4 (5.2)			5 (5.2)	3 (6.4)	
() 内は組成比%								

注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均(最小値~最大値)を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(11) 坪刈り、堆積物採取 結果概要

(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		令和元年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
項目							
植物	出現種類数	10	9	2	15	17	
	平均出現種類数	6 (3 ~ 8)	5 (1 ~ 8)	1 (0 ~ 2)	8 (2 ~ 14)	9 (0 ~ 17)	
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.70 (0.25 ~ 1.14)	0.12 (0.00 ~ 0.23)	0.49 (0.00 ~ 0.98)	0.38 (0.01 ~ 0.74)	1.12 (0.00 ~ 2.23)	
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	カキノリ	0.29 (41.0)	0.08 (69.6)	0.49 (100.4)	0.25 (65.3)	0.35 (30.9)
		クダモ属					0.28 (24.7)
		ヒメテングサ	0.13 (18.0)	0.02 (13.0)		0.06 (14.7)	0.22 (19.3)
		ハイテングサ	0.11 (15.1)	0.01 (8.7)		0.05 (12.0)	0.14 (12.6)
		アオノリ属	0.09 (12.9)				0.08 (6.7)
	() 内は組成比%	0.08 (11.5)					
	動物	出現種類数	34	40	26	19	41
平均出現種類数		20 (12 ~ 27)	23 (10 ~ 35)	14 (5 ~ 22)	10 (6 ~ 14)	22 (14 ~ 29)	
平均個体数 (個体/0.09㎡)		115 (25 ~ 205)	195 (33 ~ 357)	155 (15 ~ 294)	67 (18 ~ 115)	83 (56 ~ 109)	
平均湿重量 (g/0.09㎡)		42.38 (30.61 ~ 54.15)	39.87 (34.17 ~ 45.56)	19.73 (13.43 ~ 26.03)	13.66 (6.33 ~ 20.99)	29.12 (25.98 ~ 32.26)	
主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)		ヤッコカンザシゴカイ	45 (39.1)	64 (32.8)	43 (27.5)	33 (48.9)	12 (14.5)
		コウダカカラマツ属		ヤッコカンザシゴカイ	イソカナダマシ属	ヤッコカンザシゴカイ	ヤッコカンザシゴカイ
		アマオブネガイ	11 (9.1)	41 (20.8)	43 (27.5)	7 (10.5)	7 (8.5)
		イソヨコエビ属	10 (8.7)	アマオブネガイ	ツマキヨコバサミ	オキナワイシダタミ	ミナミタテホシムシ
		ミナミタテホシムシ	9 (7.8)	13 (6.4)	クマドリゴカイ	6 (8.3)	7 (7.9)
() 内は組成比%		7 (6.1)		9 (5.5)	4 (6.0)	6 (6.7)	
			4 (5.3)	4 (5.3)	5 (6.1)		

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(12) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		令和2年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
項目							
植物	出現種類数	15	9	9	7	16	
	平均出現種類数	8 (2 ~ 13)	5 (1 ~ 9)	5 (1 ~ 8)	4 (1 ~ 6)	9 (3 ~ 15)	
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	2.92 (0.27 ~ 5.57)	1.68 (0.11 ~ 3.25)	1.42 (0.06 ~ 2.77)	0.11 (0.09 ~ 0.12)	0.32 (0.03 ~ 0.60)	
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡) ()内は組成比%	ハイテングサ	1.47 (50.3)	1.23 (73.2)	1.15 (80.9)	0.05 (47.6)	0.25 (77.8)
		アイミドリ	0.90 (30.8)	0.19 (11.3)	0.21 (14.8)	0.05 (42.9)	0.03 (9.5)
	動物	出現種類数	45	28	46	29	33
		平均出現種類数	24 (10 ~ 38)	15 (5 ~ 25)	28 (20 ~ 36)	16 (7 ~ 24)	18 (8 ~ 28)
平均個体数 (個体/0.09㎡)		103 (28 ~ 178)	95 (26 ~ 163)	246 (76 ~ 415)	71 (39 ~ 103)	80 (32 ~ 127)	
平均湿重量 (g/0.09㎡)		20.96 (25.66 ~ 16.25)	28.97 (31.38 ~ 26.55)	32.88 (46.74 ~ 19.02)	18.37 (9.89 ~ 26.84)	19.27 (17.12 ~ 21.41)	
主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡) ()内は組成比%		ミナミタテホシムシ	12 (11.2)	49 (51.9)	81 (33.0)	10 (14.1)	19 (23.3)
		ケハダヒザラガイ属	10 (9.7)	12 (12.2)	73 (29.7)	10 (14.1)	11 (13.2)
		<i>Perinereis</i> 属	10 (9.7)	5 (5.3)	14 (5.5)	8 (11.3)	6 (6.9)
		アマオブネガイ	7 (6.8)	5 (5.3)		7 (9.9)	6 (6.9)
		コウダカカラマツ属	7 (6.8)			6 (7.7)	4 (5.0)
						4 (5.0)	

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(13) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	24	10	14	14
	平均出現種類数	14 (4 ~ 24)	5 (0 ~ 10)	8 (1 ~ 14)	7 (2 ~ 12)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.91 (0.24 ~ 1.57)	0.90 (0.00 ~ 1.79)	0.43 (0.08 ~ 0.78)	0.98 (0.71 ~ 1.24)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	アイミドリ 0.24 (26.5) 藍藻綱 0.24 (26.0) ハイテングサ 0.16 (17.7) イソダンツウ 0.12 (12.7) ユレモ目 0.05 (5.5)	ハイテングサ 0.89 (99.4)	ハイテングサ 0.31 (72.1) 藍藻綱 0.05 (11.6) ユレモ科 0.04 (9.3)	コナハダ属 0.41 (41.5) ユレモ目 0.35 (35.4) ハイテングサ 0.12 (11.8) セイヨウハバノリ 0.06 (6.2)
	() 内は組成比%				
動物	出現種類数	39	37	26	46
	平均出現種類数	23 (14 ~ 31)	22 (14 ~ 30)	16 (9 ~ 22)	25 (13 ~ 36)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	159 (94 ~ 223)	88 (45 ~ 130)	54 (38 ~ 70)	124 (44 ~ 204)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	28.72 (17.07 ~ 40.37)	23.32 (22.63 ~ 24.00)	27.63 (18.64 ~ 36.62)	26.43 (24.94 ~ 27.91)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	シリケンウミセミ属 24 (14.8) コウダカカラマツ属 18 (11.0) アマオブネガイ 12 (7.3) シリス亜科 11 (6.9) ムカデガイ科 10 (6.0)	コウダカカラマツ属 18 (20.0) リュウキュウアオガイ 14 (16.0) アマオブネガイ 9 (10.3)	アマオブネガイ 13 (24.1) オキナワイシダタミ 6 (11.1) コウダカカラマツ属 6 (11.1) リュウキュウアオガイ 4 (7.4) ヤッコカンザシゴカイ 4 (7.4)	ミナミタテホシムシ 20 (15.7) コウダカカラマツ属 16 (12.5) タテジワミドリガイ 10 (8.1) アマオブネガイ 8 (6.5) コツプムシ科 7 (5.2)
() 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(14) 坪刈り、堆積物採取 結果概要
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		令和4年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
項目							
植物	出現種類数	18	14	10	12	17	
	平均出現種類数	11 (6 ~ 16)	8 (1 ~ 14)	6 (1 ~ 10)	8 (3 ~ 12)	9 (2 ~ 15)	
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	1.42 (0.27 ~ 2.57)	1.36 (0.06 ~ 2.66)	0.64 (0.00 ~ 1.28)	0.88 (0.54 ~ 1.22)	2.55 (1.45 ~ 3.64)	
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	アイミドリ	0.67 (47.2)	ハイテングサ 1.25 (91.9)	ハイテングサ 0.58 (90.6)	藍藻綱 0.40 (45.5)	セイヨウハバノリ 0.99 (38.7)
		ハイテングサ	0.22 (15.1)		ソゾ属 0.05 (7.0)	ユレモ目 0.40 (44.9)	ユレモ科 0.72 (28.3)
		カイノリ	0.22 (15.1)			ハイテングサ 0.07 (7.4)	フクロノリ属 0.29 (11.4)
		イソダンツウ	0.11 (7.4)				カイノリ 0.22 (8.6)
		ユレモ科	0.08 (5.6)				ウミウチワ属の1種 0.15 (5.7)
	() 内は組成比%						
	動物	出現種類数	40	29	30	37	39
平均出現種類数		21 (11 ~ 31)	15 (5 ~ 25)	16 (7 ~ 24)	23 (18 ~ 27)	24 (8 ~ 39)	
平均個体数 (個体/0.09㎡)		106 (46 ~ 165)	95 (20 ~ 169)	65 (29 ~ 100)	77 (61 ~ 93)	118 (31 ~ 205)	
平均湿重量 (g/0.09㎡)		32.01 (24.54 ~ 39.47)	25.22 (16.20 ~ 34.24)	14.73 (11.30 ~ 18.15)	35.73 (31.88 ~ 39.57)	22.33 (20.64 ~ 24.02)	
主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)		コウダカカラマツ属	18 (16.6)	コウダカカラマツ属 22 (23.3)	<i>Petrolisthes inermis</i> 13 (19.4)	ミナミカニダマシ 14 (17.5)	ミナミタテホシムシ 20 (16.9)
		アマオブネガイ	12 (11.4)	アマオブネガイ 9 (9.5)	ミナミカニダマシ 8 (12.4)	アマオブネガイ 11 (14.3)	ゴカイ科 12 (10.2)
		ウスヒザラガイ科	11 (10.0)	<i>Perinereis</i> 属 9 (9.5)	ミナミタテホシムシ 8 (11.6)	イソギンチャク目 8 (10.4)	イソヨコエビ属 9 (7.6)
		リュウキュウアオガイ	7 (6.6)	ミナミタテホシムシ 7 (7.4)	アマオブネガイ 5 (7.0)	リュウキュウアオガイ 5 (6.5)	オニツノガイ科 9 (7.2)
		ヒメケハダヒザラガイ	7 (6.2)	ウスヒザラガイ科 7 (6.9)	クマドリゴカイ 5 (7.0)	ミナミタテホシムシ 5 (6.5)	ムカデガイ科 6 (5.1)
() 内は組成比%			<i>Petrolisthes inermis</i> 7 (6.9)			コウダカカラマツ属 6 (5.1)	

注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.9 坪刈り、堆積物採取 平均種出現種類数、平均個体数及び平均湿重量（潮間帯生物調査）

調査地点		L-潮4																												
工事		工事前																												
調査年度		H19				H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	
植物	平均出現種類数(種類)	3	5	8	5	5	9	8	4	6	10	9	2	1	7	10	2	8	9	8	7	2	6	5	5	7	8	6	4	
	平均出現種類数範囲	1~10																												
	平均湿重量(g/0.09㎡)	0.35	0.20	1.60	0.15	0.20	12.55	1.10	0.30	0.00	4.80	1.45	0.50	0.15	8.45	3.55	0.55	2.90	19.65	11.45	5.70	0.25	8.50	2.75	0.69	2.15	5.40	1.78	1.75	
	平均湿重量範囲	0~19.65																												
動物	平均出現種類数(種類)	16	17	14	22	18	13	17	15	11	17	16	24	19	17	22	22	15	36	33	23	45	15	15	21	13	16	19	17	
	平均出現種類数範囲	11~45																												
	平均個体数(個体/0.09㎡)	65	60	50	146	67	44	67	78	61	62	55	145	90	74	299	176	40	387	225	70	433	38	53	66	46	85	163	57	
	平均個体数範囲	38~433																												
	平均湿重量(g/0.09㎡)	35.05	37.84	23.77	52.13	47.49	24.79	43.09	73.54	51.00	35.56	41.34	55.11	27.19	23.88	20.74	16.07	18.05	75.64	50.34	26.24	44.20	32.30	11.94	25.89	23.85	33.72	32.96	19.93	
	平均湿重量範囲	11.94~75.64																												

調査地点		L-潮4																											
工事		工事中																											
調査年度		H29				H30				R1				R2				R3				R4							
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	平均出現種類数(種類)	3	9	10	2	3	2	6	6	6	5	1	8	9	8	5	5	4	9	14	5	8	7	11	8	6	8	9	
	平均出現種類数範囲	1~14																											
	平均湿重量(g/0.09㎡)	1.31	6.80	3.00	2.45	0.09	0.05	0.06	0.97	0.70	0.12	0.49	0.38	1.12	2.92	1.68	1.42	0.11	0.32	0.91	0.90	0.43	0.98	1.42	1.36	0.64	0.88	2.55	
	平均湿重量範囲	0.05~6.80																											
動物	平均出現種類数(種類)	17	27	41	11	14	19	16	10	20	23	14	10	22	24	15	28	16	18	23	22	16	25	21	15	16	23	24	
	平均出現種類数範囲	10~41																											
	平均個体数(個体/0.09㎡)	87	220	313	77	70	170	87	47	115	195	155	67	83	103	95	246	71	80	159	88	54	124	106	95	65	77	118	
	平均個体数範囲	47~313																											
	平均湿重量(g/0.09㎡)	18.04	45.88	36.11	19.70	34.21	21.41	12.92	23.69	42.38	39.87	19.73	13.66	29.12	20.96	28.97	32.88	18.37	19.27	28.72	23.32	27.63	26.43	32.01	25.22	14.73	35.73	22.33	
	平均湿重量範囲	12.92~45.88																											

注) 本環境監視調査結果（令和4年度）は黄色の網掛けで示しています。

調査地点: L-潮4

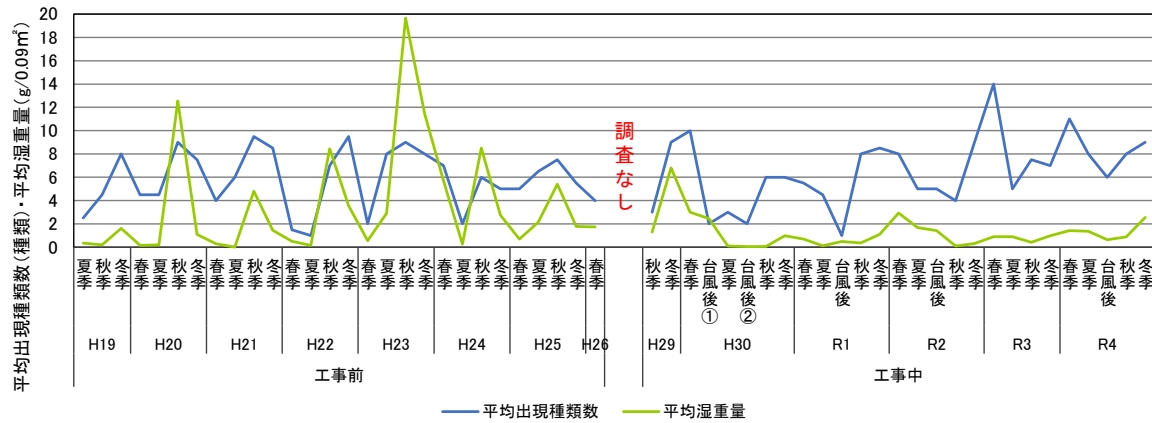


図-3.5.2.6 坪刈り、堆積物採取 植物の平均出現種類数及び平均湿重量 (潮間帯生物調査)

調査地点: L-潮4

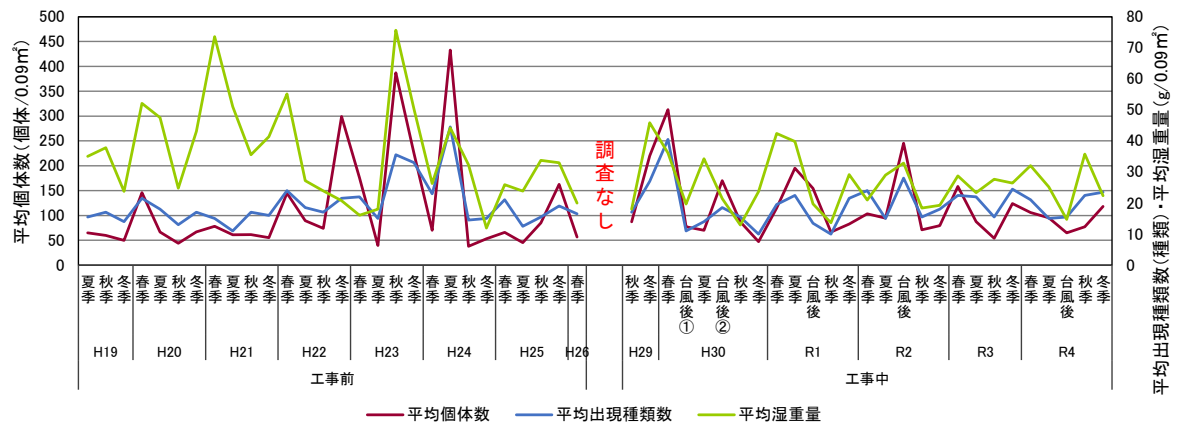


図-3.5.2.7 坪刈り、堆積物採取 動物の平均個体数、平均出現種類数及び平均湿重量 (潮間帯生物調査)

(4) 干潟生物分布調査 (定量的調査)

干潟域の底生動物の移動をしていないため、令和4年度は干潟生物分布調査を実施していません。

(5) 浮遊生物調査（定量的調査）

浮遊生物調査で対象としている植物プランクトン、動物プランクトンについて、各地点を調査季別に整理した経年の結果概要を表-3.5.2.10 に、全地点を調査季別に整理した経年の出現種類数・細胞数及び個体数を表-3.5.2.11、図-3.5.2.9 及び図-3.5.2.10 に、各地点の調査季別の結果概要に示された主な出現種（組成比率5%以上）の出現状況を年度ごとに比較した結果を表-3.5.2.12 に示します。

植物プランクトンの結果は、地点によっては一時的に工事前における変動の範囲を下回る時期もみられましたが、調査期間を通じて概ね工事前における変動の範囲内でした。主な出現種（組成比率5%以上）については、工事前と比較して顕著な減少はみられず、また、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられないことから、環境の大きな変化は確認されませんでした。

動物プランクトンの結果は、地点によっては一時的に工事前における変動の範囲を下回る時期もみられましたが、調査期間を通じて概ね工事前における変動の範囲内でした。主な出現種については、工事前と比較して顕著な減少はみられず、また、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられないことから、環境の大きな変化は確認されませんでした。

浮遊生物調査は水質変化の指標として取り扱っており、今後も継続して調査を行うとともに比較していきます。

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

図-3.5.2.8 浮遊生物調査の調査地点図

表-3.5.2.10(1) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成19年度			
調査時期		夏季	秋季	冬季	
項目					
植物 プランク トン	出現種類数	13	34	25	
	細胞数 (細胞/L)	16,580	5,250	3,290	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ()内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type)	6,800 (41.0)	unidentified flagellates 800 (15.2)	Peridinales 560 (17.0)
		Prasinophyceae	2,880 (17.4)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 480 (14.6)
		Gymnodinales	2,560 (15.4)	Peridinales 480 (9.1)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 360 (10.9)
		Haptophyceae	1,440 (8.7)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 400 (7.6)	<i>Bacteriastrium minus</i> 200 (6.1)
		unidentified flagellates	1,280 (7.7)	<i>Bleakeleya notata</i> 280 (5.3)	Cryptophyceae 200 (6.1)
				Cryptophyceae 280 (5.3)	Euglenophyceae 200 (6.1)
動物 プランク トン	出現種類数	27	28	34	
	個体数 (個体/m ³)	87,658	9,884	4,969	
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) ()内は組成比%	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	18,574 (21.2)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,052 (20.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,277 (25.7)
		Bivalvia (umbo larva)	12,318 (14.1)	Copepoda (nauplius) 1,865 (18.9)	Copepoda (nauplius) 1,108 (22.3)
		Gastropoda (larva)	10,167 (11.6)	<i>Oithona simplex</i> 839 (8.5)	<i>Oithona simplex</i> 423 (8.5)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	10,167 (11.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 793 (8.0)	<i>Oikopleura</i> spp. 254 (5.1)
		<i>Oithona aruensis</i>	8,798 (10.0)	Gastropoda (larva) 653 (6.6)	<i>Bestiolina similis</i> 246 (5.0)

調査地点		E8				
調査年度		平成20年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	53	27	23	34	
	細胞数 (細胞/L)	14,330	11,520	11,300	14,730	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ()内は組成比%	Prasinophyceae	4,750 (33.1)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 6,800 (59.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 2,240 (19.8)	unidentified flagellates 3,760 (25.5)
		Cryptophyceae	2,500 (17.4)	Haptophyceae 1,080 (9.4)	Peridinales 1,680 (14.9)	Haptophyceae 2,320 (15.8)
		unidentified flagellates	2,500 (17.4)	Gymnodinales 800 (6.9)	unidentified flagellates 1,680 (14.9)	Prasinophyceae 2,120 (14.4)
					<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 1,520 (13.5)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 1,800 (12.2)
					Cryptophyceae 1,200 (10.6)	
動物 プランク トン	出現種類数	19	29	27	20	
	個体数 (個体/m ³)	10,696	14,511	6,110	704	
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) ()内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	5,474 (51.2)	<i>Oithona simplex</i> 6,627 (45.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,438 (23.5)	Copepoda (nauplius) 229 (32.5)
		Copepoda (nauplius)	2,421 (22.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,651 (18.3)	Copepoda (nauplius) 846 (13.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 91 (12.9)
		<i>Oithona dissimilis</i>	1,684 (15.7)	Copepoda (nauplius) 1,704 (11.7)	<i>Oithona aruensis</i> 507 (8.3)	<i>Oithona simplex</i> 74 (10.5)
				<i>Oithona nana</i> 757 (5.2)	<i>Oithona simplex</i> 507 (8.3)	Bivalvia (D-shaped larva) 46 (6.5)
					Bivalvia (D-shaped larva) 423 (6.9)	
					<i>Oithona dissimilis</i> 423 (6.9)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(2) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	23	26	52	43
	細胞数 (細胞/L)	24,300	4,060	5,800	4,640
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 9,600 (39.5) Haptophyceae 3,600 (14.8) Prasinophyceae 2,720 (11.2) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 2,480 (10.2)	unidentified flagellates 1,550 (38.2) Cryptophyceae 1,000 (24.6) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 320 (7.9) Haptophyceae 300 (7.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 1,010 (17.4) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 630 (10.9) Peridinales 480 (8.3) <i>Paralia sulcata</i> 460 (7.9) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 420 (7.2)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 1,400 (30.2) <i>Cylindrotheca closterium</i> 410 (8.8) <i>Rhizosolenia phuketensis</i> 280 (6.0) <i>Neodelphineis pelagica</i> 230 (5.0)
	() 内は組成比%				
動物 プランク トン	出現種類数	26	26	27	33
	個体数 (個体/m)	15,602	14,654	1,117	1,782
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,014 (32.1) Copepoda (nauplius) 4,011 (25.7) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 3,295 (21.1) <i>Acartia erythraea</i> 1,003 (6.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,377 (36.7) <i>Oithona simplex</i> 3,526 (24.1) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,763 (12.0) <i>Oithona attenuata</i> 882 (6.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 882 (6.0)	Copepoda (nauplius) 402 (36.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 164 (14.7) Bivalvia (umbo larva) 68 (6.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 577 (32.4) Copepoda (nauplius) 375 (21.0) Paracalanidae (copepodite) 144 (8.1) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 115 (6.5)
	() 内は組成比%				

調査地点		E8			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	41	50	28	51
	細胞数 (細胞/L)	54,110	844,160	51,190	7,580
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 22,600 (41.8) <i>Thalassiosira</i> spp. 14,000 (25.9) Peridinales 7,180 (13.3)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 668,800 (79.2) <i>Chaetoceros constrictum</i> 64,000 (7.6)	unidentified flagellates 35,520 (69.4) Cryptophyceae 4,800 (9.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 4,800 (9.4)	unidentified flagellates 1,800 (23.7) Haptophyceae 1,280 (16.9) Prasinophyceae 1,040 (13.7) Cryptophyceae 520 (6.9) Gymnodinales 400 (5.3)
	() 内は組成比%				
動物 プランク トン	出現種類数	18	20	24	28
	個体数 (個体/m)	6,983	13,934	36,693	10,633
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,176 (16.8) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 941 (13.5) Copepoda (nauplius) 784 (11.2) <i>Paracalanus crassirostris</i> 784 (11.2) Paracalanidae (copepodite) 706 (10.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,107 (22.3) <i>Oithona aruensis</i> 2,260 (16.2) Copepoda (nauplius) 1,695 (12.2) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,695 (12.2) Paracalanidae (copepodite) 1,412 (10.1)	<i>Oithona aruensis</i> 10,101 (27.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 9,596 (26.2) <i>Oithona simplex</i> 5,051 (13.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,152 (29.6) <i>Oithona simplex</i> 1,212 (11.4) Copepoda (nauplius) 848 (8.0) Paracalanidae (copepodite) 848 (8.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 727 (6.8)
	() 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(3) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	36	42	36	53
	細胞数 (細胞/L)	4,170	7,550	6,890	7,430
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 1,280 (30.7) Haptophyceae 880 (21.1) Prasinophyceae 640 (15.3)	<i>Peridinium quinquecorne</i> 1,140 (15.1) Gymnodiniales 1,120 (14.8) unidentified flagellates 960 (12.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 510 (6.8) <i>Heterocapsa</i> spp. 470 (6.2)	unidentified flagellates 3,200 (46.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,920 (27.9) Haptophyceae 400 (5.8)	Haptophyceae 2,880 (38.8) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 490 (6.6) <i>Leptocylindrus danicus</i> 450 (6.1) Cryptophyceae 400 (5.4)
	() 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	15	45	36	54
	個体数 (個体/m)	1,910	38,131	34,024	3,344
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 658 (34.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 547 (28.6) Gastropoda (larva) 184 (9.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 105 (5.5)	<i>Oithona dissimilis</i> 19,954 (52.3) <i>Oithona aruensis</i> 10,080 (26.4) <i>Paracalanus crassirostris</i> 3,440 (9.0)	<i>Oithona aruensis</i> 12,364 (36.3) <i>Oithona simplex</i> 4,073 (12.0) <i>Paracalanus crassirostris</i> 3,564 (10.5) <i>Oithona dissimilis</i> 3,418 (10.0) Paracalanidae (copepodite) 2,255 (6.6)	Copepoda (nauplius) 1,227 (36.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 382 (11.4) Paracalanidae (copepodite) 314 (9.4) <i>Oikopleura</i> spp. 218 (6.5) Cirripedia (nauplius) 177 (5.3)
	() 内は組成比%				

調査地点		E8			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	37	53	64	62
	細胞数 (細胞/L)	6,080	134,250	64,390	39,570
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Haptophyceae 1,520 (25.0) unidentified flagellates 1,200 (19.7) <i>Heterocapsa</i> spp. 800 (13.2) Prasinophyceae 480 (7.9)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 83,520 (62.2) <i>Nitzschia</i> spp. 14,400 (10.7) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 13,440 (10.0) <i>Chaetoceros lorenzianum</i> 11,520 (8.6)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 10,800 (16.8) unidentified flagellates 8,880 (13.8) <i>Nitzschia</i> spp. 8,640 (13.4) Haptophyceae 8,000 (12.4) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 6,720 (10.4)	Prasinophyceae 5,520 (13.9) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 5,480 (13.8) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 4,060 (10.3) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 3,810 (9.6) Euglenophyceae 2,670 (6.7)
	() 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	45	24	51	32
	個体数 (個体/m)	15,332	26,295	9,300	11,907
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona simplex</i> 7,822 (51.0) Paracalanidae (copepodite) 1,521 (9.9) <i>Oithona dissimilis</i> 1,146 (7.5) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 1,037 (6.8) Copepoda (nauplius) 968 (6.3)	Copepoda (nauplius) 5,059 (19.2) <i>Oithona aruensis</i> 4,118 (15.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,059 (15.4) <i>Oithona dissimilis</i> 2,882 (11.0) <i>Fritillaria</i> spp. 2,588 (9.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,462 (26.5) <i>Oithona simplex</i> 1,593 (17.1) <i>Oithona aruensis</i> 938 (10.1) Copepoda (nauplius) 869 (9.3) <i>Paracalanus crassirostris</i> 828 (8.9)	Copepoda (nauplius) 5,462 (45.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,585 (21.7) <i>Oithona dissimilis</i> 1,077 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 785 (6.6)
	() 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(4) 結果概要（浮遊生物調査：E8：工事前）

調査地点		E8				
調査年度		平成25年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	51	34	51	33	
	細胞数（細胞/L）	10,550	49,220	47,350	27,990	
	主な出現種の細胞数 （細胞/L） （ ）内は組成比%	unidentified flagellates	2,240 (21.2)	<i>Heterocapsa</i> spp. 29,280 (59.5)	unidentified flagellates 27,600 (58.3)	Euglenophyceae 6,880 (24.6)
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	1,620 (15.4)	unidentified flagellates	<i>Heterocapsa</i> spp. 8,880 (18.8)	Cryptophyceae 5,360 (19.1)
		Cryptophyceae	880 (8.3)	Cryptophyceae	Cryptophyceae 3,280 (6.9)	unidentified flagellates 5,200 (18.6)
		Haptophyceae	720 (6.8)			<i>Heterocapsa</i> spp. 4,920 (17.6)
		<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	710 (6.7)			Prasinophyceae 2,400 (8.6)
	出現種類数	28	40	34	19	
	個体数（個体/m）	13,505	16,974	7,619	1,516	
	主な出現種の個体数 （個体/m） （ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius)	9,669 (71.6)	Copepoda (nauplius) 5,179 (30.5)	Copepoda (nauplius) 1,745 (22.9)	Copepoda (nauplius) 827 (54.6)
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)		1,246 (9.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,411 (20.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,673 (22.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 291 (19.2)	
<i>Oithona dissimilis</i>		1,177 (8.7)	<i>Oithona aruensis</i> 2,021 (11.9)	Paracalanidae (copepodite) 945 (12.4)		
			Paracalanidae (copepodite) 1,389 (8.2)	<i>Oithona simplex</i> 764 (10.0)		
			<i>Oithona dissimilis</i> 1,137 (6.7)	<i>Oithona aruensis</i> 509 (6.7)		

調査地点		E8		
調査年度		平成26年度		
調査時期		春季		
項目				
植物 プランク トン	出現種類数	36		
	細胞数（細胞/L）	22,480		
	主な出現種の細胞数 （細胞/L） （ ）内は組成比%	unidentified flagellates	10,240 (45.6)	
		<i>Heterocapsa</i> spp.	7,120 (31.7)	
		<i>Prorocentrum triestinum</i>	2,240 (10.0)	
出現種類数	28			
個体数（個体/m）	5,362			
動物 プランク トン	主な出現種の個体数 （個体/m） （ ）内は組成比%	<i>Oithona dissimilis</i>	1,257 (23.4)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	971 (18.1)	
		Copepoda (nauplius)	762 (14.2)	
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	552 (10.3)	
		<i>Acartia bispinosa</i>	343 (6.4)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(5) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事中)

調査地点		E8	
調査年度		平成29年度	
調査時期		秋季	冬季
項目	出現種数	57	33
植物プランクトン	細胞数 (細胞/L)	8,850	2,220
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 2,480 (28.0)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 490 (22.1)
	() 内は組成比%	<i>Heterocapsa</i> sp. (9.3) unidentified flagellates 760 (8.6) Gymnodiniales 540 (6.1) Peridinales 450 (5.1)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 170 (21.2) <i>Navicula</i> sp. 160 (7.2)
	出現種数	22	22
	細胞数 (細胞/m)	4,650	1,128
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 2,339 (50.3) <i>Oithona simplex</i> 548 (11.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 419 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 274 (5.9)	Copepoda (nauplius) 440 (39.0) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 176 (15.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 96 (8.5) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 56 (5.0) Paracalanidae (copepodite) 56 (5.0)

調査地点		E8					
調査年度		平成30年度					
調査時期		春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季
項目	出現種数	47	33	45	38	41	40
植物プランクトン	細胞数 (細胞/L)	3,570	1,350	4,990	5,830	2,330	3,480
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Gymnodiniales 490 (13.7) Peridinales 430 (12.0) <i>Heterocapsa</i> spp. 290 (8.1) <i>Prorocentrum triestinum</i> 240 (6.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 220 (6.2)	Gymnodiniales 220 (16.3) Peridinales 180 (13.3) <i>Gymnodinium</i> spp. 110 (8.1) <i>Cylindrotheca closterium</i> 90 (6.7) <i>Gyrodinium</i> spp. 80 (5.9)	Peridinales 480 (16.1) <i>Cylindrotheca closterium</i> 290 (9.7) <i>Protopeperidium</i> spp. 280 (9.4) <i>Gyrodinium</i> spp. 190 (6.4) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 180 (6.0)	Prasinophyceae 2,280 (39.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 700 (12.0) <i>Cylindrotheca closterium</i> 460 (7.9) Gymnodiniales 440 (7.5) unidentified flagellates 340 (5.8)	Gymnodiniales 380 (16.3) <i>Cylindrotheca closterium</i> 210 (9.0) Peridinales 170 (7.3) unidentified flagellates 170 (7.3) <i>Prorocentrum triestinum</i> 160 (6.9)	Cryptophyceae 830 (23.9) Peridinales 340 (9.8) <i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 250 (7.2) unidentified flagellates 240 (6.9) <i>Prorocentrum triestinum</i> 210 (6.0)
	() 内は組成比%						
	出現種数	15	20	19	26	22	7
	細胞数 (細胞/m)	12,977	8,977	45,339	14,050	5,354	634
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 7,059 (54.4) <i>Oithona dissimilis</i> 4,706 (36.3) Copepoda (nauplius) 869 (6.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,765 (41.9) Copepoda (nauplius) 1,971 (22.0) <i>Oikopleura</i> spp. 647 (7.2) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 618 (6.9)	<i>Oithona arvensis</i> 19,088 (42.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 15,719 (34.7) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 3,930 (8.7)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 3,357 (23.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,888 (13.4) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,538 (10.9) Copepoda (nauplius) 1,210 (8.6) <i>Oithona simplex</i> 1,168 (8.3)	Gastropoda (larva) 1,549 (28.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,212 (22.6) Copepoda (nauplius) 532 (9.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 303 (5.7) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 303 (5.7)	Copepoda (nauplius) 463 (73.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 73 (11.5) <i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 41 (6.5) Polychaeta (larva) 33 (5.2)

調査地点		E8					
調査年度		令和元年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
項目	出現種数	37	50	31	40	28	
植物プランクトン	細胞数 (細胞/L)	6,290	8,270	1,460	1,510	2,790	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Euglenophyceae 3,570 (56.8) Gymnodiniales 390 (9.4) Peridinales 460 (7.3) <i>Prorocentrum triestinum</i> 350 (5.6)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type) 1,320 (16.0) <i>Protopeperidium</i> sp. 820 (11.1) Diatomeaceae 820 (9.9) Peridinales 720 (8.7) <i>Prorocentrum triestinum</i> 580 (7.0)	Peridinales 290 (19.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 210 (14.4) Gymnodiniales 170 (11.6) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 140 (9.6) <i>Cylindrotheca closterium</i> 110 (7.5) Euglenophyceae 110 (7.5)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 160 (10.6) Peridinales 150 (9.9) Gymnodiniales 120 (7.9) <i>Nitzschia</i> spp. 120 (7.9) <i>Leptocylindrus danicus</i> 80 (5.3)	Euglenophyceae 1,470 (52.7) <i>Cylindrotheca closterium</i> 200 (7.2) <i>Navicula</i> sp. 150 (5.4) <i>Nitzschia</i> sp. 150 (5.4)	
	() 内は組成比%						
	出現種数	21	20	13	26	15	
	細胞数 (細胞/m)	963	11,825	10,657	3,189	958	
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 315 (32.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 151 (15.7) Gastropoda (larva) 123 (12.8) <i>Oikopleura</i> spp. 55 (5.7) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 48 (5.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,038 (35.0) Copepoda (nauplius) 1,731 (15.0) <i>Oithona dissimilis</i> 1,346 (11.7) <i>Oikopleura</i> spp. 962 (8.3) Calanoida (copepodite) 795 (6.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,786 (35.5) <i>Oithona arvensis</i> 2,714 (25.5) <i>Oithona dissimilis</i> 2,000 (18.8) Copepoda (nauplius) 671 (6.3)	Copepoda (nauplius) 1,429 (44.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 503 (15.8) Gastropoda (larva) 218 (6.8) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 184 (5.8) <i>Oithona attenuata</i> 184 (5.8)	Copepoda (nauplius) 443 (46.2) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 131 (13.7) Gastropoda (larva) 82 (8.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 82 (8.6)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(6) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事中)

調査地点		E8				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
植物プランクトン	出現種類数	39	28	38	35	32
	細胞数 (細胞/L)	10,520	887,300	145,900	2,460	4,160
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Euglenophyceae 2,480 (23.6) <i>Prorocentrum triestinum</i> 2,430 (23.1) Peridinales 2,280 (21.7) Gymnodinales 700 (6.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 741,000 (83.5) <i>Peridinium quinquecorne</i> 110,000 (12.4)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 71,600 (49.1) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 9,600 (6.6) unidentified flagellates 9,200 (6.3) <i>Chaetoceros constrictum</i> 8,600 (5.9) <i>Cylindrotheca closterium</i> 8,600 (5.9)	Pennales 390 (15.9) <i>Nitzschia</i> spp. 350 (14.2) <i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 280 (11.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 160 (6.5) <i>Cyclophora tenuis</i> 150 (6.1) unidentified flagellates 150 (6.1)	Euglenophyceae 1,280 (30.8) <i>Cylindrotheca closterium</i> 640 (15.4) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 300 (7.2) Haptophyceae 240 (5.8) Prasinophyceae 240 (5.8)
	() 内は組成比%					
	出現種類数	13	18	26	11	14
	個体数 (個体/m ³)	958	5,768	3,442	705	1,286
	主な出現種の個体数 (個体/m ³)	Copepoda (nauplius) 494 (51.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 235 (24.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,960 (34.0) <i>Oithona arvensis</i> 1,457 (25.3) <i>Oithona dissimilis</i> 543 (9.4) Paracalanidae (copepodite) 430 (7.5) Copepoda (nauplius) 417 (7.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 966 (28.1) Copepoda (nauplius) 875 (25.4) <i>Oithona arvensis</i> 234 (6.8) Paracalanidae (copepodite) 211 (6.1) <i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 181 (5.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 172 (24.4) Copepoda (nauplius) 163 (23.1) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 109 (15.5) Cirripedia (nauplius) 90 (12.8) <i>Oithona oculata</i> 45 (6.4)	Copepoda (nauplius) 629 (48.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 245 (19.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 79 (6.1) <i>Oithona dissimilis</i> 70 (5.4)
	() 内は組成比%					

調査地点		E8			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	46	31	37	49
	細胞数 (細胞/L)	8,080	12,470	4,510	5,100
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 1,580 (19.6) Gymnodinales 1,150 (14.2) Peridinales 770 (9.5) Cryptophyceae 630 (7.8) <i>Heterocapsa</i> spp. 420 (5.2)	unidentified flagellates 3,920 (31.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 3,360 (26.9) Gymnodinales 3,110 (24.9) Peridinales 650 (5.2)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,450 (32.2) unidentified flagellates 1,250 (27.7) Prasinophyceae 450 (10.0)	unidentified flagellates 850 (16.7) Cryptophyceae 550 (10.8) Euglenophyceae 400 (7.8) Gymnodinales 300 (5.9) Prasinophyceae 300 (5.9)
	() 内は組成比%				
	出現種類数	18	15	22	24
	個体数 (個体/m ³)	2,343	10,656	381	1,464
	主な出現種の個体数 (個体/m ³)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 700 (29.9) Copepoda (nauplius) 536 (22.9) <i>Bestiolina similis</i> 193 (8.2) Gastropoda (larva) 171 (7.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,131 (38.8) <i>Oithona dissimilis</i> 2,361 (22.2) <i>Oithona simplex</i> 918 (8.6) Gastropoda (larva) 721 (6.8)	Copepoda (nauplius) 196 (51.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 29 (7.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 25 (6.6)	Copepoda (nauplius) 616 (42.1) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 128 (8.7) <i>Microsetella rosea</i> 112 (7.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 104 (7.1) <i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 88 (6.0)
	() 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(7) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事中)

調査地点		E8				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	34	67	32	32	40
	細胞数 (細胞/L)	9,920	1,522,890	4,910	1,690	7,220
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ()内は組成比%	<i>Heterocapsa</i> spp. 3,900 (39.3) unidentified flagellates 1,490 (15.0) Prasinophyceae 1,030 (10.4) <i>Prorocentrum triestinum</i> 880 (8.9) Peridinales 660 (6.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,373,550 (90.2) <i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 81,600 (5.4)	<i>Heterocapsa</i> spp. 930 (18.9) Gymnodinales 810 (16.5) Peridinales 790 (16.1) unidentified flagellates 370 (7.5) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 260 (5.3)	<i>Heterocapsa</i> spp. 250 (14.8) <i>Gymnodinium</i> spp. 240 (14.2) Gymnodinales 210 (12.4) unidentified flagellates 200 (11.8) <i>Oxytoxum</i> spp. 120 (7.1) Peridinales 120 (7.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 2,400 (33.2) unidentified flagellates 1,200 (16.6) Euglenophyceae 560 (7.8) Prasinophyceae 500 (6.9) Cryptophyceae 400 (5.5)
	出現種類数	11	14	18	20	19
	個体数 (個体/m)	3,940	1,238	3,800	4,157	1,512
	主な出現種の個体数 (個体/m) ()内は組成比%	<i>Oithona dissimilis</i> 1,480 (37.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,220 (31.0) Copepoda (nauplius) 680 (17.3)	Copepoda (nauplius) 520 (42.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 413 (33.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,450 (38.2) Copepoda (nauplius) 830 (21.8) <i>Oithona aruensis</i> 260 (6.8) <i>Oithona simplex</i> 230 (6.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,581 (38.0) Copepoda (nauplius) 800 (19.2) <i>Oithona aruensis</i> 670 (16.1) <i>Oithona simplex</i> 316 (7.6)	<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 424 (28.0) Copepoda (nauplius) 328 (21.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 208 (13.8) Paracalanidae (copepodite) 136 (9.0)

- 注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(8) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事前)

調査地点		E12			
調査年度		平成19年度			
調査時期		夏季	秋季	冬季	
項目					
植物 プランク トン	出現種類数	17	25	28	
	細胞数 (細胞/L)	5,770	5,470	5,890	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	unidentified flagellates	1,120 (19.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 1,200 (21.9)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 1,200 (20.4)
		Gymnodiniales	1,040 (18.0)	<i>Nitzschia</i> spp. 720 (13.2)	Prasinophyceae 1,080 (18.3)
		<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type)	800 (13.9)	unidentified flagellates 720 (13.2)	Peridinales 800 (13.6)
		Prasinophyceae	800 (13.9)	<i>Bleakuleya notata</i> 560 (10.2)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 520 (8.8)
		Haptophyceae	640 (11.1)	<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type) 320 (5.9)	unidentified flagellates 360 (6.1)
				Diatomaceae 320 (5.9)	
				<i>Navicula</i> spp. 320 (5.9)	
出現種類数	29	31	27		
個体数 (個体/m ³)	95,633	30,696	15,279		
主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	<i>Paracalanus crassirostris</i>	27,873 (29.1)	Copepoda (nauplius) 6,748 (22.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,840 (25.1)	
	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	20,511 (21.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,639 (21.6)	Copepoda (nauplius) 3,456 (22.6)	
	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	14,726 (15.4)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 5,878 (19.1)	<i>Oithona simplex</i> 3,072 (20.1)	
	<i>Oithona aruensis</i>	9,729 (10.2)	<i>Oikopleura</i> spp. 2,286 (7.4)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,280 (8.4)	
	<i>Oithona simplex</i>	6,574 (6.9)	<i>Oithona simplex</i> 2,068 (6.7)	<i>Oikopleura</i> spp. 896 (5.9)	

調査地点		E12				
調査年度		平成20年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	40	25	24	19	
	細胞数 (細胞/L)	23,925	10,010	109,370	940	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	Prasinophyceae	5,500 (23.0)	Haptophyceae 2,000 (20.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 80,400 (73.5)	unidentified flagellates 160 (17.0)
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	3,600 (15.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,920 (19.2)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 9,600 (8.8)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 120 (12.8)
		<i>Cylindrotheca closterium</i>	3,500 (14.6)	Gymnodiniales 1,440 (14.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 8,320 (7.6)	Prasinophyceae 120 (12.8)
		Euglenophyceae	1,400 (5.9)	Peridinales 1,200 (12.0)		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 80 (8.5)
				Prasinophyceae 1,040 (10.4)		Gymnodiniales 80 (8.5)
						<i>Rhizosolenia fragilissima</i> 80 (8.5)
出現種類数	23	27	33	31		
個体数 (個体/m ³)	13,594	30,382	19,950	6,626		
主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	7,846 (57.7)	<i>Oithona simplex</i> 9,191 (30.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,306 (21.6)	Copepoda (nauplius) 1,772 (26.7)	
	<i>Oithona dissimilis</i>	2,308 (17.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,356 (11.0)	Copepoda (nauplius) 3,333 (16.7)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 886 (13.4)	
	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	769 (5.7)	<i>Bestiolina similis</i> 2,188 (7.2)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,500 (12.5)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 591 (8.9)	
	<i>Oithona simplex</i>	769 (5.7)	Copepoda (nauplius) 2,043 (6.7)	Gastropoda (larva) 2,361 (11.8)	<i>Oithona aruensis</i> 472 (7.1)	
			<i>Paracalanus crassirostris</i> 2,043 (6.7)	<i>Oithona simplex</i> 1,806 (9.1)	Gastropoda (larva) 413 (6.2)	
					<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 413 (6.2)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(9) 結果概要 (浮遊生物調査：E12：工事前)

調査地点		E12			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	22	32	35	57
	細胞数 (細胞/L)	32,380	9,640	5,130	4,640
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 19,040 (58.8) Haptophyceae 4,240 (13.1) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 2,480 (7.7) Gymnodiniales 2,320 (7.2) <i>Cylindrotheca closterium</i> 1,680 (5.2)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 5,950 (61.7) unidentified flagellates 1,100 (11.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 520 (5.4)	unidentified flagellates 1,300 (25.3) Haptophyceae 570 (11.1) Prasinophyceae 550 (10.7) Peridinales 540 (10.5) Cryptophyceae 350 (6.8)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 840 (18.1) <i>Cyclophora tenuis</i> 360 (7.8) <i>Bacteriastrium</i> spp. 250 (5.4) Pennales 250 (5.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 240 (5.2)
	() 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	24	30	42	32
	個体数 (個体/m ³)	24,135	55,390	15,751	4,565
	主な出現種の個体数 (個体/m ³)	Copepoda (nauplius) 7,164 (29.7) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 6,269 (26.0) <i>Oithona simplex</i> 3,134 (13.0) <i>Oikopleura longicauda</i> 1,940 (8.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,791 (7.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 11,872 (21.4) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 10,046 (18.1) Copepoda (nauplius) 5,023 (9.1) <i>Paracalanus crassirostris</i> 5,023 (9.1) <i>Oithona simplex</i> 4,338 (7.8)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 3,059 (19.4) Copepoda (nauplius) 2,600 (16.5) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,294 (14.6) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 1,530 (9.7) <i>Oithona aruensis</i> 1,071 (6.8)	Copepoda (nauplius) 1,157 (25.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 801 (17.5) <i>Oithona simplex</i> 534 (11.7) <i>Oikopleura longicauda</i> 267 (5.8)
	() 内は組成比%				

調査地点		E12			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	36	44	42	47
	細胞数 (細胞/L)	227,630	627,210	37,440	10,970
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 116,000 (51.0) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 44,800 (19.7) <i>Thalassiosira</i> spp. 36,800 (16.2) Peridinales 12,260 (5.4)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 554,400 (88.4)	unidentified flagellates 18,880 (50.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 6,720 (17.9) Haptophyceae 2,960 (7.9) <i>Nitzschia</i> spp. 2,320 (6.2)	unidentified flagellates 3,920 (35.7) Prasinophyceae 1,360 (12.4) Cryptophyceae 1,320 (12.0) Gymnodiniales 1,240 (11.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 840 (7.7)
	() 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	20	19	28	30
	個体数 (個体/m ³)	13,094	72,643	15,707	21,346
	主な出現種の個体数 (個体/m ³)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,039 (38.5) <i>Oithona simplex</i> 2,730 (20.8) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 1,470 (11.2) <i>Oithona dissimilis</i> 840 (6.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 28,246 (38.9) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 15,490 (21.3) <i>Oithona aruensis</i> 10,023 (13.8) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 6,378 (8.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,768 (24.0) <i>Oithona aruensis</i> 3,478 (22.1) <i>Paracalanus crassirostris</i> 2,899 (18.5) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 870 (5.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 8,589 (40.2) <i>Oithona simplex</i> 2,442 (11.4) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 1,600 (7.5) <i>Oithona dissimilis</i> 1,263 (5.9) Copepoda (nauplius) 1,179 (5.5)
	() 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m～表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(10) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事前)

調査地点		E12			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	42	44	29	60
	細胞数 (細胞/L)	10,790	16,760	8,380	19,210
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 3,920 (36.3) Haptophyceae 2,160 (20.0) Gymnodiniales 1,280 (11.9) Cryptophyceae 1,040 (9.6)	unidentified flagellates 8,000 (47.7) Gymnodiniales 1,840 (11.0) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,680 (10.0) Prasinophyceae 1,280 (7.6)	unidentified flagellates 2,800 (33.4) Haptophyceae 2,400 (28.6) Prasinophyceae 720 (8.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 560 (6.7)	Haptophyceae 13,280 (69.1) unidentified flagellates 1,680 (8.7)
	() 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	26	38	42	60
	個体数 (個体/m)	41,464	28,334	33,660	31,020
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 14,851 (35.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,931 (16.7) Copepoda (nauplius) 4,158 (10.0) <i>Oikopleura</i> spp. 2,970 (7.2)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 7,595 (26.8) <i>Oithona aruensis</i> 5,571 (19.7) <i>Oithona simplex</i> 4,810 (17.0) <i>Oithona dissimilis</i> 4,333 (15.3) Copepoda (nauplius) 1,452 (5.1)	<i>Oithona simplex</i> 8,475 (25.2) <i>Oithona aruensis</i> 7,050 (20.9) <i>Bestiolina similis</i> 5,025 (14.9) <i>Paracalanus crassirostris</i> 4,050 (12.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,025 (6.0)	<i>Oithona simplex</i> 8,777 (28.3) Paracalanidae (copepodite) 6,034 (19.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,623 (18.1) Copepoda (nauplius) 3,223 (10.4) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,714 (5.5)
	() 内は組成比%				

調査地点		E12			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	32	50	56	69
	細胞数 (細胞/L)	13,970	17,100	22,570	47,270
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> spp. 5,440 (38.9) Cryptophyceae 4,000 (28.6) Prasinophyceae 1,280 (9.2) unidentified flagellates 720 (5.2)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 3,520 (20.6) unidentified flagellates 3,520 (20.6) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 1,900 (11.1) Cryptophyceae 1,600 (9.4) <i>Nitzschia</i> spp. 1,190 (7.0)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 6,800 (30.1) <i>Nitzschia</i> spp. 2,960 (13.1) <i>Cylindrotheca closterium</i> 2,420 (10.7) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 2,420 (10.7)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 8,000 (16.9) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 7,520 (15.9) <i>Skeletonema</i> spp. 5,820 (12.3) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 4,360 (9.2) <i>Chaetoceros curvisetum</i> 2,690 (5.7)
	() 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	35	27	49	33
	個体数 (個体/m)	3,558	19,125	5,844	8,981
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 1,037 (29.1) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 665 (18.7) <i>Oithona dissimilis</i> 597 (16.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 349 (9.8) <i>Oithona simplex</i> 208 (5.8)	<i>Fritillaria</i> spp. 4,900 (25.6) Paracalanidae (copepodite) 3,550 (18.6) <i>Oithona simplex</i> 3,500 (18.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,850 (9.7) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,725 (9.0)	Copepoda (nauplius) 1,067 (18.3) <i>Oithona simplex</i> 982 (16.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 970 (16.6) Paracalanidae (copepodite) 764 (13.1) <i>Oithona aruensis</i> 479 (8.2)	Copepoda (nauplius) 2,028 (22.6) <i>Oithona simplex</i> 2,028 (22.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,614 (18.0) Paracalanidae (copepodite) 1,117 (12.4) <i>Oikopleura</i> spp. 538 (6.0)
	() 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(11) 結果概要（浮遊生物調査：E12：工事前）

調査地点		E12				
調査年度		平成25年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	72	35	44	36	
	細胞数（細胞/L）	24,340	19,460	22,000	19,770	
	主な出現種の細胞数 （細胞/L） （ ）内は組成比%	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.		unidentified flagellates	unidentified flagellates	unidentified flagellates
			3,680 (15.1)	12,240 (62.9)	6,080 (27.6)	6,080 (30.8)
		Cryptophyceae		Cryptophyceae	<i>Heterocapsa</i> spp.	Cryptophyceae
			1,920 (7.9)	3,600 (18.5)	5,520 (25.1)	3,520 (17.8)
		unidentified flagellates			Cryptophyceae	Prasinophyceae
			1,840 (7.6)		2,240 (10.2)	2,720 (13.8)
		<i>Nitzschia</i> spp.		Haptophyceae	Euglenophyceae	
		1,520 (6.2)		1,680 (7.6)	2,160 (10.9)	
	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	<i>Heterocapsa</i> spp.		
	1,360 (5.6)		1,350 (6.1)	1,560 (7.9)		
動物 プランク トン	出現種類数	38	53	41	36	
	個体数（個体/m ³ ）	21,063	39,319	6,394	9,544	
	主な出現種の個体数 （個体/m ³ ） （ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius)		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	Copepoda (nauplius)
			6,188 (29.4)	6,556 (16.7)	1,047 (16.4)	4,770 (50.0)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)		<i>Paracalanus crassirostris</i>	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
			4,238 (20.1)	6,556 (16.7)	844 (13.2)	2,074 (21.7)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)		Paracalanidae (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	Gastropoda (larva)
			3,038 (14.4)	4,683 (11.9)	756 (11.8)	681 (7.1)
		<i>Oithona simplex</i>		Paracalanidae (copepodite)		
		2,288 (10.9)	3,746 (9.5)	698 (10.9)		
		Copepoda (nauplius)	<i>Oithona aruensis</i>			
		3,434 (8.7)	640 (10.0)			

調査地点		E12		
調査年度		平成26年度		
調査時期		春季		
項目				
植物 プランク トン	出現種類数	31		
	細胞数（細胞/L）	23,220		
	主な出現種の細胞数 （細胞/L） （ ）内は組成比%	unidentified flagellates		
			16,080 (69.3)	
		Prasinophyceae		
			2,720 (11.7)	
	Cryptophyceae			
	1,520 (6.5)			
動物 プランク トン	出現種類数	28		
	個体数（個体/m ³ ）	64,892		
	主な出現種の個体数 （個体/m ³ ） （ ）内は組成比%	<i>Oithona simplex</i>		
			42,741 (65.9)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)		
			8,593 (13.2)	
	<i>Paracalanus crassirostris</i>			
	5,037 (7.8)			

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(12) 結果概要 (浮遊生物調査 : E12 : 工事中)

調査地点		E12			
調査年度		平成29年度			
調査時期		秋季		冬季	
植物プランクトン	出現種数	53		46	
	細胞数 (細胞/L)	4,230		2,380	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 650 (15.4)	Euglenophyceae 320 (13.4)	unidentified flagellates 620 (14.7)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 310 (13.0)
	() 内は組成比%	Gymnodinales 480 (11.3)	Gymnodinales 130 (5.5)	Peridinales 240 (5.7)	<i>Pseudo-nitzschia</i> sp. 130 (5.5)
				<i>Heterocapsa</i> sp. 120 (5.0)	
動物プランクトン	出現種数	23		23	
	個体数 (個体/m)	8,836		1,723	
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona simplex</i> 4,848 (54.9)	Copepoda (nauplius) 800 (46.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,891 (18.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 110 (11.0)
	() 内は組成比%	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 508 (5.7)	<i>Oithona dissimilis</i> 156 (9.1)	Copepoda (nauplius) 455 (5.1)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 142 (8.2)
				<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 95 (6.5)	

調査地点		E12							
調査年度		平成30年度							
調査時期		春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季		
植物プランクトン	出現種数	39	25	53	39	38	34		
	細胞数 (細胞/L)	2,360	910	6,940	3,430	5,520	1,250		
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Gymnodinales 380 (16.1)	Gymnodinales 150 (16.5)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 3,660 (52.7)	Gymnodinales 660 (19.2)	Peridinales 940 (17.0)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 230 (18.4)		
	() 内は組成比%	Peridinales 280 (11.9)	<i>Gyrodinium</i> spp. 80 (8.8)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 450 (13.1)	unidentified flagellates 370 (10.8)	<i>Heterocapsa</i> spp. 860 (15.6)	<i>Leptocylindrus danicus</i> 100 (8.0)		
		Euglenophyceae 270 (11.4)	<i>Amphidinium</i> spp. 70 (7.7)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 370 (10.8)	unidentified flagellates 250 (7.3)	Gymnodinales 500 (9.1)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 100 (8.0)		
動物プランクトン	出現種数	20	27	30	24	21	19		
	個体数 (個体/m)	5,486	13,025	14,434	6,222	5,855	1,832		
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona dissimilis</i> 2,358 (43.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,467 (26.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,971 (20.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,932 (31.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,206 (38.7)	Copepoda (nauplius) 884 (48.3)		
	() 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,397 (25.5)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,467 (18.9)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,343 (16.2)	<i>Oithona simplex</i> 785 (12.6)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,068 (18.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 252 (13.8)		
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 961 (17.5)	<i>Oithona arvensis</i> 1,267 (9.7)	Copepoda (nauplius) 1,943 (13.5)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 684 (11.0)	Copepoda (nauplius) 588 (10.0)	<i>Oithona simplex</i> 225 (12.3)		

調査地点		E12				
調査年度		令和元年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	42	35	30	36	44
	細胞数 (細胞/L)	10,590	70,850	2,380	2,310	2,940
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Euglenophyceae 6,850 (64.7)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type) 56,500 (79.7)	Peridinales 330 (13.9)	Gymnodinales 460 (19.9)	Euglenophyceae 590 (20.1)
	() 内は組成比%	Peridinales 900 (8.5)	Gymnodinales 330 (13.9)	Euglenophyceae 320 (13.4)	unidentified flagellates 220 (9.5)	Gymnodinales 400 (13.6)
		<i>Prorocentrum triestinum</i> 710 (6.7)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 250 (10.5)	<i>Diatoms</i> sp. 200 (8.7)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 140 (6.1)	Peridinales 330 (11.2)
動物プランクトン	出現種数	15	23	25	25	19
	個体数 (個体/m)	428	19,823	1,903	5,208	1,008
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 130 (43.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 7,573 (38.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,469 (43.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,464 (28.1)	Copepoda (nauplius) 2,331 (33.3)
	() 内は組成比%	Gastropoda (larva) 86 (20.1)	<i>Oithona arvensis</i> 4,111 (20.7)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,088 (13.8)	<i>Oithona arvensis</i> 967 (18.6)	<i>Oithona simplex</i> 1,759 (25.1)
		Copepoda (nauplius) 68 (15.9)	<i>Oithona dissimilis</i> 1,824 (9.2)	<i>Oithona simplex</i> 850 (10.8)	<i>Oithona simplex</i> 758 (14.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,677 (23.9)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(13) 結果概要 (浮遊生物調査 : E12 : 工事中)

調査地点		E12				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	39	27	33	45	47
	細胞数 (細胞/L)	5,710	576,500	38,600	3,600	16,130
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Euglenophyceae 820 (14.4)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 536,000 (93.0)	unidentified flagellates 8,300 (21.5)	<i>Aulacoseira</i> spp. 390 (10.8)	<i>Peridinium quinquecorne</i> 10,480 (65.0)
	() 内は組成比%	Peridinales 770 (13.5)		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 5,500 (14.2)	Gymnodinales 320 (8.9)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 990 (6.1)
		Gymnodinales 730 (12.8)		<i>Chaetoceros constrictum</i> 5,000 (13.0)	Peridinales 300 (8.3)	
		<i>Heterocapsa</i> sp. 730 (12.8)		<i>Cylindrotheca closterium</i> 3,400 (8.8)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 260 (7.2)	
		Cryptophyceae 370 (6.5)		<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 2,600 (6.7)	unidentified flagellates 240 (6.7)	
動物 プランク トン	出現種類数	22	22	24	15	22
	個体数 (個体/m)	20,265	9,666	10,658	4,189	476
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 7,544 (37.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,109 (42.5)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,777 (16.7)	<i>Oithona simplex</i> 1,003 (23.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 124 (26.1)
	() 内は組成比%	<i>Oithona aruensis</i> 6,916 (34.1)	<i>Oithona aruensis</i> 3,046 (31.5)	Copepoda (nauplius) 1,700 (16.0)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 498 (11.9)	Gastropoda (larva) 109 (22.9)
		Copepoda (nauplius) 2,515 (12.4)	<i>Oithona simplex</i> 534 (5.5)	<i>Oithona simplex</i> 1,623 (15.2)	Copepoda (nauplius) 482 (11.5)	Copepoda (nauplius) 39 (8.2)
				<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,391 (13.1)	<i>Oikopleura</i> spp. 377 (9.0)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 36 (7.6)
				<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 1,198 (11.2)	Paracalanidae (copepodite) 361 (8.6)	<i>Oncaea media</i> 30 (6.3)

調査地点		E12			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	16	37	30	54
	細胞数 (細胞/L)	7,980	14,010	15,670	7,500
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 7,300 (91.5)	<i>Heterocapsa</i> spp. 3,200 (22.8)	<i>Heterocapsa</i> spp. 4,400 (28.1)	unidentified flagellates 1,150 (15.3)
	() 内は組成比%		Prasinophyceae 2,960 (21.1)	unidentified flagellates 3,200 (20.4)	Gymnodinales 900 (12.0)
			unidentified flagellates 2,800 (20.0)	Gymnodinales 2,800 (17.9)	Prasinophyceae 800 (10.7)
			Cryptophyceae 1,240 (8.9)	Prasinophyceae 1,850 (11.8)	<i>Heterocapsa</i> spp. 650 (8.7)
			<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 950 (6.8)	Cryptophyceae 1,350 (8.6)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 490 (6.5)
					Euglenophyceae 490 (6.5)
動物 プランク トン	出現種類数	22	28	31	22
	個体数 (個体/m)	6,730	33,308	4,536	473
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,833 (27.2)	<i>Oithona simplex</i> 9,376 (28.1)	Copepoda (nauplius) 1,204 (26.5)	Copepoda (nauplius) 101 (21.4)
	() 内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,350 (20.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 8,637 (25.9)	<i>Bestiolina similis</i> 602 (13.3)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 77 (16.3)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 804 (11.9)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 3,741 (11.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 497 (11.0)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 56 (11.8)
		<i>Oithona simplex</i> 621 (9.2)	Copepoda (nauplius) 2,679 (8.0)	<i>Oithona simplex</i> 455 (10.0)	<i>Oncaea media</i> 35 (7.4)
		<i>Bestiolina similis</i> 601 (8.9)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 2,587 (7.8)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 429 (9.5)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(14) 結果概要 (浮遊生物調査 : E12 : 工事中)

調査地点		E12				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プラン ク ト ン	出現種数	47	65	37	28	35
	細胞数 (細胞/L)	11,650	867,630	16,930	2,330	7,830
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ()内は組成比%	Prasinophyceae 3,090 (26.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,400 (20.6) unidentified flagellates 1,860 (16.0) Cryptophyceae 1,490 (12.8)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 772,550 (89.0)	Haptophyceae 8,800 (52.0) Peridinales 2,730 (16.1) Gymnodinales 1,300 (7.7) unidentified flagellates 1,070 (6.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 970 (5.7)	Gymnodinales 510 (21.9) <i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 360 (15.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 200 (8.6) Peridinales 190 (8.2) <i>Gymnodinium</i> spp. 150 (6.4) unidentified flagellates 150 (6.4)	Euglenophyceae 2,200 (28.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,550 (19.8) unidentified flagellates 1,100 (14.0) Peridinales 600 (7.7)
	出現種数	15	24	26	17	28
	個体数 (個体/m ³)	4,008	38,600	10,312	6,471	1,787
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) ()内は組成比%	Copepoda (nauplius) 1,080 (26.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 896 (22.4) <i>Oithona dissimilis</i> 576 (14.4) <i>Oithona simplex</i> 528 (13.2) <i>Oikopleura</i> spp. 288 (7.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 9,467 (24.5) Copepoda (nauplius) 8,133 (21.1) <i>Oithona simplex</i> 4,933 (12.8) <i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 3,200 (8.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,113 (49.6) <i>Oithona simplex</i> 1,600 (15.5) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,461 (14.2) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 765 (7.4) Paracalanidae (copepodite) 661 (6.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,831 (43.7) <i>Oithona simplex</i> 2,338 (36.1) Copepoda (nauplius) 418 (6.5)	Copepoda (nauplius) 452 (25.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 421 (23.6) <i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite) 122 (6.8)

- 注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(15) 結果概要 (浮遊生物調査 : E25 : 工事前)

調査地点		E25			
調査年度		平成19年度			
調査時期		夏季	秋季	冬季	
項目					
植物プランクトン	出現種類数	18	22	19	
	細胞数 (細胞/L)	6,030	2,120	2,220	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type)	3,200 (53.1)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type)	480 (21.6)
		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	800 (13.3)	Diatomaceae	400 (18.0)
		<i>Cylindrotheca closterium</i>	360 (6.0)	<i>Navicula</i> spp.	320 (14.4)
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	360 (6.0)	<i>Licmophora</i> spp.	160 (7.2)
		Haptophyceae	320 (5.3)	<i>Cylindrotheca closterium</i>	120 (5.7)
					160 (7.2)
					160 (7.2)
					160 (7.2)
動物プランクトン	出現種類数	27	33	21	
	個体数 (個体/m ³)	17,668	5,544	324	
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	4,551 (25.8)	Copepoda (nauplius)	45 (13.9)
		Copepoda (nauplius)	3,626 (20.5)	Gastropoda (larva)	27 (8.3)
		<i>Oithona aruensis</i>	1,697 (9.6)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	27 (8.3)
		<i>Oithona simplex</i>	1,697 (9.6)	<i>Oithona simplex</i>	812 (14.6)
		<i>Paracalanus crassirostris</i>	1,620 (9.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	609 (11.0)
					27 (8.3)
					27 (8.3)
					27 (8.3)

調査地点		E25						
調査年度		平成20年度						
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季			
項目								
植物プランクトン	出現種類数	26	24	22	24			
	細胞数 (細胞/L)	7,000	10,560	8,080	4,410			
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	<i>Navicula</i> spp.	1,750 (25.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	2,320 (28.7)	<i>Cylindrotheca closterium</i>	680 (15.4)	
		Gymnodiniales	1,000 (14.3)	7,200 (68.2)	<i>Cylindrotheca closterium</i>	960 (11.9)	unidentified flagellates	680 (15.4)
		Euglenophyceae	850 (12.1)		unidentified flagellates	880 (10.9)	Prasinophyceae	480 (10.9)
		Prasinophyceae	700 (10.0)		<i>Amphora</i> spp.	720 (8.9)	<i>Amphora</i> spp.	360 (8.2)
		unidentified flagellates	550 (7.9)		Peridinales	560 (6.9)	<i>Cocconeis</i> spp.	320 (7.3)
動物プランクトン	出現種類数	25	24	26	25			
	個体数 (個体/m ³)	3,218	2,600	3,229	2,422			
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	Copepoda (nauplius)	1,382 (42.9)	Copepoda (nauplius)	1,738 (53.8)	Copepoda (nauplius)	534 (22.0)	
		Gastropoda (larva)	654 (20.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	282 (10.8)	Gastropoda (larva)	395 (12.2)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	429 (13.3)	<i>Centropages</i> spp. (copepodite)	235 (9.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	305 (12.6)	
				Gastropoda (larva)	235 (9.0)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	305 (12.6)	
				<i>Oithona simplex</i>	235 (9.0)	Cirripedia (nauplius)	229 (9.5)	
						<i>Delius nudus</i>	153 (6.3)	
						<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	153 (6.3)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(16) 結果概要（浮遊生物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	20	42	41	34
	細胞数（細胞/L）	9,360	8,150	3,590	1,970
	主な出現種の細胞数（細胞/L）	unidentified flagellates 2,480 (26.5)	Peridinales 890 (10.9)	Pennales 540 (15.0)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 360 (18.3)
	() 内は組成比%	<i>Achnanthes</i> spp. 2,160 (23.1)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 770 (9.4)	unidentified flagellates 520 (14.5)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 340 (17.3)
		Haptophyceae 1,440 (15.4)	<i>Nitzschia</i> spp. 750 (9.2)	Peridinales 340 (9.5)	<i>Leptocylindrus danicus</i> 280 (14.2)
		Prasinophyceae 720 (7.7)	Gymnodinales 730 (9.0)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 270 (7.5)	<i>Chaetoceros compressum</i> 130 (6.6)
	Peridinales 640 (6.8)	unidentified flagellates 700 (8.6)	Gymnodinales 230 (6.4)		
動物プランクトン	出現種類数	29	23	16	19
	個体数（個体/m ³ ）	4,150	5,066	1,909	859
	主な出現種の個体数（個体/m ³ ）	Copepoda (nauplius) 1,854 (44.7)	Copepoda (nauplius) 1,515 (29.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 387 (20.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 255 (29.7)
	() 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 390 (9.4)	Paracalanidae (copepodite) 707 (14.0)	<i>Oithona simplex</i> 363 (19.0)	Copepoda (nauplius) 240 (27.9)
			<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 606 (12.0)	Cirripedia (nauplius) 242 (12.7)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 96 (11.2)
			<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 505 (10.0)	Paracalanidae (copepodite) 242 (12.7)	Paracalanidae (copepodite) 64 (7.5)
		<i>Oithona simplex</i> 404 (8.0)	Copepoda (nauplius) 145 (7.6)		
			<i>Oithona attenuata</i> 145 (7.6)		
			<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 145 (7.6)		

調査地点		E25			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	42	43	36	45
	細胞数（細胞/L）	34,380	169,500	19,870	6,480
	主な出現種の細胞数（細胞/L）	<i>Thalassiosira</i> spp. 11,800 (34.3)	unidentified flagellates 60,800 (35.9)	<i>Heterocapsa</i> spp. 4,960 (25.0)	Prasinophyceae 1,320 (20.4)
	() 内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 9,840 (28.6)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 52,800 (31.2)	unidentified flagellates 4,800 (24.2)	unidentified flagellates 1,280 (19.8)
		unidentified flagellates 7,200 (20.9)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 11,200 (6.6)	Prasinophyceae 4,000 (20.1)	Haptophyceae 1,120 (17.3)
		Gymnodinales 2,280 (6.6)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 11,200 (6.6)	Haptophyceae 2,000 (10.1)	
			Cryptophyceae 1,840 (9.3)		
動物プランクトン	出現種類数	34	22	25	25
	個体数（個体/m ³ ）	2,818	2,843	3,899	8,036
	主な出現種の個体数（個体/m ³ ）	Copepoda (nauplius) 432 (15.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 658 (23.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 812 (20.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,709 (33.7)
	() 内は組成比%	Gastropoda (larva) 432 (15.3)	<i>Oithona aruensis</i> 548 (19.3)	Gastropoda (larva) 696 (17.9)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 903 (11.2)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 432 (15.3)	Copepoda (nauplius) 438 (15.4)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 464 (11.9)	Copepoda (nauplius) 813 (10.1)
		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 247 (8.8)	<i>Oithona simplex</i> 274 (9.6)	Copepoda (nauplius) 464 (11.9)	<i>Oithona simplex</i> 542 (6.7)
	<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 185 (6.6)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 274 (9.6)	<i>Oithona simplex</i> 348 (8.9)	Paracalanidae (copepodite) 542 (6.7)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(17) 結果概要（浮遊生物調査：E25：工事前）

調査地点		E25				
調査年度		平成23年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物プランクトン	出現種類数	28	33	40	54	
	細胞数（細胞/L）	4,340	10,260	4,540	15,950	
	主な出現種の細胞数（細胞/L） （ ）内は組成比%	unidentified flagellates	1,920 (44.2)	unidentified flagellates	1,760 (38.8)	Haptophyceae
		Cryptophyceae	560 (12.9)	Prasinophyceae	400 (8.8)	unidentified flagellates
		<i>Navicula</i> spp.	530 (12.2)	<i>Heterocapsa</i> spp.	350 (7.7)	Prasinophyceae
		Prasinophyceae	480 (11.1)	<i>Scrippsiella</i> spp.	260 (5.7)	880 (5.5)
動物プランクトン	出現種類数	19	30	39	45	
	個体数（個体/m ³ ）	4,872	18,392	9,265	22,504	
	主な出現種の個体数（個体/m ³ ） （ ）内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,492 (30.6)	<i>Acrocalanus longicornis</i>	2,520 (27.2)	<i>Delius nudus</i>
		Gastropoda (larva)	932 (19.1)	<i>Oithona dissimilis</i>	1,560 (16.8)	Copepoda (nauplius)
		<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	932 (19.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,000 (10.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	373 (7.7)	<i>Oithona simplex</i>	880 (9.5)	Calanoida (copepodite)

調査地点		E25				
調査年度		平成24年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物プランクトン	出現種類数	30	44	46	45	
	細胞数（細胞/L）	4,520	12,690	12,410	17,010	
	主な出現種の細胞数（細胞/L） （ ）内は組成比%	Peridinales	1,020 (22.6)	unidentified flagellates	3,280 (26.4)	unidentified flagellates
		Cryptophyceae	800 (17.7)	<i>Heterocapsa</i> spp.	2,560 (20.6)	Prasinophyceae
		<i>Scrippsiella</i> spp.	510 (11.3)	<i>Nitzschia</i> spp.	1,520 (12.2)	Cryptophyceae
		<i>Heterocapsa</i> spp.	450 (10.0)			2,320 (13.6)
動物プランクトン	出現種類数	19	21	51	33	
	個体数（個体/m ³ ）	1,900	1,030	3,532	3,654	
	主な出現種の個体数（個体/m ³ ） （ ）内は組成比%	<i>Undinula vulgaris</i>	831 (43.7)	Copepoda (nauplius)	700 (19.8)	Copepoda (nauplius)
		Gastropoda (larva)	306 (16.1)	Bivalvia (D-shaped larva)	508 (14.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
		<i>Nannocalanus minor</i>	275 (14.5)	Cirripedia (nauplius)	333 (9.4)	Gastropoda (larva)
						291 (8.0)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(18) 結果概要 (浮遊生物調査 : E25 : 工事前)

調査地点		E25				
調査年度		平成25年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物プランクトン	出現種類数	36	47	44	26	
	細胞数 (細胞/L)	4,380	38,410	15,880	6,990	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	unidentified flagellates	1,520 (34.7)	21,360 (55.6)	5,760 (36.3)	Prasinophyceae 2,320 (33.2)
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	400 (9.1)	Cryptophyceae	2,560 (16.1)	unidentified flagellates
		<i>Nitzschia</i> spp.	330 (7.5)	<i>Heterocapsa</i> spp.	2,400 (15.1)	1,840 (26.3)
		Prasinophyceae	240 (5.5)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	1,360 (8.6)	Cryptophyceae
				1,360 (19.5)		
動物プランクトン	出現種類数	41	34	28	13	
	個体数 (個体/m ³)	5,576	14,619	3,385	140	
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	Copepoda (nauplius)	1,478 (26.5)	4,490 (30.7)	Gastropoda (larva)	631 (18.6)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,222 (21.9)	3,974 (27.2)	Copepoda (nauplius)	385 (11.4)
		<i>Oithona simplex</i>	778 (14.0)	<i>Oithona aruensis</i>	385 (11.4)	Isopoda
		<i>Oithona attenuata</i>	300 (5.4)	Paracalanidae (copepodite)	323 (9.5)	14 (10.0)
Paracalanidae (copepodite)		289 (5.2)		Bivalvia (D-shaped larva)	277 (8.2)	
				14 (10.0)		

調査地点		E25		
調査年度		平成26年度		
調査時期		春季		
項目				
植物プランクトン	出現種類数	24		
	細胞数 (細胞/L)	26,630		
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	unidentified flagellates	18,240 (68.5)	
		Prasinophyceae	2,160 (8.1)	
	Cryptophyceae	2,080 (7.8)		
動物プランクトン	出現種類数	28		
	個体数 (個体/m ³)	5,023		
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	Gastropoda (larva)	1,710 (34.0)	
Copepoda (nauplius)		1,683 (33.5)		

- 注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(19) 結果概要 (浮遊生物調査 : E25 : 工事中)

調査地点		E25			
調査年度		平成29年度			
調査時期		秋季		冬季	
項目	出現種数				
植物プランクトン	出現種数	52		48	
	細胞数 (細胞/L)	3,270		2,810	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 560 (17.1) <i>Navicula</i> spp. 320 (50.4) <i>Bacteriastrum</i> spp. 290 (8.9) Pennales 240 (7.3)		<i>Cylindrotheca closterium</i> 360 (12.8) <i>Diatoma</i> sp. 320 (12.1) Gymnodinales 320 (11.4) Pennales 180 (6.4) unidentified flagellates 180 (6.4)	
	() 内は組成比%				
	出現種数	17		13	
	細胞数 (細胞/m)	1,360		560	
動物プランクトン	出現種数	17		13	
	個体数 (個体/m)	1,360		560	
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 430 (31.6) Gastropoda (larva) 14,500 (20,000) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 240 (17.6) Paracalanidae (copepodite) 100 (7.4)		Copepoda (nauplius) 250 (44.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 20,000 (16.1) <i>Oncaea venusta</i> 40 (7.1) Gastropoda (larva) 30 (5.4)	
	() 内は組成比%				
	出現種数	17		13	
	個体数 (個体/m)	1,360		560	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示す。

調査地点		E25											
調査年度		平成30年度											
調査時期		春季		台風後		夏季		台風後		秋季		冬季	
項目	出現種数												
植物プランクトン	出現種数	54		40		52		35		35		32	
	細胞数 (細胞/L)	28,760		2,000		25,970		5,040		1,710		2,050	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 14,500 (50.4) <i>Skoletonema costatum sensu lato</i> 4,200 (14.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,530 (8.8) <i>Chaetoceros</i> spp. (cf. <i>salsuginus</i>) 2,270 (7.9)		<i>Heterocapsa</i> spp. 269 (16.0) Peridinales 240 (12.0) Gymnodinales 170 (8.5) unidentified flagellates 130 (6.5) Pennales 120 (6.0)		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 8,686 (77.0) <i>Cylindrotheca closterium</i> 1,310 (5.0)		<i>Bacillaria paxillifer</i> 1,200 (23.8) <i>Cylindrotheca closterium</i> 520 (10.3) Gymnodinales 410 (8.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 360 (7.1) Peridinales 280 (5.6)		<i>Heterocapsa</i> spp. 200 (11.7) <i>Cylindrotheca closterium</i> 140 (8.2) Pennales 130 (7.6) Cryptophyceae 110 (6.4) Prasinophyceae 110 (6.4)		Euglenophyceae 460 (22.4) Peridinales 270 (13.2) <i>Protoperidinium</i> spp. 190 (9.3) unidentified flagellates 110 (5.4)	
	() 内は組成比%												
	出現種数	14		20		27		13		16		18	
	個体数 (個体/m)	17,522		2,293		34,222		3,060		6,479		1,310	
動物プランクトン	出現種数	14		20		27		13		16		18	
	個体数 (個体/m)	17,522		2,293		34,222		3,060		6,479		1,310	
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona dissimilis</i> 4,735 (27.0) <i>Acartia</i> <i>tosae</i> 4,103 (23.4) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 3,197 (18.2) Copepoda (nauplius) 2,410 (13.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,436 (8.2)		Copepoda (nauplius) 569 (24.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 551 (24.0) Gastropoda (larva) 222 (9.7) Cirripedia (nauplius) 151 (6.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 116 (5.1)		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 8,686 (25.4) <i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 3,886 (11.4) <i>Oithona simplex</i> 3,200 (9.4) <i>Oithona attenuata</i> 2,743 (8.0) Copepoda (nauplius) 2,400 (7.0)		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,180 (38.6) Copepoda (nauplius) 840 (27.5) <i>Oithona oculata</i> 250 (8.2)		Copepoda (nauplius) 4,527 (69.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 593 (9.2) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 428 (6.6)		Copepoda (nauplius) 715 (54.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 154 (11.8) Paracalanidae (copepodite) 81 (6.2) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 72 (5.5)	
	() 内は組成比%												
	出現種数	14		20		27		13		16		18	
	個体数 (個体/m)	17,522		2,293		34,222		3,060		6,479		1,310	

調査地点		E25									
調査年度		令和元年度									
調査時期		春季		夏季		台風後		秋季		冬季	
項目	出現種数										
植物プランクトン	出現種数	36		28		30		37		37	
	細胞数 (細胞/L)	1,470		2,560		4,200		2,590		1,250	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridinales 250 (17.0) Gymnodinales 160 (10.9) <i>Navicula</i> spp. 140 (9.5) Euglenophyceae 100 (6.8) unidentified flagellates 80 (5.4)		<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type) 850 (33.2) <i>Protoperidinium</i> sp. 440 (17.2) <i>Prorocentrum triestinum</i> 260 (10.2) Peridinales 190 (7.4) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. 140 (5.5)		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 800 (19.0) Gymnodinales 710 (16.9) <i>Chaetoceros lauderi</i> 470 (11.2) Peridinales 430 (10.2) <i>Protoperidinium</i> spp. 310 (7.4)		Gymnodinales 270 (10.4) Prasinophyceae 210 (8.1) unidentified flagellates 190 (7.3) Peridinales 190 (7.3) Pennales 190 (7.3) <i>Navicula</i> spp. 190 (7.3)		Gymnodinales 160 (12.8) Euglenophyceae 120 (9.6) Pennales 110 (8.8) <i>Amphora</i> sp. 90 (7.2) Peridinales 80 (6.4)	
	() 内は組成比%										
	出現種数	15		15		18		22		7	
	個体数 (個体/m)	561		2,265		13,014		3,126		109	
動物プランクトン	出現種数	15		15		18		22		7	
	個体数 (個体/m)	561		2,265		13,014		3,126		109	
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 129 (23.0) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 99 (17.6) Gastropoda (larva) 76 (13.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 61 (10.9) Isopoda 30 (5.3) Foraminifera 30 (5.3)		Copepoda (nauplius) 919 (40.6) Gastropoda (larva) 281 (12.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 196 (8.7) Isopoda 187 (8.3) Paracalanidae (copepodite) 179 (7.9)		Copepoda (nauplius) 4,524 (34.8) <i>Oikopleura</i> spp. 1,714 (13.2) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,667 (12.8) <i>Oikopleura dioica</i> 1,274 (9.8) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,012 (7.8)		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 728 (23.3) Copepoda (nauplius) 524 (16.8) <i>Oithona simplex</i> 243 (7.8) <i>Oithona attenuata</i> 233 (7.5) Gastropoda (larva) 223 (7.1)		Copepoda (nauplius) 29 (26.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 20 (18.3) <i>Oncaea media</i> 20 (18.3) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 10 (9.2) Cirripedia (nauplius) 10 (9.2) <i>Clasacalanus</i> spp. (copepodite) 10 (9.2) Harpacticoida 10 (9.2)	
	() 内は組成比%										
	出現種数	15		15		18		22		7	
	個体数 (個体/m)	561		2,265		13,014		3,126		109	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(20) 結果概要 (浮遊生物調査 : E25 : 工事中)

調査地点		E25				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
植物プランクトン	出現種類数	36	20	36	29	22
	細胞数 (細胞/L)	4,570	22,300	812,600	1,660	1,270
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> sp. 1,400 (30.6)	<i>Nitzschia</i> spp. 10,700 (48.0)	<i>Chaetoceros constrictum</i> 536,000 (66.0)	<i>Licmophora</i> spp. 450 (27.1)	Pennales 350 (27.6)
	() 内は組成比%	Peridinales 570 (12.5)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 3,900 (17.5)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 117,300 (14.4)	Pennales 270 (16.3)	Peridinales 180 (14.2)
		Gymnodinales 400 (8.8)		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 79,300 (9.8)	unidentified flagellates 200 (12.0)	Prasinophyceae 120 (9.4)
		unidentified flagellates 400 (8.8)			<i>Nitzschia</i> spp. 140 (8.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 70 (5.5)
	<i>Cylindrotheca closterium</i> 300 (6.6)				<i>Nitzschia</i> spp. 70 (5.5)	
動物プランクトン	出現種類数	10	16	23	8	20
	個体数 (個体/m)	1,195	1,225	16,394	226	1,011
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 623 (52.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 409 (33.4)	Copepoda (nauplius) 4,286 (26.1)	Copepoda (nauplius) 85 (37.6)	Gastropoda (larva) 314 (31.1)
	() 内は組成比%	Gastropoda (larva) 181 (15.1)	Copepoda (nauplius) 343 (28.0)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 2,321 (14.2)	<i>Oithona nana</i> 38 (16.8)	Copepoda (nauplius) 157 (15.5)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 101 (8.5)	Gastropoda (larva) 110 (9.0)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,143 (13.1)	Paracalanidae (copepodite) 28 (12.4)	Polychaeta (larva) 88 (8.7)
		Bivalvia (umbo larva) 80 (6.7)	<i>Oithona aruensis</i> 66 (5.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,054 (12.5)	Polychaeta (larva) 19 (8.4)	Calanoida (copepodite) 78 (7.7)
	Cirripedia (nauplius) 70 (5.9)		Paracalanidae (copepodite) 1,161 (7.1)	<i>Oithona simplex</i> 19 (8.4)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 69 (6.8)	
				<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 19 (8.4)		

調査地点		E25			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	42	53	41	37
	細胞数 (細胞/L)	13,860	9,720	5,350	1,690
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 2,980 (21.5)	Prasinophyceae 1,080 (11.1)	unidentified flagellates 950 (17.8)	Gymnodinales 250 (14.8)
	() 内は組成比%	Gymnodinales 2,430 (17.5)	unidentified flagellates 1,000 (10.3)	Gymnodinales 810 (15.1)	Peridinales 150 (8.9)
		<i>Heterocapsa</i> spp. 2,430 (17.5)	Gymnodinales 790 (8.1)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 670 (12.5)	unidentified flagellates 120 (7.1)
		Peridinales 1,900 (13.7)	Diatomaceae 590 (6.1)	Cryptophyceae 450 (8.4)	<i>Oxytoxum</i> spp. 100 (5.9)
	Cryptophyceae 1,130 (8.2)	Peridinales 570 (5.9)	<i>Heterocapsa</i> spp. 400 (7.5)	Cryptophyceae 90 (5.3)	
			Prasinophyceae 400 (7.5)		
動物プランクトン	出現種類数	16	16	20	13
	個体数 (個体/m)	4,667	379	709	412
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 912 (19.5)	Gastropoda (larva) 79 (20.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 137 (19.3)	Copepoda (nauplius) 107 (26.0)
	() 内は組成比%	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 843 (18.1)	Bivalvia (umbo larva) 56 (14.8)	Gastropoda (larva) 113 (16.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (19.4)
		<i>Bestiolina similis</i> 725 (15.5)	<i>Creseis</i> spp. 45 (11.9)	Polychaeta (larva) 59 (8.3)	Gastropoda (larva) 40 (9.7)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 725 (15.5)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 34 (9.0)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 59 (8.3)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 40 (9.7)
	Paracalanidae (copepodite) 559 (12.0)	Paracalanidae (copepodite) 22 (5.8)	<i>Oithona simplex</i> 39 (5.5)	Polychaeta (larva) 27 (6.6)	
		Isopoda 22 (5.8)	<i>Oikopleura</i> spp. 39 (5.5)	Cirripedia (nauplius) 27 (6.6)	
		<i>Oikopleura</i> spp. 22 (5.8)			

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(21) 結果概要 (浮遊生物調査 : E25 : 工事中)

調査地点		E25				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目	出現種数	31	54	42	41	24
植物 プランク トン	細胞数 (細胞/L)	18,170	90,720	10,840	2,360	1,320
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 4,250 (23.4) Cryptophyceae 4,010 (22.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 4,000 (22.0) Prasinophyceae 3,450 (19.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 53,200 (58.6) <i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 22,400 (24.7)	Gymnodinales 1,870 (17.3) Peridinales 1,700 (15.7) Haptophyceae 1,600 (14.8) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,210 (11.2) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,170 (10.8)	Pennales 320 (13.6) Naviculaceae 190 (8.1) unidentified flagellates 150 (6.4) <i>Licophora</i> spp. 140 (5.9) Diatomaceae 120 (5.1) <i>Climacosphenia moniligera</i> 120 (5.1) <i>Navicula</i> spp. 120 (5.1)	unidentified flagellates 400 (30.3) <i>Cylindrotheca closterium</i> 170 (12.9) Cryptophyceae 150 (11.4) Pennales 110 (8.3) <i>Navicula</i> spp. 90 (6.8)
	出現種数	10	10	14	21	20
	個体数 (個体/m ³)	920	6,600	919	2,180	1,240
	主な出現種の個体数 (個体/m ³)	Copepoda (nauplius) 340 (37.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 180 (19.6) Gastropoda (larva) 120 (13.0) Polychaeta (larva) 80 (8.7) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 60 (6.5)	Copepoda (nauplius) 4,320 (65.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,320 (20.0) Bivalvia (umbo larva) 360 (5.5)	Bivalvia (umbo larva) 240 (26.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 213 (23.2) Gastropoda (larva) 80 (8.7) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 67 (7.3) <i>Oithona simplex</i> 53 (5.8) <i>Corycaeus</i> spp. (copepodite) 53 (5.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 620 (28.4) <i>Oithona simplex</i> 580 (26.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 260 (11.9) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 140 (6.4)	Copepoda (nauplius) 293 (23.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 160 (12.9) Paracalanidae (copepodite) 107 (8.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 80 (6.5) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 80 (6.5)

- 注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(22) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事前)

調査地点		E27		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	17	27	24
	細胞数 (細胞/L)	24,160	18,940	1,800
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type) 20,400 (84.4)	Chlorococcales 15,600 (82.4)	Haptophyceae 320 (17.8)
		<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type) 1,280 (5.3)		<i>Cocconeis</i> spp. 200 (11.1)
		<i>Navicula</i> spp. 200 (11.1)	unidentified flagellates 200 (11.1)	
			<i>Cylindrotheca closterium</i> 120 (6.7)	
動物 プランク トン	出現種類数	32	21	28
	個体数 (個体/m ³)	30,430	4,749	1,086
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	Copepoda (nauplius) 9,083 (29.8)	Copepoda (nauplius) 2,114 (44.5)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 320 (29.5)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,095 (16.7)	Gastropoda (larva) 545 (11.5)	Copepoda (nauplius) 152 (14.0)
Bivalvia (D-shaped larva) 3,545 (11.6)		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 477 (10.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 91 (8.4)	
<i>Oithona simplex</i> 2,437 (8.0)		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 409 (8.6)	<i>Oncaea media</i> 81 (7.5)	
Gastropoda (larva) 2,215 (7.3)			<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 76 (7.0)	

調査地点		E27			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	20	27	19	25
	細胞数 (細胞/L)	5,250	4,770	6,670	3,260
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	<i>Navicula</i> spp. 1,750 (33.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,600 (33.5)	unidentified flagellates 3,440 (51.6)	Prasinophyceae 760 (23.3)
		Prasinophyceae 950 (18.1)	Peridinales 1,080 (22.6)	Haptophyceae 800 (12.0)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 520 (16.0)
Gymnodiniales 600 (11.4)		unidentified flagellates 320 (6.7)	Cryptophyceae 720 (10.8)	unidentified flagellates 400 (12.3)	
Euglenophyceae 550 (10.5)		Gymnodiniales 280 (5.9)	<i>Amphora</i> spp. 400 (6.0)	Haptophyceae 360 (11.0)	
			<i>Calcosolenia murrayi</i> 240 (7.4)		
動物 プランク トン	出現種類数	30	26	14	19
	個体数 (個体/m ³)	7,966	14,690	15,277	1,001
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	Copepoda (nauplius) 2,963 (37.2)	Gastropoda (larva) 3,030 (20.6)	Copepoda (nauplius) 11,066 (72.4)	Copepoda (nauplius) 128 (12.8)
		Gastropoda (larva) 1,625 (20.4)	Copepoda (nauplius) 2,914 (19.8)	Gastropoda (larva) 1,393 (9.1)	Foraminifera 128 (12.8)
<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 828 (10.4)		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,681 (18.3)	Bivalvia (umbo larva) 1,311 (8.6)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 128 (12.8)	
Bivalvia (umbo larva) 510 (6.4)		<i>Oithona simplex</i> 1,865 (12.7)	Harpacticoida (copepodite) 1,148 (7.5)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 128 (12.8)	
<i>Oithona simplex</i> 446 (5.6)				<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite) 64 (6.4)	
			Gastropoda (larva) 64 (6.4)		
			<i>Oithona simplex</i> 64 (6.4)		
			<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 64 (6.4)		

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(23) 結果概要（浮遊生物調査：E27：工事前）

調査地点		E27				
調査年度		平成21年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	23	43	34	22	
	細胞数（細胞/L）	7,820	10,350	2,610	560	
	主な出現種の細胞数 （細胞/L） （ ）内は組成比%	unidentified flagellates	2,480 (31.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 4,550 (44.0)	Gymnodiniales 330 (12.6)	unidentified flagellates 80 (14.3)
		Haptophyceae	1,280 (16.4)	unidentified flagellates	Pennales 270 (10.3)	<i>Bleakeleya notata</i> 70 (12.5)
		Peridinales	1,120 (14.3)	Peridinales 930 (9.0)	Peridinales 260 (10.0)	<i>Coscinodiscus</i> spp. 50 (8.9)
		<i>Scrippsiella trochoidea</i>	640 (8.2)	Gymnodiniales 620 (6.0)	<i>Nitzschia</i> spp. 240 (9.2)	<i>Leptocylindrus danicus</i> 50 (8.9)
					<i>Cylindrotheca closterium</i> 230 (8.8)	<i>Lauderia annulata</i> 30 (5.4)
					<i>Nitzschia longissima</i> 30 (5.4)	
					Oscillatoriaceae 30 (5.4)	
	出現種類数	32	20	26	19	
個体数（個体/m ³ ）	4,359	86,500	1,287	433		
動物 プランク トン	主な出現種の個体数 （個体/m ³ ） （ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius)	1,041 (23.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 25,000 (28.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 183 (14.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 107 (24.7)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	694 (15.9)	<i>Oithona aruensis</i> 22,000 (25.4)	Paracalanidae (copepodite) 115 (8.9)	Copepoda (nauplius) 61 (14.1)
		<i>Paracalanus parvus</i>	304 (7.0)	Copepoda (nauplius) 8,000 (9.2)	Polychaeta (larva) 115 (8.9)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 46 (10.6)
		Bivalvia (umbo larva)	260 (6.0)	<i>Oithona simplex</i> 6,000 (6.9)	Bivalvia (D-shaped larva) 92 (7.1)	<i>Oikopleura longicauda</i> 38 (8.8)
		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	260 (6.0)	<i>Oikopleura</i> spp. 5,000 (5.8)	Cirripedia (nauplius) 92 (7.1)	<i>Oncaea venusta</i> 34 (7.9)
					<i>Oithona aruensis</i> 92 (7.1)	

調査地点		E27				
調査年度		平成22年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	41	47	42	47	
	細胞数（細胞/L）	17,880	145,700	112,490	19,600	
	主な出現種の細胞数 （細胞/L） （ ）内は組成比%	<i>Peridinium quinquecorne</i>	3,840 (21.5)	unidentified flagellates 104,000 (71.4)	unidentified flagellates 67,680 (60.2)	unidentified flagellates 5,920 (30.2)
		unidentified flagellates	3,600 (20.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 11,840 (8.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 18,240 (16.2)	Cryptophyceae 5,040 (25.7)
		<i>Thalassiosira</i> spp.	2,880 (16.1)	<i>Bacteriastrum</i> spp. 9,120 (6.3)	Cryptophyceae 17,760 (15.8)	Prasinophyceae 3,760 (19.2)
		Peridinales	2,000 (11.2)			Haptophyceae 1,240 (6.3)
		<i>Heterocapsa</i> spp.	1,040 (5.8)			<i>Heterocapsa</i> spp. 1,200 (6.1)
	出現種類数	28	20	26	23	
	個体数（個体/m ³ ）	5,034	4,082	22,591	5,905	
	動物 プランク トン	主な出現種の個体数 （個体/m ³ ） （ ）内は組成比%	Copepoda (nauplius)	1,116 (22.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,125 (27.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,134 (27.2)
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)			717 (14.2)	<i>Oithona simplex</i> 772 (18.9)	<i>Oithona oculata</i> 3,578 (15.8)	<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 611 (10.3)
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)			717 (14.2)	Copepoda (nauplius) 547 (13.4)	<i>Oithona simplex</i> 1,789 (7.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 509 (8.6)
<i>Oithona simplex</i>			478 (9.5)	<i>Oithona aruensis</i> 322 (7.9)	<i>Oikopleura</i> spp. 1,534 (6.8)	Calanoida (copepodite) 407 (6.9)
Gastropoda (larva)			398 (7.9)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 225 (5.5)	<i>Oithona aruensis</i> 1,534 (6.8)	<i>Oithona simplex</i> 407 (6.9)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層（海面下10m～表層）における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(24) 結果概要 (浮遊生物調査: E27: 工事前)

調査地点		E27				
調査年度		平成23年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	31	29	43	21	
	細胞数 (細胞/L)	3,920	4,030	8,680	4,330	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	<i>Navicula</i> spp.	1,060 (27.0)	unidentified flagellates 1,760 (43.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 2,210 (25.5)	Haptophyceae 1,760 (40.6)
		unidentified flagellates	960 (24.5)	<i>Gymnodinium</i> spp. 250 (6.2)	unidentified flagellates 1,360 (15.7)	Prasinophyceae 1,600 (37.0)
		<i>Amphora</i> spp.	400 (10.2)	Peridinales 240 (6.0)	<i>Bleakleya notata</i> 890 (10.3)	unidentified flagellates 400 (9.2)
		Prasinophyceae	240 (6.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 230 (5.7)	Cryptophyceae 720 (8.3)	
				<i>Protoperidinium</i> spp. 220 (5.5)	Gymnodinales 510 (5.9)	
	出現種類数	18	25	30	37	
	個体数 (個体/m ³)	5,712	21,050	15,363	1,709	
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	3,450 (60.4)	<i>Acrocalanus longicornis</i> 8,012 (38.1)	Copepoda (nauplius) 5,467 (35.6)	Copepoda (nauplius) 355 (20.8)
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)		323 (5.7)	<i>Oithona dissimilis</i> 2,118 (10.1)	<i>Oikopleura longicauda</i> 2,489 (16.2)	Paracalanidae (copepodite) 239 (14.0)	
			Brachyura (zoaea) 1,824 (8.7)	<i>Oikopleura</i> spp. 2,000 (13.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 148 (8.7)	
			<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,718 (8.2)	<i>Oithona aruensis</i> 1,067 (6.9)	Calanoida (copepodite) 129 (7.5)	
			<i>Oithona longispina</i> 1,624 (7.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 933 (6.1)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 90 (5.3)	

調査地点		E27				
調査年度		平成24年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	35	44	42	45	
	細胞数 (細胞/L)	13,440	11,940	12,570	10,030	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	Cryptophyceae	4,400 (32.7)	<i>Heterocapsa</i> spp. 3,200 (26.8)	unidentified flagellates 4,560 (36.3)	Prasinophyceae 3,200 (31.9)
		Prasinophyceae	3,440 (25.6)	unidentified flagellates 2,800 (23.5)	Prasinophyceae 2,560 (20.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 1,010 (10.1)
		Haptophyceae	1,360 (10.1)	<i>Navicula</i> spp. 720 (6.0)	Cryptophyceae 1,440 (11.5)	Cryptophyceae 640 (6.4)
		unidentified flagellates	1,280 (9.5)		Haptophyceae 960 (7.6)	unidentified flagellates 560 (5.6)
					<i>Heterocapsa</i> spp. 720 (5.7)	
	出現種類数	27	37	39	23	
	個体数 (個体/m ³)	10,182	7,457	6,464	1,566	
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	<i>Undinula vulgaris</i>	6,052 (59.4)	Copepoda (nauplius) 4,140 (55.5)	Copepoda (nauplius) 1,824 (28.2)	Copepoda (nauplius) 429 (27.4)
<i>Calocalanus styliremis</i>		1,409 (13.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 813 (10.9)	<i>Oithona simplex</i> 1,632 (25.2)	Gastropoda (larva) 190 (12.1)	
Bivalvia (D-shaped larva)		835 (8.2)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 487 (6.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 992 (15.3)	Harpacticoida (copepodite) 162 (10.3)	
			Paracalanidae (copepodite) 487 (6.5)	Paracalanidae (copepodite) 328 (5.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 133 (8.5)	
					Cirripedia (nauplius) 86 (5.5)	
				<i>Microsetella norvegica</i> 86 (5.5)		

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(25) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事前)

調査地点		E27				
調査年度		平成25年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	41	36	59	24	
	細胞数 (細胞/L)	8,600	38,380	44,910	6,710	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	unidentified flagellates	4,720 (54.9)	unidentified flagellates	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	unidentified flagellates
		Cryptophyceae	800 (9.3)	24,240 (63.2)	16,640 (37.1)	2,400 (35.8)
		Prasinophyceae	800 (9.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	unidentified flagellates	Cryptophyceae
			4,160 (10.8)	9,840 (21.9)	1,520 (22.7)	
		2,880 (7.5)	Cryptophyceae	4,000 (8.9)	1,440 (21.5)	
		<i>Heterocapsa</i> spp.	2,720 (7.1)	<i>Heterocapsa</i> spp.	3,120 (6.9)	
動物 プランク トン	出現種類数	39	28	28	40	
	個体数 (個体/m ³)	10,216	16,547	15,966	2,536	
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	Gastropoda (larva)	2,084 (20.4)	Copepoda (nauplius)	8,114 (49.0)	Copepoda (nauplius)
		Copepoda (nauplius)	1,705 (16.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	3,029 (18.3)	9,082 (56.9)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,705 (16.7)	<i>Oikopleura</i> spp.	1,371 (8.3)	Gastropoda (larva)
Paracalanidae (copepodite)		758 (7.4)	<i>Oithona aruensis</i>	1,143 (6.9)	1,929 (12.1)	
<i>Oithona attenuata</i>		726 (7.1)			547 (21.6)	
				<i>Oithona</i> spp. (copepodite)		
				360 (14.2)		
				<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)		
				333 (13.1)		
				Isopoda		
				293 (11.6)		
				Gastropoda (larva)		
				280 (11.0)		

調査地点		E27		
調査年度		平成26年度		
調査時期		春季		
項目				
植物 プランク トン	出現種類数	33		
	細胞数 (細胞/L)	14,420		
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) () 内は組成比%	unidentified flagellates	4,880 (33.8)	
		<i>Heterocapsa</i> spp.	3,840 (26.6)	
		Peridinales	1,140 (7.9)	
Euglenophyceae		1,060 (7.4)		
動物 プランク トン	出現種類数	26		
	個体数 (個体/m ³)	5,450		
	主な出現種の個体数 (個体/m ³) () 内は組成比%	Copepoda (nauplius)	2,156 (39.6)	
		Gastropoda (larva)	1,467 (26.9)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	489 (9.0)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(26) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事中)

調査地点		E27		
調査年度		平成29年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	53	51	35
	細胞数 (細胞/L)	16,320	5,560	1,510
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridinales 3,400 (20.6) <i>Heterocapsa</i> sp. 3,360 (20.3) Gymnodinales 2,960 (17.9) unidentified flagellates 2,240 (13.6)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 890 (16.0) <i>Bacillaria paxillifer</i> 510 (9.2) unidentified flagellates 510 (9.2) <i>Navicula</i> spp. 420 (7.6) Pennales 400 (7.2)	<i>Diatoma</i> sp. 350 (23.2) Pennales 170 (11.3) <i>Cylindrotheca closterium</i> 120 (7.9) <i>Bleekerella notata</i> 90 (6.0) <i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 80 (5.3)
	() 内は組成比%			
動物プランクトン	出現種数	23	18	8
	個体数 (個体/m)	9,740	1,478	251
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,100 (21.6) Copepoda (nauplius) 1,600 (16.4) <i>Oithona arvensis</i> 1,400 (14.4) Bivalvia (umbo larva) 1,050 (10.8) <i>Paracalanus crassirostris</i> 660 (6.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 400 (27.1) Copepoda (nauplius) 325 (22.0) <i>Oithona simplex</i> 150 (10.1) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 125 (8.5)	Copepoda (nauplius) 57 (22.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 57 (22.7) Gastropoda (larva) 46 (18.3) Harpacticoida 23 (9.2) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 23 (9.2) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 23 (9.2)
	() 内は組成比%			

調査地点		E27					
調査年度		平成30年度					
調査時期		春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	46	43	48	37	34	44
	細胞数 (細胞/L)	8,020	4,670	6,700	3,140	2870	3,620
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 3,270 (40.7) <i>Heterocapsa</i> spp. 560 (7.0) Gymnodinales 450 (5.6) <i>Cylindrotheca closterium</i> 410 (5.1)	Noctacaceae 2,320 (49.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 300 (6.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 280 (6.0)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 2,030 (30.0) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,920 (28.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 650 (9.6)	Gymnodinales 490 (15.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 380 (12.1) <i>Gyrodinium</i> spp. 280 (8.9) Peridinales 220 (7.0) <i>Protoperidinium</i> spp. 200 (6.4)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,030 (35.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 190 (6.6) Gymnodinales 190 (6.6) Peridinales 180 (6.3)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 460 (12.7) <i>Chaetoceros compressum</i> 380 (10.5) <i>Bacteriasterum</i> spp. 300 (8.3) <i>Leptocylindrus danicus</i> 280 (7.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 260 (7.2)
	() 内は組成比%						
動物プランクトン	出現種数	15	18	19	13	11	15
	個体数 (個体/m)	13,212	890	20,362	3,788	5,308	5,764
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,968 (44.4) Copepoda (nauplius) 3,952 (29.9) <i>Oithona dissimilis</i> 1,113 (13.0)	Copepoda (nauplius) 302 (33.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (9.0) Facetotecta (nauplius) 71 (8.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 71 (8.0) Gastropoda (larva) 62 (7.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,578 (31.4) <i>Oithona simplex</i> 5,867 (28.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,844 (13.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 1,422 (6.8) <i>Oithona attenuata</i> 1,156 (5.5)	Copepoda (nauplius) 2,587 (68.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 391 (10.3) Bivalvia (umbo larva) 357 (9.4)	Copepoda (nauplius) 4,020 (75.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 546 (10.3) Gastropoda (larva) 312 (5.9)	Copepoda (nauplius) 2,136 (37.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,647 (28.6) <i>Paracalanus crassirostris</i> 489 (8.5) <i>Oithona simplex</i> 380 (6.6) Gastropoda (larva) 371 (6.4)
	() 内は組成比%						

調査地点		E27				
調査年度		令和元年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	33	30	39	36	28
	細胞数 (細胞/L)	1,060	29,000	3,470	1,910	1,030
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridinales 150 (40.7) Gymnodinales 120 (7.0) Euglenophyceae 110 (5.6) <i>Nitzschia</i> spp. 80 (5.1)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 25,600 (88.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 920 (26.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 400 (11.5) Gymnodinales 380 (11.0) Peridinales 330 (9.5) <i>Protoperidinium</i> spp. 210 (6.1)	Gymnodinales 280 (14.7) unidentified flagellates 220 (11.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 130 (6.8) Peridinales 130 (6.8) Cryptophyceae 130 (6.8)	Euglenophyceae 190 (18.4) Pennales 80 (7.8) <i>Amphora</i> sp. 70 (6.8) <i>Navicula</i> sp. 70 (6.8) Gymnodinales 60 (5.8)
	() 内は組成比%					
動物プランクトン	出現種数	11	11	13	18	9
	個体数 (個体/m)	1,618	582	18,727	986	144
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 549 (44.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 471 (29.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 157 (13.0) Gastropoda (larva) 127 (7.8) <i>Acartia fossae</i> 118 (7.3)	Copepoda (nauplius) 286 (49.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (13.7) Bivalvia (umbo larva) 45 (7.7) <i>Oithona arvensis</i> 36 (6.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,250 (33.4) <i>Oikopleura</i> spp. 3,512 (18.8) Copepoda (nauplius) 3,333 (17.8) <i>Oithona simplex</i> 2,262 (12.1) <i>Oikopleura dioica</i> 92 (5.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 286 (29.0) Copepoda (nauplius) 177 (18.0) <i>Oithona simplex</i> 82 (8.3) Bivalvia (umbo larva) 75 (7.6) Paracalanidae (copepodite) 54 (5.5) Polychaeta (larva) 54 (5.5)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 34 (23.6) Gastropoda (larva) 22 (15.3) Isopoda 22 (15.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 11 (7.6) <i>Oncaea media</i> 11 (7.6) Cirripedia (nauplius) 11 (7.6) Harpacticoida 11 (7.6) <i>Oikopleura</i> spp. 11 (7.6) Brachyura (zoa) 11 (7.6)
	() 内は組成比%					

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(27) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事中)

調査地点		E27				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	30	19	31	36	40
	細胞数 (細胞/L)	4,740	48,200	96,800	2,750	2,630
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> sp. 1,300 (27.4)	<i>Nitzschia</i> spp. 17,600 (36.5)	<i>Chaetoceros constrictum</i> 47,800 (49.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 560 (20.4)	Pennales 430 (16.3)
	() 内の組成比%	660 (13.9)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 13,900 (28.8)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 12,000 (12.4)	Pennales 550 (20.0)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 240 (9.1)
		650 (13.7)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 11,400 (23.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 11,000 (11.4)	<i>Nitzschia</i> spp. 330 (12.0)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 180 (6.8)
		440 (9.3)		<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 5,500 (5.7)	<i>Cyclophora tenuis</i> 210 (7.6)	<i>Rhizosolenia phuketensis</i> 140 (5.3)
						<i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 140 (5.3)
動物 プランク トン	出現種類数	8	21	21	6	5
	個体数 (個体/m)	639	2,726	6,451	131	119
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 373 (58.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,193 (43.8)	Copepoda (nauplius) 1,792 (27.8)	<i>Euterpina acutifrons</i> (copepodite) 47 (35.9)	Copepoda (nauplius) 69 (58.0)
	() 内の組成比%	118 (18.5)	Copepoda (nauplius) 751 (27.5)	<i>Oithona simplex</i> 887 (13.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 38 (29.0)	Cirripedia (nauplius) 20 (16.8)
		49 (7.7)	<i>Oithona simplex</i> 144 (5.3)	<i>Oikopleura</i> spp. 632 (9.8)	Copepoda (nauplius) 19 (14.5)	Gastropoda (larva) 10 (8.4)
				<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 566 (8.8)	Polychaeta (larva) 9 (6.9)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 10 (8.4)
				<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 519 (8.0)	Paracalanidae (copepodite) 9 (6.9)	Cyclopoida (copepodite) 10 (8.4)
					<i>Oithona atlantica</i> 9 (6.9)	

調査地点		E27			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	36	46	28	37
	細胞数 (細胞/L)	8,670	11,430	12,910	3,300
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Gymnodinales 1,920 (22.1)	Gymnodinales 1,920 (16.8)	Diatomaceae 3,730 (28.9)	Haptophyceae 650 (19.7)
	() 内の組成比%	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,480 (17.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,800 (15.7)	unidentified flagellates 2,500 (19.4)	unidentified flagellates 500 (15.2)
		1,280 (14.8)	unidentified flagellates 1,200 (10.5)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 2,120 (16.4)	Gymnodinales 350 (10.6)
		950 (11.0)	Prasinophyceae 1,080 (9.4)	Gymnodinales 1,410 (10.9)	Prasinophyceae 350 (10.6)
		880 (10.1)	Diatomaceae 1,000 (8.7)	<i>Heterocapsa</i> spp. 800 (6.2)	Cryptophyceae 250 (7.6)
					<i>Heterocapsa</i> spp. 250 (7.6)
動物 プランク トン	出現種類数	22	14	21	9
	個体数 (個体/m)	6,679	1,333	1,118	384
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,528 (22.9)	Copepoda (nauplius) 314 (23.6)	Copepoda (nauplius) 375 (33.5)	Gastropoda (larva) 96 (25.0)
	() 内の組成比%	1,328 (19.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 284 (21.3)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 194 (17.4)	Polychaeta (larva) 80 (20.8)
		585 (8.8)	<i>Bestiolina similis</i> 225 (16.9)	<i>Acartia fossae</i> 120 (10.7)	Copepoda (nauplius) 64 (16.7)
		480 (7.2)	<i>Oithona simplex</i> 176 (13.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (7.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 48 (12.5)
		376 (5.6)		<i>Oithona simplex</i> 74 (6.6)	Paracalanidae (copepodite) 32 (8.3)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(28) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事中)

調査地点		E27				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	36	56	38	39	30
	細胞数 (細胞/L)	7,420	229,470	5,960	4,090	5,190
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> spp. 2,400 (32.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 201,600 (87.9)	Peridiniales 1,600 (26.8)	unidentified flagellates 1,200 (29.3)	unidentified flagellates 1,100 (21.2)
	() 内は組成比%	Cryptophyceae 1,490 (20.1)		Gymnodiniales 820 (13.8)	<i>Heterocapsa</i> spp. 500 (12.2)	Euglenophyceae 970 (18.7)
		unidentified flagellates 1,200 (17.0)		<i>Heterocapsa</i> spp. 700 (11.7)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 260 (6.4)	Cryptophyceae 850 (16.4)
		Prasinophyceae 460 (6.2)		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 520 (8.7)		Peridiniales 600 (11.6)
				Haptophyceae 300 (5.0)		<i>Heterocapsa</i> spp. 600 (11.6)
動物 プランク トン	出現種類数	8	11	15	17	9
	個体数 (個体/m)	1,761	13,608	1,097	400	1,328
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 827 (47.0)	Copepoda (nauplius) 7,656 (56.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 217 (19.8)	Copepoda (nauplius) 110 (27.5)	Copepoda (nauplius) 928 (69.9)
	() 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 413 (23.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,976 (21.9)	Bivalvia (umbo larva) 160 (14.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (20.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 160 (12.0)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 160 (9.1)	Bivalvia (umbo larva) 1,152 (8.5)	Copepoda (nauplius) 160 (14.6)	Bivalvia (umbo larva) 30 (7.5)	
		<i>Oikopleura</i> spp. 147 (8.3)	Gastropoda (larva) 864 (6.3)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 149 (13.6)	Paracalanidae (copepodite) 30 (7.5)	
				Paracalanidae (copepodite) 80 (7.3)	Polychaeta (larva) 20 (5.0)	
					Harpacticoida 20 (5.0)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.11(1) 動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数（浮遊生物調査）

調査地点		E8																														
工事		工事前																														
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26			
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数(種類)	13	34	25	53	27	23	34	23	26	52	43	41	50	28	51	36	42	36	53	37	53	64	62	51	34	51	33	36			
	出現種類数範囲	13~64																														
	細胞数(細胞/L)	16,580	5,250	3,290	14,330	11,520	11,300	14,730	24,300	4,060	5,800	4,640	54,110	844,160	51,190	7,580	4,170	7,550	6,890	7,430	6,080	134,250	64,390	39,570	10,550	49,220	47,350	27,990	22,480			
動物	出現種類数(種類)	27	28	34	19	29	27	20	26	26	27	33	18	20	24	28	15	45	36	54	45	24	51	32	28	40	34	19	28			
出現種類数範囲	15~54																															
個体数(個体/m ³)	87,658	9,884	4,969	10,696	14,511	6,110	704	15,602	14,654	1,117	1,782	6,983	13,934	36,693	10,633	1,910	38,131	34,024	3,344	15,332	26,295	9,300	11,907	13,505	16,974	7,619	1,516	5,362				
個体数範囲	704~87,658																															

調査地点		E8																											
工事		工事中																											
調査年度		H29				H30				H31	R1				R2				R3				R4						
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数(種類)	57	33	47	33	45	38	41	40	37	50	31	40	28	39	28	38	35	32	46	31	37	49	34	67	32	32	40	
	出現種類数範囲	28~67																											
	細胞数(細胞/L)	8,850	2,220	3,570	1,350	2,990	5,830	2,330	3,480	6,290	8,270	1,460	1,510	2,790	10,520	887,300	145,900	2,460	4,160	8,080	12,470	4,510	5,100	9,920	1,522,890	4,910	1,690	7,220	
動物	出現種類数(種類)	22	22	15	20	19	26	22	7	21	20	13	26	15	13	18	26	11	14	18	15	22	24	11	14	18	20	19	
出現種類数範囲	7~26																												
個体数(個体/m ³)	4,650	1,128	12,977	8,977	45,339	14,050	5,354	634	963	11,525	10,657	3,189	958	958	5,768	3,442	705	1,286	2,343	10,656	381	1,464	3,940	1,238	3,800	4,157	1,512		
個体数範囲	381~45,339																												

調査地点		E12																														
工事		工事前																														
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26			
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物	出現種類数(種類)	17	25	28	40	25	24	19	22	32	35	57	36	44	42	47	42	44	29	60	32	50	56	69	72	35	44	36	31			
	出現種類数範囲	17~72																														
	細胞数(細胞/L)	5,770	5,470	5,890	23,925	10,010	109,370	940	32,380	9,640	5,130	4,640	227,630	627,210	37,440	10,970	10,790	16,760	8,380	19,210	13,970	17,100	22,570	47,270	24,340	19,460	22,000	19,770	23,220			
動物	出現種類数(種類)	29	31	27	23	27	33	31	24	30	42	32	20	19	28	30	26	38	42	60	35	27	49	33	38	53	41	36	28			
出現種類数範囲	19~60																															
個体数(個体/m ³)	95,633	30,696	15,279	13,594	30,382	19,950	6,626	24,135	55,390	15,751	4,565	13,094	72,643	15,707	21,346	41,464	28,334	33,660	31,020	3,558	19,125	5,844	8,981	21,063	39,319	6,394	9,544	64,892				
個体数範囲	3,558~95,633																															

調査地点		E12																											
工事		工事中																											
調査年度		H29				H30				H31	R1				R2				R3				R4						
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数(種類)	53	46	39	25	53	39	38	34	42	35	30	36	44	39	27	33	45	47	16	37	30	54	47	65	37	28	35	
	出現種類数範囲	16~65																											
	細胞数(細胞/L)	4,230	2,380	2,360	910	6,940	3,430	5,520	1,250	10,590	70,850	2,380	2,310	2,940	5,710	576,500	38,600	3,600	16,130	7,980	14,010	15,670	7,500	11,650	867,630	16,930	2,330	7,830	
動物	出現種類数(種類)	23	23	20	27	30	24	21	19	15	23	25	25	19	22	22	24	15	22	22	28	31	22	15	24	26	17	28	
出現種類数範囲	15~31																												
個体数(個体/m ³)	8,836	1,723	5,486	13,025	14,434	6,222	5,855	1,832	428	19,823	7,903	5,208	7,008	20,265	9,666	10,658	4,189	476	6,730	33,308	4,536	473	4,008	38,600	10,312	6,471	1,787		
個体数範囲	428~38,600																												

注) 本環境監視調査結果（令和4年度）は黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.11(2) 動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数（浮遊生物調査）

調査地点		E25																															
工事		工事前																															
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26				
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物	出現種類数(種類)	18	22	19	26	24	22	24	20	42	41	34	42	43	36	45	28	33	40	54	30	44	46	45	36	47	44	26	24				
	出現種類数範囲	18~54																															
	細胞数(細胞/L)	6,030	2,120	2,220	7,000	10,560	8,080	4,410	9,360	8,150	3,590	1,970	34,380	169,500	19,870	6,480	4,340	10,260	4,540	15,950	4,520	12,690	12,410	17,010	4,380	38,410	15,880	6,990	26,630				
	細胞数範囲	1,970~169,500																															
動物	出現種類数(種類)	27	33	21	25	24	26	25	29	23	16	19	34	22	25	25	19	30	39	45	19	21	51	33	41	34	28	13	28				
	出現種類数範囲	13~51																															
	個体数(個体/m ³)	17,668	5,544	324	3,218	2,600	3,229	2,422	4,150	5,066	1,909	859	2,818	2,843	3,899	8,036	4,872	18,392	9,265	22,504	1,900	1,030	3,532	3,654	5,576	14,619	3,385	140	5,023				
	個体数範囲	140~22,504																															

調査地点		E25																											
工事		工事中																											
調査年度		H29			H30				H31	R1				R2				R3				R4							
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数(種類)	52	48	54	40	52	35	35	32	36	28	30	37	37	36	20	36	29	22	42	53	41	37	31	54	42	41	24	
	出現種類数範囲	20~54																											
	細胞数(細胞/L)	3,270	2,810	28,760	2,000	25,970	5,040	1,710	2,050	1,470	2,560	4,200	2,590	1,250	4,570	22,300	812,600	1,660	1,270	13,860	9,720	5,350	1,690	18,170	90,720	10,840	2,360	1,320	
	細胞数範囲	1,250~812,600																											
動物	出現種類数(種類)	17	13	14	20	27	13	16	18	15	15	18	22	7	10	16	23	8	20	16	16	20	13	10	10	14	21	20	
	出現種類数範囲	7~27																											
	個体数(個体/m ³)	1,360	560	17,522	2,293	34,222	3,060	6,479	1,310	561	2,265	13,014	3,126	109	1,195	1,225	16,394	226	1,011	4,667	379	709	412	920	6,600	919	2,180	1,240	
	個体数範囲	109~34,222																											

調査地点		E27																															
工事		工事前																															
調査年度		H19			H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26				
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物	出現種類数(種類)	17	27	24	20	27	19	25	23	43	34	22	41	47	42	47	31	29	43	21	35	44	42	45	41	36	59	24	33				
	出現種類数範囲	17~59																															
	細胞数(細胞/L)	24,160	18,940	1,800	5,250	4,770	6,670	3,260	7,820	10,350	2,610	560	17,880	145,700	112,490	19,600	3,920	4,030	8,680	4,330	13,440	11,940	12,570	10,030	8,600	38,380	44,910	6,710	14,420				
	細胞数範囲	560~145,700																															
動物	出現種類数(種類)	32	21	28	30	26	14	19	32	20	26	19	28	20	26	23	18	25	30	37	27	37	39	23	39	28	28	40	26				
	出現種類数範囲	14~40																															
	個体数(個体/m ³)	30,430	4,749	1,086	7,966	14,690	15,277	1,001	4,359	86,500	1,287	433	5,034	4,082	22,591	5,905	5,712	21,050	15,363	1,709	10,182	7,457	6,464	1,566	10,216	16,547	15,966	2,536	5,450				
	個体数範囲	433~86,500																															

調査地点		E27																												
工事		工事中																												
調査年度		H29			H30				H31	R1				R2				R3				R4								
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	出現種類数(種類)	53	51	35	46	43	48	37	34	44	33	30	39	36	28	30	19	31	36	40	36	46	28	37	36	56	38	39	30	
	出現種類数範囲	19~56																												
	細胞数(細胞/L)	16,520	5,560	1,510	8,030	4,670	6,760	3,140	2,870	3,620	1,060	29,000	3,470	1,910	1,030	4,740	48,200	96,800	2,750	2,630	8,670	11,430	12,910	3,300	7,420	229,470	5,960	4,090	5,190	
	細胞数範囲	1,030~229,470																												
動物	出現種類数(種類)	23	18	8	15	18	19	13	11	15	11	11	13	18	9	8	21	21	6	5	22	14	21	9	8	11	15	17	9	
	出現種類数範囲	5~23																												
	個体数(個体/m ³)	9,740	1,478	251	13,212	890	20,952	3,788	5,308	5,764	1,618	582	18,727	986	144	639	2,726	6,451	131	119	6,679	1,333	1,118	384	1,761	13,608	1,097	400	1,328	
	個体数範囲	119~20,952																												

注) 本環境監視調査結果（令和4年度）は黄色の網掛けで示しています。

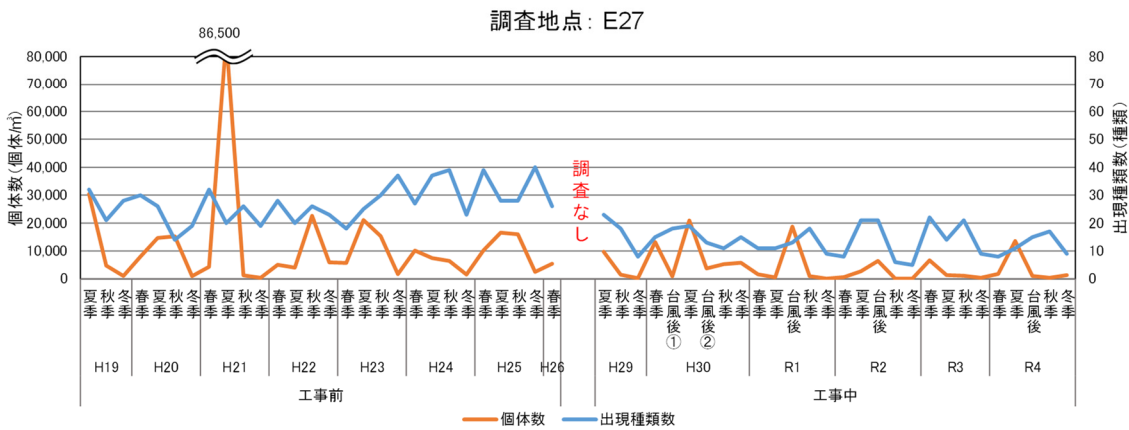
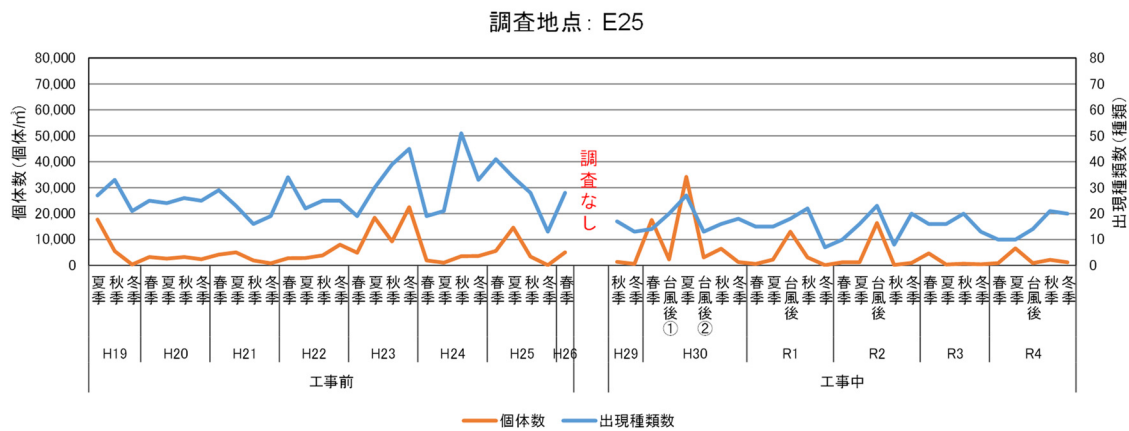
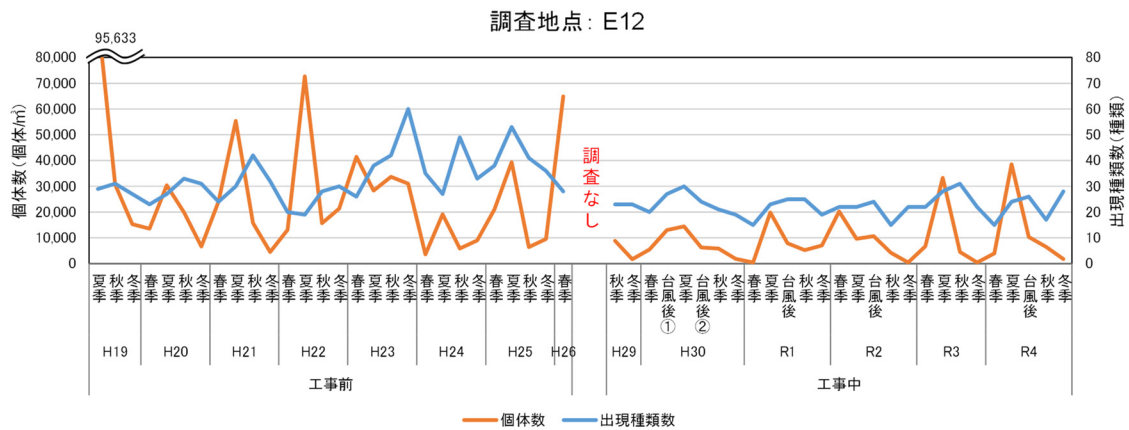
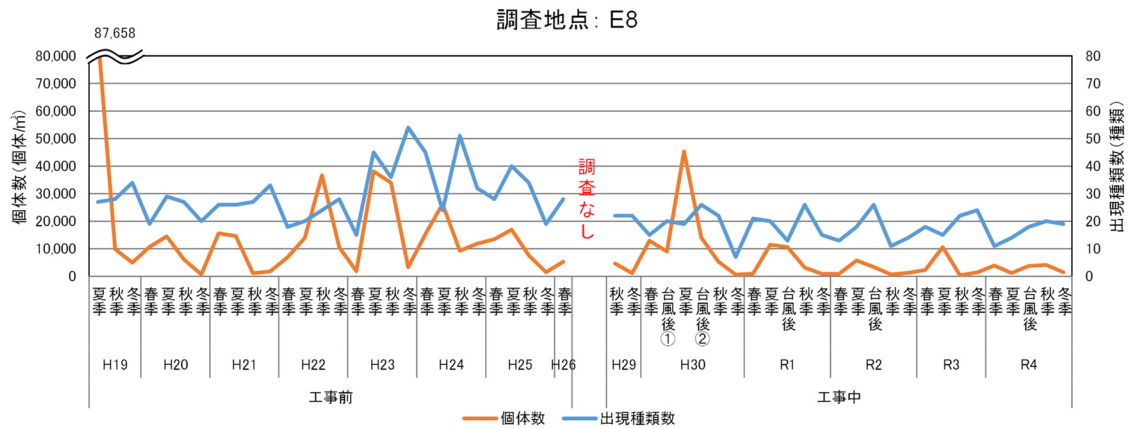


図-3.5.2.10 動物プランクトンの出現種類数及び個体数 (浮遊生物調査)

表-3.5.2.12(1) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E8)

調査年度	E8													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Cryptophyceae	○	○	○	○	○		○			○			○	○
<i>Prorocentrum triestinum</i>								○		○	○	○		○
<i>Gymnodinium</i> spp.										○				○
<i>Gyrodinium</i> spp.										○				
Gymnodinales	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○
<i>Oxytoxum</i> spp.														○
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
<i>Peridinium quinquecorne</i>					○							○		
<i>Protoperidinium</i> spp.										○	○			
Peridinales	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○
<i>Skeletonema costatum sensu lato</i>									○	○		○		○
<i>Thalassiosira</i> spp.				○										
<i>Leptocylindrus danicus</i>					○						○			
<i>Paralia sulcata</i>			○											
<i>Rhizolenia phuketensis</i>			○											
<i>Bacteriastrum minus</i>	○													
<i>Bacteriastrum</i> spp.				○										
<i>Chaetoceros constrictum</i>				○								○		
<i>Chaetoceros lorenzianum</i>						○								
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○				○	○	○					○		
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○	○	○						○	○	○		○
<i>Bleakeleva notata</i>	○													
<i>Cyclophora tenuis</i>												○		
<i>Neodelphineis pelagica</i>			○											
Diatomaceae											○			
<i>Navicula</i> spp.										○	○			
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○						○	○	○	○		
<i>Nitzschia</i> spp.						○					○	○		
<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>						○								
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○	○	○		○	○	○					○		
Pennales												○		
Haptophyceae	○	○	○	○	○	○	○					○		
Euglenophyceae	○					○	○				○	○	○	○
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○
Unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(2) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E12)

	E12													
	工事前								工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Cryptophyceae			○	○	○	○	○	○				○	○	○
<i>Prorocentrum triestinum</i>											○			
<i>Amphidinium</i> spp.										○				
<i>Gymnodinium</i> spp.										○				○
<i>Gyrodinium</i> spp.										○				
Gymnodinales	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○
<i>Oxytoxum</i> spp.										○				
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
<i>Peridinium quinquecorne</i>												○		
<i>Protoperdinium</i> spp.											○			
Peridinales	○	○	○	○					○	○	○	○		○
<i>Skeletonema costatum sensu lato</i>														○
<i>Skeletonema</i> spp.						○								
<i>Thalassiosira</i> spp.				○										
<i>Aulacoseira</i> spp.												○		
<i>Leptocylindrus danicus</i>										○				
<i>Rhizosolenia fragilissima</i>		○												
<i>Bacteriastrum</i> spp.			○	○						○				
<i>Chaetoceros constrictum</i>												○		
<i>Chaetoceros curvisetum</i>						○								
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○			○		○	○					○		
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)		○	○	○			○			○	○	○	○	○
<i>Bleakeleva notata</i>	○													
<i>Cyclophora tenuis</i>			○											
<i>Diatoma</i> sp.											○			
Diatomaceae	○													
<i>Navicula</i> spp.	○									○				
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○			○			○	○	○	○		
<i>Nitzschia</i> spp.	○			○		○	○			○				
<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>						○								
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○	○	○			○	○		○	○			○	
Pennales			○											
Haptophyceae	○	○	○	○	○		○							○
Euglenophyceae		○					○		○	○	○	○	○	○
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○
Unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(3) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E25)

	E25													
	工事前								工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Cryptophyceae		○		○	○	○	○	○		○			○	○
<i>Prorocentrum minimum</i>						○								
<i>Prorocentrum triestinum</i>											○			
<i>Gyrodinium</i> spp.											○			
Gymnodiniales		○	○	○					○	○	○	○	○	○
<i>Oxytoxum</i> spp.													○	
<i>Scrippsiella</i> spp.					○	○								
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
<i>Protoperidinium</i> spp.									○	○				
Peridinales		○	○			○			○	○	○	○	○	○
<i>Skeletonema costatum sensu lato</i>									○				○	○
<i>Thalassiosira</i> spp.				○										
<i>Leptocylindrus danicus</i>			○											
<i>Bacteriastrum</i> spp.				○					○					
<i>Chaetoceros compressum</i>			○											
<i>Chaetoceros constrictum</i>											○			
<i>Chaetoceros lauderi</i>										○				
<i>Chaetoceros</i> sp. (cf. <i>salsugineum</i>)									○					
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○			○			○					○		
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○		○					○	○				○
<i>Bleakeleva notata</i>					○									
<i>Climacosphenia moniligera</i>														○
<i>Diatoma</i> sp.									○					
<i>Licmophora</i> spp.	○											○		○
Diatomaceae	○												○	○
<i>Achnanthes</i> spp.			○											
<i>Cocconeis</i> spp.		○												
<i>Amphora</i> spp.		○									○			
<i>Navicula</i> spp.	○	○			○				○		○			○
Naviculaceae														○
<i>Bacillaria paxillifer</i>										○				
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○		○				○	○	○	○		○
<i>Nitzschia</i> spp.			○		○	○	○				○	○		
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○		○				○			○	○	○		
Pennales			○						○	○	○	○		○
Haptophyceae	○		○	○	○	○							○	○
Euglenophyceae		○								○	○			
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Unidentified flagellates		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(4) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E27)

調査年度	E27													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Oscillatoriaceae			○											
Nostocaceae										○				
Cryptophyceae		○		○	○	○	○				○		○	○
<i>Gymnodinium</i> spp.					○									
<i>Gyrodinium</i> spp.										○				
Gymnodiniales		○	○		○				○	○	○	○	○	○
<i>Scrippsiella trochoidea</i>			○											
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Peridinium quinquecorne</i>				○										
<i>Protoperdinium</i> spp.					○					○	○			
Peridiniales		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
<i>Lauderia annulata</i>			○											
<i>Skeletonema costatum sensu lato</i>									○				○	○
<i>Thalassiosira</i> spp.				○										
<i>Leptocylindrus danicus</i>			○							○				
<i>Coscinodiscus</i> spp.			○											
<i>Rhizosolenia phuketensis</i>												○		
<i>Bacteriastrum</i> spp.				○						○		○		
<i>Chaetoceros compressum</i>										○				
<i>Chaetoceros constrictum</i>												○		
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○						○					○		
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○	○		○		○			○	○	○		○
<i>Bleakeleya notata</i>			○		○					○				
<i>Cyclophora tenuis</i>												○		
<i>Diatoma</i> sp.									○					
Diatomaceae													○	
<i>Cocconeis</i> spp.	○													
<i>Amphora</i> spp.		○			○						○			
<i>Navicula</i> spp.	○	○			○	○			○		○			
<i>Bacillaria paxillifer</i>									○					
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○			○			○	○		○		
<i>Nitzschia longissima</i>			○											
<i>Nitzschia</i> spp.			○								○	○		
<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>												○		
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.										○		○		
Pennales			○						○		○	○		
<i>Calciosolenia murrayi</i>		○												
Haptophyceae	○	○	○	○	○	○							○	○
Euglenophyceae		○						○			○	○		○
Prasinophyceae		○		○	○	○	○				○		○	○
Chlorococcales	○													
Unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(5) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E8)

調査年度	E8													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Gastropoda (larva)	○				○					○	○		○	
Bivalvia (D-shaped larva)		○												
Bivalvia (umbo larva)	○		○								○			
Polychaeta (larva)										○				
<i>Acartia bispinosa</i>								○						
<i>Acartia erythraea</i>			○											
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)										○			○	○
<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)												○		
<i>Bestiolina similis</i>	○												○	
<i>Paracalanus crassirostris</i>			○	○	○	○				○				
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○		○	○						○	○			
Paracalanidae (copepodite)			○	○	○	○	○		○			○		○
Calanoida (copepodite)											○			
<i>Oithona aruensis</i>	○	○		○	○	○	○			○	○	○		○
<i>Oithona attenuata</i>			○								○			
<i>Oithona dissimilis</i>		○			○	○	○	○		○	○	○	○	○
<i>Oithona nana</i>		○												
<i>Oithona oculata</i>												○		
<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Microsetella rosea</i>													○	
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)			○						○				○	
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)					○							○		
<i>Oikopleura</i> spp.	○				○					○	○			
<i>Fritillaria</i> spp.						○								

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(6) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E12)

調査年度	E12													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Gastropoda (larva)		○					○				○	○		
Bivalvia (umbo larva)											○			
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite)														○
<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)									○			○		○
<i>Bestiolina similis</i>		○			○								○	
<i>Paracalanus crassirostris</i>	○	○	○	○	○	○	○	○						○
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○
Paracalanidae (copepodite)			○	○	○	○	○			○		○		○
<i>Oithona aruensis</i>	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		
<i>Oithona dissimilis</i>		○		○	○	○			○	○	○			○
<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Oncaea media</i>												○	○	
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)									○				○	
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
<i>Oikopleura longicauda</i>			○											
<i>Oikopleura</i> spp.	○				○	○				○		○		○
<i>Fritillaria</i> spp.						○								

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(7) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E25)

調査年度	E25													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Foraminifera											○			
<i>Creseis</i> spp.													○	
Gastropoda (larva)	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bivalvia (D-shaped larva)						○	○							
Bivalvia (umbo larva)												○	○	○
Polychaeta (larva)												○	○	○
<i>Acartia fossae</i>										○				
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)				○						○	○	○	○	○
<i>Nannocalanus minor</i>						○								
<i>Undinula vulgaris</i>						○								
<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)				○	○									
<i>Centropages</i> spp. (copepodite)		○												
<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite)					○	○					○			
<i>Acrocalanus longicornis</i>					○									
<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)										○				
<i>Bestiolina similis</i>					○								○	
<i>Delius nudus</i>	○	○			○									
<i>Delius nudus</i> (copepodite)											○			
<i>Paracalanus crassirostris</i>	○													
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○
Paracalanidae (copepodite)			○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
Calanoida (copepodite)					○		○				○	○		
<i>Oithona aruensis</i>	○			○	○		○					○		
<i>Oithona attenuata</i>			○				○			○	○			
<i>Oithona dissimilis</i>					○					○				
<i>Oithona nana</i>												○		
<i>Oithona oculata</i>										○				
<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
Harpacticoida											○			
Harpacticoida (copepodite)	○													
<i>Corvaceus</i> spp. (copepodite)														○
<i>Oncaea media</i>											○			
<i>Oncaea mediterranea</i>							○							
<i>Oncaea venusta</i>									○					
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	○	○	○		○	○	○					○	○	○
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)		○	○			○				○	○	○	○	○
Isopoda							○				○		○	
Brachyura (zoea)					○									
<i>Oikopleura dioica</i>											○			
<i>Oikopleura</i> spp.	○					○	○				○		○	

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(8) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E27)

調査年度	E27													
	工事前								工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5
Foraminifera		○												
Gastropoda (larva)	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bivalvia (D-shaped larva)	○		○			○								
Bivalvia (umbo larva)		○	○						○	○	○			○
Polychaeta (larva)			○								○	○	○	○
<i>Acartia fossae</i>											○	○	○	
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)				○		○				○	○	○	○	○
<i>Undinula vulgaris</i>						○								
<i>Calocalanus styliremis</i>						○								
<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)				○										
<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite)		○												
<i>Acrocalanus longicornis</i>					○									
<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)												○		
<i>Bestiolina similis</i>													○	
<i>Paracalanus crassirostris</i>				○					○	○				
<i>Paracalanus parvus</i>			○											
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○	○	○						○	○		○		○
Paracalanidae (copepodite)			○		○	○	○				○	○	○	○
Calanoida (copepodite)				○	○									
<i>Oithona aruensis</i>			○	○	○		○		○		○			
<i>Oithona atlantica</i>												○		
<i>Oithona attenuata</i>							○			○				
<i>Oithona dissimilis</i>					○					○				
<i>Oithona longispina</i>					○									
<i>Oithona oculata</i>				○										
<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cyclopoida (copepodite)												○		
<i>Microsetella norvegica</i>						○								
<i>Euterpina acutifrons</i> (copepodite)												○		
Harpacticoida									○		○			○
Harpacticoida (copepodite)		○				○								
<i>Oncaea media</i>	○										○			
<i>Oncaea venusta</i>			○											
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	○	○	○		○		○		○					
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)			○			○					○	○		
Facetotecta (nauplius)									○					
Isopoda							○				○			
Brachyura (zoea)					○						○			
<i>Oikopleura dioica</i>											○			
<i>Oikopleura longicauda</i>			○		○									
<i>Oikopleura</i> spp.			○	○	○		○				○	○		○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

卷末資料

— 目 次 —

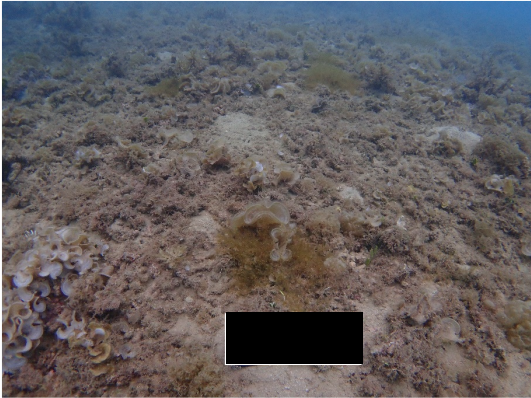





付図-2.5.1.1 ウミボツス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）	資 1
付図-2.7.2.1 過年度の久志地区におけるクビレミドロ分布状況	資 2
付図-3.5.1 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点	資 3

【ウミボッス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）】

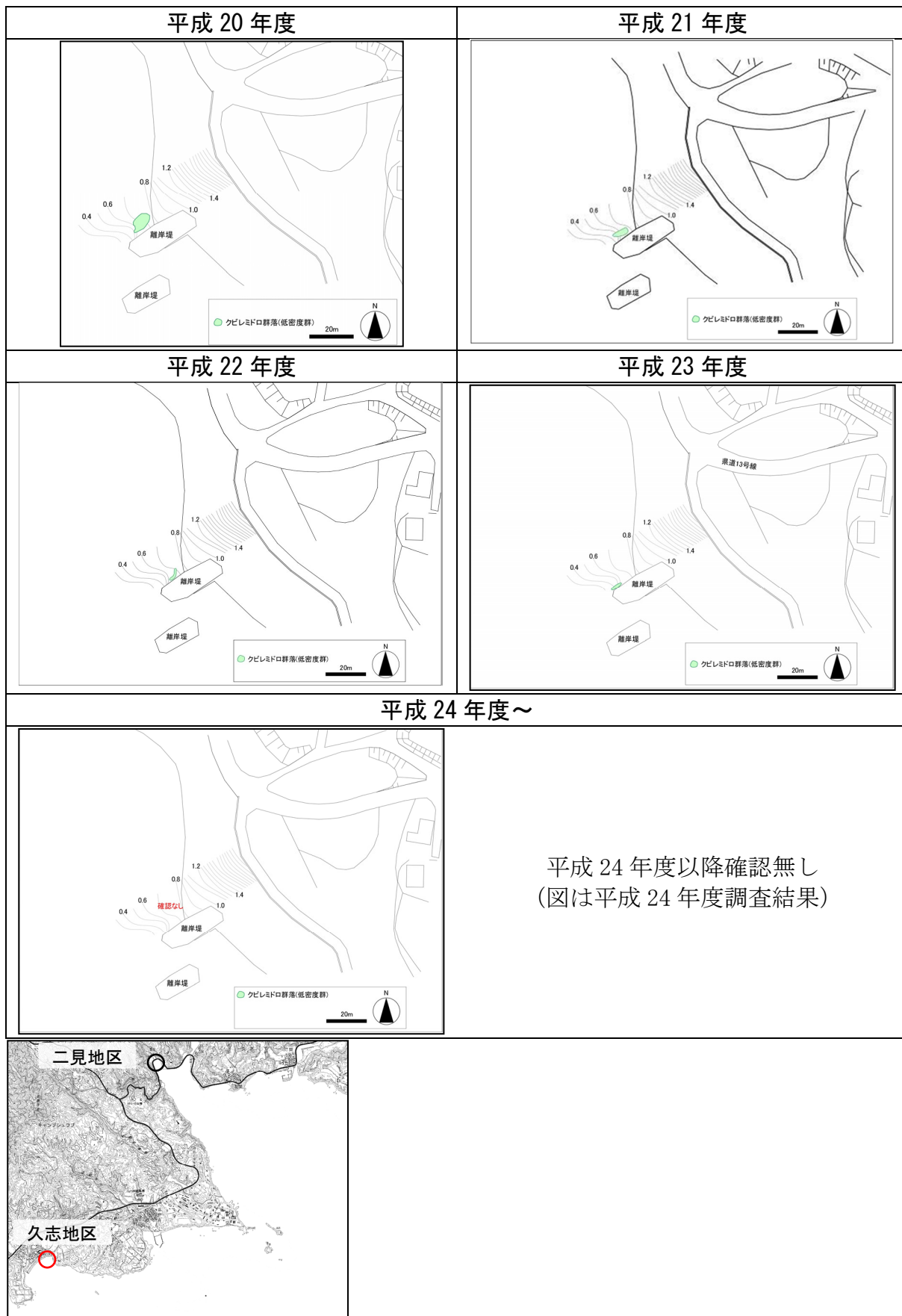
○事前踏査実施日：令和2年3月18日

○事前踏査場所：過年度にウミボッスが特に多く確認されたインベントリー調査地点
 ■■■■■ 及びその近傍の ■■■■■、■■■■■

○事前踏査結果

踏査地点	事前踏査時の状況	
■■■■■		 <p data-bbox="869 907 1394 936">・ウミボッスの生育が確認された。</p>
■■■■■		 <p data-bbox="869 1361 1394 1391">・ウミボッスの生育は確認されなかった。</p>
■■■■■		 <p data-bbox="869 1816 1394 1852">・ウミボッスの生育は確認されなかった。</p>

付図-2.5.1.1 ウミボッス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）



付図-2.7.2.1 過年度の久志地区におけるクビレミドロ分布状況

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

付図-3.5.1(1) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点 (久志)

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

付図-3.5.1(2) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（大浦湾）

※重要な種の保護の観点から、
表示していません。

付図-3.5.1(3) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（ギミ崎）